docomo PRIME series
F-01A

ISSUE DATE: '09.1

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

NTT docomo

ドコモ　W-CDMA・GSM/GPRS 方式

このたびは、「docomo PRIME series F-01A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

F-01Aは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（→P102）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。
また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

かんたん検索から ▶P4

よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉で探します。

メニュー一覧から ▶P388

F-01Aの画面に表示されるメニューから探します。

表紙インデックスから ▶表紙

表紙のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

※P2～3で例をあげて説明しています。

目次から ▶P6

機能ごとに章で分類された目次から探します。

主な機能から ▶P8

F-01Aの特徴である機能や新機能から探します。

索引から ▶P446

機能名や知りたい項目のキーワード、サービス名で探します。

クイックマニュアルを利用する ▶P456

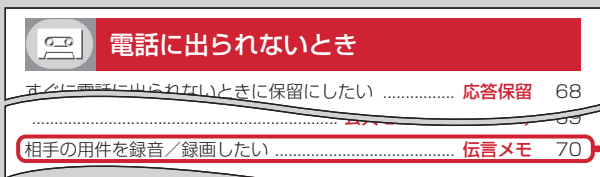
本書から切り取って外出時などに利用できる簡易なマニュアルです。
また、「クイックマニュアル（海外利用編）」も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

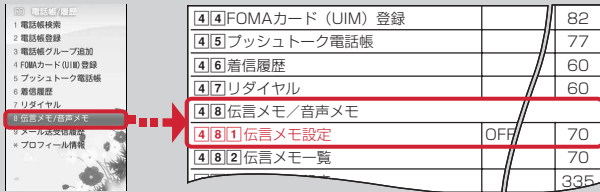
- この『F-01A取扱説明書』の本文中においては、「F-01A」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要です。
  microSDカードについて→P300
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ディスプレイと背面ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、FOMA端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせてあらかじめ設定されています。
  本書では、主にきせかえツールの設定が「Rose」の場合で説明しています。→P102
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
  端末暗証番号→P110　指紋認証→P112
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

「伝言メモ」を例に記載ページを探す方法を説明します。

かんたん検索 から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が、目的別にわかりやすい言葉で分類されています。

メニュー一覧 から探すとき

FOMA端末の画面に表示される言葉から探すことができます。

表紙インデックス から探すとき

表紙→章扉→機能の説明ページという順でインデックスを頼りに探すことができます。章扉には詳しい目次も掲載されています。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを起動しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音／録画されます。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画できます。
- 2in1利用時、AナンバーとBナンバーに着信した伝言メモを合わせて最大4件録音／録画できます。表示はモードによって異なります。
- プッシュトークでは利用できません。

◆伝言メモを起動する

- 通常スタイルで操作してください。

1 （1秒以上）▶ 1 ▶ 1 または 2

「ON」にすると、待受画面にが表示されます。

■ 伝言メモの起動中に電話がかかってくると

1 電話がかかってくる

2 相手のメッセージが録音／録画される

- 開始時と終了時に相手には確認音（ピーッ）が鳴ります。また、開始時から約25秒後に終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音／録画が終了すると、電話が切れる

❖クイック伝言メモで対応する〈クイック伝言メモ〉

伝言メモを起動していなくても、着信中にを1秒以上押すと、その着信に限り伝言メモを1回だけ動作させられます。この操作は、伝言メモを開始時に設定する操作ではありません。

✔お知らせ

- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でもを押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合はを押しても出られます。このとき、電話を受けるまでの録音／録画内容は記録されません。
- 圏外や電源が切れているときは、伝言メモは動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモが4件録音／録画されると、待受画面にが表示され、伝言メモおよびクイック伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にしている場合は各サービスが動作します。

70 電話／テレビ電話／プッシュトーク

※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

- 本書の操作の説明では、キーを押す動作をイラストで表現しています。→P26「各部の名称と機能」
- 操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

表記の例	意　味
MENU（1秒以上）	MENUを1秒以上押し続ける。
MENU［設定／NWサービス］ 5 7 2 ▶ 1 ～ 3	待受画面でMENUを押した後、［設定／NWサービス］にカーソルを合わせて●を押す。続けて 5 7 2 を順番に押し、1 ～ 3 のいずれかを押す。

- 本書では（マルチカーソルキー）で項目にカーソルを合わせ、●（決定キー）を押す操作を「選択」と表記しています。また、入力欄に文字を入力する操作においては、最後に●［確定］を押す操作を省略しています。
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。お買い上げ時の設定については、メニュー一覧をご覧ください。→P388

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・ランプ色・振動を変える

画面表示を変える

安心して使うために

メールを使いこなす

カメラを使いこなす

ワンセグを使いこなす

こんなこともできます

※ 1　有料サービスです。
※ 2　お申し込みが必要な有料サービスです。

- **その他の機能の検索方法については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P1**
- **よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しています。→P456**

目　次

F-01Aの主な機能

ｉコンシェル

ｉコンシェルは、「執事（コンシェルジュ）」のように、待受画面上のキャラクター（マチキャラ）が役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれたり、サイトからスケジュール／ｉスケジュールなどをダウンロードしたりすることによって、FOMA端末を便利にご利用いただけるサービスです。
ｉコンシェルによって、ダウンロードしたスケジュールやトルカが自動で最新情報に更新されたり、電話帳にお店や会社の住所情報などが自動で追加されたりします。→P188

ｉアプリコール

ｉアプリコールは、対戦ゲームにおいて相手のアプリを起動させるなど、第三者またはコンテンツプロバイダから対応する所定のアプリに対して起動を促すよう通知することができる機能です。→P257

ｉウィジェット

ｉウィジェットは、電卓や時計、テレビ番組表、株価情報など頻繁に利用するコンテンツ（ウィジェットアプリ）に、簡単にアクセスできるようにする機能です。また、ｉウィジェット画面を起動するだけで、最新情報を一目で確認することができます。→P261

ワンセグ

モバイル向け地上デジタル放送の「ワンセグ」を視聴することができます。また、ワンセグ視聴中に静止画撮影やビデオ録画を行うことができます。ビデオ録画はダビング10（→P303）にも対応しています。→P214

国際ローミング

日本国内でお使いのFOMA端末、電話番号、メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSMエリアに対応）。→P372
また、日本語で話しかければ英語または中国語に、英語または中国語で話しかければ日本語に翻訳する、日英版・日中版しゃべって翻訳 for Fをプリインストールしています。→P248

防水性能

外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX7の防水性能を有しています。→P20
雨の中やお風呂場、プールサイドなどで電話したり、メールを送受信したりできます。汚れた場合には、水道水で手洗いすることができます。

ビューアスタイルとタッチ操作

ディスプレイを外側に向けて表示するビューアスタイルでは、ディスプレイを指でタッチしたりスライドしたりして操作することができます。→P39

フィンガーポインター

指紋センサーでポインティング操作ができます。マルチカーソルキーを使う代わりに指を上下左右に動かすことでカーソルやポインターを移動したり、ダブルタップ（指で軽く2回叩く）して項目を選択したりできるので、ｉアプリやフルブラウザなどはより直感的に操作することができます。→P44

モーションセンサー

FOMA端末をダブルタップしてアラームを停止させたり、傾けることによってイルミネーションやFlash画像の変化を楽しんだりすることができます。また、画像表示の際の天地や背面ディスプレイの表示は端末の向きに合わせて変わり、フルブラウザでは端末を傾けて画面をスクロールすることもできます。→P45

スーパーダブルマイクとスーパーはっきりボイス2

スーパーダブルマイクは、2つのマイクを連携させて自分の声以外の騒音を低減し、自分の声を相手にクリアに届けます。また、スーパーはっきりボイス2（→P60）は、周囲の騒音を感知すると、相手の声を音域ごとに最適な音量に細かく調整し、相手の声が聞き取りやすくなります。
これら2つの機能によって、騒音の中でもお互いの声をしっかり伝え合うことができます。

背面ディスプレイ自動点灯

FOMA端末を持ち上げて傾けるだけで背面ディスプレイの照明を自動点灯させることができます。→P100

レインボーキーイルミ

キーバックライトの色を7色に変更することができます。→P100

マチキャラ

動き回るキャラクタを待受画面などに表示できます。マチキャラはダウンロードすることもできます。→P102、178、298

指紋認証

FOMA端末を閉じたままでも指紋認証操作ができます。暗証番号の入力を許可しない「指紋のみ認証」を設定することで、より強固にFOMA端末の使用を制限できます。→P112

オートキーロックと置き忘れセンサー

FOMA端末を閉じるたびにキーをロックする開閉ロックに加え、設定時間が経過するまで無操作だった場合にキー操作をロックするオートキーロックを備えています。置き忘れセンサーを「ON」にすると、無操作に加え、FOMA端末本体の動きがないことも感知してオートキーロックをかけることができます。→P124

高機能カメラ

人物の顔を判別する顔検出機能や局所コントラスト補正、高感度撮影モードなどの機能を備える約520万画素（有効画素数）のカメラを搭載しています。ビューアスタイルでのピント合わせは画面をタッチするだけ。また、静止画は、撮影時のカメラの向きによって天地を判別して保存されます。→P198

クイック検索

待受画面表示中や機能実行中に、サーチキーを押してｉモード、フルブラウザ、地図、辞典、電話帳、メールの検索機能を利用することができます。→P323

待受ショートカット

待受画面に貼り付けた機能やファイル、作成途中のメールなどのアイコンを選択するだけで、すばやく目的の作業を開始することができます。また、待受画面のアイコンは自由に変更することができます。→P330

ウォーキングチェッカー

FOMA端末を歩数計として利用し、歩いた距離や消費カロリー、脂肪燃焼量などを算出することができます。→P339
また、ウォーキングチェッカーウィジェットアプリを搭載しており、ウォーキングチェッカーでカウントした歩数や消費カロリーをｉウィジェットで簡単に確認できます。→P253

Bluetooth機能

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続し、FOMA端末をかばんなどに入れたままハンズフリーで通話したり音楽を聴いたりすることができます。→P342

その他の機能

- テレビ電話→P58
- 着もじ→P62
- きせかえツール→P102
- あんしん設定→P110
- ｉモードメール／デコメール®／デコメ®絵文字→P134
- 着うたフル®※1／うた・ホーダイ／Music&Videoチャネル※2／ミュージックプレーヤー／ビデオクリップ→P228
- ｉアプリ／メガｉアプリ／直感ゲーム→P242
- おサイフケータイ／トルカ→P264
- 地図・GPS機能→P274
- 各種ネットワークサービス→P362
- 高速通信対応→P382

※1「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

◆FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　F10
卓上ホルダ　F27
FOMA ACアダプタ　01／02
FOMA DCアダプタ　01／02
FOMA 乾電池アダプタ　01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01／02
FOMA補助充電アダプタ　01
FOMA海外兼用ACアダプタ　01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。

また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. **電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。**
2. **FOMA端末の電源を切る。**
3. **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

◆ FOMA端末の取り扱い

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

モーショントラッキングやモーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

モーショントラッキングとモーションセンサーは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

禁止

FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーショントラッキングやモーションセンサーのご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。

けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材　質	表面処理
電池パック部内蓋、リアカバー裏面、銘板貼付け部、ネジ	ステンレス	なし

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

◆電池パックの取り扱い

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

皮膚に傷害を起こす原因となります。

◆オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱い

⚠警告

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。

感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。

感電の原因となります。

◆ FOMAカードの取り扱い

⚠注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意

◆ 共通のお願い

- F-01Aは防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。
  - FOMA端末は、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX7の防水性能を有しておりますが、完全防水というわけではありません。雨の中や水滴がついたままでの電池パックの取り付け／取り外しや、外部接続端子キャップおよびリアカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。また、付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。
  - タッチパネルが破損する原因となります。

◆ FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  - 故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作やポインティング操作ができなくなる場合があります。

- 指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能が低下したり、指が触れていない状態でも認証中として誤動作したり、ポインティング操作ができなくなったりすることがあります。
- microSDカードの使用中は、FOMA端末の電源を切らないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
  - 電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

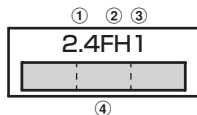
◆アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。
- 卓上ホルダのスタンドを収める場合は、指やアダプタ（充電器含む）のコードなどを挟まないようご注意ください。
  - けがなどの事故や破損の原因となります。

◆FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温、低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ FeliCaリーダー／ライターについて

- FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

◆ 注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
  技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
  やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水性能

F-01Aは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5（旧JIS保護等級5）※1、IPX7（旧JIS保護等級7）※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、F-01Aを設置したターンテーブルを回転させた状態で2.5m～3mの距離から最低3分間12.5L/分の直接噴流をあてた後に、電話機としての機能を有することです。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの所にF-01Aを静かに沈め、30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することです。

❖具体的には

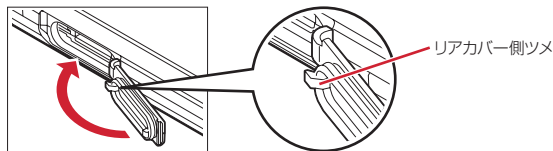
- 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
  ※ 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。
  ※ 洗うときはリアカバーを取り付けてロックした状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水には浸けないでください。
  ※ プールの水がかかった場合は、上記の方法で洗い流してください。
  ※ 水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- お風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。
  ※ 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  ※ 水中で使用しないでください。故障の原因となります。

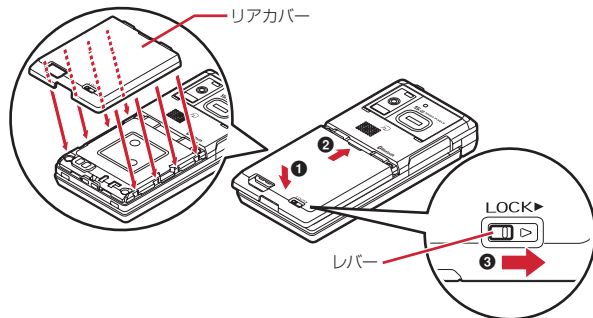
◆ご使用にあたっての重要事項

防水性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- 外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかりと閉じてください。
- キャップやリアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- リアカバーのレバーがLOCK位置にあることを確認してから使用してください。

■ 外部接続端子キャップの閉じかた

キャップ裏面リアカバー側のツメを、本体のミゾへ掛けた状態で操作してください。

■ リアカバーの取り付けかた

リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付け、リアカバーのレバーを❸の方向にスライドさせてロックします。

- 水中でFOMA端末を使用（開閉、キー操作を含む）しないでください。
- 常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。

〈例〉

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

プール

温泉

砂／泥

防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモショップなどの窓口にお持ちください。

◆ 注意事項

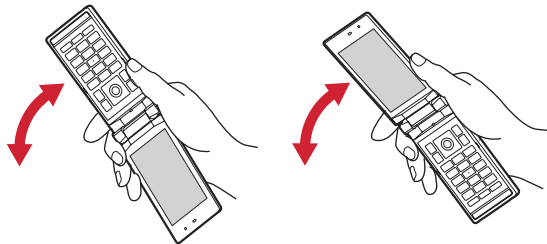
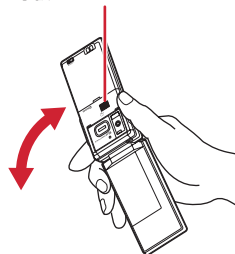
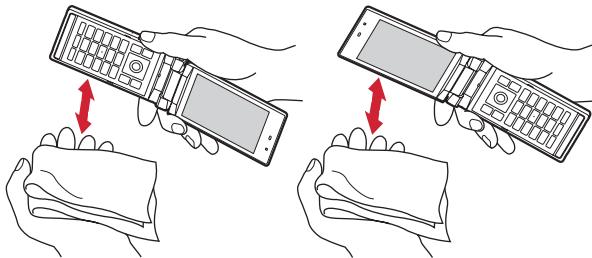
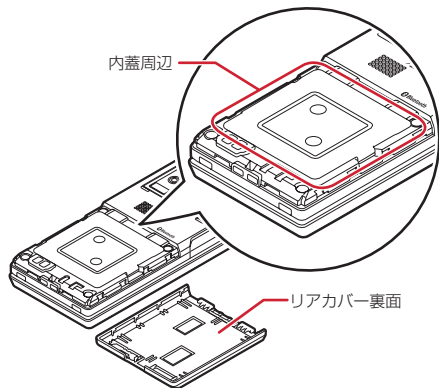
- リアカバーは確実にロックし、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- 外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、内蓋のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-01AはIPX5の防水性能を有しておりますが、不具合の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
  卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 送話口、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 濡れたまま放置しないでください。電源端子がショートするおそれがあります。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 送話口、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水に濡れたときの水抜きについて

FOMA端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水が後から漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

① FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② FOMA端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

③ 送話口、受話口、スピーカー、キー、ヒンジ部などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取ってください。

④ **リアカバーを取り外して、内蓋周辺とリアカバー裏面の水滴を拭き取ってください。拭き取った後にリアカバーを取り付けてロックしてください。**
リアカバーの取り外しかた→P49「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」■取り付けかた①
※ 内蓋は絶対に開かないでください。

⑤ **FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取ってください。**
※ 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
※ 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆ 充電のときには

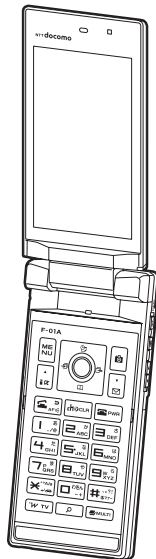
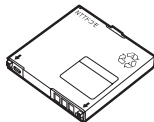
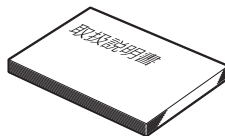
付属品、オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- FOMA端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合はよく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
  外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。

※ FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
※ 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
※ ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。火災や感電の原因となります。
※ ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

本体付属品および主なオプション品

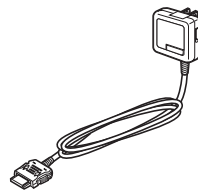
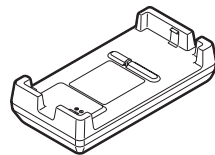
〈本体付属品〉

F-01A
（リアカバー F33、保証書含む）

電池パック F10

取扱説明書

※ P456にクイックマニュアルを記載しています。

F-01A用CD-ROM

※ PDF版「パソコン接続マニュアル」および「区点コード一覧」を収録しています。

〈主なオプション品〉

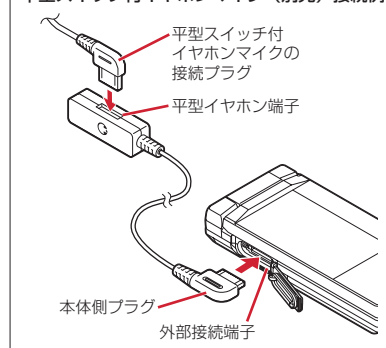
FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ F27
（取扱説明書付き）

その他のオプション品→P417

ご使用前の確認

各部の名称と機能

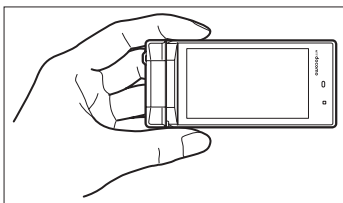
〈イヤホンのご利用について〉
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

〈各部の機能〉

❶ **受話口**
相手の声をここから聞く

❷ **光センサー**
周囲の明るさの感知（画面の明るさの自動調整）
※ 光センサーをふさぐと、正しく自動調整されない場合があります。

❸ **ディスプレイ（タッチパネル）**→P30、39

❹ **送話口／マイク**
自分の声をここから送る
※ 通話中や録音中に指でふさがないでください。
※ 背面のマイクは騒音カット用のため、お客様の声は拾いません。

❺ **ワンセグアンテナ→P215**
※ ワンセグアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で受信するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
※ ビューアスタイルでワンセグ視聴する場合は、次のようにアンテナ部の反対側を持つことをおすすめします。

❻ **電話ランプ→P35**
❼ **背面ディスプレイ→P34**
❽ **メールランプ→P35**
❾ **ランプ→P106**
開閉ロックやオートキーロック起動時、静止画や動画の撮影時、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤーの操作中などに点灯または点滅、不在着信お知らせやイルミネーション設定の設定に従って動作

❿ **FOMAアンテナ**
※ FOMAアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

⓫ **ライト／撮影お知らせランプ→P72、205、333**
テレビ電話、静止画や動画の撮影時などのカメラのライト、簡易ライト、静止画や動画の撮影時に点灯または点滅

⓬ **指紋センサー→P44、112**
フィンガーポインターの操作、指紋の登録・認証
※ 指紋センサーのシート部分の色は製品により若干の差異がありますが、機能および性能への影響はありません。

⓭ **赤外線ポート→P312、316**
赤外線通信、赤外線リモコン

⓮ **マーク→P264、313**
ICカードの搭載
※ マークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、iC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外せません。

⓯ **スピーカー**
着信音や、スピーカーホン機能利用中の相手の声などをここから聞く

⓰ **カメラ**
静止画や動画の撮影、テレビ電話で映像の送信

⓱ **リアカバー**
※ リアカバーを外して内蓋を開き、電池パックを取り外すと、microSDカードスロットがあります。→P301

⓲ **リアカバーのレバー→P49**
⓳ **充電端子**
⓴ **ストラップ取付口（2箇所）**
※ FOMA端末下部の取付口は、ネックストラップなどを使用する際に便利です。

㉑ **外部接続端子**
充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子
※ 別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA充電機能付USB接続ケーブル、外部接続端子用イヤホン変換アダプタなどを接続できます。

〈キーの機能〉
キーを押して動作する機能は次のとおりです。
●：押す　■：1秒以上押す

1 MENUキー
●メニューの表示、ガイド表示領域左上に表示される操作の実行
■HOLDの起動／解除

2 iモード／iアプリ／▲（スクロール）／文字
●iモードメニューの表示
●メール画面やサイト、ホームページ表示中の上方向への1画面スクロール
●ガイド表示領域左下に表示される操作の実行、文字入力モードの切り替え
■iアプリフォルダ一覧を表示

3 CLR ch／α／クリアキー
●iチャネル一覧の表示、iアプリ待受画面とiアプリ起動の切り替え
●文字の消去や1つ前の画面に戻る
■セルフモードの起動／解除

4 音声電話開始／／スピーカーホン／AFキー
●音声電話をかける／受ける、文字入力中に1つ前の文字に戻す
●スピーカーホン機能の通話切り替え、オートフォーカスの起動／解除
■スピーカーホン機能で音声電話をかける
■文字列を1つ前の状態に戻す

5 ダイヤルキー
1～9
●電話番号（1～9）や文字の入力、メニュー・項目選択
■セレクトメニューに登録されている機能の実行
0
●電話番号（0）や文字の入力、メニュー・項目選択
■国際電話をかけるとき、国際ダイヤルアシスト設定の自動変換機能設定の利用

6 ✂ ＊／A/a／改行／公共モード（ドライブモード）キー
●「＊」や「゛」「゜」などの入力、大文字／小文字切り替え
●文字入力時の改行、メニュー・項目選択
●静止画撮影時のガイド表示領域の表示／非表示の切り替え
●動画／ｉモーション再生中の横画面と縦画面の切り替え
■公共モード（ドライブモード）の起動／解除

7 TV ｉウィジェット／TVキー
●ｉウィジェットの起動
■ワンセグの視聴やマルチウィンドウの切り替え

8 サーチキー→P323
●探したい言葉や場所、名前などを入力して検索

9 マルチカーソルキー
決定キー
●操作の実行、フォーカスモードの実行
■ワンタッチｉアプリに登録したｉアプリの起動
スケジュール／↑キー
●スケジュール帳の表示
●音量調整、上方向へのカーソル移動
■目覚まし一覧の表示
電話帳／↓キー
●電話帳の表示
●音量調整、下方向へのカーソル移動
■電話帳の登録
着信履歴／←（前へ）キー
●着信履歴の表示、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動
■プライバシーモード起動設定で「起動／解除操作」が「標準」の場合にプライバシーモードの起動／解除
リダイヤル／→（次へ）キー
●リダイヤルの表示、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動
■ICカードロックの起動／解除
※ のように表記する場合があります。

10 カメラキー
●静止画撮影の起動、ガイド表示領域右上に表示される操作の実行
■動画撮影の起動

11 メール／▼（スクロール）キー
●メールメニューの表示、ガイド表示領域右下に表示される操作の実行
●メール画面やサイト、ホームページ表示中の下方向への1画面スクロール
●2回押す：ｉモード問合せ
■メール作成画面の表示

12 電源／終了キー
●応答保留、通話／操作中の機能の終了、待受カスタマイズの表示／非表示
■2秒以上押す：電源を入れる／切る

13 #／接写撮影／マナーモードキー
●「#」や「、」「。」「?」「!」「・」の入力、メニュー・項目選択
●カメラ使用時の接写撮影の切り替え
■マナーモードの起動／解除

14 MULTI マルチタスクキー
●通話中や操作中に別の機能の実行（マルチアクセス／マルチタスク）

15 サイドキー
プッシュトーク／RECキー
●プッシュトークの操作、背面ディスプレイのメニュー項目の実行
●ワンセグ視聴中の静止画保存
■ワンセグ視聴中のビデオ録画開始／停止
ミュージックキー
●背面ディスプレイのメニュー表示、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤーの操作
●ビュースタイルではメニューの表示／非表示の切り替え
■ミュージックプレーヤーの起動／終了
■ビュースタイルではマルチタスクメニューの表示

▲
●着信音やアラーム音、バイブレータの停止
●音量調整※1、通話中やプッシュトーク通信中の受話音量大（ビュースタイルでは受話音量小）
●FOMA端末を閉じているときの背面ディスプレイの照明点灯、表示切り替え、メニュー選択
■着信中にクイック伝言メモを起動、通話中に音声メモや動画メモの起動／停止
■FOMA端末を閉じているときはマナーモードの起動／解除※2、開いているときは待受画面表示中に伝言メモ／音声メモの起動

▼
●音量調整※1、通話中やプッシュトーク通信中の受話音量小（ビュースタイルでは受話音量大）
●FOMA端末を閉じているときの背面ディスプレイの照明点灯、表示切り替え、メニュー選択
■FOMA端末を閉じているときはｉモード問合せ※2、開いているときはワンセグ視聴中やビデオ再生中の音量消音、待受画面表示中にｉモード問合せ

※1 ビュースタイルでのｉモーション再生時は動作しません。
※2 サイドキー長押し設定がお買い上げ時の状態での動作です。ただし、ビュースタイルでは動作しません。

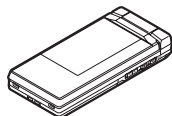
FOMA端末の利用スタイル

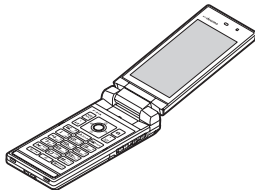
本FOMA端末は、開いた状態の「通常スタイル」のほかに、ディスプレイを外側に向けて表示する「ビューアスタイル」で利用できます。

- 特に断りのない限り、本書では「通常スタイル」での操作方法を説明しています。

■ 閉じた状態

背面ディスプレイやランプから情報を得ることができます。

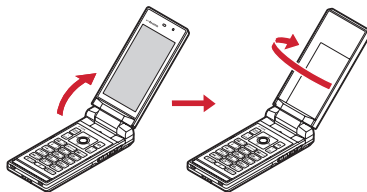
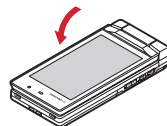
- FOMA端末を持ち運ぶときはこの状態にしてください。

■ 通常スタイル

すべての機能に対応している基本的な操作状態です。

※ 通常スタイルでディスプレイを右回りに180度回転させ、カメラを自分側に向けると、お互いの映像を見ながらテレビ電話ができます。→P72

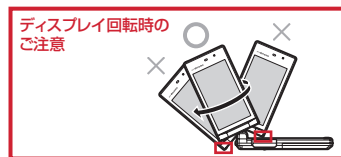
■ ビューアスタイル

FOMA端末のディスプレイを外側に向けた状態で利用できます。

- ビューアスタイルでの操作について→P39

① FOMA端末を開き、途中で止まるところでディスプレイを右回りに180度回転させる

② ディスプレイを手前に倒す

※ 通常スタイルに戻すにはディスプレイを起こし、途中で止まるところでディスプレイを左回りに180度回転させます。

✔お知らせ

- ビューアスタイルにするときに、ディスプレイの左回りの回転や180度以上の回転はしないでください。また、回転時にディスプレイの角が本体やキーなどに当たらないようにしてください。傷ついたり、破損したりするおそれがあります。

- ビューアスタイルにするときに指を挟まないようご注意ください。

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で現在の状態を確認できます。

通常スタイル（待受画面）

ビューアスタイル（フォルダ一覧画面）

① ：電池アイコン→P53

② ：アンテナアイコン→P54
　圏外：圏外表示→P54
　SELF：セルフモード中→P116
　：データ転送モード中※1→P123、301、312、345

③ ／：iモード中（iモード接続中）／（パケット通信中）→P170

④ ：赤外線通信中→P312
　赤外線リモコン使用中→P316
　（青）／（グレー）：Bluetooth電源ON中／省電力中→P345
　：積算通話料金が上限を超過→P337

※2
⑤ ：Bluetooth接続処理中→P344
　：ハンズフリー対応機器で通信中→P66
　：Bluetoothハンズフリー通信中→P345
　：Bluetoothヘッドセット通信中→P345
　：スピーカーホン機能利用中→P59
　（青）／（赤）／／：利用中のネットワーク→P374
　：省電力モード設定中→P101

※2
⑥ ：GPSで測位中→P274
　（青）／（グレー）：GPSで位置提供設定中／許可期間外→P282

⑦ ：電話帳、スケジュールがシークレット属性→P87、330

※2
⑧ 未読エリアメール、未読メール、iコンシェルのインフォメーション、メッセージR/F状態表示→P143、160、162、165、189
　：未読エリアメール
　：未読iモードメール、SMS満杯かつFOMAカードにSMS満杯
　：未読iモードメール、SMS満杯
　：FOMAカードにSMS満杯
　：未読iモードメールとSMSあり
　：未読iモードメールあり
　：未読SMSあり
　：iコンシェルの新着インフォメーションあり
　（赤）／（青）：未読メッセージR満杯／あり
　：未読メールありでiコンシェルのインフォメーションあり
　（赤）／（緑）：未読メッセージF満杯／あり

※2
⑨ プッシュトークの状態またはiモードセンター蓄積状態表示→P75、143、160
　：プッシュトーク通信中
　：ネットワーク上の電話帳ページ取得中
　：センターにiモードメールとメッセージR/F満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり
　／／：センターにiモードメールまたはメッセージR/F満杯
　：センターに未受信のiモードメールとメッセージR/Fあり
　／／：センターに未受信のiモードメール、メッセージR、メッセージFのいずれかがあり

※2
⑩ ：SSLページ表示中／iアプリでSSL通信中、SSLページからダウンロードしたiアプリを使用中→P171
　SSL／TLSページ表示中→P192
　：圏内自動送信失敗メールあり→P142
　：圏内自動送信メールあり→P142
　：Music&Videoチャネル番組取得予約あり→P229

⑪ ｉアプリ／ｉアプリDX、ｉアプリコールの状態表示→P243、257、258
：ｉアプリ動作中
（グレー）：ｉアプリ待受画面表示中
（オレンジ）：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中
：ｉアプリDX動作中
（グレー）：ｉアプリDX待受画面表示中
（オレンジ）：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中
：ｉアプリ動作中でｉアプリコール受信あり
（グレー）：ｉアプリ待受画面表示中でｉアプリコール受信あり
（オレンジ）：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中でｉアプリコール受信あり
：ｉアプリDX動作中でｉアプリコール受信あり
（グレー）：ｉアプリDX待受画面表示中でｉアプリコール受信あり
（オレンジ）：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中でｉアプリコール受信あり
：ｉアプリコール受信あり

※3
⑫ ：目覚まし設定中→P325
：ワンセグ視聴／録画予約中、スケジュールアラーム設定中→P223、327
：スケジュールアラームやワンセグ視聴／録画予約と、目覚ましを同時に設定中→P223、325、327

※3
⑬ ：OFFICEEDエリア内→P369
⑭ ：新着情報→P39
：待受ショートカット→P330
⑮ ：マナーモード中→P95
：オリジナルマナーモード中→P95
⑯ ：電話着信音量消音設定中→P92
：音声電話着信のバイブレータ設定中→P93
：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中→P93
⑰ ：公共モード（ドライブモード）中→P69
⑱ ／：伝言メモ設定中／満杯→P70

※2
⑲ ：ダイヤル発信制限中→P118
：HOLD中→P123

※2
⑳ ／／：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了→P281
：パーソナルデータロック中→P117
／：Music&Videoチャネル取得失敗／成功→P229
／：ワンセグ予約録画完了／失敗→P225

※2
㉑ ：FOMAカード読み込み中→P46、54
（鍵が黄色）：ICカードロック中→P266
：個別ICカードロック→P266
㉒ ／：フォーカスモード時の有効マルチカーソルキーの表示→P39
：開閉ロック／オートキーロック中→P124
：遠隔カスタマイズ中→P131
㉓ ：ワンセグ予約録画中／ワンセグ録画中（視聴のみ終了）→P222、224
：ｉアプリ自動起動失敗→P257
㉔ USBモード設定とmicroSDカードの状態表示→P301、307
：通信モード中にmicroSDカードあり
（青）／（グレー）：microSDモード中にmicroSDカードあり／なし
（青）／（グレー）：MTPモード中にmicroSDカードあり／なし

※2
㉕ ：USBケーブルで外部機器と接続中→P74、308
：ウォーキングチェッカー設定中→P340

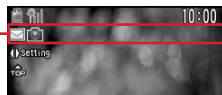
※2
㉖ ：ソフトウェア更新予告→P430
：ソフトウェア更新予約中→P431
：更新お知らせアイコン→P430
／：最新パターンデータの自動更新失敗／成功→P433

※1　データ転送モード中は圏外と同じ状態になり、さらにマルチタスクの利用もできなくなります。
※2　現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※3　待受画面以外のときなどは時刻が表示されます。

✔お知らせ

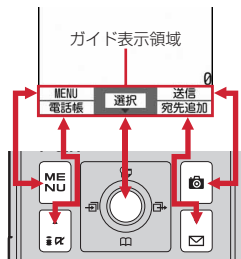
- 表示中の機能によっては、アイコンの表示位置が異なったり、一部またはすべてのアイコンが表示されないことがあります。

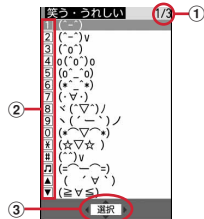
◆ タスク表示領域の見かた

タスク表示領域には、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが表示されます。マルチアクセス中、マルチタスク中に動作中の機能を確認できます。

❖ タスク表示領域に表示されるアイコン一覧

：音声電話
：着信履歴
：リダイヤル
：伝言メモ／音声メモ
：テレビ電話
：外部機器によるテレビ電話
：電話（切り替え中）
：電話（切断中）
：プッシュトーク
：電話帳
：プライバシーモードのシークレット反映
：きせかえツール
：静止画撮影
：動画撮影
：バーコードリーダー
：ｉモード
：ｉモードのBookmark／Internet／ラストURL／画面メモ／ツータッチサイト表示
：ｉコンシェル
：メール／メッセージR/F
：エリアメール
：ｉモードメール受信中
：ｉモード／SMS問合せ中
／：メール送信履歴／受信履歴
：SMS受信中
：ｉアプリ
：トルカ
：GPSの現在地確認
：GPSの位置提供
：GPSの現在地通知
：GPSの位置履歴
：フルブラウザ
：ワンセグ
：マイピクチャ
：動画／ｉモーション
：キャラ電
：メロディ
（青）／（グレー）：microSDカードへアクセス中／アクセス待機中
：Music&Videoチャネル起動中
：Music&Videoチャネル番組取得中
：ミュージックプレーヤー
：サウンドレコーダー
：マイドキュメント（PDFデータ）
：その他（Word、Excel、PowerPointファイル）
：マルチタスクで音量設定中
：お知らせタイマー
：目覚まし
：スケジュール帳／スケジュールアラーム鳴動中（ワンセグの開始通知含む）
：イミテーションコール
：プロフィール情報
：電卓
：ウォーキングチェッカー
：検索サービス
：テキストメモ
：辞典
：Bluetooth
／：Bluetooth経由でパケット発信・通信中／送受信中
：Bluetooth経由で64Kデータ通信中
：お預かりセンターに接続中
：電話帳通信履歴表示中
：ネットワークサービス設定中
／：USB経由でパケット発信・通信中／送受信中
：64Kデータ通信中
：外部データ連携中
／：ソフトウェア更新／更新の通知あり
：パターンデータ更新／バージョン表示中
／（グレー）：各機能の設定中／保留中

◆ ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、[MENU]、[iα]、[●]、[📷]、[✉]を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。
表示位置とキーは、図のように対応しています。

- ガイド表示領域の◀▲▼▶は、マルチカーソルキーの[✣]に対応しています（使用する機能や表示しているサイトやホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

◆ 一覧画面の見かた

① 一覧が複数ページにわたる場合、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

② 表示されている数字に対応するダイヤルキーや、次のキーを押すと項目を選択することができます。

③ ▲▼は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。[✣]を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目で[▼]を押すと次ページが、先頭の項目で[▲]を押すと前ページが表示されます。
◀▶は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。[◀▶]を押してページを切り替えます。アイコンの選択画面など、画面によっては切り替えできません。

◆ ｉウィジェット画面の見かた

例：ｉウィジェット画面

- ｉウィジェット起動中の画面では、ガイド表示領域と同様に、[MENU]、[iα]、[●]、[📷]、[✉]、[✣]に対応する操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。
- ｉウィジェットの利用について→P261

背面ディスプレイやランプの見かた

FOMA端末の背面ディスプレイやランプでさまざまな情報や状態を確認できます。

◆背面ディスプレイの表示

FOMA端末を閉じている場合は、背面ディスプレイにアイコンやメッセージが表示されます。メニューを選択したり、不在着信や未読メールの詳細情報を表示したりすることもできます。

- FOMA端末を閉じるとアニメーションが表示されます。不在着信や未読メール、iコンシェルのインフォメーションがあるときは、蓄積情報を知らせるアニメーションが表示されます。アニメーションが停止するか、アニメーション表示中に▲や■を押すと時計が表示されます。
  蓄積情報がないときのアニメーションのデザインは背面画像設定の「時計パターン」の設定により異なります。
- オールロック、おまかせロック、HOLD中は、▲▼や■、■を押すとロックが設定されている旨のメッセージが表示され、しばらくたつと時計表示に切り替わります。
- FOMA端末を閉じると、背面ディスプレイの照明が点灯します。約15秒間何も操作しないでいると消灯しますが、▲▼や■、■を押すと再び点灯します。背面ディスプレイ設定の自動点灯設定が「ON」の場合は、FOMA端末を持ち上げて傾けると、約1秒後に照明が点灯します。点灯直前にさらにFOMA端末を動かすと、照明が点灯しないことがあります。
- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。
- ワンセグ視聴／録画中、ビデオ再生中、ミュージックプレーヤー起動中、Music&Videoチャネルプレーヤー起動中に■を押すと、時計が表示できます。
- モーションセンサー設定を「ON」にすると、FOMA端末の天地の向きに合わせて表示が逆転します。→P45

❖表示されるアイコンや状態

アイコンと時計

状態表示（例：目覚まし鳴動中）

① ■: 電池アイコン
② ■: アンテナアイコン
　圏外: 圏外表示
　self: セルフモード中
　■: データ転送モード中
③ ■／■: iモード中（iモード接続中）／（パケット通信中）
④ ■: マナーモード中
　■: オリジナルマナーモード中
　■: ミュージックプレーヤー再生中
　■: ワンセグ視聴中
⑤ ■／■: GPSで位置提供設定中／許可期間外
⑥ ■: Bluetooth電源ON中（通信中は点滅）
　■: Bluetooth省電力中
⑦ ■: ICカードロック中
⑧ ■: iアプリコール
⑨ ■／■: 圏内自動送信メールあり／失敗メールあり
⑩ ■: iコンシェルの新着インフォメーションあり
⑪ ■／■: センターにiモードメール、メッセージR/Fあり／満杯
⑫ ■: 不在着信／伝言メモ／留守番電話サービスの伝言メッセージあり
⑬ ■／■／■: 未読エリアメールあり／未読iモードメール、SMSあり／満杯
　■／■: 未読メッセージRあり／満杯
　■／■: 未読メッセージFあり／満杯
- 未読iモードメールやSMSがある場合は縮小して表示します。

⑭ 背面画像設定の「時計パターン」の設定に従って時計が表示されます。
- ウォーキングチェッカー設定中は当日カウント中の歩数と歩行距離も表示されます。

⑮ 次の状態をメッセージや画像でお知らせします。
- 音声電話やテレビ電話（着もじ、留守番電話サービスの伝言メッセージ含む）、プッシュトーク、伝言メモの状態表示
- ｉモードメールやSMS、メッセージR/Fの問合せ中・受信中、エリアメールやｉコンシェルのインフォメーションの受信中
- GPSの現在地確認、位置提供、現在地通知などの状態表示
- ワンセグ視聴／録画中、ビデオ再生中、メロディ再生中、Music&Videoチャネルプレーヤー起動中、ミュージックプレーヤー起動中、microSDカード利用中
- 目覚ましやスケジュールアラーム（ワンセグの開始通知含む）鳴動中、お知らせタイマーのカウントダウン中や鳴動中
- パケット通信や64Kデータ通信、USB経由での通信、赤外線通信、iC通信、Bluetooth通信の状態表示

✔お知らせ
- 表面パネルの特性により、日光が当たる場所では表示が見えにくい場合があります。そのときは日陰で確認するか、手で影を作って表示を確認してください。

❖背面ディスプレイのメニューから機能を選択する

ミュージックプレーヤー（起動）／終了、ICカードロック設定／解除、マナーモード設定／解除、ｉモード問合せ、簡易ライト、イミテーションコール、Bluetoothオン／オフの7つの機能を選択できます。
- ICアプリ起動中は、ICカードロック設定／解除を実行できません。

〈例〉ｉモード問合せをする

1 時計表示中に[♫]▶[▲][▼]で「ｉモード問合せ」にカーソル▶[♪]

- メニュー表示中に[♫]を押すと、時計表示または起動中の状態表示に戻ります。
- 「ICカードロック解除」を選択したときは、認証操作が必要です。

❖不在着信や未読メールの情報を表示する

不在着信や伝言メモ、未読メール、未読メッセージR/F、留守番電話サービスの伝言メッセージがあるときは、背面ディスプレイの照明を点灯させて[▼]を押し、これらの件数を確認します。件数確認中に[▲]を押すと詳細情報が約5秒間表示されます（留守番電話サービスの伝言メッセージを除く）。
- 詳細情報は、[▼]を押して10件まで確認できます。

〈例〉不在着信の詳細情報に切り替える

1 件数確認中に[▲]

件数、総件数、着信日時、電話をかけてきた相手の情報がスクロール表示されます。

◆電話ランプとメールランプの表示

背面ディスプレイの電話ランプとメールランプは、次の場合に点滅します。
（電話ランプ）：未確認の不在着信があるとき
（メールランプ）：未読メール（SMSを含む）があるとき
- 不在着信お知らせの設定が「ON」のときに有効です。
- 不在着信や未読メール（SMSを含む）を確認すると点滅は停止します。

◆ランプの表示

- 次の場合に点灯または点滅します。
  - 電話の着信時、メール／ｉコンシェルのインフォメーション受信時、通話中、トルカ取得時、ICカードアクセス中
  - FOMA端末の開閉時、GPS測位中（現在地確認、現在地通知、位置提供）
  - 開閉ロックやオートキーロック起動時、静止画や動画の撮影時、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤーの操作中
  - 目覚まし、スケジュールアラーム、お知らせタイマー鳴動中
  - iC通信中
- 機能によっては、イルミネーション設定に従って動作します。

メニューから機能を選択する

◆ メニュー画面と切り替え方法

❖ メニュー画面

次のメニュー画面が利用できます。

きせかえメニュー：きせかえツールを利用して、デザインを変更できるメニューです。
動画に対応したメニューのほかに、文字が大きくて見やすい「拡大メニュー」や、「Simple Menu」も利用できます。お買い上げ時は、FOMA端末のカラーに合わせたきせかえメニューが設定されています。

- きせかえメニューによっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。お買い上げ時に登録されているきせかえツールでは、「プリインストール」フォルダの「ダイレクトメニュー」がこの機能に対応しています。
- きせかえメニューによってはバイリンガルを「English」に設定したときの英語表示に対応していないものがあります。

ベーシックメニュー：メニュー構成とメニュー番号が固定の基本メニューです。

- きせかえツールやメニューのカスタマイズによって、メニューアイコンや背景のデザインは変更することができます。→P102、105
- メニューの文字の大きさは、きせかえツールに連動して変わります。

セレクトメニュー：メニュー項目を自由に登録できるメニューです。→P332

❖ メニュー画面を一時的に切り替えるには

各メニュー画面では、次の操作で一時的に別のメニュー画面に切り替えることができます。待受画面でMENUを押したときにどのメニュー画面を表示するかを設定することもできます。→P102

※1 表示メニュー設定で、きせかえメニューまたはセレクトメニューが設定されているときは切り替えられません。

※2 表示メニュー設定で、ベーシックメニューが設定されているときは切り替えられません。

✔お知らせ

- きせかえメニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。

◆ 機能を選択する

待受中にMENUを押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。メニュー項目に対応したダイヤルキーでメニューを選択する方法（ショートカット操作）と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法があります。

- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字の色が変わったりして選択できません。ただし、きせかえメニューの場合、表示は変わりません。機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。

・メニューの種類やメニュー階層によっては、カーソル位置のメニュー項目の機能説明が表示される場合があります。メニュー項目によっては現在の設定値も表示されます。

❖ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

メニュー項目に番号（項目番号）が割り当てられている場合は、対応するダイヤルキー（1～9、0）や＊、#を押してメニュー項目を選択できます。

・目的のメニュー項目に表示されている項目番号を押してください。
・きせかえツールで「Simple Menu」を設定した場合は、項目番号が異なります。
・メニューの項目番号→P388

〈例〉「電卓」を選択する

1 MENU 7 4

MENU

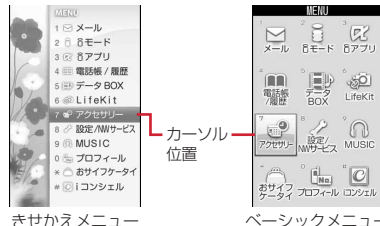
7

4

❖マルチカーソルキーでメニューを選択する

〈例〉「電卓」を選択する

1 MENU▶「アクセサリー」にカーソル▶●

きせかえメニュー　　ベーシックメニュー

・マルチカーソルキーを押してカーソルを移動するとカーソル位置の色やデザインが変わります。メニューによっては左右キーでの移動はできません。
・きせかえメニューに「Simple Menu」を設定した場合は、カーソルを合わせて右キーを押してもメニュー（2階層目まで）が選択できます。

2「電卓」にカーソル▶●

❖待受画面や1つ前のメニューに戻すには

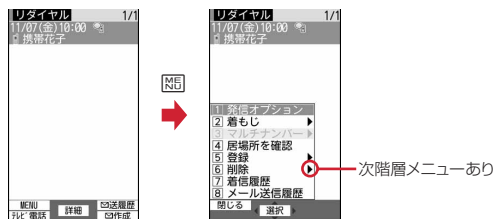
メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。

終話キー：待受画面に戻ります。
CLR：1つ前のメニューに戻ります。メニューによっては、左キーを押しても戻ります。

◆ サブメニューの選択方法

ガイド表示領域の左上に「MENU」と表示される場合は、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

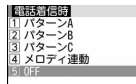
〈例〉リダイヤルのサブメニューを選択する

1 リダイヤル一覧画面で[MENU]▶項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルを合わせて[●]または[●]を押しても選択できます。
- サブメニューの項目番号は、同じ機能でも操作する画面によって異なる場合があります。
- [MENU]または[CLR]を押すと、サブメニューが閉じます。

◆ 各項目の操作方法

■ 項目の選択

数字や[＊][＃][♪][▲][▼]が表示されている場合は対応するキーを押します。[◎]で項目にカーソルを合わせて[●]を押しても選択できます。カーソルを移動するとカーソル位置の項目に枠が表示されたり、色が変ったりします。

電話着信時
1 パターンA
2 パターンB
3 パターンC
4 メロディ連動
5 OFF

- 機能によっては、項目にカーソルを合わせると、バイブレータの振動パターン、イルミネーションの色や点灯パターン、スクリーン設定の配色、画面の明るさなどを確認できます。

■ プルダウンメニューの操作方法

設定する項目にカーソルを合わせて[●]を押し、項目番号に対応するダイヤルキーを押します。

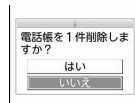
- 項目にカーソルを合わせて[●]を押しても選択できます。

■ チェックボックスの操作方法

項目番号に対応するダイヤルキーを押します。

- 項目にカーソルを合わせて[●]を押しても選択できます。
- ダイヤルキーまたはカーソル位置で[●]を押すたびに、チェックボックスが☑（選択）と□（解除）に切り替わります。
- 機能によっては[MENU]を押すと、すべての項目を選択または解除できます。

■ 確認画面の操作方法

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能実行の確認画面が表示された場合は、「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせて[●]を押します。

- 機能によっては、「はい」「いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

◆ 情報をすばやく表示する〈フォーカスモード〉

待受画面に新着情報アイコンやｉコンシェルのインフォメーションが表示されているとき、カレンダー／待受カスタマイズを設定しているときや待受ショートカットを設定しているときなどは、待受画面で[●]を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。

- ｉコンシェルのインフォメーションについて→P189
- 待受ショートカットについて→P330
- カレンダー／待受カスタマイズが設定されているときにｉコンシェルのインフォメーションが表示されると、カレンダー／待受カスタマイズにカーソルを移動できません。

1 [●]▶アイコンにカーソル▶[●]

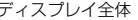
カーソル位置のアイコンが赤い枠で囲まれます。

マルチカーソルキーで移動可能な方向を示します。

- 選択したアイコンに対応する画面が表示されます。
  - (不在着信)：着信履歴一覧が表示されます。2in1がデュアルモード時、Bナンバーへの不在着信のみがある場合は、Aナンバーと Bナンバーの不在着信がある場合はを表示します。
  - (伝言メモ)：伝言メモ一覧が表示されます。
  - (留守番電話サービスの伝言メッセージ)：メッセージ再生確認画面が表示されます。2in1がデュアルモード時、Bナンバーへの伝言メッセージのみがある場合は、AナンバーとBナンバーの伝言メッセージがある場合はを表示します。
  - (未読メール)：受信メールのフォルダ一覧が表示されます。
  - (未読トルカ)：最新の未読トルカが保存されているフォルダのトルカ一覧が表示されます。
  - (ｉアプリコール)：ｉアプリコール履歴が表示されます。
- 次のアイコンが表示されたときも同様に操作できます。
  - ：USBケーブルで外部機器と接続
  - ／：ソフトウェア更新予告／お知らせ
  - ／：最新パターンデータの自動更新成功／失敗
  - ／／：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了
  - ／：Music&Videoチャネル番組取得の成功／失敗
  - ／：ワンセグ予約録画完了／失敗
  - ：ワンセグ予約録画中／ワンセグ録画中（視聴のみ終了）
  - ：ウォーキングチェッカー

フォーカスモードを解除する：[CLR]または[▭]

✔お知らせ

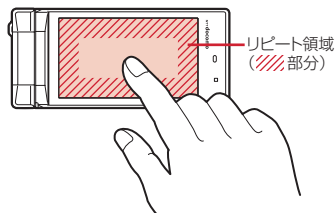
- 新着情報のアイコンにカーソルを合わせて[CLR]を1秒以上押すと、アイコンは一時的に消えます。留守番電話サービスの伝言メッセージのアイコンの場合は、表示消去の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると表示されなくなります。新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。
- フォーカスモード中は、[MENU]を押してもメニューを表示できません。

タッチパネル

ビューアスタイルで機能を選択する

ビューアスタイルではディスプレイをタッチパネルとして利用し、タッチ操作とサイドキー操作で機能を選択します。ビューアメニューから、カメラ、ビデオカメラ、フルブラウザ、ワンセグビデオ、ワンセグ視聴、マイピクチャ、ｉモーション、マイドキュメント（PDFデータ）、PCドキュメント（その他データ）を起動できます。また、メールの閲覧、電話やプッシュトークの応答、各種アラームの停止、位置提供や現在地通知などもできます。

- 表示画面はすべて横画面になります。
- ビューアメニューから起動できる機能やメールの表示は、通常スタイルで操作中にビューアスタイルに切り替えても操作できます。
- ビューアスタイルで画像、動画／ｉモーション、PDFデータ、その他（Word、Excel、PowerPoint）を表示する場合は、常に全画面表示になります。
- ビューアスタイルで操作できない旨のメッセージが表示された場合は、通常スタイルにしてから操作してください。
- ビューアスタイルでは、フィンガーポインター、ダブルタップによるアラームの停止（モーションセンサー）、サイドキー長押し設定による操作は動作しません。

◆ タッチ操作

- タッチ操作の有効範囲はディスプレイ全体（　部分）です。指の腹で押すように触れて操作します。

- タッチ操作は次の4種類です。機能や画面によって使う操作が異なります。
  タッチ：画面を軽く1回触ってから離します。
  ダブルタッチ：画面を軽く2回触ってから離します。
  スライド：画面に軽く触れたまま、上下左右のいずれかの方向に動かしてから離します。
  すばやくスライド：画面に軽く触れたあと、上下左右のいずれかの方向にすばやく指をはらいます。
- スライドしながらリピート領域に移動した場合は、指を離すまでその操作を連続して動作させることができます。フルブラウザ、マイドキュメント（PDFデータ）、PCドキュメント（その他データ）の全画面表示やメール本文の表示画面のスクロール操作、動画／ｉモーションの巻き戻し／早送りの操作で利用できます。
- 操作画面によっては、メニューや選択項目以外のタッチ操作は無効になります。また、全画面表示では、機能によって画面の一部の範囲のタッチ操作が無効になる場合があります。

❖タッチ操作利用時のご注意

- 次のような場合、タッチ操作は動作しません。
  - 手袋をした指、2本以上の指、爪、ペン、ボールペン、鉛筆などによる操作
  - 異物をディスプレイ上にのせたままでの操作
- 次のことは誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ディスプレイに貴金属品やアクセサリなどがぶつかる
  - ディスプレイに水滴や汚れがついていたり、濡れたり、汚れたり、汗をかいたりした指で触れる
  - 極端に指を早く動かす
  - ディスプレイに保護シートやシールなどを貼る
- 無理な力での操作は避けてください。けがや破損の原因となります。
- 爪を立てたり、ペン先のような尖ったもので操作したりしないでください。ディスプレイにキズがついたり、故障の原因となります。

◆ ビューアメニュー

❖ビューアメニューを表示する

通常スタイルで待受画面やメニュー画面の表示中にビューアスタイルにすると、ビューアメニューが表示されます。ビューアスタイル中に起動中の機能を終了した場合も表示されます。

ビューアメニュー

① カメラ：静止画撮影の起動
② ビデオカメラ：動画撮影の起動
③ フルブラウザ：「ホーム」「Bookmark」「ラストURL」からフルブラウザ画面の表示
- メニューは2階層目まであります。

④ ワンセグビデオ：データBOXの「ワンセグ」の表示
⑤ ワンセグ視聴：ワンセグ視聴の起動
⑥ マイピクチャ：データBOXの「マイピクチャ」の表示
⑦ ｉモーション：データBOXの「ｉモーション」の表示
⑧ マイドキュメント：データBOXの「マイドキュメント」の表示
⑨ PCドキュメント：データBOXの「その他」の表示

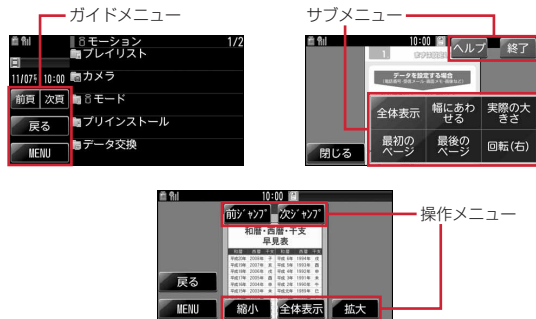
❖ビューアメニューで機能を選択する

〈例〉データBOXの「マイピクチャ」の画像を表示する

1 **ビューアメニューで[画像]をタッチ▶拡大表示されたメニューをもう一度タッチ▶フォルダをタッチ▶画像ファイルをタッチ**

- 既に拡大表示されているメニューは、1回のタッチで起動できます。

❖基本操作

■ ガイドメニュー／サブメニュー／操作メニュー

- ガイドメニューの共通メニューは次のとおりです。
  ［前頁］／［次頁］：一覧が複数ページにわたる場合はページの切り替え、メール詳細画面の場合は前後のメールに切り替え
  ［戻る］：1つ前の画面に戻る
  ［MENU］：サブメニューを表示
  ［閉じる］：サブメニューを閉じる（ガイドメニューやサブメニューの領域以外をタッチしても閉じる）
- サブメニューの共通メニューは次のとおりです。
  ［ヘルプ］：タッチ操作ガイドの表示（ガイドメニューやサブメニュー以外でダブルタッチ、スライド、すばやくスライドの操作ができる場合のみ）
  ［終了］：機能を終了してビューアメニューに戻る
- サブメニューで[⋯]が表示されているメニューをタッチすると次階層のメニューが表示されます。
- 共通メニュー以外の各メニューは機能によって異なります。→P42

■ メニューの表示／非表示の切り替え

[♪]を押すか、カメラとビデオカメラ以外の全画面表示では画面上（メニュー以外）をタッチするたびにメニューの表示／非表示が切り替わります。メニューを表示してから約10秒間何も操作しないと自動的に消えます。

■ 機能終了の操作

機能を終了してビューアメニューに戻る場合は、ガイドメニューで［MENU］をタッチし、サブメニューで［終了］をタッチします。終了の確認画面が表示された場合は［はい］をタッチします。

- ガイドメニューで［戻る］をタッチする操作を繰り返しても、ビューアメニューに戻ります。
- メニューが表示されていない場合は、[♪]を押して表示させてから操作してください。

■ 項目の選択

フォルダやデータ、フルブラウザ画面のリンク項目などは、選択したい項目を直接タッチします。

データ項目の選択

リンク項目の選択

■ 認証操作

端末暗証番号入力画面または指紋認証画面が表示された場合は、認証操作を行います。

- オールロック中や待受画面で開閉ロック／オートキーロック中になっている場合にビューアスタイルにしたときや、ビューアメニューでオートキーロックが起動したときは、オールロック中は「オールロック中」とのみ表示され、開閉ロック／オートキーロック中はアイコンと時計のみ表示された状態になります。画面をタッチすると端末暗証番号入力画面または指紋認証画面が表示されます。
- 指紋認証→P114
- タッチ文字入力の端末暗証番号入力→P359

■ 確認画面の操作

機能実行の確認画面が表示された場合は、確認画面中の項目（[はい] など）をタッチします。

- ガイドメニューの［閉じる］をタッチすると確認画面が閉じます。

■ チャンネル切り替え（ワンセグ視聴中）／音量調整（ワンセグ視聴中、ビデオ再生中、動画／ｉモーション再生中）

- 画面上で右または左にスライドするとチャンネル切り替えパネルが表示されます。◁または▷をタッチするとチャンネルが切り替わります。
- 画面上で上または下にスライド、または操作メニューで［音量］をタッチすると音量調整パネルが表示されます。音量調整パネルが表示されているときに、パネル上で上または下にスライドすると音量が変更されます。
- パネル以外の部分をタッチするか、パネルを表示してから3秒間何も操作しないと表示が消えます。

チャンネル切替

チャンネル切り替えパネル

音量調整パネル

■ サイドキーの共通操作

- 全画面表示では、を押すたびに、ガイドメニューや操作メニューの表示／非表示が切り替わります。
- フォルダ一覧やデータ一覧でを押すと1つ前の画面に戻ります。
- （1秒以上）を押すたびに、マルチタスクメニューの表示／非表示が切り替わります。
- 2階層目以降のサブメニュー表示中にを押すと1つ前の階層に戻ります。

❖各機能から利用できる操作

■ カメラ／ビデオカメラ

メニュー操作について→P200、203、209

■ ワンセグ視聴

メニュー操作について→P218、222

■ フルブラウザ

- サブメニューで、［ホーム］、［Bookmark登録］、［Bookmark表示］、［ラストURL］、［ズーム］を利用できます。
- 操作メニューで、［再読み込み］、［◀］（前のページに戻る）、［▶］（次のページに進む）を利用できます。
- メニュー以外に次の操作ができます。
  - スクロール：画面上でスライド（または、すばやくスライド）
  - 縮小／拡大（ズーム）：画面上でダブルタッチ
  - リンク先の表示（メールアドレスは非対応）：リンク項目をタッチ
- データ取得中は、サブメニューで［中断（全ウィンドウ）］、［中断（ウィンドウ）］を利用できます。
- モーションセンサー設定を「ON」にすると、を押しながらFOMA端末を上下左右に傾けて画面をスクロールできます。→P46
- フルブラウザ画面での文字入力→P358

■ ワンセグビデオ、マイピクチャ、ｉモーション、マイドキュメント（PDFデータ）、PCドキュメント（その他データ）の共通操作

- フォルダ一覧やデータ一覧では次の操作ができます。
  - フォルダ選択：フォルダ名をタッチ
  - microSDの一覧に切り替え（ワンセグビデオを除く）：フォルダ一覧で［MENU］、［microSD］を順にタッチ
  - データ選択：データ一覧でサムネイル表示の項目をタッチ
  - ページの切り替え：画面上ですばやくスライド

■ マイピクチャのフォルダ一覧と画像表示中

- データ一覧のサブメニューで［スライドショー］を利用できます。
- 画像表示中は次の操作ができます。
  - 縮小／等倍／拡大表示：画像表示中に画面上でダブルタッチ、［縮小］／［等倍］／［拡大］をタッチ（1回のタッチで20%縮小または拡大）
  - スクロール：画面上でスライド
  - 前後の画面表示：画面上で左または右にすばやくスライド、
- モーションセンサー設定を「ON」にすると、FOMA端末の天地の向きに合わせて画面の縦横や表示サイズが切り替わります。→P45

■ 動画／ｉモーション再生中

- 操作メニューで、［PAUSE］、［PLAY］、［音量］を利用できます。
- サブメニューで、［STOP］を利用できます。
- 再生中は、メニュー以外に次の操作ができます。
  - ワイド／全画面の切り替え：画面上でダブルタッチ
  - 巻き戻し／早送り再生：画面上で左または右にスライド（一時停止中はスライドするごとに5分単位で移動）
- ダブルタッチやスライドの操作は、ガイドメニューや操作メニューが表示されていない場合だけ動作します。

■ ワンセグのビデオ再生中
- 操作メニューで、[◀◀]／[▶▶]（巻き戻し／早送り）、[❚❚]（一時停止）、[▶]（再生）、[<<サーチ]／[>>サーチ]（一時停止中に1コマ戻し／送り）、[字幕]、[画面切替]、[音量]を利用できます。
- サブメニューで、[再生終了]、[スキップ送り（30秒）]、[スキップ戻し（15秒）]、[始めから再生]、[前のビデオ]、[次のビデオ]を利用できます。
- サイドキーで、次の操作ができます。
  - ：一時停止／再生
  - ：音量調整
  - （1秒以上）／（1秒以上）：高速早送り／高速巻き戻し

■ マイドキュメント（PDFデータ）／PCドキュメント（その他データ）の表示中
- 操作メニューで、[拡大]、[全体表示]、[縮小]、[前ジャンプ]／[次ジャンプ]（全体ページの10%ずつ移動）を利用できます。
- サブメニューで、[全体表示]、[幅にあわせる]、[最初のページ]、[最後のページ]、[回転（右）]を利用できます。
- マイドキュメント（PDFデータ）の表示中は、サブメニューで、[実際の大きさ]を利用できます。
- PCドキュメント（その他データ）の表示中は、サブメニューで、[ケータイモードへ切替え]、[PCモードへ切替え]を利用できます。
- メニュー以外に次の操作ができます。
  - スクロール：画面上でスライド
  - 拡大：画面上でダブルタッチ

✔お知らせ
- ダウンロードに失敗したり、部分的に取得したPDFデータやｉモーションを選択したときの再取得の操作は、通常スタイルに戻してから操作してください。

❖その他の機能

ビューアメニューから起動する機能以外に、ビューアスタイルで操作できる機能は次のとおりです。

■ 電話やプッシュトークの着信
電話やプッシュトーク着信時に、着信画面で[通話]（プッシュトーク着信時は[応答]）をタッチすると通話できます。ビューアスタイルのまま、FOMA端末の受話口の位置が上になるように持って通話します。
- ガイドメニューで、[通話]（プッシュトークは[応答]）、[応答保留]（電話のみ）、[切断]を利用できます。通話中は[保留]、[解除]、[切断]を、プッシュトーク通信中は[切断]を利用できます。
- 電話の着信時はサブメニューで、[着信拒否]、[留守番電話]、[転送でんわ]を利用できます。
- 音量調整のみで音量小に、で音量大になります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクやBluetooth機器を使っても電話にでることができます。

■ 音声電話の発信
スイッチ付イヤホンマイクを使って音声電話をかけることができます。通話中は、ガイドメニューで[保留]、[解除]、[切断]を利用できます。

■ メールの表示
メールの着信があった場合は、受信結果画面が表示されます。「メール」、フォルダを順にタッチすると、受信メール詳細画面が表示されます。通常スタイルでメールのフォルダ一覧やメール一覧を表示中にビューアスタイルにした場合も同様に操作できます。
- 受信メール詳細画面では次の操作ができます。メール一覧で本文が表示されているときは、スクロールと縮小／等倍／拡大表示の操作ができます。
  - スクロール：上または下にスライド
  - 前後のメールに切り替え：画面上で左または右にすばやくスライド
  - 添付メロディの停止：画面上でダブルタッチ
  - 縮小／等倍／拡大表示：画面上でタッチし、[縮小]／[等倍]／[拡大]をタッチ
- デコメアニメ®の場合は、[プレビュー]をタッチするとFlash画像が再生されます。再生中は、[リトライ]、[停止]、[スキップ]（メール本文の表示に戻る）を利用できます。
- メール一覧画面のサブメニューで[拡縮]を利用できます。

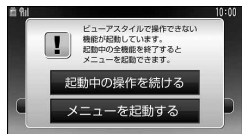
■ ｉコンシェルのインフォメーションの受信確認
ｉコンシェルのインフォメーションを受信した場合は受信確認画面で[確認]をタッチします。FOMA端末を通常スタイルに戻してからを押すと、インフォメーションの内容を確認できます。ビューアスタイルのまま[OK]または[閉じる]をタッチすると確認画面を閉じて、操作中の画面に戻ります。

■ 目覚ましやスケジュールアラーム、お知らせタイマーの停止
[停止]または鳴動中に表示される画像をタッチすると停止します。目覚ましアラーム鳴動中は停止またはスヌーズ動作になります。
停止中の画面でを押す（目覚ましのスヌーズ動作で停止中は無効）か、[閉じる]をタッチすると終了します。
- お知らせタイマーカウントダウン中に[閉じる]、[はい]を順にタッチすると終了します。
- 鳴動中のサイドキーの操作は、通常スタイルの場合と同じです。

■ 位置提供、現在地通知
確認画面が表示された場合は、［OK］や［はい］をタッチすると位置提供や現在地通知が開始されます。［クリア］をタッチすると処理が中断されます。

■ パターンデータ自動更新の中止
パターンデータの自動更新画面が表示された場合は、ダウンロード中に［中止］、［はい］の順にタッチすると、パターンデータの自動更新を中止します。

❖ビューアスタイルで操作できない機能を利用すると

表示できないデータを選択したときや、利用できない機能を利用しようとすると次の画面が表示されます。

- ［起動中の操作を続ける］をタッチすると、「本体を開いて操作してください」と表示されます。通常スタイルに戻すとメッセージが消え、続けて操作できるようになります。
- ［メニューを起動する］をタッチすると「起動中の全機能を終了しています」と表示された後に、ビューアメニューが表示されます。

◆ ビューアスタイルのマルチタスクメニューを使う

ビューアスタイルで♫（1秒以上）を押し、表示されたメニューから、マナーモード設定、ICカードロック、省電力モードON／OFF、画面OFFの4つの機能を選択できます。

- 利用中の機能によっては、同時に実行できない場合があります。
- ICカードロックを解除する場合は、認証操作が必要です。
- ［画面OFF］をタッチした場合は、画面の照明が消灯しタッチ操作ができなくなりますが、▲▼や⎙、♫を押したり、通常スタイルに戻したり、電話やメールを着信したときなどに再び点灯します。
  照明が消灯しているときに、音声電話やテレビ電話の着信、位置提供の要求があった場合は、♫を押すとタッチ操作ができるようになります。

フィンガーポインター

指紋センサーを使ったポインティング操作

指紋センサーを操作することで、マルチカーソルキー（●▲▼◀▶）と同様にメニューの操作や、ｉアプリ（対応ｉアプリのみ）、フルブラウザの画面操作などができます。また、背面ディスプレイにメニューを表示している場合は、▲▼や♫と同様に操作できます。

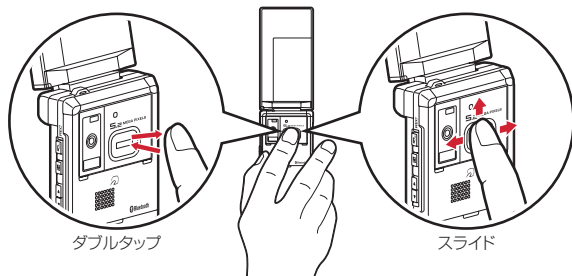
- 次の場合は、フィンガーポインターの操作はできません。
  - 待受画面（フォーカスモード中を除く）、電話中画面、ビューアスタイル
  - FOMA端末を閉じた状態で、背面ディスプレイのメニューが表示されていないとき
- 指紋センサーの注意事項について→P113「指紋センサー利用時の留意事項」

❖ポインティング操作について

基本の操作は次のとおりです。

ダブルタップ：指紋センサーの中心に指の腹が当たるように、軽く2回叩く（なるべく指紋センサーに指を平行に当てるように操作してください）

スライド：指紋センサーに軽く触れたまま、上下左右方向に指を動かす

ダブルタップ　　スライド

- フィンガーポインターの操作とマルチカーソルキーでの操作は次のように対応しています。

フィンガーポインターの操作	マルチカーソルキーの操作	背面ディスプレイのメニュー表示でのサイドキーの操作
スライドする（サイドキーの操作は左右スライドのみ有効）	[マルチカーソル]	[▲][▼]
スライドさせた後に触り続ける	[マルチカーソル]（1秒以上）	―
ダブルタップ	[●]	[サイドキー]
1秒以上触る※	[●]（1秒以上）	―

※ フルブラウザでのみ利用できます。
- フィンガーポインターの操作は、軽いタッチで行ってください。爪を立てたり、力を入れると指紋センサーが破損するおそれがあります。

◆ フィンガーポインターの有効範囲や速度を設定する〈フィンガーポインター設定〉

1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][7]▶各項目を設定▶[カメラ]

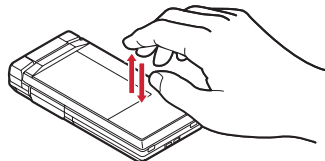
フィンガーポインターの有効範囲：フィンガーポインターの有効範囲を設定します。
- 「フルブラウザ／ｉアプリ有効」に設定すると、フルブラウザとｉアプリでのみフィンガーポインターを利用できます。
- 「無効」に設定すると、指紋センサーは指紋認証のみでの利用となります。

ポインターの移動速度：スライド操作する場合の移動速度を設定します。
ダブルタップの速度：ダブルタップする場合の速度を設定します。

モーションセンサーを利用する

モーションセンサーを利用するとFOMA端末をダブルタップしたり、傾けたりすることで、さまざまな操作ができます。

■ FOMA端末をダブルタップしてアラームを停止する

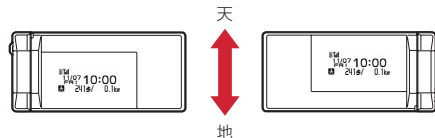
FOMA端末を閉じた状態で目覚ましやスケジュールアラーム、お知らせタイマー鳴動中にFOMA端末をダブルタップ（2回叩く）すると、鳴動が停止します。目覚ましは停止またはスヌーズ動作になります。

■ Flash画像が変化する

モーションセンサーに対応したFlash画像を待受画面に設定しているときは、FOMA端末を動かすと画像が変化します。

■ 画像表示時に縦横や天地を自動で切り替える

ビューアスタイルでマイピクチャの画像（JPEG形式）を表示するとき、FOMA端末の天地を感知し、縦横や表示サイズが自動的に切り替わります。

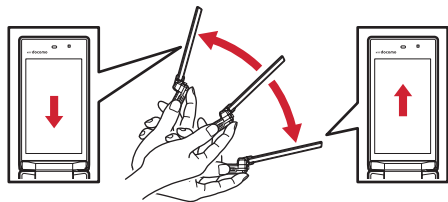
■ 背面ディスプレイの表示を逆転する

FOMA端末を閉じた状態で背面ディスプレイを表示したとき、FOMA端末の天地を感知し、向きに合わせて表示を切り替えます。

■ 静止画撮影時の縦長／横長および天地を自動で切り替える

静止画撮影する際のFOMA端末の傾きに合わせて、保存される静止画の縦長／横長および天地が自動的に切り替わります。→P206

■ 端末を傾けてフルブラウザ画面をスクロールする

フルブラウザ画面で[センサーキー]を押しながら、FOMA端末を上下左右に傾けると、ブラウザ画面を上下左右斜めにスクロールできます。傾ける角度が大きいほどスクロールの速度が速くなります。たとえば、手前に傾けると下にスクロール、向こう側に傾けると上にスクロールします。

- 画面がスクロールしてもポインターは移動しません。

■ イルミネーションが変化する

通話中やFOMA端末を閉じたときは、ランプ点灯中にFOMA端末を傾けると、イルミネーションが変化します。

✔お知らせ

- 叩く位置や強さによっては、アラームが停止しないことがあります。また、強く叩きすぎると故障の原因になりますのでご注意ください。
- 歩行中や振動の多い場所では、ダブルタップによるアラームの停止や、FOMA端末を傾けてのフルブラウザ画面のスクロールは正しく動作しません。また、画面を見ながらの歩行は危険ですのでおやめください。
- FOMA端末を手で持ち上げた場合にも、ダブルタップとして動作することがあります。

◆ モーションセンサーを有効にする〈モーションセンサー設定〉

1 MENU［設定／NWサービス］7 8 ▶ 1 または 2

- 「OFF」に設定しても、モーションセンサー対応のFlash画像は動作します。

FOMAカードを使う

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。

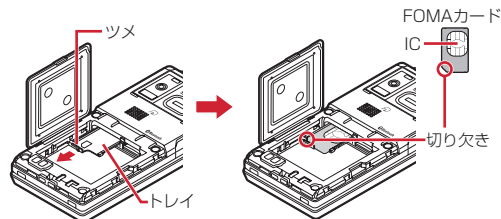
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ 取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- IC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P49

■ 取り付けかた

① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出す

② IC面を上にして、切り欠きの向きを合わせてFOMAカードをトレイにセットし、トレイを奥まで押し込む

■ 取り外しかた

① 取り付けかたの操作①を行う

② FOMAカードを取り出す

✔**お知らせ**

- FOMAカードの無理な取り付けや取り外し、トレイが斜めに挿入された状態での電池パックの取り付けなどによって、FOMAカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイが外れてしまった場合は、FOMAカードは取り外した状態で、トレイをFOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。

◆ 暗証番号

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号が設定されています。

- 暗証番号はお客様ご自身で変更できます。→P112

◆ FOMAカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカードのセキュリティ機能（FOMAカード動作制限機能）が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはFOMAカードのセキュリティ機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードのセキュリティ機能の対象となるデータは次のとおりです。
  - テレビ電話伝言メモ、動画メモ、画面メモ
  - ｉモードメールの添付ファイル（トルカを除く）、デコメール®や署名に挿入されている画像、デコメアニメ®テンプレート、メッセージR/F、FOMAカードのセキュリティ機能の対象となるデータが含まれたデコメール®テンプレート
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）、トルカ（詳細）の画像
  - 画像（GIFアニメーションやFlash画像、お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、ｉモーション、コンテンツ移行対応のデータ、メロディ、PDFデータ、キャラ電、Word、Excel、PowerPointファイル、マチキャラ
  - きせかえツール、着うた®・着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、赤外線通信／iC通信やmicroSDカードへのコピーや移動ができません。
- 異なるFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。また、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたｉアプリは、削除以外の操作ができません。

✔**お知らせ**

- FOMAカードのセキュリティ機能の対象になっているデータを、待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、異なるFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。その場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データのFOMAカードのセキュリティ機能は解除され、設定は元の状態に戻ります（データを待受画面のランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信／iC通信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkを利用して入手したデータ、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画などには、FOMAカードのセキュリティ機能は設定されません。
- 次の設定はFOMAカードに保存されます。
  - 自局電話番号
  - SMS設定（「送達通知」以外）
  - 証明書管理のドコモ証明書、ユーザ証明書
  - バイリンガル、FOMAカード（UIM）、優先ネットワーク設定

◆FOMAカード差し替え時の設定

FOMA端末に取り付けられているFOMAカードを別のFOMAカードに差し替えた場合、次の設定は変更されます。

設　定	変更内容
自局電話番号、バイリンガル、SMS設定（「送達通知」以外）、証明書管理の「ドコモ証明書」と「ユーザ証明書」、FOMAカード（UIM）のPIN1コードとPIN2コード、PIN1コードON／OFF、優先ネットワーク設定	差し替えたFOMAカードに保存されている内容に変更されます。
ｉチャネル設定、通話料金自動リセット設定、ｉウィジェットローミング設定	お買い上げ時の設定に戻ります。
フルブラウザのアクセス設定	差し替え前の設定に関わらず「利用しない」に設定されます。
フルブラウザのCookie設定／削除	差し替え前の設定に関わらず「無効」に設定されます。Cookie情報は保持されますが、再度、「有効」または「有効（毎回確認）」に設定すると、Cookie情報を削除する確認画面が表示されます。
Music&Videoチャネルの番組設定	差し替え前の設定は解除されます。必要な場合は再度番組を設定してください。

◆FOMAカードの種類

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P82
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P184
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	P372
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P365

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモの国際ローミングサービスです。

※ 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。

※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。

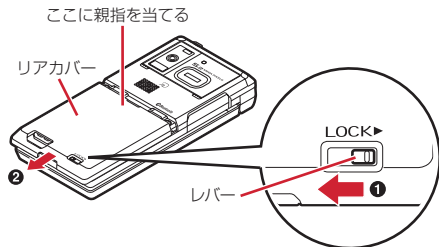
※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。

※ 万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

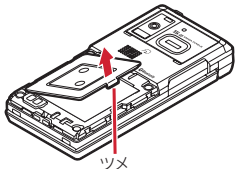
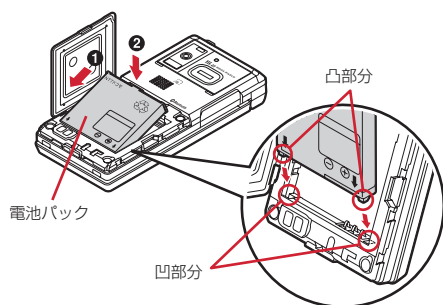
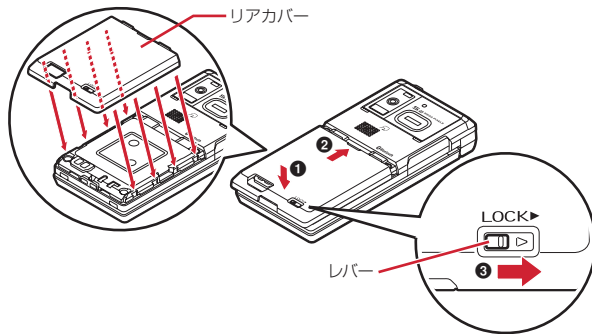
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

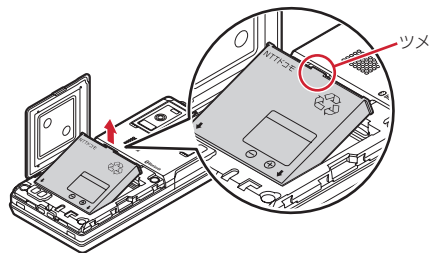
- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。

■ 取り付けかた

① リアカバーのレバーを❶の方向にスライドさせてロックを外した後、親指でリアカバーを押しながら、❷の方向に約2mmスライドさせて外す

※ リアカバーがスライドしにくい場合は、FOMA端末を持って、両方の親指でリアカバーをスライドさせてください。

② 内蓋のツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて開く

※ 内蓋は、防水性能を維持するため、しっかりと閉じる構造になっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

③ 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込んでから内蓋を閉じる

④ リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付け、リアカバーのレバーを❸の方向にスライドさせてロックする

■ 取り外しかた

① 取り付けかたの操作①～②を行う
② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す

✔お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。
- 浸水を防ぐため、リアカバーをしっかりと取り付けてレバーでロックしてください。
- 内蓋のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

❖電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F-01Aの性能を十分に発揮するために、必ず電池パックF10をご利用ください。

❖充電時間（目安）

F-01Aの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ	約150分
DCアダプタ	約150分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約620時間 移動時（自動）：約340時間 移動時（3G固定）：約360時間
	GSM	静止時（自動）：約310時間
連続通話時間	FOMA／3G	音声電話時：約230分 テレビ電話時：約100分 （代替画像使用時：約130分）
	GSM	約220分
ワンセグ視聴時間		約310分 （ワンセグECOモード時：約360分）

- 連続待受時間とは、F-01Aを閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、平型ステレオイヤホンセット P01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。
- ｉモード通信を行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、プッシュトーク通信、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーションの再生、Music&Videoチャネルの番組の取得や再生、ミュージックプレーヤーでの曲の再生、ワンセグの視聴や録画、Bluetooth接続などを行うと、通話や通信、待受の時間は短くなります。

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

❖充電について

- 詳しくは、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

✔お知らせ

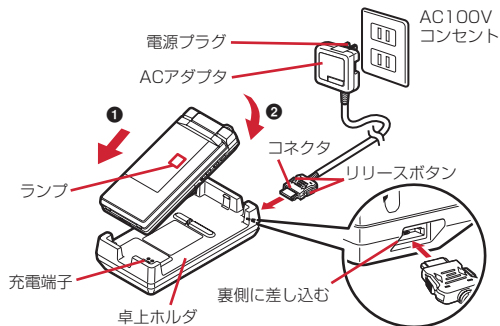
- ｉアプリによっては、FOMA端末を閉じても常に動作状態となり、電力を消費し続ける場合があります。その場合、通話や通信、待受の時間が短くなることがあります。
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、ワンセグ視聴／録画中、動画／ｉモーション再生中、Music&Videoチャネル番組取得中、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤー起動中、ｉアプリの動作中などに充電を開始すると充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。
- 照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定で通常時を「常時点灯」に設定した状態でFOMA端末を開いたまま充電するなど、照明／キーバックライト設定の設定や充電のしかたによっては、充電が完了しない場合があります。充電を完了させるには、FOMA端末を閉じて充電することをおすすめします。
- 充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。

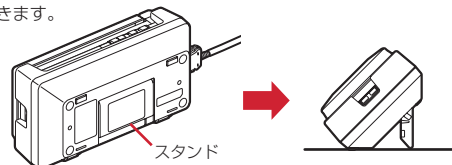
❖ACアダプタや卓上ホルダで充電する

別売りのACアダプタやDCアダプタ、卓上ホルダを利用するときは、各取扱説明書もご覧ください。

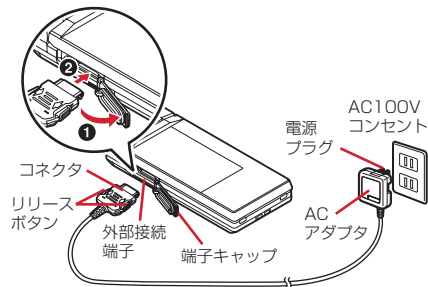
- 外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 電池パック単体での充電はできません。FOMA端末に電池パックを取り付けて充電します。
- FOMA端末はどの利用スタイルでも充電できます。

■ 卓上ホルダと組み合わせて充電する

① ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダへ水平に差し込む
② ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
③ FOMA端末を閉じた状態またはビューアスタイルで、FOMA端末の充電端子を卓上ホルダの充電端子に合わせ（❶）、矢印方向（❷）にカチッと音がするまで押し込む
④ 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえてFOMA端末を取り外す

卓上ホルダを立てて使う

卓上ホルダ背面にあるスタンドを引き出すと、卓上ホルダを立てて使うことができます。

※ スタンドを立てる際は、無理な力を加えないでください。

■ ACアダプタだけで充電する

① FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込む（❷）
② 電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
③ 充電が終わったら、電源プラグをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く

❖自動車の中で充電するには

FOMA DCアダプタ01／02（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。

- 詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

✔お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

❖充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、ディスプレイや背面ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプは消灯し、電池アイコンの点滅も止まります。

- 充電を開始するとランプが赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中にメールを受信したり、撮影をしたりするとランプは一時的に異なる色で点灯しますが、しばらくたつと赤色に点灯します。
  これらの理由以外で充電中にランプが点滅する場合→P419「故障かな？と思ったら、まずチェック」
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 通話中や通信中、プッシュトーク通信中、マナーモード中、公共モード中、充電確認音が「OFF」の場合、充電開始時や完了時の確認音は鳴りません。
- 「プリインストール」フォルダ以外のきせかえツールで電池アイコンが設定されている場合は、お買い上げ時に設定されている電池アイコンが点滅します。

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池アイコンで、電池残量の目安が確認できます。

（電池残量3）：十分残っています。
（電池残量2）：少なくなっています。
（電池残量1）：ほとんどありません。充電してください。

- お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイで電池残量を確認できます。

❖電池が切れそうになると

電池がない旨のメッセージが表示されます。●、CLR、のいずれかを押すとメッセージは一時的に消えます。しばらくたつとスピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。この約1分後に電源が切れます。充電を開始するとこれらの動作は止まりますが、すぐに電池アラームを止める場合はを押します。

- 通話中は、メッセージの表示とともに受話口から電池アラームが聞こえます。約20秒後に通話が切れ、スピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。
- ビューアスタイルで電池アラームを止める場合は、、、のいずれかを押します。

◆電池残量を音と表示で確認する〈電池レベル表示〉

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 5

電池残量が表示され、残量に応じてキー確認音（→P94）が鳴ります。しばらくたつとメニュー一覧表示に戻ります。
電池残量3：「ピッピッピッ」と3回鳴ります。
電池残量2：「ピッピッ」と2回鳴ります。
電池残量1：「ピッ」と1回鳴ります。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

❖電源を入れる

1 [電源キー]（2秒以上）

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。FOMAカードの読み込み中はディスプレイ下部に[アイコン]が表示されます。

- ディスプレイ上部に表示されるアンテナアイコンで、電波の受信レベルの目安が確認できます。

待受画面

アイコン	[アイコン4段階]	圏外
受信レベル	強 ⟷ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- お買い上げ時のアンテナアイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイで受信レベルを確認できます。

❖電源を切る

1 [電源キー]（2秒以上）

◆初めて電源を入れたときに行う操作

初めて電源を入れたときは、「拡大メニューの設定」→「初期設定」の順に操作してください。設定した内容は後から変更できます。

- 初期設定が終了すると、ソフトウェア更新機能の確認画面が表示されます。[●]を押すと待受画面が表示されます。

❖拡大メニューの設定

1 確認画面で「はい」または「いいえ」

- 「はい」を選択すると、きせかえツールの「拡大メニュー」が設定されます。
  [CLR]または[電源キー]を押して確認画面を消すと、次に電源を入れたときに、再び確認画面が表示されます。

❖初期設定

- 暗証番号設定と位置提供可否設定は必ず設定してください。暗証番号設定と位置提供可否設定を設定せずに[カメラ]または[CLR]、[電源キー]を押すと、終了の確認画面が表示されます。「はい」を選択して終了すると、次に電源を入れたときに、再び初期設定画面が表示されます。
- 待受画面で[MENU]［設定／NWサービス］[7][5][9]を押しても初期設定画面を表示できます。

1 初期設定画面で各項目を設定▶[カメラ]

日付時刻設定：日付・時刻を設定します。→P55
暗証番号設定：認証操作を行った後、端末暗証番号を変更します。→P111
指紋設定：認証操作を行った後、認証に利用する指紋を登録します。→P113
キー確認音設定：キーを押したときの確認音を設定します。→P94
文字サイズ設定：電話帳やメールなどの文字の大きさを設定します。→P107
位置提供可否設定：認証操作を行った後、位置情報を提供するかを設定します。指定した期間だけ位置提供を許可したい場合は、位置提供可否設定で許可期間を設定してください。→P282
フィンガーポインター設定：有効範囲や速度を設定します。→P45

❖Welcomeメールを確認する

お買い上げ時は、「オススメ✧BEST⑥✧」「緊急速報「エリアメール」のご案内」「Welcome✧デコメアニメ」のメールが保存されています。待受画面には✉3が表示され、FOMA端末を閉じるとランプ（点滅）とメールランプで、未読メールがあることをお知らせします。

1 ●▶●

以降の操作→P148「受信／送信／未送信メールBOXのメールを表示する」操作2以降

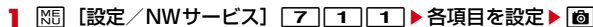
✔**お知らせ**

- FOMA端末の電源を入れるときは、待受画面が表示されるまで指紋センサーに指を触れないでください。
- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れた後認証操作を行う必要があります。正しく認証されると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力するか、指紋のみ認証設定が「ON」の場合に連続5回認証に失敗すると、電源が切れます（ただし再び電源を入れることは可能です）。
- ディスプレイが表示されている状態で何も操作しないでいると、画面オフ時間設定や省電力設定にしたがって自動的に消灯します。音声電話中も同様です。操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

時刻や時差を自動で補正するように設定するか、日付・時刻などを自分で入力します。自動で補正するように設定すると、国内ではドコモのネットワークからの時刻情報を、海外では利用中の通信事業者のネットワークからの時差補正情報を受信した場合に補正します。

1 MENU［設定／NWサービス］711▶各項目を設定▶📷

自動時刻・時差補正：時刻や時差の補正を自動で行うかを設定します。
- 「ON」に設定すると、オフセット時間が設定できます。
- 「OFF」に設定したときは、日付と時刻を設定します。タイムゾーン、サマータイムも設定できます。

オフセット時間：「＋」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間進めて表示されます。「－」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間遅らせて表示されます。

日付：2000年1月1日から2050年12月31日の間で日付を入力します。

時刻：24時間制で時刻を入力します。

タイムゾーン：時差のある場所に移動するとき、日付・時刻の設定を変更せずにタイムゾーンを設定します。
- 日付・時刻を設定したときのタイムゾーンから時差が計算され、表示されます。
- 国内では「GMT＋09:00」に設定します。

サマータイム：「ON」に設定すると、設定した時刻から1時間進めた時間が表示されます。

✔**お知らせ**

〈自動時刻・時差補正を「ON」に設定したとき〉
- 電源を入れたときに時刻や時差の補正を行います。電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正されません。
- 時差補正が行われた場合にはその旨のメッセージが表示されます。
- 海外で時刻や時差の補正が行われた後は、発着信やメール送信などの表示時間は現地時間になります。
- 海外のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。
- 時刻や時差の補正には、数秒程度の誤差が生じる場合があります。

〈一度も補正が行われず、日付･時刻が「--」や「？」などで表示されているとき〉
- 時計や日付･時刻を利用するFlash画像やマチキャラなどは、正しく表示されません。また、自動起動、予約、再生制限があるデータのダウンロードや再生、ユーザ証明書の操作など、日付・時刻情報が必要な機能は起動できません。
- 各種データの日時が記録されず、「----/--/--」「---------------」などと表示されます。さらに枝番（細分化するための番号）が付く場合もあります。

〈自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したとき〉
- 電池パックの取り外しや電池が切れたまま長い間充電しなかったことによって日付・時刻が消去された場合は、充電後にもう一度日付・時刻を設定してください。

発信者番号通知設定

相手に自分の電話番号を通知する

音声電話やテレビ電話をかけたとき、プッシュトークを発信したときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- 圏外では設定の操作はできません。

1 MENU［設定／NWサービス］8 4 1 1 ▶ 1 または 2

- 設定内容を確認するときはMENU［設定／NWサービス］8 4 1 2を押し、「はい」を選択します。

❖発信者番号通知の優先順位

自分の電話番号を相手に通知／非通知にする方法は複数あります。これらを同時に設定したり操作したりした場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。

① 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合→P64
② 相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合→P63
③ 電話帳の発番号設定（プッシュトークは1人に発信した場合）→P86
④ 発信者番号通知設定

✔お知らせ

- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときは、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

プロフィール情報

自分の電話番号を確認する

自局電話番号（ご契約電話番号）や登録した名前、メールアドレスなどを確認します。

1 MENU［プロフィール］

通話中などに確認する：MULTI 0

✔お知らせ

- iモードのメールアドレスの確認方法については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 2in1がデュアルモード時は、✉を押してAナンバーとBナンバーのプロフィール情報を切り替えられます。
- 2in1がONのときにFOMAカードを差し替えた（2in1契約者→2in1契約者）場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにするか、プロフィール情報からBナンバーを取得してください。→P334
また、FOMAカードを差し替えた（2in1契約者→2in1未契約者）場合も、正しいプロフィール情報に更新するために、2in1をOFFにしてください。→P367

電話／テレビ電話／プッシュトーク

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

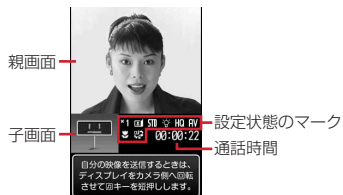
テレビ電話の設定

プッシュトーク

テレビ電話

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。自分側の映像として、キャラ電や静止画を送信したり、カメラに切り替えて自分や周囲の映像を送信したりできます。

- 相手にはテレビ電話画像選択で設定した代替画像が送信されます。カメラに切り替えて自分の映像を送信したり、代替画像を変更したりできます。→P71
- テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。
- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
  ※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体
  ※2 3G-324M…第3世代携帯テレビ電話の国際規格

◆ テレビ電話中の画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  ×1～×16: ズーム
  カメラ映像送信中　カメラオフ画像送信中　キャラ電中
  静止画送信中　通話保留中　応答保留中
  伝言メモ録画中　動画メモ録画中
  Action／Parts: アクションモード（全体アクション／パーツアクション）
  STD／／／: 撮影モード（標準／逆光／モノトーン／セピア）
  : ライトON
  ／HQ: 送信画質（動き優先／画質優先）
  A: 音声送受信中　V: 映像送受信中　AV: 音声・映像送受信中
  1～6: 受話音量調整中
  : 接写撮影ON
  : テレビ電話切り替え可
- ディスプレイ下部にはガイダンスが表示されます。「カメラ画像」に切り替えると、ガイダンスにはサイドキーの操作が表示されます。→P72

電話／テレビ電話をかける

1 電話番号を入力（80桁以内）

- 同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

CLR：1桁削除

2 発信方法を選択

音声電話をかける：
テレビ電話をかける：
テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。
- 画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から通話料金がかかります。

3 通話が終わったら

✔お知らせ

〈音声電話・テレビ電話共通〉
- 2in1がデュアルモード時は発信番号選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。
- 番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

〈音声電話〉
- を押した後に電話番号を入力しても電話をかけられます。その場合、電話番号を入力した後、約5秒後に電話がかかります。

〈テレビ電話〉
- カメラ映像の代わりに代替画像を送信しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。

- テレビ電話が接続できなかった場合は、その理由がメッセージで表示され待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。主なメッセージは次のとおりです。
  - **お話中です**：相手が話し中（相手の端末によっては、パケット通信中のときにも表示されることがある）
  - **発信者番号通知をONにしてください**：発信者番号が非通知（ビジュアルネットなどへの発信時）
  - **音声電話でおかけ直しください**：相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
  - **パケット通信中です**：相手がパケット通信中
  - **ｉモードから接続してください**：IP（情報サービス提供者）が提供しているサイトに接続してからテレビ電話発信していない
  - **上限額を超過しているため接続出来ません**：リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超過している
- テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」のときに着もじを付加してテレビ電話を発信した場合は、再発信時も着もじが付加されます。
- テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」のときにFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

◆ 通話中保留

- 保留中も発信側に通話料金がかかります。

1 通話中に●

通話が保留になり、ランプが緑色で点滅し、メロディが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。
- 音声電話の保留を解除するときは、●または[発信]を押します。
- テレビ電話の保留を解除するときは、次のいずれかの操作を行います。
  ●：保留前に送信していた画像に戻る
  [iα]：カメラ映像が送信される
  [メール]／[発信]：代替画像が送信される
- 保留中は、3分経過するごとに5回までFOMA端末が振動します。ただし、公共モード（ドライブモード）中またはオリジナルマナーモード中でオリジナルマナーモードのバイブレータ設定が「OFF」の場合は振動しません。

◆ スピーカーホン機能を利用する

1 電話番号を入力▶[発信]（1秒以上）または[カメラ]

ディスプレイ上部にが表示されます。
- 電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合は[発信]（1秒以上）または[iα]を押します。
- テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定が「OFF」のときに、スピーカーホン機能を利用する場合は、[カメラ]を1秒以上押します。
- 発信中、呼出中、通話中は、[発信]を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。
- スピーカーホン機能を利用した通話中にビューアスタイルにすると、通話できない旨のメッセージが表示されます。通常スタイルに戻して通話してください。

✔お知らせ

- スピーカーに切り替えると音量が急に大きくなります。FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーから相手の声が聞き取りにくい場合は、スピーカーホン機能をOFFにしてください。
- マナーモード中でも本機能を利用できます。

◆ 通話中に受話音量を調整する

- 本設定は、音量設定の受話音量に反映されます。

1 通話中に[上下]または[▲][▼]

- ビューアスタイルで通話中は、[▲]で音量小に、[▼]で音量大になります。

◆はっきりボイス／ゆっくりボイスを利用する

❖はっきりボイスのON／OFFを切り替える

音声電話中に周囲の騒音レベルを測定し、一定レベルを超えて騒音が大きくなった場合に、自動で相手の声を強調し聞き取りやすくします。また、相手や自分の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

- スピーカーホン機能利用中や海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- 通話終了後も設定は保持されます。
- 本機能は受話音量を調整するためのものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調整してください。

1 音声電話中に［MENU］［7］

ONにすると、自動はっきりボイスが表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。

❖ゆっくりボイスのON／OFFを切り替える

音声電話中に、無音区間を利用して相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の速度で聞こえます。

- ゆっくりボイスをONにすると、相手の声質、音楽や時報などが変化する場合があります。その場合はOFFにしてください。
- 海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- 通話終了後、設定は解除されます。

1 音声電話中に［✉］

ONにすると、ゆっくりボイスが表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。

電話／テレビ電話を切り替える

- 発信側からのみ切り替え操作ができます。
- 音声電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしでご利用いただけます。
- 切り替え操作を行うには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始にしている必要があります。→P74

〈例〉音声電話中にテレビ電話へ切り替える

1 音声電話中に［iα］▶「はい」

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- テレビ電話に切り替わるとスピーカーホン機能がONになります。

テレビ電話中に音声電話へ切り替える：テレビ電話中に［MENU］［1］▶「はい」

- 音声電話に切り替わるとスピーカーホン機能はOFFになります。

✔お知らせ

- 切り替えには5秒程度かかります。電波状態によってはさらに時間がかかる場合があります。
- 音声電話とテレビ電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。切り替え中は通話時間に含まれず、料金は加算されません。
- 電波状態によっては切り替えができず、電話が切れる場合があります。
- キャッチホンでの音声電話中はテレビ電話に切り替えられません。
- 音声電話中にパケット通信を行っている場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中の場合は、テレビ電話に切り替えられません。
- カメラ映像の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。→P71

リダイヤル／着信履歴

リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

プッシュトークを含む発信履歴（リダイヤル）と着信履歴を記録しておく機能です。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 2in1利用時は、リダイヤルと着信履歴はAナンバー最大30件、Bナンバー最大30件の合計60件まで記録されます。
- 同じ電話番号に発信した場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」ごとに最新の1件がリダイヤルに記録されます。

1 （リダイヤル）または（着信履歴）▶相手にカーソル

- 相手を選択すると詳細画面が表示されます。プッシュトーク発着信を選択するとすべてのメンバーが表示され、を押してからメンバーを選択すると詳細画面が表示されます。

〈例〉リダイヤル画面

リダイヤル一覧画面

リダイヤル詳細画面

- マークの意味は次のとおりです。
  - ／：音声電話／国際音声電話の発着信※1
  - ／：テレビ電話／国際テレビ電話の発着信※1
  - ／：64Kデータ通信／国際64Kデータ通信の着信
  - ／：対象が1人／複数のプッシュトーク発着信
  - ／：対象が1人／複数のプッシュトーク発着信（プッシュトークプラス）→P75
  - ／：不在着信／未確認不在着信
  - ／：伝言メモ／未確認伝言メモ※2
  - ：着もじ付きの着信
  - ／：着もじ付きの不在着信／未確認不在着信
  - ／：着もじ付きの伝言メモ／未確認伝言メモ※2
  - ／：発信オプションまたは電話帳の発番号設定で設定した番号通知／非通知の発信
  - ：海外滞在時（GMT+09:00を除く）の発着信※3
  - ：Bナンバーの発着信（2in1がデュアルモード時）
  - ：不在着信の呼出時間（プッシュトーク着信では表示されません）
  - ※1 「010」を直接入力したり、「010」を電話帳に登録して発信したりした場合は、国際電話のマークと「+」は表示されません。
  - ※2 伝言メモを削除すると不在着信のマークに変わります。
  - ※3 発着信日時が記録されていないときなどは表示されない場合があります。

2 または

- 詳細画面でを押すと、選択しているリダイヤル／着信履歴の発着信方法と同じ方法で発信されます。
- [1]を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P64
- 2in1がデュアルモード時は発着信時のナンバーに従って発信されます。

✔お知らせ

〈リダイヤル・着信履歴共通〉

- 通話中に音声電話とテレビ電話が切り替わった場合、発着信時の種別（音声電話またはテレビ電話）が記録されます。
- 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。「010」を付けて発信した場合は表示されません。
- 音声電話中にを押すと、リダイヤル／着信履歴が表示されます。
- 電話帳に画像登録時は、詳細画面の表示は画像／名前表示切替に従います。

〈リダイヤル〉

- マルチナンバー契約時、サブメニューからマルチナンバーを指定して発信した場合は、その名称が詳細画面に表示されます。
- プッシュトークでグループ発信した場合は、グループ名が表示されます。
- プッシュトークで複数のメンバーを選択して発信した場合は、一覧画面にはメンバー一覧の先頭メンバーの情報が表示されます。

〈着信履歴〉

- 電話番号が通知されなかった場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。
- マルチナンバー契約時は着信したマルチナンバーの名称が詳細画面に表示されます。
- 会社などでダイヤルインを利用している相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- 受信した着もじは着信履歴に記録されます。
- 呼出動作開始時間設定の呼出開始時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は着信履歴一覧で[9][1]を押します。元の着信履歴に戻す場合は、[9][2]を押します。
- 着信履歴一覧で[0]を押すと、未確認の不在着信の件数を表示できます。

❖リダイヤル／着信履歴を利用する

- プッシュトークでの利用→P76

相手の居場所を確認する：相手にカーソル▶ MENU 4 ▶「はい」
電話番号を検索対象として「イマドコかんたんサーチ」に接続します。
- イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- プッシュトークで発着信対象が複数の場合は、詳細画面で相手にカーソルを合わせて操作します。

電話帳に登録する：相手にカーソル▶ MENU 5 ▶ 1 または 2 ▶ 1 または 2
電話帳登録→P82
- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

ｉモードメールを作成する：相手にカーソル▶ ✉
SMSを作成する：相手にカーソル▶ ✉（1秒以上）
リダイヤル一覧／着信履歴一覧を切り替える：MENU 7
メール送信履歴／受信履歴を表示する：📷

✔お知らせ
- 2in1利用時、Bナンバーのリダイヤル／着信履歴ではｉモードメールとSMSは作成できません。

❖詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

1 詳細画面で MENU 9 ▶ 1 ～ 3

❖かかってきた電話に出られなかったとき〈不在着信〉

待受画面に 2(数字は件数) が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。
- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

◆ リダイヤル／着信履歴削除

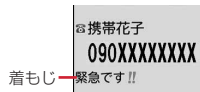
- プッシュトークの場合、メンバーを選択したときは削除できません。

1 ◎（リダイヤル）または◎（着信履歴）▶相手にカーソル▶ MENU 6 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたリダイヤル／着信履歴が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶ 📷 が、全件削除では認証操作が必要です。

着もじ

着もじを利用する

音声電話やテレビ電話をかける際、呼出中に相手側へメッセージを送ることで、あらかじめ用件や緊急度を伝えることができます。
- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- プッシュトークでは利用できません。

☎携帯花子
090XXXXXXXX
着もじ―緊急です!!

◆ メッセージの編集や設定をする

1 MENU［設定／NWサービス］8 3

2 着もじを操作する

メッセージを登録する：1 ▶「〈新しいメッセージ〉」▶着もじを入力（10文字以内）▶ 📷
- 最大10件登録できます。
- 登録済みの着もじを選択すると修正できます。その場合、登録確認画面が表示されます。
- 送信メッセージ履歴から引用するときは MENU 1 を押し、引用する着もじを選択します。
- 1件削除するときはメッセージにカーソルを合わせて MENU 2 を、全件削除するときは MENU 3 を押し「はい」を選択します。

着信時の表示を設定する〈メッセージ表示設定〉：2 ▶ 1 ～ 4
- 「表示しない」にすると着もじを受信しません。

◆ メッセージをつけて電話をかける

着もじは相手の着信画面に表示されます。
- 送信した着もじは送信メッセージ履歴に最大10件保存されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 2in1利用時、送信した着もじは送信メッセージ履歴にAナンバー最大10件、Bナンバー最大10件の合計20件まで保存されます。表示はモードによって異なります。

1 **電話番号を入力▶[MENU][3][1]▶着もじを入力（10文字以内）▶[📷]▶[MENU]または[iα]**

相手に届くと、呼出中画面に「送信しました」と送信結果が表示され、送信料金がかかります。

- 登録済みまたは送信メッセージ履歴からも選択できます。

✔お知らせ

- 相手が非対応端末、メッセージ表示設定が「表示しない」、海外にいるときなどは送信できません。この場合は「送信できませんでした」と送信結果が表示され、送信料金はかかりません。また、相手が電源が入っていない、圏外、公共モード（ドライブモード）中、伝言メモ応答時間設定が「0秒」のときなども送信できず、この場合は送信結果も表示されません。
- 相手の呼出動作開始時間設定の呼出開始時間内でも着もじは送信され、送信料金がかかります。
- 電波状態によっては、相手に着もじが届いて送信料金が発生しても送信結果が表示されない場合があります。
- 海外では着もじを送受信することはできません。
- 2in1がデュアルモード時、Bナンバーの送信メッセージ履歴にはBが表示されます。

186／184

通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- プッシュトークでは利用できません。
- 番号通知方法の優先順位→P56

発信者番号を通知する：[1][8][6]▶電話番号を入力▶[✆]または[📷]
発信者番号を通知しない：[1][8][4]▶電話番号を入力▶[✆]または[📷]

✔お知らせ

- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号が付いた電話番号が記録されます。

プッシュ信号（DTMF）を送出する

- ポーズとタイマーは音声電話にのみ有効です。

❖ポーズ「P」を入力する

ご自宅の留守番電話の操作、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 **電話番号を入力▶[✱]（1秒以上）▶番号を入力▶[✆]**

電話がつながった後に[●]を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

❖タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマー（「T」）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 **電話番号を入力▶[#]（1秒以上）▶内線番号を入力▶[✆]**

- タイマー（「T」）は連続して入力できます。
- タイマー（「T」）1つにつき、約1秒の間隔をとります。

❖テレビ電話中にプッシュ信号を送出する

1 **通話中に[MENU][9]▶番号を入力**

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。

[CLR]：送出解除

- カメラ映像送信中やカメラオフ画像送信中は[MENU][9]を押さなくても、ダイヤルキーを押すだけでプッシュ信号が送出できます。
- 代替画像に設定した静止画は解除されます。
- キャラ電中はダイヤルキーによるアクション操作はできません。

✔お知らせ

- プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

発信オプション

条件を設定して電話をかける

電話やプッシュトークをかけるたびに、発信時の条件を設定します。

- プッシュトークは番号通知のみ設定できます。
- 番号通知方法の優先順位→P56

1 電話番号を入力▶MENU 2▶各項目を設定

着もじ：着もじの作成・選択→P62
マルチナンバー／自局番号：発信番号を選択
マルチナンバーの発信方法→P366
- 自局番号は2in1がデュアルモードまたはBモード時に表示されます。デュアルモード時は「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。→P366

発信方法：発信方法を選択
番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定
- 「指定なし」にすると発信者番号通知設定に従います。

プレフィックス：先頭に付加する番号（プレフィックス）を選択
国際電話発信：国際電話発信を設定→P65
国際プレフィックス：国際電話発信時の国際アクセス番号を選択
国番号：国際電話発信時の国番号を選択

2 MENUまたは発信キー

- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合は、iαを押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。
- 受信／送信メール詳細画面から操作するとき、またはPhone To（AV Phone To）機能を利用するときは、発信確認画面が表示される場合があります。「元の番号で発信」を選択すると、着もじと発信方法以外の設定が解除された状態で発信されます。

✔お知らせ

- 発信方法の「SMS」は、SMS To機能を利用する場合などで選択できます。
- 発信者番号通知を設定して発着信しても、利用している通信事業者によっては、発信者番号が通知されなかったり正しく番号表示されなかったりすることがあります。この場合、着信履歴から発信できません。

WORLD CALL

国際電話を利用する

- 海外利用について→P372
- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせて請求させていただきます。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
  ※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 「WORLD CALL」についての詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、次のダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

1 0 1 0▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶発信キー

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにかける場合は「0」が必要です。
- 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。
- 009130▶010▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号でもかけられます。

❖「+」を入力して国際電話をかける

「+」を入力すると「009130010(WORLD CALL)」などの国際アクセス番号に変換されます。
- 「+」の後に日本の国番号「81」を入力して発信した場合は、国際アクセス番号は変換されません。

1 **0(1秒以上)▶国番号▶地域番号(市外局番)▶電話番号を入力▶発信▶「はい」**

- 0を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにかける場合は「0」が必要です。

❖国際アクセス番号と国番号を選んで国際電話をかける

国際ダイヤルアシスト設定の国際アクセス番号や国番号を選択します。

1 **地域番号(市外局番)▶電話番号を入力▶MENU 2▶国際電話発信欄を選択▶2▶国際プレフィックス欄を選択▶国際アクセス番号の名称を選択▶国番号欄を選択▶国番号を選択▶MENUまたは発信▶「はい」**

- 「元の番号で発信」を選択すると、着もじと発信方法以外の設定が解除された状態で発信されます。

◆国際ダイヤルアシスト設定をする

❖自動変換機能設定をする

「+」を入力して国際アクセス番号を自動変換するかを設定します。また、海外から電話をかけるときに国番号を付加するかを設定します。

1 **MENU[設定／NWサービス]9 3 1▶各項目を設定▶カメラ**

国番号変換:「ON」を選択して国番号を選択
- 海外で電話をかけるときに有効です。

国際プレフィックス変換:「ON」を選択して国際アクセス番号を選択

❖国番号を編集する〈国番号設定〉

海外から国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。

1 **MENU[設定／NWサービス]9 3 2**

2 **国番号を選択**

自動変換を設定する:**国番号にカーソル▶カメラ**
選択した番号に✔が表示されます。
削除する:**国番号にカーソル▶MENU 3▶「はい」**

3 **各項目を設定▶カメラ**

国名称:全角8(半角16)文字以内で入力
国番号:5桁以内で入力

❖国際プレフィックス設定をする

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を最大3件登録できます。

1 **MENU[設定／NWサービス]9 3 3**

2 **「〈未登録〉」**

自動変換を設定する:**国際アクセス番号にカーソル▶カメラ**
選択した名称に✔が表示されます。
削除する:**国際アクセス番号にカーソル▶MENU 3▶「はい」**

3 **各項目を設定▶カメラ**

名称:全角8(半角16)文字以内で入力
国際アクセス番号:10桁以内で入力

プレフィックス設定

プレフィックスを登録する

国際アクセス番号など、電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ設定できます。

- 最大3件登録できます。
- プレフィックスを設定して電話をかける→P64

1 m［設定／NWサービス］5 6 2 ▶ 入力欄に番号を入力（10桁以内）▶ c

- 番号（プレフィックス）にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を含めて登録すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すかを設定します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 m［設定／NWサービス］5 6 3 ▶ 1 または 2

❖サブアドレスを指定して電話をかける

1 電話番号を入力 ▶ * ▶ サブアドレスを入力 ▶ n または c

✔お知らせ

- サブアドレス設定が「ON」でも、ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号として送出されます。

ノイズキャンセラ設定

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

- 通常は、「ON」にした状態で使用することをおすすめします。

1 m［設定／NWサービス］5 7 1 ▶ 1 または 2

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時は、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

✔お知らせ

- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定のときは、FOMA端末でのマナーモードや着信音の設定に関わらず、電話着信時はハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定のときは、通話中クローズ設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

電話／テレビ電話を受ける

- FOMA端末を開くだけでは電話を受けられません。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。
[キー]：着信音量調整　[キー]：着信音、バイブレータの動作を止める

着信中の表示

電話番号が通知されたときは電話番号が、電話番号を電話帳に登録しているときは登録している名前が表示されます。→P82

- 電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
  - **非通知設定**：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
  - **公衆電話**：公衆電話などから発信した場合
  - **通知不可能**：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

着信中のサブメニューからの操作

- 着信中にサブメニューから次の操作ができます。
  - **着信拒否**：電話を受けずに切断
  - **留守番電話**：留守番電話サービスセンターに接続
  - **転送でんわ**：転送先に転送

2 着信方法を選択

音声電話を受ける：[キー]
テレビ電話を受ける：[キー]または[キー]
テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

3 通話が終わったら[キー]

✔お知らせ

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約済みで、通話中の着信動作選択やプッシュトーク中着信設定が「通常着信」の場合、音声電話中またはプッシュトーク通信中に別の音声電話が着信すると「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスを開始にしていると各サービスが動作します。
- 着もじ受信時は、着信画面に着もじが表示されます。電話に出ると着もじは消えます。→P62
- FOMA端末からの転送電話着信時も、通常の着信時と同様に名前が表示されます。ただし、転送元によっては電話番号や名前が表示されない場合があります。
- サブアドレスが通知されてきた場合、発信者番号の後ろに「＊」とサブアドレスが表示されます。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。

相手が電話／テレビ電話を切り替えたときは

- 発信側からのみ切り替え操作ができます。
- 切り替えに応じるにはテレビ電話切替機能通知を開始にしておく必要があります。→P74

1 通話中に切り替え要求を受ける

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- テレビ電話に切り替わるとスピーカーホン機能を利用した通話になり、音声電話に切り替わるとスピーカーホン機能は解除されます。

エニーキーアンサー設定

ダイヤルキーなどを押して電話に出る

[キー]以外に[0]～[9]、[キー]、[＊]、[＃]を押して電話に出られるようにするかを設定します。

- 音声電話とプッシュトークに有効です。ただし、通話中の着信には無効です。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[5][3]▶[1]または[2]

通話中クローズ設定

FOMA端末を閉じて通話を切断／保留／継続する

- 64Kデータ通信中、パケット通信中は動作しません。
- プッシュトーク中クローズ設定→P79

1 MENU［設定／NWサービス］5 7 2 ▶ 1 ～ 3

✔お知らせ

- 次の場合は、FOMA端末を閉じても通話は継続されます。
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中
  - ハンズフリー対応機器接続時、接続先機器から音を鳴らすように設定中
  - 伝言メモ録音／録画中
- 「保留」にした場合、もう一度FOMA端末を開くと保留は解除されます。
- 「通話継続（マイクミュート）」にした場合、スピーカーホン機能を利用しているときは、自分の声は相手には聞こえませんが、相手の声がスピーカーから聞こえます。また、テレビ電話中にカメラ映像を送信しているときは、相手には代替画像が送信されます。
- 音声電話中の操作：MENU 6

マルチアクセス中表示

通話中の着信時に優先表示する画面を設定する

音声電話中にパソコンとつないだパケット通信の着信があったときや、ｉモード中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

- 画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。
- 音声電話中にｉモードメールやメッセージR/Fを受信したときは、音声電話中の画面が優先して表示されます。
- データ放送サイト表示中に音声電話を着信したときは、音声電話着信画面が優先して表示されます。→P219「タイムシフト機能」

1 MENU［設定／NWサービス］5 6 1 ▶ 1 ～ 3

- 「設定なし」にすると、後から着信した画面を表示します。ただし、音声電話中のパケット通信着信時は音声電話中の画面を表示します。
- 「パケット通信表示優先」にすると、音声電話中はパケット通信中の画面を、ｉモード中はｉモード中の画面を表示します。MULTIを押し、画面切替メニューで電話に切り替えることもできます。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

- 応答保留中も発信側に通話料金がかかります。

1 着信中に [保留]

応答保留になり、相手に応答保留ガイダンスが流れます。テレビ電話の場合は、自分と相手にテレビ電話応答保留画像が表示されます。

2 電話に出られる状態になったら [通話]

- テレビ電話の場合は[iα]を押しても電話に出ることができます。
- 応答保留中に[保留]を押すか相手が電話を切ると、通話が終了します。

◆ 応答保留ガイダンス設定をする

- 自分の声を応答保留ガイダンスとして、1件約10秒間録音できます。

1 MENU［設定／NWサービス］1 1 8 1 ▶ **保留音欄を選択** ▶ 2

- 内蔵音のガイダンスに戻すときは 1 を押し、操作3に進みます。

2 ガイダンスの編集欄の「録音」▶ 発信音の後に録音する

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは●を押します。
- 録音したガイダンスを削除すると、内蔵音のガイダンスに戻ります。
- ガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

3 [カメラ]

公共モードを利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。設定中に着信した場合、相手にはガイダンスやメッセージで電話に出られない旨をお知らせし、切断します。

- 公共モード（ドライブモード）設定時は、運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れます。
- 公共モード（電源OFF）設定時は、電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れます。

■ ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）中の着信動作

- 留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。
  ※1 呼出時間が「0秒」以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスの後にサービスが動作します。
  ※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。

◆ 公共モード（ドライブモード）を利用する

- 公共モードの設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に「圏外」が表示されているときでも可能です。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。
- 公共モード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、公共モードは解除されます。

1 [＊]（1秒以上）

公共モードが設定され、待受画面に[車アイコン]が表示されます。

解除する：[＊]（1秒以上）

■ 公共モード（ドライブモード）を起動すると

お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には[着信アイコン 2]（数字は件数）が表示され、不在着信として記録されます。

- 着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- 次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
  - 電話、プッシュトーク、メール・メッセージ、ｉコンシェルの着信音
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールアラームの音
  - ｉアプリのサウンド、ｉウィジェットの効果音
  - 通話料金上限通知（通話料金上限通知を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません）
  - 充電開始／完了音、電池アラーム音、GPS測位中の音
- GPSの位置提供の要求があっても、サービスごとの利用設定が「毎回確認」の場合は、位置情報を送信しません。
- セキュリティランプ設定を「ON」にしても、開閉ロック／オートキーロックの状態をランプではお知らせしません。
- FOMA端末を持ち上げても背面ディスプレイの照明は自動点灯しません。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

◆ 公共モード（電源OFF）を利用する

1 [＊][2][5][2][5][1]▶[発信]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。

解除する：[＊][2][5][2][5][0]▶[発信]

設定を確認する：[＊][2][5][2][5][9]▶[発信]

■ 公共モード（電源OFF）を起動すると

- 電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

✔お知らせ

- テレビ電話着信時は、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示されます。
- プッシュトーク着信時は、相手に接続できなかった旨のメッセージが表示されます。グループ着信時には参加メンバーの画面にお客様の状態を表す[運転中]（ドライブモード）／[✕ 不参加]（電源OFF）が表示されます。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを起動しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音／録画されます。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画できます。
- 2in1利用時、AナンバーとBナンバーに着信した伝言メモを合わせて最大4件録音／録画できます。表示はモードによって異なります。
- プッシュトークでは利用できません。

◆伝言メモを起動する

- 通常スタイルで操作してください。

1 （1秒以上）▶ 1 ▶ 1 または 2

「ON」にすると、待受画面にが表示されます。

■ 伝言メモの起動中に電話がかかってくると

1 電話がかかってくる

伝言メモ応答時間設定の応答時間が経過すると、相手には伝言メモ応答ガイダンス設定に従って応答ガイダンスが流れます。

2 相手のメッセージが録音／録画される

- 開始時と終了時に相手には確認音（ピーッ）が鳴ります。また、開始時から約25秒後に終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音／録画が終了すると、電話が切れる

❖クイック伝言メモで対応する〈クイック伝言メモ〉

伝言メモを起動していなくても、着信中にを1秒以上押すと、その着信に限り伝言メモを1回だけ動作させられます。この操作は、伝言メモを開始に設定する操作ではありません。

✔お知らせ

- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でもを押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合はを押しても出られます。このとき、電話を受けるまでの録音／録画内容は記録されません。
- 圏外や電源が切れているときは、伝言メモは動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモが4件録音／録画されると、待受画面にが表示され、伝言メモおよびクイック伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にしている場合は各サービスが動作します。
- オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの伝言メモの設定に従います。

◆応答ガイダンス開始までの時間を設定する〈伝言メモ応答時間設定〉

1 （1秒以上）▶ 1 3 ▶ 応答時間を入力

◆伝言メモ応答ガイダンス設定をする

- 自分の声を応答ガイダンスとして、1件約10秒間録音できます。

1 （1秒以上）▶ 1 4 ▶ 伝言メモ応答ガイダンス欄を選択 ▶ 2

- 内蔵音の応答ガイダンスに戻すときは 1 を押し、操作3に進みます。

2 ガイダンスの編集欄の「録音」▶ 発信音の後に録音する

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

録音操作の補足説明→P68「応答保留ガイダンス設定をする」操作2

3

伝言メモまたは音声メモを再生／削除する

◆伝言メモ／音声メモを再生する

1 （1秒以上）▶ 2 （伝言メモ）または 4 （音声メモ）

〈例〉伝言メモ一覧画面

- マークの意味は次のとおりです。
  ／：伝言メモ／再生済み伝言メモ
  ／：テレビ電話伝言メモ／再生済み伝言メモ
  ／表示なし：通話中音声メモ／待受中音声メモ
  ：Bナンバーの発着信（2in1がデュアルモード時）
  ：海外滞在時（GMT+9:00を除く）※
  ：国際電話の伝言メモまたは通話中音声メモ
  ※ 着信または録音日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

2 メモを選択

- 再生中は画面の下に再生時間の経過が表示されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  、：音量調整　：停止
  ：スピーカーホン機能ON／OFFの切り替え
- テレビ電話伝言メモ再生中はスピーカーホン機能がONで再生されます。スピーカーホン機能の切り替えはできません。
- マナーモード中にテレビ電話伝言メモを再生するときは、音声の再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、消音で再生されます。

電話をかける：メモにカーソル▶ または

- 3を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P64

電話帳に登録する：メモにカーソル▶▶4または5▶1または2

電話帳登録→P82

- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

3 削除するかを選択

✔お知らせ

- 待受中音声メモを録音した場合は、「音声メモ」と表示されます。
- 着信履歴の見かた→P60

◆ 伝言メモ／音声メモを削除する

1 （1秒以上）▶2（伝言メモ）または4（音声メモ）▶メモにカーソル▶2▶1または2▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたメモが削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

キャラ電を利用する

テレビ電話中に送信するキャラクタを変更します。

- キャラ電の表示→P298

1 通話中に411▶フォルダを選択▶キャラ電を選択

- 通話中に次の操作ができます。
  1～9、#：アクション　0：アクションの中止
  ：アクション一覧の表示

テレビ電話中の映像／画像を設定する

- 次の画像は送信する静止画や代替画像などに設定できません。
  - サイズが176×144より大きい静止画
  - アニメーション、パラパラマンガ
  - JPEG形式、GIF形式以外の静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P310「表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」

◆通話中に送信する映像を設定する

1 通話中に目的の操作を行う

カメラ画像／代替画像を切り替える：[iα]

ライトを点灯／消灯する※1：[✉]

- 通話中の設定操作などで、一時的にライトが消える場合があります。

表示倍率を切り替える〈ズーム〉※1：[ズーム]

- [ズーム]を押すと次の順で、[ズーム]を押すと逆の順で切り替わります。
  標準→2倍→4倍→6倍→8倍→10倍→12倍→16倍

映像に特殊な効果をかける〈撮影モード〉※1：[MENU][2]▶[1]～[4]

逆光になる被写体の撮影時や、映像を白黒やセピア調にするときに利用します。

映像の明るさを調整する※1、2：[MENU][3][1]▶[1]～[5]

ちらつきを調整する※1、2：[MENU][3][2]▶[1]～[3]

お使いの地域の電源周波数に合った設定に切り替えると、ちらつきが抑えられる場合があります。

- カメラ、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。

カメラオフ画像を送信する：[MENU][4][2]

テレビ電話画像選択の代替画像で設定した代替画像が送信されます。

- 代替画像にキャラ電を設定していると標準画像が送信されます。

静止画を送信する：[MENU][4][3]▶フォルダを選択▶静止画を選択

- 解除するときは[●]を押します。

接写撮影に切り替える※1：[MENU][6]

約7～10cmのごく近い距離の映像を送信するときにピントを合わせられます。

- 解除するときは[MENU][6]を押します。

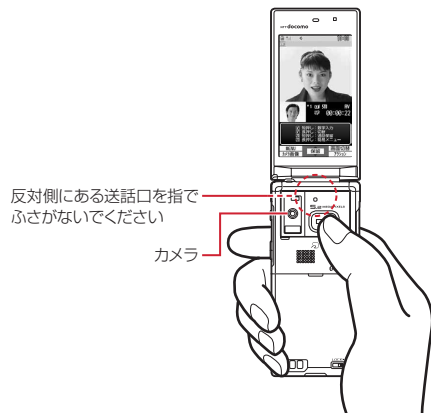
送信／受信画像の品質を設定する：[MENU][7]▶[1]または[2]▶[1]～[3]

- 「動き優先」にすると動きが滑らかになりますが画質がやや粗くなり、「画質優先」にすると画質は細やかになりますが動きがやや鈍くなります。
- 受信画質を変更すると、相手の送信画質に反映されます。

※1　カメラ映像送信中のみ設定できます。
※2　通話終了後も設定は保持されます。

❖お互いの映像を見ながらテレビ電話をする

1 通話中に[♫]を押す

「カメラ画像」に切り替えて、ディスプレイを右回りに180度回転させ、カメラを自分側に向けてお互いの映像を見ながら通話できます。

- ディスプレイ下部のガイダンスに従ってサイドキーで操作できます。
- [♫]（1秒以上）で簡易メニューが表示されます。[▲][▼]でカーソル移動が、[▣]で決定操作ができます。簡易メニューや確認画面で[♫]を押すとひとつ前の画面に戻ります。

2 目的の操作を行う

カメラ画像／代替画像を切り替える：[iα]

切断する：[▣]（1秒以上）

通話を保留する：[♫]

- 保留を解除するとき、[♫]を押すと保留前に送信していた画像が、[iα]を押すとカメラ映像が、[✉]または[☎]を押すと代替画像が送信されます。

音声電話に切り替える：[♫]（1秒以上）▶[1]▶「はい」

映像の明るさを調整する：[♫]（1秒以上）▶[2]▶[1]～[5]

送信する画像を変更する：[♫]（1秒以上）▶[3]▶[1]～[3]

ライトを点灯／消灯する：♬（1秒以上）▶ 4
- 簡易ライトが点灯しますので、直接見ないようにしてください。

接写撮影に切り替える：♬（1秒以上）▶ 5
送信／受信画像の画質を設定する：♬（1秒以上）▶ 6 ▶ 1 または 2 ▶ 1 ～ 3
画面表示を設定する：♬（1秒以上）▶ 7 ▶ 各項目を設定 ▶ ♬（1秒以上）
各項目設定→P73「テレビ電話の設定を変更する」
DTMF信号を入力する：♬（1秒以上）▶ 8 ▶ ▲▼で番号、♬（1秒以上）で「#」を選択 ▶ ♬
- 通話中に♬またはダイヤルキーを押してもDTMF入力画面が表示されます。

スピーカーホン機能を切り替える：♬（1秒以上）▶ 9

◆通話中の画面表示を設定する

- 通話終了後も設定は保持されます。

1 通話中に目的の操作を行う

親子画面の表示を切り替える：📷
親画面のサイズを変更する：📷（1秒以上）
- 押すたびに大→中→小→大の順に切り替わります。

画面表示を設定する：MENU 8 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷
各項目設定→P73「テレビ電話の設定を変更する」

◆代替画像や保留画像などを設定する〈テレビ電話画像選択〉

1 MENU［設定／NWサービス］6 1 5 ▶ 1 ～ 5 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

イメージ表示：画像の種類を設定
イメージ一覧：イメージ表示が「標準画像」または「標準キャラ電」（代替画像設定のみ）以外のときに選択

✔お知らせ
- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は標準キャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は標準画像になります。
- 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像に設定した静止画を削除した場合は標準画像に戻ります。

テレビ電話動作設定

テレビ電話の設定を変更する

テレビ電話が接続できなかったときの動作やテレビ電話中の画面などを設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」にすると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64Kのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2008年10月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるためご注意ください。

1 MENU［設定／NWサービス］6 1 3 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

音声自動再発信：接続不可の場合の音声電話による再発信を設定
テレビ電話画面設定：画面表示を設定
子画面表示：子画面表示を設定
- テレビ電話画面設定を「両方」にすると設定できます。

画面サイズ設定：親画面表示サイズを設定
受信画質設定：相手からの受信画質を設定
明るさ調整：「端末設定に従う」選択時は照明／キーバックライト設定の明るさ調整に従う
スピーカーホン設定：接続時のスピーカーホン機能の利用を設定
- 「ON」の場合、ビューアスタイルで着信すると、マイクを利用できない旨のメッセージが表示されます。FOMA端末を開いた状態で通話してください。

ビューアスタイル応答画像：ビューアスタイル応答時の表示画像を設定

✔お知らせ
- 音声自動再発信が「ON」でも、音声電話中または64Kデータ通信中はテレビ電話を発信できません。ただし、パソコンとつないだパケット通信中はテレビ電話を発信すると音声電話で再発信されます。
- 音声自動再発信が「ON」で、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。

テレビ電話切替機能通知

電話とテレビ電話の切り替えを設定する

本FOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えに対応していることをネットワークに通知しておきます。

- 音声電話中やテレビ電話中は変更できません。
- 圏外では設定できません。電波状態のよい所で操作してください。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替機能通知は開始に設定されています。

1 MENU［設定／NWサービス］6 1 7

2 1または2▶「はい」

- 設定内容を確認するときは3を押し、「はい」を選択します。

パケット通信中着信設定

パケット通信中着信設定を設定する

ｉモード中、データ放送サイト表示中、Music&Videoチャネルの番組取得中にテレビ電話がかかってきたときの対応方法を設定します。

1 MENU［設定／NWサービス］6 1 4▶1～4

- 「テレビ電話優先」にすると着信画面表示が優先され、テレビ電話に出るとパケット通信が切断されます。テレビ電話終了後には、ｉモードの画面に戻り、Music&Videoチャネルの番組取得は再開されます。データ放送サイト表示時はワンセグのタイムシフト機能が動作しています。
- 「パケット通信優先」にすると着信画面は表示されずに切断され、着信履歴に記録されます。
- 「留守番電話」「転送でんわ」にすると各サービスが動作します。

✔お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを未契約時は、「留守番電話」または「転送でんわ」にしても「パケット通信優先」の動作となります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は各サービスが動作します。着信履歴には記録されません。

テレビ電話使用機器設定

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をUSBケーブルで接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定、操作方法については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。

※ 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。
ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください。（パソコンでのご利用環境など詳細については、サポートホームページでご確認ください。）
http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

1 MENU［設定／NWサービス］6 1 6▶1または2

✔お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホン契約中は、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、不在着信として記録されます。外部機器からのテレビ電話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

プッシュトーク

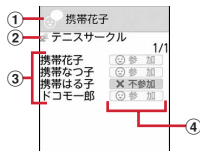
複数の人（自分を含めて2人から最大5人）とグループ通話が楽しめるサービスです。かわるがわるプッシュトークキー（P）を押しながら会話します。Pを押す（発言する）ごとにプッシュトーク通信料が課金されます。

• プッシュトークの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

❖プッシュトークプラス

自分も含め最大20人までとプッシュトーク通信ができるサービスです。ネットワーク上の共有電話帳を利用したり、メンバーの状態を確認できたりするなど、より便利にプッシュトークをご利用いただけます。プッシュトークプラスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。

※ 操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

◆通信中画面の見かた

① **発言者欄**
表示なし：発言権が空き状態
電話番号／名前／「非通知」／?(発言者が特定できなかった場合)：メンバーが発言権を保持している
「自分」：自分が発言している

② **グループマーク、グループ名**
グループ発信した発信者の画面にのみ表示

③ **参加メンバー**
電話番号／名前／「非通知」

④ **参加メンバーの応答状況**
呼出中※：呼出中
参　加：呼出に応答し、参加中
不参加※：応答がない／通信を終了／圏外にいるか電源が入っていない
運転中※：公共モード（ドライブモード）中
※ 3人以上で通信している場合に表示されます。

プッシュトーク発信する

• 発信者番号通知設定または電話帳の発番号設定に従います。
• 番号通知方法の優先順位→P56

1 電話番号を入力

電話帳を利用する： ▶**電話帳検索**▶**メンバーにカーソル**

2 P

相手が応答すると信号音が鳴り、通信が開始されます。

• マナーモードやプッシュトークスピーカーホン設定に関わらず、スピーカーホン機能を利用して発信する場合は、Pを1秒以上押します。
• 発信ごとに発信者番号通知を設定できます。→P64

3 プッシュトークで会話する

：スピーカーホン機能のON／OFFの切り替え
／：受話音量調整（音量設定の受話音量に反映）

• 通信中はビューアスタイルにしても会話できます。ビューアスタイル中はで音量小に、で音量大になります。
• FOMA端末を閉じると、マナーモードやプッシュトークスピーカーホン設定に関わらずスピーカーでの通信になります。背面ディスプレイには発言者が表示されます。

発言する：
① 発言者欄の空きを確認して[P]を押し続ける
発言権を取得すると発言権取得音が鳴り、発言者欄に「自分」と表示されます。
- 他のメンバーが発言中は、[P]を押しても発言権取得失敗音が鳴り、発言できません。
- 発言権取得音が鳴った時点から発言者にプッシュトーク通信料がかかります。

② [P]を押したまま発言する
- 1回の発言権を取得している時間には限りがあります。制限時間に近づくと発言権開放予告音が鳴り、その後発言権が開放されます。

③ 発言が終わったら[P]を離す
発言権開放音が鳴ります。

4 通信が終わったら[終話]
- 発着信対象が複数の場合、他の参加メンバーには信号音が鳴り、画面には[✕ 不参加]が表示されます。

✔お知らせ
- 通信中に一定時間発言権の取得者がいない場合、通信は終了します。
- プッシュトークでは、緊急通報（110番、119番、118番）はできません。
- クイックダイヤル発信時、プッシュトーク電話帳に登録済みの場合はその電話番号に、プッシュトーク電話帳に未登録の場合は電話帳の1件目の電話番号に発信されます。
- 発信者が電話番号を通知するとメンバー全員の電話番号が通知され、全員に表示されます。通知しないと全員が「非通知」になります。
- ｉモード中に発信すると、ｉモードは切断されます。
- 2in1利用時、Bナンバーではプッシュトークを利用できません。
- 2in1利用時に電話帳を利用する場合、電話帳2in1設定で「B」に設定したメンバーには発信できません。

❖リダイヤル／着信履歴を利用する

1 [発着信]▶目的の操作を行う

プッシュトーク発信する：メンバーにカーソル▶[P]
- 発着信対象が複数のときは、複数のメンバーに一斉発信します。→P78

グループ発着信からメンバーを選択して発信する：グループ発着信を選択▶[カメラ]▶発信しないメンバーを選択▶[P]または[iα]

FOMA端末電話帳に登録する：メンバーにカーソル▶[MENU][5]▶[1]または[2]▶各項目を設定▶[カメラ]
電話帳登録→P82
- 更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。
- 登録後、プッシュトーク電話帳への登録確認画面が表示されます。

プッシュトーク電話帳に登録する：メンバーにカーソル▶[MENU][5][3]▶「はい」
- FOMA端末電話帳に登録していないと登録できません。

グループとして登録する：グループ発着信にカーソル▶[MENU][5][4]▶グループ名を入力▶[カメラ]
- プッシュトーク電話帳に登録していないと登録できません。

✔お知らせ
- 発着信対象が複数の着信に応答しなかったり、通信を切断した場合でも、他のメンバーが通信を継続している間は、その通信にリダイヤル／着信履歴からの発信によって復帰できます。ただし、その通信が終了している場合は、新規の発信となります。

◆通信中にメンバーを追加する

発信者のみ参加メンバーを追加できます。
- 発信するメンバーは合計4人になるまで何度でも追加できます。既に4人に発信している場合、不参加メンバーは再度呼び出しできますが、新規メンバーは追加できません。
- ビューアスタイルで通信中はメンバーを追加できません。

1 通信中に[カメラ]▶追加方法を選択▶メンバーにカーソル▶[iα]
- プッシュトーク電話帳、FOMA端末電話帳、リダイヤル／着信履歴から追加できます。電話番号を入力して追加する場合は「直接入力」を選択し、電話番号を入力して[iα]を押します。

✔お知らせ

- 追加メンバー選択中でも、発言権を取得／開放できます。
- メンバー追加非対応機種の相手も追加でき、参加メンバーの画面にも表示されます。ただし、メンバー追加非対応機種では、通信中に追加された他のメンバーは画面に表示されず、信号音も鳴りません。
- 追加メンバーはリダイヤル／着信履歴に記録されません。

プッシュトーク着信する

- プッシュトークは応答保留できません。

1 プッシュトークが着信する

着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。画面には参加メンバーが一覧表示され、発信者には 発 信 が表示されます。

[音量キー]：着信音量調整

2 [プッシュトークキー]または[開始キー]

信号音が鳴り、通信が開始されます。

- [終話キー]を押した場合や呼出時間内に応答しなかった場合は、着信を切断します。
- FOMA端末を閉じた状態では、マナーモードやプッシュトークスピーカーホン設定に関わらずスピーカーでの通信になります。

3 プッシュトークで会話する

操作方法→P75「プッシュトーク発信する」操作3

4 通信が終わったら[終話キー]

プッシュトーク電話帳を操作する

◆ プッシュトーク電話帳に登録する

- 通常スタイルで登録してください。
- 最大1000件登録できます（登録内容により少なくなる場合があります）。
- プッシュトーク電話帳に登録するには、FOMA端末電話帳に電話番号を登録しておく必要があります。
- 2in1利用時、電話帳2in1設定で「B」にした電話帳の電話番号はプッシュトーク電話帳に登録できません。

1 [プッシュトークキー]▶[メールキー]▶「電話帳参照」

- FOMA端末電話帳に未登録の場合は「直接入力」を選択し、電話帳に登録します。→P82

2 電話帳検索▶メンバーを選択▶「はい」

❖FOMA端末電話帳から登録する

1 [電話帳キー]▶電話帳検索▶メンバーにカーソル▶[MENU][3][3]▶「はい」

❖グループに登録する

- グループは30件まで登録できます。
- 1グループは19人まで登録できます。ただし、5人以上登録するとグループ一斉発信できません。

1 [プッシュトークキー]▶[カメラキー]

- 既にあるグループに登録するときは、操作3に進みます。

2 [メールキー]▶グループ名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶[カメラキー]

グループ名を変更する：グループにカーソル▶[MENU][3]▶グループ名を変更▶[カメラキー]

3 グループを選択▶[メールキー]▶メンバーを選択▶[カメラキー]

◆ プッシュトーク電話帳を削除する

- グループやグループからメンバーを削除しても、プッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳からは削除されません。

1 ▶メンバーにカーソル▶[MENU][3]▶「はい」

FOMA端末電話帳からの削除確認画面が表示されます。

グループを削除する：▶[📷]▶グループにカーソル▶[MENU][2]▶「はい」

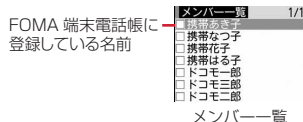
グループからメンバーを削除する：▶[📷]▶グループを選択▶メンバーにカーソル▶[MENU][3]▶「はい」

◆ プッシュトーク電話帳から発信する

- 発信するメンバーを4人まで選択します。

〈例〉メンバー一覧から発信する

1

メンバー一覧

2 メンバーを選択

- 発信するメンバーだけを表示する場合は[MENU][1]を押します。

グループから発信する：[📷]▶グループを選択▶発信しないメンバーを選択

- グループを選択して操作3に進むと、グループ一斉発信されます。

3 または[📖]

1人でも応答すると信号音が鳴り、通信が開始されます。

- [MENU][4]を押すと、発信ごとに発信者番号通知を設定できます。→P64

以降の操作→P75「プッシュトーク発信する」操作3以降

✔お知らせ

- [MENU][6]を押すとネットワークに接続し、プッシュトークプラスを利用できます。→P75

プッシュトークの発着信を設定する

◆ 着信音を鳴らす時間を設定する〈プッシュトーク呼出時間設定〉

- 呼出時間内に応答しなかったときは不在着信として記録されます。
- プッシュトーク自動応答設定が「自動応答あり」の場合は設定できません。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[6][2][2]▶呼出時間を入力▶[📷]

◆ プッシュトーク自動応答設定をする

- 「自動応答あり」にすると着信とともに信号音が鳴って自動応答します。この場合、プッシュトークスピーカーホン設定に関わらずスピーカーでの通信になります。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[6][2][3]▶[1]または[2]

✔お知らせ

- マナーモード中は「自動応答あり」にしていても動作しません。

◆ 電話着信時の対応を設定する〈プッシュトーク中着信設定〉

- 音声電話着信時のみ有効です。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[6][2][4]▶[1]～[4]

- 「通常着信」にすると着信画面が表示されます。音声電話に応答するには[☎]を、着信画面の表示を継続するには[📞]を押します。この場合プッシュトークは切断されます。
- 「留守番電話」「転送でんわ」にすると各サービスが動作します。

✔お知らせ

- いずれの設定でも、着信履歴として記録されます。ただし、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが開始で呼出時間が「0秒」の場合は各サービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスが未契約の場合は、「留守番電話」または「転送でんわ」にしても「通常着信」の動作となります。
- 通信中の操作：[MENU][3]

◆ FOMA端末を閉じて通信を終了／継続する〈プッシュトーク中クローズ設定〉

1 MENU［設定／NWサービス］6 2 5 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、FOMA端末を閉じても通信を継続します。
- 通信中の操作：MENU 2

◆ iモード中プッシュトーク着信を設定する

iモード中、データ放送サイト表示中、Music&Videoチャネルの番組取得中に着信したときの対応方法を設定します。

1 MENU［設定／NWサービス］6 2 6 ▶ 1 または 2

- 「プッシュトーク着信優先」にすると着信画面表示が優先されます。プッシュトークを終了するとiモードの画面に戻り、Music&Videoチャネルの番組取得は再開されます。データ放送サイト表示時はワンセグのタイムシフト機能が動作しています。
- 「iモード優先」にすると着信画面は表示されずに切断されます。着信履歴にも記録されません。

◆ スピーカーホン機能を利用する〈プッシュトークスピーカーホン設定〉

- 通常スタイルまたはビューアスタイルでの発着信に有効です。

1 MENU［設定／NWサービス］6 2 7 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- マナーモード中は受話口からの通信になります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、接続した機器を使った通信となります。発言するときはPを操作します。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

F-01Aでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳が使用できます。

- この他にプッシュトーク専用のプッシュトーク電話帳があります。→P77

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
電話帳登録件数		最大1000件※1	最大50件
登録内容	メモリ番号	No.000～999	×
	名前	全角16（半角32）文字	全角10（半角21）文字※2
	フリガナ	半角32文字	全角12（半角25）文字※3
	画像・動画	○	×
	グループ	「グループなし」および30グループ	「グループなし」および10グループ
	電話番号	1件につき5番号、電話帳全体で最大3005番号※1	1件につき1番号
	電話番号アイコン	○	×
	メールアドレス	1件につき5アドレス、電話帳全体で最大3005アドレス※1	1件につき1アドレス
	メールアドレスアイコン	○	×
	その他の設定※4	○	×

※1 実際に登録できる件数は、登録内容により少なくなる場合があります。
※2 全角と半角が混在や半角カタカナを含む場合は10文字以内で入力します。
※3 全角と半角が混在の場合は12文字以内で入力します。
※4 設定できる項目は誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、位置情報、会社名、役職名、URLです。
iコンシェルのインフォメーション（メモ、住所、URL）は、自動的に更新されます（iコンシェル契約の場合）。

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末に挿入しても、FOMAカード内の電話帳を利用できます。
- FOMA端末電話帳を電話帳お預かりセンターに保存できます。保存した電話帳は、お預かりセンターに接続してFOMA端末に更新・復元できます。→P128

◆ 名前の表示

■ 音声電話・テレビ電話

電話帳に登録している名前と電話番号が発着信中、呼出中、音声電話中の画面に表示されます。

■ iモードメール・SMS

電話帳に登録している名前が受信／送信／未送信メール一覧画面、メール詳細画面に表示されます。
メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳に登録している名前が表示されます。ただし、発信元がiモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略して電話帳に登録しても、電話帳に登録している名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。

✔お知らせ

- 2in1が、Aモード時は電話帳2in1設定で「B」に、Bモード時は電話帳2in1設定で「A」にした電話帳の名前は表示されません。
- FOMA端末電話帳に同じ電話番号やメールアドレスを異なる名前で登録している場合、最初に登録した名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に、同じ電話番号やメールアドレスを異なる名前で登録している場合、FOMA端末電話帳の名前が表示されます。
- 登録している名前は、電話帳を利用する他の機能でも表示されます。

電話帳登録

電話帳に登録する

FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳に登録します。

- ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 発着信画像の優先順位→P98、99
- 最大登録件数→P82

1 （1秒以上）

FOMAカード電話帳に登録する：MENU［電話帳／履歴］4

2 名前を入力

3 各項目を設定▶[📷]

メモリ番号：最も小さい空きメモリ番号が割り当てられています。
- メモリ番号が重複した場合は上書き確認画面が表示されます。上書きしない場合は「新規登録」を選択し、他の番号を入力してください。
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

フリガナ：入力した名前のフリガナが入力されています。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

画像選択・撮影：発着信時や電話帳確認時に表示する画像や動画／iモーションを登録します。

画像を設定する：[1]▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**
画像のフォルダや一覧の見かた→P288
- 縦横（横縦）のサイズが864×480より大きい画像を選択すると、画像の縮小確認画面が表示されます。また、パラパラマンガは動作しません。

静止画を撮影して設定する：[2]▶**静止画を撮影**▶[●]
- 撮影する静止画のサイズはQCIF（176×144）固定です。

動画／iモーションを設定する：[3]▶**フォルダを選択**▶**動画／iモーションを選択**
動画／iモーションのフォルダや一覧の見かた→P292
- 映像のみの動画／iモーションが設定できます。→P295
- 電話発信時は動作しません。

動画を撮影して設定する：[4]▶**動画を撮影**▶[●]
- 音声は録音されません。→P203

初期画像に戻す：[5]

グループ：「グループなし」に設定されています。
- FOMA端末電話帳では[✉]を押すとグループを追加できます。→P84

電話番号：26桁以内で入力します。→P48
- 1件目を登録すると追加登録する項目が表示されます。
- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。FOMAカード電話帳にはタイマー（「T」）は登録できません。
- 「186」または「184」を付けて登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。

メールアドレス：半角50文字以内で入力します。
- 1件目を登録すると追加登録する項目が表示されます。
シークレットコード設定→P86

誕生日：誕生日設定を「ON」にして誕生日を入力します。

テキストメモ：全角100（半角200）文字以内で入力します。

郵便番号／住所：郵便番号は7桁、住所は全角100（半角200）文字以内で入力します。

位置情報：現在地や位置履歴などから位置情報を付加します。→P275

会社名：全角50（半角100）文字以内で入力します。

役職名：全角50（半角100）文字以内で入力します。

URL：半角256文字以内で入力します。

個別着信設定

電話帳ごとに着信動作を設定する

FOMA端末電話帳の電話番号やメールアドレスごとに、着信時の動作を設定できます。
- 着信動作の優先順位→P92、93、99、106

1 [Q]▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU][3][2]▶各項目を設定▶[📷]

[✉]：電話／メールの着信設定画面の切り替え
- 「グループなし」の場合はすべて「端末設定に従う」に、グループを設定した場合は「グループ設定に従う」（テレビ電話代替画像のみ「端末設定に従う」）に設定されています。

着信音：「端末設定に従う」にすると、音設定に従います。
- 動画／iモーションとミュージックは詳細情報の着信音設定が「可」の場合のみ着信音に設定できます。
ミュージックの設定→P91

着信バイブレータ：「端末設定に従う」にすると、バイブレータ設定に従います。

着信イルミネーションパターン：「端末設定に従う」にすると、イルミネーション設定に従います。
- 「イルミパターン1」「イルミパターン2」「メロディ連動」にすると、複数の色で点滅します。着信イルミネーションカラーは設定できません。

着信イルミネーションカラー：「端末設定に従う」にすると、イルミネーション設定に従います。

テレビ電話代替画像（電話着信設定のみ）：「端末設定に従う」にすると、テレビ電話画像選択の代替画像の設定に従います。

グループ設定

グループの設定をする

- 「グループなし」は、グループ名の変更や発着信動作の設定はできません。削除するとグループ内の電話帳のみ削除されます。
- FOMAカード電話帳ではグループ名の変更のみできます。

1 [MENU]［電話帳／履歴］[1][2]

2 目的の操作を行う

グループを追加する：[MENU][2]▶グループ名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶[📷]

グループを削除する：グループにカーソル▶[MENU][3]▶認証操作▶「はい」

グループとそのグループ内の電話帳が削除されます。プッシュトーク電話帳内の同電話帳も削除されます。

- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）でシークレット属性を設定していても削除されます。

グループ名を変更する：グループにカーソル▶[MENU][4]▶グループ名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶[📷]

- FOMAカード電話帳の場合は[📷]を押し、グループにカーソルを合わせて[MENU][2]を押します。

発着信動作を設定する：グループにカーソル▶[MENU][5]▶各項目を設定▶[📷]

発着信画像の設定操作→P83「電話帳に登録する」操作3
その他の項目の設定操作→P83「電話帳ごとに着信動作を設定する」

並び順を変更する：グループにカーソル▶[MENU]▶[6]または[7]

✔お知らせ

- FOMAカード電話帳の場合、グループ名は全角10（半角21）文字以内で入力します。全角と半角が混在、または半角カタカナを含む場合は10文字以内で入力します。

電話帳検索

電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳を、FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳から呼び出します。

- 電話帳検索時は、前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）を検索します。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定している電話帳またはグループは検索できません。また、クイックダイヤル、クイックメール、イヤホンスイッチ発信、メール検索も同様です。

1 [電話帳]▶電話帳検索

電話帳一覧（全件表示（50音））

- 2in1がデュアルモード時は次のマークが表示されます。
  [A]：Aモードの電話帳　[B]：Bモードの電話帳
  [AB]：A／B両モードの電話帳
- ｉコンシェルのインフォメーション登録時は[アイコン]が表示されます。

2 相手にカーソル▶[発信]または[テレビ電話]

- [MENU][1][1]を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P64
- 2in1がデュアルモード時、電話帳2in1設定で「A」または「共通」にした相手にはAナンバーで、「B」にした相手にはBナンバーで発信されます。

❖電話帳を利用する

ｉモードメールを作成する：相手にカーソル▶[✉]
SMSを作成する：相手にカーソル▶[✉]（1秒以上）
- 電話番号のみ登録時は、[✉]を押してもSMSを作成できます。

サイトを表示する：相手にカーソル▶[MENU][1][5]▶「はい」
- サイト接続確認画面で[iα]を押すと、フルブラウザで表示されます。

住所から地図を表示する：相手にカーソル▶[MENU][1][7]
- 地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。

位置情報を利用する：相手にカーソル▶[MENU][0][1]
以降の操作→P275「■位置情報利用メニュー」

相手の居場所を確認する：相手にカーソル▶[MENU][0][2]▶「はい」
電話番号を検索対象として「イマドコかんたんサーチ」に接続します。
- イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

電話帳をｉモードメールに添付する：相手にカーソル▶[MENU][1][3]
送受信したメールを検索する：相手にカーソル▶[MENU][1][6]▶[1]または[2]
- FOMAカード電話帳の場合は、相手にカーソルを合わせて[MENU][1][5]を押し、[1]または[2]を押します。

◆検索方法を指定して検索する

- 電話帳一覧が複数ページあるときは、[▲][▼]でページを切り替えられます。全件表示（50音）以外の検索方法では[◐]でも切り替えられます。

1 [MENU]［電話帳／履歴］[1]

[📷]：FOMA端末電話帳／FOMAカード電話帳の一覧の切り替え

2 検索方法を指定する

全件表示（50音）：[1]▶[◐]で表示する行を選択
- フリガナを1文字ずつ入力するたびに、最も近いフリガナの電話帳が検索されます（フリガナ検索）。

グループ検索：[2]▶グループを選択
- 同じグループ内の電話帳は次のフリガナ順に表示されます。
  50音順→アルファベット順→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし
- ダイヤルキー[0]～[9]を押すと、各キーに割り当てられている行が表示されます。→P402
- [#]や[*]を押すと、アルファベット→数字→記号の順に表示されます。

ランキング検索※：[3]▶[1]または[2]
通話回数またはｉモードメール送受信回数が多い順に表示されます。
- 最大9999回カウントされます。カウントをリセットするときは、相手にカーソルを合わせて[MENU][9][3]を押し、「はい」を選択します。
- プッシュトークはカウントされません。

メモリ番号検索※：[4]▶メモリ番号を入力▶[📷]
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。
- 何も入力せずに[📷]を押すと、メモリ番号順の電話帳一覧が表示されます。

電話番号検索：[5]▶電話番号の一部を入力▶[📷]
入力した数字を含む電話番号を検索し、FOMA端末電話帳はメモリ番号順に、FOMAカード電話帳はフリガナ順に電話帳一覧が表示されます。
- 何も入力せずに[📷]を押すと、メモリ番号順またはフリガナ順の電話帳一覧が表示されます。

シークレット検索※：[6]
シークレット属性を設定した電話帳がメモリ番号順に表示されます。
※ FOMAカード電話帳では利用できません。

❖ロケットサーチで検索する

ダイヤルキー[0]～[9]に割り当てられている文字から検索します。
〈例〉「携帯花子」を検索する

1 [2]（か行）▶[🔍]

全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

◆優先する検索方法を設定する〈電話帳検索優先設定〉

待受画面で[🔍]を押して表示される検索方法を設定します。

1 [MENU]［電話帳／履歴］[1]▶検索方法にカーソル▶[MENU]

- 設定した検索方法に✔が表示されます。

✔お知らせ
- ランキング検索またはメモリ番号検索を優先設定していても、前回FOMAカード電話帳を検索した場合には、FOMAカード電話帳の全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

◆ 電話帳の詳細を確認する

1 [Q]▶電話帳検索▶電話帳を選択

FOMA端末電話帳の詳細画面（電話番号）

① **メモリ番号**
② **名前、フリガナ**
③ **グループマーク、グループ名**
④ **電話帳2in1設定で設定したマーク（2in1がデュアルモード時）**
　A：Aモードの電話帳　B：Bモードの電話帳
　AB：A／B両モードの電話帳
⑤ **着信許可／拒否設定、発番号設定、シークレットコードの設定状態**
⑥ **個別着信設定での設定状態（電話／メール）**
　♪／♪：着信音
　／：着信バイブレータ
　／：着信音と着信バイブレータ
　／：着信イルミネーションパターン
　／：着信イルミネーションカラー
　／：着信イルミネーションパターンとカラー
　：テレビ電話代替画像（電話のみ）
⑦ **画像（画像／名前表示切替の設定に従って表示）**
⑧ **登録したアイコン、アイコン種別**

[Q]：前後の電話帳の詳細画面の表示
[Q]：登録した各項目の表示

累積情報を確認する：電話番号またはメールアドレスの詳細画面で[カメラ]
- 累積回数と最終日時が表示されます。[カメラ]を押すと、通話とメールの累積をまとめてリセットできます。

基本情報を確認する：[MENU][9][1]
名前、フリガナ、グループ名、1件目の電話番号／メールアドレスが省略されずに表示されます。

◆ 詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

- 電話帳、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴、プロフィール情報の画像／名前表示切替設定はそれぞれに反映されます。

1 [Q]▶電話帳検索▶電話帳を選択▶[MENU][9][4]▶[1]～[3]
- FOMAカード電話帳から操作する場合は、[MENU][9][3]を押し[1]～[3]を押します。

電話帳修正

電話帳を修正する

- プッシュトーク電話帳内の同電話帳も修正・削除されます。

1 [Q]▶電話帳検索▶電話帳にカーソル

2 目的の操作を行う

内容を修正する：[MENU][3][1]▶各項目を設定▶[カメラ]
各設定項目→P82「電話帳に登録する」操作2～3
- 上書き登録すると以前登録されていた電話帳は破棄されます。

電話番号を入れ替える：[MENU][3][4][1]▶1件目にする電話番号を選択

メールアドレスを入れ替える：[MENU][3][4][2]▶1件目にするメールアドレスを選択

メモリ番号を入れ替える：[MENU][3][4][3]▶入れ替え先の電話帳を選択

電話番号ごとに発信者番号通知を設定する〈発番号設定〉：
[MENU][3][5][2]▶認証操作▶電話番号を選択▶[1]～[3]
- 「設定なし」にすると発信者番号通知設定に従います。

メールアドレスにシークレットコードを設定する〈シークレットコード設定〉：[MENU][3][5][4]▶認証操作▶メールアドレスを選択▶4桁のシークレットコードを入力
- 解除する場合は、入力されているシークレットコードをすべて削除して[●]を押します。
- 設定したシークレットコードは本画面にのみ表示されます。
- 「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」と登録している相手にはメールを送信できません。

✓お知らせ
- FOMAカード電話帳では、[MENU][3]で内容を修正します。また、電話番号に「＊」が含まれていると上書き登録ができないことがあります。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目の電話番号やメールアドレスを削除すると、2件目以降が繰り上げ登録されます。

電話帳をコピーする

- FOMA端末電話帳をmicroSDカードへコピーすることもできます。→P304

◆ FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の間でコピーする

- コピー先に同じグループがある場合はそのグループにコピーされます。
- FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳へコピーすると、保存できる最大文字数を超えた部分と電話番号のタイマー（「T」）は削除されます。
- 電話番号とメールアドレスのアイコンは置き換えられます。

〈例〉FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳へコピーする

1 ▶電話帳検索▶ MENU 7 1 ▶電話帳を選択▶ 📷

- FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳へコピーする場合は、MENU 7 を押して電話帳を選択し、📷 を押します。

◆ 項目内容をコピーする

- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 ▶電話帳検索▶コピー元の電話帳にカーソル▶ MENU 6 ▶ 1 ～ 8

- 電話番号とメールアドレスは、1件目の内容がコピーされます。
- 2件目以降の内容をコピーするときは、詳細画面でコピーする電話番号またはメールアドレスを表示して、MENU 6 を押し 2 または 3 を押します。
- FOMAカード電話帳から操作する場合は、MENU 6 を押し 1 ～ 3 を押します。

2 貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

文字の貼り付け方法→P355

電話帳削除

電話帳を削除する

- 全件削除すると、作成したグループはすべて削除されます。
- プッシュトーク電話帳内の同電話帳も削除されます。
- FOMAカード電話帳の電話帳は「全件削除」できません。

〈例〉FOMA端末電話帳の電話帳を削除する

1 ▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶ MENU 4 ▶ 1 または 2 ▶「はい」

- 全件削除では認証操作が必要です。
- FOMAカード電話帳から操作する場合は、MENU 4 を押し「はい」を選択します。

シークレット属性

他人に見られたくない電話帳を守る

プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定した電話帳またはグループは表示されません。

- プッシュトーク電話帳にも反映されます。
- FOMAカード電話帳には設定できません。
- シークレット属性を変更すると、電話帳を終了し待受画面に戻ったときに、シークレット反映の実行確認画面が表示されます。
- プライバシーモード中の動作設定→P118

◆ 電話帳にシークレット属性を設定する

1 ▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶ MENU 3 5 1

- シークレット属性を設定していると🔑が点滅します。
- 解除する場合も同様の操作です。

◆ グループにシークレット属性を設定する

- グループ内の各電話帳にはシークレット属性は設定されません。
- 「グループなし」には設定できません。

1 MENU［電話帳／履歴］1 2 ▶グループにカーソル▶ MENU 8

- シークレット属性を設定していると🔑が点滅します。
- 解除する場合も同様の操作です。

登録件数確認

電話帳の登録件数を確認する

- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定しているFOMA端末電話帳の電話帳の件数は表示されません。

1 [検索]▶電話帳検索▶[MENU][9][2]

クイックダイヤル

少ないキー操作で電話をかける

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で電話やプッシュトークを発信できます。

- 1件目の電話番号が発信対象になります。

〈例〉メモリ番号2の電話番号に音声電話をかける

1 メモリ番号（[2]）を入力▶[発信]または[カメラ]

- プッシュトーク発信するときは[プッシュトーク]を押します。

音／画面／照明設定

着信時の動作を設定する

- 電話／メール・メッセージ着信音、電話発着信画像設定の電話／テレビ電話着信設定、バイブレータ／イルミネーション設定にも反映されます。

◆ 電話着信設定／テレビ電話着信設定

1 MENU［設定／NWサービス］▶ 5 または 6 ▶ 1 2 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

着信音：着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック（→P91）」のいずれかを選択したときは着信音を選択します。「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。

イメージ表示：表示画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときはイメージ一覧欄を選択して画像を、「ｉモーション」を選択したときは動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

バイブレータ：バイブレータの動作パターンを設定します。
- 「メロディ連動」にしてもメロディによっては連動しない場合があります。

イルミネーション：ランプの点灯パターンと色を設定します。
- 「イルミパターン1」「イルミパターン2」「メロディ連動」にすると、複数の色で点滅します。イルミネーションカラーは設定できません。
- 「メロディ連動」にしてもメロディによっては連動しない場合があります。

◆ プッシュトーク着信設定

1 MENU［設定／NWサービス］6 2 1 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

着信音：着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック（→P91）」のいずれかを選択したときは着信音を選択します。「着モーション」には音声のみの動画／ｉモーションを設定できます。

バイブレータ／着信イルミネーション：各設定項目→P90「電話着信設定／テレビ電話着信設定」

◆ メール着信設定

1 ✉ 0 1 1 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

着信音選択：着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック（→P91）」のいずれかを選択したときは着信音を選択します。

着信イルミネーション設定／バイブレータ設定：各設定項目→P90「電話着信設定／テレビ電話着信設定」

鳴動時間（秒）：着信音が鳴ったり、バイブレータが動作したりする時間を1～30秒の範囲で設定します。

◆ メッセージR着信設定／メッセージF着信設定

1 ✉ 0 1 ▶ 2 または 3 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

各設定項目→P90「メール着信設定」

✔お知らせ

- 電話着信設定、テレビ電話着信設定のイメージ表示にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 電話着信設定、テレビ電話着信設定で、ミュージックまたは音声のみの動画／ｉモーションを着信音に設定しているときに、イメージ表示に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。メロディは変更できます。
- 動画／ｉモーションによっては、電話着信設定、テレビ電話着信設定のイメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。

着信音やアラーム音などの音を変える

- 着信音に動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。
- 電話／テレビ電話、プッシュトーク、メール、メッセージR/Fの各着信設定にも反映されます。
- お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→P401

◆ 電話着信音

1 MENU［設定／NWサービス］1 1 1 ▶ 1 ～ 3 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック（→P91）」のいずれかを選択したときは、着信音を選択します。

◆ メール・メッセージ着信音

1 MENU［設定／NWサービス］1 1 2 ▶ 1 ～ 3 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック（→P91）」のいずれかを選択したときは、着信音を選択します。
- 鳴動時間は、1～30秒の範囲で設定します。

◆ ｉコンシェル着信音

1 MENU［設定／NWサービス］1 1 3 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック（→P91）」のいずれかを選択したときは、着信音を選択します。
- 鳴動時間は、1～30秒の範囲で設定します。

◆ GPS測位鳴動音

- 現在地確認設定、現在地通知設定、位置提供設定の測位動作設定にも反映されます。

1 MENU［設定／NWサービス］1 1 4 ▶ 1 ～ 4 ▶ 鳴動音選択欄を選択 ▶ 1 または 2

- 「メロディ」を選択したときは、鳴動音を選択します。

2 📷

◆ アラーム音

〈例〉目覚まし音を設定する

1 MENU［設定／NWサービス］1 1 5

2 1 ▶ 目覚まし音欄を選択 ▶ 1 ～ 4

- 「メロディ」「ｉモーション」「ミュージック（→P91）」のいずれかを選択したときは、アラーム音を選択します。「ｉモーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、表示される画像は動画／ｉモーションの映像になります。

スケジュール音を設定する：2 ▶ アラーム欄を選択 ▶ 1 ～ 3

3 📷

❖ ミュージックを設定するには

音楽データ全体を着信音にする「まるごと着信音」と、音楽データの一部分のみを着信音にする「オススメ着信音」があります。

〈例〉まるごと着信音を設定する

1 各設定で「ミュージック」▶ フォルダを選択

2 設定するミュージックを選択

- microSDカードのミュージックを選択すると確認画面が表示されます。「はい」を選択するとミュージックが本体に移動され、着信音に設定されます。

オススメ着信音を設定する：ミュージックにカーソル▶[✉]▶項目を選択
- microSDカードの会員制以外の着うたフル®を選択したときは、着信音として設定する部分を切り出して、ｉモーションフォルダに保存する確認画面が表示されます。「はい」を選択して、表示名を入力し、[📷]を押します。切り出されたミュージックはコンテンツ移行対応のｉモーションとして、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。
最大保存件数／領域を超えたとき→P312

❖着信音の優先順位

複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
① FOMA端末電話帳の個別着信設定
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ 電話／テレビ電話／メール着信音、電話／テレビ電話／メール着信設定、マルチナンバーの着信設定、2in1のBナンバー着信設定
- 相手が発信者番号を通知してこなかったときは、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信音はテレビ電話着信音／テレビ電話着信設定／2in1のBナンバー着信設定の設定に従います。

✔お知らせ

- 次のデータは着信音に設定できません。
  - WMAファイル
  - 映像のみの動画／ｉモーション
  - 詳細情報（→P310）の着信音設定が「不可」の動画／ｉモーション
  - 詳細情報（→P239）のまるごと着信音設定とオススメ着信音設定が「不可」の音楽データ
- 電話／テレビ電話着信音の設定では、次のような場合、着信時の画像が標準画像になります。ただし、電話／テレビ電話着信設定で画像を変更できます。
  - 着信音を映像のある動画／ｉモーションからミュージック、音声のみの動画／ｉモーション、メロディに変更したとき
  - 着信時の画像に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定しているときに、着信音に音声のみの動画／ｉモーションを設定したとき
- 着信音に動画／ｉモーションを設定している場合、カメラ起動中に着信があるとお買い上げ時の設定で動作することがあります。

音量設定

着信音やアラーム音などの音量を設定する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[1][2]▶[1]～[9]

- 電話着信・受話音量を選択したときは、さらに[1]または[2]を選択します。
- アラーム音量を選択したときは、さらに[1]～[3]を選択します。
- 受話音量は「Silent」と「Steptone」を設定できません。ｉアプリ、トルカ取得、キー／開閉操作、メロディ、目覚ましワンセグの各音量には「Steptone」を設定できません。

電話着信・受話音量：音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信音量、受話音量を設定します。
- 電話着信音量は、通話料金上限通知のアラーム音量にも反映されます。
- 受話音量は、伝言メモ、音声メモの再生音、画像へのスタンプ貼り付けとテキスト貼り付けの効果音の音量にも反映されます。

メール・メッセージ着信音量：メール、メッセージR/Fの着信音量を設定します。

GPS測位鳴動音量：GPS測位（現在地確認、現在地通知、位置提供での測位）鳴動音の音量を設定します。

ｉコンシェル着信音量：インフォメーション受信時の音量を設定します。

アラーム音量：目覚ましアラーム（音設定画面で音量を「端末設定に従う」に設定したとき）、目覚ましワンセグ（ワンセグ設定画面でワンセグ音量を「端末設定に従う」に設定したとき）、スケジュールアラームの音量を設定します。
- お知らせタイマーの音量は目覚まし音量の設定、ワンセグの視聴予約のアラーム音量はスケジュール音量の設定に従います。

ｉアプリ音量：ｉアプリから鳴る音の音量を設定します。

トルカ取得音量：トルカの取得が完了したときに鳴る音の音量を設定します。トルカ取得確認設定のトルカ取得音量にも反映されます。

キー／開閉操作音量：キー確認音、開閉操作音の音量を設定します。
- 「Silent」にすると、コードを読み取ったときの確認音は鳴りません。

メロディ音量：メロディ（メールやメッセージR/Fに添付されたメロディを含む）再生時の音量を設定します。メロディの動作設定の音量にも反映されます。

2 [▲][▼]または[✣]▶[●]

- 電話着信音量を「Silent」にすると、待受画面に[🔇]が表示されます。電話着信時のバイブレータを同時に設定しているときは[📳]が表示されます。

ステレオ効果設定

ステレオ・3Dサウンドやサラウンドの効果を設定する

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの利用時に有効です。
- 動画／ｉモーションとミュージックプレーヤーの動作設定のサラウンド、メロディの動作設定のステレオ・3Dサウンドにも反映されます。

1 MENU［設定／NWサービス］1 6 ▶ 1～3 ▶ 1または2

✔お知らせ
- 3Dサウンド機能とは、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド機能によって、臨場感あふれるｉアプリのゲームや着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。
- 3Dサウンドの感じかたには個人差があります。

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

- 64Kデータ通信着信時のバイブレータの動作は、音声電話着信時の設定に従います。
- 電話／テレビ電話、プッシュトーク、メール、メッセージR/Fの各着信設定、GPSの測位動作設定、ｉアプリ設定のバイブレータ設定にも反映されます。
- バイブレータ動作時にFOMA端末が机の上などにあると、振動が原因で落下するおそれがあります。

〈例〉音声電話、テレビ電話、プッシュトーク着信時のバイブレータを設定する

1 MENU［設定／NWサービス］1 3

2 1 ▶ 1～3

メール、メッセージR/F着信時のバイブレータを設定する：2 ▶ 1～3
GPS測位時のバイブレータを設定する：3 ▶ 1～4
ｉコンシェル着信時のバイブレータを設定する：4
目覚まし、スケジュールのアラーム鳴動時のバイブレータを設定する：5 ▶ 1または2
ｉアプリ利用時のバイブレータを設定する：6 ▶ 1または2
- 操作3は不要です。

3 1～5

- 「パターンA」「パターンB」「パターンC」にカーソルを合わせると、カーソル位置のパターンで振動します。
- 「メロディ連動」にすると、着信音などに設定したメロディに合わせて振動します。ただし、メロディによっては連動しない場合があります。
- 電話着信時のバイブレータを設定すると、電話着信音量が「Level 1」以上のときは待受画面に が表示されます。電話着信音量が「Silent」のときは が表示されます。

❖バイブレータの優先順位

複数の機能で着信時のバイブレータを設定している場合は、次の優先順位でFOMA端末が振動します。
① FOMA端末電話帳の個別着信設定
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ バイブレータ設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

✔お知らせ
- 通話中に着信があったときは振動しません。
- 「OFF」のときでも、Flash画像の動作時に振動する場合があります。

メロディコール設定

呼出音を変える

FOMA端末に電話をかけてきた相手に聞こえる呼出音をメロディに変更できるサービスです。
- 設定サイトはパケット通信料がかかりません。ただし、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。
- メロディコールは音声電話を着信した場合のみ有効です。

1 MENU［設定／NWサービス］1 1 9 ▶「はい」

メロディコール設定サイトに接続されます。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

操作確認音を設定する

キー確認音：キー（、、を除く）を押したり、フィンガーポインターやビューアスタイルで操作したりしたときに鳴る音を設定します。
- 電池レベル表示時の音と、データ送受信設定の通信終了音を「ON」に設定中の通信終了音は、本設定に従います。
- 「OFF」にすると、コードを読み取ったときの確認音は鳴りません。
- キー確認音が鳴るように設定しても、次の場合は鳴りません。
  - ｉアプリを起動しているとき（MULTIを除く）
  - フルブラウザ起動時、フィンガーポインターをスライドしてポインターが移動したとき
  - ビューアスタイル中にスライドやすばやくスライドしたとき
- 「ドレミ」にすると、フィンガーポインターをダブルタップしたときは専用の音が、フィンガーポインターをスライドしたり、ビューアスタイル中にタッチ、ダブルタッチしたときは「キー音2」が鳴ります。

開閉操作音：FOMA端末を開閉したときに鳴る音を設定します。

静止画撮影シャッター音：静止画撮影時のシャッター音を設定します。
- 静止画詳細設定のシャッター音にも反映されます。

動画撮影シャッター音：動画撮影時（サウンドレコーダー録音時も含む）のシャッター音を設定します。
- 動画／録音詳細設定のシャッター音にも反映されます。

1 MENU［設定／NWサービス］1 1 6

2 目的の操作を行う

キー確認音を設定する：1 ▶ 1〜5
開閉操作音を設定する：2 ▶ 1〜4
静止画撮影シャッター音を設定する：3 ▶ 1〜5
動画撮影シャッター音を設定する：4 ▶ 1〜5

充電確認音

充電時の確認音を設定する

充電の開始時と完了時に確認音を鳴らすかを設定します。

1 MENU［設定／NWサービス］1 1 7 ▶ 1または2

✔お知らせ
- 「ON」にしても、次の場合は充電確認音は鳴りません。
  - マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、音声電話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、64Kデータ通信中、ｉモード中、パケット通信中

通話保留・警告音を設定する

通話保留音：通話保留音を設定します。

通話品質アラーム音：通話が切れそうなときのアラーム音を設定します。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れる場合があります。

再接続アラーム音：途切れた通話を再接続するときのアラームを設定します。
- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れる場合があります。

電池アラーム音：電池が切れそうなときに、アラームを鳴らすかを設定します。
- 通話中に電池が切れそうになると、「OFF」に設定していても受話口からアラームが鳴ります。

1 MENU［設定／NWサービス］1 1 8

2 目的の操作を行う

通話保留音を設定する：2 ▶ 1〜3
通話品質アラーム音を設定する：3 ▶ 1〜3
- 音声電話中での操作：MENU 5

再接続アラーム音を設定する：4 ▶ 1〜3
- 音声電話中での操作：MENU 4
- プッシュトーク通信中での操作：MENU 1

電池アラーム音を設定する：5 ▶ 1または2

マナーモード

電話から鳴る音を消す

着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定します。

◆ マナーモードの起動／解除

1 [#]（1秒以上）

マナーモードが起動／解除されます。起動すると、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

- お買い上げ時は、FOMA端末を閉じた状態でを1秒以上押してもマナーモードを起動／解除できます。
- 背面ディスプレイのメニューからも起動／解除できます。→P35

❖通常マナーモードを起動すると

着信音、キー確認音、開閉操作音、アラーム、ブザー、コードを読み取ったときの確認音などFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

- 次の場合は、バイブレータの動作は「パターンA」になります。
  - 音声電話着信時、テレビ電話着信時、プッシュトーク着信時、メール受信時、64Kデータ通信着信時、ｉコンシェル着信時
  - GPS測位鳴動音でメロディが設定されているときの測位中
  - お知らせタイマーで設定した時間が経過したとき
  - スケジュールで指定した日時になったとき
- 緊急地震速報のエリアメール受信時のバイブレータ（振動）は「メロディ連動」になります。
- 目覚ましで指定した時刻になると、バイブレータは目覚ましの設定に従って動作します。
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して送受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません。
- 音声のある動画／ｉモーション、ワンセグで録画した番組を再生したときは、音声の再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると映像のみ再生されます。
- ワンセグ起動時には、音声の出力確認画面が表示されます。「はい」を選択すると音量を調整できます。「いいえ」を選択すると音声は出力されません。ただし、視聴予約の開始通知設定でワンセグの起動を「自動起動」にしたときは音声が出力されます。
- ミュージック、メロディ、Music&Videoチャネルの番組の再生時には、再生確認画面が表示され、「はい」を選択すると再生されます。

✔お知らせ

- マナーモード中でも、シャッター音は鳴ります。
- 通話料金上限通知のアラームは通常マナーモード中には鳴りません。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの電話着信音量の設定に従います。

◆ マナーモード選択

〈例〉オリジナルマナーモードを設定する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[1][4]

2 [2]

通常マナーモードを設定する：[1]

- 操作3は不要です。

3 各項目を設定▶[📷]

- バイブレータを「ON」にすると、バイブレータ設定に従って動作します。バイブレータ設定で「OFF」に設定されている項目は「パターンA」で振動します。
- バイブレータを「個別設定に従う」にすると、バイブレータ設定に従って動作します。
- バイブレータの設定に関わらず、緊急地震速報のエリアメール受信時は「メロディ連動」で振動します。
- 電話着信音量は、音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信音量を設定します。
- メール着信音量を「消音」にしても、他の設定項目のいずれかで音を鳴らすように設定しているときは、緊急地震速報のエリアメール受信時にブザー警報音が鳴ります。
- 目覚まし音、スケジュール音、ｉアプリ音は、「ON」にすると各設定に従って音が鳴ります。
- 目覚まし音を「ON」にすると、お知らせタイマーの音も鳴ります。
- 伝言メモは、伝言メモの設定に関わらず本設定に従って動作します。

ライフスタイル設定

ライフスタイルに応じて待受画面やマナーモードなどを切り替える

指定した時刻に待受画面を切り替えたり、マナーモードやプライバシーモードを起動したりするように設定します。ライフスタイルは最大18件登録できます。

1 MENU［設定／NWサービス］３３

2 タイトルを選択▶各項目を設定▶📷

時刻：切り替えを行う時刻を24時間制で入力します。

繰り返し：繰り返しの動作を設定します。

- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して📷を押します。

タイトル：全角10（半角20）文字以内で入力します。

トータルカスタマイズ：コーディネイトを変更するかを設定します。

- 「変更する」を選択したときは、トータルカスタマイズを選択します。

マナーモード：マナーモードの起動／解除を設定します。

- 「ON」にすると、マナーモード選択で設定したマナーモードが起動します。

プライバシー：プライバシーモードを起動するかを設定します。

- 「ON」にすると、プライバシーモード設定で設定したプライバシーモードが起動します。

設定／解除する：タイトルにカーソル▶MENU

- 設定中のライフスタイル設定には、タイトルの左に🕘が表示されます。

✔お知らせ

- トータルカスタマイズを「変更する」に設定しているときは、指定した時刻になると、待受画面に設定している画像、動画／iモーションは解除されます。ただし、iチャネルのテロップ表示は解除されません。
- iアプリ待受画面を設定している間は動作しません。
- 設定されている項目が複数あり、動作時刻が同じときは、ライフスタイル設定一覧で最も上にあるものが動作します。
- 繰り返しを「曜日指定」に設定したときは、指定した曜日を過ぎても元の設定に戻りません。切り替えたいときは、複数のライフスタイルを登録してください。
- ライフスタイル設定とアラームを同じ時刻に設定したときは、アラームが動作した後にライフスタイル設定が動作します。
- 指定した時刻に電源が切れているときや、オールロック中、おまかせロック中、他の機能が起動しているときは動作しません。電源を入れる、ロック解除、待受画面を表示などすると、指定した時刻を過ぎたライフスタイル設定が順に動作します。

待受画面設定

待受画面の表示を変える

- 画像や動画／iモーション、iアプリによっては、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと待受画面設定が無効になります（FOMAカードのセキュリティ機能）。

◆ 画像や動画／iモーションを待受画面に設定

- 待受画面に設定できる動画／iモーションについて→P295

1 MENU［設定／NWサービス］２１１

2 １、３、５のいずれかを選択

- 「きせかえツールに従う」を選択したときは以降の操作は不要です。

フォルダ内の静止画を切り替えて表示する〈ランダムイメージ設定〉：
２▶各項目を設定▶📷

- 操作4に進みます。
- 切替設定を「30分ごと」にすると毎時0分と30分に、「60分ごと」にすると毎時0分に画像が切り替わります。

3 フォルダを選択▶画像または動画／iモーションを選択

4 「はい」

- 画像、動画／iモーションのサイズによっては、「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大表示されます。
- iアプリ待受画面が設定されているときは、続けてiアプリ待受画面の解除確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、iアプリ待受画面が解除されます。
- iチャネルのテロップ表示設定のテロップ表示とインフォメーション表示設定は「表示しない」に設定されます。iアプリ待受画面が設定されていないときに待受画面の動画／iモーションを解除すると、テロップ表示は「表示する」に、インフォメーション表示設定は元の設定に戻ります。

❖待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーションを再生するには

- 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
  [■]／FOMA端末を開く：再生
  [CLR]／[■]：停止
  [▲][▼]：音量調整
- GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の場合は次の操作ができます。
  FOMA端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる：再生
  [■]：一時停止／再生
- オールロック中などには再生されません。

✔お知らせ

- 待受画面を表示すると、Flash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生した後に停止します。時計として機能するFlash画像を設定している場合に時計が止まったときは、Flash画像の再生を行うと再開できます。
- 待受画面に表示しているマチキャラによっては、Flash画像の再生速度が遅くなる場合があります。
- GIFアニメーションを拡大表示で設定すると表示が乱れることがあります。
- マイピクチャの「プリインストール」フォルダのFlash画像を設定すると、時刻や季節により表示される画像が変化する場合があります。また、FOMA端末を傾けたり振ったりすると画像が変化するものもあります。
- ウォーキングチェッカー設定が「利用する」のときは、マイピクチャの「プリインストール」フォルダの「ウォーキング×フラワー」を設定すると、待受画面で歩数が確認できます。また、歩数に応じて画像が変化する場合があります。
- ランダムイメージ設定で選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動または削除したり、パラパラマンガを作成したりして表示できる静止画がないときは、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、待受画面に表示されている静止画を移動したり、パラパラマンガとして作成した直後は、次に画像が切り替わるまでその画像が一時的に表示されます。

◆ｉアプリ待受画面を設定

- ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリのみ設定できます。
- 他の待受画面設定よりも、ｉアプリ待受画面が優先されます。
- ｉアプリ待受画面の操作→P258

1 [MENU]［設定／NWサービス］[2][1][1][4]

2 ｉアプリを選択▶「はい」

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面に[アイコン]または[アイコン]が表示されます。
- ｉチャネルのテロップ表示設定のテロップ表示とインフォメーション表示設定は「表示しない」に設定されます。動画／ｉモーションが設定されていないときにｉアプリ待受画面を解除すると、テロップ表示は「表示する」に、インフォメーション表示設定は元の設定に戻ります。

◆カレンダー／待受カスタマイズ

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、各エリアに未読メールや不在着信などの新着情報、スケジュール、カレンダー、メモ一覧、メモ内容を表示するように設定します。
- 設定した情報は、待受画面に画像が設定されているときは画像に重ねて表示されます。待受画面に動画／ｉモーション、ｉアプリ待受画面が設定されているときは表示されません。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[2][1][5]

2 [1]

解除する：[2]
- 以降の操作は不要です。

3 [◎]でパターンを切り替え▶エリアを選択

4 [1]、[3]、[5]

- [MENU]を押して「はい」を選択すると、すべてのエリアの設定を解除できます。

新着情報を設定する：[2]▶情報を選択▶[📷]
- 「[✉]未読メール一覧」を選択すると、未読メールの受信日時と題名を表示します。
- 「[R]メッセージR」／「[F]メッセージF」を選択すると、メッセージR/Fの受信日時とタイトルを表示します。
- 「[☎]不在着信一覧」を選択すると、着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）を表示します。
- 「[📼]伝言メモ一覧」を選択すると、録音日時または録画日時と、相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）を表示します。

カレンダーを設定する：[4]▶[1]～[4]
- エリアの大きさにより、カレンダーを表示できる月数は変わります。

メモ内容を設定する：[6]▶メモを選択

5 [📷]▶「はい」

❖待受画面で情報を確認

1 ●

- 情報が表示されていないときは、▭を押してエリアを表示させてから●を押します。

2 ✣でカーソル枠を移動▶●

✔**お知らせ**

- 待受画面で▭を押すたびに、情報の表示と非表示を切り替えられます。
- 待受画面にアニメーションやパラパラマンガを設定しているときは、再生が停止または一時停止した後に▭を押すと情報が表示されます。
- インフォメーション表示中は、カレンダー／待受カスタマイズで設定したエリアは選択できません。

❖各情報の表示内容

- 表示される情報の件数や行数はエリアのサイズによって異なるため、情報の一部が表示されない場合があります。
- 各情報の日時は、当日は時刻が、当日以外では日付が表示されます。
- パーソナルデータロック中は、新着情報は不在着信一覧の設定のみ変更できます。スケジュール、メモ一覧、メモ内容は選択できません。

■ **新着情報**

情報が新しいものから順に表示されます。エリアを選択すると先頭の情報が確認できます。

✉: 未読メール　R／F: メッセージR／メッセージF

不在着信アイコン: 不在着信　伝言メモアイコン: 伝言メモ

■ **スケジュール**

開始日時になっていないスケジュールやワンセグの視聴／録画予約の早いものから順に、アイコン、開始日時、内容／番組名が表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールまたは視聴／録画予約が確認できます。

- 開始日時と終了日時が同じ日でないスケジュールには⟺が表示されます。
- 終日をONにしたスケジュールが当日の場合は、「終日」と表示されます。

■ **カレンダー**

1ヶ月／2ヶ月／4ヶ月／6ヶ月分のカレンダーが表示されます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。

- 当日は黄、休日と祝日は赤、土曜日は青で表示されます。色はスケジュール帳の休日設定、曜日休日設定、祝日設定で変わります。
- スケジュールやワンセグの視聴／録画予約が設定されているときは、日付の右上に赤いマークが表示されます。

■ **メモ一覧**

テキストメモに登録されているメモの一覧が表示されます。エリアを選択するとメモ一覧が表示されます。

■ **メモ内容**

メモ内容に設定したメモの先頭部分が表示されます。エリアを選択するとメモの詳細が表示されます。

電話発信画像設定

電話／テレビ電話発信時の画像を変更する

1 MENU［設定／NWサービス］2 3 2 ▶ 1 または 3 ▶イメージ表示欄を選択▶ 1 ～ 3

- 「イメージ」を選択したときは、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。
- パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。

2 📷

❖発信画像の優先順位

複数の機能で発信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

① FOMA端末電話帳に登録した画像※

② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定

③ 電話発信設定／テレビ電話発信設定

※ 人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。

電話着信画像設定

電話／テレビ電話着信時の画像を変更する

- 発着信・通話機能の電話着信設定、テレビ電話のテレビ電話着信設定にも反映されます。

1 MENU［設定／NWサービス］2 3 2 ▶ 2 または 4 ▶ イメージ表示欄を選択 ▶ 1 ～ 5

- 「イメージ」を選択したときはイメージ一覧欄を選択して画像を、「ｉモーション」を選択したときは動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。
- 電話着信音、テレビ電話着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されていると「着信音連動」になります。

2 📷

✔お知らせ

- パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーションを着信音に設定しているとき、イメージ表示に映像のみの動画／ｉモーション、Flash画像を設定し直すと、着信音は「着信音1」（音声電話）または「ハープ」（テレビ電話）になります。メロディは変更できます。
- 動画／ｉモーションによってはイメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。

❖着信画像の優先順位

複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

① FOMA端末電話帳に登録した画像※1
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ 電話着信音※2／テレビ電話着信音※2／電話着信設定／テレビ電話着信設定／マルチナンバーの着信設定／2in1のBナンバー着信設定※2

※1 人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。
※2 「着モーション」に設定した場合に、音声と映像のある動画／ｉモーションを設定したときに有効です。

- 相手が発信者番号を通知してこなかったときは、音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信画像はテレビ電話着信設定に従います。
- FOMA端末電話帳の個別着信設定の着信音に動画／ｉモーションを設定している場合（「端末設定に従う」に設定し、電話着信設定で動画／ｉモーションを設定しているときなども含む）は、電話帳に設定した画像や動画／ｉモーションは表示されず、着信音に設定した動画／ｉモーションが表示されます。ただし、個別着信設定の着信音などで音声のみの動画／ｉモーションを設定しているときは、次のように動作します。
  - 電話帳に静止画を設定した場合は静止画が表示されます。
  - 電話帳にFlash画像や動画／ｉモーションを設定したときは、電話帳の画像は表示されず、グループ別発着信設定や電話着信設定などに設定した画像が表示されます。
- 電話帳のグループ別発着信設定で着信音を「端末設定に従う」に設定し、電話着信設定などで動画／ｉモーションを設定しているときは、グループ別電話帳に設定した画像や動画／ｉモーションは表示されず、着信音に設定した動画／ｉモーションが表示されます。ただし、電話着信設定などで音声のみの動画／ｉモーションを設定しているときは、次のように動作します。
  - グループ別発着信設定に静止画を設定したときは静止画が表示されます。
  - グループ別発着信設定にFlash画像や動画／ｉモーションを設定したときは、電話着信設定などに設定した画像が表示されます。

発着信識別表示

発着信時や通話中に表示するタイトルを装飾する

- 2in1の発着信識別表示のAナンバーにも反映されます。
- マルチナンバーの利用時は、識別記号は表示されません。

1 MENU［設定／NWサービス］5 1 3 ▶各項目を設定▶ 📷
- 識別表示を「ON」にすると識別記号を設定できます。

人物画像表示設定

発着信時の電話帳の人物表示を設定する

音声電話やテレビ電話の発着信時に、FOMA端末電話帳に登録されている画像を表示するかを設定します。
- 電話帳に登録されている画像は、相手が電話番号を通知してきたときに表示されます。

1 MENU［設定／NWサービス］2 3 2 5 ▶ 1 または 2

メール送受信画像設定

メール送受信時や問合せ時の画面を変更する

メールの送信、メール（メッセージR/F含む）の受信や着信結果、iモード問合せ時に表示する画像を設定します。

1 MENU［設定／NWサービス］2 3 3

2 1、2、4 ▶イメージ表示欄を選択▶ 1 ～ 3
- 「イメージ」を選択したときは、イメージ一覧欄を選択し画像を選択します。

メール着信結果画像を設定する：3 ▶イメージ表示欄を選択▶ 1 ～ 5
- 「iモーション」を選択したときは、動画一覧から動画／iモーションを選択します。
- メール着信音に音声と映像のある動画／iモーションが設定されていると着信音連動で動作します。

3 📷

背面ディスプレイ設定

背面ディスプレイの表示を設定する

◆ 背面画像設定

電話の着信時やメールの受信時などに背面ディスプレイに表示する画像を設定します。また、時計のパターンも設定できます。

1 MENU［設定／NWサービス］2 7 1 ▶各項目を設定▶ 📷

◆ 背面ディスプレイの自動点灯設定

FOMA端末を持ち上げて傾けたときに背面ディスプレイの照明を自動点灯させるかを設定します。
- 歩行中や振動の多い場所でFOMA端末を傾けたままの状態にしたときに、背面ディスプレイの照明が自動点灯する場合があります。

1 MENU［設定／NWサービス］2 7 2 ▶ 1 または 2

照明／キーバックライト設定

ディスプレイとキーバックライトを設定する

◆ 照明点灯時間設定

- iモード設定、iアプリ設定の照明点灯時間設定、静止画詳細設定、動画／録音詳細設定、iモーションの動作設定の照明点灯時間にも反映されます。また、iモーションの設定はMusic&Videoチャネルの照明点灯時間にも反映されます。

1 MENU［設定／NWサービス］2 4 1 ▶ 1 ～ 7

2 1 または 2
- 「通常時」を選択したときは 1 ～ 7 を選択します。
- 「端末設定に従う」にすると、「通常時」で設定した点灯時間に従って照明が点灯します。
- 「常時点灯」にすると、明るさ調整で設定した明るさで常に照明が点灯し、省電力の状態になりません。ただし、AC／DCアダプタ接続時は、明るさ調整の設定に関わらず、「明るさ5」で点灯します。
- iアプリの場合は「ソフトに従う」にすると、iアプリの設定に従って点灯します。常時点灯のiアプリの場合は省電力の状態になりません。

◆画面オフ時間設定

ディスプレイの表示を消すまでの時間を設定します。
- 照明点灯時間設定で「常時点灯」に設定している機能では無効です。
- 着信中や受信中、テレビ電話中、カメラ操作中、ワンセグ視聴中、ワンセグのビデオ再生中、アラーム鳴動中などは表示は消えません。動作終了後に設定時間が経過すると表示が消えます。
- ディスプレイに何も表示されていないときに、FOMA端末の開閉やキー操作を行うとディスプレイの照明が点灯します。

1 MENU［設定／NWサービス］2 4 2 ▶ 1～7

◆明るさ調整

1 MENU［設定／NWサービス］2 4 3 ▶ 1～6
- 「自動調整」にすると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されます。周囲が明るい場所ではキーバックライトは点灯しません。

◆キーバックライト設定

1 MENU［設定／NWサービス］2 4 4 ▶各項目を設定▶ 📷

キーバックライト：「ON」にすると、FOMA端末を開いたときやキーを押したときなどにキーバックライトを点灯します。
キーバックライト色：「キー連動（レインボー）」にすると、キーを押すたびに点灯色が変わります。「開閉連動（レインボー）」にすると、FOMA端末を開くたびに点灯色が変わります。
着信イルミネーションパターン：「ON」にすると、着信時のキーバックライトは着信イルミネーションに従って動作します。「OFF」にすると、着信時のキーバックライトはキーバックライト色の設定に従って動作します。
- 着信イルミネーションのイルミネーションパターンが「イルミパターン1」のときは「キーウィフルーツ」、「イルミパターン2」または「メロディ連動」のときは「キー連動（レインボー）」で動作します。「OFF」のときは、キーバックライト色に従います。
- 着信イルミネーションのイルミネーションカラーが「レインボー」のときは「キー連動（レインボー）」で動作します。

省電力設定

電池の消費を節約する

◆省電力モードON／OFF

1 MENU［設定／NWサービス］2 9 1

◆省電力動作設定

1 MENU［設定／NWサービス］2 9 2 ▶ 1または2

❖省電力モードにすると

- 標準省電力にすると、次のように動作します。
  - キーバックライト設定、イルミネーション設定の通話中イルミネーション、GPS測位イルミネーション、ICカードアクセスイルミネーション、開閉イルミネーション、不在着信お知らせの設定は「OFF」になります。
  - 明るさ調整は「明るさ1」、画面オフ時間設定は「15秒」に設定されます。
  - ワンセグECOモードはONに設定されます。
  - 照明点灯時間設定の通常時は「0秒」に、通常時以外は「端末設定に従う」に設定されます。
- フル省電力にすると、標準省電力の動作に加えて次のように動作します。
  - モーションセンサー設定、背面ディスプレイの自動点灯設定、オートキーロックの置き忘れセンサーは「OFF」になります。
  - ウォーキングチェッカー設定は、「利用しない」になります。

✔お知らせ
- 次の場合、省電力モードは「OFF」に設定され、省電力設定で変更された設定は元の状態に戻ります。
  - 省電力設定で設定される項目を個別に変更したとき
  - 静止画詳細設定と動画／録音詳細設定の照明点灯時間を「常時点灯」にしたとき
  - 「明るさ1」以外の明るさを含むきせかえツールを設定したとき
  - トータルカスタマイズを設定したとき
  - トータルカスタマイズを「変更する」に設定したライフスタイル設定が動作したとき

スクリーン設定

画面のカラー配色を変更する

1 MENU［設定／NWサービス］2 3 1▶配色を選択

表示メニュー設定

表示メニューを変更する

待受画面でMENUを押して表示されるメニューを設定します。

1 MENU［設定／NWサービス］2 2 1▶1～3

マチキャラ設定

マチキャラを設定する

待受画面やメニュー画面などにキャラクタを表示できます。

1 MENU［設定／NWサービス］2 8▶表示設定欄を選択▶1または2

- 「ON」にするとマチキャラを選択できます。

2 📷

✔お知らせ

- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリが設定されているときや、ビューアスタイルでは、マチキャラは表示されません。
- サイト表示中は、通信中でない状態で30秒以上キー操作がない場合などに、マチキャラが表示されることがあります。
- マチキャラによっては、時刻や新着情報、通話時間などによりマチキャラの動作が変化するものがあります。

きせかえツールを利用する

きせかえツールを利用すると、待受画像、メニューアイコン、発着信画像、着信音などを一括で設定できます。

- 「プリインストール」フォルダのきせかえツールは移動や削除できません。また、ファイル名は変更できません。
- きせかえツールでは、次の項目が設定できます（きせかえツールによって、設定できる項目の組み合わせの内容は異なります）。
  - 待受画面、きせかえメニュー※1、ベーシックメニュー、ベーシックメニュー（背景）、メールメニュー（背景）、ｉモードメニュー（背景）、電池アイコン、アンテナアイコン、音声電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話発信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信中画面、メール着信結果画面、センター問合せ画面※2、音声電話着信音、テレビ電話着信音、プッシュトーク着信音、メール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、目覚まし音、ｉコンシェル着信音、カラーテーマ、フォント、明るさ、キーバックライト色、待受時計デザイン、待受時計形式、待受時計表示位置、待受時計曜日、背面時計パターン、背面着信画像、背面メール受信画像

  ※1 きせかえツールによっては、バイリンガルを「English」にしたときの英語表示に対応していないものがあります。また、待受画面でiαや✉を押した場合の動作が通常と異なるものや、ショートカット操作ができないものがあります。

  ※2 ｉモード／SMS問合せ時に表示する画像を設定します。
- きせかえメニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。
- 2in1がONのときは、デュアルモードとBモードの待受画面、およびBナンバーの電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音には、きせかえツールの項目は設定されません。

◆ きせかえツールの変更

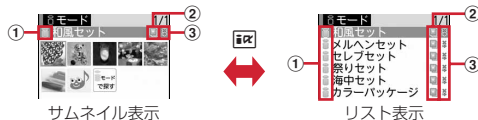
1 [MENU]［データBOX］[7]

iモード：サイトからダウンロードしたきせかえツール
プリインストール：プリインストールされているきせかえツール
マイフォルダ：他のフォルダから移動したきせかえツール
- フォルダを追加すると表示されます。→P308

iモードで探す：iモードサイトからきせかえツールを探す→P178

2 フォルダを選択▶きせかえツールにカーソルを合わせる

カーソル位置のファイルの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

サムネイル表示　リスト表示

① **取得元**
　：iモード
　／：iモード（標準フォント対応）／（大きめフォント対応）
　／：プリインストール（標準フォント対応）／（大きめフォント対応）
　：iモードサイトからきせかえツールを探す→P178

② **ファイルの種類**
　：最後の設定　：現在の設定
　（後ろのカードがグレー）：未設定
　（上半分がグレー）：部分的に保存済
　：FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可

③ **ファイル制限**
　：ファイル制限あり

- サムネイル表示のときは、ディスプレイ上部にカーソル位置のきせかえツールの表示名、ディスプレイ下部にファイルサイズが表示されます。また、サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
　（後ろのカードがピンク）：プレビュー画像なし
　：FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
　（上半分がグレー）：部分的にダウンロード済

設定をリセットする：[MENU][6]▶認証操作▶「すべてリセット」または「メニュー画面のみ」
- 「すべてリセット」を選択すると、きせかえツールの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
- 「メニュー画面のみ」を選択すると、「きせかえメニュー」「ベーシックメニュー」「ベーシックメニュー（背景）」「メールメニュー（背景）」「iモードメニュー（背景）」の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

一覧画面の動作設定をする：フォルダを選択▶[MENU][7]▶[1]または[2]
- 「あり」にするとサムネイル表示になります。

メモリを確認する：[MENU][4]▶データの種類にカーソル

3 [📷]▶「はい」

きせかえツールのデータが一括で設定されます。
- きせかえツールに大きい文字の設定が含まれているときは、メール、電話帳、発着信履歴などの文字を変更する確認画面が表示されます。また、大きい文字を設定中に、大きい文字が含まれていないきせかえツールに変更すると、メール、電話帳、発着信履歴などの文字を変更する確認画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。
- 部分的にダウンロードしたきせかえツールにカーソル▶[●]、[📷]、[✉]を押したときは、残りのデータのダウンロード確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロードできないときは、部分保存したきせかえツールは削除される場合があります。

詳細情報を表示／変更する：[MENU][2]▶[1]または[2]
詳細情報について→P310

設定を解除する：[MENU][3]▶[1]～[3]
- 「選択解除」を選択したときは、解除するきせかえツールを選択して[📷]を押し、「はい」を選択します。
- 「1件解除」または「全件解除」を選択したときは、「はい」を選択します。

移動する／戻す：[MENU][4]▶[1]または[2]▶[1]～[3]
移動／戻しについて→P309

削除する：[MENU][5]▶[1]～[3]
削除について→P311

並べ替える〈ソート〉：[MENU][6]▶各項目を設定▶[📷]
ソートについて→P312

❖スペシャルモードにする

スペシャルモードにすると、「プリインストール」フォルダに「アクア」が追加され、自動的にきせかえツールに設定されます。

1 MENU▶📷▶MENU 1 3▶グループ名欄に「アクア」と入力▶📷

- 次の項目が設定されます。
  - 待受画面、きせかえメニュー、電池アイコン、アンテナアイコン、音声電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話発信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信中画面、メール着信結果画面、センター問合せ画面、カラーテーマ、待受時計デザイン、待受時計形式、待受時計表示位置、待受時計曜日、背面時計パターン、背面着信画像、背面メール受信画像
- 設定手順と同じ操作をすると、「プリインストール」フォルダから「アクア」が削除され、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。
- マチキャラの「プリインストール」フォルダにも「リーフロボット（スペシャル）」が追加されます。「リーフロボット（スペシャル）」を削除すると、再びスペシャルモードにしても追加されません。「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードしてください。→P312
- スペシャルモードに関する情報は、「@Fケータイ応援団」サイトの「裏技紹介」をご覧ください。→P312

◆きせかえツールの内容の確認

1 MENU［データBOX］7▶フォルダを選択

2 きせかえツールにカーソル▶✉

- 設定中の項目には、項目名の左のマークに赤いチェックが付きます。
- 項目によっては、項目名の右にファイル形式を示すマークが表示されます。マークの意味は次のとおりです。

  JPG：JPEG形式の画像　GIF：GIF形式の画像

  SWF：SWF（Flash画像）　VUI：きせかえメニュー

  MP4：MP4形式の動画　MFI：MFi形式のメロディ

  SMF：SMF形式のメロディ

イメージを表示する：きせかえツールを選択

項目ごとのイメージや設定内容を表示する：きせかえツールにカーソル▶✉▶項目を選択

✔お知らせ

- 「Simple Menu（→P400）」を使用しているときは、バイリンガルは設定できません。
- 各設定画面で「きせかえツールに従う」に設定されている項目は、「きせかえツールに従う」以外を選択するときせかえツールの解除確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、該当項目のみ解除されます。きせかえツールの設定に戻すには、再度きせかえツールを設定してください。
- きせかえツール内に表示・再生できないデータがあるときは、きせかえツールを設定しても、そのデータのみ設定されません。

メニューをカスタマイズする

きせかえメニューのメニュー項目を自分で変更したり、ベーシックメニューのアイコンを変更したりできます。設定しているコンテンツによって、操作できる項目は異なります。

◆きせかえメニューのメニュー項目のカスタマイズ

- メニュー項目の変更や入れ替えに対応したきせかえツールをダウンロードして設定した場合に操作できます。
- スペシャルモード（→P104）の「アクア」を設定しているときは、メニュー項目の入れ替え操作ができます。

❖メニュー項目の変更

1 MENU▶メニュー項目にカーソル▶MENU 2▶登録する機能にカーソル▶📷

- 2階層目まで選択できます。

❖メニュー項目の入れ替え

1 MENU▶メニュー項目にカーソル▶MENU 3▶入れ替え先の項目を選択

◆ メニューの操作履歴のリセット

1 MENU［設定／NWサービス］2 2 3 1 ▶「はい」

◆ ベーシックメニューのアイコンと背景の変更

1 MENU ▶ iα

- 表示メニューがベーシックメニューのときは、iαを押す必要はありません。

2 MENU 2

3 機能を選択 ▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択

続けて他の機能のメニューアイコンも同様に設定できます。
1件解除する：アイコンにカーソル ▶ MENU 1 ▶「はい」
全件解除する：MENU 2 ▶「はい」

4 ✉ ▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択

背景が設定されます。
背景を解除する：MENU 4 ▶「はい」

5 📷 ▶「はい」

- 表示メニューがベーシックメニューのときは、変更確認画面は表示されません。

✔お知らせ

- パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」フォルダ内の画像は選択できません。また、GIFアニメーションを選択すると最初のコマが表示されます。
- 設定する画像のサイズにより、アイコンは192×192、背景画像は480×704に拡大／縮小表示されます。
- 「ベーシックメニュー」「ベーシックメニュー（背景）」を含むきせかえツールの使用中、パーソナルデータロック中は、ベーシックメニューのアイコンと背景を変更できません。

◆ メニュー設定のリセット

- セレクトメニューもお買い上げ時の状態に戻ります。

1 MENU［設定／NWサービス］2 2 3 2 ▶ 認証操作 ▶「はい」

トータルカスタマイズ

FOMA端末の画面をカスタマイズする

ディスプレイの待受画面やメニュー、時計、電池アイコン、アンテナアイコン、背面ディスプレイパターンなどの画面のデザインを変更して、3種類のオリジナルのコーディネイトを作成できます。

- トータルカスタマイズを設定すると、照明／キーバックライト設定の明るさ調整、文字サイズ設定のｉモード、メール閲覧、メール編集／文字入力、アクセサリー、フォント選択、省電力モード、ワンセグのユーザ設定の字幕サイズがお買い上げ時の設定に戻ります。また、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間の通常時を「0秒」に設定していたときは、それ以前の設定値に変更されます。

1 MENU［設定／NWサービス］3 2

2 1～3 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

タイトル：全角10（半角20）文字以内で入力します。
メニューデザイン：プリインストールされているきせかえツールを選択します。
スクリーン設定：ディスプレイの表示色の配色を選択します。
待受画像設定：待受画面に表示する画像を、静止画、GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像から選択します。
待受時計／形式／表示位置／曜日：待受画面に時計を表示するか、表示する時計のデザイン、形式、表示位置、曜日の表示の種類を選択します。
時計表示設定の項目→P108「時計の表示を設定する」
電池アイコン：電池アイコンの種類を選択します。
アンテナアイコン：アンテナアイコンの種類を選択します。
背面ディスプレイ時計パターン：背面ディスプレイの時計パターンを選択します。
背面ディスプレイ音声着信画像：電話着信中の背面ディスプレイの画像パターンを選択します。
背面ディスプレイメール受信中画像：メール受信中の背面ディスプレイの画像パターンを選択します。
キーバックライト色：キーバックライト色を選択します。

電池アイコン設定／アンテナアイコン設定

電池やアンテナのアイコンを変更する

1 MENU［設定／NWサービス］2 1 ▶ 3 または 4 ▶ 1 〜 6

- スペシャルモードを設定しているときは、1 〜 7 から選択します。

不在着信お知らせ

不在着信や未読メールなどの新着情報をランプで知らせる

FOMA端末を閉じている場合、不在着信、未読メール（SMS含む）、新着インフォメーションがあるときにランプ（電話ランプ、メールランプ含む）を点滅させるかを設定します。

1 MENU［設定／NWサービス］2 3 5 2 ▶ 1 または 2

- 「ON」にすると次のように動作します。
  - 不在着信は電話ランプと上のランプ、新着インフォメーションは中央のランプ、未読メール（SMSを含む）はメールランプと下のランプが約6秒間隔で点滅します。
  - ランプ（電話ランプ、メールランプを除く）の色は、イルミネーション設定の着信イルミネーションに従います。電話帳に登録している電話番号またはメールアドレスからの着信、受信を示す新着情報があるときは、FOMA端末電話帳の個別着信設定の着信イルミネーションカラーの設定に従います。
  - 最後の新着情報から約6時間経過したときや、待受画面の 2 2(数字は件数）を消去したときは、情報を確認していなくてもランプの点滅は停止します。

イルミネーション設定

着信時や通話中などの点灯パターンと点灯色を設定する

- 電話／テレビ電話着信設定のイルミネーション、プッシュトーク着信設定の着信イルミネーション、メール／メッセージR/F着信設定の着信イルミネーション設定、トルカ取得確認設定のイルミネーション設定とイルミネーションカラー、GPSの測位動作設定のイルミネーション設定にも反映されます。
- ランプの点灯色や明るさについて→P421

1 MENU［設定／NWサービス］2 5 ▶ 1 〜 5 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

- イルミネーションパターンを「イルミパターン1」「イルミパターン2」「メロディ連動」にすると、複数の色で点滅します。イルミネーションカラーは設定できません。
- 着信イルミネーションのイルミネーションパターンを「メロディ連動」にして不在着信お知らせを「ON」にしている場合、新着情報があるときのイルミネーションカラーは、電話着信のイルミネーションカラーおよびメール着信のイルミネーションカラーに従います。
- トルカ取得時の点灯、通話中イルミネーション、ICカードアクセスイルミネーション、開閉イルミネーションを設定するときは、イルミネーションを「ON」にして、イルミネーションカラーを選択します。
- GPS測位イルミネーションでは、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認には「OFF」も設定できません。
- イルミネーションパターンを「メロディ連動」にしても、メロディによっては連動しない場合があります。

❖着信イルミネーションの優先順位

複数の機能で着信イルミネーションのイルミネーションパターン、イルミネーションカラーを設定している場合、次の優先順位でランプが点灯します。

① FOMA端末電話帳の個別着信設定
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ 着信イルミネーション／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

フォント選択

フォントを変える

ｉモードサイト、フルブラウザ、文字入力画面などに表示される文字の種類を変更できます。

- ひらがな／カタカナはお買い上げ時に登録されている「プリティー桃」のほかに、ダウンロードしたフォントを利用できます。
- カメラ、ｉアプリ、ｉモーションなどの機能の一部には反映されません。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[2][6][2]▶漢字／英数字欄を選択▶[1]～[3]

2 ひらがな／カタカナ欄を選択▶フォントを選択

ダウンロードしたフォントを削除する：ひらがな／カタカナ欄を選択▶フォントにカーソル▶[MENU]▶「はい」

- お買い上げ時に登録されているフォントや、現在利用中のフォントは削除できません。

3 [カメラ]

文字サイズ設定

文字の大きさを変更する

テキストメモ、メール本文入力などの全画面入力や画面メモ、ｉモードサイト、フルブラウザ、メールなどを表示するときの文字サイズを変更できます。

〈例〉一括で設定するとき

1 [MENU]［設定／NWサービス］[2][6][1]

2 [1]▶[1]～[6]

ｉモードを設定する：[2]▶[1]～[5]
フルブラウザを設定する：[3]▶[1]～[4]
メール閲覧を設定する：[4]▶[1]～[5]
メール編集／文字入力を設定する：[5]▶[1]～[6]
電話帳／履歴・アクセサリーを設定する：[6]▶[1]または[2]

- 電話帳／履歴、テキストメモ一覧画面、目覚まし一覧画面、辞書の文字サイズを設定します。

✔お知らせ

- ｉモード、フルブラウザ、メール閲覧、電話帳／履歴・アクセサリーで設定できないサイズが一括の設定の際に選択されたときは、最も近いサイズが設定されます。
- 一括で選択した文字サイズによっては、メニューの文字サイズ変更の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択した文字サイズに適したきせかえツールを選択できます。
- メール詳細画面からも文字サイズを変更できます。→P159

時計表示設定

時計の表示を設定する

待受画面の時計表示の有無や、時計のデザイン、表示位置を設定できます。また、曜日の表示言語や時刻の表示形式も設定できます。

1 **MENU［設定／NWサービス］7 1 4▶各項目を設定▶📷**

デザイン：時計を表示するかを設定します。「ON」にしたときは時計のデザインを選択します。
- 「世界時計」にすると、左側に日本国内の時刻を、右側に設定したタイムゾーンの時刻と名称を表示します。

形式：時計の表示形式を「24時間表示」または「12時間表示」のどちらかに設定します。

表示位置：時計を表示する位置を設定します。
- オールロック中、おまかせロック中は、本設定に関わらず時計の表示位置は「上」になります。

曜日：曜日の表示を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。
- 「バイリンガルに従う」にすると、バイリンガルの設定に従って表示します。

世界時計：デザインで「世界時計」を選択したときに、表示するタイムゾーンの設定、サマータイムを有効にするか、タイムゾーンの名称を設定します。
- サマータイムを「ON」にすると、設定したタイムゾーンの時刻を1時間進めて表示します。

✔お知らせ
- 待受画面以外の画面では、ディスプレイ右上に時刻が表示されます。この表示は、形式の設定（「24時間表示」または「12時間表示」）に従います。
- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリが設定されているときは、本設定に関わらずデザインが「デジタル1」、表示位置が「上」で表示されます。
- 海外で利用中は、デュアル時計設定に従います。→P378

バイリンガル

画面を英語表示に切り替える

表示を日本語と英語から選択できます（Select language）。

1 **MENU［設定／NWサービス］2 6 3▶1または2**

✔お知らせ
- 本設定は、FOMAカードにも保存されます。
- 「English」に設定しても、きせかえツールによっては表示メニューが英語に切り替わらないものがあります。ただし、「プリインストール」フォルダのきせかえツールを設定しているときは「English」専用のメニューが表示されます。
- 変更しても、待受ショートカットのタイトルはショートカットを貼り付けたときの言語から切り替わりません。

あんしん設定

暗証番号

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「*」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合や、指紋のみ認証設定が「ON」の場合に登録したいずれの指による認証もできないときは、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖端末暗証番号

お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P111

- 誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます。
- 指紋認証を利用する設定の場合は、端末暗証番号入力画面の代わりに指紋認証画面が表示されます。[MENU]を押すと端末暗証番号入力画面に切り替わります。ただし、指紋のみ認証設定が「ON」の場合は、端末暗証番号での認証操作ができなくなります。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「各種お申込・お手続き」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、ｉモードからは、お客様サポート内の「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」「各種お申込・お手続き」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

❖ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。

ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P174

この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

❖PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P112

PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する番号（コード）です。PIN1コードを入力すると、発着信および端末操作ができます。

PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセット、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する暗証番号です。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

❖PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがロックされます。

PIN1／PIN2コード入力

連続3回間違い

PINロック解除コード入力

新PIN1／PIN2コード設定可能

ドコモショップ窓口にお問い合わせください

✔お知らせ

- 指紋認証機能と端末暗証番号を併用する状態でパスワードマネージャーをご利用になる場合は、端末暗証番号を必ず変更してください。変更する端末暗証番号も、電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
  ※ 万が一、第三者の不正な使用による不利益があっても、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

1 MENU［設定／NWサービス］4 6 1 ▶認証操作▶新しい端末暗証番号を入力

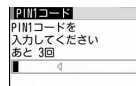
2 新しい暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力▶📷

PINコードを設定する

◆電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうかを設定する〈PIN1コードON／OFF〉

PIN1コードを連続3回間違えると、PIN1コードがロックされます。●を押してPINロック解除コードを入力してください。

- 現在の設定を変更する場合のみPIN1コード入力画面が表示されます。

1 MENU［設定／NWサービス］4 5 3 ▶ 1 または 2 ▶PIN1コードを入力

❖PIN1コードON／OFFを「ON」に設定すると

FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されますが、正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

✔お知らせ

- アラーム自動電源ON設定が「ON」の場合、目覚ましやスケジュールで指定日時になると電源がONになり、PIN1コード入力画面が表示される前にアラームが鳴ります。▭を押してアラームを停止させるとPIN1コード入力画面が表示されます。このとき、アラームにダウンロードしたメロディやｉモーション、ミュージックを設定していても、お買い上げ時の設定で動作します。

◆ PIN1／PIN2コードを変更する

- PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFFを「ON」にする必要があります。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[4][5]▶[1]または[2]▶認証操作

2 現在のPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶[📷]

- PIN1／PIN2コードを間違えると、認証の失敗を示す画面が表示されます。[●]を押して正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。連続3回間違えると、PINコードがロックされます。[●]を押してPINロック解除コードを入力してください。

✔お知らせ

- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも、電話やプッシュトークの発着信、メールの送受信などはできますが、PIN1コードの入力を連続3回間違えてPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1コード、PIN2コードを連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 PINコードロックの確認画面で「OK」▶PINロック解除コードを入力

2 新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶[📷]

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能を利用すると、指紋センサー上で指をスライドさせるだけで認証を行い、ダイヤルキーで端末暗証番号を入力する操作を省略できます。

- 指紋認証を設定しても、指紋認証画面で[MENU]を押すと端末暗証番号入力画面に切り替わり、端末暗証番号を入力して認証操作ができます。ただし、指紋のみ認証設定が「ON」の場合は、端末暗証番号での認証操作ができなくなります。
- 指紋認証機能と端末暗証番号の併用について→P111「FOMA端末で利用する暗証番号」のお知らせ

◆ 指紋認証機能利用時の留意事項

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で3回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れたり、汗をかいたりしている
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっていたり、泥や油などで汚れている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
  - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋の登録・認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、センサーと平行になるように指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで下方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。
- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。

- 親指は指紋の渦の中心がずれたりゆがんだりして、登録や認証が困難な場合があります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。一定時間内に認証されなかったときは、確認メッセージが表示され1つ前の画面に戻ります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- FOMA端末を、デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、FOMA端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆ 指紋センサー利用時の留意事項

- 指紋センサー表面のシート部は防水性を維持するための保護膜です。はがしたり、ペン先など鋭利なものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面は防水性能を有していますが、指紋センサー表面に水滴や汚れが付着した場合や、操作する指先に水滴や汚れが付着した場合、また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となります。柔らかい布で水分・汚れを取り除いてご使用ください。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - ひっかいたり、先のとがったものでつついたりする
  - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
  - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 「センサー表面の汚れを取り除いてください」というメッセージが表示される
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先のとがったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

◆ 認証に利用する指紋を登録する〈指紋登録〉

- 最大10件登録できます。

1 MENU［設定／NWサービス］4 6 2 ▶認証操作

2 「OK」▶メッセージに従って指紋センサーに指を押し当ててスライド

- 指紋の読み取り中に電話やプッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定日時になったりした場合、その時点で登録は中止されます。

3 登録名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶📷

- 利用設定した指紋には✔が表示されます。

◆ 認証操作を指紋認証のみで行うかどうかを設定する〈指紋のみ認証設定〉

- 指紋のみ認証設定を「ON」にする場合は、異なる指での指紋登録および利用設定が2件以上必要です。
- 指紋のみ認証設定を「ON」にすると、端末暗証番号での認証操作ができなくなります。お客様の使用状況や指の状態、指紋センサーの故障などにより、登録したいずれの指による認証もできない場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

1 MENU［設定／NWサービス］4 6 4▶認証操作

2 1▶「OK」▶✉

解除する：2

- 指紋の登録および利用設定が2件以上されていない場合は、設定完了できません。

以降の操作→P113「認証に利用する指紋を登録する」操作2
利用設定→P114「指紋を管理する」の「利用設定／解除する」

◆ 指紋認証を行う

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上で指をスライド

- 指紋認証を行うときは、利用設定した指で認証操作を行ってください。
- 正しく認証されなかった場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。認証性能が低いときは、指紋を登録し直してください。
- MENUまたはダイヤルキー（ビューアスタイルでは［暗証番号］をタッチ）を押すと、端末暗証番号入力画面に切り替わりますが、指紋のみ認証設定が「ON」の場合は表示されません。

✔お知らせ

- 指紋認証を連続5回失敗すると、端末暗証番号入力画面が表示されます。指紋のみ認証設定が「ON」のときに連続5回認証に失敗すると、電源が切れます。認証失敗の累積回数は、正しい認証操作や指紋認証画面の再表示によってクリアされます。

◆ 指紋を管理する

利用設定した指紋の表示や削除、登録名の変更などを行います。

- 利用設定した指紋をすべて利用解除または削除すると、指紋認証機能は利用できなくなります。
- 指紋のみ認証設定を「ON」に設定し、利用設定した指紋の登録件数が3件以上の場合は、利用解除してから指紋を削除できます。ただし、2件以下のときは利用設定した指紋の利用解除や削除はできません。

〈例〉指紋を削除する

1 MENU［設定／NWサービス］4 6 3▶認証操作

- iαを押すと、登録した指紋が確認できます。

利用設定／解除する：利用設定／解除する指紋を選択
利用設定した指紋には✔が表示されます。
登録名を編集する：MENU 4▶登録名の編集▶📷
順番を変更する：指紋にカーソル▶MENU▶5または6

2 削除する指紋にカーソル▶MENU 3▶1～3▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた指紋が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が必要です。

オールロック

他の人が使用できないようにする

オールロックを起動すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して📞を押します。
※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。
■ **指紋認証のとき**
待受画面でMENUを押し、指紋認証画面で緊急通報番号を入力して📞を押します。
■ **指紋のみ認証設定が「ON」のとき**
待受画面でMENU📞を押し、緊急通報番号を入力して📞を押します。

- ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、ICカードロック→オールロックの順に起動してください。→P266
- microSDカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

1 MENU［設定／NWサービス］4 1 3 ▶認証操作

待受画面に「オールロック中」と表示されます。

解除する：**端末暗証番号を入力**

- 指紋認証を設定している場合は、MENUを押してから認証操作を行います。
- ビューアスタイルでロックを解除する→P41「■認証操作」

✔お知らせ

- プッシュトークの着信が拒否され相手には話中音が流れます。オールロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
- メモリ別着信拒否／許可の設定に関わらず着信します。
- 待受画面やマチキャラを設定していてもお買い上げ時の画像のみ表示されます。
- 開閉ロックまたはオートキーロックを「ON」に設定していても、オールロックが優先されます。
- 指定した日時になっても目覚ましやスケジュールアラームは動作しません。また、ワンセグの視聴予約や録画予約による起動もしません。
- 指定した時刻になっても、ライフスタイル設定は切り替わりません。オールロックを解除すると、動作していないライフスタイル設定が順に動作します。
- Bluetoothオン／オフが「オン」の場合でも「オフ」になります。オールロックを解除すると元の設定に戻ります。
- 次の機能は利用できます。
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作※1、緊急通報（110番、119番、118番）への発信
  - 電話帳お預かりサービスの自動更新
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※2
  - エリアメールの受信、おまかせロックの起動
  - ｉアプリコールの受信※3、読み取り機からのトルカの取得
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作※4
  - ソフトウェア更新、パターンデータの自動更新

  ※1 電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像になります。着もじは受信できますが着信画面には表示されません。オールロックを解除すると、着信履歴に表示されます。

  ※2 受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

  ※3 自動受信はできますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

  ※4 位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。

おまかせロック

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人情報やおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時におまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合は自動的にロックがかかります。ただし、回線解約・休止・改番・movaへの契約変更を行った場合は、1年以内であっても自動的にロックはかかりません。
お客様からのお申し出などによりロックを解除することができます。

※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合や、ドコモプレミアクラブ会員のお客様は無料になります。また、ケータイあんしんパックをご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。おまかせロック中も位置提供可否設定をONにしていれば、GPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間　24時間
※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

❖おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- 電源を入れる／切る操作や、音声電話やテレビ電話を受ける操作、GPSの位置提供の要求を受けたときの操作以外のキー操作ができなくなるほか、ICカード機能も使用することができなくなります。ただし、microSDカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

✔お知らせ

- 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前や画像などは表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- プッシュトークがかかってきたときは、着信が拒否され、相手に話中音が流れますが、不在着信として記録されます。
- 着もじは受信できますが着信画面には表示されません。おまかせロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
- ｉアプリコールは自動受信できますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。おまかせロックを解除すると、ｉアプリコール履歴に表示されます。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。
- Bluetoothオン／オフが「オン」の場合でも「オフ」になります。おまかせロックを解除すると元の設定に戻ります。
- 受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- 他の機能が起動中におまかせロックを起動した場合は、起動中の各機能を終了します（編集中のデータがあるときには、編集中のデータを保存せずに終了する場合があります）。
- 各種ロック機能を設定中でも、おまかせロックが優先されます。
- FOMA端末を紛失したときに電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中は、おまかせロックがかかりません。その他お客様のご利用方法などにより、ロックがかからない場合があります。
- 電源を入れる／切る操作はできますが、電源を切ってもロックは解除されません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合はおまかせロックがかかりません。
- ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万が一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード設定

発信や着信ができないようにする

通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。

- 緊急通報（110番、119番、118番）すると、発信後にセルフモードは解除されます。

1 CLR（1秒以上）▶「はい」

ディスプレイ上部にSelfが表示されます。

解除する：CLR（1秒以上）▶「はい」

✔お知らせ

- 次の機能が利用できません。
  - 電話やプッシュトークの発着信
  - ｉモード、メールの送受信
  - ｉアプリコールの受信、読み取り機からのトルカ取得
  - GPS（現在地通知一覧への通知先の登録や編集、削除含む）
  - 赤外線通信／iC通信や赤外線リモコン、Bluetooth
  - パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信
- 電話着信時は、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。プッシュトーク着信時は、着信が拒否され相手に話中音が流れます。
- 受信したｉモードメールやメッセージR/Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問合せ、SMS問合せを行ってください。

パーソナルデータロック

個人情報などを利用できないようにする

ｉモードやメール、個人情報などの利用を一時的に制限します。
- メモリ登録外着信拒否が「ON」の場合は、本機能は起動できません。
- パーソナルデータロック中の発着信は記録されます。リダイヤルや着信履歴からの発信はできます。

1 **MENU［設定／NWサービス］4 1 4▶認証操作▶1または2**

「ON」に設定すると待受画面にが表示されます。

❖パーソナルデータロックを起動すると

次の操作（すべて、または一部の操作や設定）が制限されます。ただし、microSDカードやFOMAカードにはロックはかかりません。
- メール※1、ｉモード問合せ、SMS※1
- ｉモード、メッセージR/F※1、ｉチャネル、フルブラウザ
- ｉアプリ、ｉアプリコールの受信※2、ｉウィジェット設定
- 電話帳、プッシュトーク電話帳、伝言メモ／音声メモ（動画メモ）、メール送受信履歴※3
- データBOX（すべての機能）
- バーコードリーダー、赤外線・iC・PC連携※4、microSD、カメラ、サウンドレコーダー、電話帳お預かりサービス、GPS※5、ウォーキングチェッカー、ワンセグ（ユーザ設定の一部を除く）、Bluetooth通信（OPP）
- クイック検索※6、スケジュール帳※7、テキストメモ、目覚まし、イミテーションコール設定
- 電話着信音、メール・メッセージ着信音、ｉコンシェル着信音、GPS測位鳴動音、アラーム音、待受画面選択、テロップ表示設定、待受ショートカット、メニュー設定のリセット、電話発着信画像設定（人物画像表示設定を除く）、メール送受信画像設定、きせかえツール、マチキャラ設定、きせかえ／ライフスタイル、電話発着信設定、発番号なし動作設定、イヤホンスイッチ発信設定（イヤホンスイッチ発信）、メモリ着信拒否／許可、テレビ電話発信設定、テレビ電話着信設定、テレビ電話画像選択※8、プッシュトーク着信設定、通話料金上限通知、各種設定リセット、データ一括削除、件数増加鳴動設定、着もじ※9、2in1設定、メロディコール設定、マルチナンバーの電話番号設定、着信設定
- ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネル※10
- ICカード一覧、DCMX、トルカ、ｉモードで探す
- プロフィール情報
- ｉコンシェル

※1　自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メール送受信履歴からのメール作成はできません。
※2　自動受信はできますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。
※3　電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、メールアドレスのみ表示されます。
※4　赤外線通信／iC通信、USB接続によるデータの送受信はできません。
※5　位置提供の要求を受けたときの操作はできます。
※6　パーソナルデータロック中に、制限がかかる機能での検索はできません。
※7　待受画面に設定したカレンダーに、スケジュール帳の情報は表示されません。
※8　テレビ電話の代替画像は標準画像になります。
※9　受信できますが、着信画面には表示されません。パーソナルデータロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
※10　番組の取得が始まると番組取得中画面が表示されますが、取得結果は表示されません。

✔お知らせ
- 電話帳やプッシュトーク電話帳に登録している相手からの電話発着信時は、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 伝言メモ起動中でも、待受画面には表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。
- パーソナルデータロックの対象となっているデータを待受画面や着信音などに設定していると、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の状態に戻ります（メニューがお買い上げ時以外のきせかえメニューのときはベーシックメニューになります）。解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定は変更されません。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。
- ベーシックメニューやセレクトメニューでは、起動が制限されている機能や人物のアイコンがに変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。ただし、きせかえメニューの場合は文字の色がグレーで表示されたり、実行できない理由などを表示したりします。
- FOMA端末とBluetooth機器をヘッドセットで接続していても発信できません。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

電話帳を利用する以外の方法では、電話やプッシュトークを発信できないように設定します。

- ダイヤル発信制限中でも、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

1 MENU［設定／NWサービス］4 1 6 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

「ON」に設定すると待受画面にが表示されます。

❖ダイヤル発信制限を起動すると

次の操作ができなくなります。
- リダイヤルや着信履歴からの発信※1
- 電話帳とプッシュトーク電話帳の修正、登録、削除、グループ設定、グループ追加、電話帳グループ追加
- プロフィール情報の修正、リセット
- Phone To（AV Phone To）、SMS To、Mail To機能
- 外部機器との電話帳やプロフィール情報の送受信
- メールやSMSの送信※1、メール送受信履歴からの送信※1
- メール作成画面でのテンプレート読み込み、メールテンプレート一覧画面やテンプレート詳細画面からのメール作成※2
- GPSの現在地通知※3
- Bluetoothのダイヤルアップ通信サービス※1
- INBOXに一時的に保存されている電話帳、プロフィール情報、現在地通知先の保存
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- パソコンとつないだパケット通信※1、64Kデータ通信※1

※1　電話帳に登録している相手への発信や送信はできます。
※2　電話帳に登録しているメールアドレスが宛先に入力されているテンプレートからのメール作成はできます。
※3　登録した通知先への通知はできますが、通知先一覧への通知先の登録や編集、削除はできません。

プライバシーモード

個人情報を利用・表示するときの動作を設定する

個人情報を利用・表示するときの動作の設定とシークレット属性を反映します。

◆ プライバシーモードの動作設定の流れ

- 次の順番で動作を設定してください。
  ① **プライバシーモードの動作設定**→P119
  - 個人情報を利用するたびに認証操作が必要になるように設定したり、非表示にするデータの選択や、シークレット属性を設定した相手からの着信動作を選択したりできます。

  ② **シークレット属性を設定**
  - プライバシーモードの各項目の設定内容「指定電話帳非表示」「指定フォルダを非表示」「指定アルバムを非表示」「指定スケジュール非表示」を各データに反映させるにはシークレット属性の設定が必要です。

  電話帳→P87、ブックマーク→P175、メール→P151、マイピクチャ、iモーション、マイドキュメント、その他→P308、スケジュール→P330

  ③ **プライバシーモード起動**→P120

■ 着信があったとき

- 電話帳の名前を非表示にしたり、着信動作を行わずに伝言メモや留守番電話で対応したりするなど、さまざまな着信の方法を選択できます。

■ プライバシーモード中の操作

プライバシーモード一時解除→P122
シークレット反映→P122

✔お知らせ

- プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。自動的に起動するようにも設定できます。
- 電話帳のシークレット属性の変更や電話帳を編集した後にシークレット反映をしなかった場合、プライバシーモードを起動しても、変更や編集した電話帳のメールやSMSは非表示になりません。非表示にするにはシークレット反映を実行してください。→P122

◆ プライバシーモードの動作を設定する

- 「認証後に表示」を選択すると、設定した機能を利用するときに認証操作を行います。
- 「指定電話帳非表示」「指定フォルダを非表示」「指定アルバムを非表示」「指定スケジュール非表示」を選択すると、シークレット属性を設定したデータやフォルダを表示しません。また、待受画面に待受ショートカットを設定した場合にも、シークレット属性を設定したデータやフォルダが非表示になります。

❖電話帳やメールの動作を設定する

1 MENU［設定／NWサービス］4 2 1 ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷 ▶ ●

電話・履歴：
- 「認証後に表示」に設定すると、電話帳、プッシュトーク電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモ、クイック検索でメール検索を利用するときに認証操作を行います。
- 「指定電話帳非表示」に設定すると、シークレット属性を設定した電話帳やグループ（グループ内の電話帳を含む）、シークレット属性を設定した相手が対象のリダイヤル、着信履歴、メールやSMSなどの表示をしません。また、着信動作はシークレット属性電話着信動作の設定に従います。

メール・履歴：
- 「認証後に表示」に設定すると、メールやメール送受信履歴を利用するときに認証操作が必要です。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、シークレット属性を設定したフォルダを表示しません。また、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを受信した場合の着信動作はシークレット属性メール着信動作の設定に従います。

シークレット属性電話着信動作：プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）にシークレット属性を設定した相手からの電話着信動作を設定します。
- 「未登録番号として扱う」にすると、電話帳に登録されていない相手からの着信として動作します。
- 「サイレント着信」にすると、着信音、バイブレータ、イルミネーション、背面ディスプレイでの通知はしません。また、ディスプレイの表示は、サイレント着信時応答方法の設定に従って動作します。
- 「表示・通知する」にすると、シークレット属性を設定していない相手からの着信として動作します。

サイレント着信時応答方法：シークレット属性電話着信動作を「サイレント着信」に設定した場合の着信動作を設定します。各機能を設定していても、着信音、バイブレータ、イルミネーション、背面ディスプレイでの通知はしません。
- 「着信継続」にすると、着信したときに着信画面には、電話番号のみ表示されます。
- 「伝言メモ起動」にすると、着信したときに伝言メモを起動します。着信画面には、電話番号のみ表示されます。
- 「留守番電話に接続」にすると、着信したときに留守番電話に接続します。ただし、着信画面は表示されません。

シークレット属性メール着信動作：プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」またはメール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、シークレット属性を設定した相手からのメールを着信した場合や、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメール着信時の表示や通知を設定します。
- 「表示・通知しない」にすると、メールは受信しますが着信動作は行われません。
- 「表示・通知する」にすると、メール着信時にシークレット属性を設定している相手からのメールを受信した場合でも、テロップ表示や名前、題名を表示して、メールの着信動作を行います。

プライバシー新着通知：シークレット属性を設定した電話帳の相手からの電話を着信したり、メールを受信したりした場合や、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けされるように設定した相手からのメールを受信したときに電池アイコンの種類を変えて新着情報があることをお知らせするかを設定します。表示させる電池アイコンを選択するか、「OFF」を選択します。

❖その他の表示の動作を設定する

マイピクチャ、ｉモーション、マイドキュメント、その他（Word、Excel、PowerPoint)、スケジュール、テキストメモ、ｉアプリ、位置履歴（GPS)、Bookmark、画面メモを利用するとき、認証操作を行うかを設定します。

1 MENU［設定／NWサービス］4 2 2 ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷 ▶ ●

- 「指定アルバムを非表示」「指定フォルダを非表示」「指定スケジュール非表示」に設定すると、シークレット属性を設定したアルバムやフォルダ、スケジュールを表示しません。

✔お知らせ

- スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合は、ワンセグの視聴／録画予約の利用も含まれます。
- ｉモーションを「指定アルバムを非表示」に設定した場合に、シークレット属性を設定したアルバムにある動画／ｉモーションをプレイリストに登録しているときは、プレイリスト内のタイトルも表示しません。

◆ プライバシーモードの起動／解除方法を設定する

1 MENU［設定／NWサービス］4 2 3 ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

起動／解除操作：プライバシーモードの起動／解除方法を設定します。
- 「なし」に設定すると、自動起動を設定した場合にのみプライバシーモードを起動します。
- 「操作非表示」に設定すると、起動／解除時の認証画面の操作が非表示になります。本項目を選択した場合、📷を押すと操作方法の詳細説明画面が表示されます。

自動起動：待受画面表示中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

◆ プライバシーモードを起動する

❖「標準」での起動／解除方法

1 🔍（1秒以上）

解除する：🔍（1秒以上）▶ 認証操作

❖「操作非表示」での起動／解除方法

1 MULTI ▶ 📷 ▶ 認証操作 ▶ ●

- 指紋認証または指紋のみ認証の場合は、●の操作は不要です。
- 認証画面は表示されません。認証に失敗した場合、もう一度📷を押してから認証操作を行ってください。なお、認証操作を5回失敗しても電源は切れません。

✔お知らせ

- プライバシーモード設定で自動起動が「OFF」以外のときは、待受画面表示中に設定時間が経過するとプライバシーモードが起動します。
- ライフスタイル設定で、プライバシーを「ON」に設定した場合、プライバシーモード起動設定の起動／解除操作を「なし」にし、自動起動を「OFF」に設定していても、プライバシーモードが起動します。

❖ プライバシーモードを起動すると

プライバシーモードの項目によって設定した内容により次のような制限があります。

〈ｉアプリ以外：「認証後に表示」〉
- 利用できないｉアプリ（メール・履歴が「認証後に表示」のときを除く）またはｉアプリDXがあります。

〈電話・履歴またはメール・履歴：「表示する」以外〉
- メールグループの表示やメール振り分けをするには、認証操作が必要です。

〈電話・履歴：「表示する」以外〉
- 通話中に撮影した静止画をメール送信するときに、通話相手のメールアドレスを電話帳に登録していても、相手のメールアドレスは宛先に入力されません。

〈電話・履歴：「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」〉
- ｉアプリコールを受信した場合、電話帳に登録されている相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。

〈電話・履歴：「認証後に表示」〉
- ダイヤル入力による電話発信をした場合は、電話帳に登録している名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。メールアドレスを直接入力してメール送信をした場合は、電話番号またはメールアドレスが表示されます。着信時は電話帳に登録した設定に従って着信動作します。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。
- メールやメール送受信履歴などでは、電話帳に登録している名前は表示されず、メールアドレスが表示されます。

- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。また、測位した履歴は位置履歴に表示されますが、位置履歴詳細画面に要求者名は表示されません。
- スケジュール帳の誕生日や連絡先が表示されません。
- セレクトメニューで人物を登録している場合は、人物の選択ができません。アイコンがに変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- イヤホンスイッチ発信またはBluetooth機器を利用して発信できません。

〈電話・履歴：「指定電話帳非表示」〉

- シークレット属性を設定した相手が対象の新着情報は表示しません。また、リダイヤル[※1]や着信履歴[※1、2]、伝言メモ、通話中音声メモ、受信／送信／未送信BOX一覧、メール送受信履歴での表示をしません。
- シークレット属性電話着信動作が「サイレント着信」のときに、シークレット属性を設定している相手からの着信があると、着信画面に着もじは表示されません。ただし、着信履歴には記録されます。
- シークレット属性電話着信動作を「サイレント着信」のときに、シークレット属性を設定した相手からの着信がプッシュトークの場合は、プッシュトークの着信音は鳴動せず、画面には電話番号が表示されます。
- シークレット属性電話着信動作を「サイレント着信」にし、サイレント着信時応答方法を「伝言メモを起動」にした場合は、伝言メモを起動していなくても、伝言メモが起動します。ただし、伝言メモが4件録音／録画されている場合は、「着信継続」の設定で着信動作します。
- シークレット属性電話着信動作を「サイレント着信」にして、サイレント着信時応答方法を「伝言メモ起動」にした場合に、パーソナルデータロックを起動していると、伝言メモが起動せず、「着信継続」の設定で着信動作します。
- サイレント着信時応答方法を「留守番電話に接続」にした場合に、留守番電話が未契約の場合は、サイレント着信時応答方法の「伝言メモ起動」の設定で着信動作します。ただし、伝言メモが4件録音または録画されている場合は、「着信継続」の設定で着信動作します。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、シークレット属性を設定した相手が対象の未読メール一覧、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。
- シークレット属性を設定した電話帳に登録した名前の表示や、画像または動画／ｉモーション、バイブレータなどの着信時の動作は、シークレット属性電話着信動作の設定に従って動作します。
- GPSの位置提供の要求者IDがシークレット属性を設定した電話帳と一致した場合は、要求者名は表示されません。また、測位した履歴が位置履歴に表示されません。
- スケジュール帳では、シークレット属性を設定した電話帳は、誕生日や連絡先が表示されません。
- セレクトメニューで、シークレット属性を設定した電話帳の人物が表示されません。
- 発信する相手の電話帳やグループにシークレット属性を設定している場合、イヤホンスイッチ発信やBluetooth機器を利用して発信できません。

※1　プッシュトークのグループ発着信の場合、シークレット属性を設定したメンバーは表示されません。

※2　プッシュトークのグループ着信の場合、シークレット属性を設定した相手からの着信履歴は表示されません。

〈メール・履歴：「認証後に表示」〉

- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、未読メール一覧は表示されません。
- 電話帳やスケジュール帳からメールを検索したり、クイック検索でのメール検索やメール送受信履歴の表示やメール連動型ｉアプリのダウンロードやバージョンアップ、削除をしたりする場合は、認証操作が必要です。

〈メール・履歴：「指定フォルダを非表示」〉

- シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを送受信した場合、新着情報やメール送受信履歴での表示をしません。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを未読メール一覧に表示しません。
- シークレット属性を設定したフォルダにメール連動型ｉアプリに対応した受信メールが保存されていた場合に、メール連動型ｉアプリをダウンロードしてもメール連動型ｉアプリ用のフォルダに自動的に振り分けられません。

〈マイピクチャまたはｉモーション：「認証後に表示」〉

- 各機能の設定でマイピクチャまたはｉモーションのデータを利用する場合は、認証操作が必要です。また、機能によっては非表示に設定している項目は、プライバシーモード解除後に反映されることを示す画面が表示されます。

〈マイピクチャ：「認証後に表示」〉

- 静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねて撮影できません。
- メール作成中のデコメ®ピクチャ一覧やデコメ®絵文字一覧には、お買い上げ時に登録されている「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」以外の画像は表示されません。

〈スケジュール：「表示する」以外〉

- 待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールが設定されていても赤いマークは表示されません。

〈スケジュール：「認証後に表示」〉
- 待受カスタマイズのスケジュールエリアは表示されません。また、待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールの休日設定や曜日休日設定で休日を設定したことを示す色での表示はお買い上げ時の表示に戻ります。
- 設定した日時になってもスケジュールアラーム（ワンセグの開始通知含む）は鳴りません。ただし、ワンセグの録画予約は動作します。
- アラーム自動電源ON設定が「ON」で電源が入っていない場合は、指定した日時になっても電源は入りません。

〈スケジュール：「指定スケジュール非表示」〉
- 設定した日時になっても、シークレット属性のスケジュールのアラームは鳴りません。
- 待受カスタマイズのスケジュールエリアに、シークレット属性のスケジュールは表示されず、登録件数確認の件数にも含まれません。

〈テキストメモ：「認証後に表示」〉
- 待受カスタマイズのメモ一覧とメモ内容は表示されません。

〈ｉアプリ：「認証後に表示」〉
- メール連動型ｉアプリ用のメールフォルダを選択したり、ｉアプリをダウンロードしたりする場合は、認証操作が必要です。
- 待受画面設定でｉアプリを待受画面に設定する場合は、認証操作が必要です。また、非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

〈画面メモ：「認証後に表示」〉
- 画面メモの上書き保存をする場合は、認証操作が必要です。

✔お知らせ
- ｉモードとフルブラウザのラストURLは、プライバシーモード中以外のラストURLを表示しません。
- プライバシー新着通知と自動起動以外のすべての項目が「表示する」のとき、プライバシーモードは起動しません。既に起動していると解除されます。
- データ一括削除を行ったり、次の機能で「全件削除」したりした場合、プライバシーモード中で非表示になっているデータも削除されます。
  - リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、電話帳
  - メール※、メール送受信履歴、スケジュール、音声メモ

  ※「1件削除」「選択削除」以外の削除操作をした場合も非表示のメールは削除されます。
- プライバシーモード中に、プライバシーモード設定の電話・履歴を「表示する」または「認証後に表示」から、「指定電話帳非表示」に変更した場合、メールへのプライバシーを反映するために、シークレット反映を行うよううながす旨のメッセージが表示されます。
- プライバシーモードの設定によっては、プライバシーモード中にｉアプリからメールやスケジュール（ワンセグの視聴／録画予約含む）を利用したり、マイピクチャにデータを保存したりすると、指定された機能が実行できない旨のメッセージが表示される場合があります。
- プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した機能を利用するときは、一度認証操作を行うと待受画面に戻るまで認証操作は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の機能を利用する場合も同様です。
  〈例〉プライバシーモード中（電話・履歴、マイピクチャが「認証後に表示」のとき）にマイピクチャに保存している画像をメールで送信する場合、マイピクチャを表示するときに認証操作を行うため、メール作成画面で電話帳を表示するときは、認証操作は不要です。

◆ プライバシーモードを一時解除する

非表示のデータがある一覧画面などで一時的にプライバシー状態を解除して非表示のデータを表示できます。
- 待受画面に戻るまで一時解除は有効です。ただし、画面によっては一時解除できない場合があります。

1 一時解除する画面でCLR（1秒以上）▶認証操作

◆ 宛先、発信元がシークレット属性の電話帳のメールを非表示にする〈シークレット反映〉

電話帳のシークレット属性を変更したときや、データ通信などで本FOMA端末にメールを保存した場合などにシークレット反映を実行すると、シークレット属性が設定された電話帳の電話番号またはメールアドレスと、宛先または発信元が一致したメールやSMSに、シークレット属性が設定できます。
- シークレット属性を設定したメールやSMSは、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に非表示となります。

1 MENU［設定／NWサービス］4 2 4▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ
- 電話帳のシークレット属性の変更や電話帳を編集した後にシークレット反映をしなかった場合、プライバシーモードを起動しても、変更や編集した電話帳のメールやSMSは非表示になりません。
- シークレット属性に設定されるメールやSMSは次のとおりです。
  - 宛先（TO、CC、BCC）に登録されている電話帳にシークレット属性が設定されている送信／未送信メールやSMS
  - シークレット属性が設定されている電話帳が発信元である受信メールやSMS
- シークレット反映中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
- シークレット属性が設定されている電話帳を外部から取り込んだり、電話帳にシークレット属性を設定したりした場合に待受画面に戻ると、電話帳のシークレット属性をメールに反映するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとシークレット反映を実行します。プライバシーモードを起動していない場合は、プライバシーモード起動設定を確認する旨のメッセージが表示されます。
- 2in1利用時は、2in1のモードや電話帳2in1設定に関わらず、シークレット属性が設定されます。
- 次の場合にシークレット反映を実行すると、これらのデータが対象のメールやSMSに設定されていたシークレット属性は解除されます。
  - 電話帳のシークレット属性の解除をしたとき
  - シークレット属性を設定した電話帳を変更したとき（変更前の電話番号またはメールアドレスが対象）
  - シークレット属性を設定した電話帳を削除したとき（電話帳の電話番号またはメールアドレスの削除含む）

電話／メール着信時設定

電話やメール着信時の表示内容を設定する

電話帳に登録している相手から電話やメールを着信したときのディスプレイや背面ディスプレイの表示内容（名前や電話番号など）について設定します。
- プライバシーモード中の着信時や受信時の表示内容は、本設定よりもプライバシーモードの設定が優先されます。

1 MENU［設定／NWサービス］4 4▶認証操作▶各項目を設定▶📷

メインディスプレイ着信表示（電話着信時表示）：音声電話やテレビ電話着信時、プッシュトーク着信時（通信中含む）の画面の表示を設定します。
- 「名前＋電話番号」にすると、音声電話やテレビ電話の着信時に名前と電話番号が表示されます。プッシュトーク着信時（通信中含む）は名前のみ表示されます。

メインディスプレイ着信表示（メール着信時テロップ表示）：メール受信結果テロップの表示を設定します。
- 「名前＋題名」にすると、メールを受信したときに、受信結果テロップには名前や題名が表示されます。
- 「着信通知のみ」にすると、受信結果テロップにはメールを受信した旨のメッセージのみ表示されます。
- 「なし」にすると、受信結果テロップは表示されません。

背面ディスプレイ着信表示（電話着信時表示）：音声電話やテレビ電話着信時、プッシュトーク着信時（通信中含む）の背面ディスプレイの表示を設定します。
- 「着信通知のみ」にすると、着信通知のみ表示されます。

背面ディスプレイ着信表示（メール着信時表示）：メール着信時の背面ディスプレイの表示を設定します。
- 「着信通知のみ」にすると、メールを受信した旨のメッセージのみ表示されます。

✔お知らせ
- オールロック、おまかせロック、パーソナルデータロック中に名前を表示するように設定していても、待受画面や背面ディスプレイには電話番号のみ表示されます。また、オールロック、パーソナルデータロック、開閉ロック中、オートキーロック中に、受信結果テロップを表示するように設定していても、受信結果テロップは表示されません。

HOLD

サイドキーの誤動作を防止する

FOMA端末を閉じているときの🔒、♫、▲▼の操作を無効にし、かばんなどに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

1 MENU（1秒以上）

待受画面にKEYが表示されます。

解除する：MENU（1秒以上）

✔お知らせ
- HOLD中でも、背面ディスプレイの表示、クイック伝言メモの起動、着信音の停止、着信中のバイブレータの停止はできます。

開閉ロック／オートキーロック

キーをロックする

閉じるたびにキーをロックする開閉ロックと、設定時間が経過するまで無操作だった場合にキー操作を自動でロックするオートキーロックを設定します。解除するたびに認証操作が必要なため、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

開閉ロック／オートキーロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面または待受画面、ロック中画面で緊急通報番号を入力して[発信]を押します。

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

■ 指紋認証のとき

指紋認証画面で緊急通報番号を入力して[発信]を押します。待受画面またはロック中画面が表示されたときは、[MENU]または[MULTI]を押すと緊急通報ができます。

■ 指紋のみ認証設定が「ON」のとき

指紋認証画面で[発信]を押し、緊急通報番号を入力して[発信]を押します。待受画面またはロック中画面が表示されたときは、[MENU][発信]または[MULTI][発信]を押すと緊急通報ができます。

- FOMA端末が次の場合は、開閉ロック／オートキーロックがかかりません。
  - 発信中※1、2、着信中※2、通話中※1、2、保留中※1、2、切断中※1、2
  - 動画撮影中（一時停止を含む）※3、サウンドレコーダー録音中（一時停止を含む）※3
  - エリアメール受信中（内容表示中を含む）※2
  - メロディ再生中※2、ｉモーション再生中（再生画面表示中を含む）
  - GPSで位置提供中※2
  - 赤外線通信（INBOX表示中を含む）※2、iC通信（INBOX表示中を含む）※2
  - スケジュールアラーム、目覚まし（スヌーズ動作中を含む）、お知らせタイマー鳴動中（停止中、カウントダウン中を含む）、イミテーションコール着信中（カウントダウン中を含む）、イミテーションコール起動中※2
  - ソフトウェア更新（ソフトウェア更新中を含む）
  - ワンセグ視聴中、ワンセグ録画中（視聴中の録画のみ）、ワンセグの開始通知、ワンセグのフォルダ一覧やワンセグで録画したビデオ再生中、静止画の表示中、データ一覧の表示中
  - Music&Videoチャネル起動中（番組取得を除く）、ミュージックプレーヤー起動中※2
  - microSDカードの動画を連続再生中
  - パソコンとつないだ64Kデータ通信※2、ドコモケータイdatalinkを使用したデータ転送※2、Bluetooth機器による電話帳転送※2

  ※1 平型スイッチ付イヤホンマイクやBluetooth機器を接続している場合の動作です。

  ※2 動作が終了した場合に、FOMA端末を開いた状態やビュースタイルのときはオートキーロックがかかります。ただし、FOMA端末を閉じているときは、開閉ロック／オートキーロックのロック起動時間を短い時間に設定したロックが優先されます。

  ※3 オートキーロックのみロックがかかりません。ただし、FOMA端末を閉じている場合や、他の機能で起動しているときはオートキーロックがかかります。
- 次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 音声電話やテレビ電話、プッシュトークを受ける操作、緊急通報（110番、119番、118番）への発信
  - 伝言メモ、音声メモ、動画メモの録音／録画
  - 電話帳お預かりサービスの自動更新
  - 待受カスタマイズの表示と非表示の切り替え操作
  - ｉモードメールやメッセージR/F※1、SMSの受信※1
  - エリアメールの受信、おまかせロックの起動
  - ｉアプリコールの受信※2、読み取り機からのトルカの取得
  - ワンセグ録画予約による録画の起動
  - イヤホンスイッチ設定によるイヤホンスイッチ発信
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作
  - ソフトウェア更新、パターンデータの自動更新

  ※1 FOMA端末を開いた状態で受信した場合は、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

  ※2 自動受信はできますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

◆開閉ロックを「ON」に設定する

1 MENU［設定／NWサービス］4 1 1▶認証操作▶各項目を設定▶📷

開閉ロック：開閉ロックを起動するかを設定します。
ロック起動時間：FOMA端末を閉じてから設定時間経過後に開閉ロックがかかります。

◆オートキーロックを「ON」に設定する

1 MENU［設定／NWサービス］4 1 2▶認証操作▶各項目を設定▶📷

オートキーロック：オートキーロックを自動起動するかを設定します。
ロック起動時間：最後に操作してから設定時間が経過するまで無操作だった場合にオートキーロックがかかります。
- 最後の操作とは、キー操作、開閉操作、指紋センサーの操作（ポインティング操作、指紋登録、指紋認証）、ビューアスタイルにする操作を示します。

置き忘れセンサー：「ON」にすると、設定時間が経過するまで無操作だった場合とFOMA端末本体の動作がない場合にオートキーロックがかかります。
- FOMA端末本体の動作がないとは、歩行していないときや瞬間的に大きな振動を与えていないときを示します。

❖ロックが起動すると

開閉ロック／オートキーロックが起動すると、⌷、⌷、⌷⌷以外のキーがロックされます。ただし、⌷（1秒以上）を押しても、伝言メモ／音声メモ一覧画面は表示されません。
- 開閉ロックの場合は、FOMA端末を閉じるたびにロック起動時間で設定した時間に従って開閉ロックが起動します。
- オートキーロックの場合は、最後の操作から何も操作しなかった場合に、ロック起動時間で設定した時間に従ってオートキーロックが起動し、キー操作を自動でロックします。
- 待受画面、または待受画面の状態からビューアスタイルにしてビューアメニューの1階層目で開閉ロック／オートキーロックが起動すると、🔒が表示されます。この他の状態で開閉ロック／オートキーロックを起動すると、ロック中画面が表示されます。
- 解除するときは、FOMA端末を開いて認証操作を行います。ロック中の画面が表示されたときは、端末暗証番号を直接入力するか、MENUまたはMULTIを押して認証操作を行います。
- ビューアスタイルでロックを解除する→P41「■認証操作」

✔お知らせ
- 開閉ロック／オートキーロックが「ON」の場合に電源を入れ直すと、開閉ロック／オートキーロックが起動します。また、おまかせロックが起動したときは、おまかせロックを解除した後に開閉ロック／オートキーロックが起動します。
- 既に開閉ロックを起動している場合、オートキーロックを設定しても起動しません。また、既にオートキーロックを起動している場合、開閉ロックを設定しても起動しません。

◆ロックの起動をランプで知らせる〈セキュリティランプ設定〉

開閉ロック／オートキーロックの状態を、ランプでお知らせするかを設定します。

1 MENU［設定／NWサービス］4 3▶認証操作▶1または2

❖セキュリティランプを設定すると

FOMA端末を閉じて開閉ロックが起動すると、ランプが青色で約2秒間点滅します。「閉じた直後」以外に設定しているときは、設定した時間が経過するとランプが青色で約2秒間点滅し、開閉ロック／オートキーロックが起動したことをお知らせします。ただし、ランプが赤色で約2秒間点滅したときは、開閉ロック／オートキーロックが起動しなかったことを示します。

指定した電話番号からの着信を許可／拒否する

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信の許可／拒否を設定します。

- 本機能を利用するには、電話番号ごとの着信許可／拒否の設定と、メモリ別着信拒否／許可の設定をする必要があります。設定項目と着信の許可／拒否の動作は次のとおりです。

設　定		電話番号ごとの着信許可／拒否設定		
		着信許可	着信拒否	設定なし
メモリ別着信拒否／許可設定	設定解除	着信する	着信する	着信する
	拒否設定	着信する	着信を拒否する※	着信する
	許可設定	着信する	着信を拒否する※	着信を拒否する※

※ 設定した電話番号から電話やプッシュトークがかかってきても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信を拒否しても、不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

◆ 着信を許可／拒否する電話番号を指定する〈着信許可／拒否設定〉

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信許可／拒否を設定します。

1 [電話帳]▶電話帳検索▶設定する電話帳にカーソル▶[MENU][3][5][3]▶認証操作▶電話番号を選択▶[1]～[3]

- 指定した電話番号からの着信許可／拒否をするには、続けてメモリ別着信拒否／許可の設定を有効にしてください。
- 着信許可／拒否を設定している電話番号を変更または削除すると、本設定は解除されます。その場合は、変更または登録後の電話番号に対して着信許可／拒否を設定してください。

◆ 着信許可／拒否設定を有効にする〈メモリ別着信拒否／許可〉

- 本設定は着信許可／拒否を設定したすべての電話番号が対象になります。
- 拒否設定と許可設定を同時に有効にはできません。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[5][5][1]▶認証操作▶[1]～[3]

✔お知らせ

- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- 着信許可を設定した電話帳がない場合に許可設定を選択すると、すべての着信を拒否する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、すべての着信を拒否するように設定されます。
- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

発番号なし動作設定

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本設定が優先されます。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[5][2]▶認証操作▶[1]～[3]▶各項目を設定▶[カメラ]

〈着信動作〉：発信者番号が通知されない電話やプッシュトークの着信があったときの動作を設定します。

- 「設定解除」にすると、各着信音の設定に従って着信音が鳴ります。
- 「着信音OFF」にすると、着信音は鳴りません。「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「メロディ」にしたときは、メロディを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「着モーション」にしたときは、動画／ｉモーションを選択します。
- 「ミュージック」にしたときは、音楽データを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
ミュージックの設定→P91

イメージ表示：発信者番号が通知されない着信時に表示する画像を設定します。
- 「ｉモーション」を選択したときは、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

イメージ一覧：イメージ表示で「イメージ」を選択したときは、イメージ一覧欄を選択して画像を設定します。

✔お知らせ
- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は不在着信として記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話やプッシュトークの着信があった場合は、「着信拒否」に設定しているときのみ動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、各着信音や着信画像の設定に従って動作します。
- 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーションを設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash画像を除く）を変更できます。
- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手からの着信をすぐに受けないようにする

- 「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。
- メモリ登録外着信拒否が「ON」の場合は設定できません。

1 MENU［設定／NWサービス］15▶各項目を設定▶📷

着信呼出動作：着信呼出動作を有効にするかを設定します。

呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1～99秒の範囲で設定します。

時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかを設定します。

❖着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話、プッシュトークがかかってきたときは、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。
- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答したりできます。
- パーソナルデータロック中は、電話帳に登録している相手からの着信でも本機能が動作します。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、シークレット属性電話着信動作を「未登録番号として扱う」に設定しているときに、シークレット属性を設定した相手からの電話着信時も、本機能が動作します。

✔お知らせ
- 本設定に関わらず、次の機能やサービスが設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
  - 公共モード、伝言メモ
  - 留守番電話サービス、転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否／許可や発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話やプッシュトークがかかってきた場合は、本機能よりもそれらの動作が優先されます。
- 呼出開始時間を、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録していない番号からの着信を拒否する

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
- パーソナルデータロック中や呼出動作開始時間設定の着信呼出動作が「ON」の場合は設定できません。

1 MENU［設定／NWサービス］5 5 2 ▶認証操作▶ 1 または 2

❖メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やテレビ電話、プッシュトークがかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 着信を拒否しても、不在着信として記録されます。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、シークレット属性電話着信動作を「未登録番号として扱う」に設定しているときに、シークレット属性を設定した相手からの電話着信時も、本機能が動作します。
- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

電話帳お預かりサービスを利用する

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール・トルカ・スケジュール（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができ、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知することもできます。一斉通知メール送信時パケット通信料はかかりません。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳お預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- トルカとスケジュールを預けるにはｉコンシェルのご契約が必要です（2008年11月現在）。
- サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。

◆電話帳をお預かりセンターに保存（更新・復元）する

■ 更新する場合

1 MENU［LifeKit］6 1

FOMA端末電話帳から操作する：（電話帳キー）▶電話検索▶ MENU 7 4

2 「はい」▶認証操作

- ●：保存を中止

3 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

■ 復元する場合

- 電話帳の復元や自動更新設定などは、ｉモードの電話帳お預かりサイトからご利用いただけます。
  ｉMenu→マイメニュー→電話帳お預かり※
  ※ ｉコンシェルをご契約の場合は、「お預かり／ｉコンシェル」と表示されます。

✔お知らせ

- FOMAカード電話帳に登録している電話帳は保存できません。
- FOMA端末電話帳の電話帳を削除した後に自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳も同様に削除されます。
- FOMA端末電話帳の電話帳を削除した場合は、ｉモードの電話帳お預かりサイトから電話帳をダウンロードすると復元できます。
  ｉMenu→マイメニュー→電話帳お預かり※1→お預かりセンター※2→ｉモードパスワードを入力→電話帳・ケータイヘダウンロード→OK→待受画面に戻す
  ※1 ｉコンシェルをご契約の場合は、「お預かり／ｉコンシェル」と表示されます。
  ※2 ｉコンシェルをご契約の場合は、「お預かりデータ確認」と表示されます。
- 電話帳の自動更新時に他の機能が起動している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。FOMA端末の電源を切ったときやFOMAサービスエリア外にいるとき、FOMAカードが挿入されていないときは自動更新されません。
- 電話帳の自動更新に失敗したときは、待受画面にマークなどは表示されません。電話帳通信履歴表示で確認できます。
- 電話帳のグループの並び順は、復元しても保存したときの並び順に戻らない場合があります。

❖電話帳に登録した画像の送信設定をする〈送信設定〉

1 MENU［LifeKit］6 3 ▶電話帳内画像送信欄を選択▶ 1 または 2 ▶ 📷

◆ 各種データをお預かりセンターに保存（更新・復元）する

FOMA端末内に保存されている画像、メール、トルカ、スケジュールをお預かりセンターに保存します。

- 画像とメールは、1回の操作で最大10件保存できます。
- iモードメールにファイルが添付されている場合は、保存するときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ、デコメアニメ®本文のFlash画像（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたファイルを除く）は削除されません。
- 送達通知は保存できません。
- 画像を含むトルカ（詳細）は、詳細が含まれずに保存される場合があります。

1 保存する各データを選択

メールの保存：✉▶ 1 または 4 〜 5 ▶フォルダを選択▶ MENU 4 5 ▶メールを選択▶ 📷

- 未送信メールを保存する場合は、フォルダを選択してから MENU 4 3 を押し、保存するメールを選択します。

画像を保存：MENU［データBOX］1 ▶フォルダを選択▶ MENU 5 6 ▶画像を選択▶ 📷

トルカの更新：MENU［おサイフケータイ］3 ▶ MENU ✂

スケジュール帳の更新：⏰▶ MENU 0 2

2 「はい」▶認証操作

- ●：保存を中止

3 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

✔お知らせ

- 保存したデータは、お預かりセンターに接続して、FOMA端末に更新・復元できます。
- 1件あたりのファイルサイズが100Kバイトを超える画像は保存／復元できません。
- マイピクチャの「アイテム」「プリインストール」フォルダ内の画像は選択できません。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 復元したメールは、次の場合を除き保護されます。
  - お預かりセンターに保存されている受信メール、受信SMSが未読だった場合
  - 保護されているメールが最大保護件数に達している場合
- トルカをお預かりセンターから自動更新後、初めてトルカを参照した場合は、このトルカを保存するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると保存されますが、「いいえ」を選択した場合は参照しているトルカが削除されます。

◆ iコンシェルからお預かりセンターに保存（更新・復元）する

- iコンシェルのメニューからもFOMA端末内に保存されている電話帳やトルカ、スケジュールをお預かりセンターに保存できます。保存した電話帳やトルカ、スケジュールはお預かりセンターに接続することによって、FOMA端末に更新・復元することができます。
- iコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 MENU［iコンシェル］

2 MENU▶「設定」▶「お預かりデータ更新」▶データを選択▶ 📷

3 「はい」▶認証操作

- ●：保存を中止

4 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

◆ 利用した履歴を確認する〈電話帳通信履歴表示〉

- 各機能でお預かりセンターに保存した履歴を確認できます。
- 通信履歴は最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU［LifeKit］6 2 ▶履歴を選択

各種設定リセット

各種機能の設定をリセットする

メニュー一覧の赤文字の機能をお買い上げ時の状態に戻します。→P388

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 7▶認証操作▶リセットする項目を選択▶📷▶「はい」

✔お知らせ
- ｉモード設定をリセットすると、ｉチャネルのテロップが待受画面に表示されなくなります。待受画面でCLRを押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、待受画面にテロップ表示されるようになります。
- ウォーキングチェッカー設定をリセットすると、当日の歩数と歩行距離がリセットされます。

データ一括削除

登録データを一括して削除する

FOMA端末に保存、登録したデータを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
- 保護したデータも削除されます。
- 2in1のモードに関わらず設定やデータが削除されます。
- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻りません。
  - お買い上げ時に登録されているデータ
  - FOMAカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータ
  - データが保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
  - ネットワークサーチ設定
  - 3G/GSM切替
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは次のようになります。
  - 「iD 設定アプリ」はお買い上げ時の状態に戻ったり削除されたりしません。
  - 「DCMXクレジットアプリ」はデータが保存されていない場合は削除されます。
  - 「iD 設定アプリ」「DCMXクレジットアプリ」以外のｉアプリはお買い上げ時の状態に戻りますが、バージョンアップした場合は削除されます。
- ICカード内データが保存されている場合は、ICオーナーは初期化されません。
- 「受信BOX」フォルダに保存されている「オススメ✧BEST6✧」「緊急速報「エリアメール」のご案内」「Welcome✧デコメアニメ」を削除した場合は、再び保存されます。

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 8▶認証操作▶「はい」

再起動中にデータ一括削除されます。

✔お知らせ
- 本機能を実行して再起動すると、初めて電源を入れたときと同様の画面が表示（拡大メニューの設定は、設定を行わず確認画面を消していた場合のみ表示）されます。→P54
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- 本機能を実行すると、Music&Videoチャネルの番組は自動的に取得されなくなります。再び番組を自動的に取得するには、Music&Videoチャネルの番組設定を行ってください。

遠隔初期化

遠隔操作でデータを初期化する

本機能の利用契約をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／SDカード／FOMAカード（UIM）内のメモリ）を初期化することができるサービスです。

■ お問い合わせ先
ドコモの法人向けサイト
docomo Business Online
- パソコンから
  http://www.docomo.biz

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

◆ 遠隔初期化すると

遠隔初期化が開始されると、リモート機能設定を開始する旨のメッセージが表示されます。設定中や遠隔初期化中は操作無効の旨のメッセージが表示されます。

- 遠隔初期化中は、すべてのキー操作ができなくなります。
- 次のいずれかの初期化が行われます。
  - FOMA端末内のデータ初期化（データ一括削除の実行）
  - FOMAカード内のデータ初期化（FOMAカード電話帳とSMS設定）
  - microSDカードの簡易初期化

✔お知らせ

- おまかせロック中でも遠隔初期化が優先されます。
- 遠隔初期化が終了しても、次のロック機能の設定は保持されます。
  - オールロック
  - おまかせロック

遠隔カスタマイズ

遠隔操作で各機能の利用を制限する

本機能の利用契約をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各機能（カメラ機能やロック設定など）の利用の制限や、ON／OFF設定を遠隔から行うことができるサービスです。

■ お問い合わせ先
ドコモの法人向けサイト
docomo Business Online
- パソコンから
  http://www.docomo.biz

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

◆ 遠隔カスタマイズすると

遠隔カスタマイズが開始されると、リモート機能設定を開始する旨のメッセージが表示されます。設定中は操作無効の旨のメッセージが表示され、遠隔カスタマイズが終了すると、完了した旨のメッセージが表示されます。ディスプレイ下部に[SET]が表示されます。

- 制限中や「ON」に設定された各機能を利用すると、待受画面には次のようなメッセージが表示されます。
  - 「この機能はリモート機能設定で制限されています。ご利用いただけません」
- 次の機能が制限される場合があります。制限中は機能の利用はできません。
  - 音楽、動画プレイヤー（ｉモーション、ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネル、フルブラウザ画面での動画ファイルの再生、プレビュー操作、音楽データのダウンロードや再生を含む）
  - ワンセグ（ワンセグ視聴、ワンセグ録画、ワンセグで録画したビデオ再生、静止画の表示、ワンセグの開始通知を含む）
  - ｉアプリ、ｉアプリの自動起動（「自動起動する」に設定）
  - ブラウザ（ｉモードやフルブラウザの起動、画面メモ、PDFデータの表示を含む）
  - メール（ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの送信／受信／未送信BOXの閲覧、新規メール作成、メール送受信履歴、メール設定を含む）
  - 電話帳（FOMAカード電話帳、プッシュトーク電話帳を含む）
  - カメラ（静止画／動画撮影、サウンドレコーダーを含む）
  - データ交換（赤外線リモコン、赤外線通信／iC通信、Bluetooth通信、USB接続によるデータ通信を含む）
  - データBOX（データBOXの閲覧、画像の利用を含む）
  - microSD利用（microSDカードへの移動やコピー、データのバックアップを含む）
  - 本体-FOMAカード間のデータ移動、コピー
- 設定に関わらず、次の機能が「ON」に設定される場合があります。設定の変更はできません。
  - 開閉ロック・オートキーロック
  - ICカードロック
  - ダイヤル発信制限
  - メモリ登録外着信拒否
  - 指紋認証設定
  - 指紋のみ認証
  - マナーモード（通常マナーモードに設定）
  - GPS位置提供可否

◆遠隔カスタマイズされた内容を確認する〈リモート機能設定確認〉

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 2

制限中や「ON」に設定された各機能が一覧で表示されます。

- 管理者が遠隔カスタマイズで設定した項目は、FOMA端末本体から設定変更および初期化（遠隔初期化）は行えません。

✔お知らせ

- 制限中の機能を待受ショートカットに新規登録できません。
- 既に「ON」に設定した各種ロック機能がある場合でも、遠隔カスタマイズにより「OFF」の設定に変更される場合があります。遠隔カスタマイズが解除されると、元の設定に戻ります。
- 他の機能が起動中に遠隔カスタマイズされた場合は、起動中の各機能を終了します（編集中のデータがあるときには、編集中のデータを保存せずに終了する場合があります）。
- おまかせロック中でも、遠隔カスタマイズが優先されます。
- FOMA端末を紛失したときに電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中は、遠隔カスタマイズされません。
- 電源を入れる／切る操作はできますが、電源を切ったり、各種設定リセットやデーター括削除を行ったりしても、遠隔カスタマイズは解除されません。
- メールが制限中の場合でも、メールの自動受信できますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。
- 電話帳が制限中の場合は、次のような動作になります。
  - 電話帳に登録している相手からの発着信時は、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。プッシュトーク発着信時は、電話番号のみ表示されます。
  - 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前や画像などは表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像になります。解除されると設定は元の状態に戻ります。
  - GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。
- ｉアプリが制限中の場合は、ｉアプリコールを受信しても破棄され、ｉアプリコール履歴にも表示されません。
- データBOXが制限中の場合でも、制限対象のデータをダウンロードして保存することができます。空き容量が足りないときは、データを削除して保存できます。ただし、保存画面でのプレビュー操作はできません。

その他の「あんしん設定」

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますのでご活用ください。

機能・サービス名称	参照先
ICカードロック	P266
迷惑電話ストップサービス	P364
番号通知お願いサービス	P364
FirstPass	P171 P184
ソフトウェア更新	P429
スキャン機能	P433
メール選択受信	P157
「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
メールアドレス変更	
迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
迷惑メール対策（かんたん✉設定）	
迷惑メール対策（ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限）	
迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
その他設定（未承諾広告※メール拒否）	
メールサイズ制限	
メール設定確認	
メール機能停止	
ケータイお探しサービス	

メール

ｉモードメール／デコメール®を作成する

ｉモードメールを受ける・操作する

メールBOXを操作する

メールの便利な機能

メールの設定を行う

メッセージサービスを利用する

緊急速報「エリアメール」を利用する

SMSを使う

ｉモードメール

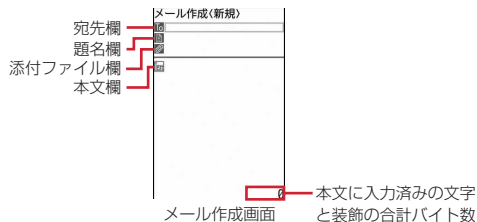
ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を10個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色や大きさ、背景色を変えられるほか、デコメ®絵文字も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

新規メール

ｉモードメールを作成して送信する

1 ✉（1秒以上）

メール作成画面

2 宛先欄を選択

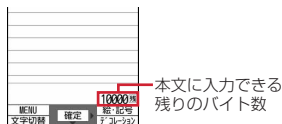
3 入力方法を選択▶宛先を入力

メール送受信履歴から入力する：「メール送信履歴」または「メール受信履歴」▶メール送受信履歴を選択
電話帳から入力する：「電話帳参照」▶電話帳検索▶電話帳を選択
メールグループから入力する：「メールグループ」▶メールグループを選択
直接入力する：「直接入力」▶宛先を入力（半角50文字以内）

- ｉモード端末に送信する場合は、「@docomo.ne.jp」は省略できます。

4 題名欄を選択▶題名を入力（全角100（半角200）文字以内）

- 受信側の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。

5 本文欄を選択▶本文を入力（全角5000（半角10000）文字以内）

位置情報のURLを貼り付ける：本文欄を選択▶MENU 5 6
以降の操作→P275「■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー」

- 位置情報を貼り付けると、本文に と位置情報URLが入力されます。なお、入力されたURLやマークは本文の文字数に含まれます。
- 位置情報は受信側がｉモード端末の場合のみ利用できます。

署名を挿入する：本文欄を選択▶MENU 5 7

6 📷

- 接続中画面で●、送信中画面で📷を押すと送信を中止します。ただし、操作のタイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたメールは、「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- 圏外の場合、圏外の旨のメッセージが表示されます。MULTI以外のキーを押すと、圏内自動送信メールが5件未満の場合、圏内自動送信の設定確認画面が表示されます。「はい」を選択すると圏内自動送信メールとして「未送信BOX」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 送信が正常に終了すると、ｉモードメールは送信メールのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから上書きされます。
- デコメ®絵文字（絵文字D）を使用すると、デコメール®として送信されます。
- 一部の絵文字は相手のｉモード端末の機種によっては、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- 送信に失敗したときは「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- ドコモ以外のアドレスにメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 送信／未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成または送信できません。未送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。
- 2in1のBアドレスを発信元にしてｉモードメールを送信するにはWEBメールを利用します。→P144
- 他の機能が起動するなどして、10000バイトを超える作成中のｉモードメールが自動保存された場合、一部が保存されないことがあります。

◆ 宛先を追加する

ｉモードメールは同じ内容を一度に最大5件の相手に送信（同報送信）できます。

- 宛先種別には次の3種類があります。
  To：直接の送信相手の宛先
  Cc：直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい相手の宛先
  Bcc：他の送信相手にメールアドレスを表示させずにメール内容を知らせる相手の宛先
- Toの宛先が1件も入力されていないときは、メールを送信できません。
- ToとCcの宛先欄に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

1 メール作成画面で宛先欄にカーソル▶[✉]▶入力方法を選択

- 「メールグループ」を選択した場合は、操作3に進みます。

宛先種別を変更する：**メール作成画面で宛先欄にカーソル▶[MENU][9]▶宛先種別を選択**

追加した宛先を削除する：**メール作成画面で宛先にカーソル▶[MENU][8]▶「はい」**

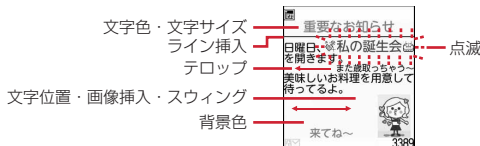
2 宛先種別を選択

3 宛先を入力

デコメール®

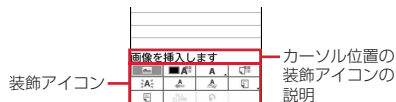
デコメール®を作成して送信する

ｉモードメール本文に文字サイズや背景色の変更、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、デコメ®絵文字の挿入などの装飾（デコレーション）をして、デコメール®を作成できます。

■ 装飾例

- デコメール®の作成方法には、装飾方法を選択してから文字を入力する方法（→P136）と文字を入力した後に装飾方法を選択する方法（→P137）があります。
- 送信できるデコメール®のサイズは100Kバイト以内です。100Kバイトのうち本文中に貼付できる画像は最大20種類で90Kバイト以内です。ただし、Flash画像は最大2個です。
- デコメール®を非対応端末が受信すると、相手の端末によって閲覧用URLが記載されたメールか、テキスト本文のみのメールになります。

◆装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で本文欄を選択

2 [メール]▶装飾アイコンを選択▶装飾操作

装飾の操作方法→P136「装飾アイコンの操作手順」

- 選択状態の点滅、テロップ、スウィングの装飾アイコンを再度選択すると選択状態が解除されます。
- 複数の装飾を設定するときは、連続して装飾アイコンを選択します。テロップ、スウィング、文字位置は同時に設定できません。

カーソル位置の装飾を解除して文字を入力する：入力位置にカーソル▶[メール][カメラ]▶文字を入力

- 解除される装飾は文字色、文字サイズ、点滅、テロップ、スウィング、文字位置です。

装飾を変更する：[メール][iα]▶開始位置を選択

以降の操作→P137「文字を入力してから装飾を指定する」操作2以降

3 [MENU][0]▶装飾を確認

設定した装飾と、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

- 効果音付きのFlash画像を本文中に貼付している場合は、効果音が再生されます。メロディを添付している場合は、メロディのみ再生されます。

4 [●]▶[●]▶メールを編集▶[カメラ]

❖装飾アイコンの操作手順

機　能	操作方法・補足
画像挿入	**①挿入元を選択** • microSDカードを取り付けている場合のみ「microSD」を選択できます。 •「静止画を撮影」を選択すると、待受用（480×864）以下のサイズで静止画を撮影して挿入できます。 • [画像]の代わりに[MENU]を押すと、デコメ®ピクチャ一覧を表示できます。 • デコメ®絵文字は絵文字を入力する手順でも挿入できます。→P353 **②フォルダを選択▶画像を選択▶[メール]**
文字色	**文字色を選択▶文字を入力** • 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。 • 絵文字（デコメ®絵文字（絵文字D）を除く）の文字色も変更できます。 • 範囲を指定して元の色に戻せます。→P137
文字サイズ	**文字サイズを選択▶文字を入力** • デコメ®絵文字（絵文字D）は変更できません。
背景色	**背景色を選択▶[メール]** • 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。
点滅	**文字を入力** • デコメ®絵文字（絵文字D）は設定できません。
テロップ	**文字を入力** • [テロップ開始]と[テロップ終了]の間に文字を入力します。
スウィング	**文字を入力** • [スウィング開始]と[スウィング終了]の間に文字を入力します。
文字位置	**文字の位置を選択▶文字を入力** • カーソル位置に文字が入力されている場合は、改行されます。
ライン挿入	[メール] [文字色]（文字色）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。
全解除	[メール] すべての装飾が解除されます。
元に戻す	[メール] 直前に設定した装飾または文字入力が取り消されます。

◆ 文字を入力してから装飾を指定する

1 メール作成画面で本文欄を選択▶装飾の開始位置にカーソル▶[✂]（1秒以上）

2 終了位置を選択

開始位置から文頭までを選択する：[MENU]▶[●]
開始位置から文末までを選択する：[📷]▶[●]
全文を選択する：[✉]

3 装飾を選択

文字色を変更する：[1]▶文字色を選択
- ライン（罫線）の色も変更されます。
- 元の色に戻すときは「指定なし」を選択してください。

文字のサイズを変更する：[2]▶[1]～[3]
文字の点滅の設定／解除：[3]▶[1]または[2]
文字や画像のテロップ表示の設定／解除：[4]▶[1]または[2]
文字や画像のスウィング表示の設定／解除：[5]▶[1]または[2]
文字や画像の表示位置を変更する：[6]▶[1]～[3]
選択範囲の装飾をすべて取り消す：[7]
コピーする：[8]
切り取る：[9]
1つ前の状態に戻す：[0]
- 直前に設定した装飾または文字入力が取り消されます。

続けて文字を装飾する：[MENU]▶操作3を繰り返す
ライン挿入、画像挿入、背景色の操作方法や装飾の確認、解除方法→P136「装飾を指定してから文字を入力する」

4 [●]▶[●]▶メールを編集▶[📷]

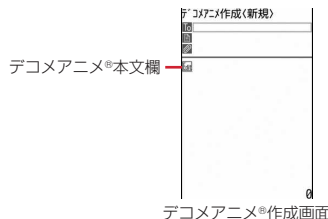
✔お知らせ
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力可能な文字数が少なくなる場合があります。装飾を解除してから文字を削除してください。なお、[CLR]を1秒以上押すと、装飾データも含めてカーソル位置以降の文字を削除できます。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間が経過すると自動的に停止します。
- パソコンなど、デコメール®対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

デコメアニメ®

デコメアニメ®を作成して送信する

デコメアニメ®は、デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。
お買い上げ時に登録されているメールテンプレートやIP（情報サービス提供者）サイトから購入したメールテンプレートを利用して作成できます。
- 送信できるデコメアニメ®本文のサイズは90Kバイト以内です。
- デコメアニメ®を非対応端末が受信すると、相手の端末によっては閲覧用URLが記載されたメールか、テキスト本文のみのメールになります。

1 [✉][3]

デコメアニメ®作成画面

2 デコメアニメ®本文欄を選択
- マークの意味は次のとおりです。
  ／：ファイル制限あり／なし
  上記以外のマークの意味→P138「メール作成時にデコメール®テンプレートを読み込む」操作1
- [i α]を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- 既にデコメアニメ®テンプレートを設定している場合は、操作4に進みます。

3 **デコメアニメ®テンプレートを選択**

編集できるテキストや画像の要素リストが表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  : テキスト要素　: 画像要素
- ：プレビューを表示
  効果音付きのデコメアニメ®の場合は、効果音が再生されます。メロディを添付している場合は、メロディのみ再生されます。

4 **テキスト要素を選択▶文字を入力**

- 入力できる文字数や行数、位置はデコメアニメ®テンプレートによって異なります。
- デコメ®絵文字（絵文字D）の入力、文字のサイズや色の変更などの装飾、署名の挿入はできません。

画像要素を編集する：
- 挿入できる画像の位置はデコメアニメ®テンプレートによって異なります。
- 本文に入力できる文字数（バイト数）より少ないサイズの画像でも、挿入できない場合があります。
- 画像を挿入すると、挿入した画像サイズよりも入力できる文字数（バイト数）が少なくなります。

① 画像要素を選択▶挿入元を選択
- microSDカードを取り付けている場合のみ「microSD」を選択できます。
- 「静止画を撮影」を選択すると、待受用（480×864）以下のサイズで静止画を撮影して挿入できます。

② フォルダを選択▶画像を選択

他のデコメアニメ®テンプレートを読み込む： MENU 1 ▶「はい」▶メールテンプレートを選択

画像を削除する： MENU 2 ▶「はい」

編集を元に戻す： MENU 3 ▶「はい」

5 **📷▶メールを編集▶📷**

✔お知らせ
- 画像やテキストを挿入する場合は、合成後にサイズを計算するため多少バイト数が増えます。そのため、サイズを超過して、プレビューを表示したり、送信したりできない場合があります。
- サムネイル表示のデコメアニメ®テンプレート一覧画面で表示されるファイルサイズは、テンプレート本体のファイルサイズに加えて、サムネイル表示やプレビュー表示で使用されるデータも含まれます。
- 送信に失敗して「未送信BOX」フォルダに保存されたデコメアニメ®の本文は再編集できません。

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、ｉモードメールの雛形です。この雛形に変更を加えるだけで、簡単にデコメール®／デコメアニメ®が作成できます。
お買い上げ時に登録されているメールテンプレートのほか、自分で作成したメールテンプレートやサイトからダウンロードしたメールテンプレートを利用できます。

- 保存容量の確認→P312

◆ メール作成時にデコメール®テンプレートを読み込む

1 **メール作成画面で MENU 6 ▶ 1 または 2**

- 本文が既に10000バイトを超えている場合は「読込み」を選択できません。
- 「読込み（本文上書き）」を選択した場合は、入力済みの内容を破棄して読み込むかの確認画面が表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  : FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可のメールテンプレート
  : 不正な画像が使用されているメールテンプレート
  : ｉモードサイトからデコメール®テンプレートを探す→P139
  上記以外のマークの意味→P149「メール一覧画面の見かた」
- iαを押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

2 **メールテンプレートを選択**

- 操作1で「読込み」を選択したときに、本文に入力済みの文字などがあった場合は、挿入位置を選択し、「はい」を選択します。

3 **メールを編集▶📷**

✔お知らせ
- メール本文入力画面のサブメニューからの操作：MENU 2

◆ メールテンプレートを表示してメールを作成する

〈例〉デコメール®を作成する

1 ✉ ✂ 1 ▶ メールテンプレートを選択

デコメアニメ®を作成する：✉ ✂ 2 ▶ メールテンプレートを選択

2 📷 ▶ メールを編集 ▶ 📷

デコメール®テンプレートの詳細情報を変更する：MENU 7 2
以降の操作→P139「メールテンプレートを作成して登録する」操作2以降

デコメアニメ®テンプレートの詳細情報を変更する：MENU 4 2 ▶ 表示名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶ 📷

✔お知らせ
- サムネイル表示のデコメアニメ®テンプレート一覧画面で表示されるファイルサイズは、テンプレート本体のファイルサイズに加えて、サムネイル表示やプレビュー表示で使用されるデータも含まれます。

◆ メールテンプレートを作成して登録する

作成または送受信したｉモードメールをデコメール®テンプレートとして登録できます。
- 次の場合は、デコメール®テンプレートに登録できません。
  - 本文と装飾データで10000バイトを超えている場合
  - 本文と装飾、添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合
- 送受信したｉモードメールの場合は、本文がないと登録できません。また、宛先、題名は登録されません。
- デコメアニメ®は本機能を利用できません。

1 メール作成画面で MENU 6 3 ▶「はい」

送受信したｉモードメールを登録する：メール詳細画面で MENU 4 5

2 各項目を設定

表示名：全角10（半角20）文字以内で入力します。
ファイル名：半角英数字と「．」「-」「_」で36文字以内で入力します。ファイル名の先頭に「．」は使用できません。

3 📷

テンプレートの「デコメール」に登録されます。

✔お知らせ
- メール送信できない画像が含まれたデコメール®テンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。

◆ デコメール®テンプレートをダウンロードする

- 保存できるデコメール®テンプレートのサイズは1件あたり最大200Kバイトです。

1 サイトを表示 ▶ メールテンプレートを選択
- ダウンロード中に 📷：ダウンロードを中止

2「保存」

以降の操作→P139「メールテンプレートを作成して登録する」操作2以降
- 2in1がBモード時以外は、保存後に続けてメール作成の確認画面が表示されます。
- 利用できないファイルが添付されている場合は、添付ファイルを削除して保存するかの確認画面が表示されます。

表示する：「プレビュー」
保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

◆ デコメアニメ®テンプレートをダウンロードする

- 保存できるデコメアニメ®テンプレートのサイズは1件あたり最大100Kバイトです。

1 サイトを表示▶デコメアニメ®テンプレートを選択

- ダウンロード中に[カメラ]：ダウンロードを中止

2 「保存」

表示する：「プレビュー」
詳細情報を表示する：「情報表示」
詳細情報について→P310
保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 表示名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶[カメラ]

テンプレートの「デコメアニメ」に保存されます。

- 2in1がBモード時以外は、保存後に続けてメール作成の確認画面が表示されます。

◆ メールテンプレートを削除する

〈例〉デコメール®テンプレートを1件削除する

1 [メール][✂][1]

デコメアニメ®テンプレートを削除する：[メール][✂][2]

2 メールテンプレートにカーソル▶[MENU][2]▶[1]～[3]▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたメールテンプレートが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[カメラ]が、全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ

- お買い上げ時に登録されているメールテンプレート（添付のメロディを除く）を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P312

添付ファイル（送信）

ファイルを添付する

ｉモードメールにファイルを添付して送信できます。

- 最大10件で合計2Mバイトまで添付できます。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定したファイル、取得元がｉモード以外のPDFデータを除く）、FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可のファイルは添付できません。
- 添付できるファイルの種類は次のとおりです。

ファイルの種類	添付の条件
画像※1	• JPEG形式、GIF形式の画像、GIFアニメーション、Flash画像のみ添付可（パラパラマンガは添付不可）
動画／ｉモーション、音声※2	• MP4形式の動画／ｉモーションのみ添付可（ASF形式や部分的に取得した動画／ｉモーションは添付不可） • 再生制限が設定されている動画／ｉモーションは添付不可※3
メロディ	• SMF形式、MFi形式のメロディのみ添付可
トルカ※4	•「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは添付不可 • IP（情報サービス提供者）の設定によっては添付不可
PDFデータ	• 部分的にダウンロードしたり、ダウンロードに失敗したPDFデータは添付不可
電話帳	―
スケジュール	―
ブックマーク	―
その他	• Word、Excel、PowerPointのファイルなどが添付可

※1 2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に10000バイトより大きいJPEG形式の画像を送信した場合は、ｉショットセンターで受信する端末に適したサイズに変換されます。movaサービスのｉモード端末へはJPEG形式の画像を1枚のみ送信できます。なお、受信側の端末では画像閲覧用URLが記載されたｉモードメールを受信します。

※2 映像のある動画／ｉモーションは、受信側の端末や機器によっては連続静止画に変換されて表示される場合があります。
2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信する場合は、共通再生モードで撮影した動画をおすすめします。→P207
受信側が2Mバイト対応機種以外のｉモード端末の場合、動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保存され、ｉモーション閲覧用URLが記載されたｉモードメールを受信します。
サウンドレコーダーやボイス録音で録音した音声は、音声のみの動画／ｉモーションとして添付されます。なお、movaサービスのｉモード端末では受信できません。
※3 再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。
※4 受信側がトルカ対応機種の場合でも、機種によってはトルカ（詳細）を受信できない場合があります。

1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択▶添付するファイルを選択

メール作成画面の添付ファイル欄に選択したファイルが表示されます。
- microSDカードを取り付けている場合は、添付元を「本体」「microSD」から選択する画面が表示されます。

画像（「1イメージ」）を選択したとき
- 画像サイズがQVGA（240×320、320×240）より大きいJPEG形式の画像の場合は、QVGAサイズへの変換確認画面が表示されます。
- 位置情報付きの画像の場合は、位置情報URLの本文貼り付け確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、画像のみが添付されます。
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいJPEG形式の画像は、メールに添付可能なサイズに変換されます。
- 添付元で「カメラ撮影」を選択したときには、静止画を撮影して添付できます。→P200

動画／ｉモーション（「2ｉモーション」）を選択したとき
- 添付元で「カメラ撮影」を選択したときには、動画を撮影して添付できます。→P203

「3メロディ」を選択したとき
- お買い上げ時は、「メール添付メロディ」フォルダにメロディが保存されています。→P401

「4トルカ」を選択したとき
- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めてメールへの貼り付け確認画面が表示されます。
- トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに貼り付けするかの確認画面が表示されます。

「6スケジュール」を選択したとき
- ｉスケジュール内の予定を選択したときは、通常のスケジュールとして添付されます。

ブックマーク（「7Bookmark」）を選択したとき
- 添付元で「本体」を選択すると、ブックマークのフォルダ一覧で[カメラ]を押すたびに、ｉモードとフルブラウザのブックマークのフォルダ一覧が切り替わります。

音声（「9ボイス録音」）を選択したとき
- 音声を録音して添付できます。
音声の録音方法→P203「カメラで動画を撮影する」操作2以降

2 メールを編集▶[カメラ]

✔お知らせ
- 受信側の端末が対応していない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されたり、正しく表示や再生されなかったりします。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信するまでに時間がかかる場合があります。

◆ 添付ファイルを変更／解除する

〈例〉解除する

1 メール作成画面で添付ファイル欄にカーソル

2 [メール]▶「はい」

変更する：[iα]▶ファイルの添付をやり直す→P140

iモードメール保存

iモードメールを保存しておき、後で送信する

◆iモードメールを保存する

1 メール作成画面で[MENU][3]

「未送信BOX」フォルダに保存され、待受ショートカットの貼り付け確認画面が表示されます。

- デコメアニメ®を保存する場合は、保存確認画面が表示されます。なお、保存すると本文を編集できなくなります。

◆電波の届く所でメールを自動送信する〈圏内自動送信〉

圏外で作成したiモードメールを、電波の届く所になったら自動的に送信するように設定できます。

- 最大5件設定できます。

1 メール作成画面で[MENU][2]

「未送信BOX」フォルダに保存され、ディスプレイ上部にが表示されます。

❖電波の届く所になると

自動送信されます。自動送信中はが点滅します。送信が正常に終了すると、iモードメールは送信メールのフォルダに保存され、が消えます。

- 自動送信を中断したときや失敗したときはがに変わって点滅し、iモードメールは「未送信BOX」フォルダに残ります。
  未送信メール一覧で自動送信に失敗したiモードメールにカーソルを合わせて[MENU][5][2]を押すと、未送信理由が表示されます。
- すべての圏内自動送信失敗メールが編集、解除、削除などによってなくなると、は消えます。

✔お知らせ

- 圏外のため失敗した場合は最大2回再送されます。
- メール作成中や署名編集中などのメール機能利用中や、フルブラウザ中は自動送信されません。

❖圏内自動送信の設定を解除する

1 [✉][4]▶フォルダを選択▶iモードメールにカーソル▶[📷]▶「はい」

✔お知らせ

- 次の場合も圏内自動送信の設定は解除されます。
  - 未送信の圏内自動送信メールを選択して、メール作成画面になった場合
  - 未送信の圏内自動送信メールをメール連動型iアプリ用のフォルダに移動した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合
  - 接続先設定で接続先番号または接続先アドレスを変更した場合
  - 2in1をBモードに設定した場合

◆送信／未送信メールを編集する

1 [✉]▶[4]または[5]▶フォルダを選択

- SMSはが表示されます。

2 メールを選択

送信メールを再編集する：メールにカーソル▶[📷]

3 メールを編集▶[📷]

クイックメール

すばやくメールを作成する

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作でiモードメールやSMSを送信できます。

- 電話帳に複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、iモードメールは1件目のメールアドレス、SMSは1件目の電話番号が宛先になります。

〈例〉メモリ番号23のメールアドレスにiモードメールを送信する

1 メモリ番号（[2][3]）▶[✉]

入力したメモリ番号の電話帳に登録されているメールアドレスを宛先にしたiモードメール作成画面が表示されます。

SMSを作成する：メモリ番号▶[✉]（1秒以上）

入力したメモリ番号の電話帳に登録されている電話番号を宛先にしたSMS作成画面が表示されます。

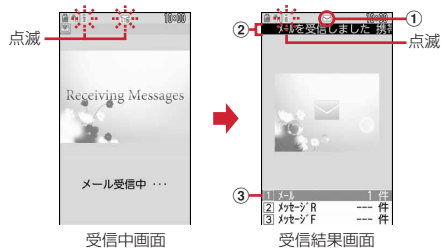
メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

1 ｉモードメールを受信

と が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したｉモードメールは受信メールのフォルダに保存されます。

- [●]：受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① マーク
　：未読ｉモードメールあり　：未読ｉモードメールとSMSあり
② 受信結果テロップ
③ 受信したｉモードメールの件数

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。

受信に失敗したとき
受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→P145
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読または保護以外の古い受信メールから上書きされます。このとき、受信したメールのサイズによっては大量に消去される場合があります。
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないときやｉモード圏外のとき
  - テレビ電話中やプッシュトーク通信中
  - お預かりセンター接続中
  - おまかせロックやセルフモード中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - SMS受信中
  - メール選択受信設定が「ON」のとき
  - 赤外線通信／iC通信中
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や が表示されます。受信する場合は、未読メールの内容表示、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 や が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが や に変わります。

◆ 新着ｉモードメールを表示する

1 受信結果画面で[1]

- [2]や[3]を押すとメッセージR/Fを表示できます。

2 フォルダを選択▶メールを選択

メロディや効果音付きのFlash画像の再生について→P159
受信メール詳細画面の見かた→P150

◆ WEBメールを操作する

2in1のBアドレスでメールを送受信するには、WEBメールサイトへの接続が必要です。2in1がBモードまたはデュアルモード時のみ、WEBメールサイトへ接続できます。

- 2in1はお申し込みが必要な有料サービスです。

1 [✉][7]▶ｉモードパスワードの入力欄を選択▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」

WEBメールサイトに接続されます。

- WEBメールサイト内の操作方法は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。
ｉモードセンターにｉモードメールが届いたときは、ディスプレイに「センターに✉あり」が表示されます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。

1 [✉][9]

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

- ｉモードセンターの操作方法は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

✔お知らせ

- [TV]、[🔍]、[MULTI]以外のキーを押すと「センターに✉あり」が消えます。
- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、開閉ロック中、オートキーロック中はメッセージが表示されません。
- ｉモード問合せを行うとすべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、ｉモード問合せ設定で問合せ項目から「メール」を外してください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定しても、エリアメール、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

ｉモード問合せ

ｉモードメールがあるかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、ｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。
ｉモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせするように設定している場合は、同時にメッセージR/Fもあるかを問い合わせます。

- 電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。

1 [✉][✉]

- ｉモード問合せ中はランプがレインボーで点灯します。ｉモード問合せ後、新着のｉモードメールがないときは、ランプが赤色で点滅します。ｉモード問合せに失敗したときは、ランプが黄色で点滅します。
- [▯]を1秒以上、お買い上げ時は、FOMA端末を閉じた状態で[▯]を1秒以上押しても操作できます。
- 背面ディスプレイのメニューからも操作できます。→P35

ｉモードメール返信

ｉモードメールに返信する

受信したｉモードメールやSMSに返信します。

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元が「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」の受信SMSには返信できません。

1 [✉][1]▶フォルダを選択▶メールにカーソル▶[📷]

クイック返信本文選択画面が表示されます。

- 複数の宛先に送られたメールの場合は、返信先の選択画面が表示されます。
- 次の場合は、クイック返信本文選択画面は表示されません。操作3に進みます。
  - クイック返信設定が「OFF」の場合
  - クイック返信本文が1件も登録されていない場合
  - SMSに返信する場合

2 [1]

クイック返信を使用する：[2]～[6]
選択したクイック返信本文が挿入されます。

3 **メールを編集▶[📷]**

宛先欄には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、題名欄には先頭に「REX:」(Xは「1」を除く返信回数)の付いた受信メールの題名(iモードメールのみ)が入力されます。
- 受信メールの状態マークが✉から↩、または✉から↩に変わります。

✔お知らせ
- 返信時の引用方法とクイック返信を設定できます。→P158
- メール返信引用設定に関わらず、受信メールの一覧画面および詳細画面で[MENU]を押し「返信／転送」を選択すると、「返信」(受信メール本文の引用なし)または「引用返信」(受信メール本文の引用あり)を選択できます。また、microSDカードの受信メール詳細画面からも同様に操作できます。
- デコメアニメ®は引用返信できません。
- デコメアニメ®で返信する操作：受信メール一覧画面および詳細画面で[MENU]→「返信／転送」→「デコメアニメ返信」
  microSDカードの受信メール詳細画面からも同様に操作できます。
- 引用返信で引用されるのは、本文と装飾、本文中に貼付された画像(ファイル制限が設定されていないもの)のみです。引用時に本文中の画像が最大20種類で合計90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像の削除を示す画面が表示されます。

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

受信したiモードメールやSMSを他の宛先に転送します。iモードメールはiモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 **[✉][1]▶フォルダを選択▶メールにカーソル▶[MENU][1][4]**

題名欄には先頭に「FWX:」(Xは「1」を除く転送回数)の付いた受信メールの題名(iモードメールのみ)、本文欄には受信メールの本文が入力されます。
- 添付ファイルがある場合は、添付ファイルも設定されます。ただし、未取得、取得途中の選択受信添付ファイルは設定されません。

2 **メールを編集▶[📷]**
- 受信メールの状態マークが✉から➡、または✉から➡に変わります。

✔お知らせ
- 受信メール本文中に貼付されたメロディ、iアプリが起動できるリンク項目があるときは転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。microSDカードの受信メールを転送する場合は、すべての添付ファイルが解除されます。
- デコメアニメ®を転送する場合は、本文を編集できません。また、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデコメアニメ®は、デコメアニメ®が解除され、メール作成画面が表示されます。
- 本文中に画像がある受信メールを転送するときに、本文中の画像の合計サイズが90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像の削除を示す画面が表示されます。
- 2in1がデュアルモード時にFOMA端末に保存したBアドレスまたはBナンバー宛の受信メールを転送すると、発信元がAアドレスまたはAナンバーのメールとして送信されます。

選択受信添付ファイルを取得する

受信メールに添付された未取得または取得途中の選択受信添付ファイルをダウンロードします。
- メール本文と添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合は、添付ファイルの一部またはすべてを選択受信添付ファイルとして受信します。
- 未取得または取得途中の添付ファイルがあると、受信メール詳細画面にiモードセンターでの保存期限が表示されます。
- ダウンロードできるサイズは1件あたり最大2Mバイトです。

1 **[✉][1]▶フォルダを選択▶ファイルが添付されたiモードメールを選択**

ファイルのマークとファイル名、ファイルサイズ
iモードセンターでの保存期限

しまいました。
この度、携帯電話のメールアドレスを変更しました。
それでは失礼します。
fu001.jpg 200.0KB
保存期限:2008/11/17
- END -

マークの意味→P150「メール詳細画面の見かた」

2 ファイル名を選択

- ダウンロード中に[カメラ]を押し「いいえ」を選択すると、ダウンロードを中止し、中止した部分まで保存されます。
- ダウンロード後の操作は自動受信した添付ファイルの操作と同様です。→P146

✔お知らせ

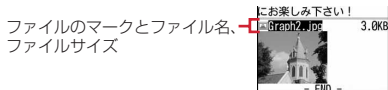
- 選択受信添付ファイルをダウンロードしようとしたときに、保存領域の空きが足りないときはダウンロードできません。受信済みのｉモードメールの添付ファイル削除、未読メールの内容表示、保護解除、不要メールの削除などを行ってからダウンロードし直してください。
- ファイルのサイズによっては、選択受信添付ファイルをダウンロードする際に既読メールが削除される場合があります。
- 圏外などでダウンロードが中断すると再開の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると中断した部分まで保存され、添付ファイルマークに✚が表示されます。

添付ファイルを操作する

ｉモードメールに添付されているファイルを表示・保存します。

- 100Kバイトを超えるFlash画像やメロディ、トルカ（詳細）、1Kバイトを超えるトルカは本FOMA端末では表示・再生できません。なお、microSDカードにのみ保存できます。
- 複数件の電話帳、スケジュール、ブックマークはｉモードメールに添付されている状態では、内容を表示できません。保存後に内容の確認をしてください。

〈例〉画像が添付されているｉモードメール

ファイルのマークとファイル名、ファイルサイズ

マークの意味→P150「メール詳細画面の見かた」

◆ 表示・再生する

- 本FOMA端末に対応していないファイルは表示・再生できません。

1 [メール][1]▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ファイル名を選択

- 画像の場合は、表示／非表示が切り替わります。
- トルカに詳細情報がある場合は、「詳細」ボタンを選択するとサイトからダウンロードできます（トルカ（詳細））。

✔お知らせ

- 横幅が画面サイズよりも大きい画像は、縮小されて表示されます。
- デコメール®に添付された画像を表示するときは、画像のファイル名を選択します。
- 送信側の端末や受信したファイルによっては、表示・再生できない場合があります。
- 本文の文字が誤ってメロディのデータとして認識された場合は、メロディにカーソルを合わせて[MENU][6][5]を押すと文字として表示できます。データ表示されたメロディの先頭行で[●]を押すと、メロディの表示に戻ります。
- 送信メール詳細画面からも同様に操作できます。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生するには、対応ソフトが必要です。詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

◆保存する

- 保存できるファイルの種類と保存先は次のとおりです。

ファイルの種類		保存先	
		FOMA端末	microSDカード
画像		マイピクチャのフォルダ	「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」フォルダのいずれか
iモーション		iモーションの「iモード」フォルダ	ファイル制限なしの場合は「動画」フォルダ（音声のみのiモーションは「その他の動画」フォルダ） ファイル制限ありの場合は「動画🔑」フォルダの選択したフォルダ
メロディ		メロディの「iモード」フォルダ	「メロディ」フォルダ
トルカ		トルカの「トルカフォルダ」	「トルカ」フォルダ
PDFデータ		マイドキュメントの「iモード」フォルダ	「マイドキュメント」フォルダ
電話帳		FOMA端末電話帳	「電話帳」フォルダ
スケジュール		スケジュール帳	「スケジュール」フォルダ
ブックマーク	iモード	Bookmarkの「Bookmark」フォルダ	「Bookmark」フォルダ
	フルブラウザ	Bookmarkの「Bookmark」フォルダ	
Word、Excel、PowerPointファイル		その他のフォルダ	「その他」フォルダ
さまざまなファイル※		―	「その他」フォルダ

※ 本FOMA端末で対応していないファイルです。microSDカードへの保存および転送のみできます。なお、保存の際にファイル名が書き換えられる場合があります。

〈例〉トルカを保存する

1 [✉][1]▶フォルダを選択▶iモードメールを選択

2 ファイル名にカーソル▶[MENU][6][3]

デコメール®の画像を保存する：[MENU][4][4]▶画像を選択
以降の操作→P178「画像をダウンロードする」操作2以降

メロディを保存する：メロディにカーソル▶[MENU][6][2]
以降の操作→P179「データをダウンロードする」操作2

3 [1]または[2]

- トルカによっては保存先をどちらか一方しか選択できない場合があります。

画像を保存する：以降の操作→P178「画像をダウンロードする」操作2以降

iモーションを保存する：以降の操作→P186「サイトからiモーションを取得する」操作3

電話帳、スケジュール、ブックマークを保存する：[📷]
- ブックマークのタイトル名を変更するときは、全角12（半角24）文字以内で入力します。
- ブックマークのタイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧にはURLが表示されます。
- microSDカードを取り付けている場合に[iα]を押すと、microSDカードに保存されます。
- 複数件のデータの場合は、保存先を選択する画面が表示されます。

PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルを保存する：[📷]
- 表示名を変更するときは、36文字以内で入力します。
- その他内にフォルダが複数ある場合は、保存先のフォルダを選択する画面が表示されます。保存先のフォルダを選択すると保存されます。
- ガイド表示領域に「📱⇔SD」が表示された場合は、[iα]を押して保存先を切り替え[📷]を押すと、microSDカードに保存することができます。

その他のファイルを保存する：「はい」

✔お知らせ

- 横縦（縦横）のサイズがGIF形式で480×864、JPEG形式で1944×2592より大きい画像はFOMA端末には保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない画像もあります。
- トルカによっては一度しか保存できない場合があります。
- 送信メール詳細画面からも同様にファイルの保存ができます。

◆ファイル名を確認する

1 ✉1▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ファイル名にカーソル▶MENU62

添付されたメロディのタイトルを確認する：メロディにカーソル▶MENU65

本文中に貼付されたメロディのタイトルを確認する：メロディにカーソル▶MENU64

✔お知らせ

- 送信メール詳細画面からファイル名を確認する操作：ファイル名にカーソル→MENU→「添付ファイル」→「タイトル確認」または「ファイル名確認」

◆削除する

- 本文中に貼付される画像やメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除できません。

1 ✉1▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ファイル名にカーソル▶MENU6▶4または5▶「はい」

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

メロディまたは選択受信添付ファイルを削除する：ファイル名にカーソル▶MENU6▶3または4▶「はい」

✔お知らせ

- 送信メールに添付したファイルも同様に操作できます。

受信／送信／未送信メールBOXのメールを表示する

受信／送信／未送信のｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを確認できます。

- お買い上げ時は、「オススメ✧BEST6✧」「緊急速報「エリアメール」のご案内」「Welcome✧デコメアニメ」メールが受信BOXに保存されています。このメールの受信に通信料はかかっていません。また、返信することはできません。

〈例〉受信メールを表示する

1 ✉1

送信メールフォルダ一覧を表示する：✉5

未送信メールフォルダ一覧を表示する：✉4

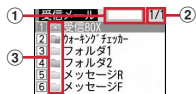
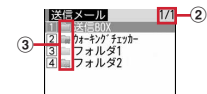
2 フォルダを選択

受信メール一覧が表示されます。

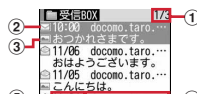
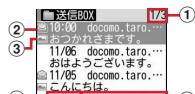
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、それに対応するｉアプリが起動します。ｉアプリを起動せずにメールを表示するときは、メール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせてMENU1を押します。

3 表示するメールを選択

- メール一覧の本文お試し表示部分とメール詳細画面を15段階で拡大／縮小します（クイックズーム）。
  MENU▶「表示」▶「キー操作一覧」を押すと、キー操作一覧が表示されます。
  - 表示した状態でキー操作ができます。●を押すと元の画面に戻ります。
  - デコメアニメ®は縮小／拡大はできません。

◆ フォルダ一覧画面の見かた

受信メールフォルダ一覧画面

送信メールフォルダ一覧画面

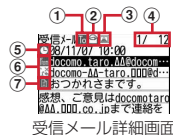
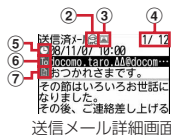
① **保存領域の使用率**
② **ページ番号／総ページ数**
③ **フォルダ**
受信メール
(グレー)：メールなし　(水色)：未読メールなし
：未読メールなし、メールなし（シークレット属性ON）
：未読メールなし、メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
：未読メールあり　：未読メールあり（シークレット属性ON）
：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）
送信／未送信メール
(グレー)：メールなし　(水色)：メールあり
：シークレット属性ON　：メール連動型ｉアプリ

◆ メール一覧画面の見かた

受信メール一覧画面

送信メール一覧画面

① **ページ番号／総ページ数**
② **状態マーク**
受信メール
：未読　：未読（返信不可）　：既読　：既読（返信不可）
：既読（返信済み）　：既読（転送済み）　：保護
：保護（返信不可）　：保護（返信済み）　：保護（転送済み）
※ 返信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。
送信／未送信メール
表示なし：未保護
：保護　：圏内自動送信設定中　：圏内自動送信失敗
：保護＋圏内自動送信設定中　：保護＋圏内自動送信失敗
③ **添付ファイルの種類／SMS／通知／メール連動型ｉアプリ／エリアメール**
：画像　：ｉモーション　：メロディ　：トルカ
：PDFデータ　：電話帳　：スケジュール
：ブックマーク　：Wordファイル　：Excelファイル
：PowerPointファイル　：本FOMA端末で表示できないファイル
：複数添付ファイルあり　：SMS　：送達通知、着信通知
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール　：ｉアプリToあり
：エリアメール　：メール連動型ｉアプリで利用されるエリアメール
：貼付データ不正
※ 送信／未送信メールの場合、②の位置にマークが表示されないときは③のマークが②の位置に表示されます。
※ 受信／送信メール一覧の場合、メール一覧表示設定の表示スタイルが「1行表示」のときは、日時の後ろに次のマークが表示されます。
：添付ファイルあり　：エリアメール
：メール連動型ｉアプリで利用されるエリアメール

④ **発信元／宛先**
電話帳に登録しているときは名前が表示されます。
エリアメールの場合は、「エリアメール」と表示されます。
⑤ **受信／送信／保存日時**
当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
⑥ **題名**
ｉモードメールによっては、表示されない場合があります。また、エリアメールとSMSの場合は本文の先頭が表示されます。
⑦ **本文**
カーソルを合わせたメールの本文が表示されます。

- 海外から送られてきたSMSは発信元の先頭に「+」が表示されます。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に送受信、保存したｉモードメール、SMSは日時の後ろにが表示される場合があります。
- 2in1がデュアルモード時は、BアドレスまたはBナンバー宛のｉモードメールは題名の前に、SMSは本文の先頭にが表示されます。microSDカードの全件コピーやバックアップしたメール一覧では末尾にBが表示されます。

◆ メール詳細画面の見かた

受信メール詳細画面

送信メール詳細画面

① **宛先種別マーク**
ToCcBcc：宛先（Cc、Bccはｉモードメールのみ）
ｉモードメールでは発信元からどの宛先種別で送られてきたのかを確認できます。
② **状態／通知マーク**
受信メール
：既読　：既読（返信不可）　：既読（返信済み）
：既読（転送済み）　：保護　：保護（返信不可）
：保護（返信済み）　：保護（転送済み）
※ 返信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。
送信メール
表示なし：未保護　：保護

③ **添付ファイルの種類／SMS／エリアメール**
：画像　：ｉモーション　：メロディ　：トルカ
：PDFデータ　：電話帳　：スケジュール
：ブックマーク　：Wordファイル　：Excelファイル
：PowerPointファイル　：本FOMA端末で表示できないファイル
：複数添付ファイルあり　：SMS　：ｉアプリ（ｉアプリTo）
：エリアメール　：メール連動型ｉアプリで利用されるエリアメール
：貼付データ不正
※ 添付ファイルの状態によって、本文の下に上記マークとともに次のマークが表示されます。
：著作権あり（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
／：データ異常／データ超過　：選択受信添付ファイル未取得
：選択受信添付ファイル取得途中　：選択受信添付ファイル取得不可
④ **メール番号／件数**
⑤ **送受信日時**
⑥ **発信元／宛先／同報アドレスの宛先種別**
From：発信元　：発信元（返信不可）　ToCcBcc：宛先
：宛先（返信不可）（ｉモードメールのみ）
⑦ **題名**

- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に送受信したｉモードメール、SMSは日時の後ろにが表示される場合があります。
- 2in1がデュアルモード時は、BアドレスまたはBナンバー宛のｉモードメール、SMSは受信日時の後ろにが表示されます。

デコメアニメ®を見る
受信／送信メール一覧からデコメアニメ®を選択すると、デコメアニメ®本文のFlash画像が再生されます。

- デコメアニメ®表示中は次の操作ができます。
  MENU：最初から再生
  ▲▼：音量調整（効果音付きのデコメアニメ®の場合）
  iα：再生停止
  ✉：メール詳細画面に戻る／デコメアニメ®を表示する
- 効果音付きデコメアニメ®の場合は音量設定のメロディ音量で効果音が再生されます。

✔お知らせ

- 表示できない文字は空白などに置き換わります。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- 受信メールに添付されたファイルが受信可能なデータ量（添付可能なデータ量→P140）より大きい場合やファイルによっては、ｉモードセンターで削除され、題名の下に［添付ファイル削除］と表示されます。
- メール本文中に貼付されたメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は1件のみ有効です。複数貼付されていると、貼付データは無効になり受信メール一覧画面や詳細画面に や が表示されます。
- 本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。
- 受信したSMSの題名は「受信SMS」、発信元は電話番号または電話帳に登録されている名前が表示されます。なお、送信したSMSの題名には「送信SMS」と表示されます。
  発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
  「非通知設定」（非通知に設定して送られてきた場合）
  「公衆電話」（公衆電話から送られてきた場合）
  「通知不可能」（発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合）
- 電話帳お預かりサービスを利用して、メールを保存できます。→P128

◆ フォルダを作成／削除する

- お買い上げ時に登録されているフォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に、受信メールは最大40個、送信／未送信メールには、それぞれ最大20個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているフォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダは、フォルダ設定を変更できません。
- 次の場合はフォルダを削除できません。
  - お買い上げ時に登録されているフォルダの場合
  - フォルダ内に保護されているメールがある場合
  - メール連動型ｉアプリ用のフォルダで、そのフォルダに対応するｉアプリがある場合

〈例〉フォルダを作成する

1 [✉]▶[1]または[4]～[5]

2 [MENU][1]

削除する：フォルダにカーソル▶[MENU][2]▶認証操作▶「はい」
フォルダ設定を変更する：フォルダにカーソル▶[MENU][3]
並び順を変更する：フォルダにカーソル▶[MENU]▶[7]または[8]

3 各項目を設定▶[📷]

フォルダ名：全角8（半角16）文字以内で入力します。
シークレット属性：プライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、フォルダを表示させるかを設定します。

◆ メールの件数を確認する〈フォルダ内メール件数〉

受信／送信／未送信メールのフォルダごとに保存件数を確認します。

1 [✉]▶[1]または[4]～[5]▶フォルダにカーソル▶[MENU][5]

◆ メールアドレスを表示する〈アドレス表示〉

1 [✉]▶[1]または[4]～[5]▶フォルダを選択

2 メールにカーソル▶[MENU][7][3]

未送信メールのメールアドレスを表示する：[MENU][5][3]

✔お知らせ

- 送受信メール詳細画面で確認する発信元または宛先を選択しても確認できます。なお、未送信メール詳細画面からは確認できません。
- メールテンプレート詳細画面からの操作：[MENU][4][2]

◆ メールを別のフォルダに移動する〈メール移動〉

1 [✉]▶[1]または[4]～[5]▶フォルダを選択

2 メールにカーソル▶[MENU][4][1]▶[1]～[3]

- 選択移動では選択操作▶[📷]が必要です。

3 [●]▶移動先のフォルダを選択▶「はい」

◆ メールを検索する

送受信したメールを検索できます。

1 [✉]▶[1]または[5]

2 [MENU][9]▶各項目を設定

- 初回起動時は、メール検索についての説明が表示されます。[●]を押すと検索画面が表示されます。

題名／本文：全角35（半角70）文字以内で入力します。複数の単語で検索する場合は、単語と単語の間に半角空白を入力します。

- 題名／本文欄の下のタブを選択して、「全てを含む」または「いずれかを含む」を選択します。

差出人（受信メール）／宛先（送信メール）：メール送受信履歴、電話帳から選択します。

日付範囲：カレンダーから日付範囲を選択します。

- [✉]を押すと、検索履歴が表示されます（最大5件）。履歴を選択すると、履歴の条件が入力されて検索画面が表示されます。

3 [📷]

項目に該当するメールが一覧で表示されます。

- 検索中に[●]：検索を中止
- 検索結果画面で[iα]を押すと、再検索できます。
- 検索結果画面からは、通常のメール一覧と同様の操作ができます。

✔お知らせ

- 受信／送信メール一覧からの操作：[MENU][0]
  この場合は、フォルダ内のメールだけが検索されます。

◆ 受信／送信メールを並べ替える〈ソート〉

受信メールと送信メールのメール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。

1 [✉]▶[1]または[5]▶フォルダを選択

2 [MENU][7][4]

送信メールを並べ替える：[MENU][5]

3 [1]～[4]

✔お知らせ

- 「送信者順」または「宛先順」の場合、メールアドレスを電話帳に登録していても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。
- SMSやエリアメールが含まれていると、一覧画面ではメッセージの本文の先頭が表示されるため、「タイトル順」で並べ替えた場合、50音順と一致しません。

◆ 受信メールの既読／未読を変更する

- 保護されている受信メールの既読／未読は変更できません。

1 [✉][1]▶フォルダを選択▶メールにカーソル▶[MENU][5]▶[1]～[6]

- 複数のメールを操作するには選択操作▶[📷]▶「はい」が、全件のメールを操作するには「はい」が必要です。

◆ メールを保護／解除する〈メール保護〉

受信／送信／未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 未読メールは保護できません。
- エリアメールは選択保護／選択解除の操作はできません。

1 [✉]▶[1]または[4]～[5]▶フォルダを選択

2 メールにカーソル▶[MENU][3]▶[1]～[6]

- 選択保護／解除では選択操作▶[📷]が必要です。
- 状態マークが次のいずれかに変わります。
  受信メール：(既読)、(返信不可)、(返信済み)、(転送済み)
  送信／未送信メール：

✔お知らせ

- 「全件保護」を選択すると、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

◆ メールを削除する

❖受信メールを削除する

1 [✉][1]

- メール全件を削除するときは、[MENU][4][6]を押し、認証操作を行い、操作3に進みます。

2 フォルダを選択▶メールにカーソル▶[MENU][2]▶[1]～[7]

- 1件削除ではカーソルを合わせたメールが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

3 「はい」

❖送信／未送信メールを削除する

1 [✉]▶[4]または[5]

- メールを全件削除するときは、[MENU][4][2]▶認証操作を行い操作3に進みます。

2 フォルダを選択▶メールにカーソル▶[MENU][2]▶[1]～[3]

- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

3 「はい」

メール送受信履歴

メールの履歴を利用する

送受信したメールの宛先や発信元をメールの履歴として記録しておく機能です。履歴を利用してメールを作成したり、電話帳に登録したりできます。

- 送信履歴と受信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 2in1利用時は、受信履歴はAアドレス／Aナンバー最大30件、Bアドレス／Bナンバー最大30件の合計60件まで記録されます。Aモード時はAアドレス／Aナンバーの履歴のみ、Bモード時はBアドレス／Bナンバーの履歴のみ表示されます。デュアルモード時はすべての送受信履歴が表示されます。
- 同じ宛先にメールを送信した場合は、メール送信履歴には最新の1件のみが記録されます。
- 返信不可のｉモードメールやSMSの受信履歴は記録されません。

◆ メール送受信履歴を表示する

〈例〉メール送信履歴を表示する

1 [◎]▶[📷]

- 表示する相手を選択すると詳細画面が表示されます。

メール送信履歴一覧

メール送信履歴詳細

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：ｉモードメール送受信履歴
  - ：SMS送受信履歴
  - ：BアドレスまたはBナンバーの受信履歴（2in1がデュアルモード時）
  - ：海外滞在時（GMT+09：00を除く）の送信履歴※
  - ※ 送信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

メール受信履歴を表示する：[◎]▶[📷]

❖メール送受信履歴を利用する

ｉモードメールを作成する：履歴にカーソル▶[✉]
- SMS履歴の場合は、電話帳に電話番号とともにメールアドレスを登録しているとメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が、登録していないと電話番号を宛先にしたメール作成画面が表示されます。

SMSを作成する：履歴にカーソル▶[✉]（1秒以上）
- ｉモードメール履歴の場合は、電話帳にメールアドレスとともに電話番号を登録していないとSMSは作成できません。

電話帳に登録する：履歴にカーソル▶[MENU]▶[4]または[5]▶[1]または[2]
電話帳登録→P82
- 更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

電話をかける：[発信]または[iα]
- ｉモードメール履歴の場合は、電話帳にメールアドレスとともに電話番号を登録していないと、電話をかけられません。

プッシュトーク発信する：[P]
- ｉモードメール履歴の場合は、電話帳にメールアドレスとともに電話番号を登録していないと、プッシュトーク発信できません（メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合を除く）。

リダイヤル／着信履歴を表示する：[📷]

❖メール送受信履歴詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

1 メール送受信履歴詳細画面で[MENU][9]▶[1]～[3]

◆メール送受信履歴を削除する

1 メール送受信履歴一覧を表示する

2 メール送受信履歴にカーソル▶[MENU][6]▶[1]～[3]▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたメール送受信履歴が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

メールの便利な機能

◆本文などをコピーする

メール中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 [✉]▶[1]または[5]▶フォルダを選択▶メールを選択▶[MENU][2]
- 選択項目コピーをする場合は、コピーする項目にカーソルを合わせて[MENU][2]を押します。

2 コピー方法を選択

本文コピー：本文中の指定した範囲の文字をコピーします。
コピー方法→P354「文字をコピー／切り取りする」操作2以降
題名コピー：題名をコピーします。
選択項目コピー：項目（メールアドレス、電話番号など）を選択してコピーします。
貼り付け方法→P355

✔お知らせ
- メールテンプレート詳細画面やFOMAカードのSMS詳細画面からの操作：[MENU]→「コピー」または「移動／コピー」
- FOMAカードのSMSの場合は、本文、宛先、発信元をコピーできます。
- デコメール®の場合は、装飾はコピーされず、テキストのみコピーされます。
- デコメアニメ®の場合は、本文をコピーできません。
- Date To形式の本文は、いったんテキストメモに貼り付けるとスケジュール登録できます。

◆ メールから電話をかける〈電話発信〉

受信メールの発信元や送信／未送信メールの宛先のメールアドレスを電話番号とともに電話帳に登録してあれば、電話をかけられます（SMSやメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、登録なしで電話をかけられます）。

1 [メール]▶[1]または[4]～[5]▶フォルダを選択▶メールにカーソル▶[MENU][6]

- 宛先が複数ある場合は、電話をかける相手のメールアドレスを選択します。
- 受信／送信メール詳細画面から操作する場合は発信元や宛先、電話番号にカーソルを合わせて[MENU][7]を押します。

2 発信条件を設定▶[MENU]

条件を設定して電話をかける→P64

◆ 電話番号やメールアドレス、URLを登録する

メール中のカーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URLを電話帳に登録できます。URLはブックマークにも登録できます。

〈例〉電話番号を登録する

1 [メール]▶[1]または[5]▶フォルダを選択▶メールを選択

2 電話番号にカーソル▶[MENU][4]▶[1]または[2]▶[1]または[2]

電話帳登録→P82

- 更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

URLを電話帳に登録する：URLにカーソル▶[MENU][4]▶[1]または[2]

URLをブックマークに登録する：URLにカーソル▶[MENU][4][3]▶登録先フォルダを選択

以降の操作→P175「ブックマークに登録する」操作2

✔お知らせ

- メッセージR/F詳細画面からの操作：[MENU][3]→[1]～[3]
- FOMAカードのSMS詳細画面からも同様に操作できます。
- microSDカードのメール詳細画面からの操作：[MENU][4]
- デコメール®からは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

FOMA端末のメール機能を設定する

◆ メールを自動的に振り分ける〈メール振り分け設定〉

振り分け条件を設定し、受信または送信したメールを自動的にフォルダに振り分けます。

- 受信／送信メールの振り分け条件は、それぞれ30件登録できます。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに振り分けることもできますが、メール連動型ｉアプリの振り分け条件が優先されます。
- 送受信済みのメールは振り分けられません。

❖自動的に振り分けるかどうかを設定する〈自動振り分け設定〉

1 [メール][0][2]▶[1]▶各項目を設定▶[カメラ]

❖振り分け条件を設定する

1 [メール][0][2]▶[2]または[3]

登録済みの振り分け条件（優先順位順）

- マークの意味は次のとおりです。
  [To]：メールアドレス（送信振り分け設定）
  [From]：メールアドレス（受信振り分け設定）
  [Sub]：題名　[No.]：電話帳（メモリ番号）　[グループ]：電話帳（グループ）
  [?]：電話帳登録なし　[条件なし]：条件なし

2 [📷]▶振り分け条件を設定

メールアドレスを指定する：[1]▶[1]〜[4]

指定したメールアドレスのメールを振り分けます。@以降の文字も含めたメールアドレス全体を指定します。半角50文字を超えるアドレスは指定できません。

- [1]〜[3]では選択操作が、[4]ではメールアドレスを入力▶[📷]が必要です。
- FOMA端末とFOMAカードの電話帳に同じメールアドレスを登録して指定した場合は、FOMA端末電話帳のメールアドレスとして振り分けられます。
- 指定するメールアドレスがｉモード端末の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を省略して指定しても振り分けられます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を除いた携帯電話番号のみを登録してください。
- 電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。

題名を指定する：[2]▶題名を入力（全角100（半角200）文字以内）▶[📷]

指定した文字を含む題名のメールを振り分けます。

- SMSは題名では振り分けられません。

電話帳（メモリ番号）を指定する：[3]▶メモリ番号を入力▶[📷]▶[●]

指定したFOMA端末電話帳のメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

電話帳（グループ）を指定する：[4]▶[1]または[2]▶グループを選択

指定した電話帳のグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

電話帳登録なしを指定する：[5]

電話帳に登録していないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

条件なしを指定する：[6]

条件を設定せずにすべてのメールを操作3で指定するフォルダに振り分けます。

3 振り分け先フォルダを選択

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、メールがｉアプリで利用されることを示す画面が表示されます。

4 優先順位を選択

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合は、「最後に追加する」を選択します。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。
- 登録済みの条件を変更したときは「最後に追加する」は、「最後に移動する」と表示されます。

✔お知らせ

- 複数の条件を設定すると、優先順位の高い条件から順に判定され、先に条件に合ったフォルダに保存されます。すべての条件に合わなかったメールは、「受信BOX」または「送信BOX」フォルダに保存されます。

❖送受信したメールから振り分け条件を設定する

1 [✉]▶[1]または[5]▶フォルダを選択▶メールにカーソル▶[MENU][8][4]▶[1]または[2]▶登録内容を確認▶[📷]

以降の操作→P156「振り分け条件を設定する」操作3以降

- 自動振り分け設定が「OFF」のときは、「ON」にするかの確認画面が表示されます。

❖振り分け条件を確認・変更・削除する

〈例〉確認する

1 [✉][0][2]▶[2]または[3]

2 振り分け条件を選択

振り分け条件を変更する：

① 振り分け条件にカーソル▶[MENU][2]▶振り分け条件を設定

振り分け条件の設定の操作→P156「振り分け条件を設定する」操作2〜4

②「はい」

優先順位を変更する：振り分け条件にカーソル▶[MENU][5]▶移動する位置を選択

- 一覧の最後に移動するときは、「最後に移動する」を選択します。

削除する：振り分け条件にカーソル▶[MENU]▶[3]または[4]▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた条件が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

◆ 署名を設定する

❖署名を自動挿入するかどうかを設定する

新規、返信、転送メール作成時に署名を自動挿入するかを設定します。

1 [✉][0][3][1]▶[1]または[2]

❖署名を登録する

1 [✉][0][3][2]▶[●]▶署名を入力（全角4999（半角9998）文字以内）▶[📷]

✔お知らせ

- 既にメール本文に装飾や文字などが入力されている場合や、受信メールを引用して返信、転送する場合は、署名に設定した背景色は反映されません。
- 署名もメール本文の文字数（バイト数）に含まれます。
- デコメアニメ®に署名は挿入できません。
- 次の場合は、SMSに署名を挿入できません。
  - SMS設定で送信文字種が「英語」で、本文に挿入できない文字が含まれている署名の場合
  - 装飾（デコレーション）した署名の場合
  - 署名を挿入すると本文の文字数が70文字を超える場合

◆ｉモード問合せを設定する

1 [✉][0][7]▶問合せ項目を選択▶[📷]

- いずれかを選択しないと登録できません。

◆メールを選択受信できるように設定する〈メール選択受信設定〉

1 [✉][0][6][2]▶[1]または[2]

- 「ON」にすると、メールを自動的に受信できないことを示す画面が表示されます。

◆メールグループを登録する

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメールを簡単な操作で複数の宛先に送信できます。

- メールグループは最大20件登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 [✉][0][5]

2 [📷]

メールを作成する：メールグループにカーソル▶[✉]
メールグループ名を編集する：メールグループにカーソル▶[MENU][2]
メールグループをコピーする：メールグループにカーソル▶[MENU][3]
メールグループを削除する：メールグループにカーソル▶[MENU][4]▶[1]または[2]▶「はい」

- 全件削除では認証操作が必要です。

メールグループ内の登録済みのメールアドレスを操作する：メールグループを選択▶操作5に進む

3 メールグループ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶[📷]

- 続けて別のメールグループを登録する場合は、[📷]を押します。

4 メールアドレスを登録するメールグループを選択

5 [✉]▶各項目を設定

宛先種別：「TO」「CC」「BCC」を設定します。
アドレス：半角50文字以内で入力します。

- メール送受信履歴、電話帳から入力するときは[MENU]を押して[1]～[3]を押し、宛先を選択します。

登録済みのメールアドレスを編集する：メールアドレス（または名前）にカーソル▶[MENU][1]▶編集
登録済みのメールアドレスを1件削除する：メールアドレス（または名前）にカーソル▶[MENU][2]▶「はい」▶操作7に進む
登録済みのメールアドレスの詳細を表示する：[MENU][3]▶確認が終わったら[●]

6 [📷]

- 他のメールアドレスを追加する場合は、操作5から繰り返します。

7 [📷]

◆ 返信時の引用方法を設定する〈メール返信引用設定〉

ｉモードメールやSMSに返信する際に、受信メールの本文を引用するかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

1 [✉][0][4][1]▶各項目を設定▶[📷]

引用：メール返信時に本文を引用するかを設定します。
引用文字：全角1（半角2）文字以内で入力します。
- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

◆ クイック返信を設定する

ｉモードメールに返信する際にクイック返信を使用するかを設定します。

1 [✉][0][4][2]▶[1]または[2]

◆ クイック返信の本文を登録する

- 最大5件登録できます。

1 [✉][0][4][3]

2 本文を選択▶本文を入力（全角20（半角40）文字以内）▶[📷]▶「はい」

本文を参照する：本文にカーソル▶[📷]
本文を削除する：本文にカーソル▶[MENU][1]▶「はい」
本文を全件リセットする：[MENU][2]▶認証操作▶「はい」
新たに本文を登録する：「〈新しい返信本文〉」▶本文を入力▶[📷]

◆ メール一覧の表示形式を設定する

受信／送信メールのメール一覧の表示形式を設定します。

1 [✉][0][6][5]▶各項目を設定▶[📷]

表示スタイル：表示するスタイルを設定します。
本文お試し表示：メール一覧の下に本文を表示させるかを設定します。
自動既読設定：受信メール一覧の下にメール本文がすべて表示されたときに、既読にするかを設定します。

✔お知らせ

- 未送信メール一覧、FOMAカードのSMS一覧の表示形式は、本設定に関わらず2行表示で、本文お試し表示は表示されません。
- メール検索結果画面の表示形式は、本設定に関わらず本文お試し表示は表示されません。
- 自動既読設定を「ON」に設定して、表示種別で「未読のみ表示」を選択して、受信メール一覧を表示した場合は、受信メール一覧の下にメール本文がすべて表示されても既読になりません。

◆ ビューアスタイルのメールの表示形式を設定する〈ビューアスタイルメール表示設定〉

ビューアスタイルでの受信メールのフォルダやメール一覧の表示方法を設定します。

1 [✉][0][6][7]▶[1]または[2]

◆ 添付ファイルの受信方法を設定する〈メール受信添付ファイル設定〉

ｉモードメールに添付されたファイルを同時に受信するかを、ファイルの種類ごとにあらかじめ設定します。

- 自動受信しないように設定したファイルは、選択受信添付ファイルとして受信します。→P145
- 本文中に貼付された画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。

1 [✉][0][6][3]▶受信するファイルの項目を選択▶[📷]

- 「ツールデータ」とは、電話帳、ブックマーク、スケジュールです。
- 「その他」とは、WordやExcel、PowerPoint、その他のファイルです。

◆ メロディや効果音の再生方法を設定する〈添付ファイル自動再生設定〉

ｉモードメールやメッセージR/Fを表示した際、添付または本文中に貼付されたメロディやFlash画像の効果音を自動的に再生するかを設定します。

1 [メール][0][6][4]▶[1]または[2]

✔**お知らせ**

- 「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信／送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、音量設定のメロディ音量でメロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番に再生されます。停止するときは[●]を押します。
- 「自動再生する」に設定した場合、効果音がついたデコメアニメ®を表示すると、音量設定のメロディ音量で再生されます。停止するときは[iα]を押します。そのメールにメロディが添付されていた場合は、メロディのみ再生されます。
  効果音付きのデコメアニメ®作成時のプレビュー画面や送受信したデコメアニメ®のリトライ画面、デコメアニメ®テンプレート詳細画面を表示すると、本設定に関わらず効果音が再生されます。
- 「自動再生する」に設定してもメッセージR/Fが自動表示されたときは、メロディは自動再生されません。

◆ 種別ごとにメールを表示する〈表示種別〉

受信／送信メール一覧で指定した種別のメールだけを一時的に表示します。表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。

- 未送信メール、FOMAカードのSMSの表示種別は選択できません。

1 [メール]▶[1]または[5]▶フォルダを選択▶[MENU][7][2]▶[1]〜[4]

- 送信メールの場合は「すべて表示」「保護のみ表示」のみ選択できます。
- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

◆ 文字サイズを変更する

メールを表示するときの文字サイズを5種類から変更します。

- デコメ®絵文字（絵文字D）の文字サイズは変更されません。

1 [メール]▶[1]または[5]▶フォルダを選択▶メールを選択▶[MENU][3][1]▶[1]〜[5]

✔**お知らせ**

- メールテンプレート詳細画面やFOMAカードのSMS詳細画面からの操作：[MENU]→「表示」→「文字サイズ」
- microSDカードの受信／送信／未送信メールの詳細画面からの操作：[MENU][3]
- 文字サイズの変更は、次に設定を変更するまで保持されます。
- 本設定は文字サイズ設定のメール閲覧にも反映されます。
- メール作成時や編集時の文字サイズは文字サイズ設定で変更できます。→P107

◆ 操作中のメール受信通知を設定する〈受信・自動送信表示設定〉

FOMA端末の操作中にｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したときの受信中画面および受信結果画面や圏内自動送信中の画面を優先的に表示するかを設定します。

1 [メール][0][6][1]▶[1]〜[3]

操作優先：受信中画面および受信結果画面、送信中画面を表示しません。
通知優先：受信中画面および受信結果画面、送信中画面を表示します。
開：操作/閉：通知 優先：FOMA端末を開いているときは操作優先、閉じているときは通知優先になります。

✔**お知らせ**

- 「操作優先」に設定しても、メニュー表示中は「通知優先」で動作します。
- 「通知優先」に設定しても、音声電話中やカメラ起動中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、ｉアプリ動作中、アラーム鳴動中、エリアメール受信中などでは、「操作優先」で動作します。

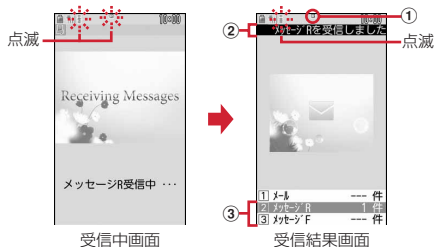
メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信したときは

1 メッセージR/Fを受信

と(青)または(緑)が点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。
メッセージR/F着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したメッセージRは「メッセージR」フォルダ、メッセージFは「メッセージF」フォルダに保存されます。

- ：受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① **マーク**
　(青)：未読のメッセージRあり　(緑)：未読のメッセージFあり
② **受信結果テロップ**
③ **受信したメッセージR/Fの件数**

- 受信結果画面が表示されてから未読メッセージR/Fの内容が表示され約15秒間何も操作しないと、受信前の画面に戻ります。

受信に失敗したとき
受信結果画面の「メッセージR」「メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- メッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないときやｉモード圏外のとき
  - テレビ電話中やプッシュトーク通信中
  - お預かりセンター接続中
  - おまかせロック中やセルフモード中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信／iC通信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない未読以外の古いメッセージR/Fから順に上書きされます。
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には(赤)や(赤)が表示されます。受信する場合は、未読メッセージR/Fの内容表示、不要メッセージR/Fの削除、保護解除などを行う必要があります。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときはやが表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークがやに変わります。

◆ 新着メッセージR/Fを表示する

1 受信結果画面で 2 または 3

- 1 を押すとｉモードメールが表示されます。

2 メッセージR/Fを選択

メロディが添付されている場合の再生について→P159
メッセージR/Fの見かた→P161

◆ メッセージR/Fを自動的に表示する〈メッセージ自動表示設定〉

受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、内容を表示（約15秒間）するかを設定します。

1 ✉ 0 6 6 ▶ 1 ～ 5

✔お知らせ

- 自動表示中にキー操作をしなかった場合は、未読の状態で保存されます。
- 自動表示するように設定した場合は、待受画面表示中、メニュー表示中にメッセージR/Fを自動受信すると、自動表示されます。音声電話中（マルチアクセス／マルチタスク利用時を除く）は通話終了後に自動表示されます。
- ビューアスタイルでは本設定に関わらず、表示されません。

メッセージR／メッセージF

保存されているメッセージR/Fを表示する

1 ✉ 1 ▶「メッセージR」または「メッセージF」

2 表示するメッセージR/Fを選択

削除する：メッセージR/Fにカーソル▶ MENU 1 ▶ 1 ～ 4 ▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたメッセージR/Fが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶ 📷 が、全件削除では認証操作が必要です。

保護／解除する：メッセージR/Fにカーソル▶ MENU 2 ▶ 1 ～ 5

メッセージR/Fが保護／解除され、状態マークが🔒または✉に変わります。

- 選択保護／解除では選択操作▶ 📷 が必要です。

種別ごとに表示する〈表示種別〉： MENU 3 ▶ 1 ～ 4

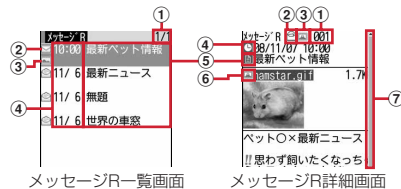
- 「既読のみ表示」を選択すると、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

並び替える〈ソート〉： MENU 4 ▶ 1 ～ 3

- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。

文字サイズを変更する：メッセージR/Fを選択▶ MENU 6 ▶ 1 ～ 5

◆ メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージR一覧画面　　メッセージR詳細画面

① ページ番号／総ページ数（一覧画面）、メッセージR/F番号（詳細画面）

② 状態マーク

一覧画面

✉：未読　✉：既読　🔒：保護

詳細画面

✉：既読　🔒：保護

③ 添付ファイルの種類

一覧画面

🖼：画像　♪：メロディ　◆：トルカ　📎：複数添付ファイルあり

詳細画面

🖼：画像　♪：メロディ　◆：トルカ　📎：複数添付ファイルあり

④ 受信日時

- 一覧画面の場合は、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付で表示されます。

⑤ タイトル

⑥ 添付ファイルの種類（詳細）

🖼：画像　🖼：画像（メール添付やFOMA端末外への出力不可）

☒：画像（データ異常）　♪：メロディ

♪：メロディ（メール添付やFOMA端末外への出力不可）

♪：メロディ（データ異常）　◆：トルカ　◆：トルカ（データ異常）

⑦ スクロールバー

- すべての行が表示されていないときに◎を1秒以上押すと、全体に対する現在の位置が一時的に表示されます。メッセージR/F詳細画面で MENU 7 を押すと、表示／非表示の切り替えができます。

◆ 添付ファイルを表示・保存する

〈例〉保存する

1 メッセージR/F一覧を表示

マークの意味→P161「メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた」

2 ファイルが添付されているメッセージR/Fを選択

3 ファイル名にカーソル▶MENU 5 2

画像の場合の以降の操作→P178「画像をダウンロードする」操作2以降
メロディの場合の以降の操作→P179「データをダウンロードする」操作2

- トルカの場合は、保存先の選択画面が表示されます。1を押すとトルカの「トルカフォルダ」に保存され、2を押すとmicroSDカードの「トルカ」フォルダに保存されます。ただし、トルカによっては、どちらか一方の保存先しか選択できない場合があります。
- 1Kバイトを超えるトルカはmicroSDカードにのみ保存できます。

表示・再生する：ファイル名を選択

- 画像の場合は、画像の表示／非表示が切り替わります。
- 1Kバイトを超えるトルカは表示できません。

タイトルを表示する：ファイルにカーソル▶MENU 5 3

- 画像の添付ファイルは操作できません。

✔お知らせ

- 本文中の画像または背景画像の保存：MENU 4→1または2→保存する画像を選択
- トルカによっては、一度しか保存できない場合があります。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。
- 次のような場合は、受信できません。
  - 電源が入っていない場合や圏外の場合
  - 音声電話中やテレビ電話中
  - おまかせロック中やセルフモード中
  - お預かりセンター接続中
  - 赤外線通信／iC通信／microSDカード使用中などのデータ転送モード中
  - 国際ローミング中
  - ソフトウェア更新中
- 次のような場合は、受信できないことがあります。
  - プッシュトーク通信中
  - ｉモード通信中
  - パソコンとつないだパケット通信中、64Kデータ通信中
  - パターンデータ更新中
- 次のような場合は、受信しても受信完了画面または内容表示画面は表示されません。
  - プッシュトーク通信中
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - ストリーミングタイプのｉモーション再生中
  - カメラ起動中
  - ｉアプリ動作中
  - アラーム鳴動中

エリアメール受信

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

◆緊急地震速報のエリアメールを受信したときは

が点灯し、ランプが赤色で点滅し、専用のブザー警報音が鳴り、バイブレータが振動し、内容表示画面が表示されます。

- 内容表示画面は、●、CLR、のいずれかを押すと消去されます。
- ブザー警報音の音量はメール・メッセージ着信音量の「Level 6」です。変更はできません。
- バイブレータの動作パターンは、「メロディ連動」で振動します。
- マナーモード中は、マナーモード、オリジナルマナーモードの設定に従い動作します。ただし、オリジナルマナーモードのバイブレータが「OFF」の場合でも、バイブレータは「メロディ連動」で振動します。また、オリジナルマナーモードの音設定の項目が1つでも「消音」以外に設定されていると、専用のブザー警報音が鳴ります。

◆緊急地震速報以外のエリアメールを受信したときは

が点灯し、ランプが赤色で点滅し、専用のエリアメール着信音が鳴り、受信完了画面または内容表示画面が表示されます。

- エリアメール受信時に受信完了画面または内容表示画面のどちらが表示されるかは配信元の設定によります。
- 内容表示画面は●、CLR、のいずれかを押すと、受信完了画面は任意のキーを押すか約15秒間何も操作しないと消去されます。
- エリアメール着信音の音量は音量設定のメール・メッセージ着信音量に従います。
- エリアメール着信音の鳴動時間は音設定のメール・メッセージ着信音のメール着信音の鳴動時間に従います。
- マナーモード中は、マナーモード、オリジナルマナーモードの設定に従い動作します。ただし、バイブレータのパターンは「メロディ連動」で振動します。

✔お知らせ

- エリアメールは受信メールのフォルダに保存されます。受信メール全体の空き容量に関わらず、エリアメールの最大保存件数を超過すると保護以外の古いエリアメールから上書きされます。

エリアメール設定

緊急速報「エリアメール」の設定を行う

◆エリアメールを利用するかどうかを設定する〈受信設定〉

1 ✉821▶「ご注意」を確認▶利用しますか？欄を選択▶1または2▶📷

◆利用するエリアメールを登録／削除する〈受信登録〉

- 最大20件登録できます。
- 緊急情報（緊急地震速報、災害・避難情報）のみを受信する時は、受信登録の必要はありません。

〈例〉登録する

1 ✉822

2 📷▶認証操作▶各項目を設定▶📷

エリアメール名：任意の名称を全角15（半角30）文字以内で入力します。

Message ID：サービス提供者から付与される4桁のIDを入力します。

編集する：エリアメールを選択▶認証操作▶各項目を設定▶📷

削除する：エリアメール名にカーソル▶MENU2▶認証操作

- お買い上げ時に登録されている「緊急情報」は、編集や削除はできません。

◆ブザー鳴動時間を設定する

1 ✉823▶時間を入力（1～30秒）▶📷

SMSを作成して送信する

携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信します。

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 受信／送信／未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた→P149

〈例〉宛先を直接入力して作成・送信する

1 [✉][8][1][1]▶宛先欄を選択

2 「直接入力」▶宛先を入力（半角数字20文字以内）

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「＋」を含めた21文字まで入力して送信できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「＋」（[0]を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「＋」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

メール送受信履歴から入力する：「メール送信履歴」または「メール受信履歴」▶履歴を選択

電話帳から入力する：「電話帳参照」▶電話帳検索▶電話帳を選択

3 本文欄を選択▶本文を入力

- SMS設定で設定した送信文字種により入力できる文字数が異なります。

署名を挿入する：[MENU][4][6]

4 [📷]

- 送信せずに保存する場合は、[MENU][2]を押すと「未送信BOX」フォルダに保存され、待受ショートカットの貼り付け確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 送信が正常に終了すると、SMSが送信メールのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから上書きされます。
- 電波状況や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 本文入力中の改行は、相手の端末によっては空白に置き換わります。
- 送信文字種が日本語の場合は、半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。絵文字を使うと💔は❤に、☎以外の絵文字は空白に置き換わって表示されます。
- 送信文字種が英語の場合は、記号（｜＾{ } [ ] ~ ￥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。また、記号（`）は入力できますが、送信すると受信側で空白に置き換わって表示されます。
- 送信に失敗したときは「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信メールのフォルダに保存されます。
- 発信者番号通知設定が「通知しない」の場合でも、SMS送信時は送信相手に発信者番号が通知されます。
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できません。未送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。
- 2in1利用時は、BナンバーではSMSは送信できません。

❖送信・保存したSMSを編集・送信する

送信したSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集、送信できます。→P142

SMS受信

SMSを受信したときは

1 SMSを受信

が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したSMSは受信メールのフォルダに保存されます。

- SMS受信中に［］：受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① マーク
　：未読SMSあり　：未読ｉモードメールとSMSあり
② 受信結果テロップ
③ 受信したSMSの件数

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。

受信したSMSをすぐに読む：受信結果画面で［1］▶フォルダを選択▶SMSを選択

- 受信したSMSに返信したり、転送したりできます。→P144

受信に失敗したとき

受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、SMS問合せを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読または保護以外の古い受信メールから上書きされます。
- ｉモードメール、メッセージR/F、エリアメール受信中はSMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。
- ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、発信元のアドレスに自動的に「+」が付きます。電話帳に「+」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。
- スキャン機能設定のメッセージスキャンが「有効」のときに、電話番号やURLが記載されているSMSを受信し、表示しようとすると、注意を示す画面が表示されます。
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面にはやが表示されます。受信する場合は、未読メールの内容表示、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
- FOMAカードへの保存を指定されているSMSを受信すると、直接FOMAカードに保存されます。ただし、FOMAカードに保存されているSMSが20件に達している場合は、SMSを受信できません。不要なSMSを削除してから、SMS問合せを行ってください。

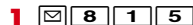
SMS問合せ

SMSがあるかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、SMSが届いていないかを問い合わせます。

- 受信するまでに時間がかかる場合や電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

1

SMS設定

SMSの設定を行う

SMS Center、アドレス、Type of Numberの設定は、通常変更する必要はありません。

1 ✉ 8 1 4 ▶各項目を設定▶📷

送信文字種：送信するメッセージの文字種を選択します。「日本語」に設定すると、70文字以内で入力できます。「英語」に設定すると、半角英数字160文字以内で入力できます（｀。「」、・゛゜を除く）。

送達通知：送信するSMSの送達通知の配信を要求するかを設定します。

有効期間：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

- 「0日」を設定すると一定時間再送が行われた後、SMSセンターから削除されます。

SMS Center：ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。

- 「その他」に設定したときは、アドレス欄に半角20文字以内でメールアドレスを入力します。

Type of Number：「International」「Unknown」から選択します。

- SMS Center欄で「その他」を選択し、かつアドレス欄に番号を設定した場合は、Type of Numberを「Unknown」に設定する必要があります。

✔お知らせ

- SMS作成画面からの操作：MENU 3
  この場合、送達通知、有効期間のみ設定でき、作成中のSMSにだけ有効です。
- 送信文字種、有効期間、SMS Center、Type of Numberの設定は、FOMAカードに保存されます。

FOMAカード保存SMS

SMSをFOMAカードに保存する

◆ SMSをFOMAカードに移動／コピーする

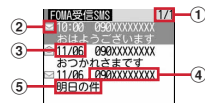
- 未送信SMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送信SMSを移動またはコピーする場合は、対応する送達通知があると同時に移動またはコピーされます。
- 保護したSMSをFOMAカードに移動／コピーすると、移動／コピー先で保護は解除されます。

1 ✉▶ 1 または 5 ▶フォルダを選択

2 SMSにカーソル▶MENU 4 ▶ 2 または 3 ▶ 1 または 2 ▶「はい」

- 選択移動、選択コピーでは選択操作▶📷が必要です。

◆ FOMAカードのSMSを表示する

1 ✉ 8 1 ▶ 2 または 3

① **ページ番号／総ページ数**

② **状態マーク**

: 未読（返信可）　: 未読（返信不可）　: 既読（返信可）
: 既読（返信不可）　: 送達通知、着信通知
: SMS違反

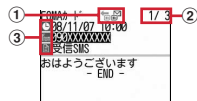
③ **送受信日時**

当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
送信SMSの場合は、送達通知のある送信SMSを除き、送信日時のデータが消去されます。

④ **発信元／宛先**

電話帳に登録しているときは名前が表示されます。

⑤ **本文の先頭**
送達通知は「SMS送達通知」、着信通知は「留守番　着信通知」と表示されます。
- 一覧の既読、未読のマークは、FOMAカードのSMSを表示したかを示します。移動またはコピー前の既読、未読の状態も引き継がれます。
- 海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「＋」が表示されます。
- データ異常のSMSにはや が表示されます。が表示されたSMSは、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）になり、発信元や本文の先頭は表示されません。が表示されたSMSは、詳細表示が不可能なSMSです。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したSMSには、受信日時の後ろにが表示される場合があります。

2 表示するSMSを選択

① **マーク**
：受信（返信可）　：受信（返信不可）　：送信
：送達通知、着信通知　：FOMAカードのSMS
② **メール番号／件数**
③ **マーク**
：日時　：宛先　：発信元　：発信元（返信不可）
：題名「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」「留守番　着信通知」
- 送信SMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカードの送信SMSから送信日時のデータが消去されます。ただし、送達通知のある送信SMSの場合は、送信日時が表示されます。
- データ異常のSMSにはの代わりにが表示され、以外は表示されません。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したSMSには、受信日時の後ろにが表示される場合があります。

FOMAカードのSMSをFOMA端末に移動／コピーする：
① **SMSにカーソル▶MENU 3 ▶ 1 ～ 4**
  - 選択移動、選択コピーでは選択操作▶📷が必要です。

② **● ▶移動先のフォルダを選択▶「はい」**
  - 送達通知のある送信SMSを移動またはコピーすると、対応する送達通知が同時に受信メールのフォルダに移動またはコピーされます。

FOMAカードのSMSを削除する：SMSにカーソル▶MENU 2 ▶ 1 ～ 4 ▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたSMSが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除と送達通知の全件削除では認証操作が必要です。
- 送信SMSを削除した場合、対応するFOMAカードの送達通知も同時に削除されます。

✔お知らせ
- FOMAカードのSMSからも、返信や転送、再送信、文字サイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は受信／送信SMSと同じです。
- FOMAカードのSMSから返信や転送、再送信などを行った場合の送信SMSは、FOMA端末の送信メールのフォルダに保存されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、移動またはコピーできません。保護されていないｉモードメールやSMSがあっても上書きされません。受信／送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル／ｉコンシェル

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスを利用できます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉモードのご利用にあたって

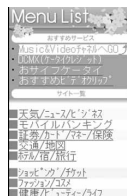
- サイト（番組）やインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。

サイトを表示する

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

1 iα 1

- 接続中画面で● ：接続を中止
- ページ読み込み中に📷 ：ページの読み込みを中止
- 1、2などの番号付きの項目は、項目に対応するダイヤルキーを押して選択できる場合があります（ダイレクトキー機能）。

2 「メニューリスト」

スクロールバー
・ページ読み込み完了時や、ページ表示中にすべての行が表示されていないときにスクロールすると、全体に対する現在の位置が一時的に表示されます。

- スクロールバーを表示するかを設定できます。→P172

3 表示する項目を選択

以降同様にして目的のページを表示します。

4 サイトを見終わったら ▶「はい」

✔お知らせ
- サイト表示中にｉMenuに戻る：MENU 1
- サイトから、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を要求されたときは、送信の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信される携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかを判定したりするために使われます。
  送信するお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得される可能性があります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報を要求されたときは、楽曲情報送信の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。
- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
  ：表示・効果設定で画像表示設定が「表示しない」の場合
  ：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  ：画像のURLの誤りなどで表示できないとき

◆SSLページに接続する

SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。
- 日付・時刻が設定されていない場合、SSLページによっては接続できないことがあります。
- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要な場合があります。→P183
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、FOMAカードに保存する必要があります。

1 SSL通信の開始を示す画面が表示

ディスプレイ上部にSSLが表示されます。

SSLページ表示中に証明書を表示する：MENU 9 2
- SSLページから通常ページに進む場合は、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると通常ページが表示され、ディスプレイ上部のSSLが消えます。

❖FirstPass対応ページに接続する

1 送信するユーザ証明書を選択▶PIN2コードを入力

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。
- 60秒以内に正しいPIN2コードを入力しないとSSL通信は切断されます。

✔お知らせ
- SSLページに接続したときに、証明書の選択画面が表示される場合があります。そのときは、送信する証明書を選択します。
- FirstPass対応ページに接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルの対象となりますが、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、対象外となります。

◆以前表示したページに再接続する〈ラストURL〉

以前表示したサイトやホームページのURLはFOMA端末に記録されています。ラストURLを利用すると以前表示したページに簡単に再接続できます。
- ラストURLはｉモードとフルブラウザでそれぞれ最大10件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 iα 4

2 URLを選択

削除する：URLにカーソル▶MENU 4▶1～3▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたURLが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ
- サイトやホームページ表示中からの操作：MENU 4 4
- URLによっては表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

サイトの見かたと操作

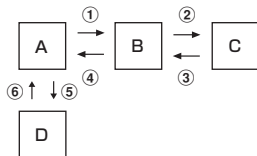
サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

◆ サイト表示中の操作

リンク先や項目を選択する：サイトによって次の操作ができます。

ボタン
ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、取り消したりできます。ボタンの名称はサイトによって異なります。

- プルダウンメニューによっては選択画面で[決定キー]を押して項目を選択する操作を繰り返すと、複数の項目が選択できます。選択後に[カメラキー]を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。
- 文字入力欄、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューのそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモなどには反映されません。

ページを戻す／進める：[左右キー]
ページの表示履歴を一時的に記録する端末内の場所のことを「キャッシュ」といい、最大20件記録しています。[左右キー]で通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。
- 端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは通信を行います。
- FirstPassセンター接続中（→P184）は本機能を利用できません。
- ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが（⑥）、さらにページBには戻れません（①）。

- 入力した文字や設定などの情報はキャッシュに記録されません。
- ｉモードを終了すると表示履歴はすべて消去されます。
- Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なる場合があります。
- キャッシュに記録されたページがフルブラウザの場合は、ページを表示する際、フルブラウザへの切替確認画面が表示されます。

画面を上下スクロールする：[上下キー]
- ガイド行に▲や▼が表示されているときに操作できます。
- [iαキー]、[メールキー]を押すと画面単位でスクロールします。
- [上下キー]または[iαキー]、[メールキー]を押し続けると連続スクロールします。

ページの情報を再読み込みする：[MENU][5]

表示中のサイトのURLを表示する：[MENU][9][1]
- ラストURL一覧、URL入力履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は[カメラキー]を押します。

スクロールバーの表示／非表示を切り替える：[MENU][9][8]
- 押すたびに、表示／非表示が切り替わります。
- 画面メモ表示画面から操作する場合は、[MENU][5][5]を押します。

◆ Flash画像の表示

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像によって、サイトの表現力がより豊かになります。

- 表示・効果設定の画像表示設定が「表示しない」の場合は、Flash画像は表示されません。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。
- ガイド表示領域に ⇕ が表示されている場合でも、Flash画像の操作ができない場合があります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても正しく動作しない場合や、再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できない場合があります。
- Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量は音量設定のメロディ音量に従います。効果音を鳴らさない場合は表示・効果設定の効果音設定を「OFF」に設定してください。なお、待受画面や着信画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。
- バイブレータ設定が「メロディ連動」の場合でもFlash画像の効果音には連動しません。また、「OFF」の場合でもFOMA端末を振動させることがありますのでご注意ください。
- 再生中に1分以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生を再開するには MENU、 、 、CLR、●、TV、 、MULTI 以外のキーを押してください。
- もう一度Flash画像を動作させるときは MENU 9 7 を押してください。
- Flash画像が画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するかは、表示・効果設定の端末情報データ利用設定で設定できます。

マイメニュー

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。

- 最大45件登録できます。登録にはｉモードパスワードが必要です。
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、マイメニューに登録できないサイトもあります。

◆ マイメニューに登録する

1 サイトを表示▶「マイメニュー登録」

- サイトによってページ構成が異なります。項目に対応するダイヤルキーを押すか、該当する項目を選択してください。

2 ｉモードパスワードの入力欄を選択▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」

- ご契約時のｉモードパスワードは「0000」に設定されています。

◆ マイメニューからサイトを表示する

1 iα 1▶「マイメニュー」▶表示するサイトを選択

iモードパスワード変更

iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録または削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込みまたは解約、メール設定を行うときはiモードパスワードが必要です。iモードパスワードはiモードご契約時には「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自の4桁のiモードパスワードに変更してください。なお、iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- iモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 iα 1 ▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「iモードパスワード変更」▶現在のパスワードの入力欄を選択▶現在のiモードパスワードを入力

2 新パスワードの入力欄を選択▶新しいiモードパスワードを入力

3 新パスワード確認の入力欄を選択▶操作2で入力したiモードパスワードを入力▶「決定」

インターネット接続

ホームページを表示する

インターネットに接続して、iモード対応のホームページにアクセスします。接続する際は、ホームページのアドレス（URL）で指定します。

1 iα 5 1

- 2回目からは前回入力して接続したURLが表示されます。

2 URLを入力（半角256文字以内）▶ 📷

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中からの操作：MENU 4 1
- ホームページ表示中にMENU 4 3を押し、「はい」を選択すると、フルブラウザで表示できます。ただし、ホームページによっては、フルブラウザに切り替えると正常に表示できない場合があります。

◆URL入力履歴を使って表示する〈URL入力履歴〉

URLを入力して接続したホームページのURLは、FOMA端末に記録されています。この履歴からホームページに接続できます。

- URL入力履歴はiモードとフルブラウザでそれぞれ最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 iα 5 2

2 ホームページのURLを選択

削除する：URLにカーソル▶MENU 4 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたURLが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶ 📷 が、全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中からの操作：MENU 4 2

◆文字を正しく表示する〈文字コード〉

サイトやホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用できるようにするために作られた文字の番号体系のことです。

1 サイトやホームページ表示中にMENU 9 6 1

- 押すたびに文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。MENU 9 6 2を押すと、「自動選択」に切り替わります。
- サイトやホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。

ブックマーク

サイトやホームページを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけですばやく表示できます。

- ブックマークに登録できるURLの文字数は、ｉモードの場合は半角256文字、フルブラウザの場合は半角512文字以内です。ただし、サイトやホームページによってはブックマークに登録できない場合があります。

◆ ブックマークに登録する

1 サイトやホームページを表示▶[MENU][2][1]▶登録先フォルダを選択

2 タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶[📷]

- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧にはURLが表示されます。

✔お知らせ

- ラストURL一覧、URL入力履歴一覧、画面メモ一覧からの操作：[MENU]→「Bookmark登録」

◆ ブックマークからサイトやホームページを表示する

1 [iα][2]▶フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  : ブックマークなし　: ブックマークあり
  : ブックマークなし（シークレット属性ON）
  : ブックマークあり（シークレット属性ON）
- ブックマークを全件削除するには、フォルダ一覧で[MENU][4]▶認証操作▶「はい」を押します。

2 ブックマークを選択

マークの意味→P176「ツータッチサイトにブックマークを登録する」操作3

タイトルを変更する：ブックマークにカーソル▶[iα]

以降の操作→P175「ブックマークに登録する」操作2

削除する：ブックマークにカーソル▶[MENU][3]▶[1]～[3]▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたブックマークが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。
- ツータッチサイト登録されているブックマークを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

並べ替える〈ソート〉：[MENU][6]▶[1]～[4]

すべてのフォルダ内のブックマークが一時的に並び替わります。

- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル名順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。

メールに添付する：ブックマークにカーソル▶[MENU][9]

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中からの操作：[MENU][2][2]

◆ フォルダを作成／削除する

- フォルダはｉモードとフルブラウザでそれぞれ最大20個作成できます。
- お買い上げ時に登録されている「Bookmark」フォルダは削除できません。また、フォルダ設定を変更できません。

〈例〉作成する

1 [iα][2]

2 [MENU][1]

フォルダ設定を変更する：フォルダにカーソル▶[MENU][3]
並び順を変更する：フォルダにカーソル▶[MENU]▶[7]または[8]
削除する：フォルダにカーソル▶[MENU][2]▶認証操作▶「はい」

3 各項目を設定▶[📷]

フォルダ名：全角8（半角16）文字以内で入力します。
シークレット属性：プライバシーモード中（Bookmarkが「指定フォルダを非表示」のとき）にフォルダを表示させるかを設定します。

✔お知らせ

- ツータッチサイト登録したブックマークがあるフォルダのシークレット属性を「ON」にすると、ツータッチサイト解除の確認画面が表示されます。

◆ 少ないキー操作でサイトやホームページに接続する〈ツータッチサイト〉

ブックマークをツータッチサイト登録すると、待受画面からサイトやホームページをすばやく表示できます。

❖ツータッチサイトにブックマークを登録する

- 1つのダイヤルキーにつき1件、ｉモードとフルブラウザを合わせて10件登録できます。
- シークレット属性が「ON」のフォルダ内のブックマークは登録できません。

1 [iα][2] ▶フォルダを選択

2 ブックマークにカーソル▶[✉]

解除する：ブックマークにカーソル▶[MENU][2]

3 登録先を選択

マークの番号（①～⑨）は、ツータッチサイト表示に使用するダイヤルキー（[0]～[9]）に対応しています。

- ブックマーク一覧で、登録されたブックマークのマークが から①～⑨に変わります。
- 登録済みの登録先を選択すると上書きの確認画面が表示されます。

❖ツータッチでサイトやホームページを表示する

1 [0]～[9] ▶[iα]

ダイヤルキーに対応するサイトやホームページが表示されます。

❖ツータッチサイト一覧から操作する

〈例〉ツータッチサイト登録する

1 [iα][8][1]

2 未登録にカーソル▶[●]

サイトを表示する：ブックマークを選択
解除する：ブックマークにカーソル▶[MENU][2]▶「はい」

3 「ｉモード」または「フルブラウザ」▶フォルダを選択▶登録するブックマークを選択

フルブラウザのブックマークを登録すると、ツータッチサイト一覧で が表示されます。

✔お知らせ

- フルブラウザのブックマークをツータッチ、またはツータッチサイト一覧から接続すると、フルブラウザを利用して表示されます。

◆ ブックマークを移動する

保存されているブックマークを別のフォルダに移動できます。

1 [iα][2] ▶フォルダを選択

2 ブックマークにカーソル▶[MENU][5]▶[1]～[3]

- 選択移動では選択操作▶[📷]が必要です。

3 移動先のフォルダを選択

- ツータッチサイト登録したブックマークをシークレット属性が「ON」のフォルダに移動しようとすると、ツータッチサイトの解除確認画面が表示されます。

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。

◆ 画面メモを保存する

- 保存できる画面メモのファイルサイズは1件あたり最大100Kバイトです。

1 サイトを表示▶[MENU][3][1]

2 タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶[📷]

- タイトルを入力しないで登録すると画面メモ一覧には「無題」と表示されます。

画面メモを待受ショートカットに設定する：[✉]

◆ 画面メモを表示する

1 [iα] [3]

- マークの意味は次のとおりです。
  [通常]：通常の画面メモ　[保護]：保護されている画面メモ
- ディスプレイ上部には保存領域の使用率を示すバーが表示されます。

2 **画面メモを選択**

- 画面メモ表示画面の操作方法は一部を除きサイト表示中と同じです。

タイトルを変更する：画面メモにカーソル▶[iα]
以降の操作→P176「画面メモを保存する」操作2

保護／解除する：画面メモにカーソル▶[MENU] [1]▶[1]～[5]

- 選択保護／解除では選択操作▶[📷]が必要です。
- 保護／解除された画面メモのマークが[保護]または[通常]に変わります。

削除する：画面メモにカーソル▶[MENU] [2]▶[1]～[3]▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた画面メモが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

並べ替える〈ソート〉：画面メモにカーソル▶[MENU] [8]▶[1]～[3]
画面メモが一時的に並び替わります。

- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。

✔お知らせ

- サイト表示中からの操作：[MENU] [3] [2]
  このとき、文字コードを変更していた場合、サイト表示に戻ると文字コードは「自動選択」に戻ります。
- 画面メモ表示画面でもう一度Flash画像を動作させる：[MENU] [5] [2]
- Flash画像が画面メモ表示画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。

サイトから各種データ（ファイル）をダウンロードする

サイトからデータ（ファイル）をダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- 保存可能なデータ（ファイル）と1件あたりの保存可能な最大サイズは次のとおりです。
  - 画像、メロディ、キャラ電、トルカ（詳細）、フォント：100Kバイト
  - PDFデータ、きせかえツール、マチキャラ：2Mバイト
  - 辞書：32Kバイト
  - トルカ：1Kバイト
  - スケジュール、ｉスケジュール：1Mバイト
- ダウンロード中に[●]や[📷]を押すと、ダウンロードを中止します（ファイル種別によってキーは異なります）。
- ダウンロードしたデータ（ファイル）によっては、正しく表示や再生、設定ができない場合があります。
- 最大保存件数／領域を超えたとき（データBOX内のデータ）→P312
  データBOX内のデータ（ファイル）以外を保存する場合は、FOMA端末やmicroSDカードのデータ（ファイル）を削除してください。
- データ（ファイル）によってはmicroSDカードに保存できるものもあります。

◆ 画像をダウンロードする〈画像保存〉

保存した画像はマイピクチャ内のフォルダなどから表示したり、待受画面などに設定したりできます。また、デコメ®絵文字はメール作成時や署名編集時に使用できます。

- JPEG形式、GIF形式の画像、GIFアニメーション、Flash画像を保存できます。

1 **サイトを表示▶[MENU] [6] [1]▶画像を選択**

- 保存する画像にカーソルを合わせると、画像が枠で囲まれ、ファイル名とファイルサイズが表示されます。

複数保存する：
① **サイトを表示▶[MENU] [6] [2]▶画像を選択▶[📷]▶「はい」**
② **保存先にカーソル▶[📷]**
画像の保存先やmicroSDカードへの保存は操作3をご覧ください。

一括保存する：
① サイトを表示▶[MENU][6][3]▶「はい」
② 保存先にカーソル▶[📷]
画像の保存先やmicroSDカードへの保存は操作3をご覧ください。
背景画像を保存する：サイトを表示▶[MENU][6][4]

2 各項目を設定

- 画像によっては選択できない項目があります。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限に「あり」と表示）は、表示名以外は変更できません。

表示名：36文字以内で入力します。
ファイル名：半角英数字と「.」「-」「_」で36文字以内で入力します。
ファイル名の先頭に「.」は使用できません。
コメント：100文字以内で入力します。
フレーム候補：フレーム画像として貼り付け可能にするかを設定します。
- 横縦（縦横）のサイズが480×864より大きい画像はフレーム候補にできません。

スタンプ候補：スタンプ画像として貼り付け可能にするかを設定します。
- 横縦（縦横）のサイズが480×864以上の画像はスタンプ候補にできません。

ファイル制限：メールに添付して送信した場合の、受信した相手の携帯電話から他の携帯電話への転送を制限するかを設定します。
- サイトからダウンロードした画像は、ファイル制限を変更できません。

3 [📷]▶保存先を選択

- 次の条件をすべて満たす画像は、保存先の選択に関わらず「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
  - サイズが20×20で90Kバイト以内
  - メール添付やFOMA端末外への出力可
  - JPEG形式またはGIF形式
- 拡張子が「ifm」の画像は「アイテム」フォルダに保存されます。
- ガイド表示領域に「[端末]⇔[SD]」が表示された場合は、[iα]を押して[📷]を押すと、microSDカードの「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」フォルダのいずれかに保存されます。→P301
- FOMA端末に保存する場合は、[MENU]を押して[1]～[7]を押すと、待受画面などに設定できます。→P290

✔お知らせ
- 画面メモ表示画面からの操作：[MENU][4]→[1]～[4]
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅が画面サイズより大きいときは縮小して表示されます。
- 横縦（縦横）のサイズが、GIF形式で480×864、JPEG形式で1944×2592より大きい画像はFOMA端末には保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合もあります。

◆ データをダウンロードする

- ダウンロードできるデータと保存先は次のとおりです。

データ（ファイル）の種別	保存先	
	FOMA端末	microSDカード
メロディ（SMF、MFi形式）※1→P299	メロディの「ｉモード」フォルダ	「メロディ」フォルダ
PDFデータ※2→P316	マイドキュメントの「ｉモード」フォルダ	「マイドキュメント」フォルダ
辞書→P356	文字入力設定の「ダウンロード辞書」	－
キャラ電※3→P298	キャラ電の「ｉモード」フォルダ	－
トルカ→P269	トルカの「トルカフォルダ」	「トルカ」フォルダ
きせかえツール※2→P103	きせかえツールの「ｉモード」フォルダ	－
フォント→P107	文字表示設定の「フォント選択」	－
マチキャラ※2→P102、298	マチキャラの「ｉモード」フォルダ	－
スケジュール／ｉスケジュール※4→P326	スケジュール帳	－

※1 表示名は全角25（半角50）文字以内で入力可
※2 表示名は36文字以内で入力可
※3 表示名は36文字以内、コメントは100文字以内で入力可
※4 ダウンロードするにはｉコンシェルのご契約が必要です。

1 サイトを表示▶ダウンロードするデータを選択

- PDFデータにパスワードが設定されているときはパスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力して[カメラ]を押します。

2 「保存」

- データの種別によっては、保存画面で表示名やコメントの入力欄が表示されます。各項目を入力して[カメラ]を押すと保存されます。このとき、ガイド表示領域に「[本体⇔SD]」が表示された場合は、[iα]を押して[カメラ]を押すと、microSDカードに保存できます。
- データの種別によっては、「表示」「再生」「プレビュー」を選択してデータを確認できます。
- 保存を中止する場合は「戻る」▶「いいえ」を選択します。

PDFデータを保存する：

① [MENU][2]▶表示名を入力▶[カメラ]

- 部分的にダウンロードしたPDFデータの残りをダウンロードする場合は、[MENU][8]を押します。

② [CLR]▶「はい」

辞書、フォントを保存する：「保存」▶[●]

トルカを保存する：「保存」▶[1]または[2]

✔お知らせ

- PDFデータやきせかえツール、マチキャラのダウンロードを中止したり通信が中断されたりしたときは、再開の確認画面が表示される場合があります。「いいえ」を選択すると、部分保存できる場合は部分保存の確認画面が表示されます。部分保存したデータは、各保存先から残りをダウンロードできます。
- メロディやきせかえツール、マチキャラをFOMA端末に保存する場合は、保存画面で[MENU]を押すと電話着信音などに設定できます。なお、設定したデータはFOMA端末に保存されます。
- 500Kバイトより大きいPDFデータをダウンロードしようとすると、ダウンロードの確認画面が表示されます。
- ｉモードしおりやマークの合計サイズが100Kバイトより大きいPDFデータやサイズの不明なPDFデータ、本FOMA端末に対応していないPDFデータはダウンロードできません。
- 同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、ｉモードしおりやマークの内容が異なるときは、異なるｉモードしおりやマークが追加で保存されます。ただし、ｉモードしおりやマークの合計がそれぞれ10件を超えると、最大登録件数の超過を示す画面が表示されます。画面の指示に従って登録可能件数になるまでｉモードしおりやマークを削除してください。
- ｉスケジュールの保存を中止した場合は、一部保存される場合があります。再ダウンロードする際は、一部保存されたｉスケジュールを削除してください。

サイトに画像や動画／ｉモーションをアップロードする

FOMA端末やmicroSDカードに保存したGIF形式、JPEG形式の画像やMP4形式の動画／ｉモーションをサイトやホームページにアップロードします。

- アップロードできる画像や動画／ｉモーションのファイルサイズは最大2048Kバイト、複数の画像や文字列を含む場合は合計で最大2128Kバイトです。

1 サイトやホームページを表示▶「参照」

- 「参照」は、画像や動画／ｉモーションがアップロードできる場合に表示されます。同じサイトやホームページをパソコンなどで閲覧すると、異なったアイコンで表示されます。

2 ファイル種別を選択▶ファイルを選択

- microSDカードを取り付けている場合は、「本体」または「microSD」を選択します。
- 選択した画像を変更または解除するには、もう一度「参照」を押し、「変更」または「解除」を選択します。

✔お知らせ

- アップロードの操作方法やアップロードできるファイルは、サイトやホームページによって異なります。
- 画像、動画／ｉモーションと文字列以外のデータは、アップロードできません。また、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、動画／ｉモーションはアップロードできません。
- ASF形式や部分的に取得した動画／ｉモーションはアップロードできません。

ｉモードの便利な機能

• サイトやホームページによっては利用できない機能があります。

◆Phone To（AV Phone To）・Mail To・SMS To・Web To・Media To機能を使う

1 サイトやホームページを表示▶電話番号、メールアドレス、URL、ワンセグ視聴情報にカーソルを合わせる

• カーソルを合わせられる情報のみ選択できます。

2 [●]

Phone To（AV Phone To）：
条件を設定して電話をかけられます。→P64
Mail To：
選択したメールアドレスを宛先としてｉモードメールを作成し、送信できます。→P134
SMS To：**発信方法欄を選択▶[4]▶[MENU]▶「はい」**
選択した電話番号を宛先としてSMSを作成し、送信できます。→P164
Web To：
サイトやホームページに接続されます。
• メール本文中などのURLを選択した場合はサイトに接続の確認画面が表示されます。確認画面のガイド表示領域に「フルブラウザ」と表示されたときは、[iα]を押すとフルブラウザを利用して接続されます。
Media To：
ワンセグ視聴や視聴／録画予約ができます。→P216、223

✔お知らせ
• 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、正しくMail To機能を利用できないことがあります。

◆URLをコピーする

表示中のサイトやホームページ、画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
• コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

〈例〉サイトのURLをコピーする

1 サイトのURLを表示▶[MENU][1]

URLを表示する→P172

2 コピーする範囲を選択

コピー／貼り付け方法→P354

✔お知らせ
• ラストURL一覧、URL入力履歴一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧からの操作：[MENU]→「URLコピー」
ブックマーク一覧からの操作：[MENU]→「URL表示／入力／コピー」→「URLコピー」
これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。

◆ｉモードメールにURLを貼り付ける

表示中のサイトやホームページのURLをｉモードメールに貼り付けて送信できます。

1 サイトを表示▶[MENU][7]

◆電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

表示中の画面（サイト、画面メモ）の、カーソルを合わせられる電話番号やメールアドレスを登録できます。
• サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。

〈例〉サイト画面に表示されている電話番号を登録する

1 サイトを表示

2 電話番号にカーソル▶[MENU][8]▶[1]または[2]▶[1]または[2]

電話帳登録→P82
• 更新登録する場合は、登録する電話帳を選択します。

✔お知らせ
- 画面メモ表示画面からの操作：MENU 9→1または2

◆ URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧などからURLを登録できます。

〈例〉ブックマーク一覧から登録する

1 iα 2 ▶ フォルダを選択

2 ブックマークにカーソル ▶ MENU 7 ▶ 1 または 2

電話帳登録→P82
- 更新登録する場合は、登録する電話帳を選択します。

✔お知らせ
- ラストURLのURL表示画面からの操作：MENU→2または3
- 画面メモ一覧からの操作：MENU 7→1または2

◆ 位置情報を利用する

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の位置情報のリンク項目を選択して、地図の表示やGPS対応ｉアプリの起動、位置情報をURLに変換してメールに貼り付けができます。
- 位置情報送信用のリンク項目を選択して位置情報を送信することもできます。→P275「■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー」

〈例〉サイト画面の位置情報のリンク項目から地図を表示する

1 サイトを表示 ▶ 位置情報を選択

2 「地図を見る」▶「OK」

地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。
GPS対応ｉアプリを起動する：「地図・GPSアプリ」▶ ｉアプリを選択 ▶「OK」
GPS対応ｉアプリを利用する→P276
位置情報をメールに貼り付ける：「メール貼り付け」▶「OK」

ｉモード設定

ｉモードの設定を行う

ｉモード接続に関する各種機能を設定します。
- 次の設定はフルブラウザでも有効です。
  - 接続待ち時間設定
  - 接続先設定
  - 照明点灯時間設定
  - 証明書管理
  - 暗証番号入力省略設定

◆ 接続待ち時間を設定する〈接続待ち時間設定〉

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続が中断されます。

1 iα 8 2 ▶ 1～3

✔お知らせ
- 「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断される場合があります。
- 本設定はデータ放送設定の接続待ち時間設定にも反映されます。

◆ 接続先を変更する（ISP接続通信）〈接続先設定〉

通常は設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは
ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続ができます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。
- ISP接続を行った際のパケット通信料は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルの対象とはなりません。あらかじめご了承ください。
- 通信中は接続先を設定、変更できません。

プロバイダ契約について
- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。

- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号がサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。

1 [iα][8][8]

2 ユーザ設定にカーソル▶[MENU]

ｉモードを利用する設定に戻す：「ｉモード（FOMAカード）」▶[📷]
以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択▶[📷]

3 認証操作▶各項目を設定▶[📷]

- [MENU]を押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

接続先名称：全角8（半角16）文字以内で入力します。
接続先番号：半角英数字99文字以内で入力します。
接続先アドレス：半角英数字30文字以内で入力します。
接続先アドレス2：半角英数字30文字以内で入力します。

- 接続先アドレス2はｉチャネルの接続先です。

4 編集した接続先を選択▶[📷]

✔**お知らせ**

- 接続先を変更すると、ｉチャネルの情報が初期化され、待受画面にｉチャネルのテロップは表示されなくなります。待受画面で[CLR]を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。
- 接続先を変更すると、Music&Videoチャネルの番組設定が初期化され、番組は自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面で「番組設定」を選択すると、設定の確認画面が表示され、「はい」を選択すると、番組設定情報を受信して番組を自動で取得できます。
- 接続先番号または接続先アドレスを変更すると、圏内自動送信の設定は解除されます。
- 2in1利用時に接続先を変更すると、各モードのテロップ表示設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

◆ 照明点灯時間を設定する

サイトやホームページ、画面メモ、メッセージR/F、ｉチャネルの内容を表示したときの照明の点灯時間を設定します。

1 [iα][8][3]▶[1]または[2]

- 「端末設定に従う」に設定すると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）に従います。

✔**お知らせ**

- サイトやホームページ、画面メモ表示画面からの操作：[MENU]→「表示」→「照明点灯時間設定」
- 本設定は照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（ｉモード中）にも反映されます。

◆ 画像表示／効果音を設定する〈表示・効果設定〉

サイトや画面メモ、メッセージR/F、ワンセグのデータ放送サイトなどの内容を表示したときの画像やFlash画像の効果音、ワンセグのデータ放送やデータ放送サイトの効果音を設定します。

1 [iα][8][6]▶各項目を設定▶[📷]

画像表示設定：画像を表示するかを設定します。

- 「表示しない」に設定すると、画像やFlash画像、GIFアニメーションの代わりに[画像]が表示されます。
- 「表示する」に設定すると、アニメーション、端末情報データ利用設定を設定できます。

アニメーション：GIFアニメーションを表示するかを設定します。

- 「表示しない」に設定すると、GIFアニメーションの最初のコマが表示されます。

端末情報データ利用設定：Flash画像を表示するときにFOMA端末の登録データを利用するかを設定します。

- ワンセグの表示・効果設定からは設定できません。

効果音設定：Flash画像やデータ放送、データ放送サイトの効果音を再生するかを設定します。

✔お知らせ

- サイトや画面メモ表示画面からの操作：[MENU]→「表示」→「表示・効果設定」
- データ放送を表示している画面からの操作：[MENU][7][5]
- ｉチャネル一覧表示中からのFlash画像の効果音設定の操作：[MENU][2]
- 画像表示設定を「表示しない」に設定すると、ｉモードメールにWeb To機能を使用して添付されてきた画像の保存や表示もできなくなります。
- 画像の設定は、添付ファイルとして添付されている画像やメッセージR/Fの本文中の画像、データ放送には反映されません。
- 効果音設定は、メッセージR/Fには反映されません。
- 端末情報データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、音量設定のメロディ音量、バイリンガル、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

◆証明書を表示して有効／無効を設定する〈証明書管理〉

- SSLページに接続するには、次の証明書が必要です。
  CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
  ドコモ証明書：FirstPassセンターやFirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、あらかじめFOMAカードに保存されています。
  ユーザ証明書：FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。FirstPassセンターで発行申請を行い、ダウンロードするとFOMAカードに保存されます。
  オリジナル証明書：各企業・自治体などから発行される証明書で、ダウンロードすると端末内に保存されます。ダウンロードした証明書に対応しているサイトで利用できます。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、CA証明書以外は表示されません。

〈例〉有効／無効を設定する

1 [iα][8][5][1]

- マークの意味は次のとおりです。
  ：CA証明書　：ドコモ証明書／ユーザ証明書
  ：オリジナル証明書　：チェーン切れのオリジナル証明書
  ：有効に設定されている証明書

2 [📷]▶**設定する証明書を選択**▶[📷]

- ドコモ証明書2は設定できません。

表示する：**証明書を選択**

- オリジナル証明書の場合は、選択するとオリジナル証明書一覧が表示されます。選択すると証明書が表示されます。

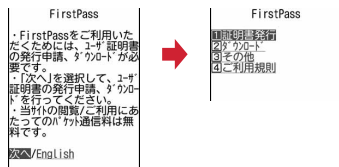
✔お知らせ

- 証明書の表示内容
  所有者
  CN=：(Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  O=：(Organization）会社名など
  C=：(Country）国名
  発行者
  CN=：(Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  OU=：(Organization Unit）会社の部署など
  O=：(Organization）会社名など
  有効期限
  シリアル番号
- 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

◆FirstPassを設定する〈ユーザ証明書操作〉

FirstPassセンターに接続し、ユーザ証明書の発行申請をしてダウンロードを行います。

- FirstPassセンター接続時の画面や操作方法は変更される場合があります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
- 海外では本機能を利用できません。

1 [iα][8][5][2]▶「次へ」

2「証明書発行」▶「実行」▶PIN2コードを入力

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

発行されたユーザ証明書を失効させる：「その他」▶「証明書失効」▶送信するユーザ証明書を選択▶PIN2コードを入力▶「実行」▶「次へ」▶「実行」

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請は中止されます。

3「ダウンロード」▶「実行」

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

- ダウンロードしたユーザ証明書は、「証明書管理」で確認できます。→P183

✔お知らせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- フルブラウザでもFirstPassを利用できます。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証ができます。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには、付属のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。詳細はCD-ROM内の「簡易操作マニュアル」(PDF形式)をご覧ください。PDF版「簡易操作マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為はお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に不正に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行えます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関して保証するものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

◆オリジナル証明書をダウンロードする

- オリジナル証明書は最大5件、ルート証明書と中間証明書は合わせて最大10件、合計35Kバイトまで保存できます。

1 サイトを表示▶証明書を選択

- ダウンロード中に[カメラ]：ダウンロードを中止

2 「保存」

- ダウンロードした証明書は、「証明書管理」で確認できます。→P183
- パスワードの入力を要求されたときは、パスワードの入力欄にパスワードを入力し、「OK」を選択します。

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

✔お知らせ

- オリジナル証明書は各企業・自治体などから発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
- フルブラウザでもオリジナル証明書を利用できます。
- オリジナル証明書をダウンロードする際のパケット通信料は有料です。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合、オリジナル証明書はダウンロードできません。

❖証明書の管理名を変更する

ダウンロードしたオリジナル証明書の管理名称を変更します。

1 [iα][8][5][1]▶証明書にカーソル▶[iα]

2 名称を入力（全角9（半角18）文字以内）▶[カメラ]

ダウンロードしたときの管理名称に戻す：[メール]

❖証明書を削除する

ダウンロードしたオリジナル証明書を削除します。

1 [iα][8][5][1]▶証明書にカーソル▶[メール]▶「はい」▶認証操作

◆端末暗証番号を省略する〈暗証番号入力省略設定〉

オリジナル証明書を利用するときは、端末暗証番号を入力することで認証を行います。認証が完了したオリジナル証明書を再び利用するときに、端末暗証番号入力を省略するかを設定します。

1 [iα][8][5][4]▶[1]または[2]

◆証明書発行接続先を変更する〈証明書発行接続先設定〉

FirstPass以外のサービスを受けるときに、証明書発行の接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 [iα][8][5][3]

2 接続先欄を選択▶[2]

FirstPassへの接続に戻す：接続先欄を選択▶[1]▶[カメラ]

3 各項目を設定▶[カメラ]

ユーザ設定接続先：接続先を半角英数字99文字以内で入力します。
ユーザ設定初期画面URL：URLを半角英数字100文字以内で入力します。

ｉモーション

サイトやホームページから映像や音を取得し、再生・保存します。保存した映像や音はｉモーションとして再生したり、着モーション（→P91）に設定できます。

- ｉモーションには大きく分けて次の2種類があります。

種　類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	ｉモーションのデータを取得しながら再生（最大10Mバイト）。取得完了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作可能。
	ｉモーションのデータをすべて取得後に再生（最大10Mバイト）。
ストリーミングタイプ（保存不可）	ｉモーションのデータを取得しながら再生（最大10Mバイト）。再生終了後、ｉモーションのデータは消去。

※ 保存できないｉモーションもあります。

サイトからｉモーションを取得する

1 サイトを表示▶ｉモーションを選択

ｉモーションの取得が始まり、完了すると完了画面が表示されます。

- 取得中に[カメラ]を押して「はい」を選択すると、取得を中止します。
  ファイルサイズが500Kより大きく10Mバイトまでの部分保存できるｉモーションの場合は、再開の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると部分保存の確認画面が表示されます。部分保存するとｉモーション一覧から残りを取得できます。→P293「動画／ｉモーションを再生する」のお知らせ
- ストリーミングタイプのｉモーションを選択した場合は、再生の確認画面が表示されます。
- データを取得しながら再生するｉモーションの再生中は次の操作ができます。再生終了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
  [●]：標準タイプは一時停止／再生
  [音量]／[▲][▼]：音量調整
  [カメラ]：ストリーミングタイプは確認画面で「はい」を選択すると中断、標準タイプは停止（停止中に[●]を押すと先頭から再生）
  [✂]：横画面と縦画面の切り替え（画像サイズが320×240のときは横画面（全画面）→横画面（ワイド）→縦画面の順に切り替え）
  [MENU][1]：横画面に切り替え
  [MENU][2]：詳細情報の表示
  詳細情報について→P310
  ※ 再生を一時停止または停止しても、データの取得は継続します。
- データ取得後に再生するｉモーションを再生したときのキー操作（[CLR]を除く）→P293「動画／ｉモーションを再生する」操作3

2 「保存」

- ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。

もう一度再生する：「再生」

詳細情報を表示する：「情報表示」

詳細情報について→P310

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

- ストリーミングタイプのｉモーションは「戻る」を選択するとサイト画面に戻ります。

3 表示名を入力（36文字以内）▶[カメラ]

ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

- ガイド表示領域に「[端末⇔SD]」が表示された場合、[iα]を押して[カメラ]を押すと、ファイル制限なしのデータはmicroSDカードの「動画」フォルダ（音声のみのｉモーションは「その他の動画」フォルダ）に保存されます。ファイル制限ありのデータは、microSDカードの「動画[鍵]」フォルダの保存先フォルダにカーソルを合わせて[カメラ]を押すと、選択したフォルダに保存されます。
- FOMA端末に保存する場合は、[MENU]を押して[1]～[5]を押すと、待受画面などに設定できます。→P295

✔お知らせ

- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。
- ｉモーションにテロップ（テキスト）が含まれていてもテロップ（テキスト）は再生できません。
- ｉモーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていると取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、取得が中止されることがあります。
- ｉアプリからｉモーションを利用して、保存する前に詳細情報（→P310）を表示したときに着信音設定および着信画面設定が「可」と表示されても、保存できない場合があります。その場合には、着信音および着信画像に設定できません。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときにFOMA端末を閉じたり、電話がかかってきたり、ワンセグの視聴予約や目覚まし、スケジュールの指定日時になった場合は、取得が中断され、再生が中止されます。標準タイプのｉモーションを取得しながら再生しているときにFOMA端末を閉じると、再生は停止しますが取得は継続されます。
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P312

ｉモーション設定

ｉモーションの自動再生を設定する

標準タイプのｉモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかを設定します。

1 [iα][8][7]▶自動再生設定欄を選択▶[1]または[2]▶[📷]

✔お知らせ

- サイト画面からの操作：[MENU][9][5]
- 「自動再生しない」に設定しても、取得完了画面で「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは本設定に関わらず、再生の確認画面が表示されます。

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、[CLR]を押すことでチャネル一覧に表示されたりします（チャネル一覧の表示方法→P187）。
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録して利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに詳細情報を閲覧する場合は、別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- ｉチャネルの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。

1 待受画面で[CLR]

- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリを設定しているときは、[iα][7][1]を押します。

2 チャネルを選択

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。

✔お知らせ

- 情報受信中は[アイコン]が点滅します。
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、ランプは動作しません。

- 次の場合は、待受画面でCLRを押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、テロップが表示されるようになります。
  - FOMA端末の電源が切れていたり、圏外などで情報を受信できなかったとき
  - 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えたとき
  - 接続先を変更したとき→P181
  - ｉチャネルを初期化したとき→P188
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、CLRを押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、CLRを押すと最後に受信した情報がｉチャネル一覧に表示される場合があります。
- ｉチャネル一覧を表示中にもう一度Flash画像を動作させる：MENU 1
- 使用状況によりｉチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。

テロップ表示設定

ｉチャネルのテロップを設定する

1 iα 7 2 ▶各項目を設定▶📷

✔お知らせ
- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリを設定している場合は、本機能のテロップ表示を「表示する」に設定しようとすると、待受画面の解除確認画面が表示されます。
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合、本機能のテロップ表示は「表示する」に設定されたままになっています。
- 2in1利用時は、モードごとに設定できます。

ｉチャネル初期化

ｉチャネルを初期化する

ｉチャネルをお買い上げ時の状態に戻します。

1 iα 7 3 ▶「はい」

✔お知らせ
- ｉチャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面でCLRを押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップが表示されるようになります。
- 2in1利用時は、モードごとに初期化が必要です。

ｉコンシェル

ｉコンシェルとは、「執事（コンシェルジュ）」のように、待受画面上のキャラクター（マチキャラ）が、あなたの生活をサポートするサービスです。
ｉコンシェルでは、鉄道運行情報や生活関連情報などのインフォメーションの受信、スケジュール／ｉスケジュールのダウンロード、電話帳・トルカ・スケジュール／ｉスケジュールのお預かり・更新などをご利用いただけます。

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- 電話帳お預かりサービス（→P128）のご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時に電話帳お預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- インフォメーションにはドコモが提供する情報とIP（情報サービス提供者）が提供する情報の2種類があります。ドコモが提供するインフォメーションは、情報の受信時にパケット通信料はかかりません。IP（情報サービス提供者）が提供するインフォメーションは、情報の受信時に別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- ｉスケジュール・トルカ・電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- スケジュール／ｉスケジュールのダウンロード→P178

インフォメーション受信

インフォメーションを受信したときは

FOMA端末が通話圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。

- 受信したインフォメーションはｉコンシェルのインフォメーション一覧に最大50件保存されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 インフォメーションを受信

またはが点灯し、ランプが点灯または点滅し、ｉコンシェル着信音が鳴ってインフォメーションが表示されます。

- 複数のインフォメーションを受信した場合はまたはが点滅します。
- インフォメーションを選択すると、インフォメーションによってｉコンシェルのインフォメーション一覧やリンク先のサイトが表示されたり、受信前の画面に戻ったりします。
- CLRまたはを押すと受信前の画面に戻ります。
- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合は、最新の1件が待受画面に表示されます。

✔お知らせ

- インフォメーション表示設定が「表示しない」の場合は、インフォメーションは表示されません。
- インフォメーションによっては、受信時にまたはの点灯、ランプの点灯または点滅、ｉコンシェル着信音は鳴動しません。
- FOMA端末の操作中に受信した場合は、メールの受信・自動送信表示設定に従って動作します。「通知優先」の場合はインフォメーションを受信した旨のメッセージが表示されます。
- インフォメーション表示中は、省電力モードが一時的に解除されます。

ｉコンシェルの詳細を表示する

受信したインフォメーションの詳細を表示したり、ｉコンシェルメニューから簡単にFOMA端末のスケジュール帳やトルカを表示したりできます。

〈例〉インフォメーションの詳細を表示する

1 MENU［ｉコンシェル］

ｉコンシェルのインフォメーション一覧が表示されます。

2 インフォメーションを選択

- インフォメーションには、スケジュールやトルカが添付されていたり、より詳細な情報や関連情報を見るためのサイトへのリンク項目があったりする場合があります。内容を確認するにはアイコンを選択します。
- MENUを押してスケジュールやトルカメニューを選択すると、FOMA端末のスケジュール帳やトルカを表示できます。

インフォメーション表示設定

インフォメーションの表示を設定する

ｉコンシェルのインフォメーションを受信した際に、待受画面にインフォメーションを表示するかを設定します。

1 MENU［設定／NWサービス］2 1 8 ▶ 1 または 2

- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリを設定している場合に「表示する」にすると、待受画面の解除確認画面が表示されます。

フルブラウザ

フルブラウザ

パソコン向けのホームページを表示する

インターネットに接続して、パソコン向けに作成されたホームページを閲覧します。

- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編)』をご覧ください。
- ビューアメニューからも操作できます。→P40

〈例〉ホームページのアドレス（URL）を指定して接続する

1 [iα][9]

2 [3][1]▶URLを入力（半角512文字以内）▶[📷]

- アクセス設定が「利用しない」の場合、フルブラウザを利用するかの確認画面が表示されます。→P196
- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。
- 接続を中断するときは[CLR]または[MENU][9]を、複数のウィンドウの接続を中断するときは[MENU][8]を押します。

ホームに接続する：[1]

ブックマークから表示する：[2]▶フォルダを選択▶ブックマークを選択

URL入力履歴から接続する：[3][2]▶URLを選択

URL入力履歴一覧からの操作方法→P174

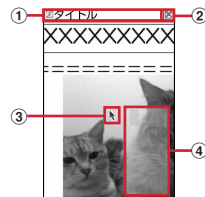
ラストURLに接続する：[4]▶URLを選択

ラストURL一覧からの操作方法→P171

3 ホームページを見終わったら[✉]▶「はい」

✔お知らせ

- プラグイン、画面メモまたはFlash画像の保存には対応していません。
- Mail To、Web To機能は利用できますが、Phone To（AV Phone To）、SMS To、Media To機能には対応していません。
- ホームページによっては表示に時間がかかる場合や、正常に表示されない場合があります。
- SSL／TLSとは、認証技術／暗号技術を使用して安全にデータ通信を行うための方式です。SSL／TLS対応のホームページは、URLがhttps://から始まります。また、ホームページの一部に利用されている場合もあります。
- 画像を含むホームページを表示したときに代わりに表示されるマークについて→P171「サイトを表示する」のお知らせ
- Flash画像再生中の音量は[MULTI][8][5]で調整できます。
- 5分以上操作をしないと、Flash画像の再生は停止します。
- 1ページあたりの読み込み容量は最大1536Kバイトです。
- Flash画像のFlashアニメーションは1件あたり最大1Mバイト、Flash®Videoは1件あたり最大10Mバイトまでの表示に対応しています。
- Flash8（一部Flash9）相当までのバージョンのファイルに対応しています。ただし、該当するバージョンのファイルでも、ホームページによっては再生できない場合があります。

◆ フルブラウザ画面の見かた

フルブラウザ画面（縦画面）

① **状態表示／タイトルまたはURL**

(水色)：取得中　：フレームサムネイル表示中

：フレーム拡大表示中

(紺色)：フレーム拡大表示中の他フレーム取得中

：PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルをダウンロード中

：画像、動画／ｉモーションをアップロード中

② ／：**表示モード（PCモード／ケータイモード）**

：ウィンドウオープンガード中

：端末を傾けて画面スクロール中

③ **ポインター**

④ **ビューポジション**

ページ全体に対する現在の表示位置が一時的に表示されます（フレームサムネイル表示中を除く)。PCモード中は、ビューポジションの大きさが変化する場合があります。

❖フルブラウザ画面での操作

スクロールする：◎または2、4、6、8
- 2、4、6、8を押すと画面単位でスクロールします。キーを押し続けると連続スクロールします。
- ケータイモード中でポインター非表示の場合、iαで上に、✉で下にスクロールします。
- モーションセンサー設定が「ON」の場合は、端末を傾けて画面をスクロールできます。→P46

前のページに戻る／進む：iαまたは✉
- ケータイモード中でポインター非表示の場合、◎で前後にページ移動します。

キー操作一覧を表示する：📷8
- 表示した状態でキー操作できます。●を押すと元の画面に戻ります。
- ズームの設定はフルブラウザを終了しても保持されます。

ホームに接続する：MENU1

表示中のホームページをブックマークに登録する：MENU21▶フォルダを選択▶📷

ブックマークから表示する：MENU22▶フォルダを選択▶ブックマークを選択

URLを指定して接続する：MENU31▶URLを入力▶📷

URL入力履歴から接続する：MENU32▶URLを選択

ラストURLに接続する：MENU33▶URLを選択

情報を再読み込みする：MENU4

URLをｉモードメールで送信する：MENU6

表示中のホームページのURLがメール本文に貼り付けられます。

ホームページのURLを表示する：MENU81
- MENU1を押しコピーする範囲を選択すると、URLがコピーされます。

リンク先のURLを表示する：リンク先にカーソル▶MENU82
- MENUを押しコピーする範囲を選択すると、URLがコピーされます。

SSL／TLS対応ページの証明書を表示する：SSL／TLS対応ページ表示中にMENU83

証明書の内容→P183

表示・効果設定をする：MENU84

表示・効果設定→P196

文字コードを切り替える：MENU851
- 押すたびに文字コードがSJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。MENU852を押すと、「自動選択」に切り替わります。

リトライでアニメーションを先頭から再生する：MENU86

自動オープンガードを有効／無効にする：MENU87▶「はい」

Script設定→P196

ビューポジションを確認する：MENU88

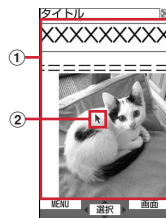
ビューポジションの表示や色を設定する：MENU89▶1〜4

✔お知らせ
- マルチウィンドウで表示中にズームで表示倍率を切り替えた場合は、表示しているウィンドウのみ切り替わります。
- 次の操作はｉモードと同様です。
  - リンク先や項目の選択（ポインター非表示中）→P172
  - ブックマーク

◆ポインターの表示を切り替える

ポインター表示中は、◎でポインターを操作して画面内の移動ができます。キーを押し続けると連続スクロールします。
- フルブラウザを終了しても設定は保持されます。
- ビューアスタイルにするとポインターは非表示になります。

1 フルブラウザ画面で#▶「はい」

ポインターが非表示になります。表示するときは#を押します。
- Flash画像再生中に、ポインターを非表示にすると再生が停止します。

① **移動範囲**
フレームを含むホームページの場合、移動範囲が限定されることがあります。

② ポインター
リンク先や項目を選択できます。ウィンドウの端付近まで移動すると画面がスクロールします。
- ポインターの表示は動作によって次のように切り替わります。
 : ポインター表示中　 : リンク選択
 : データ取得中　 : データ取得中のリンク選択
 : テキストボックス選択　 : ドラッグモード中

❖ ドラッグモードに切り替えて操作する

ポインター表示中にドラッグモードに切り替えると、ドラッグモードに対応したコンテンツを操作できます。
- ドラッグモード中にできる操作はコンテンツによって異なります。

1 ポインターをコンテンツ上に移動▶ ●（1秒以上）

ポインターが から に切り替わり、 でコンテンツを操作できるようになります。
解除する： ●

◆ フレーム対応のホームページを表示する

フレームを含むホームページに接続すると、全体の構成が確認できるフレームサムネイル画面が表示されます。個別のフレームを拡大表示して操作します。

1 フレームサムネイル画面で ▶ フレームを選択

- フレーム拡大表示中は CLR でフレームサムネイル画面に戻ります。
- フレームサムネイル表示中も 1 ／ 3 で縮小／拡大、 5 でズームによる表示倍率の切り替えができます。

✔お知らせ
- 認証が必要なフレームは黄色、スキャン機能で問題要素が検出されたフレームは赤色の枠で表示されます。

◆ 複数のホームページを表示する〈マルチウィンドウ〉

最大5つのホームページを切り替えながら閲覧できます。
〈例〉ホームページのリンクを新たなウィンドウで表示する

1 フルブラウザ画面でリンクにカーソル▶ 📷 3 6

- でウィンドウ切り替え、 （1秒以上）または 📷 1 で一覧からのウィンドウ選択ができます。📷 2 を押して「はい」を選択すると表示中のウィンドウを閉じます。
- ビューアスタイルではウィンドウ切り替えのみ操作できます。

◆ ホームページ内の文字列を検索する

1 フルブラウザ画面で 0 ▶ 検索欄に文字を入力（全角20（半角40）文字以内）

検索結果が反転表示されます。
- i で前の候補、 ✉ で次の候補へ移動します。
- 検索を終了するには 📷 を押します。

検索方法を設定する：フルブラウザ画面で 0 ▶ MENU ▶ 各項目を設定▶ 📷

✔お知らせ
- ビューアスタイルではページ内検索できません。
- ホームページによっては検索できない場合があります。
- 検索結果と検索欄が重なった場合は、📷 を押して確認してください。

◆ 画像や動画／ｉモーションをアップロードする

FOMA端末やmicroSDカードに保存したGIF形式、JPEG形式の画像やMP4形式の動画／ｉモーションをホームページにアップロードします。
- アップロードできる画像や動画／ｉモーションのファイルサイズは最大2048Kバイト、複数の画像や文字列を含む場合は合計で最大2128Kバイトです。

1 フルブラウザ画面で「参照」

以降の操作→P179「サイトに画像や動画／ｉモーションをアップロードする」操作2以降
- 「参照」は、画像や動画／ｉモーションがアップロードできる場合に表示されます。同じホームページをパソコンなどで閲覧すると、異なったアイコンで表示されます。

✔お知らせ

- アップロードの操作方法やアップロードできるファイルは、ホームページによって異なります。
- 画像、動画／ｉモーションと文字列以外のデータは、アップロードできません。また、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、動画／ｉモーションはアップロードできません。
- ASF形式や部分的に取得した動画／ｉモーションはアップロードできません。

◆ 画像をダウンロードする

背景画像を除く、ホームページのJPEG／GIF形式の画像などを保存できます。

- 保存できる画像のファイルサイズは1件あたり最大1Mバイトです。
- PNG形式とBMP形式の画像は、microSDカードの「その他」フォルダに保存できますが、表示することはできません。
- 最大保存件数→P438

1 フルブラウザ画面で[MENU][5] ▶ 画像を選択

以降の操作→P178「画像をダウンロードする」操作2以降

- 保存する画像にカーソルを合わせると、画像が枠で囲まれ、ファイル名とファイルサイズが表示されます。
- ダウンロード画像の保存について→P178「画像をダウンロードする」のお知らせ

◆ PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルをダウンロードする

- 保存できるデータのファイルサイズは1件あたり最大1Mバイトです。
- Word、Excel、PowerPointファイルは、microSDカードを挿入しているときのみダウンロードできます。
- Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルは、FOMA端末には保存できません。

1 フルブラウザ画面でデータを選択

- ダウンロード中に[CLR]または[MENU][9]を押し「はい」を選択すると、ダウンロードを中断します。複数のウィンドウでデータをダウンロードしているときは[MENU][8]を押すと、すべてのダウンロードを中断します。

2 「保存」

表示する：「プレビュー」
保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 表示名を入力（36文字以内）▶[📷]

- ガイド表示領域の左下に「[本体]⇔[SD]」が表示された場合には、[iα]を押して保存先を切り替えられます。
- データは次のフォルダに保存されます。
  - PDFデータ：本体のマイドキュメントの「ｉモード」／microSDカードの「マイドキュメント」
  - Word、Excel、PowerPointファイル：本体の「その他」※／microSDカードの「その他」

  ※「その他」内に複数のフォルダがある場合は、保存先選択画面が表示されます。

✔お知らせ

- ダウンロード中にデータサイズが1Mバイトを超えた場合は、ダウンロードは中止されます。
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P312

フルブラウザの設定をする

ホーム設定：ホーム接続時のURLを登録します。
Cookie設定／削除：Cookieの設定や削除を行います。
- Cookieとはホームページを表示した日時や回数など、ホームページが指定した情報をFOMA端末に保存しておく機能です。ホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieを有効にしないと、正常に表示したり利用したりできない場合があります。
- Cookieを有効にすると、ホームページを表示した日時や回数などの情報が送信されます。これにより、お客様の情報が第三者に知得されても、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

Script設定：JavaScriptが含まれるホームページの動作を設定します。
- ホームページによってはScript設定を有効にしないと、正常に表示できない場合があります。

表示モード設定：パソコン用の画面サイズで表示する（PCモード）か、FOMA端末のディスプレイの横幅に合わせて表示する（ケータイモード）かを設定します。
表示・効果設定：フルブラウザ画面での画像やアニメーションの表示／非表示の設定や、Flash画像の効果音を設定します。
アクセス設定：フルブラウザを利用するかを設定します。
- 「利用する」に設定する場合は、必ず「注意事項の詳細」をお読みください。

Referer設定：Refererを送信するかを設定します。
- Refererとはホームページ上のリンクを選択して別のホームページに移動する場合の、元のホームページのURL情報です。Refererを送信することにより、お客様の情報が第三者に知得されても、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

画面表示設定：縦画面時に、全画面表示にするかを設定します。
自動通信設定：フルブラウザ画面で閲覧ページからの自動通信要求を許可するかを設定します。
- 「通信しない」に設定すると、Flash画像が正しく表示されない場合があります。

1 [iα] [9] [5]

2 各項目を設定

ホーム設定を行う：[1]▶URLを入力（半角512文字以内）▶[📷]
- 表示中のホームページをホームに設定するには、[MENU][7]を押し「はい」を選択します。

Cookieの設定／削除を行う：[2]▶Cookie欄を選択▶[1]～[3]▶[📷]
- 「有効（毎回確認）」の場合、情報の送受信を知らせるタイミングを確認欄で選択します。
- Cookie情報を全件削除するには[MENU]▶認証操作▶「はい」を押します。

Script設定を行う：[3]▶Script設定欄を選択▶[1]または[2]▶[📷]
- 「有効」の場合、ウィンドウオープンガード設定欄を選択します。「無効」にするとJavaScriptから新しいウィンドウのオープンが指定されるたびに、ウィンドウを開くか確認する旨が表示されます。「有効」にすると新しいウィンドウは開きません。

表示モード設定を行う：[4]▶[1]または[2]
- ホームページ表示中にモードを切り替えるには[📷][4]を押します。マルチウィンドウで表示中はすべての表示が切り替わります。

表示・効果設定を行う：[5]▶各項目を設定▶[📷]
- 画像表示設定を「表示しない」にすると、画像やアニメーションの代わりに[画像アイコン]が表示されます。
- アニメーションを「表示しない」にすると、最初のコマが表示されます。
- 端末情報データ利用設定を「利用する」にすると、時刻情報、バイリンガルがインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

アクセス設定を行う：[6]▶「利用する」または「利用しない」
Referer設定を行う：[7]▶[1]～[3]
画面表示設定を行う：[8]▶[1]または[2]
自動通信設定を行う：[9]▶[1]～[3]
- 「通信する」にすると、確認なしに自動通信を行います。「毎回確認」にすると、通信要求があるたびに自動通信開始確認画面が表示されます。

カメラ

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラをご使用になる前に

- 通常スタイルおよびビューアスタイルで撮影ができます。→P29
- 動画撮影およびサウンドレコーダーを利用するとき、音声は送話口から録音されます。指などでふさがないでください。
- カメラの操作時、ランプの点灯・点滅に合わせて、撮影お知らせランプも赤色で点灯・点滅します。
- 静止画撮影中は、FOMA端末の方向に合わせて、保存される静止画の天地や縦長／横長が切り替わります。→P206
- 撮影待機中に約3分間キー操作をしないと、カメラは終了します。
- 静止画撮影では、逆光での撮影時などに自動的にコントラストを補正します。
- 電話帳、メール、ｉアプリからカメラを起動したときは、利用できない機能や変更できない設定があります。

■ 自分を撮影する

通常スタイルで、ディスプレイを右回りに180度回転させてカメラを自分のほうに向けて撮影します。ただし、鏡像表示されません。

◆ カメラ利用にあたっての留意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影する画像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては画像の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末は手ぶれ補正を行えますが、撮影環境や被写体によっては効果が薄くなる場合があります。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。セルフタイマー機能は、静止画撮影時のみ利用できます。
- シャッター音が鳴ってから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。シャッター音が鳴ってから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、シャッター音が鳴ったときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- ｉアプリからカメラ撮影した画像は、ｉアプリ内（ｉアプリによっては、「ｉモード」フォルダや「デコメピクチャ」フォルダ）に保存されます。また、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- 撮影した画像を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

◆ 静止画ファイル／動画ファイル

静止画ファイル

ファイル形式	拡張子
JPEG（Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ※1対応）	jpg

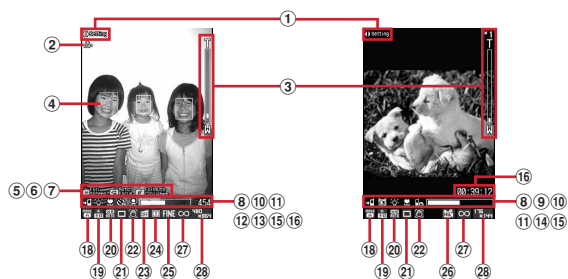
動画ファイル

ファイル形式	符号化方式	拡張子
MP4（MobileMP4）	映像：MPEG4、H.264※2　音声：AAC LC	3gp

※1 撮影モードが「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」の場合には対応していません。

※2 画像サイズが「VGA（640×480）」のときの符号化方式です。

- 表示名／タイトル／ファイル名には撮影した日時が自動的に付けられますが、保存前や保存後に変更できます。→P200、203、310
- ファイル名に付く拡張子は、FOMA端末では表示されません。

◆ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面（通常スタイル）　動画撮影画面（通常スタイル）

静止画撮影画面（ビューアスタイル）　動画撮影画面（ビューアスタイル）

※ サウンドレコーダーの録音画面は動画撮影画面と同様ですが、表示されないアイコンがあります。また、ガイドメニュー（→P41）が常に表示され、カメラからの画像の代わりに専用の画面が表示されます。

No	アイコン名	No	アイコン名
①	撮影時設定操作ガイド→P207	②	上方向判定→P206
③	スライダ（ズーム）→P205 T：最大ズーム　W：標準	④	顔検出枠→P206
⑤	全画面／標準画面切替操作ガイド→P206	⑥	（手動）オートフォーカス→P201 ：待機中※1　：検出中 OK／NG：成功／失敗
⑦	フルオートフォーカス→P201	⑧	保存先→P205 ：FOMA端末本体 ：microSDカード
⑨	撮影種別→P205 ：画像＋音声 ：画像のみ　：音声のみ	⑩	ライト→P205
⑪	接写撮影→P206	⑫	セルフタイマー→P206
⑬	顔検出→P206	⑭	共通再生モード→P207
⑮	インジケータ※2	⑯	カウンタ※3
⑰	タッチオートフォーカス→P202	⑱	撮影モード→P207
⑲	明るさ→P207	⑳	ホワイトバランス→P207
㉑	フレーム→P207	㉒	手ぶれ補正→P208
㉓	歪み補正→P208	㉔	連続撮影→P202、208
㉕	画質→P208	㉖	品質→P208
㉗	サイズ制限→P208	㉘	画像サイズ→P208
㉙	ガイドメニュー表示操作ガイド→P209		

※1 ビューアスタイルでは表示されません。

※2 撮影待機中：保存先の保存領域の使用率（microSDカードの使用領域は、静止画や動画を保存していなくても0にならない場合があります。）
セルフタイマーのカウントダウン中：シャッターが切れるまでの残り時間
動画撮影中：サイズ制限で設定しているファイルサイズに対して、現在撮影している割合

※3 撮影待機中：現在の設定で保存できる最大撮影枚数／最大撮影時間の目安
セルフタイマーのカウントダウン中：シャッターが切れるまでの残り時間
連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影中：現在の撮影枚数と最大撮影枚数
動画撮影中：経過時間／残り撮影時間（目安）

静止画撮影

カメラで静止画を撮影する

- 各種の音量設定を「Silent」に設定した場合やマナーモード中、公共モード中でも、シャッター音は鳴ります。
- ビューアメニューからも操作できます。→P40

1 [カメラ]

撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

2 設定を確認してカメラを被写体に向ける

顔検出が「ON」のときは、顔検出枠が表示されます。
- オートフォーカスを利用して撮影ができます。→P201
- 連続撮影、連続パノラマ撮影を設定できます。→P202
- 撮影時の設定を変更できます。→P205

保存した静止画を確認する：[カメラ]（ビューアスタイルでは[メニュー]▶「一覧」をタッチ）

静止画詳細設定で設定した保存先の静止画を確認できます。
画像の表示方法→P288、305
- 静止画またはフォルダの一覧画面で[CLR]：撮影待機状態に戻る

3 [●]または[シャッター]（ビューアスタイルでは「シャッター」をタッチ）

シャッター音が鳴り、ランプが赤色で点灯して静止画が撮影され、静止画の保存確認画面が表示されます。連続撮影、パノラマ撮影のときは1枚撮影するごとにシャッター音が鳴り、ランプが赤、黄、緑、青、紫、オレンジの順に繰り返して点灯します。

連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影のとき

設定枚数分、操作3を繰り返します。
設定枚数に達する前に[カメラ]（ビューアスタイルでは[メニュー]）を押すと撮影が中断されます。連続撮影手動、複数枚撮影した連続パノラマ撮影の場合は操作4に進みます。4コマ撮影手動、一枚だけ撮影した連続パノラマ撮影の場合は撮影待機中の画面に戻り、それまで撮影した静止画は破棄されます。

4 撮影した静止画を確認

- 縦長／横長QVGA（240×320、320×240）以下の静止画は拡大して表示されます。実サイズで表示するには[拡大]、戻すには[縮小]を押します。

連続撮影自動、連続撮影手動のとき

- [iα]を押すたびに1枚表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 1枚表示時に[左右]を押すと、前後の静止画に切り替わります。
- 連続撮影手動で1枚だけ撮影した場合は、サムネイル表示されません。

撮影し直す：[CLR]（ビューアスタイルでは「戻る」をタッチ）

等倍表示に切り替える：[iα]

- [十字]を押すと画面をスクロールできます。
- [✂]を押すと、ガイド表示領域の表示／非表示を切り替えられます。
- 解除するときは[CLR]、[MENU]、[iα]、[カメラ]、[メール]のいずれかを押します。
- 等倍表示できるのは、縦長／横長WXGA（768×1280、1280×768）以上のサイズです。

自動スクロールする（連続パノラマ撮影時）：[カメラ]（ビューアスタイルでは「スクロール」をタッチ）

メールに添付する：[メール]

保存の確認画面が表示されます。
- 保存先がmicroSDカードの場合も、FOMA端末に保存されます。
- 画像サイズによってはQVGAサイズへの変換確認画面が表示されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、ファイルサイズ調整の確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイト以内のファイルサイズで保存されます。
- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文内への貼り付け確認画面が表示されます。

待受画面に設定する：[MENU][3][1]▶「はい」

静止画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。
- 画像サイズが縦長／横長QVGA（240×320、320×240）以下の場合は「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。
- 保存先がmicroSDカードの場合は、待受画面に設定できません。

電話帳の画像に登録する：[MENU][3]▶[2]または[3]▶「はい」

静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。画像サイズがQCIF（176×144）の場合のみ登録できます。
- 更新登録するときは登録する相手を選択します。
- 保存先がmicroSDカードの場合は、電話帳の画像に登録できません。

位置情報を付加する：[MENU][2]
以降の操作→P275「■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー」
- 位置情報が付加されると、画面左上にが表示されます。

タイトルを変更する：[MENU][4][1]▶タイトルを入力▶[カメラ]
- 31文字以内で入力します（連続撮影した画像は30文字以内）。
- 表示名が変更されます。表示名は保存後にも変更できます。→P310

明るさや色のバランスを補正する：[カメラ]
編集画面が表示されます。→P290
- 次の場合は補正できません。
  - 画像サイズが縦長／横長VGA（480×640、640×480）以上
  - 4コマ撮影でフレームを設定
  - 連続パノラマ撮影時
  - 撮影モードが「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」

保存先をFOMA端末／microSDカードに切り替える：[MENU][9]
保存されている画像を一覧表示する：[MENU][0]▶[1]または[2]

5 [●]または[保存]（ビューアスタイルでは「保存」をタッチ）

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」（microSDカードの場合は「マイピクチャ」）フォルダに保存されます。

表示されている静止画1枚だけを保存する（連続撮影自動、連続撮影手動撮影時）：[●]（1秒以上）▶「はい」
- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が保存されます。

連続撮影した静止画の中から複数選択して保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でサムネイル表示時）：
① [MENU][6][2]▶保存しない静止画を[●]で解除
  - [✉]を押すとカーソル位置の静止画が1枚表示されます。[●]または[CLR]を押すとサムネイル表示に戻ります。

② [カメラ]▶「はい」
選択した静止画が保存されます。

✔お知らせ
- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 画像サイズが縦長／横長VGA（480×640、640×480）以上の場合に手ぶれ補正オートまたは歪み補正がOFF以外で撮影すると、[MENU]、[iα]、[✉]を押して行う操作ができるまでに時間がかかります。
- 音声電話中に静止画を撮影すると、通話が途切れる場合があります。
- 静止画撮影待機中に電話やプッシュトークが着信すると着信画面に切り替わります。
- 撮影直後に、着信やアラームなどで画面が切り替わると、画像が破棄されることがあります。

◆オートフォーカスを利用する

静止画撮影では、フルオートフォーカス機能や手動でのオートフォーカスを利用して、自動的にピントを調節して撮影できます。
- オートフォーカスでピントを合わせられる距離は30cm以上です。ただし、接写撮影を併用したときは約8～40cmになります。
- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - FOMA端末を動かしながら撮影する
  - 色の濃淡がない被写体や、動いている被写体を撮影する
  - 暗い場所や、撮影範囲内にライトなどがある場所で撮影する
- 撮影モードを「夜景」に設定しているときは利用できません。

❖フルオートフォーカスのON／OFFを切り替える

フルオートフォーカスを「ON」にすると、撮影時自動的にオートフォーカスが起動し、ピントを合わせた後にシャッターが切られます。
- 顔検出枠があるときは緑の顔検出枠にピントを合わせて撮影され、顔検出枠がないときは画面中央にピントを合わせて撮影されます。

1 静止画撮影画面で[サイドキー]

❖手動でオートフォーカスを起動する

- 通常スタイルで、[Auto Focus]が表示されているときに利用できます。

1 静止画撮影画面で[ ]

顔検出枠があるときは緑の顔検出枠に、顔検出枠がないときは画面中央にピントを合わせます。ピント調節されると確認音が鳴ります。
以降の操作→P200「カメラで静止画を撮影する」操作3以降
- 顔検出枠がないときはオレンジのフォーカス枠が表示され、ピント調節されると「＋」に変わります。

フォーカスを解除する：[ ]

❖タッチした箇所にピントを合わせる

- ビューアスタイルで、タッチオートフォーカスが「ON」のときに利用できます。→P209

1 静止画撮影画面でピントを合わせる箇所をタッチ

タッチした箇所またはタッチした顔検出枠にピントを合わせます。ピント調節されると確認音が鳴ります。
以降の操作→P200「カメラで静止画を撮影する」操作3以降

- 顔検出枠がないときはオレンジのフォーカス枠が表示され、ピント調節されると「+」に変わります。

フォーカスを解除する：**撮影画面をタッチ**

■ フルオートフォーカスが「ON」のとき

ピント調節した後にそのまま撮影されます。ピント調節の確認音は鳴りません。

◆ 連続撮影、4コマ撮影を設定する

静止画を連続で撮影できます。

連続撮影自動／連続撮影手動：設定した枚数を連続で撮影し、保存先が本体の場合はパラパラマンガの形式で、保存先がmicroSDカードの場合は1枚ずつの静止画として保存

4コマ撮影自動／4コマ撮影手動：4枚分を連続で撮影し、4コママンガ風に合成された1枚の静止画として保存

- 連続撮影自動と4コマ撮影自動は、約0.4秒間隔で撮影されます。ただし、撮影間隔は撮影条件により変わることがあります。
- 利用できる撮影サイズと、撮影する枚数は次のとおりです。

撮影サイズ	連続撮影自動 連続撮影手動	4コマ撮影自動 4コマ撮影手動
QCIF（176×144）	2～9※	－
縦長／横長QVGA（240×320、320×240）	2～9※	4
縦長／横長VGA（480×640、640×480）	2～6※	4
待受用／横長WVGA（480×864、864×480）	2～6※	4

※ 静止画詳細設定の連続撮影枚数で設定できます。（最大の枚数より大きい数値を設定しても、撮影できるのは最大の枚数までです。）

1 静止画撮影画面で[MENU] [6] ▶ [1]～[4]または[6]（ビューアスタイルでは[♪]▶「MENU」▶「連続撮影」▶設定する項目をタッチ）

- 画面のマークからも設定できます。→P207

✔**お知らせ**

- 連続撮影自動、連続撮影手動で撮影した静止画を1枚または複数選択で保存すると、選択しなかった画像は破棄されます。
- パラパラマンガ形式の画像は解除機能で1枚ずつの静止画にできます。このとき、ファイル名の末尾にそれぞれ「-1」～「-9」の番号が付きます。→P290
- 撮影中に電話やプッシュトークが着信したり、お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったり、通常スタイルとビューアスタイルを切り替えたり、FOMA端末を閉じたりすると、それぞれ次のように動作します。
  - 連続撮影自動、4コマ撮影自動は続行され、通話やアラームの終了後に保存確認画面が表示されます。
  - 連続撮影手動は中断され、保存確認画面が表示されます。
  - 4コマ撮影手動は中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。
  - 着信音およびアラームはシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。
- セルフタイマー設定中は、連続撮影手動、4コマ撮影手動はできません。

◆ 連続パノラマ撮影を設定する

カメラの方向を少しずつずらして連続撮影した2～8枚の静止画を横または縦に合成して、1枚の静止画にできます。

- 連続パノラマ撮影中は、結合部分側に1つ前の撮影画像の約5分の1が透過表示されます。透過部分を重ね合わせるようにして次の撮影を行います。
- 横に合成するときは右に、縦に合成するときは下に連続して撮影します。

透過部分を重ねる

- グリッドを表示していると、次の撮影時の透過部分を確認できます。

- 画像サイズ、最大画像サイズ、最大撮影枚数は次のとおりです。

画像サイズ	最大画像サイズ		最大撮影枚数
	横に合成	縦に合成	
縦長QVGA（240×320）	1584×320	2112×240	8
横長QVGA（320×240）	2112×240	1584×320	
縦長VGA（480×640）	1632×640	2176×480	4
横長VGA（640×480）	2176×480	1632×640	
待受用（480×864）	1248×864	2246×480	3
横長WVGA（864×480）	2246×480	1248×864	

- 次の場合は連続パノラマ撮影できません。
  - 電話帳、ｉアプリから静止画撮影を起動
  - フレーム使用中
  - ｉアプリ動作中
  - サイズ制限が「制限なし」以外
  - セルフタイマー設定中
  - 撮影モードが「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」

1 静止画撮影画面でMENU 6 ▶ 5 または 6 （ビューアスタイルでは▶「MENU」▶「連続撮影」▶「連続パノラマ撮影」または「OFF」をタッチ）

- 画面のマークからも設定できます。→P207
- ガイド表示領域左下に▭▸▯が表示されているときは横に、▯▸▭が表示されているときは縦に合成されます。

パノラマ撮影する方向を切り替える：iα

✔お知らせ

- 連続パノラマ撮影中に電話やプッシュトークが着信したり、お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったりすると、撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。
- 連続パノラマ撮影中に通常スタイルとビューアスタイルを切り替えたりFOMA端末を閉じたりすると、撮影が中断され、保存確認画面が表示されます。

動画撮影

カメラで動画を撮影する

- 各種の音量設定が「Silent」の場合やマナーモード中、公共モード中でもシャッター音は鳴ります。
- 動画／録音詳細設定で撮影種別を「音声のみ」に設定するとサウンドレコーダーとして起動します。
- ビューアメニューからも操作できます。→P40

1 📷（1秒以上）

撮影／録音待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

2 設定を確認してカメラを被写体に向ける

- 撮影時の設定を変更できます。→P205

保存した動画を確認する：📷（ビューアスタイルでは▶「一覧」をタッチ）

動画／録音詳細設定で設定した保存先の動画を確認できます。

動画の表示方法→P292、305

- 動画またはフォルダの一覧画面でCLRを押すと撮影／録音待機状態に戻ります。

3 ●または▲（ビューアスタイルでは「録画」または「録音」をタッチ）

シャッター音が鳴り、ディスプレイに●が表示され、撮影／録音が始まります。ランプが赤色で点滅します。

- 撮影種別が「音声のみ」でFOMA端末を閉じたときは、背面ディスプレイにインジケータが表示されます。

一時停止／再開する：撮影／録音中に📷（ビューアスタイルでは「ポーズ」／「再開」をタッチ）

一時停止するとランプが緑色に点灯し、●が▮▮に切り替わります。

- 一時停止するときと再開するときは、シャッター音が鳴ります。
- 通常スタイルでは、▲を押しても再開できます。

4 ●または▲（ビューアスタイルでは「停止」をタッチ）

シャッター音が鳴り、撮影／録音が終了します。

- 制限サイズや制限時間に達すると、撮影／録音が終了します。制限時間は、映像種別が「画像＋音声」または「画像のみ」の場合は180分（品質が「XQ」で画像サイズが「VGA（640×480）」のときのみ80分）、撮影種別が「音声のみ」の場合は720分です。

5 **撮影した動画を確認**

再生する：[カメラキー]（ビューアスタイルでは「再生」をタッチ）
撮影し直す：CLR（ビューアスタイルでは「戻る」をタッチ）
メールに添付する：[メールキー]
保存の確認画面が表示されます。
- 保存先がmicroSDカードの場合も、FOMA端末に保存されます。
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいとメールに添付できません。

待受画面（待受 i モーション）に設定する：MENU 2 1 ▶「はい」
動画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。
- 「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて動画を拡大して待受画面に表示されます。
- i アプリ待受画面が設定されているときは、続けて i アプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。
- 保存先がmicroSDカードの場合は待受画面に設定できません。
- 撮影種別が「音声のみ」の場合は待受画面に設定できません。

電話帳の画像に登録する：MENU 2 ▶ 2 または 3 ▶「はい」
動画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。
- 撮影種別が「画像のみ」の場合のみ電話帳の画像に登録できます。
- 更新登録するときは登録する相手を選択します。
- 次の場合は電話帳の画像に登録できません。
  - 保存先がmicroSDカードの場合
  - 画像サイズが「VGA（640×480）」の場合

タイトルを変更する：MENU 3 ▶ タイトルを入力（31文字以内）▶ [カメラキー]
- 表示名とタイトルが変更されます。表示名は保存後にも変更できます。→P310

保存先をFOMA端末／microSDカードに切り替える：MENU 5
- ファイルサイズが2Mバイト以下の場合のみ保存先を切り替えられます。

保存されている動画を一覧表示する：MENU 6 ▶ 1 または 2

6 **[●]または[サイドキー]（ビューアスタイルでは「保存」をタッチ）**

撮影した動画が i モーションの「カメラ」（保存先がmicroSDカードの場合、動画は「動画」、音声は「その他の動画」）フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- データによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影や録音ができない場合があります。
- 撮影中や録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されないことがあります。
- 撮影中や録音中に次のことがあった場合は保存確認画面が表示されます。
  - 電話やプッシュトークの着信
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定時刻になったとき
  - FOMA端末を閉じたとき※
  - 通常スタイルとビューアスタイルの切り替え※

  ※ 動画撮影中のみです。音声録音中は録音が続行されますが、開閉ロック中にFOMA端末を開くと中断されます。
- 電池が切れそうになると、撮影や録音は中断されます。
- 撮影中や録音中にアラームや電池アラームが鳴り、撮影や録音が中断された場合、保存した動画の最後にアラーム音が録音されることがあります。

サウンドレコーダー

サウンドレコーダーで音声を録音する

- 各種の音量設定が「Silent」の場合やマナーモード中、公共モード中でもシャッター音は鳴ります。
- 動画撮影時に動画／録音詳細設定で撮影種別を「音声のみ」に設定してもサウンドレコーダーが起動します。
- 利用する際の注意事項→P204「カメラで動画を撮影する」のお知らせ

1 **MENU［LifeKit］5**

録音待機状態になり、ランプが青色で点滅します。
以降の操作→P203「カメラで動画を撮影する」操作2以降
静止画撮影に切り替える：[iαキー]
動画撮影に切り替える：[メールキー]

静止画詳細設定・動画／録音詳細設定

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する

- 静止画と動画で、設定できる機能は異なります。

1 静止画撮影画面で[MENU][9]または動画撮影画面で[MENU][7]

- 撮影種別が「音声のみ」のときは録音画面で[MENU][1]を押します。

2 各項目を設定▶[カメラ]

画像サイズ：静止画撮影の場合、設定画面が表示され、使用できる機能が確認できます。→P208
サイズ制限：保存するファイルのサイズ制限値を設定します。→P208
画質：静止画撮影でのみ設定できます。→P208
品質：静止画撮影では設定できません。動画、サウンドレコーダーで設定は個別です。→P208
撮影種別：静止画撮影では設定できません。
連続撮影枚数：静止画撮影でのみ設定可能です。連続撮影自動、連続撮影手動で撮影する枚数を設定します。→P202
自動保存：「する」に設定すると、撮影や録音後の確認画面を表示せずにそのまま保存します。
保存先：撮影した画像や録音した音声の保存先を設定します。
シャッター音：撮影する際に鳴る音を選択します。各シャッター音にカーソルを合わせると、音が鳴ります。
- 操作確認音の静止画撮影／動画撮影シャッター音の各設定にも反映されます。

自動縦横判定：自動で縦撮影と横撮影を切り替えるかを設定します。静止画撮影でのみ利用できます。→P206
照明点灯時間：「端末設定に従う」に設定すると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）に従います。

✔お知らせ

- 静止画詳細設定画面または動画／録音詳細設定画面で[MENU]を押すと、撮影可能枚数または撮影／録音可能時間の目安が表示されます。
- 静止画撮影でWXGA（768×1280）以上の画像サイズとサイズ制限の「メール添付用（小）」は同時に設定できません。
- 照明点灯時間を「常時点灯」に設定して、FOMA端末のディスプレイの明るさ調整（→P101）を「自動調整」に設定していると、画面は最も明るくなります。

撮影時の設定を変える

- ビューアスタイルでの操作→P209
- サウンドレコーダーで設定できるのは「品質」「サイズ制限」のみです。

◆ズームする

撮影倍率を変更し、被写体を拡大して撮影します。
- 動画撮影時は、撮影中にも倍率を変更できます。
- 各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

<table>
<tr><th rowspan="2">画像サイズ</th><th colspan="2">最大倍率表示</th></tr>
<tr><th>静止画撮影時</th><th>動画撮影時</th></tr>
<tr><td>QCIF（176×144）</td><td>約16.0倍（32段階）</td><td>約16.0倍（8段階）</td></tr>
<tr><td>QVGA※（240×320）</td><td>約8.0倍（32段階）</td><td>約8.0倍（5段階）</td></tr>
<tr><td>VGA※（480×640）</td><td rowspan="2">約4.0倍（32段階）</td><td>約4.0倍（3段階）</td></tr>
<tr><td>待受用（WVGA）※（480×864）</td><td rowspan="5">—</td></tr>
<tr><td>WXGA※（768×1280）</td><td>約4.0倍（6段階）</td></tr>
<tr><td>フルHD※（1080×1920）</td><td rowspan="3">約2.0倍（6段階）</td></tr>
<tr><td>3.7M※（1440×2592）</td></tr>
<tr><td>5M※（1944×2592）</td></tr>
</table>

※ 静止画撮影では、縦長と横長の切り替えができます。

1 撮影画面で[上下キー]

押すたびにスライダの目盛が移動し、表示倍率が変わります。
- 動画撮影時は、スライダの上または右に倍率が表示されます。

◆ライトを点灯／消灯する

- 動画撮影時は、撮影中にもライトを点灯／消灯できます。
- ライトの点灯中、撮影お知らせランプは動作しません。

1 撮影画面で[メール]

点灯すると[ライトアイコン]が表示されます。

◆ 接写撮影のON／OFFを切り替える

「ON」にすると、約7～10cm離れた被写体にピントを合わせられます。
- オートフォーカスを併用すると、約8～40cm離れた被写体にピントを合わせられます。

1 撮影画面で［#］

「ON」のときは［接写］が表示されます。

◆ 全画面モードと標準画面モードを切り替える

全画面モードにすると設定アイコンやガイド表示領域が表示されません。
- 設定は、静止画撮影および動画撮影のビューアスタイルに反映されます。
- ビューアスタイルでは切り替えられません。

1 静止画撮影画面で［✂］

◆ 静止画撮影と動画撮影を切り替える

- 連続パノラマ撮影時には切り替えられません。
- ビューアスタイルでは切り替えられません。

1 撮影画面で［iα］

◆ セルフタイマーを設定する

設定時間が経過すると自動的にシャッターが切れるように設定します。
- 設定すると、撮影時にカウントダウンが始まり、カウントダウン音に合わせて、ランプが緑色で点滅します。残り秒数が少なくなると、カウントダウン音とランプの点滅が速くなります。
- オートフォーカスを併用すると、オートフォーカスが起動してからカウントダウンが始まります。手動でのオートフォーカスやタッチオートフォーカス利用時は、フルオートフォーカスの設定に関わらず、ピント調節された後にそのままカウントダウンが始まります。
- カウントダウンを中止するときは［📷］（ビューアスタイルでは［♫］）を押します。

1 静止画撮影画面で［MENU］［5］▶［1］～［5］

シャッターが切れるまでの秒数に応じて［2］～［15］が表示されます。

✔お知らせ
- 次のことがあるとカウントダウンが中断されます。
  - 電話やプッシュトークの着信
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったとき
  - ［MULTI］を押したとき
  - FOMA端末を閉じたとき
  - 通常スタイルとビューアスタイルの切り替え
- 連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影ではセルフタイマーを使用できません。

◆ 縦撮影と横撮影を切り替える〈自動縦横判定〉

撮影する際のFOMA端末の傾きに合わせて、保存される静止画の縦長／横長および天地が自動的に切り替わります。
- 静止画詳細設定の自動縦横判定が「ON」のときのみ切り替えられます。
- 次の場合は切り替わりません。
  - 連続パノラマ撮影時
  - 4コマ撮影手動で2枚目以降を撮影中
  - モーションセンサー設定が「OFF」のとき
- 保存後にも静止画を回転して縦長／横長を切り替えられます。→P290

1 静止画撮影画面でFOMA端末の方向を変える

［⌂］で上方向を示します。
- 上方向として判定できるのは、ディスプレイの上下左右4方向です。

■ 自動縦横判定が「OFF」のとき

通常スタイルでは縦長で、ビューアスタイルでは横長で撮影されます。上方向は一定です。
- 画像サイズがQCIF（176×144）のときは常に横長で撮影されます。

◆ 顔検出機能を設定／解除する

設定すると自動的に人物の顔が検出されます。オートフォーカス（→P201）を利用して撮影してください。
- 顔検出枠は最大10個表示されます。最も検出率の高い枠は緑色で、それ以外は白色で表示されます。
- 顔が検出されない場合、白いフォーカス枠が画面中央に表示されます。
- 撮影モードが「オート」「人物」「風景」「高感度」のときのみ設定できます。
- 歪み補正が「OFF」以外の場合は設定できません。

1 静止画撮影画面で［MENU］［7］［3］

✔お知らせ

- 次の場合や、その他撮影条件により、顔検出されないことがあります。
  - 顔が横や斜めを向いている、傾いている
  - 眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い
  - 顔が画面の端にある

◆ グリッドの表示／非表示を切り替える

グリッドは撮影時の目安になる格子状の直線です。撮影された画面には表示されません。

- フレームを設定しているときは表示できません。

1 静止画撮影画面で

◆ 共通再生モードのON／OFFを切り替える

「ON」にするとFOMA端末の機種に関わらず再生可能な動画を撮影できます。

- サイズ制限が「メール添付用（小）」、品質が「HQ（高品質）」以下、画像サイズが「QCIF（176×144）」に制限されます。
- ビューアスタイルでは切り替えられません。

1 動画撮影画面で MENU 6

「ON」のときはが表示されます。

◆ 画面のマークを使って設定する

画面下のマークを使って、撮影画面を表示したまま設定を変更できます。

〈例〉フレームを設定する

1 撮影画面で または 4

2

設定を変更せずに撮影画面に戻る：CLR

❖ 撮影モードを設定する

撮影状況や好みに合わせて、撮影モードを設定します。

：オート　：人物※1　：風景　：夜景※1　：逆光
：スポーツ　：文字※1　：高感度※1　：モノトーン
：セピア　：モノクロスケッチ※1、2、3　：カラースケッチ※1、2、3

※1　動画撮影時は設定できません。
※2　iアプリから起動した場合には設定できません。
※3　効果は撮影後に確認できます。

✔お知らせ

- 撮影画面で MENU 1 を押すと表示される撮影モードの一覧の下には、現在のカーソル位置の撮影モードの説明が表示されます。
- 静止画撮影で連続撮影自動、4コマ撮影自動のときは「夜景」に設定できません。
- 静止画撮影で「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定できるのは、待受用／横長WVGA（480×864、864×480）以下のサイズのみです。
- 静止画撮影で連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影のときは「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定できません。
- 「オート」以外に設定している場合、ホワイトバランスの設定を変更できません。また、明るさの設定は、「オート」に切り替えるまで保持されます。

❖ 明るさを調整する

撮影する静止画や動画の明るさを－2～＋2の5段階で調整します。

❖ ホワイトバランスを調整する

- 撮影モードが「オート」の場合、自然光や照明光のある場所で撮影するときに場に適した色合いに調整できます。

：オート　：太陽光　：くもり　：蛍光灯　：電球

❖ フレームを重ねて撮影する

FOMA端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを重ねて撮影できます。

：フレーム　：フレーム解除

- フレームを使用できるのは次のサイズです。
  静止画撮影時：待受用／横長WVGA（480×864、864×480）以下
  動画撮影時：QCIF（176×144）

解除する：4（1秒以上）
フレーム一覧を表示する：MENU 3 1
回転する：MENU 3 3
更新する：MENU 3 4

❖手ぶれを補正する

[icon]: 手ぶれを自動補正　[icon]: 設定を解除

✔お知らせ

- 次の場合、設定は「OFF」になります。
  - 連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影時
  - ｉアプリから静止画撮影を起動した場合、ｉアプリ動作中の場合
- 被写体や撮影状況により手ぶれ補正の効果が得られないことがあります。

❖歪みを補正する

静止画撮影時、画像の歪みを補正し、文字を読み取りやすくします。

[ABC]: 本や雑誌などの印刷物を撮影するとき

[icon]: 手書きの文字を撮影するとき　[OFF]: 設定を解除

✔お知らせ

- 次の場合、設定は「OFF」になります。
  - 連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影時
  - ｉアプリから静止画撮影を起動した場合、ｉアプリ動作中の場合
- 設定できるのは縦長／横長VGA（480×640、640×480）以上のサイズです。
- 歪み補正機能を使っても、完全に歪みを補正できるわけではありません。効果は被写体や撮影状況により異なります。被写体によっては補正を行わない方が自然な場合があります。
- 歪み補正使用時はオートフォーカスを使用することをおすすめします。

❖連続撮影、連続パノラマ撮影を設定する

- 連続撮影、連続パノラマ撮影→P202

[icon]: 連続撮影自動　[icon]: 連続撮影手動　[icon]: 4コマ撮影自動

[icon]: 4コマ撮影手動　[P]: 連続パノラマ撮影　[1]: OFF（1枚撮影）

❖静止画の画質／動画の品質を設定する

静止画撮影のとき

[FINE]: ファイン　[ST]: スタンダード　[ECO]: エコノミー

動画撮影のとき

[XQ]: XQ（最高品質）　[HQ]: HQ（高品質）　[STD]: STD（標準）

[LP]: LP（長時間）

- 撮影種別が「音声のみ」のときは、「HQ（高品質）」「STD（標準）」のみ設定できます。

❖ファイルサイズを制限する

- ファイルをｉモードメールに添付して送信する場合は「制限なし」以外に設定してください。

静止画撮影のとき

ファイルサイズが制限値より大きくなると、ファイルサイズを小さくして保存します。

- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。

[∞]**制限なし**：ファイルサイズを制限しません。

[icon]**メール添付用（大）**：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。ファイルサイズを変更せずに、ｉモードメールに添付できます。

[icon]**メール添付用（小）**：ファイルサイズを90Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

動画撮影のとき

ファイルサイズが制限値に達すると、撮影が終了します。

[∞]**制限なし**：ファイルサイズを制限しません。ただし、一度に撮影できる時間には制限があります。→P203

[icon]**メール添付用（大）**：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

[icon]**メール添付用（小）**：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

❖画像のサイズを設定する

静止画撮影のとき

[176×144]: QCIF　[240×320]: 縦長QVGA　[320×240]: 横長QVGA　[480×640]: 縦長VGA

[640×480]: 横長VGA　[480×864]: 待受用　[864×480]: 横長WVGA　[768×1280]: 縦長WXGA※1

[1280×768]: 横長WXGA※1　[1080×1920]: 縦長フルHD※1、2　[1920×1080]: 横長フルHD※1、2

[1440×2592]: 縦長3.7M※1、2　[2592×1440]: 横長3.7M※1、2

[1944×2592]: 縦長5M※1、2　[2592×1944]: 横長5M※1、2

動画撮影のとき

[176×144]: QCIF　[320×240]: QVGA　[640×480]: VGA※2

※1　撮影モードが「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定されている場合は選択できません。

※2　ｉアプリ動作中の場合は選択できません。

- QVGAよりも大きいサイズの静止画は、ｉモードメールに添付するときにサイズ変換の確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。
- 静止画詳細設定画面から設定を行う場合、画像サイズの選択画面で次のアイコンが表示されます。使用できない機能はグレーで表示されます。
  ：（左）手ぶれ補正、（右）歪み補正　：連続撮影
  ：連続パノラマ撮影および4コマ撮影　：フレーム設定
- 画像サイズの選択画面でMENUを押すと、撮影可能枚数の目安が表示されます。
- は、縦長／横長のサイズがあることを示します。

◆ちらつき調整をする

ちらつきを調整すると、蛍光灯などの照明下で画面にちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えることができます。

- ビューアスタイルでは操作できません。

1 撮影画面でMENU 2 3 ▶ 1 〜 3

自動：ちらつきを消すよう自動的に調整
50Hz（東日本）：東日本の電源周波数に合わせて調整
60Hz（西日本）：西日本の電源周波数に合わせて調整

- 「自動」に設定してもちらつきが消えないときは、お使いの地域に合わせて設定してください。
- カメラを終了しても、設定は保持されます。また、テレビ電話、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。

✔お知らせ

- 蛍光灯などの光が強く当たっている場所ではちらつきが消えない場合があります。
- ちらつき調整が「自動」に設定されているときに手ぶれ補正機能を使うと、ちらつき調整が十分にできないことがあります。お使いになっている地域に合わせてちらつき調整を設定することをおすすめします。

◆撮影時の設定を初期値に戻す

- 撮影モード、明るさ、ホワイトバランス、ちらつき調整の設定が初期値に戻ります。
- ビューアスタイルでは操作できません。

1 撮影画面でMENU 2 4 ▶「はい」

◆ビューアスタイルで撮影時の設定を変える

- でガイドメニューの表示／非表示を切り替えます。→P41
- 設定を変更する機能のビューアスタイルでの操作方法は次のとおりです。
  は静止画で、は動画で利用できることを示します。サウンドレコーダーで利用できるのは、「品質選択」と「サイズ制限選択」のみです。

機能・参照先	静止画	動画	ビューアスタイルでの操作
ズーム調整→P205	○	○	画面を左右にスライド※または▲▼
ライト切り替え→P205	○	○	「MENU」▶「ライト」▶項目選択
接写切り替え→P206	○	○	「MENU」▶「接写撮影」▶項目選択
セルフタイマー設定→P206	○	×	「MENU」▶「セルフタイマー」▶項目選択
縦／横撮影切り替え→P206	○	×	FOMA端末の方向を変える
顔検出切り替え→P206	○	×	「MENU」▶「顔検出」▶項目選択
タッチオートフォーカス切り替え→P202	○	×	「MENU」▶「その他」▶「タッチオートフォーカス」▶項目選択
グリッド表示切り替え→P207	○	×	「MENU」▶「その他」▶「グリッド表示」▶項目選択
撮影モード選択→P207	○	○	「MENU」▶「撮影モード」▶項目選択 • 静止画撮影中は一部項目でさらに「その他」
明るさ調整→P207	○	○	「MENU」▶「カメラ調整」▶「明るさ」▶項目選択 • 動画撮影中は「カメラ調整」は不要です。
ホワイトバランス調整→P207	○	○	「MENU」▶「カメラ調整」▶「ホワイトバランス」▶項目選択 • 動画撮影中は「カメラ調整」は不要です。
フレーム設定→P207	○	○	「MENU」▶「その他」▶「フレーム」▶項目選択
手ぶれ補正→P208	○	○	「MENU」▶「その他」▶「手ぶれ補正」▶項目選択
歪み補正→P208	○	×	「MENU」▶「その他」▶「歪み補正」▶項目選択
連続撮影、連続パノラマ撮影選択→P202	○	×	「MENU」▶「連続撮影」▶項目選択

機能・参照先	[静止画]	[動画]	ビューアスタイルでの操作
画質選択→P208	○	×	「MENU」▶「その他」▶「画質」▶項目選択
品質選択→P208	×	○	「MENU」▶「品質」▶項目選択
サイズ制限選択→P208	○	○	「MENU」▶「その他」▶「サイズ制限」▶項目選択 • 動画撮影中は「その他」は不要です。
画像サイズ選択→P208	○	○	「MENU」▶「画像サイズ」▶項目選択

※ タッチオートフォーカスが「OFF」の静止画撮影中および動画撮影中は、画面の右側（標準画面モードで時刻が表示される位置より右）でのみスライドが有効です。

通話中に撮影した静止画を送信する

- 静止画詳細設定で保存先を「microSD」に設定しても、画像はFOMA端末に保存されます。
- 静止画詳細設定で保存先が「microSD」かつ自動保存が「する」の場合は送信できません。

1 通話中に[MENU][9]▶静止画を撮影

撮影のしかた→P200「カメラで静止画を撮影する」
- 連続撮影した場合は、撮影した静止画がサムネイル表示されます。送信する静止画にカーソルを合わせてください。
- 静止画詳細設定で自動保存が「する」の場合はメール添付の確認画面が表示されます。
- [CLR]または[終話]を押すと撮影が終了し、通話中の画面に戻ります。

2 [メール]▶「はい」

静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。
- 画像サイズによっては、QVGAサイズへの変換確認画面が表示されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、ファイルサイズ調整の確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイト以内のファイルサイズで保存されます。
- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文貼り付け確認画面が表示されます。
- 通話相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。
- iモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときは[CLR]または[終話]を押します。

3 iモードメールを編集▶[カメラ]

iモードメールを送信して、撮影待機中の画面に戻ります。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コード、CODE128コードの情報を読み取り、利用できます。情報は最大5件保存できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 横幅の長いコードは全体を画面に写そうとするとピントがぼけて認識できない場合があります。オートフォーカスを使用するか、コードの中心に向かってピントが合う程度までFOMA端末を近づけると、認識しやすくなります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- 文字入力画面から起動して、読み取った情報を入力できます。→P354

■ JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。

■ QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。

■ NW7コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。

■ CODE39コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字と記号を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。

■ CODE128コードとは

幅の異なる縦の線（バー）でASCII文字を表現しているバーコードです。

※ CODE128コードを読み取るには対応しているｉアプリをダウンロードする必要があります（→P260）。画面の指示に従ってコードを読み取ってください。

JANコードの一例

読み取れる情報
「4942857315721」

QRコードの一例

読み取れる情報
「株式会社NTTドコモ」

NW7コードの一例

読み取れる情報
「A123456789012A」

CODE39コードの一例

読み取れる情報
「*123456ABC*」

◆ コードを読み取る

1 [MENU]［LifeKit］[1]

バーコードリーダーが起動して、自動的に接写撮影に切り替わり、ズームがONになります。カメラをコードから約7～10cm離して読み取ってください。

- コード読み取り待機中は次の操作ができます。
  [↑]：ズームON　[↓]：ズームOFF
  [✉]：ライトON（ ）／ライトOFFの切り替え
  [#]：接写撮影OFF／接写撮影ON（ ）の切り替え
  [●]、[ ]：オートフォーカスの切り替え
- オートフォーカスのアイコンは状態によって次のように変化します。
  AF(黒)：ピント調節中　AF(緑)／AF(赤)：ピント調節成功／失敗
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。また、ズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。

ちらつき調整をする：[MENU][2]▶[1]～[3]

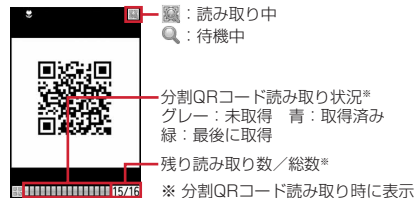
お使いの地域の電源周波数を選択してください。「自動」を選択すると電源周波数は自動的に調整されます。

- バーコードリーダーを終了しても、設定は保持されます。また、テレビ電話、カメラのちらつき調整の設定にも反映されます。

静止画撮影または動画撮影に切り替える：[MENU][4]▶[1]または[2]

- カメラや待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は切り替えられません。

2 カメラをコードに合わせる

自動的にコードが読み取られます。読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが、全角5500（半角11000）文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが保存はできます。

分割されたQRコードを読み取るとき

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

- 読み取りを中止する：[CLR]▶「はい」

3 読み取りデータを利用する

データを保存する：[MENU][4]

- 最大5件保存できます。既にデータを5件保存しているときや保存領域の空きが足りないときは、確認画面が表示されます。

コードを読み取り直す：[📷]

文字情報をコピーする：[MENU][1]▶**コピーする範囲を選択**

コピー／貼り付け情報→P354

情報を電話帳に登録する：情報にカーソル▶[MENU][3]▶[1]**または**[2]▶[1]**または**[2]

- 更新登録するときは登録する相手を選択します。

情報を電話帳に一括登録する：「電話帳登録」▶1または2
情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。
ｉモードメールを送信する：メールアドレスまたは「メール作成」を選択
宛先が入力されているメール作成画面が表示されます。
サイトまたはインターネットホームページに接続する：URLを選択▶「はい」
• iαを押すとフルブラウザで接続します。
URLをブックマークに登録する：
① URLにカーソル▶MENU33
• 「ブックマーク登録」を選択しても登録できます。
② 登録先フォルダを選択
以降の操作→P175「ブックマークに登録する」操作2
ｉアプリを起動する：「ｉアプリ起動」
音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかける：電話番号を選択▶発信条件を設定▶MENU
条件を設定して電話をかける→P64
SMSを送信する：電話番号を選択▶発信方法欄を選択▶4▶MENU▶「はい」
選択した電話番号を宛先として、SMSを作成し送信できます。
SMSの作成・送信方法→P164
静止画ファイルを保存する：静止画ファイルを選択▶「保存」
以降の操作→P178「画像をダウンロードする」操作2以降
• 本体に保存する場合、保存先はマイピクチャの「デコメピクチャ」または「データ交換」フォルダを選択します。デコメ®絵文字の規格に該当する画像（→P288）の場合、「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
• 「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。
メロディデータを保存する：メロディデータを選択
以降の操作→P179「データをダウンロードする」操作2
• 本体に保存する場合、保存先はメロディの「データ交換」フォルダになります。
• 「再生」を選択すると、メロディデータが再生されます。
トルカを保存する：トルカを選択
以降の操作→P179「データをダウンロードする」操作2

✔お知らせ
• コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などを調節することにより、読み取れることがあります。
• 次の場合は、コードを読み取ったときに確認音が鳴りません。
  - マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中
  - キー確認音が「OFF」のとき（オリジナルマナーモードの設定を含む）
  - 音量設定の「キー／開閉操作音量」が「Silent」のとき

◆ 保存した読み取りデータを利用する

1 MENU［LifeKit］1▶📷

2 読み取りデータを選択

読み取りデータの利用→P211「コードを読み取る」操作3
読み取りデータを削除する：読み取りデータにカーソル▶MENU3▶1または2▶「はい」
• 全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ
• ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。
• データのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子になります。拡張子は「jan」（JANコード）、「qr」（QRコード）、「nw7」（NW7コード）、「c39」（CODE39コード）です。既に同じ日時で保存したデータがある場合は、ファイル項番が+1されます。ファイル名は変更できません。

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

- 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会
  パソコン：http://www.dpa.or.jp/
  ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

◆ ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報には、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。また、「ｉモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
- 「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。

◆ 電波について

ワンセグは、放送サービスの一つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

◆ 初めてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
了承し、「OK」を押すと、以後同様の確認画面は表示されません。

◆ 放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。
放送用保存領域を消去する→P226
別のFOMAカードに差し替えた場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「いいえ」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■ 放送用保存領域の読み出し時の画面表示

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。「はい」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、「はい（以後非表示）」を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

ワンセグをご利用になる前に

■ ワンセグの視聴手順

ステップ 1

ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを作成・設定します。→P215

ステップ 2

ワンセグを起動します。→P216

■ ワンセグアンテナについて

- ワンセグアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件でワンセグを利用するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてください。→P26

■ ワンセグ視聴中に着信やアラームの起動があったときは

- ビューアスタイルでは、起動した機能に切り替わります。縦画面ではワンセグ視聴と起動した機能がマルチウィンドウで表示されます（→P221）。機能を終了すると、ワンセグ視聴に戻ります。

✔お知らせ

- ｉアプリが起動すると、ワンセグ視聴は中断されます。TVを1秒以上押すたびにワンセグ視聴とｉアプリを切り替えられます。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が端末内に保存された情報（ワンセグで録画した静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など）は移し替えできません。
- 充電しながら長時間ワンセグを視聴すると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

チャンネルを設定する

放送局とチャンネルを登録したチャンネルリストを作成し、視聴する地域に合わせて設定する必要があります。最大10件登録できます。

◆ チャンネルリストを作成する

次のどちらかの方法で作成します。

プリセットから設定：受信できる放送局とチャンネルが、地域ごとにあらかじめ登録されています。地域の一覧から設定してください。

自動チャンネル設定：現在いる場所で受信できる放送局とチャンネルを自動的に検索して設定します。地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。

- 視聴する場所によっては、プリセットの地域のチャンネルが視聴できないことがあります。その場合は、自動チャンネル設定を行います。

1 MENU［LifeKit］9 7 ▶ 📷

- チャンネルリストがない場合は、確認画面が表示されます。

2 作成方法を選択

プリセットから設定する：「プリセットから設定」▶地域を選択▶都道府県を選択▶市町村を選択

- 地域によっては都道府県や市町村の選択が省略される場合があります。

自動検索して作成する：「自動チャンネル設定」▶「はい」▶地域を選択

自動チャンネル設定が開始され、終了すると確認画面が表示されます。

- 「いいえ」を選択するとそのまま自動チャンネル設定中の画面が表示されます。このときチャンネルリスト名は設定した日時になります。
- 選択した地域のチャンネルが優先的に検索されます。
- 自動チャンネル設定を中断するときは●を押し、「はい」を選択します。

3 「はい」

チャンネルリストが作成されます。

✔お知らせ

- 自動チャンネル設定でチャンネルを検索するには約60秒かかります。放送局の数や放送電波の状態によってはさらに時間がかかる場合があります。
- パソコンや他の液晶テレビなどノイズの多い機器の近くで自動チャンネル設定を行うと、時間がかかる場合があります。
- 自動チャンネル設定中は、操作確認音が鳴りません。
- 録画中は自動チャンネル設定はできません。

◆ 利用するチャンネルリストを設定する

- 録画中は利用するチャンネルリストを設定できません。
- チャンネルリストが1件のみの場合は、自動的に利用するチャンネルリストに設定されます。

1 [MENU]［LifeKit］[9][7]

チャンネルリスト一覧が表示されます。
ワンセグ視聴中にチャンネルリストを表示する：**ワンセグ視聴画面で[MENU][3]**

2 **チャンネルリストにカーソル▶[✉]**

利用するチャンネルリストに設定されチャンネル番号一覧が表示されます。
- ワンセグ視聴中に設定すると、すぐにワンセグ視聴画面が表示されます。
- チャンネルリスト一覧では設定したチャンネルリストに☑が表示されます。

◆ チャンネルリストを操作する

- チャンネルリスト一覧の表示方法→P216

チャンネル番号一覧を表示する：**チャンネルリストを選択**
チャンネルリストを更新する：**チャンネルリストにカーソル▶[MENU][4]**
以降の操作→P215「チャンネルリストを作成する」操作2以降
チャンネルリストを削除する：**[MENU][5]▶[1]または[2]▶「はい」**
- 1件削除ではカーソルを合わせたチャンネルリストが削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

チャンネルリスト名を変更する：**チャンネルリストにカーソル▶[MENU][2]▶チャンネルリスト名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶[📷]**

■ チャンネル番号一覧の操作

ワンセグ視聴を起動する：**チャンネルを選択**
チャンネル番号を入れ替える：**チャンネルにカーソル▶[MENU][1]▶入れ替え先のチャンネルを選択**
チャンネルを削除する：**チャンネルにカーソル▶[MENU][2]▶「はい」**

✔お知らせ

- ワンセグ視聴中は使用中のチャンネルリストで次のことができません。
  - チャンネルリストの更新、削除
  - チャンネル番号の入れ替え
  - 登録されているチャンネルの削除

ワンセグ視聴

ワンセグを見る

- 初めて利用するときは確認画面が表示されます。→P214
- ビューアメニューからも操作できます。→P40

1 **[TV]（1秒以上）**

- 前回視聴したチャンネルが表示されます。チャンネルリストが未設定の場合は、確認画面が表示されます。「OK」を押してチャンネルリストを作成します。→P215「チャンネルリストを作成する」操作2以降

✔お知らせ

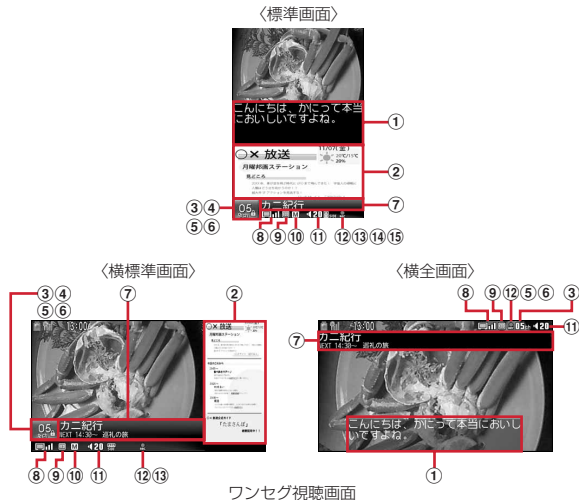
- 次の方法でもワンセグ視聴を起動できます。
  - 番組表ｉアプリ、メール、メッセージR/F、ｉチャネル、サイトやホームページなどに表示されているワンセグ視聴用情報などを選択する（Media To）→P180
  - 視聴予約→P223
- ワンセグ利用、放送用保存領域など、操作中に「はい（以後非表示）」を選択した確認画面は、FOMAカードの差し替えや確認表示設定リセットを行うまで表示されません。
- 確認画面で「はい（以後非表示）」を選択すると、確認なしにデータ放送やデータ放送サイトの情報が更新されるなどでパケット通信料がかかる場合があります。

◆ 画面の見かたと操作

- 選局中に放送圏外になった場合などは映像、データ放送ともに黒い画面が表示されます。
- ディスプレイ上部に[アイコン]と放送局からのメッセージが表示されることがあります。

〈標準画面〉

〈横標準画面〉 〈横全画面〉

ワンセグ視聴画面

① **字幕（字幕情報がある場合）**
- 横標準画面では、③～⑬の代わりに字幕が表示されます。

② **データ放送またはデータ放送サイト**
- 全画面でも表示できます（データ放送全画面）。

③ **現在選局されているリモコン番号**

④ **選局不可**

⑤ **複数番組放送**
1つのチャンネルで複数の番組（サービス）が放送されているときに表示されます。縦画面では番組を切り替えて視聴できます。→P218
切り替え操作は縦画面でのみ可能です。

⑥ **タイムシフト再生**
[PLAY]：タイムシフト再生中　[×1.3]：タイムシフト早送り再生中

⑦ **放送局名（選局中）／番組名（選局終了）**
- 視聴中に番組が放送休止になった場合は「放送休止中」と表示されます。
- 横画面では次の番組の名前と放送開始時間も表示されます。

⑧ **ワンセグ受信の状態**

[アイコン]：放送圏外

⑨ **ワンセグECOモード**

⑩ **音声の状態**
[S]：ステレオ　[M]：モノラル　[主]：主音声　[副]：副音声
[主・副]：主音声＋副音声

⑪ **音量**
[アイコン]／[アイコン]：音声出力可／不可
[アイコン]（縦画面）、[アイコン]（横画面）：[▲][▼]で音量調整（横全画面では操作可能でも表示されません）

⑫ **録画中（録画時間設定中は残り時間も表示）**

⑬ **オフタイマー**
[OFF]＋残り時間：オフタイマー設定中、または視聴予約で「終了日時」設定中
- 残り時間が99分を超える場合は[OFF]のみ表示されます。

[OFF]＋[→|]：オフタイマー設定中（番組終了まで）、または視聴予約で「終了日時」を「自動延長対応」に設定中

⑭ **ブラウザ機能の状態**
[DATA]：データ放送またはデータ放送サイトでダイヤルキーで項目が選択できる場合

⑮ **キーガイダンス**
[アイコン][TV]：ワンセグ視聴とその他の機能を同時に実行中に機能を切り替えできる場合

❖視聴中の操作

[▲][▼]：音量調整
[▼]（1秒以上）：消音
[i α]：標準画面／データ放送全画面の切り替え
[📷]：番組表 i アプリ起動
[⌒]▶「はい」：ワンセグ視聴終了

データ放送全画面を除く

[1]～[9]、[*]、[0]、[#]：ワンタッチ選局※1
[◐]：前後のチャンネルを選択、1秒以上押すと受信可能な前後の周波数をサーチ※2
[✉]：字幕の表示／非表示の切り替え（字幕情報がある場合）
[♪]：静止画保存→P223、1秒以上押すとビデオ録画開始／停止→P222

データ放送全画面

[◐]：前後のページへ移動※3

データ放送表示領域あり

[○]：データ放送表示領域でカーソルを移動
[♪]、[CLR]：先頭のページに戻る※4

データ放送表示領域なし

[○]：音量調整
[○]（1秒以上）：消音

※1 13ch以降はチャンネル番号一覧から選択できます。
※2 場所を移動したときなどにサーチすると、登録されていない放送局が受信できる場合があります。受信できないときは、視聴中のチャンネルに戻ります。受信できた放送局は、チャンネルに追加登録できます。なお、チャンネルサーチは周波数順に検索するため、リモコン番号の順番どおりに検索されない場合があります。
※3 前後のページがキャッシュに保存されているときに操作できます。
※4 表示されているコンテンツによっては、前のページに戻るなどの動作になる場合があります。

チャンネル番号一覧を確認する：[MENU][1]

番組情報を確認する：[MENU][2]

- 設定されていなかったり読み込めなかったりすると、表示されない情報があります。

チャンネルリストを切り替える：[MENU][3]

以降の操作→P216「利用するチャンネルリストを設定する」操作2
チャンネルリストの操作→P216「チャンネルリストを操作する」

録画可能時間／件数を確認する：[MENU][4][3]

録画したビデオ／静止画を削除する：[MENU][4][4]▶フォルダを選択▶ビデオ／静止画を選択▶「はい」

- 一覧画面で[MENU]を押すと詳細情報の確認、[i α]を押すとリスト表示とサムネイル表示の切り替えができます。ただし、「ビデオ（microSD）」ではサムネイル表示はできません。→P319

オフタイマーを設定／解除する：[MENU][5]▶[1]～[5]

紹介メールを作成する：[MENU][6][2]

視聴している番組のワンセグ視聴用情報（Media To）が本文に入力されたメール作成画面が表示されます。

視聴中のチャンネルをチャンネルリストに登録する：[MENU][8][5]▶チャンネルを選択

- 既に登録されているチャンネルを選択した場合は、確認画面が表示されます。最大62件登録できます。

視聴するサービスを切り替える：[MENU][8][6]▶[1]～[3]

- 同じチャンネル内に別の番組（サービス）が放送されている場合に操作できます。

ワンセグECOモードのオン／オフを切り替える：[MENU][8][7]

オンにすると、照明設定が無効になり、画面を少し暗くして、ワンセグ視聴による電力の消費を抑えます。明るい場所では効果を十分に得られないことがあります。

Bluetooth機器を使って音声を出力する：[MENU][8][8]

Bluetooth機器の一覧が表示されます。
以降の操作→P344「FOMA端末とBluetooth機器を接続する」操作2

- Bluetooth機器が接続されていると、音声設定の「Bluetooth音声出力確認」の設定により、音声出力確認画面が表示されます。→P226

キー操作一覧を表示する：[MENU][9]

❖ビューアスタイルでワンセグ視聴するとき

- [♪]、[▲]、[▼]はメニューやパネルが表示されているとき以外は、縦画面と同様に操作できます。

チャンネルを選択する：左右にスライド▶[◁]／[▷]をタッチ

音量を調整する：上下にスライド▶音量調整パネル上を上下にスライド

ビデオの録画を開始する：画面をタッチ▶「MENU」▶「録画開始」

ビデオ録画→P222

チャンネル番号を一覧表示する：画面をタッチ▶「CH一覧」

- 10以上のチャンネルがあるときは[◀]／[▶]をタッチしてページを切り替えられます。

横標準画面／横全画面を切り替える：画面をタッチ▶「画面切替」

字幕の表示／非表示を切り替える：画面をタッチ▶「字幕」

ワンセグECOモードのオン／オフを切り替える：画面をタッチ▶「MENU」▶「ECOモードをオン」／「ECOモードをオフ」
タッチ操作のヘルプを表示する：画面をタッチ▶「MENU」▶「ヘルプ」
ワンセグ視聴を終了する：画面をタッチ▶「MENU」▶「終了」▶「はい」

❖タイムシフト機能

視聴中（選局中を除く）に音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発着信があったときは、通話中に受信していた映像が3分程度自動的に再生されます。通話を終了すると、通話中の映像再生の確認画面が表示されます。
通話中の部分の再生が終了した後も、続けて番組を再生します。
- イミテーションコール通話中は起動しません。
- データ放送は利用できません。
- 通話時間が長くなると、最初の方の映像は上書きされることがあります。
- 早送り再生は音声が聞き取りにくい場合があります。

タイムシフト再生中の操作
[Q]：通常再生から早送り再生に切り替える
- ビューアスタイルでは右へスライドまたは[▲]を1秒以上押します。

[📷]：早送り再生から通常再生に切り替える
- ビューアスタイルでは左へスライドまたは[▼]を押します。

[CLR]▶「はい」：タイムシフト再生から通常の視聴に戻る
- ビューアスタイルでは画面にタッチして「視聴に戻る」をタッチします。

✔お知らせ
- 場所によって受信できないチャンネルがあります。チャンネルリストの更新や、自動チャンネル設定を行うと、受信できることがあります。→P215
- 放送電波の状態などにより、音声が途切れる、データ放送が操作できない、映像にブロック状のノイズが入る、または停止することがあります。
- ワンセグ視聴の起動時やチャンネルを切り替えたときは、視聴できるまでに少し時間がかかります。
- オフタイマーの終了時間になると、視聴終了の確認画面が表示されます。そのまま30秒間操作しないと、ワンセグ視聴は終了します。
- 視聴予約、サイト、メールなどに表示されているワンセグ視聴用情報や番組表からワンセグ視聴を起動したときに、起動元の情報に終了日時が指定されていると、自動的にオフタイマーが設定されます。
- オフタイマーを「番組終了まで」に設定しているときに別のチャンネルを選択すると、オフタイマーの終了時間は新たに選択したチャンネルで放送されている番組の終了時間に変更されます。ただし、情報がない場合は変更されません。

番組表ｉアプリを利用する

番組表からワンセグ視聴を起動したり、視聴予約や録画予約をしたりできます。
- お買い上げ時には番組表ｉアプリとして「Gガイド番組表リモコン」が登録されています（→P249）。利用する番組表ｉアプリは、ｉアプリのソフト動作設定の「番組表ボタン設定」で設定できます（→P245）。
- 初めて番組表ｉアプリを利用するときは、初期設定が必要です。

1 [MENU]［LifeKit］[9][2]

お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。
- [MENU]を押すと、選択しているチャンネルで放送中の番組を視聴できます。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

データ放送

データ放送を利用する

番組と連動したサイトなどで、さまざまな情報を利用できます。
- ビューアスタイルでは表示のみできます。
- データ放送とデータ放送サイトについて→P214「ワンセグのご利用にあたって」

1 **ワンセグ視聴画面（標準画面）またはデータ放送全画面で[◎]▶項目を選択**

データ放送からサイト表示などに移ります。
画面表示中の操作→P218
- 選択した項目により、確認画面が表示されます。「はい（以後非表示）」を選択すると、次回から確認なしにデータ放送・データ放送サイトの情報が自動的に更新される場合があります。このとき、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。

前後のページへ移動する：[MENU][7]▶[1]または[2]
再読み込みする：[MENU][7][3]
証明書の詳細を表示する：[MENU][7][4]
画像や効果音を設定する：[MENU][7][5]▶各項目を設定▶[📷]
データ放送に戻る：[MENU][7][7]

✔お知らせ

- 放送用保存領域の空きが足りない場合は、確認画面が表示されます。上書きする場合は、画面の指示に従って上書きを行ってください。
- クローズ動作設定（→P226）を「継続」または「ミュート」にしていると、FOMA端末を閉じているときでも情報が更新され、パケット通信料がかかる場合があります。

テレビリンク

テレビリンクを利用する

データ放送、データ放送サイトによっては、サイトやメモ情報をテレビリンクに登録できます。テレビリンクに登録しておくと、直接目的のサイトやメモ情報を表示できます。

- 登録した内容はワンセグのみで利用できます。

◆テレビリンクに登録する

- 最大50件登録できます。

1 テレビリンク登録可能な項目を選択▶「はい」▶フォルダを選択

- 同じURLやメモ情報を登録しようとしたり、保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超える場合は、確認画面が表示されます。

◆登録したテレビリンクを表示する

1 MENU［LifeKit］9 6

ワンセグ視聴中にテレビリンクを表示する：ワンセグ視聴画面で MENU 7 6

2 フォルダを選択▶テレビリンクを選択

- サイトを表示したときに自動的にテレビリンクリスト一覧の確認画面が表示されることがあります。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：フォルダ　：空のフォルダ　：データ放送サイトへのリンク
  - ：ｉモードやフルブラウザでのサイトやホームページへのリンク
  - ：メモ情報

3「はい」

詳細画面を表示する：📷

テレビリンクを管理する

テレビリンクを移動、削除したり、フォルダを使ってテレビリンクを整理したりします。フォルダは最大20個作成できます。

1 MENU［LifeKit］9 6

フォルダ内のテレビリンクを削除する：フォルダを選択▶MENU 2▶1～3▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたテレビリンクが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。

テレビリンクを全件削除する：MENU 4▶認証操作▶「はい」

テレビリンクを移動する：フォルダを選択▶MENU 3▶1または2▶移動先のフォルダを選択

- 1件移動ではカーソルを合わせたテレビリンクが移動されます。
- 選択移動では選択操作▶📷が必要です。

フォルダを作成する：MENU 1▶フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶📷

フォルダを削除する：フォルダにカーソル▶MENU 2▶認証操作▶「はい」

- フォルダが1つのみのときは削除できません。

フォルダ名を変更する：MENU 3▶フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶📷

フォルダの並び順を変更する：フォルダにカーソル▶MENU▶5または6

マルチウィンドウでワンセグを視聴する

縦画面を2分割して、ワンセグを視聴しながら他の機能を利用できます。

❖ワンセグ視聴中に他の機能を利用する

ワンセグ視聴と次の機能を同時に使用するとマルチウィンドウが表示されます。

- 音声電話※1、プッシュトーク※1、イミテーションコール
- メール表示※2、3、メール作成、ｉモード問合せ
- ｉモード、フルブラウザ、ｉチャネル
- ｉアプリ一覧、ｉアプリの照明設定、バイブレータ設定
- 電話帳、プッシュトーク電話帳、着信履歴、リダイヤル、伝言メモ、音声メモ、メール送受信履歴、プロフィール情報
- 画像の一覧、動画／ｉモーション一覧・詳細情報※4、マイドキュメント・その他の一覧・詳細情報、Word・Excel・PowerPointのファイル表示
- 赤外線通信／iC通信、パソコンとつないだパケット通信、microSDカード※5、6、電話帳お預かりサービス※5、GPS※7、ウォーキングチェッカー、ICカード一覧、ワンセグの予約リスト
- テキストメモ、目覚まし、電卓、辞典、お知らせタイマー
- 電話着信音量、メール・メッセージ着信音量、ｉコンシェル着信音量、ｉアプリ音量、メロディ音量、フィンガーポインター設定、省電力モードON／OFF
- スケジュールや目覚まし、お知らせタイマーのアラーム※8

※1　ワンセグ視聴は中断されます。
※2　受信メールの場合、添付されたメロディ、デコメール®やデコメアニメ®のFlash画像の効果音は再生できません。
※3　電話帳登録されていない相手からの受信メールやSMSの詳細表示はできません。
※4　動画／ｉモーションの再生および再生画面からの詳細情報はマルチウィンドウで表示できません。
※5　microSDカードのメールや電話帳お預かりサービスでお預かりセンターに預けているメールをFOMA端末に保存する場合、マルチウィンドウで表示できません。
※6　microSDカードのメールを表示するときはマルチウィンドウで表示できません。
※7　GPSで測位や通信を行うとマルチウィンドウは終了します。
※8　ワンセグ視聴中にアラームが起動したときにマルチウィンドウで表示されます。アラーム音がｉモーションのときはワンセグ画面に「視聴中断中です」と表示されます。

1　縦画面でワンセグ視聴中に MULTI ▶ 機能を選択

映像、字幕、チャンネル、放送局／番組名、ワンセグ受信の状態、音量、録画中アイコン、キーガイダンス、データ放送が表示されます。

ワンセグ視聴中にメールを作成するとき

マルチウィンドウとワンセグ視聴画面を切り替える：TV（1秒以上）

- ワンセグ視聴とフルブラウザ、またはWord・Excel・PowerPointのファイル表示を同時に利用しているときは、TVを1秒以上押すたびに、マルチウィンドウ→同時利用している機能の画面→ワンセグ視聴画面の順で切り替わります。

✔お知らせ

- ビューアスタイルでワンセグ視聴中に着信やアラームの起動があった場合、縦画面にするとマルチウィンドウになります。
- 他の機能を選択してマルチウィンドウになっても、ワンセグの映像が表示されなかったり、他の機能の表示中にワンセグの音声が継続して聞こえたりする場合があります。

❖ワンセグ視聴中に音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があったとき

着信音が鳴り、マルチウィンドウの画面に切り替わります。

- ワンセグ画面には「視聴中断中です」と表示され、ワンセグの映像と音声が中断されます。
- テレビ電話の通話中はマルチウィンドウになりません。
- 通話を終了すると通話中に受信した番組を視聴できます。→P219

❖ワンセグ視聴中にメール、メッセージR/F、SMSを受信したとき

受信・自動送信表示設定が「通知優先」のときは、自動的にマルチウィンドウの画面に切り替わります。受信結果画面の表示が終了すると、ワンセグ視聴画面に戻ります。

ワンセグ録画

視聴中にワンセグを録画する

映像、音声、データ放送を録画したり（ビデオ録画）、放送中の映像を静止画として保存したりします（静止画録画）。

- ビデオはデータBOXの「ワンセグ」の「ビデオ（本体）」または「ビデオ（microSD）」フォルダに保存され、静止画は「ワンセグ」の「イメージ（本体）」フォルダに保存されます。
- ビデオの表示名には番組名が、静止画の表示名には保存日時が付けられます。ファイル名は、保存した日時が付けられます。ただし、microSDカードに保存したビデオのファイル名は異なります。→P301
- 録画が禁止されている番組は録画できません。また、放送波の受信状態が良くないときは録画できないことがあります。
- 録画したデータはメール添付や赤外線通信／iC通信で送信できません。また、待受画面などにも設定できません。
- 録画したビデオや静止画を見る→P319
- ビデオ録画はFOMA端末に最大10件、microSDカードに最大99件、静止画録画は最大100件保存できます。録画できる時間の目安はFOMA端末で最大約37分（削除可能なプリインストールデータ削除時）、2GバイトのmicroSDカードで最大約640分です。
- 1回あたりのビデオ録画は、録画データが2Gバイトに達すると終了します。時間にして約11時間です。放送内容などにより、録画時間は前後することがあります。

◆ビデオを録画する

- データ放送全画面では録画できません。
- 録画設定→P226

1 **ワンセグ視聴画面で［キー］（1秒以上）（ビューアスタイルでは「MENU」▶「録画開始」をタッチ）**

ワンセグの録画が開始されます。
- 録画中はチャンネルの切り替えや自動チャンネル設定、オフタイマーの使用、サービス切替はできません。

2 **［キー］（1秒以上）（ビューアスタイルでは「MENU」▶「録画のみ終了」をタッチ）**

録画が終了して、視聴が続きます。

視聴のみ終了して録画を続ける：［キー］▶「視聴のみ終了」（ビューアスタイルでは「MENU」▶「視聴のみ終了」をタッチ）

待受画面に［アイコン］が表示されます。
- 録画終了時間の設定より前に録画を終了したいときは、［アイコン］を選択して「はい」を押します。

録画と視聴両方を終了する：［キー］▶「はい」（ビューアスタイルでは「MENU」▶「録画・視聴を終了」をタッチ）

✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは録画できません。不要なビデオや静止画を削除してください。→P218
- 録画中に保存領域の空きがなくなると録画が終了します。
- 保存先がmicroSDカードの場合、PDFデータ閲覧などFOMA端末への負荷が大きな機能や、microSDカードを使う他の機能が動作中には録画できないことがあります。
- 次の場合、映像と音声の両方または片方が中断されますが、録画は継続します。
  - 音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信を着信したとき
  - 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信したとき
  - 目覚ましやスケジュール※で指定した日時になったとき
  - メール、メッセージR/Fを受信したとき（メールの受信・自動送信表示の設定が「通知優先」の場合）
  - メロディを再生したとき
  - ｉモーションを再生／表示したとき
  - データ放送からｉアプリを起動したとき

  ※ 視聴予約スケジュールの場合、確認画面で「はい」を選択すると、録画しているものと違うチャンネルのときは、録画が終了します。

- データ放送から録画と同時起動できないｉアプリを起動すると、視聴と録画継続の確認画面が表示されます。
- 録画中にサイトやメールなどに表示されているワンセグ視聴用情報のリンクを選択した場合、確認画面で「はい」を選択すると録画が終了し、リンク先のチャンネルの視聴が開始されます。録画中のチャンネルと同じ場合は、録画は継続されます。
- 録画中に予約録画の時刻になったときは、予約録画が開始されます。録画中のチャンネルと予約録画のチャンネルが違う場合で、予約録画の録画設定が「操作優先」のときは確認画面が表示されます。
- データ放送を録画する場合は、放送波の受信状況がよい状態で約1分以上録画してください。録画時間が短すぎると、データ放送を表示できない場合があります。
- 録画開始直後に放送圏外になり、放送波を受信できないまま録画を終了した場合、録画データが保存されない場合があります。
- 番組によっては、録画開始操作を行った時点より少し前の映像や音声から録画される場合があります。
- 録画と同時に起動できない機能を実行中は、確認画面が表示されます。

◆ 静止画を録画する

- ビデオ録画中、およびデータ放送全画面は録画できません。また、字幕やデータ放送は保存されません。

1 ワンセグ視聴画面で[録画キー]

最大保存件数／領域を超えたとき→P312

- [録画キー]を押した直後にテレビ電話やプッシュトークが着信した場合、静止画が録画されない場合があります。

視聴予約／録画予約

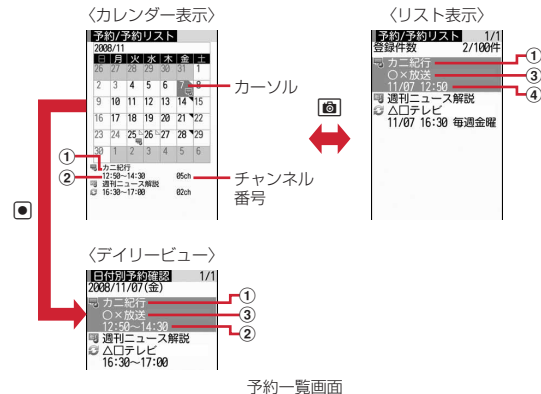
ワンセグの視聴・録画を予約する

自動的にワンセグ視聴を起動したり、番組開始をお知らせしたり、録画を開始したりします。

- 予約は、視聴、録画合わせて最大100件登録できますが、最大登録件数はスケジュール帳の登録件数により変わります。→P438
- 番組表ｉアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使って予約を登録することもできます。

1 [MENU]［LifeKit］[9][4]

予約一覧画面が表示されます。

予約一覧画面

① 番組名
② 開始時間～終了時間※
③ 放送局
④ 開始日時

※ 長期間スケジュールの場合、開始時間は開始日のみ、終了時間は終了日のみ表示され、その他の日では日付で表示されます。

- カレンダー表示では、[iα]／[✉]で月の切り替えができます。
- マークの意味は次のとおりです。
  [視聴予約マーク]：視聴予約　[録画予約マーク]：録画予約
  [繰り返しマーク]／◥：繰り返しスケジュール　⇔／◺：長期間スケジュール
- カレンダー表示下部、リスト表示、デイリービューでは、開始日時が過ぎたマークはグレーで表示されます。

カレンダーの表示形式を設定する：カレンダー表示で[MENU][6][2]▶各項目を設定▶[📷]

カレンダーモード設定→P327「スケジュール帳の表示を設定する」

- ワンセグの予約一覧では「スケジュール帳タイプ」の設定はできません。

キー操作一覧を表示する：カレンダー表示で[MENU][7]

2 リスト表示またはデイリービューで[✉]

予約方法選択画面が表示されます。

- カレンダー表示では[MENU][1]を押します。

3 予約方法を選択

番組表ｉアプリから予約する：「番組表」

番組表ｉアプリが起動します。視聴予約または録画予約を行います。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

視聴を予約する：「視聴予約」▶各項目を設定▶[📷]

- 番組名は全角100（半角200）文字以内で入力します。
- 終了日時の「自動延長対応」は、終了時間を番組の延長に合わせます。
- 開始通知動作の設定状況は次のマークで確認できます。
  - 🔔／🔔（グレー）：お知らせアラームあり／なし
  - [ON]：確認して起動　[AUTO]：自動起動　[OFF]：起動しない
- [MENU]：録画予約に変更

録画を予約する：「録画予約」▶各項目を設定▶[📷]

- 番組名は全角100（半角200）文字以内で入力します。
- 終了日時の「自動延長対応」は、終了時間を番組の延長に合わせます。
- 録画動作の設定状況は次のマークで確認できます。
  - [REC]：録画優先　[操作]：操作優先
  - [本体]：本体に保存　[SD]：microSDカードに保存
- [MENU]：視聴予約に変更

4 [📷]

- 視聴予約のときに開始時刻を過ぎていると、すぐに動作します。
- 録画予約のときに開始時刻の1分前を過ぎていると、録画準備を開始します。

予約内容を変更する：[MENU]

✔お知らせ

- 開始から終了まで24時間以上の予約が長期間スケジュールです。長期間スケジュールと繰り返しスケジュールは同時に設定できません。
- 視聴予約や録画予約はスケジュール帳にも表示されます。

◆ 予約した日時になると

❖視聴予約の日時になると

ディスプレイに登録した予約内容が表示されます。

- アラームが鳴っている間に[▭]、[▯]以外のキーを押すと、起動確認画面を表示させたり、ワンセグ視聴を起動させたりできます。
- 録画中に視聴予約の時間になると、確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 予約内容の動作はスケジュールアラームと同じです。→P328
- 同じ日時に複数の視聴予約やスケジュールを登録すると、登録した日時が最も後の視聴予約またはスケジュールのアラームが有効になります。登録順によってはワンセグ視聴が連動起動されません。起動されなかったスケジュールや視聴予約はアラーム停止後に[✉]を押すと確認できます。
- 通話中やプッシュトーク通信中に指定した日時になると、警告音が鳴り開始通知画面が表示されます。このとき、開始通知設定のワンセグの起動が「自動起動」になっていても動作しません。開始通知画面で[●]を押すと起動確認画面を表示させたり、通話やプッシュトーク通信が終わっていればワンセグ視聴を起動させたりできます。
- アラームが鳴っている間に[MULTI]を押したときや、音声着信などがあったときは、ワンセグ視聴は自動的に起動されません。開始通知画面で[●]を押すと起動確認画面を表示させたり、ワンセグ視聴を起動させたりできます。

❖録画予約の日時になると

開始日時の1分前になると待受画面で[REC]が点滅します。時間になると点滅が止まり、自動的に録画が開始されます。録画中は待受画面に[REC]が表示されます。

- 録画を中止するには、[REC]を選択して「はい」を押します。

✔お知らせ

- 放送波の受信状態が悪い場合は録画準備を行い、受信状態が良くなると録画を開始します。
- 予約時間が重複すると、開始時間が早い予約が遅い予約によって中断されます。ただし、開始時刻が同じ場合は後から登録した予約が優先されます。
- ワンセグ利用の確認画面を表示せずに予約を行った場合は録画できません。→P216
- 次の機能の動作中に予約録画が開始されると、録画動作設定（→P224）に従って操作が中断されて録画が開始されるか、確認画面が表示されます。中断された機能では編集中のデータが破棄されることがあります。
  - カメラ、サウンドレコーダー、バーコードリーダー
  - ミュージックプレーヤーの再生
  - 一部のｉアプリ（録画動作設定に関わらず確認画面が表示されます）
- 音楽データのダウンロード中に予約録画が開始されると録画終了まで音楽データは保存できません。

◆ 予約録画が終了すると

待受画面に予約録画の結果を示すアイコン（NEW／NG：予約録画完了／失敗）が表示されます。選択すると録画予約履歴を確認できます。→P225

- 複数の予約録画があるときは最後の録画予約履歴のアイコンが表示されます。
- 保存先やファイル名、注意事項は視聴中の録画と同じです。→P222

◆ 予約を確認・操作する

予約一覧画面で確認・操作します。

- 画面の見かた→P223

予約詳細画面を表示する：予約を選択

編集する：予約にカーソル▶MENU 2▶予約を編集▶📷▶📷

- カレンダー表示では操作できません。

削除する：MENU 3▶項目を選択▶「はい」

- １件削除ではカーソルを合わせた予約が削除されます。
- １日削除で長期間スケジュールが含まれている場合は、長期間スケジュールを残して削除するかを選択します。
- 全件削除では認証操作が必要です。
- 操作できる削除の種類は各表示で異なります。

並べ替える〈ソート〉：MENU 4▶1～4

- 「番組名昇順」は番組名をUnicode順でソートします。
- リスト表示でのみ利用できます。

録画予約履歴を表示する：MENU 5

以降の操作→P225

- デイリービューでは表示できません。

表示・動作を設定する：MENU 6 1▶各項目を設定▶📷

- 「過去データ自動削除」を「削除する」に設定すると予約日時が過ぎた予約が確認なしに削除されます。
- デイリービューでは設定できません。

✔お知らせ

- リスト表示では、開始日時が過ぎた予約は開始日時が過ぎていない予約の後に表示されます。ただし、ソートした場合や表示・動作設定の「ソート」を「開始日時昇順」以外に設定した場合を除きます。

◆ 録画予約の結果を確認する〈録画予約履歴〉

- 最大50件保存できます。50件を超えると古い履歴から上書きされます。
- 他の予約と重なったために取り消されたり、開始日時に電源が入っていないなどで開始できなかった録画予約は記録されません。

1 MENU［LifeKit］9 5

録画予約履歴の一覧が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  ：録画予約完了　：録画予約失敗

2 履歴にカーソル▶📷

録画予約履歴の詳細が表示されます。

録画した番組を再生する：完了した履歴を選択

- 録画した番組が移動、削除されたときは再生できません。

履歴を１件削除する：履歴にカーソル▶MENU 1▶「はい」

履歴を全件削除する：MENU 2▶認証操作▶「はい」

ユーザ設定

ワンセグ視聴・録画に関する設定をする

1 [MENU][LifeKit][9][8]

2 各項目を設定

画面を設定する：[1]▶各項目を設定▶[カメラ]
- 字幕表示を「マナーモード時表示」に設定すると、マナーモード中のワンセグ視聴起動時の音声再生確認画面で「いいえ」を選択したときに字幕を表示します。
- 字幕サイズを「大」にすると縦画面ではデータ放送が表示されません。
- 横標準画面の場合、字幕のサイズは変わりません。
- アイコン常時表示は、横全画面でアイコンを常に表示するかを設定します。
- テロップ表示のインフォメーション受信時はｉコンシェルのインフォメーション受信を表示するかしないかを設定します。

音声を設定する：[2]▶各項目を設定▶[カメラ]
- Bluetooth音声出力確認はBluetooth機器が接続されているとき音声出力の確認をするかを設定します。

接続待ち時間を設定する：[3][1]▶[1]～[3]
- ここでの設定はｉモードの接続待ち時間設定にも反映されます。

ワンセグからトルカを取得するときの動作を設定する：[3][3]▶[1]または[2]
- ワンセグ視聴および録画時に配信されるトルカを保存するかを設定します。トルカはFOMA端末の「トルカフォルダ」に自動的に保存されます。
- ICカードからトルカ取得の重複チェック設定が「OFF」になっていても、保存しているトルカと重複するものは保存されません。

放送用保存領域の情報を削除する：[3][4]▶系列放送局または個別事業者にカーソル▶[MENU]▶[1]または[2]▶「はい」
- 個別事業者の保存領域がある場合は、系列放送局を選択します。
- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

確認表示設定をリセットする：[3][5]▶認証操作▶「はい」

FOMA端末を閉じたときの動作を設定する〈クローズ動作設定〉：[4]▶[1]～[3]
- 「継続」を選択すると、ワンセグ視聴や録画が継続します。
- 「ミュート」を選択すると、ワンセグ視聴は継続したまま音声のみ消えます。
- 「視聴：終了／録画：継続」を選択すると、ワンセグ視聴のみ終了し録画は継続します。
- クローズ動作設定は録画したビデオの再生中も適用されます。ただし、「ミュート」が選択されているときは再生が一時停止されます。

ワンセグを録画するときの動作を設定する：[5]▶各項目を設定▶[カメラ]
- 録画終了時間は録画の開始または録画設定変更から録画が終了するまでの時間です。
- 録画予約では無効です。

✔お知らせ
- ワンセグECOモード中は照明設定は適用されません。
- データ放送、データ放送サイトはクローズ動作設定を「継続」または「ミュート」にしておくと、FOMA端末を閉じているときでも、情報が更新され、パケット通信料がかかる場合があります。
- 録画設定の録画先は設定後に録画するものから適用されます。録画終了時間は設定時から適用されます。

マイク付リモコン

マイク付リモコン F01を使う

マイク付リモコン F01（別売）でワンセグ視聴の操作ができます。
- ビューアスタイルでメニューやパネルが表示されているときは操作できません。

タイムシフト早送り再生中に[▶/II]：タイムシフト通常再生
[▶/II]（1秒以上）※1：ワンセグ視聴を終了（データ放送サイト含む）
[＋][－]：音量調整
視聴中に[＋]（1秒以上）※1：次のチャンネルを選択
タイムシフト再生中に[＋]（1秒以上）※2：タイムシフト早送り再生
視聴中に[－]（1秒以上）※1：前のチャンネルを選択
[◀HOLD]（▼方向へスライド）：[▶/II]、[＋]、[－]のキー操作無効
[◀HOLD]（▼と逆側へスライド）：キー操作無効を解除
※1　ワンセグ視聴画面以外では無効です。
※2　番組詳細情報表示中は無効です。

Music

Music&Videoチャネル

ミュージックプレーヤー

さまざまな操作で音楽を楽しむ

音楽データの取り扱いについて

- 本書では、ミュージックプレーヤーで再生する着うたフル®とWMA（Windows Media® Audio）ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、電話機の変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合は、既存のWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末およびmicroSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカードに保存した音楽データは、パソコンなどの他の媒体にコピーまたは移動しないでください。

Music&Videoチャネルとは

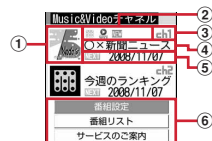
Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■ Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約およびパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブル契約が必要です。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますので、ご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます（バックグラウンド再生）。ただし、動画番組ではできません。
  同時に使用可能な機能の組み合わせ→P416
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

番組を設定／確認／解除する

- 2番組まで設定できます。設定するには、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要です。→P173

1 [MENU]［MUSIC］[2]

Music&Videoチャネル画面

① **設定した番組の画像**
- 表示できない場合は[icon]が表示されます。

② **番組の状態**
[icon]：すべて取得した番組　[icon]：部分的に取得した番組
[icon]：再生制限、トリックプレイ制限あり
[icon]／[icon]（再生制限、トリックプレイ制限あり）：時刻連動番組
[NEW]：未再生の番組　[icon]：取得失敗

③ **チャネル番号**

④ **番組の表示名**
番組設定や取得の状態によって、次のように表示されます。
番組タイトル表示：番組取得済み
番組がありません：番組取得前
番組更新中：番組取得中

⑤ **次回番組更新予定日**

⑥ **サービスメニュー**

2 **「番組設定」▶画面の指示に従って番組を設定、確認、解除**

- お買い上げ時やFOMAカードを差し替えたときなどにサービスメニューを選択すると、確認画面が表示されます。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

✔お知らせ

- 異なるFOMAカードに差し替えて番組の設定を行う場合は、まず番組設定から番組設定情報の確認を行ってください。番組設定情報の確認を行うと、保存番組フォルダに移動していない番組は削除される場合があります。
- 番組の設定を解除してもマイメニュー登録は削除されません。

❖番組を設定すると

番組配信時間の12時間前になると、待受画面にが表示されます。番組の取得は、夜間に自動的に行われます。

- 成功すると待受画面にが、失敗するとが表示されます。アイコンを選択するとMusic&Videoチャネル画面を確認できます。

✔お知らせ

- 電池残量が2以下の場合、番組の取得はできません。電池残量が十分にあること、また電波状態がよいことを確認してください。
- 番組取得中に通信が途切れたときは、約3分間隔で5回まで自動的に再取得を行います。
- FOMA端末の電源が入っていない、電池残量が少ない、圏外、電波状態が悪いなどで番組を取得できなかった場合は、翌日の夜間の同時間帯に再取得を行います。
- 次の場合は、番組を自動的に取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度番組を設定してください。
  - 番組を設定した後に他のFOMAカードに差し替えた、またはFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応FOMA端末に差し替えた
  - FOMA端末のデータ一括削除を行った
- 取得された番組は、データBOXのMusic&Videoチャネルの配信番組フォルダにチャネルごとに一時的に保存されます。その番組のあるチャネルが更新されると、配信番組フォルダの番組は削除され再生できなくなります。再生可能な期間中に更新前の番組を楽しみたい場合は他のフォルダに移動します（→P231、309）。ただし、番組によっては移動できない場合があります。
- Music&Videoチャネル、iモードの解約を行うと、配信番組フォルダの番組データが削除される場合があります。

❖番組を手動で取得する

番組の取得に失敗した場合は、手動で残りを取得できます。

- 取得できない時間帯のときはメッセージが表示されます。
- 取得が中断されても、取得されたチャプターまでは部分的に再生できます。

1 MENU［MUSIC］2 ▶番組を選択▶「はい」

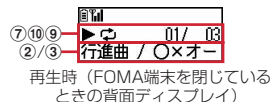
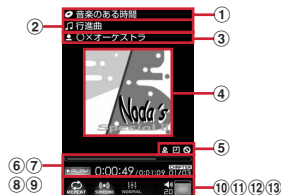
番組を再生する

- データBOXの保存番組フォルダからの操作→P231

1 MENU［MUSIC］2 ▶番組を選択

Music&Videoチャネルプレーヤーが起動し、番組の最初から、または前回再生を中止したチャプターの先頭から再生されます。

Music&Videoチャネルプレーヤー画面

再生時（FOMA端末を閉じているときの背面ディスプレイ）

① **番組タイトル**
② **チャプタータイトル**
③ **チャプターのアーティスト名または作成者名**
④ **チャプター画像／動画または番組画像**
  - 表示できない場合があります。

⑤ **: 再生制限　: 時刻連動　: トリックプレイ制限**
⑥ **再生位置インジケータ**
⑦ **再生状態**

／：再生中　／：一時停止中
：早送り中　：巻き戻し中

⑧ **再生時間／トータル時間**
⑨ **再生チャプター番号／全チャプター数**
⑩ **リピート再生※**
⑪ **サラウンド※**
⑫ **イコライザ※**
⑬ **再生音量**

※ 機能を「OFF」「ノーマル」に設定すると文字がグレーで表示されます。

- Music&Videoチャネルプレーヤー画面では次の操作ができます。
  ●、♫：再生／一時停止※1
  ◎、▲▼：音量調整
  ◎（1秒以上）：巻き戻し※1／早送り※1
  ◎、▲（1秒以上）：チャプターの先頭に移動、再生時間が3秒以内のときは前のチャプターに移動※1
  ◎、▼（1秒以上）：次のチャプターに移動※1
  ✉：サイトに接続→P231
  ✂：標準画面／横全画面切り替え※2
  CLR：再生を停止してMusic&Videoチャネルプレーヤー画面を終了
  ※1 時刻連動番組では無効
  ※2 横全画面にすると、再生画像のみが表示されます。FOMA端末を横にして視聴してください。また、マルチカーソルキーは元のキーから時計回りに90度回転した方向で操作します。
- 操作によって、ランプが点灯、点滅します。

リピートを設定／解除する： MENU 4 ▶ 1 または 2
- 時刻連動番組では操作できません。

照明を設定する： MENU 5 ▶ 1 または 2
- 「端末設定に従う」に設定すると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）の設定に従って照明が点灯します。
- 照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（ｉモーション）、ｉモーションの動作設定の照明点灯時間にも反映されます。

サラウンド再生を設定／解除する： MENU 6 ▶ 1 または 2

イコライザを設定する： MENU 7 ▶ 1 ～ 9
- 動画番組では操作できません。
- 「トレイン」はイヤホンなどの音漏れを軽減する効果があります。

❖番組に再生制限が設定されているとき

番組によっては、再生回数、再生期限、再生期間の制限がある場合があり、制限を超えると番組は再生できなくなります。
- 再生期限と再生期間が両方設定されている場合は、現在の日付に近い方の日付が表示されます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。

✔お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの着信があったとき
  - メールを受信したとき（受信・自動送信表示設定が「通知優先」の場合）
  - ｉモード問合せを行ったとき
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
  - 同時に使用できない機能が実行されたとき→P416
  - 動画番組再生中にFOMA端末を閉じたとき
- 同時に多くの機能を利用すると、再生中の曲が途切れる場合があります。
- 時刻連動番組はラジオなどの放送と同時に同じ内容を再生します。再生には自動時刻補正が必要です。
- 部分的に取得した番組を再生しようとすると、残りの番組取得の確認画面が表示されます。時刻連動番組は、残りのチャプターを取得しないと再生できません。
- 取得に失敗した番組を選択すると、再生の確認画面が表示されます。
- 巻き戻し、早送り、チャプター戻し、チャプター送り制限がある場合は、その制限のある操作ができません。また、再生中に残り再生回数が0回になった場合は、巻き戻し、チャプター戻し、チャプター一覧からの再生の操作ができません。
- 電池残量が2以下になると再生の確認画面が表示されます。

◆ 番組のチャプター一覧を確認する

1 MENU［MUSIC］2 ▶ 番組にカーソル ▶ MENU 1
- 再生中のチャプター番号の下に▷が表示されます。

チャプターを再生する： チャプターを選択
チャプターの詳細を確認する： チャプターにカーソル ▶ MENU
- Music&Videoチャネルプレーヤー画面で MENU 2 ：再生しているチャプターの詳細を確認

◆ 番組情報を確認する

1 MENU ［MUSIC］ 2 ▶番組にカーソル▶ MENU 2
- 番組名が不明のときは「musicchX」（Xはチャネル番号）と表示されます。

◆ 番組を保存番組フォルダへ移動する

- 保存番組フォルダ→P231「番組の一覧から再生する」
- 最大10番組保存できます。

1 MENU ［MUSIC］ 2 ▶番組にカーソル▶ MENU 3 ▶「はい」

✔お知らせ
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P312
- 取得に失敗したり、番組移動制限が設定されていたり、再生制限に達していたりするデータ、時刻連動番組は移動できません。
- microSDカードには移動できません。

◆ 番組を削除する

- 番組を削除しても番組設定は解除されません。

1 MENU ［MUSIC］ 2 ▶番組にカーソル▶ MENU 4 ▶「はい」

◆ サイトに接続する

番組にURL情報がある場合はサイトに接続できます。

1 MENU ［MUSIC］ 2 ▶番組にカーソル▶ MENU 5 ▶「はい」

データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

データBOXでは、配信された番組や、保存番組フォルダに保存した番組の表示・再生、フォルダや番組の管理ができます。
- フォルダの操作はデータBOXの他のデータと同じです。ただし、配信番組フォルダと保存番組フォルダは削除できません。
  - フォルダ作成・削除→P308
  - 番組の移動（→P309）、削除（→P311）、並べ替え（→P312）
- 番組データはコピーできません。

◆ 番組の一覧から再生する

1 MENU ［データBOX］ 3

：配信番組フォルダ　：保存番組フォルダ　：ユーザ作成フォルダ

2 フォルダを選択

サムネイル表示　リスト表示

- サムネイル表示のときは、カーソル位置の番組のファイルサイズがディスプレイ下部に表示されます。

① **再生制限**
：再生制限、トリックプレイ制限あり
／(再生制限、トリックプレイ制限あり)：時刻連動番組

② **番組の表示名**

③ **番組種別**
：Music&Videoチャネル番組
：FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
：部分的に取得した番組

④ **ファイル制限**

⑤ **番組画像**
番組画像が表示できない場合は次のアイコンが表示されます。
：画像なし　：FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可

3 番組を選択

Music&Videoチャネルプレーヤーが起動し、番組が再生されます。→P229

◆番組の表示名を変更する

1 [MENU]［データBOX］[3]▶フォルダを選択▶番組にカーソル▶[MENU][5]▶番組の表示名を入力（全角128（半角256）文字以内）▶[📷]

- 「タイトル」は変更できません。

音楽の再生方法

- FOMA端末で音楽を再生する方法は次のとおりです。
  - ミュージックプレーヤーで再生
    サイトから取得した着うたフル®や、パソコンでインターネットホームページやCDから取り込んでmicroSDカードに転送した音楽データ（WMAファイル）を再生します。
  - ｉモーションとして再生
    ｉモードで取得してFOMA端末のデータBOXに保存した音声のみのｉモーションを再生します（→P292）。microSDカードに保存すればmicroSDカードからも再生できます（→P305）。
- 音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。→P322、416
- 音楽を聴いているときに着信などがあると、再生が一時停止される場合があります。→P236「音楽データを再生する」お知らせ

ミュージックプレーヤー

サイトからダウンロードした着うたフル®や、音楽CDやインターネットなどからパソコンに取り込んだWindows Media® Audio（WMA）ファイルを、FOMA端末本体やmicroSDカードに保存し、再生することができます。

- ミュージックプレーヤーは着うたフル®およびWindows Media Audio（WMA）ファイルに対応しています。
- Bluetooth機器と接続して、ミュージックプレーヤーの音楽をBluetooth機器へ出力できます。→P342
- Bluetooth機器やステレオイヤホンセット（またはステレオスピーカー）を利用して、ステレオサウンドで再生できます。
- ミュージックプレーヤーを使用すると電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- microSDカードの取り扱いや使用時の留意事項→P300
- Windows Media Playerについては、お使いのパソコンの各パソコンメーカにお問い合わせください。

❖うた・ホーダイとは

音楽配信会社が提供する定額で再生期限付きのサービスです。
再生期限を過ぎたものや、サービスの登録を停止したものなどは再生できません。再生させるためには、ライセンス更新が必要です。

音楽データを保存する

◆ 着うたフル®をダウンロードする

- 1件あたり最大5Mバイトで、FOMA端末本体に100件、microSDカードに1000件まで保存できます。

1 着うたフル®があるサイトを表示▶着うたフル®を選択

ダウンロードが開始されます。うた・ホーダイの場合は、再生期限情報が取得され、ダウンロードが開始されます。

ダウンロードを中断する：[📷]▶「いいえ」

2 「保存」

再生する：「再生」

途中までダウンロードしたデータを保存する：「部分保存」

- ダウンロードが中断されたときの再開確認画面で「いいえ」を選択すると表示されます。残りのデータは音楽データ一覧画面から取得できます。→P235「音楽データを再生する」操作2

詳細情報を表示する：「情報表示」→P239

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 表示名を入力（全角25（半角50）文字以内）▶[📷]

- 表示名には「タイトル-アーティスト」が入力されています。
- ガイド表示領域の左下に「[本体]⇔[SD]」が表示された場合は、[i𝛼]を押すたびに保存先を切り替えられます。「[SD]保存」が表示されているときに[📷]を押すと、microSDカードに保存されます。→P234

✔お知らせ

- 最大保存件数／領域を超えたとき→P312
- FOMA端末、microSDカードの保存容量確認→P306、312

◆ WMAファイルを保存する

最大1000件登録できます。WMAファイルをmicroSDカードへ保存するには、Windows Media Playerを使用します。パソコンとFOMA端末を接続する前に、Windows Media Playerのバージョンを必ず確認してください。

- **パソコンのOSとWindows Media Playerは、次のバージョンの組み合わせで使用することをおすすめします。**
  - **パソコンのOSがWindows XP Service Pack 2以降の場合**
    Windows Media Player 10（バージョン10.00.00.3802以降）または
    Windows Media Player 11（バージョン11.0.5721.5145以降）
  - **パソコンのOSがWindows Vistaの場合**
    Windows Media Player 11（バージョン11.0.6000.6324以降）
- 操作方法については、Windows Media Player10／11のヘルプをご覧ください。
- 転送したWMAファイルの操作や表示が遅くなるなど十分な性能が得られないことがあるため、Windows XP、Windows VistaやWindows Media Playerは常にアップデートしておくことをおすすめします。
- パソコンからプレイリストを転送できます。ただし、転送できるプレイリスト内の音楽データは最大400件です。
- WMAファイルはFOMA端末本体に保存できません。
- 他のFOMA端末でmicroSDカードに保存されたWMAファイルはF-01Aで表示・再生されない場合があります。また、他のFOMA端末でWMAファイルを転送したmicroSDカードを使用すると、MTPモードに切り替えてもパソコンで認識されないことがあります。これらの場合には、WMA一括削除（→P240）を行うか、microSDカードを初期化（→P307）してください。microSDカードを初期化すると音楽ファイル以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。

1 FOMA端末にmicroSDカードを取り付ける▶USBモード設定を「MTPモード」に設定する

USBモード設定→P307

2 Windows Media Playerを起動した状態でパソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続する▶パソコンからWMAファイルを転送する

- WMAファイルはあらかじめ用意してください。
- 接続方法については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。ただし、WMAファイル転送の場合は、FOMA通信設定ファイルのインストールは不要です。

ナップスター®アプリ

ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。

- ナップスター®アプリは下記のホームページからダウンロードできます。
  http://www.napster.jp/
- ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら下記のホームページをご覧ください。
  http://www.napster.jp/support/

✔お知らせ

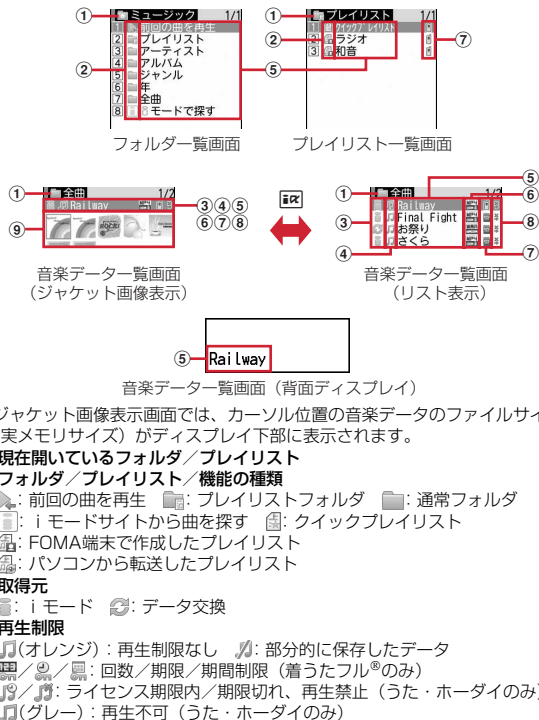
- microSDカードの保存容量確認→P306
- データ転送中にUSBケーブルを外さないでください。誤動作やデータ消失の原因となります。
- パソコンからFOMA端末内のmicroSDカードにアクセスしているときは、MTPモード以外に切り替えられません。
- FOMA端末内のmicroSDカードに保存されているWMAファイルは、パソコンとFOMA端末を接続中にWindows Media Playerから削除できます。
- パソコンから音楽データが転送できないときは「ポータブルデバイス用パソコン環境診断」を使用して、お使いのパソコンでの最適な対処方法を確認できます。
  ポータブルデバイス用パソコン環境診断については、パソコンから次のホームページをご覧ください。
  FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→WMP環境診断ツール
- Windows Media Playerとナップスター®アプリをパソコンで同時に使用すると、パソコンの処理速度が落ちる場合があります。
- AAC形式のファイルは、microSDカードのマルチメディア内の「その他の動画」でのみ再生できます。AAC形式のファイルのコピー先をmicroSDカードのPRIVATE￥DOCOMO￥MMFILEの直下、あるいはMMFILE内のMUDxxxにしてください（→P301）。
  ※ ファイル名が「MMFxxxx」以外のファイルや、拡張子が「m4a」のファイルは、コピーしても表示・再生できません。
  ※ コピーの際は、FOMA FシリーズSDユーティリティをご利用になることをおすすめします。利用するとファイル名が自動的に変換されます。
  FOMA FシリーズSDユーティリティについては、パソコンから次のホームページをご覧ください。
  FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→データリンクソフト

ミュージックプレーヤーの画面の見かた

■ フォルダー覧画面・プレイリスト一覧画面・音楽データ一覧画面

フォルダー覧画面　プレイリスト一覧画面

音楽データ一覧画面（ジャケット画像表示）　音楽データ一覧画面（リスト表示）

音楽データ一覧画面（背面ディスプレイ）

- ジャケット画像表示画面では、カーソル位置の音楽データのファイルサイズ（実メモリサイズ）がディスプレイ下部に表示されます。

① 現在開いているフォルダ／プレイリスト

② フォルダ／プレイリスト／機能の種類

: 前回の曲を再生　: プレイリストフォルダ　: 通常フォルダ
: ｉモードサイトから曲を探す　: クイックプレイリスト
: FOMA端末で作成したプレイリスト
: パソコンから転送したプレイリスト

③ 取得元

: ｉモード　: データ交換

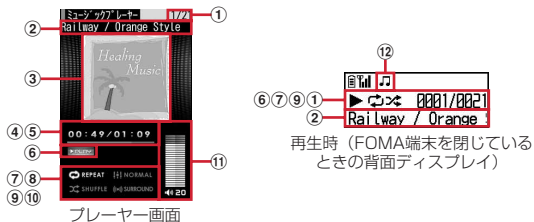
④ 再生制限

(オレンジ)：再生制限なし　: 部分的に保存したデータ
／／: 回数／期限／期間制限（着うたフル®のみ）
／: ライセンス期限内／期限切れ、再生禁止（うた・ホーダイのみ）
(グレー)：再生不可（うた・ホーダイのみ）

⑤ **フォルダ名※／プレイリスト名※／機能名※／曲の表示名**
※ 背面ディスプレイでは、名前の最初に が表示されます。
⑥ **ファイル形式と著作権管理**
: 着うたフル®、ドコモ
: FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可の着うたフル®、ドコモ
: WMAファイル、Windows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）
: WMAファイル、著作権管理なし
⑦ **保存場所**
: FOMA端末本体　: microSDカード
⑧ **ファイル制限**
⑨ **ジャケット画像**
表示できない場合は次のアイコンが表示されます。
: ジャケット画像なし　: 部分的に保存したデータ
: FOMAカードのセキュリティ機能が設定されているデータ

■ プレーヤー画面

プレーヤー画面

再生時（FOMA端末を閉じているときの背面ディスプレイ）

① **曲番号／フォルダやプレイリスト内の曲数**
② **曲タイトル／アーティスト名**
③ **曲のジャケット画像**
④ **再生時間／トータル時間**
⑤ **再生位置インジケータ**
⑥ **再生状態**
PLAY／▶：通常再生　FF：早送り　REW：巻き戻し
INTRO：イントロ再生　PAUSE／❚❚：一時停止中
⑦ **リピート再生※**
REPEAT／：1曲リピート　REPEAT／：全曲リピート
⑧ **イコライザ※**
⑨ **シャッフル※**
⑩ **サラウンド※**
⑪ **再生音量**
⑫ **再生中マーク**
※ 機能を「OFF」「ノーマル」に設定すると、文字がグレーで表示されます。背面ディスプレイの場合、アイコンは表示されません。

✔お知らせ
• FOMA端末本体のプレイリストに登録されている曲の元データが認識できなくなると、プレイリストで表示される曲名は「---」になり再生できなくなります。

音楽データを再生する

1 （1秒以上）▶フォルダまたはプレイリストを選択
• 背面ディスプレイのメニューからも起動できます。→P35

2 音楽データを選択
再生が開始されます。操作によって、ランプが点灯、点滅します。
• ダウンロードに失敗、またはダウンロードを中断して部分的に取得した着うたフル®を選択すると、確認画面が表示されます。再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータは削除されます。
• プレーヤー画面では次の操作ができます。
、：再生／一時停止
、：音量調整
（1秒以上）：巻き戻し／早送り
、（1秒以上）：曲の先頭に移動※1
、（1秒以上）：次の曲に移動
、（1秒以上）：再生を停止せずに音楽データ一覧画面を表示※2
CLR：再生を停止して音楽データ一覧画面を表示
1：リピート設定の変更
2：イコライザ設定の変更（再生中操作不可）
4：シャッフル設定の変更
5：サラウンド設定の変更（再生中操作不可）
（すばやく2回押す）：再生中または一時停止中の曲をクイックプレイリストに登録→P238
（1秒以上）：ミュージックプレーヤー終了
：時計を表示（FOMA端末を閉じているとき）※3
※1 再生時間が3秒未満のときに操作すると前の曲に移動します。

※2 ✉または🎵を押すとプレーヤー画面に戻ります。
※3 ♫を2回押すとプレーヤー画面に戻ります。

- FOMA端末を閉じているときに、音楽データ一覧画面やフォルダ一覧画面、プレイリスト一覧画面で🎵を1秒以上押すと、1階層上のフォルダに移動します。トップフォルダを表示中に🎵を1秒以上押すと、ミュージックプレーヤーが終了します。

「前回の曲を再生」を選択したとき
前回終了時に選択されていた曲から再生します。

「iモードで探す」を選択したとき
iモードに接続し、ダウンロードする曲を選択できます。

うた・ホーダイを選択したとき
選択したファイル、または他のファイルで再生期限を更新する必要がある場合は、確認画面が表示されます。更新が完了すると、うた・ホーダイが再生されます。

イントロ再生する：音楽データにカーソル▶📷
フォルダ内の曲の最初の7秒だけを次々に再生します。

- イントロ再生中に●または♫を押すとイントロ再生が解除され、再生が継続されます。

✔お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの着信があったとき
  - メールを受信したとき（受信・自動送信表示設定が「通知優先」の場合）
  - iモード問合せを行ったとき
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
  - 同時に使用できない機能が実行されたとき→P416
- 同時に多くの機能を利用すると、再生中の曲が途切れる場合があります。
- 電池残量が2以下になると確認画面が表示されます。

❖音楽データに再生制限が設定されているとき

再生回数、再生期限、再生期間の制限がある場合があり、制限を超えると音楽データは再生できなくなります。

- 着うたフル®の残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。

■ うた・ホーダイの再生期限について
期限が過ぎると、確認画面が表示されます。再生期限の更新にはサイトへの接続が必要です。接続の際にはパケット通信料がかかります。

✔お知らせ

- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎた後に数日間の猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても利用できます。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたFOMAカードと異なるFOMAカードを挿入してミュージックプレーヤーを使用する場合は、データ一括削除をおすすめします。→P130
- FOMA端末内に正しいライセンスが更新されていないサイトからうた・ホーダイをダウンロードすると、ダウンロード前に確認画面が表示されます。「はい」を選択してライセンスを更新するとダウンロードできます。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生できなくなった場合は、お買い上げ時の音が鳴ります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルの適用対象外です。
- 再生できなくなったWMAファイルは、パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると再生できます。→P233
- 時差のある海外では、うた・ホーダイの再生期限は現地時間で表示されます。日本時間で再生期限が過ぎると、表示されている現地時間に関わらず再生できなくなりますのでご注意ください。

◆ ミュージックプレーヤーの設定〈動作設定〉

1 フォルダ一覧画面、音楽データ一覧画面、プレーヤー画面でMENU▶「動作設定」▶各項目を設定▶📷

✔お知らせ

- この設定はミュージックプレーヤーを終了しても保持されます。
- Bluetooth接続自動起動設定は、Bluetooth設定のMUSIC Player自動起動にも反映されます。→P347
- イコライザの「トレイン」はイヤホンなどの音漏れを軽減する効果があります。

フォルダ・プレイリスト・音楽データの管理

◆着うたフル®を移動する

FOMA端末本体とmicroSDカードの間で移動できます。

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で着うたフル®にカーソル▶[MENU][4]▶[1]または[2]▶[1]～[3]▶「はい」

着うたフル®が移動され、[本体]と[SD]が切り替わります。
- 選択移動では選択操作▶[カメラ]が必要です。

✔お知らせ
- 部分的に保存、または再生制限に達している着うたフル®は移動できません。
- 着信音に設定されている着うたフル®をFOMA端末本体からmicroSDカードへ移動すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。

◆音楽データを削除する

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で音楽データにカーソル▶[MENU][5]▶[1]～[3]▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた音楽データが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[カメラ]が、全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ
- フォルダ内にあるすべての音楽データを削除すると、そのフォルダも削除されます。ただし、トップフォルダ直下の各フォルダは削除されません。
- 着信音に設定されている音楽データを削除すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。

◆プレイリストを作成する

音楽データを任意の演奏順で管理できるプレイリストを作成します。プレイリストはFOMA端末本体に20件、microSDカードに100件まで保存できます。
- パソコン上で作成したプレイリストを転送できます。→P233

1 フォルダ一覧画面でプレイリストフォルダを選択▶[MENU][1]▶プレイリストの名前を入力（全角40（半角80）文字以内）▶[カメラ]

空のプレイリストが作成されます。
- プレイリストの表示名にはあらかじめ「playlistYYYYMMDD」（YYYYMMDDはプレイリストを作成した年月日）が入力されています。

◆登録する音楽データからプレイリストを作成する

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で音楽データにカーソル▶[MENU][3][1]▶[1]～[3]

- 選択登録では選択動作▶[カメラ]が必要です。

2 プレイリストの名前を入力（全角40（半角80）文字以内）▶[カメラ]

◆プレイリストに音楽データを登録する

- FOMA端末本体で作成したプレイリストに、1つあたり100件の音楽データを登録できます。

❖登録するプレイリストから操作する

1 フォルダ一覧画面でプレイリストフォルダを選択▶プレイリストを選択

2 [MENU][3][1]▶[1]～[3]▶フォルダを選択▶音楽データを選択

- 選択登録では選択操作▶[カメラ]が、全件登録では[カメラ]が必要です。
- 全件登録では全件が選択された状態で表示されます。

音楽データの登録されていないプレイリストに登録する：「はい」▶フォルダを選択▶音楽データを選択▶[カメラ]
- 複数の音楽データを選択できます。

❖登録する音楽データから操作する

1 **プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で音楽データにカーソル▶MENU 3 2▶1～3▶プレイリストを選択**

音楽データがプレイリストに追加されます。
- 選択登録では選択操作▶📷が必要です。

◆ プレーヤー画面で音楽データをクイックプレイリストに登録する

再生中または一時停止中の曲を、専用のプレイリスト（クイックプレイリスト）に登録します。最大100件登録できます。
- クイックプレイリストの新規作成はできません。

1 **プレーヤー画面で♫を2回押す**

登録されると確認音が鳴ります。

◆ プレイリストから音楽データを解除する

- プレイリストから音楽データを解除しても、音楽データ自体は削除されません。また、パソコンから転送したプレイリストからは音楽データを解除できません。

1 **プレイリスト内の音楽データ一覧画面で音楽データにカーソル▶MENU 3 2▶1～3▶「はい」**

- 選択解除では選択操作▶📷が必要です。

◆ プレイリストを削除する

- クイックプレイリストは削除できません。

1 **フォルダ一覧画面でプレイリストフォルダを選択▶プレイリストにカーソル▶MENU 3▶「はい」**

◆ プレイリストの名前を変更する

- クイックプレイリストとパソコンから転送したプレイリストは名前を変更できません。

1 **フォルダ一覧画面でプレイリストフォルダを選択▶プレイリストにカーソル▶MENU 5▶プレイリストの名前を入力（全角40（半角80）文字以内）▶📷**

プレイリストの名前を表示する：フォルダ一覧画面でプレイリストフォルダを選択▶プレイリストにカーソル▶MENU 4

◆ プレイリストをコピーする

1 **フォルダ一覧画面でプレイリストフォルダを選択▶プレイリストにカーソル▶MENU 2**

- パソコンから転送したプレイリストをコピーするときは、2を押し「はい」を選択します。FOMA端末で作成されたプレイリストとしてFOMA端末本体に保存されます。

◆ 音楽データの表示順を変更する〈ソート〉

1 **音楽データ一覧画面でMENU 6▶各項目を設定▶📷**

◆ プレイリスト内の曲順を自由に並べ替える

- パソコンから転送したプレイリストでは並べ替えはできません。

1 **プレイリストの音楽データ一覧画面でMENU 3 3▶音楽データにカーソル▶iαまたは✉▶📷**

◆ 音楽データを着信音に設定する

音楽データ全体を着信音にする「まるごと着信音」と、音楽データの一部分のみを着信音にする「オススメ着信音」があります。
- WMAファイル、詳細情報のまるごと着信音設定およびオススメ着信音設定が「不可」になっている音楽データは着信音に設定できません。

〈例〉FOMA端末本体の音楽データを設定する

1 音楽データ一覧画面で音楽データにカーソル▶[MENU][1]▶[1]～[9]

2 [1]または[2]

- オススメ着信音は設定する部分を選択します。
- メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するときは、メモリ指定着信音を設定する電話帳を選択して、[📷]を押します。

microSDカードの音楽データをまるごと着信音に設定する：[1]▶「はい」
音楽データがFOMA端末本体に移動され、着信音に設定されます。

microSDカードの音楽データをオススメ着信音に設定する：
① [2]▶設定する部分を選択▶「はい」
- 「ミュージック（会員制）」の音楽データを設定した場合、音楽データがFOMA端末本体に移動されます。これ以降の操作は不要です。

② 表示名を入力（36文字以内）▶[📷]
- 「ミュージック」の音楽データを選択した場合、音楽データの選択した部分がコンテンツ移行対応のｉモーションとしてFOMA端末本体のｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

◆ 音楽データの詳細情報を表示する〈詳細情報表示〉

1 音楽データ一覧画面で音楽データにカーソル▶[MENU][2][1]▶[◎]で各情報を表示

- WMAファイルとそれ以外のファイルでは、表示される情報の種類が異なります。
- 「表示名」は音楽データ一覧画面で表示される名前、「タイトル」はプレーヤー画面で表示される名前です。
- 「トラック番号」はアルバム内の曲番号／アルバム内総曲数を表示します。
- 「ファイル名」に拡張子は表示されません。
- 「ファイル種別」の「ミュージック」は着うたフル®、「ミュージック（会員制）」はうた・ホーダイのファイルであることを示します。
- 「音」は音楽データの形式とビットレートを表示します。WMAファイルではビットレートは表示されません。
- 詳細情報のファイル情報を表示中に[MENU]を押すと、「URL情報」に表示されているサイト接続の確認画面が表示されます。

音楽データの詳細情報を変更する：音楽データ一覧画面で音楽データにカーソル▶[MENU][2][2]▶項目を選択▶変更内容を入力▶[📷]
- 一時停止している音楽データの詳細情報を変更すると、次にミュージックプレーヤーを起動したときに先頭から再生されない場合があります。
- WMAファイルの詳細情報は変更できません。
- 変更できる項目と保存先別の最大入力文字数は次のとおりです。

項　目	F-01A	microSDカード
表示名	全角25（半角50）文字	
タイトル	全角127（半角254）文字	全角31（半角63）文字
アーティスト		全角126（半角253）文字
アルバム		
年	半角数字4桁	
ジャンル	全角127（半角254）文字	全角126（半角253）文字
コメント		
トラック番号	半角数字3桁	
総トラック数		

- 「オリジナルに戻す」を選択すると、ボタンの上の項目がダウンロード時の情報に戻ります。

◆ 音楽データに含まれた画像や歌詞を表示する

- JPEG形式、GIF形式の画像を表示できます。歌詞は画像データとして保存されます。
- ジャケット画像は1枚、画像は2枚、歌詞は7枚まで表示できます。

1 音楽データ一覧画面で音楽データにカーソル▶ MENU 2 3

2 1 ～ 3

全画面で表示する：iα
- ◎：前後の画像や歌詞を表示
- CLR：解除

保存する：📷
- マイピクチャの「ｉモード」フォルダに保存されます。

✔お知らせ
- 画像や歌詞によっては保存できない場合があります。
- WMAファイルではジャケット画像を保存できません。

◆ WMAファイルを一括して削除する〈WMA一括削除〉

1 トップフォルダ内のフォルダ一覧画面で MENU 1 ▶ 認証操作▶「はい」

microSDカードに保存されたWMAファイルとパソコンから転送したプレイリストが削除されます。

✔お知らせ
- WMA一括削除を行うと、microSDカードのWMフォルダ、WM_SYSTEMフォルダとフォルダ内に保存されているすべてのデータが削除されます。ミュージックプレーヤーで利用しないデータも削除されますのでご注意ください。

音楽再生音優先設定

音楽を再生しながらｉアプリを利用する

ｉアプリを利用中にMusic&Videoチャネルの番組やミュージックプレーヤーの曲をバックグラウンド再生するかを設定します。

- 起動中のｉアプリの音量を0にしないとバックグラウンド再生はできません。ただし、音量を0にしても、バックグラウンド再生ができないｉアプリもあります。

1 MENU ［設定／NWサービス］ 1 7 ▶ 1 または 2

マイク付リモコン

マイク付リモコン F01を使う

マイク付リモコン F01（別売）でMusic&Videoチャネルプレーヤーとミュージックプレーヤーを操作できます。

▶/Ⅱ（1秒以上）※1：起動（FOMA端末を閉じているとき）／終了
▶/Ⅱ：再生／一時停止
▶/Ⅱ（プレーヤー画面ですばやく2回押す）※1：再生中または一時停止中の曲をクイックプレイリストに登録
＋ －（プレーヤー画面）：音量調整
＋ －（フォルダ一覧、プレイリスト一覧、音楽データ一覧画面）※1：カーソル移動
＋（1秒以上）：次のチャプター／曲に移動
－（1秒以上）※2：チャプター／曲の先頭に移動
◀HOLD（▼方向へスライド）：▶/Ⅱ、＋、－のキー操作無効
◀HOLD（▼と逆側へスライド）：キー操作無効を解除

※1 ミュージックプレーヤーのみ有効です。
※2 再生時間が3秒以内（Music&Videoチャネル）または3秒未満（ミュージックプレーヤー）のときは前のチャプター／曲に移動します。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリ

ｉウィジェット

ｉアプリ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。
さらに、リアルタイム通信やｉアプリコール（→P257）を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なｉアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。
また、ｉアプリにはｉウィジェット（→P261）対応のものがあります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。→P372
- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

✔お知らせ
- ｉアプリまたはｉアプリDXにより画像、動画が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「ｉモード」「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダ、ｉモーションの「ｉモード」フォルダ、追加したアルバム、またはｉアプリ内に保存されます。トルカが保存される場合は、トルカの「トルカフォルダ」に保存されます。
- ｉアプリDXにより着信音が保存される場合はメロディの「ｉモード」フォルダまたはｉアプリ内に保存されます。
- [MENU]［ｉアプリ］[5]を押すと、ｉアプリに関する登録商標を表示します。

ｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。
- 保存できるｉアプリのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。

1 サイトを表示▶ｉアプリを選択

ｉアプリがダウンロードされます。
- ダウンロード中に[●]を押して「はい」を選択すると中止します。
- ダウンロードを中止したり、通信が中断されたりしたときは、再開の確認画面が表示される場合があります。「いいえ」を選択すると、部分保存できる場合は部分保存の確認画面が表示されます。部分保存するとソフト一覧から残りをダウンロードできます。→P243「ｉアプリを起動する」操作3

ソフト情報表示設定が「表示する」のとき

ｉアプリの情報とダウンロードの確認画面が表示されます。
- [📷]を押すと、ダウンロードするｉアプリの詳細情報を表示できます。

登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号、ICカードの製造番号、microSDカードを利用するｉアプリをダウンロードするとき

ダウンロードの確認画面が表示されます。
- ガイド表示領域に「ガイド」と表示された場合に[📷]を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

選択したｉアプリが既にダウンロードされているとき

ダウンロード済みを示す画面が表示されます。ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップの確認画面が表示されます。既に異なるFOMAカードでダウンロードされているときは、上書きの確認画面が表示されます。

待受画面（ｉアプリ待受画面）、通信設定、位置情報（位置情報利用設定）、番組表ボタン設定、ｉアプリコール設定の設定画面が表示されたとき

各項目を設定します。
各設定項目→P245「ｉアプリの動作条件を設定する」操作1

2 ダウンロード完了後に「はい」または「いいえ」

「はい」を選択するとｉアプリが起動し、「いいえ」を選択するとサイト表示に戻ります。
- ダウンロードしたｉアプリは、ソフト一覧の「マイフォルダ」に保存されます。
- 待受画面を「設定する」に設定した場合は設定の確認画面が表示されます。設定すると、テロップ表示設定やインフォメーション表示設定が「表示する」の場合は、「表示しない」に設定されます。
- 2in1がBモード時にメール機能を利用するｉアプリのダウンロードが完了するとサイト画面に戻ります。設定画面が表示されているときは[📷]を押すとサイト画面に戻ります。

✔お知らせ

- 最大保存件数／領域を超えたとき→P312
- 保存容量の確認→P312
- ｉアプリの保存領域に空きがあってもICカード内の保存領域の空きが足りないときや、保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリと同じサービスを利用するおサイフケータイ対応ｉアプリは、ダウンロードできない場合があります。その場合は画面の指示に従ってｉアプリを削除してください。ただし、ｉアプリによっては、削除対象として表示されなかったり、ｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内データを削除する必要があります。

◆ メール連動型ｉアプリのダウンロード

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、受信／送信／未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名に設定され、変更できません。

- メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください。
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとすると、メールフォルダ利用の確認画面が表示されます。利用しない場合は、メールフォルダを削除してからダウンロードしてください。
- メール連動型ｉアプリに対応したメールが既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードの際に自動的に作成されたフォルダへの移動確認画面が表示されます。

◆ ダウンロード時にｉアプリの情報を表示するかどうかを設定する〈ソフト情報表示設定〉

1 MENU［ｉアプリ］3 3 ▶ 1 または 2

ｉアプリを起動する

1 iα（1秒以上）

おサイフケータイ対応ｉアプリのみ表示する：MENU［おサイフケータイ］1 ▶操作3に進む

GPS対応ｉアプリのみ表示する：→P276

2 フォルダを選択

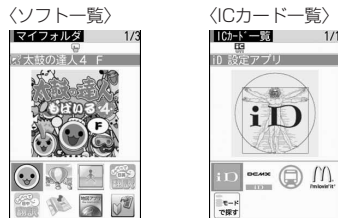
- マークの意味は次のとおりです。
  - ／：お買い上げ時に登録されているフォルダでｉアプリなし／あり
  - ／：作成したフォルダでｉアプリなし／あり

フォルダ内のｉアプリの件数を確認する〈ソフト件数確認〉：フォルダにカーソル▶📷

- マークの意味は操作3をご覧ください。

設定状況を確認する：✉
保存件数やｉアプリ待受画面、ワンタッチｉアプリ、自動起動の設定状況が表示されます。

3 起動するｉアプリを選択

〈ソフト一覧〉

〈ICカード一覧〉

グラフィカル表示

- マークの意味は次のとおりです（ICカード一覧では※がついたマークのみ表示されます）。
  - ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
  - ：ICお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータ
  - ：メール連動型ｉアプリ　：ｉアプリDX
  - （オレンジ）：ｉアプリ

／：ｉアプリ待受画面に設定可／設定中　：自動起動設定中
（上半分グレー、下半分オレンジ）※：部分保存したｉアプリ
※：FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
※：IP（情報サービス提供者）によって停止状態
：SSLページからダウンロードしたｉアプリ
※：2in1がBモードのため起動不可
：ワンタッチｉアプリ登録中　～：ツータッチｉアプリ登録中
※：個別ICカードロックに指定中　：GPS対応ｉアプリ
／：番組表ボタン設定に設定可／設定中
／／：ｉモードサイトからｉアプリを探す→P242

- を押すたびにグラフィカル表示→リスト表示→サムネイル表示の順に表示が切り替わります。
- ウィジェットアプリを起動すると、ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。→P261
- 部分保存したｉアプリを選択すると、残りをダウンロードするかの確認画面が表示されます。残りをダウンロードすると起動できますが、ダウンロードできないときは、部分保存したｉアプリは削除される場合があります。
- iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータを選択すると、ダウンロードまたはサイトに接続するかの確認画面が表示されます。対応するおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすると、起動できます。
- ｉアプリを終了するには、ｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。を押し「はい」を選択しても終了できます。

✔お知らせ

- ｉアプリによって、表示領域が異なったり、横画面表示になる場合があります。
- 縦横（横縦）のサイズが432×240ドット以下のｉアプリは、縦横のサイズが2倍に拡大されて表示されます。
- 縦または横が864ドットで表示されるｉアプリでは、を押すたびに電池アイコンの表示／非表示が切り替えられます。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は調整できます。ただし、音が鳴らないｉアプリもあります。→P246
- ｉアプリによっては、ｉアプリ起動中に指定された別のｉアプリを起動できます（指定されていない場合はｉアプリを選択します）。ただし、指定されたｉアプリがソフト一覧にない場合は、ダウンロードする必要があります。
- ｉアプリで利用する画像（ｉアプリからカメラ撮影した画像やｉアプリの赤外線通信／iC通信機能によって取得した画像）やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由してサーバに送信される可能性があります。
- microSDカードを利用するｉアプリはｉアプリからmicroSDカードにデータを保存できますが、保存したデータは他機種で利用できない場合があります。
microSDカードの「ｉアプリのデータ」を選択すると、microSDカードを利用するｉアプリを確認できます。→P305
- 次のような場合、ｉアプリは中断される場合があります。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
  - 電話やプッシュトーク着信時
  - 開閉ロックやオートキーロックが起動したとき
  - ワンセグの視聴／録画予約やお知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 圏外にいる場合や登録データが使用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみできます。もう一度ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
- ｉアプリ作成者の方へ
ｉアプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。トレース情報は、待受画面で［ｉアプリ］44を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するｉアプリが保存されていないときは、表示できません。
トレース情報を削除するときはを押して「はい」を選択します。

◆ セキュリティエラー履歴を表示する

ｉアプリが登録データを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときは、ｉアプリ名、日時、セキュリティエラー理由が記録されます。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 ［ｉアプリ］43

- 履歴を削除するときはを押して「はい」を選択します。

◆ ｉアプリの詳細情報を表示する〈ソフト詳細情報〉

1 [iα]（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリにカーソル▶[📷]

- 表示される項目はｉアプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合、ソフト詳細情報画面で[📷]を押すとサイトの証明書を確認できます。

◆ ｉアプリの動作条件を設定する〈ソフト動作設定〉

- ｉアプリが対応していない項目は選択できません。
- 2in1がデュアルモードまたはBモード時は、「ｉアプリ待受画面」「ｉアプリ待受画面通信設定」は選択できません。

1 [iα]（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリにカーソル▶[MENU][6]▶各項目を設定▶[📷]

ｉアプリ待受画面：待受画面に設定するかを設定します。設定できるｉアプリは1件のみです。

ｉアプリ待受画面通信設定：ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信するかを設定します。

通信設定：ｉアプリ動作中に自動的に通信するかを設定します。

アイコン情報：ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池、マナーモード、アンテナの各種アイコン情報を利用するかを設定します。

ブラウザからの起動：サイトからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。

トルカからの起動：トルカからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。

メールからの起動：メールからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。

住所リンク機能での起動：サイトやメッセージR/F、トルカの位置情報のリンク項目からの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。

外部機器からの起動：外部機器からの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。

データ放送サイトからの起動：ワンセグのデータ放送サイトからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。

ソフトからの着信音／画像変更を※：ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を自動的に変更することを許可するかを設定します。

変更ごとに確認画面を※：ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに確認画面を表示するかを設定します。

ソフトからの電話帳／履歴参照を※：ｉアプリが電話帳やリダイヤル、着信履歴を自動的に参照することを許可するかを設定します。FOMA端末に保存したトルカも対象です。

位置情報利用設定※：GPS対応ｉアプリが位置情報を自動的に利用するかを設定します。

番組表ボタン設定※：ワンセグから起動する番組表ｉアプリに設定するかを設定します。設定できるｉアプリは1件のみです。

地図設定※：地図を見る操作で利用するｉアプリに設定するかを設定します。設定できるｉアプリは1件のみです。

- 本設定は地図選択にも反映されます。→P285
- 本設定に対応しているGPS対応ｉアプリのみ設定できます。

ｉアプリコール設定※：ｉアプリコールから起動するかを設定します。

※ ｉアプリDXのみ設定できます。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面を「設定する」に設定したときは、設定の確認画面が表示されます（既にそのｉアプリを待受画面に設定している場合を除く）。設定すると、テロップ表示設定やインフォメーション表示設定が「表示する」の場合は、「表示しない」に設定されます。ｉアプリ待受画面を「設定しない」に設定すると、テロップ表示設定やインフォメーション表示設定は「表示する」に戻ります。
- 通信設定を「通信しない」に設定すると、ｉアプリが起動できない場合や、株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合があります。
- アイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、アンテナアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。アイコン情報が必要なｉアプリの場合、「利用しない」に設定すると、動作しないｉアプリがあります。
- 番組表ボタン設定で「設定しない」を選択すると、解除の確認画面が表示されます。
- 地図設定で「設定する」を選択すると、選択した位置情報が表示されない場合がある旨のメッセージが表示されます。
- ｉアプリによっては、ｉアプリコールを「設定する」にしていても有効にならない場合があります。

◆ｉアプリ動作中の各種動作を設定する

❖照明点灯時間を設定する

1 MENU［ｉアプリ］3 4 ▶ 1 または 2

- 「端末設定に従う」に設定すると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）に従います。

✔**お知らせ**

- 「ソフトに従う」にしても、公共モード中は照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）で設定した時間が経過すると照明は消灯します。
- 本設定は照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（ｉアプリ）にも反映されます。

❖バイブレータを設定する

ｉアプリによるバイブレータを動作させるかを設定します。

- 本設定はバイブレータ設定のｉアプリ利用時にも反映されます。

1 MENU［ｉアプリ］3 5 ▶ 1 または 2

❖音量を設定する

- 本設定は音量設定のｉアプリ音量にも反映されます。

1 MENU［ｉアプリ］3 7 ▶ ▲▼ または ✥ ▶ ●

◆モーショントラッキングについて

本FOMA端末は、カメラの認識技術を使用してｉアプリを操作（FOMA端末を傾けたり振ったり）するモーショントラッキングに対応しています。

- 次の場合はご利用になれないことがあります。
  - カメラのレンズが汚れているとき
  - 着用している服が背景と似通っているとき
  - 移動中など、背景が一定していないとき
  - 暗い場所や背景が明るすぎる場所にいるとき
- モーショントラッキング対応のアプリの中には、自分が動いて遊ぶゲームがあります。その場合は、ディスプレイを180度回転させてディスプレイとカメラを自分の方に向けた状態で操作しますが、左右の方向が逆になります。

警告

モーショントラッキング対応のアプリは、FOMA端末を振ったりして遊びます。振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。遊ぶ際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

◆プリインストールｉアプリを使う

- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P312

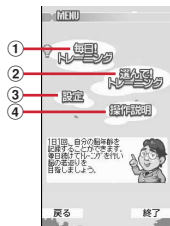
おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

❖ケータイ脳力ストレッチング2（東北大学 川島隆太教授監修）

さまざまな問題を解いて、脳年齢をはかり、脳をトレーニングしていくゲームです。

■ MENU画面について

タイトル画面で●を押すと、MENU画面が表示されます。

① プレイヤーの脳年齢に応じた問題でトレーニングの開始や、過去の記録を表示
② 問題を選んでトレーニングの開始や、過去の記録を表示
③ カレンダーの表示、サウンドやバイブレーションの設定、データクリア
④ 操作説明を表示

MENU：タイトル画面に戻る
📷：ｉアプリの終了
✣：カーソルの移動
●：項目の決定
✂：音量調整
#：バイブレーションのON／OFF

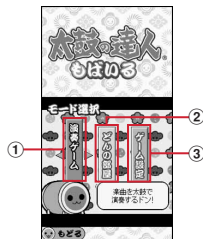
■ 遊びかた

「毎日！トレーニング」を選択すると、その日の問題が3種類出題されます。「選んで！トレーニング」を選択すると、問題を選んでトレーニングできます。開始する前に✉を押して解説を確認してから問題を解いてください。各トレーニング状況によっては、新しい問題が出現します。

❖太鼓の達人4 F

流れてくる太鼓の種類に合わせ、対応したキーをタイミング良く押すゲームです。曲によって難易度の種類が異なります。

■ モード選択画面について

タイトル画面で●を押すと、モード選択画面が表示されます。

① ゲーム開始
② ゲーム内に登場する和田どんをお好みの服に変更
③ キー設定、おまけ（各種設定変更）、BGMやSE（音色）の音量調整、振動のあり／なし、演奏履歴の表示

MENU：タイトル画面に戻る
✣：カーソルの移動
●：項目の決定

■ 遊びかた

モード選択画面で「演奏ゲーム」を選択し、演奏曲、難易度を選択するとゲームがスタートします。画面に流れてくる太鼓の種類に対応するキーをタイミングよく押します。

- キーの割り当てについては、「ゲーム設定」のキー設定をご覧ください。
- タイトル画面で📷を押すとゲームの説明が表示されます。

❖日英版しゃべって翻訳 for F／日中版しゃべって翻訳 for F

音声入力により、主に旅行で使われる言葉を日本語から英語や中国語、または英語や中国語から日本語に翻訳します。

- ご利用になるには、ご利用規約に同意する必要があります。
- 別途パケット通信料がかかります。
- 操作方法については、タイトル画面で[#]を押し「チュートリアル」をご覧ください。
- 初回起動時から60日までは無料で全機能をご利用いただけます。61日以降、全機能を利用するには有料となり、株式会社ATR-Trekの「しゃべって翻訳」サイトからマイメニュー登録が必要です。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→辞書/便利ツール→しゃべって翻訳

サイトアクセス用QRコード

❖iアバターメーカー

※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なることがあります。

iアバターメーカーでできること

■ アバターをつくる

iアバターメーカーに用意された様々なパーツを利用して、アバターを作成できます。
カメラで撮影した写真やデータBOXに保存してある画像を見ながら作成したり、あらかじめ用意されたアバターの見本をもとに作成したりできます。

■ アバターをつかう

作成したアバターは、デコメール®、デコメ®絵文字、デコメアニメ®の素材や、ｉコンシェルに対応したマチキャラに変換して利用できます。
また、作成したアバターをｉアバターサイトに登録することでいろいろな洋服アイテムにきせかえたり、コンテストや対応サイトで公開したりできます。

- アバターをデコメアニメ®やマチキャラに変換する際には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアバターサイトにアバターを登録する際には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアバターサイトできせかえを行うには、アイテム購入が必要な場合があります。
- ｉアバターは、株式会社ディーツー コミュニケーションズの商標です。
- アバターメーカーは、株式会社アクロディアの商標です。

❖モバイルGoogleマップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザー作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えたり、ストリートビューを見ることができるなど、路線検索で目的地までの移動方法を調べることもできます。

■ 地図画面について

- 初めて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。

[MENU]：メニューの表示
[📷]：検索（地域のお店やサービスの情報、場所を検索して地図上に表示）
[●]：コンテキストメニュー（路線検索、ストリートビュー、お気に入りに保存）
[✣]：カーソルの移動
[1]：ズームアウト
[2]：地図／航空写真の切り替え
[3]：ズームイン
[0]：現在地の表示
[✱]：お気に入りに保存／表示

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細はメニューの「ヘルプ」をご覧ください。

©2008 Google - 地図データ ©2008 Geocentre Consulting, NFGIS,Zenrin, Europa Technologies

❖Gガイド番組表リモコン

※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なります。
・ お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグ、ワンセグから番組表を起動することができます。気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーなどに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDレコーダーなどが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワード、メイン画面上部のピックアップキーワードで番組情報の検索ができます。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作（→P316）ができます（一部対応していない機種もあります）。

- 初めて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 2in1がBモード時は利用できません。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の日付時刻設定を日本時間に合わせてください。
- Gガイド番組表リモコンの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

■ 視聴予約機能について

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

視聴予約の方法：

本アプリを立ち上げ、視聴予約したい番組を選択し、メニューの「視聴予約」から「予約実行」を選択すると予約スケジューラが起動されますので、画面の指示に従って視聴予約を行ってください。

■ 録画予約機能について
本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約をすることができます。
録画予約の方法：
本アプリを立ち上げ、録画予約したい番組を選択し、メニューの「#ワンセグ録画予約」から「予約実行」を選択すると予約スケジューラが起動されますので、画面の指示に従って録画予約を行ってください（録画予約したい番組を選択し、[#]を押しても録画予約をすることができます）。

■ リモート録画予約機能について
リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーなどをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。
初期設定方法：
① DVDレコーダーなどにインターネット接続の設定をしてください（ご利用のDVDレコーダーなどの取扱説明書をご確認ください）。
② 本アプリを立ち上げ、メニューの「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。
番組予約の方法：
初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリに設定したDVDレコーダーなどと接続し、録画予約をすることができます。

❖iアプリバンキング

※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なることがあります。

iアプリバンキングとは、FOMA端末からモバイルバンキング（ご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替など）を、便利にご利用いただくためのｉアプリです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。ペイジーによる請求書・納付書のお支払いも可能です。
- iアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのインターネットバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- iアプリバンキングの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- iアプリバンキングに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→モバイルバンキング→iアプリバンキング

サイトアクセス用
QRコード

❖iD 設定アプリ

※ 画面はイメージです。
　実際の画面とは異なることがあります。

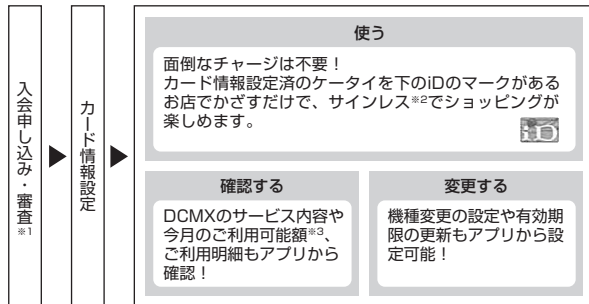
チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。今までのようにサインをすることなく、簡単・便利にショッピングができます。
カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- 「iD」のご利用には、「iD」に対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリやカード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。
- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iDアプリまたはカードアプリの設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによっては、iDアプリの設定を完了のうえ、カードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリの設定を行う必要があります。
- iD対応のサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- 「iD 設定アプリ」は削除できません。
- 「iD」に関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→「iD」

サイトアクセス用
QRコード

❖DCMXクレジットアプリ

※ 画面はイメージです。
　実際の画面とは異なることがあります。

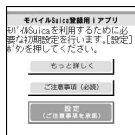
「DCMX」とは、「iD（アイディ）」に対応した、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。
DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMX／DCMX GOLDの各サービスがあります。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

※1　DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2　一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。
※3　DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細についてはDCMXのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→DCMX iD

サイトアクセス用
QRコード

✔お知らせ

- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

❖モバイルSuica登録用iアプリ

※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なることがあります。

「モバイルSuica登録用iアプリ」は、JR東日本が提供するおサイフケータイ対応サービス「モバイルSuica」をご利用いただく前に必要な初期設定を行う、NTTドコモが提供するｉアプリです。本アプリにて初期設定を行った後、画面の指示に従ってJR東日本サイトからモバイルSuicaアプリをダウンロードし、会員登録を行ってください。

- はじめてご利用される際には、「ご注意事項（必読）」に承諾いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 本アプリは、初期設定が完了した後に削除できますが、設定したICカード内エリアは占有された状態となります。当該エリアを他のサービスにご利用いただくためには、ICカード内のデータを全て初期化（以下、フルフォーマット）していただく必要があります。
- フルフォーマットを実施するには、ドコモショップへのご来店が必要です。
- フルフォーマットを実施すると、ICカード内の全てのデータが削除されます。
- フルフォーマットを行った後にモバイルSuicaサービスを再度ご利用になる場合は、本アプリにて再度初期設定をしていただく必要があります。
- モバイルSuicaに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→おサイフケータイ→モバイルSuica
- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

❖FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかを確認するアプリです。

※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なることがあります。

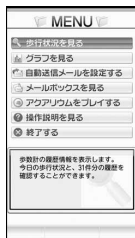
- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意した上でご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

❖ウォーキングチェッカー

ウォーキングチェッカー（→P339）に対応したウォーキングチェッカー ｉアプリと、ウォーキングチェッカーウィジェットアプリを利用できます。

■ ウォーキングチェッカー ｉアプリ

歩数や消費カロリーなどの情報を確認したり、歩数データをメールで自動送信したりできます。また、歩数によって得たポイントで観賞魚やアイテムなどを購入してレイアウトするアクアリウムも楽しめます。

- 起動するとメニュー画面が表示されます。

[上下キー]：カーソルの移動
[決定キー]：項目の決定
[クリアキー]：サウンドのON／OFF

- メールが自動送信される際は、ｉアプリが自動起動します。
- 自動起動の注意事項→P256
- 各項目の詳細については「操作説明を見る」をご覧ください。

■ ウォーキングチェッカーウィジェットアプリ

ｉウィジェット画面で歩行状況をすぐに確認できます。利用するにはｉウィジェットから起動します。→P261

- 起動中は次の操作ができます。
  [MENU]：ウォーキングチェッカー ｉアプリの起動
  [カメラキー]：スキンの変更
  [左右キー]：日付の切り替え

❖Start! ｉウィジェット

※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なることがあります。

「Start! ｉウィジェット」は、ｉウィジェットの使いかたをムービーで見ることのできるアプリです。
また、ｉモードに接続して、FOMA端末に保存されているもの以外のアプリをダウンロードできるサイトを表示することもできます。

- 「ダウンロード」を選択し、ｉモードに接続する際は、別途パケット通信料がかかります。

❖iWウォッチ

※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なることがあります。

「iWウォッチ」は、ｉウィジェットにてグラフィカルな時計を楽しむことができるアプリです。
時計のデザインや色をお好みに応じて変更できます。

❖地図アプリ

本FOMA端末に搭載されているGPS機能を利用して、目的地を検索したり、交通手段によるルートを表示したりすることができる便利アプリです。
「地図アプリ」の操作方法→P276

❖楽オク☆アプリ

※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なることがあります。

「楽オク☆アプリ」は、楽オクにいつでもどこでも簡単に出品できる便利なアプリです。出品操作はガイド表示付きで、「体験出品」もできるのでオークションがはじめてという方でも安心して使えます。説明文が簡単に作れる「かんたん入力」機能や写真撮影・編集、履歴の保存など便利な機能もたくさんあるので、サイトからの出品よりも時間がかからずに出品することができます。

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録とマイメニュー登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→オークション

サイトアクセス用
QRコード

■ ウィジェットアプリ対応

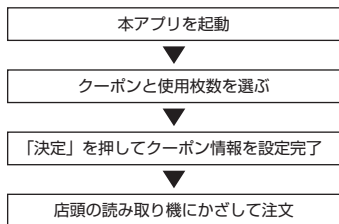
楽オクのおすすめ商品や自分で出品･入札した商品の情報が表示されるので、気になるオークションの状況が簡単に確認できます。

❖マクドナルド トクするアプリ

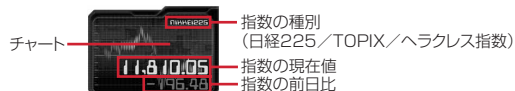
※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なることがあります。

マクドナルドの新商品など、おすすめ情報をいち早くチェックできたり、マクドナルドで使える割引クーポン「かざすクーポン」をダウンロードして使ったりすることができます。
「かざすクーポン」のご利用は「トクするケータイサイト」への会員登録後、アプリからお好みのクーポンを選択・設定し、マクドナルドの店頭に設置されている読み取り機にかざしてご利用ください。

- 「マクドナルド トクするアプリ」に関する情報は、マクドナルド公式サイト「トクするケータイサイト」をご覧ください。
  ｉモードサイト：iMenu→メニューリスト→グルメ/レシピ→マクドナルド トクする
- 「かざすクーポン」はご利用いただけない店舗があります。
- 「かざすクーポン」が使えない地域では、「見せるクーポン」をご利用いただけます。
- 「おすすめ情報」は「トクするケータイサイト」の非会員でもご覧いただけます。
- 「マクドナルド トクするアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

■ かざすクーポンのご利用方法

■ ウィジェットアプリ対応

マクドナルドの「おすすめ情報」が更新されると、ウィジェットアプリのマクドナルドの看板が回転してお知らせします。
看板を選択するとおすすめ情報が表示されます。おすすめ情報の「もっと詳しくボタン」を押すとより詳しい情報を見ることができます。
©2008 McDonald's

❖株価アプリ

※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なることがあります。

「株価アプリ」は、ｉウィジェットにて株価情報を簡単に見ることのできるアプリです。
表示できる株価情報は、「日経225／TOPIX／ヘラクレス指数」の3指数になります。それぞれの指数の現在値および前日比を表示することができます。
また、チャート情報についても、「日中足／日足／週足／月足」と切り替えることができます。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 指数の現在値については、約20分遅れの情報となります。
- 本アプリの情報は株式など売買及び売買の支援をするものではありません。
- 本アプリの情報の内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねます。

❖Googleモバイル

※ 画面はイメージです。
実際の画面とは異なることがあります。

「Googleモバイル」は、モバイルWeb検索機能が利用できるアプリです。過去に入力した検索ワードや、トレンド急上昇中のワードの入力も簡単にできるので便利です。
また、メールサービス（Gmail）、乗り換え案内などの便利なGoogleサービスを簡単に呼び出せます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

ｉアプリをすばやく起動する

待受画面から簡単な操作でｉアプリを起動できます。

◆ワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリを登録する

- ワンタッチｉアプリは1件登録できます。
- ツータッチｉアプリは1つのダイヤルキーにつき1件、合計10件まで登録できます。

〈例〉ツータッチｉアプリを登録する

1 ｉα（1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリにカーソル▶MENU 8 2

ワンタッチｉアプリを登録する：ｉアプリにカーソル▶MENU 8 1

- 解除する場合もそれぞれ同様の操作です。

3 登録先を選択

- アイコンの番号（0～9）が、ツータッチｉアプリを起動するときに使用するダイヤルキー（0～9）に対応します。
- 登録済みの登録先を選択すると上書きの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 待受画面でMENU［ｉアプリ］3 6を押すと、ツータッチｉアプリ一覧を表示できます。一覧のサブメニューから、詳細情報の表示やツータッチｉアプリ解除ができます。

◆ワンタッチ・ツータッチで起動する

〈例〉ツータッチでｉアプリを起動する

1 0～9▶ｉα（1秒以上）

ワンタッチでｉアプリを起動する：●（1秒以上）

ｉアプリを自動起動する

◆自動起動を設定する〈自動起動設定〉

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのｉアプリを自動起動するかを設定します。

1 MENU［ｉアプリ］3 2▶1または2

◆自動起動の日時を設定する〈自動起動情報登録〉

ｉアプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

- 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
- 自動起動できないｉアプリもあります。
- 自動起動設定が「自動起動しない」の場合は、設定できません。

1 ｉα（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリにカーソル▶MENU 5▶各項目を設定▶📷

ユーザ設定：次の設定する条件で自動起動するかを選択します。
時刻：自動起動する時刻を入力します。
繰り返し：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
毎週：繰り返しを「毎週」に設定したときに曜日を設定します。
日付：繰り返しを「1回のみ」に設定したときに日付を設定します。
ソフト設定：ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかを設定します。
ｉアプリ設定1～4：ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4件設定できます。それらの設定を有効にするかを設定します。

✔お知らせ

- 自動起動を設定しても、次の場合は起動せず、待受画面にが表示され、自動起動失敗履歴に記録されます。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可のとき（プリインストールｉアプリを除く）やFOMAカードを認識できないとき
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき
  - オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）
  - 2in1がBモード時（メール機能を利用するｉアプリのみ）
  - IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき
- 「繰り返し」を変更して複数のｉアプリを同時刻に自動起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか1つです。起動できなかったｉアプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面には表示されません。

◆ 自動起動失敗履歴を表示する

ｉアプリの自動起動に失敗したときに、待受画面にが表示され、ｉアプリ名、日時、起動失敗理由が記録されます。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面のが消えます。

1 MENU［ｉアプリ］4 1

- 履歴を削除するときはを押し、「はい」を選択します。

ｉアプリコールを利用する

ネットワークに接続した対戦ゲームをする際に対戦相手を招集するなど、第三者からｉアプリの起動を促すように通知する機能です。

- ｉアプリコールに対応したｉアプリで利用できます。
- ｉアプリコールの受信を一括拒否できます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

◆ ｉアプリコールを送信して招集する

1 ｉアプリを操作してｉアプリコール送信確認画面で「はい」

◆ ｉアプリコールを受信する

1 ｉアプリコールを受信

が点灯し、メール着信設定に従ってランプが点灯または点滅し、着信音が鳴って応答確認画面が表示されます。応答確認画面には、送信元の電話番号（電話帳に登録している場合は名前）とｉアプリ名が表示されます。

- ｉアプリコール受信時の音量は、音量設定のメール・メッセージ着信音量に従います。
- メール着信音にｉモーションが設定されている場合は、メール着信設定のお買い上げ時の設定に従って動作します。

2 「応答する」

対象のｉアプリが起動します。

- 対象のｉアプリが保存されていない場合は、ダウンロードまたはサイト接続の確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードできます。なお、別途パケット通信料がかかります。

ｉアプリを起動しない：「拒否する」
招集を保留にする：「保留する」
ｉアプリコール履歴から応答できます。ただし、有効期限が過ぎると応答できません。

✔お知らせ

- 次の場合は、応答確認画面は表示されません。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - 日付時刻を設定していないとき
  - 公共モード中
  - オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）、開閉ロック中、オートキーロック中
  - 対象のｉアプリのｉアプリコール設定が「設定しない」のとき
  - 対象のｉアプリが保存されていない、かつｉアプリコールダウンロード設定が「拒否する」のとき
- ｉアプリによっては、応答確認画面が表示されずに起動する場合があります。
- ｉアプリコールに応答すると、パケット通信料がかかる場合があります。

◆ ｉアプリコール履歴を表示する

ｉアプリコールを受信すると、受信日時、応答状態、ｉアプリの名称、有効期限、送信元の電話番号（電話帳に登録しているときは名前）が記録されます。
• 最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU［ｉアプリ］2

• マークの意味は次のとおりです。
保留中：応答確認画面で「保留する」を選択／約15秒間操作なし
応答：応答　拒否：拒否　期限切れ：有効期限切れ

保留中のｉアプリコールに応答する：保留中の履歴を選択▶「応答する」
削除する：MENU 1 ▶ 1 または 2 ▶「はい」
• 全件削除では認証操作が必要です。

◆ ｉアプリコール時のダウンロードを設定する〈ｉアプリコールダウンロード設定〉

ｉアプリコール受信の際、対象のｉアプリがFOMA端末に保存されていない場合にダウンロードするかを設定します。

1 MENU［ｉアプリ］3 9 ▶ 1 または 2

ｉアプリTo

サイトやメール、トルカからｉアプリを起動する

1 サイトやｉモードメール、トルカを表示▶ｉアプリを起動できるリンク項目を選択▶「はい」

✔お知らせ
• ｉアプリToで起動するｉアプリがFOMA端末に保存されていない場合は、起動できません。ただし、ｉアプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
• メールからｉアプリToで起動する場合、部分保存したｉアプリは起動できません。
• サイトからダウンロード後すぐに起動するｉアプリは、起動中に通信の確認画面が表示される場合があります。
• FOMA端末に保存できないｉアプリもあります。
• ｉアプリToで起動しないように設定している場合は起動できません。→P245

ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面を操作する

ｉアプリを待受画面に設定し、待受画面からｉアプリを起動して操作します。
• ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に□または□がグレーで表示されます。
• ｉアプリ待受画面の設定→P97、245

◆ ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動する

1 ｉアプリ待受画面で CLR ▶ ｉアプリを操作

ディスプレイ上部の□または□がオレンジで点滅します。

✔お知らせ
• ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。「はい」を選択するか、約5秒間何も操作しないと起動します。「いいえ」を選択するとｉアプリ待受画面を解除します。ただし、自動電源ON設定によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
• 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
• オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）中、2in1がデュアルモードまたはBモード時は、ｉアプリ待受画面は一時的に解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。
• ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生すると、解除の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると解除され、異常終了履歴に記録されます。

◆ ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る

1 ｉアプリ動作中に □ ▶「終了する」

ディスプレイ上部の□または□がオレンジからグレーに変わります。
ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。
• 「解除する」を選択するとｉアプリ待受画面が解除されます。ディスプレイ上部の□または□が消えます。

✔お知らせ
• ソフト一覧からの解除の操作：MENU→「ｉアプリ待受画面」→「解除する」

ｉアプリを管理する

◆ バージョンアップする

ｉアプリが更新されている場合はバージョンアップできます。

1 [iα]（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリにカーソル▶[MENU][4]▶「はい」

✔お知らせ

- バージョンアップすると、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
- ｉアプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合はバージョンアップできます。
- ｉアプリによっては、自動的にバージョンアップするものがあります。

◆ フォルダを作成／削除する

- 最大20個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているフォルダは削除できません。

〈例〉フォルダを作成する

1 [iα]（1秒以上）

2 [MENU][4]

フォルダ名を変更する：フォルダにカーソル▶[MENU][1]
並び順を変更する：フォルダにカーソル▶[MENU]▶[5]または[6]
フォルダを削除する：
① フォルダにカーソル▶[MENU][2][1]
- フォルダ内にｉアプリが保存されている場合は、認証操作が必要です。

②「はい」
- フォルダ内に保存されているｉアプリによっては、ｉアプリやメールフォルダなどの削除確認画面が表示されます。→P259「ｉアプリを削除する」操作3

3 フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶[📷]

◆ ｉアプリを他のフォルダに移動する

1 [iα]（1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリにカーソル▶[MENU][3]▶[1]～[3]

- 選択移動では選択操作▶[📷]が必要です。

3 移動先のフォルダを選択▶「はい」

◆ ｉアプリを削除する

- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ICカード内データも削除されたり、削除する前にｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内データを削除したりしておく必要があります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては削除できない場合があります。

1 [iα]（1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリにカーソル▶[MENU][2]▶[1]～[3]

- 1件削除ではカーソルを合わせたｉアプリが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

3「はい」

- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、メールフォルダ削除の確認画面が表示されます。
  -「はい」：メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールも削除
  -「いいえ」：ｉアプリのみ削除
  ただし、「はい」を選択しても、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- 「選択削除」または「全件削除」するｉアプリに、ICカード内データを削除しておく必要があるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリの削除確認画面が表示されます。
- 番組表ボタン設定、地図設定で設定されたｉアプリを削除する場合は、削除の確認画面が表示されます。
- microSDカードのデータを使用するｉアプリを削除する場合は、microSDカードのデータ削除の確認画面が表示されることがあります。
  -「はい」：microSDカードのデータも削除
  -「いいえ」：ｉアプリのみ削除

✔お知らせ
- メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P148
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。

◆ ｉアプリを並べ替える〈ソフトの並べ替え〉

1 MENU［ｉアプリ］3 1 ▶ 1 ～ 5

✔お知らせ
- ソフト一覧からの操作：MENU 9
- ｉアプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えの結果が、50音順と一致しない場合があります。
- 使用回数はｉアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 使用回数にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。
- 「ソフトのサイズ順」は、ソフトのサイズが大きい順に並べ替えられます。

◆ 異常終了履歴を表示する

ｉアプリ待受画面が解除されたり、ウィジェットアプリ一覧画面でウィジェットアプリを続行できないようなエラーが発生したときに、ｉアプリ名と日時が記録されます。
- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU［ｉアプリ］4 2
- 履歴を削除するときは📷を押して「はい」を選択します。

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

- 各機能に対応したｉアプリが必要です。
- ｉアプリによっては操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

◆ ｉアプリから電話をかける

1 電話番号を選択 ▶ 発信条件を設定 ▶ MENU

条件を設定して電話をかける→P64

◆ ｉアプリからカメラ機能を利用する

1 ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う

✔お知らせ
- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した静止画または動画は、ｉアプリ内（ｉアプリによってはマイピクチャの「ｉモード」「デコメピクチャ」フォルダ、ｉモーションの「ｉモード」フォルダ、または追加したアルバム）に保存されます。また、自動的にサーバへ送られる場合があります。

◆ ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

1 ｉアプリを操作してバーコード（JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コード、CODE128コード）を読み取る
- 読み取ったデータはｉアプリで利用、保存されます。
- CODE128コードを読み取るには、対応しているｉアプリをダウンロードする必要があります。

◆ ｉアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 赤外線通信の確認画面で「はい」
- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。

◆ ｉアプリからトルカを利用する

ｉアプリから、トルカの保存やフォルダ内のトルカを使用、検索ができます。

〈例〉保存する

1 トルカ保存の確認画面で「はい（新規）」

トルカの「トルカフォルダ」に保存されます。

上書き保存する：「はい（上書き）」▶ フォルダを選択 ▶ 上書きするトルカを選択

表示する：「プレビュー」

ｉウィジェット

ｉウィジェットとは電卓や時計、株価情報など頻繁に利用するコンテンツ（ウィジェットアプリ）にｉウィジェットボタン（TV）1つでアクセスできる便利な機能です。
ウィジェットアプリはIP（情報サービス提供者）などが提供するサイトからダウンロードすることにより追加できます。また、ｉウィジェット画面には最大8つのウィジェットアプリを貼り付けることができ、より自分仕様の画面にすることができます。

- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- ウィジェットアプリをダウンロードする場合やｉウィジェット画面を表示する場合などは、別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミング中のパケット通信料はパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルの対象外です。
- ｉウィジェットの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 次のプリインストールｉアプリはｉウィジェット対応です。
  - ウォーキングチェッカー→P253
  - Start! iウィジェット→P253
  - iWウォッチ→P253
  - 地図アプリ→P276
  - 楽オク☆アプリ→P254
  - マクドナルド トクするアプリ→P254
  - 株価アプリ→P255
  - Googleモバイル→P255
- お買い上げ時は、「楽オク☆アプリ」「マクドナルド トクするアプリ」以外のｉアプリがｉウィジェット画面に貼り付けられています。

ｉウィジェットを利用する

〈例〉ウィジェットアプリ操作画面を表示する

1 TV

ｉウィジェット画面

ウィジェットアプリ一覧画面

- ｉウィジェット画面にウィジェットアプリを貼り付けている場合はｉウィジェット画面が、貼り付けていない場合はウィジェットアプリ一覧画面が表示されます。
- ウィジェットアプリ操作画面は、ソフト一覧（→P243）、ｉウィジェット画面、ウィジェットアプリ一覧画面からウィジェットアプリを選択すると起動できます。
- ｉウィジェット画面への貼り付けは、ウィジェットアプリ操作画面からiαを押してｉウィジェット画面を表示することで貼り付けられます。すでに8つ貼り付けている場合は、他のウィジェットアプリを終了してから貼り付けてください。
- ウィジェットアプリ一覧画面では、ｉウィジェット画面に貼り付けているウィジェットアプリには「ACTIVE」、ダウンロードしたウィジェットアプリには48時間「NEW」と表示されます。
- 海外で利用する際、初回起動時や異なるFOMAカードに差し替えているときはｉウィジェットローミング設定（→P262）の設定画面が表示されます。設定画面でCLRを押すと、「いいえ」を選択した場合と同様に、通信しない設定でウィジェットアプリ操作画面が表示されます。

- ｉウィジェット画面では次の操作ができます。
  [方向キー]：カーソルの移動
  [決定キー]：カーソル位置のウィジェットアプリ操作画面を表示
  [MENU]：ウィジェットアプリ一覧画面を表示
  [カメラキー]：シャッフルする（2つ以上貼り付けているとき）
  [iαキー]：待受画面に戻る
  [メールキー]▶「YES」：カーソル位置のウィジェットアプリを終了（ｉウィジェット画面から削除）
- ウィジェットアプリ一覧画面では次の操作ができます。
  [方向キー]／[決定キー]：ｉウィジェット画面と同様の操作
  [iαキー]：ウィジェットアプリを貼り付けている場合はｉウィジェット画面を表示、貼り付けていない場合は待受画面に戻る
- ウィジェットアプリ一覧画面で「全てのアプリ」を選択すると、ｉアプリフォルダ一覧が表示されます。

以降の操作→P243「ｉアプリを起動する」操作2

2 ウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリ操作画面
（例：ウォーキングチェッカー）

- ウィジェットアプリ操作画面では次の操作ができます（ウィジェットアプリによっては次のキー以外でも操作できる場合があります）。
  [iαキー]：ｉウィジェット画面を表示
  [メールキー]▶「YES」：ウィジェットアプリを終了（ｉウィジェット画面に貼り付けている場合はｉウィジェット画面からも削除）

✔お知らせ

- ｉウィジェット画面やウィジェットアプリ一覧画面表示中に約3分間何も操作しないと自動的に待受画面に戻ります。
- データ一括削除を行った場合や異なるFOMAカードに差し替えた場合、ｉウィジェット画面の貼り付け状態はお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、バージョンアップや削除、再ダウンロードしたウィジェットアプリは貼り付けられません。

◆ ｉウィジェットの効果音を設定する〈ｉウィジェット効果音設定〉

[TV]を押してｉウィジェットを起動するときに効果音を鳴らすかを設定します。

- 音量はｉアプリ音量に従います。

1 [MENU]［ｉアプリ］[3][8][1]▶[1]または[2]

◆ 国際ローミング中の通信方法を設定する〈ｉウィジェットローミング設定〉

国際ローミング中にｉウィジェットでウィジェットアプリを起動する際、ウィジェットアプリが通信することを許可するかを設定します。

1 [MENU]［ｉアプリ］[3][8][2]▶「はい」または「いいえ」

ウィジェットアプリをダウンロードする

サイトからウィジェットアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- ダウンロードに関する注意事項は「ｉアプリをダウンロードする」をご覧ください。→P242
- ダウンロードしたウィジェットアプリの利用→P261

1 サイトを表示▶ウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリがダウンロードされます。

2 「はい」または「いいえ」

「はい」を選択するとウィジェットアプリが起動し、ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。「いいえ」を選択するとサイト表示に戻ります。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイを使う

トルカを使う

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで支払いなどができます。
さらに、通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※も充実しています。おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

※ おまかせロック、ICカードロックを利用できます。→P115、266

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※よりおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードし、設定を行う必要があります。
  ※ i Menu→メニューリスト→おサイフケータイ
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失、変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

◆ おサイフケータイの利用方法

ステップ 1

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードする→P242

お買い上げ時はiD 設定アプリ、DCMXクレジットアプリ、モバイルSuica登録用iアプリ、マクドナルド トクするアプリが保存されています。また、MENU［おサイフケータイ］8を押すと、おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードするサイトに接続できます。

ステップ 2

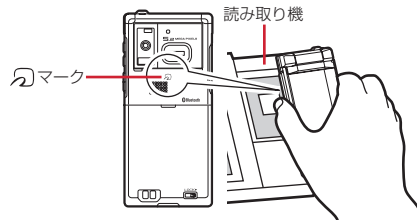
おサイフケータイ対応iアプリを起動してサービスの初期設定を行う→P265

おサイフケータイ対応iアプリを起動して画面の指示に従って設定後、チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を携帯電話で確認したりできます。

ステップ 3

マークを読み取り機にかざす

おサイフケータイのマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用したりできます。この機能は、おサイフケータイ対応iアプリを起動せずに利用できます。

※ パケット通信料はかかりません。

✔お知らせ

- イルミネーション設定のICカードアクセスイルミネーションが「ON」の場合は、マークを読み取り機の読み取り可能な範囲にかざすとランプが点滅します。
- FOMA端末のマークを読み取り機にかざしてもうまく認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 電源を切っているときや、電池が切れてからも、マークを読み取り機にかざしておサイフケータイの機能をご利用いただくことができます。ただし、電池パックを装着していないときや、電池パックを装着していても電池パックを長時間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、おサイフケータイの機能をご利用いただけなくなる場合もあります。
- 電源を切った状態では、おサイフケータイ対応iアプリを起動してICカード内データを読み書きしたり、トルカを取得したりできません。
- マークを読み取り機にかざすとiアプリが起動する場合があります。
- マークを読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイに移し替える※3ことができるサービスです。ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード※4するだけで、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

※1 お取り替え元、お取り替え先ともに、iCお引っこしサービス対応のFOMA端末である必要があります。ご利用にあたってはお近くのドコモショップなど窓口にご来店ください。
※2 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部iCお引っこしサービス対象外のサービスがあり、移行できるのはiCお引っこしサービス対象のおサイフケータイ対応サービスのICカード内データのみになります。
※3 このサービスは、「コピー」ではなく「移行」されるため、ICカード内データは、お取り替え元のFOMA端末に残りません。iCお引っこしサービスをご利用いただけない場合もございますので、各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスなどをご利用ください。
※4 ｉアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動またはダウンロードすると、使用中のFOMAカードがおサイフケータイ内のICカードのオーナー（ICオーナー）として登録されます。それ以降はICオーナーとして登録されているFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用できません。なお、別のFOMAカードに差し替えて利用する場合は、ICオーナーを変更しないとICカード機能を利用できません。→P265

1 MENU［おサイフケータイ］1

以降の操作→P243「ｉアプリを起動する」操作3

✔お知らせ

- おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、マークを読み取り機にかざしてもおサイフケータイを利用できない場合があります。
- 次の場合は、動作中のおサイフケータイ対応ｉアプリが中断されることがあります。そのとき、読み書きしていたデータが破棄されることがあります。
  - 電話やプッシュトーク着信時
  - 開閉ロック、オートキーロックが起動したとき
  - ワンセグの視聴／録画予約やお知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 圏外にいる場合や登録データが利用できない場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
- MENU［おサイフケータイ］2を押すと、DCMXクレジットアプリを起動できます。

ICオーナー確認

ICカードのオーナー情報を確認する

使用しているFOMAカードがおサイフケータイ内のICカードのオーナー（ICオーナー）として登録されているかどうかを確認できます。

1 MENU［おサイフケータイ］6

- 登録されていない場合は、登録されているFOMAカードを取り付けるか、「ICオーナーを初期化するには」を選択してICオーナーを変更してください。→P265「ICオーナーを変更する」操作2

❖ICオーナーを変更する

変更するにはICオーナーを初期化する必要があります。初期化すると、iD 設定アプリ以外のおサイフケータイ対応ｉアプリが削除されます。ただし、ICカード内データが保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリは、初期化する前にｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内データを削除しておく必要があります。初期化した後、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動またはダウンロードすると、ICオーナーとして登録されます。

1 MENU［おサイフケータイ］7

2 「ICオーナー初期化」▶「はい」▶認証操作▶「はい」

ICカードロック

ICカード機能を使用できないようにする

- ICカードロックを起動すると、ICカードの利用、読み取り機からのトルカ取得、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードや利用、ICオーナーの初期化、iC通信が利用できなくなります。
- ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してから、オールロックを起動してください。

1 [キー]（1秒以上）▶「はい」

ICカードロックを起動すると、待受画面に[アイコン]または[アイコン](個別ICカードロックのとき）が表示されます。

解除する：[キー]（1秒以上）▶認証操作

❖FOMA端末を閉じたまま起動／解除する

- 解除するときは、指紋認証を利用します。

1 背面ディスプレイの時計表示中に[キー]▶[キー][キー]で「ICカードロック設定」にカーソル▶[キー]

ICカードロックを起動すると「ICカードロックを設定しました」と表示され、ランプが青色で約3秒間点灯します。

解除する：背面ディスプレイの時計表示中に[キー]▶[キー][キー]で「ICカードロック解除」にカーソル▶[キー]▶認証操作

ICカードロックを解除すると「ICカードロックを解除しました」と表示され、ランプが青色で約3秒間点滅します。

- 認証操作待ちのときはランプが赤色で点灯します。[キー]、[キー]、[キー][キー]を押すと、ICカードロック解除が無効となり、ランプが消灯します。
- 認証操作が失敗すると「認証できませんでした」と表示され、ランプが赤色で約1秒間点滅します。

✔お知らせ

- ビューアスタイルのマルチタスクメニューからも起動／解除できます。→P44
- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては削除できない場合があります。

◆ICカードロックに関する設定をする

ICカードロック時動作設定：ICカードロックを起動したとき、あらかじめ指定したおサイフケータイ対応ｉアプリのICカード機能だけをロックするように設定できます（個別ICカードロック）。

ICカードオートロック設定：指定した時間が経過すると、ICカードロックが自動的に起動するように設定できます。

電源OFF時ICロック設定：電源を切ったとき、電源を切る前のICカードロックの状態を継続するか、すべてのICカード機能をロックするかを選択できます。

1 [MENU]［おサイフケータイ］[4]

2 目的の操作を行う

ICカードロック時動作設定を行う：[2][2]▶おサイフケータイ対応ｉアプリを選択▶[キー]

- すべてのICカード機能をロックする場合は[2][1]を押します。
- 選択したおサイフケータイ対応ｉアプリは、ICカード一覧で[アイコン]が表示されます。→P243
- ICカード内にサービスを登録済みで、サービス利用可能なおサイフケータイ対応ｉアプリが選択対象となります。

ICカードオートロック設定を行う：[3]▶各項目を設定▶[キー]

- 「ON」のときに電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れたりした場合は、指定した時間を待たずにICカードロックが起動します。
- おサイフケータイ対応ｉアプリの利用中にロックするまでの時間が経過した場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリの終了後にICカードロックが起動します。

電源OFF時ICロック設定を行う：[5]▶認証操作▶[1]または[2]

◆ 指定した時刻にICカードロックを解除する〈ICカードロック解除予約〉

ICカードロック中、指定した時間帯のみICカードが使えるようにします。
- 最大7件登録できます。
- 電源が入っている場合のみ動作します。

1 MENU［おサイフケータイ］4 4 ▶認証操作▶ 1 ～ 7

設定／解除する：タイトルにカーソル▶MENU
- 設定中は、タイトルの左に🕘が表示されます。

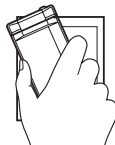
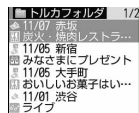
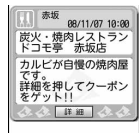
2 各項目を設定▶📷

時刻：ICカードロックを解除する開始時刻と終了時刻（24時を超えて翌日に設定できます）を入力します。
繰り返し：「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して📷を押します。
タイトル：全角9（半角18）文字以内で入力します。

✔**お知らせ**
- おサイフケータイ対応ｉアプリの利用中にICカードロック解除の終了時刻になると、おサイフケータイ対応ｉアプリの終了後にICカードロックが起動します。
- ICカードロック解除の時間帯はICカードロックを起動できますが、ICカードオートロック設定の自動起動はできません。

トルカ

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メール、赤外線通信／iC通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。
- トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

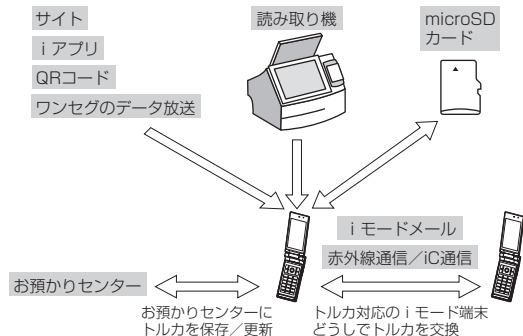
❖ トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得

トルカ一覧からトルカを選択

「詳細」ボタンを押して詳しい情報をダウンロード

トルカ（詳細）

トルカ取得

トルカを取得する

• 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。

❖トルカの取得手段

• 読み取り機からの取得方法は、「おサイフケータイの利用方法」のステップ3と同じです。→P264
• お預かりセンターに保存／更新→P129
• iモードメール添付・保存→P140、147
• サイトからダウンロード→P178
• QRコード読み取り→P210
• ワンセグのデータ放送から取得→P226
• iアプリから保存→P260
• microSDカード移動／コピー→P303
• 赤外線通信／iC通信→P313、314

✔お知らせ

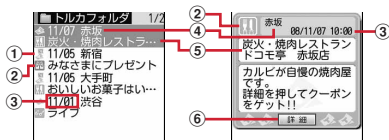
• 読み取り機からトルカを取得したときは、ICカードからトルカ取得、トルカ取得確認設定、自動読取機能設定、イルミネーション設定の着信イルミネーションのトルカ取得、音量設定のトルカ取得音量に従って動作します。
• 取得、ダウンロードしたトルカは「トルカフォルダ」に保存されます。ただし、読み取り機から取得するとトルカ振り分け設定に従って保存されます。
• ICカードからトルカ取得の自動表示設定が「ON」のときは、読み取り機からトルカを取得すると、詳細をダウンロードするためのサイト接続確認画面が表示される場合があります。自動表示中にキー操作をしなかった場合は、トルカは未読の状態で保存されます。
• iモードメール受信、サイトからダウンロード、QRコード読み取り、既読のトルカを赤外線通信／iC通信で受信して取得したトルカは既読のトルカとして保存されます。
• トルカ（詳細）はメール添付、microSDカードへ移動／コピー、赤外線送信／iC送信をすると、詳細は含まれない、または保存不可を示す画面が表示される場合があります。
• トルカによっては更新や移動／コピー、メールや赤外線などの送信ができない場合があります。
• 保存容量の確認→P312
• 最大保存件数／領域を超えたとき→P312

トルカを表示する

1 [MENU]［おサイフケータイ］[3]▶フォルダを選択

(グレー)：トルカなし　(水色)：未読トルカなし
：未読トルカあり　(グレー)：利用済みトルカなし
(水色)：利用済みトルカあり

すべてのトルカを表示する：フォルダ一覧で[カメラ]

2 トルカを選択

① 状態マーク
　：未読　：既読
② カテゴリマーク
③ 取得日時
④ インデックス
⑤ タイトル
⑥「詳細」ボタン
　詳細情報がある場合に表示されます。サイトから詳細情報をダウンロードできます。

削除する：トルカにカーソル▶[MENU][3]▶[1]～[3]▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたトルカが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[カメラ]が、全件削除では認証操作が必要です。
- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカを削除する場合は、トルカにカーソルを合わせて[●]を押し、「はい」を選択します。

他のフォルダに移動する：トルカにカーソル▶[MENU][4][1]▶[1]～[3]▶移動先のフォルダを選択▶「はい」
- 選択移動では選択操作▶[カメラ]が必要です。
- 「利用済みトルカ」フォルダには移動できません。

並べ替える（ソート）：[MENU][5][2]▶[1]～[5]
- 一時的に並べ替えます。全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」「インデックス順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。
- 「かな順」を選択すると、トルカがデータとして保有するID順に並べ替えます（IDは表示できません）。

メールに添付する：トルカにカーソル▶[メール]
- ファイル添付時の動作→P141「ファイルを添付する」操作1

❖トルカ（詳細）表示中の操作について

表示を更新する：[MENU][1]▶「はい」

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する：電話番号やメールアドレスにカーソル▶[MENU][4]▶[1]または[2]▶[1]または[2]
電話帳登録→P82
- 更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

URLをブックマークに登録する：URLにカーソル▶[MENU][4][3]▶登録先フォルダを選択
以降の操作→P175「ブックマークに登録する」操作2

画像を保存する：[MENU][4][4]▶画像を選択
- 背景画像を保存する場合は[MENU][4][5]を押します。

以降の操作→P178「画像をダウンロードする」操作2以降

位置情報を利用する：位置情報を選択
以降の操作→P181「位置情報を利用する」操作2

Flash画像やGIFアニメーションをもう一度動作させる：[MENU][7]

画像や動画／iモーションをアップロードする：「参照」
以降の操作→P179「サイトに画像や動画／iモーションをアップロードする」操作2

✔お知らせ

- トルカによっては有効期限が設定されている場合があります。期限が過ぎると、トルカ一覧の背景色が異なる色で表示されます。
- トルカに電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。
- トルカ一覧とトルカ（詳細）に、トルカ発行者独自のカテゴリマークが表示される場合があります（検索やトルカ振り分け設定の条件「ジャンル」のカテゴリマークには含まれません）。
- Flash画像がトルカ（詳細）に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。
- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは表示できません。
- 詳細情報をダウンロードするときは、パケット通信料がかかります。
- 受信側がトルカ対応機種の場合でも、機種によってはトルカ（詳細）を受信できない場合があります。

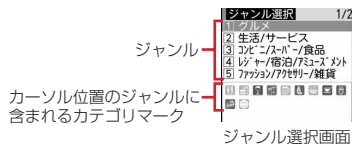
◆ トルカを検索する

- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは検索できません。

〈例〉ジャンルで検索する

1 MENU［おサイフケータイ］3 ▶ MENU 1 ▶ 検索条件欄を選択

2 1 ▶ ジャンル欄を選択 ▶ 1 ～ 5

ジャンル選択画面

タイトルで検索する：2 ▶ 検索文字列欄にタイトルの一部を入力（全角10（半角21）文字以内）
インデックスで検索する：3 ▶ 検索文字列欄にインデックスの一部を入力（全角7（半角15）文字以内）

3 📷

- フォルダ内を検索する場合は MENU 2 を押します。

◆ フォルダを作成／削除する

- 「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダ以外に最大20個作成できます。
- 「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダは、フォルダ名や並び順を変更、削除できません。

〈例〉フォルダを作成する

1 MENU［おサイフケータイ］3

2 MENU 2

フォルダ名を変更する：フォルダにカーソル ▶ MENU 4 ▶ 操作3に進む
並び順を変更する：フォルダにカーソル ▶ MENU ▶ 9 または 0
削除する：フォルダにカーソル ▶ MENU 3 ▶ 認証操作 ▶「はい」

3 フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶ 📷

◆ トルカの件数を確認する〈トルカ件数確認〉

- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは、保存件数に含まれません。

1 MENU［おサイフケータイ］3 ▶ MENU 6

- フォルダ内の件数の確認をする場合は MENU 5 1 を押します。

トルカの機能を設定する

◆ トルカ取得の動作を設定する〈ICカードからトルカ取得〉

読み取り機やiC通信でのトルカの取得や、読み取り機からトルカを取得したときの動作を設定します。

1 MENU［おサイフケータイ］5 2 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

トルカ取得設定：「ON」にすると、トルカを読み取り機から取得したり、iC通信で受信します。
重複チェック設定：「ON」にすると、保存しているトルカと重複する場合は新たにトルカを取得しません。
自動振り分け設定：「ON」にすると、トルカ振り分け設定に従って振り分けます。
自動表示設定：「ON」にすると、待受画面表示中の場合のみ約15秒間自動的に表示されます。

◆ 取得完了の確認動作を設定する〈トルカ取得確認設定〉

読み取り機からトルカを取得したときの、取得完了をお知らせするランプや音量の設定を行います。

- 本設定は、イルミネーション設定の着信イルミネーションのトルカ取得と音量設定のトルカ取得音量にも反映されます。

1 MENU［おサイフケータイ］5 1 ▶各項目を設定▶📷

イルミネーション設定：取得が完了したときにランプを点滅させるかを設定します。
イルミネーションカラー：ランプの点灯色を設定します。
トルカ取得音量：取得が完了したときに鳴る音の音量を設定します。

◆ 自動読取機能を利用する〈自動読取機能設定〉

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動的に読み取りさせるかどうかを設定します。「ON」にすると、利用可能なトルカが自動的に認識され、「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。「ON」にしないと、トルカによっては利用できない場合があります。

- 「利用済みトルカ」フォルダには、トルカが最大20件保存されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU［おサイフケータイ］5 3 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 本機能が「OFF」のときに読み取り機にFOMA端末をかざすと、自動読取機能利用の確認画面や自動読取機能無効を示す画面が表示される場合があります。トルカを利用する場合は「ON」にしてください。

◆ 振り分ける条件を設定する〈トルカ振り分け設定〉

読み取り機から取得したトルカを、指定したフォルダに振り分ける条件を設定します。

- 最大20件登録できます。
- 本機能を実行するには、ICカードからトルカ取得の自動振り分け設定を「ON」にする必要があります。
- 「利用済みトルカ」フォルダは振り分け先フォルダに指定できません。

〈例〉ジャンルで振り分ける

1 MENU［おサイフケータイ］5 4

トルカ振り分け一覧が表示されます。登録済みの振り分け条件は、優先順位の高い順に表示されます。
GENRE：ジャンル　TITLE：タイトル　INDEX：インデックス　表示なし：条件なし

2 📷▶振り分け条件欄を選択

振り分け条件を確認する：振り分け条件を選択
変更する：振り分け条件にカーソル▶MENU 2 ▶振り分け条件欄を選択▶操作3に進む
削除する：振り分け条件にカーソル▶MENU▶ 3 または 4 ▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた振り分け条件が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

優先順位を変更する：振り分け条件にカーソル▶MENU 5 ▶操作5に進む

3 1 ▶ジャンル欄を選択▶ 1 ～ 5

ジャンル選択画面→P270
タイトルで振り分ける：2 ▶振り分け条件文字列欄にタイトルの一部を入力（全角10（半角21）文字以内）
インデックスで振り分ける：3 ▶振り分け条件文字列欄にインデックスの一部を入力（全角7（半角15）文字以内）
条件なしで振り分ける：4

4 振り分け先フォルダ欄を選択▶フォルダを選択▶📷

5 優先順位を選択

選択した行の上に振り分け条件が追加されます。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合は「最後に追加する」を選択します（登録済みの条件を変更するときは「最後に移動する」と表示されます）。

地図・GPS機能

GPS機能のご利用について

- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、不具合、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - 手などで覆っていたり、かばんなどに入れていたりする
  - FOMA端末を閉じている
  - FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外または海外では、現在地確認以外のGPS機能をご利用いただけません。

地図

地図を見る

地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリを起動して、地図を表示します。

- お買い上げ時は「地図アプリ」が起動し、現在地や指定した場所の地図を見ることができます。→P276

1 MENU [LifeKit] 7 1

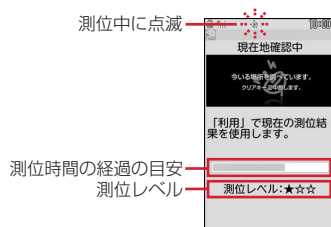
- 地図設定の地図起動時動作設定が「測位する」の場合は、現在地を測位してから地図を表示します。
- GPS対応ｉアプリが設定されていない場合は、地図設定の画面が表示されます。

現在地確認

自分のいる場所を確認する

- 現在地確認をした際のパケット通信料は無料です。ただし、位置情報を利用して地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。
- 位置提供または現在地通知での測位中は測位できません。
- 圏外や海外でも、見晴らしのよい場所であれば測位できる場合がありますが、時間がかかるなど通常とは動作が異なったり、周囲の状況によっては測位できなかったりすることがあります。

1 MENU [LifeKit] 7 2

測位が開始されます。

- 測位レベルのマークの意味は次のとおりです。
  ★★★：ほぼ正確な位置情報（誤差がおおむね50m未満）
  ★★☆：比較的正確な位置情報（誤差がおおむね300m未満）
  ★☆☆：おおよその位置情報（誤差がおおむね300m以上）
  測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 測位中にCLRまたは[キー]を押すと、測位を中断します。
- 測位中にその時点までの位置情報を利用するときは[カメラキー]を押します。

2 測位終了後の位置情報利用メニューから機能を選択

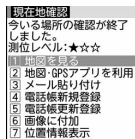
位置情報利用メニューの操作→P275「■位置情報利用メニュー」

✔お知らせ

- 測位に時間がかかる旨のメッセージが表示される場合があります。「はい」を選択すると測位を続けますが、測位には時間がかかります。「リトライ」を選択すると、測位モードの設定に関わらず品質重視モードでもう一度測位します。海外では「リトライ」は表示されません。

◆ 位置情報の利用について

■ 位置情報利用メニュー

現在地確認を行った後や位置履歴のサブメニューから「位置情報利用」を選択したとき、画像表示のサブメニューから「詳細情報」→「位置情報利用」を選択したとき、電話帳やプロフィール情報の詳細画面で位置情報を選択したときに表示されます。

1 メニュー画面で[1]～[7]

地図を見る：[1]
地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動し、位置情報を利用して地図を表示します。

GPS対応ｉアプリを利用する：[2]▶ｉアプリを選択
ｉアプリが起動します。

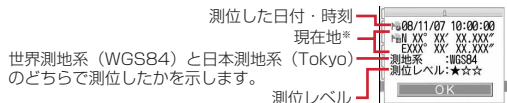
位置情報をメールに貼り付ける：[3]
メール本文にURL化した位置情報が入力されたメール作成画面が表示されます。

- 現在地確認や位置履歴からメール作成画面を表示したときは、題名欄に「位置メール」と入力されます。
- 2in1がBモード時は利用できません。
- メールに貼り付けた位置情報URLは、ｉモード対応端末でのみ表示できます。

電話帳に新規登録する：[4]
電話帳の新規登録画面が表示されます。

電話帳に更新登録する：[5]▶更新する電話帳を選択
選択した電話帳に位置情報が追加され、登録画面が表示されます。

画像に付加する：[6]▶フォルダを選択▶画像を選択▶「はい」

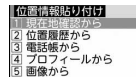
位置情報を表示する：[7]
次の画面が表示されます。

※ 度（°）、分（′）、秒（″）で表示されます。「N」は北緯、「S」は南緯、「E」は東経、「W」は西経を示します。

■ 位置情報貼り付け／付加／送信メニュー

次の場合に表示され、各項目の位置情報を貼り付け／付加／送信します。

位置情報貼り付けメニュー：メール本文や署名編集の入力中に[MENU]を押し「定型文・パスワード引用」→「位置情報貼り付け」を選択したとき

位置情報付加メニュー：FOMA端末電話帳の新規登録画面や編集画面、プロフィール編集画面で「位置情報」を選択したとき、画像表示中に[MENU]を押して「詳細情報」→「位置情報付加」を選択したとき、静止画撮影後の画面で[MENU]を押して「位置情報付加」を選択したとき

位置情報送信メニュー：ｉモードやトルカなどで位置情報送信用のリンク項目を選択したとき

1 位置情報貼り付け／付加／送信メニューで[1]～[5]

現在地確認の位置情報を利用する：[1]▶現在地確認を行った後の確認画面で「はい」

位置履歴の位置情報を利用する：[2]▶位置履歴を選択▶「はい」

電話帳の位置情報を利用する：[3]▶位置情報が登録されたFOMA端末電話帳一覧の電話帳を選択▶「はい」

プロフィール情報の位置情報を利用する：[4]▶認証操作▶「はい」

画像に登録された位置情報を利用する：[5]▶フォルダを選択▶画像を選択▶「はい」

◆ 現在地確認をした後に行う動作を設定する〈現在地確認後動作設定〉

待受画面で[8]を1秒以上押す操作（セレクトメニューの設定がお買い上げ時の状態）や待受ショートカットから現在地確認を起動した場合に、現在地確認後に行う動作を設定します。
- セレクトメニューの設定を変更し、別のダイヤルキー（第一階層）に現在地確認を登録した場合にも有効です。

1 [MENU]［LifeKit］[7][6][1]▶[1]～[6]

地図を見る：地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動し、測位した位置情報を利用して地図を表示します。
地図・GPSアプリを利用：GPS対応ｉアプリの一覧を表示します。
メール貼り付け：題名欄に「位置メール」、メール本文にURL化した位置情報が入力されたメール作成画面を表示します。
電話帳登録：「電話帳新規登録」または「電話帳更新登録」を選択する画面を表示します。位置情報が設定された電話帳の新規登録か、登録済みの電話帳への位置情報の更新ができます。
画像に付加：画像フォルダ一覧を表示します。測位した位置情報を画像に付加できます。
測位ごとに確認：測位レベルと位置情報利用メニューを表示します。→P275

GPS対応ｉアプリを利用する

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリの「位置情報利用設定」を「利用する」に設定する必要があります。
- お買い上げ時には、GPS対応ｉアプリとして「地図アプリ」と「モバイルGoogleマップ」が登録されています。

1 [MENU]［LifeKit］[7][3]▶**起動するGPS対応ｉアプリを選択**

- GPS対応ｉアプリを終了するには、ｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。

◆ 地図アプリを利用する

お買い上げ時に登録されている「地図アプリ」では、GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地まで乗り物、徒歩、自動車向けのナビゲーションなどあらゆることができます。
- ご利用には別途、パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルのご利用をおすすめします。
- 本ソフトを削除した場合、「ｉエリア－周辺情報－」のサイトからダウンロードできます。
- 2in1がBモード時は利用できません。
- 地図や経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしかねます。あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。
- 本アプリはモーショントラッキングに対応しています。
- 掲載している画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

❖基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、次の二つのサービスがあります。
基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス
付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス
- 初回起動時から60日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。61日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン地図＋ナビ」の会員登録（有料）が必要です。
- 本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

■ サービス内容（メニュー）

メニュー	内　容	61日以降
フリーワード検索	• 施設名称や住所、電話番号・郵便番号などから周辺検索を行い、地図を表示します。	無料
地図	• GPS機能を利用して、今いる場所の地図を表示したり、住所一覧、電話番号入力などから地図を表示します。 • 音声で住所を入力することで、簡単に地図を表示します。	無料
	• 本ソフトやサーバに登録した場所や過去に検索した場所の地図を確認します。 • サーバに登録するとパソコンと登録地点を共有します。	有料

メニュー	内　容	61日以降
周辺検索	• 今いる場所や指定した場所周辺のお店や施設、iDご利用店舗などの情報を調べ、グルメ情報からクーポンを取得します。 • 周辺の駐車場の満空情報を確認します。 • 音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べます。	無料
ナビ	• 目的地まで乗り物、徒歩、自動車を含めた総合的なナビゲーションをします。 • 登録した自宅まで簡単にナビをします。 • 全国の交通渋滞情報を見ることができます。	有料
乗換案内	• 電車の乗換案内や時刻表を確認します。 • 電車ルートを地図で確認、出発前にアラーム設定をします。 • 音声で入力することで、簡単に乗換案内をします。	有料
便利ツール	• 過去にGPS機能で測位した場所を市区町村や都道府県単位で地図上に色を塗って表示します。 • GPS機能を利用して、今いる場所の足あとを残し、動いた軌跡を表示します。 • 通常の地図だけでなく、FOMA端末を傾けて動かす地図や、3Dの地図、鉄道路線を強調した地図など、いろいろな地図にモードを変更します。	無料
	• 地図トークを利用して仲間をお誘いし、仲間の位置を地図上に表示しながらメッセージのやりとりができます。 • microSDカードに保存した「足あと」データをサーバへ送信してパソコンでも足あとを確認します。 • 過去にGPS機能を利用して測位した地域をサーバにバックアップします。	有料
災害用メニュー	• 災害のときに役立つ施設を検索します。 • 地図アプリと連携した通信不要のｉアプリを起動できます。	有料
設定／ヘルプ	• 地図表示、ナビ表示などの設定、使いかたの確認をします。	無料

❖「地図アプリ」TOPメニューの画面と操作

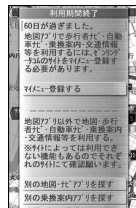
TOPメニュー画面に各メニューが表示されます。CLRでメニューを閉じると、前回検索した地図が表示されます。

• 初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。

TOPメニュー画面

■ 会員登録をせずに60日を過ぎた場合

61日以降に最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

• 会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン地図＋ナビ」のサイトで会員登録します。

❖地図の画面と操作

©2008 ZENRIN DataCom CO., LTD.

地図表示画面

- 地図表示画面では次の操作ができます。
  [MENU]：TOPメニュー画面の表示
  [カメラ]：キー長押しで縮小して広域を表示
  [メール]：キー長押しで拡大して詳細を表示
  [●]：クイックアクセスメニューの表示
  [十字キー]：地図を上下左右にスクロール
  [CLR]：メニューを閉じる、最初の検索結果の場所へ戻る
  [*]：地図を左回転
  [0]：北を上にして地図を表示
  [#]：地図を右回転
- クイックアクセスメニューでは次の操作ができます。
  [周辺情報]▶[●]：表示している地図の場所を中心に周辺情報を調べる
  [ルート検索]▶[●]：出発地を設定して表示している地図の中心までのルートを検索
  [地図トーク]▶[●]：地図トーク[地図トーク]・[メール]送信メニューの表示（[1]で仲間をお誘いし地図に表示、[2]で表示している地図のURLをメールで送信）
  [登録]▶[●]：地図の中心の位置情報を本ソフトやサーバ、電話帳に登録（サーバに登録するとパソコンでも登録地点を共有可能）
  [●]：詳細情報を確認

❖周辺情報の検索結果の画面と操作

- 検索結果表示を地図で表示した場合の画面と操作であり、一覧で選択した場合ではありません。

©2008 ZENRIN DataCom CO., LTD.

周辺情報の検索結果画面

- 検索結果画面では次の操作ができます。
  [1]：前10件の検索結果を選択
  [3]：次10件の検索結果を選択
  [4]：前の検索結果を選択
  [5]：表示している位置を中心にして再検索
  [6]：次の検索結果を選択
  [MENU]／[カメラ]／[メール]／[●]／[十字キー]／[*]／[0]／[#]：地図表示画面と同様の操作

❖ルートを検索して音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。ルートを検索後、音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）します。

1 TOPメニュー画面で「ナビ」▶「ナビをする」

2 出発地欄を選択▶各項目から出発地を設定

現在地（GPS）：現在地を測位して設定
フリーワード検索：キーワードで検索して設定
地図上で指定：地図で出発地を設定
TEL／〒検索：電話番号や郵便番号で検索して設定
住所一覧から：住所を選択して設定
ジャンルから：ジャンルを選択して設定
履歴から：過去に検索した地図から設定

登録地点から：本ソフトやサーバ、電話帳に保存している位置情報から設定
自宅：自宅の位置情報を設定
出発地の確認：出発地の情報を確認

3 目的地欄を選択▶各項目から目的地を設定

- 操作2と同様の操作で設定します。

4 時間指定欄を選択▶各項目から選択

現時刻で指定：現在の時間でルートを調べる
出発時刻指定：出発時間を指定してルートを調べる
到着時刻指定：到着時間を指定してルートを調べる
終電を利用：当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べる

5 条件設定欄を選択▶各項目を設定▶「上記で設定」▶「OK」

乗換条件：乗り換えの優先基準を「早い」「安い」「楽々」から選択
徒歩ルート：ルートの優先基準を「おまかせ」「屋根多い」「階段少ない」から選択
特急利用：ルートの総距離が100km以内の場合でも特急を利用するかを選択
通常利用車種：利用する車種を選択

6「で検索」または「のみで検索」

トータルナビの「で検索」と自動車だけの「のみで検索」でルートを検索できます。検索結果としてルート（最大6件まで）が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴をアイコンで表示します。
早：所要時間が短い
安：運賃が安い
楽：乗り換えが少ない
オススメ：早／安／楽のすべての条件を満たしている
有料：有料道路を優先的に使った自動車ルート
一般：一般道路を優先的に使った自動車ルート

7 ルートを選択▶「ナビ・ルート確認」

ルートを登録する：「ルートを登録」

8「ナビ開始」

目的地までのナビゲーションを開始します。
ルートを確認する：「ルート確認」
ルートをシミュレートする：「シミュレート」

■ ルート（自動車）／ナビゲーション（自動車）表示の画面と操作

ナビゲーション（自動車）表示画面

- ナビゲーション画面では、次の操作ができます。
  MENU：ナビゲーションを終了してTOP画面を表示
  iα：交差点モードへ切り替え
  5：ナビゲーションの中止／再開
  CLR：現在地に戻る
  カメラ／メール／●／マルチ／＊／0／#：地図表示画面と同様の操作
- クイックアクセスメニューでは次の操作ができます。
  ▶●：目的地周辺の駐車場の検索
  ▶●：ルートの検索結果（時刻や料金など）の表示やナビの設定
  ▶●：目的地までのルートに経由地を3箇所まで追加してルート検索
  ▶●：現在地からの目的地までのルートを再検索
  ●：詳細情報を確認

❖音声入力を利用する

音声入力メニューでは、音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べたり、乗換案内したり、地図を見ることができます。

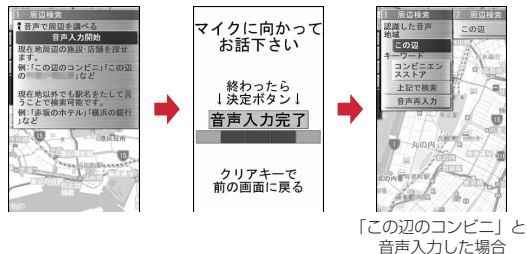
〈例〉周辺検索の音声入力を利用する

1 本ソフト起動中に[MENU]▶「周辺検索」▶「音声入力」

音声入力方法が表示されます。

2 「音声入力開始」

音声入力画面が表示された後、検索したい周辺情報を音声で入力します。

「この辺のコンビニ」と
音声入力した場合

音声を認識して確認画面が表示されます。

- 認識が間違っていた場合は再度入力します。

❖地図トーク機能を利用する

地図トーク機能では、地図上に仲間の位置を表示し、さらにメッセージのやりとりができます。オーナー（お誘いする人）を含め、最大5名の位置を表示します。

■ お誘いする方法

- オーナーは、61日以降は会員のみが利用可能ですが、ゲスト（誘われた人）は非会員でも利用できます。

1 TOPメニュー画面で「便利ツール」▶「地図トーク」

2 ニックネームを入力（4文字以内）▶「ひとりをお誘い」または「ふたり以上をお誘い」▶「OK」

- オーナーを含め3人以上で地図トークをする場合、オーナーは数字4桁のパスワードを設定する必要があります。

3 メールを編集▶[📷]

■ 誘われた人の参加方法

地図トークに誘われた人は、地図トークお誘いのメールを受信します。メール本文のURLからサイトへアクセスし、地図アプリを起動してください。

- 初めて地図トークに参加する場合は、地図トーク上のニックネームを登録してください。
- オーナーを含め3人以上で地図トークをする場合、オーナーが設定した数字4桁のパスワードが必要です。あらかじめオーナーに確認をしてください。

■ 地図トーク機能の画面と操作

©2008 ZENRIN DataCom CO., LTD.

地図トーク利用中画面

- 地図トーク利用中画面では、次の操作ができます。
  4：写真付きメッセージを送信
  6：中心に表示する人を切り替え
  iα：メッセージを送信
  MENU／📷／✉／●／✥：地図表示画面と同様の操作
- クイックアクセスメニューでは次の操作ができます。
  ▶●：地図トークを終了
  ▶●：待ち合わせ場所の設定（オーナーのみ表示）
  ▶●：さらに仲間をお誘い（オーナーのみ表示）
  ●：メッセージの履歴を表示

❖設定／ヘルプを利用する

1 本ソフト起動中にMENU▶「設定／ヘルプ」

- 次の機能を利用できます。
  各種設定：ソフトの基本設定や、ナビの設定、自宅の設定、自宅最寄り駅の設定、全履歴の消去、ソフト設定の初期化
  ヘルプ・規約：パソコンのサイト「いつもガイド」の閲覧方法、使いかたの説明やよくある質問、利用規約の確認
  会員情報確認：「ゼンリン地図＋ナビ」の会員登録の確認
  Ver確認更新：ソフトのバージョンや更新情報の確認、バージョンアップ
  お知らせ：サービスに関する最新ニュースやお知らせを確認

位置提供

要求に応えて現在の位置情報を提供する

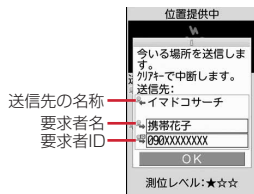
位置提供に対応したサービスで、設定した相手などから要求があったときに、位置情報を提供するように設定します。

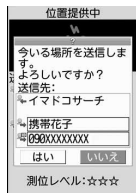
- 位置提供に対応したサービスを利用するには、サービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置提供に対応したサービスを利用するには、位置提供可否設定を「位置提供ON」または「電話帳登録外拒否」に設定する必要があります。また、サービスごとの利用設定が必要となる場合があります。

◆位置提供の要求があると

〈例〉サービスごとの利用設定を「許可」に設定しているとき

位置提供が開始されます。が点滅し、ランプが点灯し、測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動します。

- 位置提供を中止する場合はCLRまたはを押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信される場合があります。

- 要求者名は、要求者IDが電話帳と一致したときに、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、要求者IDとプロフィール情報が一致した場合、要求者名は表示されません。
- 要求者IDは表示されない場合があります。

- サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定しているときは、次の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると位置提供が開始されます。

✔お知らせ

- 位置情報の送信には利用料がかかりません。
- 現在地確認または現在地通知での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中、ｉアプリでｉモード中、赤外線通信／iC通信中は位置提供できません。また、測位中に電池が切れたり、おまかせロックがかかったりしたときは、測位は中断されます。
- 電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）中に位置提供の要求があったときに、サービスごとの利用設定が「毎回確認」の場合は位置情報を送信しません。「許可」に設定している場合は、画面が表示され位置情報を送信しますが、測位鳴動音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。
- 2in1利用時は、2in1のモードに関わらずAナンバーに対する位置提供の要求があったときに利用できます。
- イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたときは、次のように動作します。
  - 要求があるたびに位置提供の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。測位終了後には、精度の高い測位結果が相手に通知されます。
  - 位置提供の確認画面で「はい」を選択した後に、位置提供を中断しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。

◆ 位置提供の可否を設定する〈位置提供可否設定〉

相手から位置情報を提供するように要求があったときに、位置情報を提供するかを設定します。

- 本設定は、初期設定でも設定できます。→P54

1 MENU［LifeKit］7 7 2 1 ▶認証操作

2 1 または 3 ▶「いいえ」

- 「位置提供ON」に設定すると、位置提供を許可します。操作を行わなくても位置情報が送信され、検索者に通知される場合があります。
- 「電話帳登録外拒否」に設定すると、位置提供を許可し、さらに電話帳やプロフィール情報に登録されていない相手からの位置提供の要求を自動的に拒否します。

位置提供や電話帳登録外拒否を解除する： 2

許可期間を設定する： 1 または 3 ▶「はい」▶各項目を設定▶📷

開始時間： 位置提供を開始する時間を設定します。

終了時間： 位置提供を終了する時間を設定します。

- 24時を超えて翌日に設定できます。

繰り返し： 設定時間の繰り返しの動作を設定します。

- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、位置提供を行う曜日を選択して📷を押します。

有効期間： 位置提供を行う期間を設定します。「開始日指定」または「開始／終了日指定」に設定すると、次の項目を設定できます。

開始日： 位置提供を開始する日を設定します。

終了日： 位置提供を終了する日を設定します。

- 「位置提供ON」または「電話帳登録外拒否」を設定すると、待受画面にGPS（青）が表示されます。許可期間が有効期間外の場合は、GPS（グレー）が表示されます。

❖許可期間設定を設定したときの位置提供の動作について

許可期間設定を設定したときの、位置情報を提供する期間は次のようになります。

- 位置提供が行われる期間欄には、2008年11月25日の9時00分に許可期間設定を行った場合に位置情報を提供する期間を、西暦を省略して記載しています。
- 繰り返しを「曜日指定」にした場合は、位置提供が行われる期間欄に記載された期間のうち、指定した曜日のみ動作します。

■ 開始時間を現在時刻より後の時間に設定したとき

〈例〉開始時間「10：00」、終了時間「18：00」

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
なし	—	11/25 10：00-18：00
毎日または曜日指定	なし	11/25以降 10：00-18：00
	開始日：2008/11/01	11/25以降 10：00-18：00
	開始日：2008/12/01	12/01以降 10：00-18：00
	開始日：2008/11/01 終了日：2008/11/30	11/25-11/30 10：00-18：00
	開始日：2008/12/01 終了日：2008/12/31	12/01-12/31 10：00-18：00

■ 開始時間を現在時刻より前の時間に設定したとき

〈例〉開始時間「08：00」、終了時間「18：00」

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
なし	—	11/25 09：00-18：00
毎日または曜日指定	なし	11/25 09：00-18：00 11/26以降 08：00-18：00
	開始日：2008/11/01	11/25 09：00-18：00 11/26以降 08：00-18：00
	開始日：2008/12/01	12/01以降 08：00-18：00
	開始日：2008/11/01 終了日：2008/11/30	11/25 09：00-18：00 11/26-11/30 08：00-18：00
	開始日：2008/12/01 終了日：2008/12/31	12/01-12/31 08：00-18：00

■ 開始時間を現在時刻より後、終了時間を24時を超えて翌日に設定したとき

〈例〉開始時間「10：00」、終了時間「02：00」

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
なし	—	11/25 10：00-11/26 02：00
毎日または曜日指定	なし	11/25以降 10：00-翌日02：00
	開始日：2008/11/01	11/25以降 10：00-翌日02：00
	開始日：2008/12/01	12/01以降 10：00-翌日02：00
	開始日：2008/11/01 終了日：2008/11/30	11/25-11/30 10：00-翌日02：00 (12/01 02：00まで)
	開始日：2008/12/01 終了日：2008/12/31	12/01-12/31 10：00-翌日02：00 (2009/01/01 02：00まで)

■ 開始時間を現在時刻より前、終了時間を24時を超えて翌日に設定したとき

〈例〉開始時間「08：00」、終了時間「02：00」

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
なし	—	11/25 09：00-11/26 02：00
毎日または曜日指定	なし	11/25 09：00-11/26 02：00 11/26以降 08：00-翌日02：00
	開始日：2008/11/01	11/25 09：00-11/26 02：00 11/26以降 08：00-翌日02：00
	開始日：2008/12/01	12/01以降 08：00-翌日02：00
	開始日：2008/11/01 終了日：2008/11/30	11/25 09：00-11/26 02：00 11/26-11/30 08：00-翌日02：00 (12/01 02：00まで)
	開始日：2008/12/01 終了日：2008/12/31	12/01-12/31 08：00-翌日02：00 (2009/01/01 02：00まで)

◆サービスを利用するための設定をする〈サービス利用設定〉

1 MENU [LifeKit] 7 7 2 3

- 以降の操作については、各サービス提供者にお問い合わせください。

◆サービス利用設定サイトの接続先を変更する〈サービス利用／接続設定〉

通常は設定を変更する必要はありません。

1 MENU［LifeKit］7 7 2 4 ▶各項目を設定▶📷

接続先：接続先を選択します。
- 「ユーザ設定」を選択すると、次の項目を設定できます。

ユーザ設定接続先：接続先を半角99文字以内で入力します。
ユーザ設定初期画面URL：表示するURLを半角100文字以内で入力します。

現在地通知

現在の位置情報を通知する

現在地の位置情報を他の人（現在地通知機能に対応したサービス提供者）に通知します。

- 現在地通知を利用するには現在地通知機能に対応したサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 現在地通知は利用料がかかります。
- 現在地確認または位置提供での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中は、現在地通知はできません。また、ダイヤル発信制限中は通知先を入力しての通知はできません。

〈例〉通知先を入力して通知する

1 MENU［LifeKit］7 5

2 2 ▶通知先IDを入力（半角12文字以内）▶●

測位中は🛰が点滅し、ランプが点灯します。測位が完了すると測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動します。
- 場所と電話番号を送信する旨のメッセージ表示中に✉を押すか、測位中にCLRまたは✉を押すと通知を中断します。
- 測位を中断しても、タイミングによっては位置情報が通知される場合があります。

登録した通知先に通知する：1 ▶ 1 〜 5 ▶●

3 送信結果を確認▶●

❖現在地の通知先一覧に通知先を登録する

通知先を登録すると、現在地通知を行うときに一覧から選択して通知できます。特定の相手に音声電話またはテレビ電話を発信すると、登録した通知先IDに現在地を通知するようにも設定できます。
- 通知先は最大5件登録できます。
- FOMAカードを差し込んでいない場合は、通知先の登録、編集、削除はできません。

1 MENU［LifeKit］7 7 1 1 ▶「〈新しい通知先〉」
- 登録済みの通知先を確認するときは、確認する通知先を選択し、📷を押すと編集できます。
- 登録済みの通知先を削除するときは、MENUを押し「削除」を選択します。同様に、サブメニューから電話帳登録や赤外線送信、iC送信、microSDカードへのコピーなどができます。

2 各項目を設定▶📷
- サブメニューから「電話帳引用」を選択すると、電話帳から通知先名と電話番号を引用できます。

通知先名：相手の名前を全角16（半角32）文字以内で入力します。
通知先ID：契約したサービス提供者から付与される番号を半角12文字以内で入力します。
- 数字、「#」「*」を入力できます。

電話番号：相手の電話番号を半角26文字以内で入力します。
- 数字、「P」「T」「+」「#」「*」を入力できます。入力すると、発信時通知設定が設定できます。

発信時通知設定：登録した相手に音声電話またはテレビ電話を発信するときに、登録した通知先IDに現在地を通知するかを設定します。
- 「する」に設定すると、発信時に現在地を通知します。
- 「発信時確認」に設定すると、発信時に現在地を通知するかの確認画面が表示されます。

✔お知らせ
- 電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- 現在地通知先一覧で現在地を通知するように設定しても、次の場合は通知できません。
  - 発信者番号を通知しないで発信したとき
  - 相手が話し中や圏外などのため通話できないとき
- 2in1利用時は、2in1のモードに関わらずAナンバーで通知します。

位置履歴

確認した位置情報の履歴を表示する

現在地確認、位置提供、現在地通知のいずれかの機能で測位した履歴を表示します。履歴の位置情報を利用して、位置情報を電話帳に登録したり、位置情報URLが入力されたメールを作成したりできます。

- 位置履歴は最大50件記録されます。超過すると、古いものから上書きされます。

1 MENU［LifeKit］7 4

- マークの意味は次のとおりです。
  現在地確認　／(グレー)：位置提供／測位失敗
  ／(グレー)：現在地通知／測位失敗

2 表示する履歴を選択

位置情報を利用する：利用する履歴にカーソル▶MENU 1
以降の操作→P275「■位置情報利用メニュー」
削除する：履歴にカーソル▶MENU 2▶1～3▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた履歴が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。

❖位置履歴詳細画面の見かた

現在地確認の位置履歴詳細画面

：測位した日時と機能
：位置提供の送信先の名称／現在地通知の通知先名
：現在地通知の通知先ID　：位置情報　：位置提供の要求者名
：位置提供の要求者ID

- サブメニューから、位置情報利用メニューを表示して位置情報を利用したり、履歴を削除したりできます。位置提供の履歴に要求者IDの電話番号またはメールアドレスの情報があるときは、電話帳登録ができます。

✔お知らせ

- 現在地確認で測位を中断したり失敗したりしたときは、履歴に保存されません。また、位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの履歴から、位置情報の利用はできません。
- 位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの位置情報は表示されません。
- 位置提供や現在地通知の履歴に位置情報が登録されていても、電波状況によりサービス提供者に送信されていない場合があります。
- 位置提供の要求者名は、要求者IDが電話帳と一致したときに、電話帳に登録した名前が表示されます。
- 位置履歴に記録された位置情報は、電波状況などにより位置提供先や現在地通知先に送信された位置情報とは異なる場合があります。

地図設定

地図を見るときのｉアプリと動作を設定する

地図を見る操作で利用するｉアプリと起動時の動作を設定します。

◆利用するｉアプリを設定する〈地図選択〉

1 MENU［LifeKit］7 8 1▶ｉアプリを選択

グラフィカル表示

- マークの意味は次のとおりです。
  ／：地図を見るｉアプリに設定可／設定中
  ：FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
  ：2in1がBモードのため起動不可
  ：個別ICカードロックに指定中
  ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
  ：GPS対応ｉアプリ
  ：メール連動型ｉアプリ　：ｉアプリDX
  （オレンジ）：ｉアプリ
  ／／：ｉモードサイトからｉアプリを探す→P242
- を押すたびにグラフィカル表示→リスト表示→サムネイル表示の順に表示が切り替わります。

◆ 起動時に測位するかどうかを設定する〈地図起動時動作設定〉

1 m [LifeKit] 7 8 2 ▶ 1 または 2

GPSの設定をする

◆ 測位モードを設定する〈測位モード設定〉

- 「標準モード」は短い時間で測位することを優先します。
- 「品質重視モード」は時間をかけて測位します。その結果、「標準モード」より精度が上がる場合があります。

〈例〉現在地確認の測位モードを設定する

1 m [LifeKit] 7 6 2

現在地通知の測位モードを設定する：m [LifeKit] 7 7 1 2
位置提供の測位モードを設定する：m [LifeKit] 7 7 2 2

2 1 または 2

◆ 測位中の動作を設定する〈測位動作設定〉

〈例〉現在地確認の動作を設定する

1 m [LifeKit] 7 6 3

現在地通知の動作を設定する：m [LifeKit] 7 7 1 3
位置提供／許可の動作を設定する：m [LifeKit] 7 7 2 5 1
位置提供／毎回確認の動作を設定する：m [LifeKit] 7 7 2 5 2

2 各項目を設定 ▶ C

鳴動音選択：メロディを鳴らすかを設定します。
- 「メロディ」に設定したときは、メロディを選択します。

バイブレータ設定：バイブレータの動作パターンを設定します。
鳴動時間（秒）：0～30秒の範囲で設定します。
- 位置提供／毎回確認の場合は0～20秒の範囲で設定します。

イルミネーション設定：ランプの点灯または点滅パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」は選択できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認の場合は「OFF」を選択できません。
- 「イルミパターン1」「イルミパターン2」に設定すると、イルミネーションカラーは選択できません。

✔**お知らせ**

- 現在地確認で、電波の状態などにより測位し直したり、リトライしたりしたときには、ランプの点灯／点滅のみ動作します。

データ管理

画像を表示する

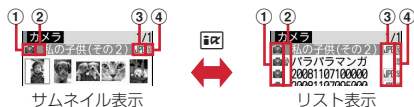
- 静止画（JPEGまたはGIF形式の画像）やアニメーション（GIFアニメーション、Flash画像）、パラパラマンガを表示できます。ただし、横縦（縦横）のサイズが480×864より大きいGIF形式の画像やGIFアニメーション、1944×2592より大きいJPEG形式の画像は表示できません。
- ビューアメニューからも操作できます。→P40

1 MENU［データBOX］1

- フォルダの内容は次のとおりです。
  - **カメラ**：カメラで撮影した画像、動画／ｉモーションやPDFデータから切り出した画像
  - **ｉモード**：サイトやホームページ、メール、ｉアプリから取得した画像、ミュージックプレーヤーで保存した画像
  - **デコメピクチャ**：お買い上げ時に登録されている画像、サイトやホームページ、メール、ｉアプリから取得した画像、バーコードリーダーで読み取った画像
  - **デコメ絵文字**：お買い上げ時に登録されている画像、サイトなどから取得したデコメ®絵文字
    - デコメ®絵文字の規格（画像サイズが20×20、ファイルサイズが90Kバイト以内、メール添付やFOMA端末外への出力可、JPEGまたはGIF形式）に該当する画像を取得すると、このフォルダに保存されます。規格に該当しない画像は保存できません。
  - **アイテム**：お買い上げ時に登録されているフレーム画像、サイトからダウンロードしたフレームやスタンプ用の画像
  - **プリインストール**：お買い上げ時に登録されている画像
  - **データ交換**：バーコードリーダーで読み取った画像、microSDカードや外部機器から取り込んだ画像
  - **マイアルバム**：他のフォルダから移動した画像
    - アルバムを追加すると表示されます。→P308
    - シークレット属性を設定した場合はと表示されます。
  - **ｉモードで探す**：ｉモードサイトから画像を探す→P177

2 フォルダを選択

サムネイル表示

リスト表示

① **取得元**
: プリインストール
: ｉモード、フルブラウザ、メール、ｉアプリ
: カメラ　: フレーム、スタンプ　: データ交換
: ｉモードサイトから画像を探す→P177

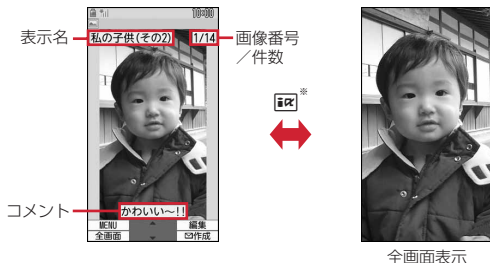
② **画像の種類**
表示なし：静止画　: パラパラマンガ
: GIFアニメーション、Flash画像　: 位置情報付きの画像

③ **ファイル形式**
表示なし：パラパラマンガ　JPG: JPEG形式の画像
GIF: GIF形式の画像、GIFアニメーション　: SWF（Flash画像）
※ FOMA カードのセキュリティ機能により使用不可の場合は、マークの右下にが表示されます。

④ **ファイル制限**
／: ファイル制限あり／なし

- サムネイル表示のときは、ディスプレイ上部にカーソル位置の画像の表示名、ディスプレイ下部に画像サイズとファイルサイズが表示されます。また、サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
  : プレビュー画像なし
  : FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可

microSDカードの一覧に切り替える：iα

3 画像を選択

全画面表示

※ 全画面表示のときは[MENU]、[カメラ]、[CLR]、[メール]のいずれかを押しても、元の表示に戻ります。

- [左右]または[上][下]を押すと、前後の画像に切り替わります。
- アニメーションやパラパラマンガの再生中は、[●]で一時停止／再生、[MENU][7]で先頭から再生できます（全画面表示中を除く）。また、パラパラマンガの停止中や停止した後の再生中に[カメラ]を押すとスロー再生ができます。

メールに添付する：画像にカーソル▶[メール]

ファイル添付時の動作→P141「ファイルを添付する」操作1

- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文内への貼り付け確認画面が表示されます。

画像に付いている位置情報を利用する：画像にカーソル▶[MENU][3][3]（microSDカードの画像一覧では[MENU][2][3]）

以降の操作→P275「■位置情報利用メニュー」

画像に位置情報を付ける：画像にカーソル▶[MENU][3][4]（microSDカードの画像一覧では[MENU][2][4]）▶位置情報を付加▶位置情報を付けるJPEG形式の画像を選択▶[カメラ]▶「はい」

位置情報の付加→P275「■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー」

画像に付いている位置情報を削除する：画像にカーソル▶[MENU][3][5]（microSDカードの画像一覧では[MENU][2][5]）▶位置情報を削除する画像を選択▶[カメラ]▶「はい」

✔お知らせ

- 表示領域より大きな静止画は表示領域に合わせて表示されます。
- 横縦（縦横）のサイズが240×432以下の画像は2倍に拡大して表示されます。拡大すると表示領域を超える場合は表示領域に合わせて表示します。[拡大]を押すと等倍表示になります。2倍表示に戻すときは[拡大]を押します。
- 画面サイズより大きなJPEG形式の画像は、画像一覧でカーソルを合わせて[MENU][0]を押すか、画像表示画面で[●]を押すと、拡大縮小などが可能な拡大表示を利用できます。拡大表示中は、[十字]でスクロール、[MENU]／[カメラ]で20%ずつ縮小／拡大、[✂]でガイド表示領域の表示／非表示の切り替え、[●]で等倍表示ができます。等倍表示から拡大表示に戻すには[MENU]を押します。
- 電話帳お預かりサービスを利用して画像を保存できます。→P128

◆ 画像の動作条件を設定する

1 [MENU]［データBOX］[1]▶[MENU][6]▶各項目を設定▶[カメラ]

一覧の画像表示：画像一覧でサムネイル表示にするかを設定します。

タイトル表示／番号表示／コメント表示：画像表示画面で表示名／画像番号と件数／コメントを表示するかを設定します。

小さい画像の拡大：画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかを設定します。

大きい画像の縮小：画像の縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示するかを設定します。

効果音再生：画像に設定されている効果音を再生するかを設定します（スライドショーを除く）。

全画面時の自動スクロール：全画面表示で静止画が画面サイズより大きい場合、自動的にスクロールするかを設定します。

- スクロール中は[●]で一時停止／再生、[✂]でスクロールバーの表示／非表示の切り替えができます。

スライドショーの切替え速度：画像の切り替え速度を設定します。

スライドショーのランダム表示：表示順をランダムにするかを設定します。

スライドショー効果：表示するときの効果を設定します。

◆ スライドショーを表示する

フォルダ内の画像を順番に全画面で表示します。

1 [MENU]［データBOX］[1]▶フォルダにカーソル▶[MENU][7]

- すべての画像の表示が終わるか、[CLR]、[MENU]、[iα]、[カメラ]、[メール]のいずれかを押すとフォルダ一覧に戻ります。

◆ 画像を待受画面や電話帳などに設定する

〈例〉待受画面に設定する

1 MENU［データBOX］1▶フォルダを選択▶画像にカーソル▶MENU 2

2 1▶「はい」

- 画面サイズより小さく、拡大表示可能な画像の場合は「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

電話帳に登録する： 2または3

電話帳登録→P82

- 更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

電話発着信画像に設定する： 4▶1または2

テレビ電話画像に設定する： 5▶1～7

- アニメーション、画像サイズが176×144より大きい静止画、FOMA端末外に出力不可の画像は、発信画像と着信画像のみ設定できます。

メール送受信画像に設定する： 6▶1～4

- メール送受信画像に設定した画像は、メッセージR/F、SMSを送受信したときにも表示されます。

ベーシックメニューのアイコンに設定する： 7▶機能または「背景」を選択

- Flash画像や「アイテム」フォルダの画像、パラパラマンガは設定できません。
- 表示メニュー設定がベーシックメニュー以外の場合は、ベーシックメニューに変更する旨の確認画面が表示されます。

◆ パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の480×864以下の静止画を9枚まで選択して、パラパラマンガを作成できます。

- 登録した静止画は個別に表示したり編集したりできなくなります。また、解除するまでmicroSDカードや外部機器に保存したり、ｉモードメールに添付して送信したりできません。

1 MENU［データBOX］1▶フォルダを選択

2 MENU 4 1

解除する： パラパラマンガにカーソル▶MENU 4 2

3 パラパラマンガに登録する画像を選択

選択順に画像に❶～❾の番号が表示されます。

●：選択を解除　MENU：すべての選択を解除

4 📷▶表示名を入力（36文字以内）▶📷

静止画を編集する

1 MENU［データBOX］1▶フォルダを選択▶静止画にカーソル▶📷

2 目的の操作を行う

サイズを指定して表示サイズを変更する： MENU 1▶1～8

- 元の画像と縦横比が異なる場合は青色の枠が表示されます。MENUを押すと縦横比を保持せず指定サイズに変更され、📷を押すと縦横比を保持して指定サイズ内に収めます。✥で枠を移動して●を押すと、指定したサイズに切り出せます。

拡大／縮小して表示サイズを変更する： MENU 1 9▶✥で縮小または拡大▶●

- MENU／📷を押すと、20%ずつ縮小／拡大できます。画面右上の表示で、変更後のサイズと縮小／拡大率が確認できます。
- 拡大は864×864、縮小は8×8までできます。

サイズを指定して切り出す： MENU 2▶1～8▶✥で枠を移動▶●

- iαを押すと枠のサイズ変更が、📷を押すと枠の縦横の切り替えができます。画面右上の表示で、切り出し後の表示サイズが確認できます。
- MENUを押すと、範囲を指定して切り出す画面に変更できます。

範囲を指定して切り出す：[MENU][2][9]▶[方向キー]で左上を指定して[●]▶[方向キー]で右下を指定して[カメラ]▶[●]

明るさを調整する：[MENU][3][1]▶[左右キー]で明るさを調整▶[●]

- [MENU]／[カメラ]を押すと、最小／最大に明るさを調整できます。

モノトーン／セピアにする：[MENU][3]▶[2]または[3]

効果をかける：[MENU][4]▶[1]～[6]

スケッチの効果をかける：[MENU][4]▶[7]または[8]▶[●]

- [左右キー]で一段階ずつ、[iα]／[メール]で最小／最大に効果を調整できます。また、[カメラ]を押すと線の太さを切り替えられます。

反転する：[MENU][5]▶[方向キー]で反転▶[●]

回転する：[MENU][5]▶[MENU]または[カメラ]▶[●]

フレームを重ねる：[MENU][6]▶フレームを選択▶[●]

- フレームを重ねた状態で[MENU]を押すとフレームの180度回転が、[上下キー]を押すとフレームの変更ができます。

スタンプを貼り付ける：

① [MENU][7]▶スタンプを選択▶[方向キー]で位置を指定して[●]
  - 貼り付け時に効果音が鳴ります。
  - 同じスタンプを複数の箇所に貼り付けられます。
  - [MENU]を押すと、すべてのスタンプを消去できます。

② [カメラ]

テキストを貼り付ける：

① [MENU][8]▶テキストを全角20（半角40）文字以内で入力▶各項目を設定▶[カメラ]
  - 貼り方を「一字ごと」にすると、[●]を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。

② [方向キー]で位置を指定して[●]
  - 貼り付け時に効果音が鳴ります。
  - 同じテキストを複数の箇所に貼り付けられます。
  - [MENU]を押すと、すべてのテキストを消去できます。

③ [カメラ]

隣接した近似色を切り抜く：[MENU][9]▶[方向キー]で切り抜く色に[十字カーソル]を合わせて[●]▶[カメラ]

ファイルサイズを制限する：[MENU][0]▶[1]または[2]

- 「メール添付用（小）」は90Kバイト以内、「メール添付用（大）」は2Mバイト以内にファイルサイズが変更され、元の静止画と同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。操作3は不要です。

補正する：

① [カメラ]

② [MENU]▶[1]～[7]
  - 画面右上の表示で、選択中の補正の種類が確認できます。
  - [上下キー]を押しても補正の種類を変更できます。
  - [左右キー]で一段階ずつ、[iα]／[メール]で最小／最大に効果を調整できます。

③ [●]

3 [●]▶「保存」

元の静止画と同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- 編集後の画像サイズが20×20でファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
- フレームまたはスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。

✔お知らせ

- 編集可能な画像サイズは次のとおりです。
  サイズ変更のサイズ指定、サイズ制限保存のメール添付用（大）：8×8～1944×2592
  切出しのサイズ指定：16×16～1944×2592
  切出しの範囲指定：16×16～768×1280
  上記以外の項目：8×8～480×864
- microSDカードに保存されている静止画、「アイテム」「プリインストール」フォルダ内の静止画、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）は編集できません。
- 画像サイズが編集時の表示領域より大きい場合は縮小表示されます。ただし、サイズ変更の拡大／縮小やスタンプ貼付、テキスト貼付の場合は等倍で表示されます。
- 編集後、ファイルサイズが大きくなったり、画質が劣化したりする場合があります。また、パソコンなどで表示すると透過表示されていた部分は白く表示されます。
- フレームやスタンプの選択時、編集する画像のサイズによっては表示されないフレームやスタンプがあります。
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P312

動画／ｉモーションを再生する

- 次の形式で、画像サイズが48×48～640×480の動画／ｉモーションを再生できます。

ファイル形式（拡張子）	符号化形式	
MP4（MP4、3GP）	映像	MPEG4、H.263※1、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（ASF）	映像	MPEG4※2
	音声	G.726

※1 画像サイズが128×96、176×144、352×288のみ対応しています。
※2 画像サイズが176×144、320×240、640×480のみ対応しています。

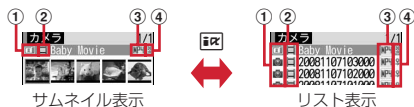
- ビューアメニューからも操作できます。→P40

1 [MENU]［データBOX］[4]

- フォルダの内容は次のとおりです。
  - **プレイリスト**：プレイリスト→P294
  - **カメラ**：カメラで撮影した動画、サウンドレコーダーで録音した音声、動画メモ
  - **ｉモード**：サイトやメールから取得したｉモーション、ｉモーションや音楽データから切り出したｉモーション、microSDカードから移動したコンテンツ移行対応のｉモーション
  - **プリインストール**：お買い上げ時に登録されている動画
  - **データ交換**：microSDカードや外部機器から取り込んだ動画／ｉモーション（コンテンツ移行対応のｉモーションを除く）
  - **マイアルバム**：他のフォルダから移動した動画／ｉモーション
    - アルバムを追加すると表示されます。→P308
    - シークレット属性を設定した場合はと表示されます。
  - **ｉモードで探す**：ｉモードサイトからｉモーションを探す→P186

2 フォルダを選択

サムネイル表示

リスト表示

① **取得元**
: プリインストール　: ｉモード、メール、ｉアプリ
: カメラ　: データ交換　: テレビ電話
: ｉモードサイトからｉモーションを探す→P186

② **再生制限**
: 再生制限なし　／／: 回数／期限／期間制限あり

③ **ファイルの種類**
(白）／(黄)：MP4／しおり付きMP4
※：再生制限により再生不可
: 部分的に保存したMP4
: FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
(白）／(黄)：ASF／しおり付きASF

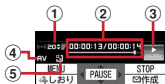
④ **ファイル制限**
／: ファイル制限あり／なし

- サムネイル表示のときは、ディスプレイ上部にカーソル位置の動画の表示名、ディスプレイ下部に画像サイズとファイルサイズが表示されます。また、サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
  : 音声のみの動画／ｉモーション、録音した音声
  : サムネイル画像を取得できない動画／ｉモーション
  ※：再生制限により再生不可
  ※：部分的に保存したｉモーション
  : FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可

※ microSDカードのコンテンツ移行対応のｉモーションの場合のみ表示されます。

microSDカードの一覧に切り替える：[iα]

3 動画／ｉモーションを選択

- 初めて動画／ｉモーションを再生するときは、全画面で再生するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して●を押すと横画面（全画面）で、「いいえ」を選択すると縦画面で再生されます。設定は動作設定の起動時再生画面設定に保存されます。
- 縦画面では再生状態などが確認できます。画面の見かたは次のとおりです。

① **再生音量**
  - 動作設定のサラウンドが「ON」のときは、((•))がオレンジで表示されます。

② **再生時間／トータル時間と再生位置インジケータ**

③ **再生状態**
  PLAY：再生中　STOP：停止中　PAUSE：一時停止中

④ **ファイルの種類**
  A：音声　V：映像

⑤ **拡大／縮小表示**
  ：拡大表示中　：縮小表示中

- しおりを設定した動画／ｉモーションの場合は、しおりからの再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、先頭または再生停止位置から再生されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  、：音量調整
  ：巻き戻し／早送り再生
  ●：一時停止／再生／先頭から再生（停止中）
  iα▶「はい」：しおりを設定
  - 停止中にiαを押すと解除できます。
  - 再生制限が設定されているｉモーションには設定できません。

  ：停止
  CLR：一覧画面に戻る
  1：10秒巻き戻し（再生開始から10秒未満の場合は先頭から再生）
  3：30秒早送り（再生終了まで30秒未満の場合は再生終了の約1秒前から再生）
  4※／6※：前のチャプター／次のチャプターの先頭から再生
  ：横画面と縦画面の切り替え（画像サイズが320×240または640×480のときは横画面（全画面）→横画面（ワイド）→縦画面の順に切り替え）
  MENU 3※：チャプター選択による再生
  ※ チャプター情報を持つ動画／ｉモーションのみ有効です。
- 一時停止中にを押すと、再生位置インジケータ上に位置指定つまみが表示されます。で移動して●を押すと、指定した位置から再生します。位置指定つまみはを押すごとに1分単位で移動しますが、およそ20分以上の動画／ｉモーションの場合は、2秒以上押すと5分単位で移動できます。

メールに添付する：動画／ｉモーションにカーソル▶

✔お知らせ

- 再生画面でトータル時間が「--:--:--」と表示されるｉモーションは、早送り／巻き戻し、しおりや再生停止位置からの再生、チャプター情報を利用した再生、位置指定つまみの操作はできません。
- 再生制限が設定されたｉモーションを選択すると、再生制限の状態が表示されます。再生制限により再生できない場合は、削除の確認画面が表示されます（再生期間前の場合を除く）。なお、再生期間や期限が制限されている場合に、FOMA端末の日付・時刻を変更しても再生できません。
- ダウンロードに失敗、またはダウンロードを中断して部分的に取得したｉモーションを選択すると、残りデータの取得確認画面が表示されます。ダウンロードしても再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータは削除されます。また、再生期間や再生期限が過ぎている、部分的に取得したｉモーションを選択した場合は、削除の確認画面が表示され再取得はできません。
- 再生中にCLRやを押したり、他の機能の影響によって中断したりすると再生停止位置が保存され、次回再生時にその停止位置から再生されます。再生停止位置の情報はFOMA端末本体およびmicroSDカードでそれぞれ、最大5つの動画／ｉモーションについて保存されます。新しい情報が登録されると古い情報は順に削除されます。データを取得しながら再生しているときやプレビュー再生では、再生停止位置は保存されません。

◆ 動画／ｉモーションの動作条件を設定する

1 [MENU]［データBOX］[4]▶[MENU][6]▶各項目を設定▶[📷]

一覧の画像表示：動画／ｉモーション一覧でサムネイル表示にするかを設定します。
表示画像の拡縮：画像の縦横比を保持したまま、表示領域いっぱいに拡大または縮小表示するかを設定します。
リピート再生：プレイリスト再生時にリピート再生するかを設定します。
照明点灯時間：再生中の照明の動作を設定します。「端末設定に従う」にすると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）の設定に従います。照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（ｉモーション）、Music&Videoチャネルの照明点灯時間にも反映されます。
音量：再生時の音量を設定します。
サラウンド：平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの利用時に、サラウンド効果を有効にするかを設定します。ステレオ効果設定の動画（ｉモーション）にも反映されます。
起動時再生画面設定：横画面（全画面）または縦画面で再生するかを設定します。「横再生」にしても、音声のみの動画／ｉモーションは縦画面で再生します。

◆ プレイリストを作成／再生する

動画／ｉモーションのタイトルを登録して管理します。
- 1つのプレイリストに最大100件のタイトルを登録できます。
- microSDカードに保存されている動画／ｉモーション、部分的に保存したｉモーション、回数制限が設定されたｉモーション、FOMAカードのセキュリティ機能や再生制限により使用不可のｉモーションのタイトルは登録できません。

❖プレイリストを作成／削除する

1 [MENU]［データBOX］[4]▶「プレイリスト」フォルダを選択

2 [MENU][1]

1件もプレイリストが作成されていないとき：「はい」
名前を変更する：プレイリストにカーソル▶[MENU][2]▶名前を入力（全角10（半角20）文字以内）▶[📷]
削除する：プレイリストにカーソル▶[MENU][3]▶[1]～[3]▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたプレイリストが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。

3 名前を入力（全角10（半角20）文字以内）▶[📷]

- 「playlistYYYYMMDD（作成年月日）」が入力されています。

4 フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶[📷]▶「はい」

❖プレイリストに動画／ｉモーションのタイトルを追加／削除する

1 [MENU]［データBOX］[4]▶「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストを選択

2 [MENU][3][1]

解除する：タイトルにカーソル▶[MENU][3][2]▶[1]～[3]▶「はい」
- 1件解除ではカーソルを合わせたタイトルが解除されます。
- 選択解除では選択操作▶[📷]が、全件解除では認証操作が必要です。

3 [1]～[3]▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶[📷]▶「はい」

- 1件登録では選択操作後に[📷]を押す必要はありません。

✔**お知らせ**

- プレイリストから動画／ｉモーションのタイトルを解除しても、データ自体は削除されません。動画／ｉモーションを削除したり、microSDカードに移動した場合は、プレイリストから解除されます。

❖プレイリストを再生する

選択したタイトル以降の動画／ｉモーションを連続で再生できます。

- 早送り／巻き戻し、しおりや再生停止位置からの再生、チャプター情報を利用した再生、位置指定つまみの操作はできません。

1 **MENU［データBOX］4▶「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストを選択**

2 **最初に再生するタイトルを選択**

- 再生中の画面には通常表示されるアイコンのほかに、リピート再生の設定を示すアイコン（ON／OFF）が表示されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  - 、▲▼：音量調整
  - ●：一時停止／再生／再生中のタイトルの先頭から再生（停止中）
  - iα、▲（1秒以上）：データの先頭から再生（再生から3秒以内に押すと前のデータを再生）
  - 📷：停止
  - ✉、▼（1秒以上）：次のデータを再生
  - CLR：一覧画面に戻る

再生順を並べ替える： MENU 3 3▶タイトルにカーソル▶iαまたは✉▶📷

◆動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

動画／ｉモーションの種類によって、次の設定に利用できます。

○：可　×：不可

種　類	待受画面	電話帳	着信音	着信画像
音声+映像	○	×	○※	×
映像のみ	○	○	×	○
音声のみ	×	×	○	×

※ プッシュトーク着信音、ｉコンシェル着信音を除く

- 再生制限が設定されているｉモーションや、ファイルサイズが10Mバイトより大きい動画／ｉモーションは利用できません。
- 電話帳、着信音、着信画像に、次の動画／ｉモーションは利用できません。
  - 画像サイズが128×96、176×144、320×240以外
  - ASF形式
  - テロップ（テキスト）あり
  - 外部機器に転送し、FOMA端末本体に戻したもの
  - コンテンツ移行対応のｉモーション以外で、microSDカードから移動／コピーしたもの（FOMA端末本体からmicroSDカードに移動／コピーして戻したものを含む）
- 電話帳や着信画像に、詳細情報の着信画面設定が「不可」の動画／ｉモーションは利用できません。また、着信音に、着信音設定が「不可」の動画／ｉモーションは利用できません。

〈例〉待受画面に設定する

1 **MENU［データBOX］4▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションにカーソル▶MENU 2**

2 **1▶「はい」**

- 画像サイズによっては「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

電話帳に登録する： 2または3

電話帳登録→P82

- 更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

着信音に設定する： 4▶1～9

- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳を選択▶📷を押します。

着信画像に設定する： 5▶1～3

動画／ｉモーションを編集する

- 次の動画／ｉモーションは編集できません。また、ダウンロードしたｉモーションの符号化形式によっては編集できないことがあります。
  - ファイル制限が「あり」に設定されている動画／ｉモーション（自端末で「あり」に設定した動画を除く）
  - 再生制限が設定されているｉモーション
  - ASF形式の動画
- 編集した動画／ｉモーションは元のデータが保存されていたフォルダに新しいデータとして保存されます。ただし、静止画として切り出したデータはマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。編集後にメールに添付した場合も同様です。

◆静止画を切り出す（キャプチャ）

位置を指定し、静止画として切り出します。

- 切り出した静止画の画像サイズは、再生時の表示サイズになります。

1 MENU［データBOX］4▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択

2 切り出す位置でMENU 4▶📷

- ●を押すと、再生を再開します。

メールに添付する：切り出す位置でMENU 4▶✉

ファイル添付時の動作→P141「ファイルを添付する」操作1

- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文内への貼り付け確認画面が表示されます。

◆動画／ｉモーションを切り出す（選択切り出し）

先頭から指定した位置まで切り出します。

- ファイルサイズが11K～2048Kバイトまでの動画／ｉモーションを編集できます。

1 MENU［データBOX］4▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションにカーソル▶MENU 4 1

再生時間の下に[アイコン]が表示されます。

- テロップ（テキスト）が含まれるデータを切り出すと、テロップ（テキスト）は削除されます。

2 ●▶切り出す位置で●

現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

CLR：やり直す

- 500Kバイトより大きいファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（小）」を選択すると500Kバイトで、「設定なし」を選択すると最大サイズより約1000バイト小さいファイルで切り出せます。2048Kバイトのファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（大）」を選択すると2047Kバイトで切り出せます。
- ●を押さずに最後まで切り出したときは、終点がファイルの最大サイズより約1000バイト小さい位置に設定されます。

3 表示名を入力（36文字以内）▶📷

再生する：iα
メールに添付する：✉

◆ファイルサイズを指定して切り出す（サイズ切り出し）

先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。

- ファイルサイズが11K～2048Kバイトまでの動画／ｉモーションを編集できます。

1 MENU［データBOX］4▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションにカーソル▶MENU 4 2

- テロップ（テキスト）が含まれるデータを切り出すと、テロップ（テキスト）は削除されます。

2 切り出すサイズを入力

- 500Kバイトより大きいファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（小）」を選択すると500が、2048Kバイトのファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（大）」を選択すると2047が入力できます。

3 表示名を入力（36文字以内）▶📷

再生する：iα
メールに添付する：✉

コンテンツ移行対応

ｉモーションをmicroSDカードに移動する

サイトから取得した著作権のあるｉモーションのうち、コンテンツ移行対応のｉモーションをmicroSDカードに移動します。コピーはできません。

- コンテンツ移行対応のｉモーションは、詳細情報のmicroSDへの移動が「可」または「可（同一機種間）」の場合のみ移動できます。

1 MENU［データBOX］4▶「ｉモード」フォルダを選択▶ｉモーションにカーソル▶MENU 5 4▶1～3

- 選択移動では選択操作▶📷が必要です。

2 移動先のフォルダにカーソル▶📷▶「はい」

- サブフォルダに保存する場合は、フォルダを選択▶移動先のサブフォルダにカーソル▶📷を押します。サブフォルダのないフォルダを選択すると、現在の位置に移動するかフォルダを作成するかの選択画面が表示されます。
- 選択移動または全件移動のときにコンテンツ移行対応以外のｉモーションが含まれている場合は、暗号化コンテンツのみ指定先に移動する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択して移動すると、コンテンツ移行対応以外のｉモーションはmicroSDカードの「動画」または「その他の動画」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 作成したフォルダに移動すると、他のFOMA端末で認識できないことがあります。
- データの移動中にmicroSDカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。microSDカード内のすべてのコンテンツ移行対応データが利用できなくなる場合があります。

❖FOMA端末または他のフォルダに移動する

microSDカードに保存したコンテンツ移行対応のｉモーションを移動します。

- サイトから取得したり、microSDカードに移動したりしたときと同じFOMAカードを挿入している場合（ｉモーションによってはさらに同一機種である場合）のみ移動できます。

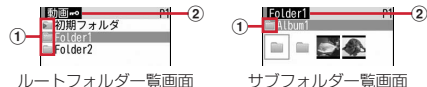
1 MENU［LifeKit］3 1 5▶フォルダを選択▶ｉモーションにカーソル▶MENU 3▶1または2

2 1～3▶「はい」

- 選択移動では選択操作▶📷が、本体へ全件移動では認証操作が必要です。
- 他のフォルダへ移動では、フォルダにカーソル▶📷を押します。
- 本体へ移動した場合は、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

❖microSDカードのコンテンツ移行対応のｉモーションのフォルダについて

ルートフォルダ一覧画面

サブフォルダ一覧画面

① **フォルダ**

📁：フォルダ　📁：ホームフォルダ

- ピンクは初期フォルダです。データがないときは、淡いピンクで表示されます。水色は通常フォルダです。データがないときは、淡いグレーで表示されます。初期フォルダは、初めて「動画🔑」フォルダを表示したときに作成されます。フォルダ名は変更できます。

② **フォルダ名**

- 「動画🔑」はルートフォルダです。

本体のフォルダ一覧に切り替える：ルートフォルダ一覧でiα

ホームフォルダに設定する：フォルダにカーソル▶📷▶「はい」

ホームフォルダに移動する：✉

マチキャラを表示する

待受画面やメニュー画面などに設定するキャラクタを表示します。

- マチキャラを設定する→P102

1 MENU［データBOX］8

- フォルダの内容は次のとおりです。
  iモード：サイトからダウンロードしたマチキャラ
  プリインストール：お買い上げ時に登録されているマチキャラ
  マイフォルダ：他のフォルダから移動したマチキャラ
  - フォルダを追加すると表示されます。→P308

  iモードで探す：iモードサイトからマチキャラを探す→P178

2 フォルダを選択

サムネイル表示　　リスト表示

① **取得元**
　: プリインストール　: iモード
　: iモードサイトからマチキャラを探す→P178

② **ファイルの種類**
　: マチキャラ　(上半分がグレー)：部分保存したマチキャラ
　: FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可

③ **ファイル制限**
　: ファイル制限あり

- サムネイル表示のときは、ディスプレイ上部にカーソル位置のマチキャラの表示名、ディスプレイ下部にファイルサイズが表示されます。また、サムネイル表示できない場合は「②ファイルの種類」と同じデザインのアイコンが表示されます。

3 マチキャラを選択

- 部分保存したマチキャラを選択すると、ダウンロードの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロードできないときは、部分保存したマチキャラは削除される場合があります。

◆ マチキャラの動作条件を設定する

1 MENU［データBOX］8▶MENU 5▶1または2

- 「あり」にするとマチキャラ一覧でサムネイル表示になります。

キャラ電を表示する

テレビ電話中にカメラ映像の代わりとして利用するキャラクタを表示します。

- テレビ電話中にキャラ電を利用する→P71

1 MENU［データBOX］9

- フォルダの内容は次のとおりです。
  iモード：サイトからダウンロードしたキャラ電
  プリインストール：お買い上げ時に登録されているキャラ電
  マイフォルダ：他のフォルダから移動したキャラ電
  - フォルダを追加すると表示されます。→P308

2 フォルダを選択

① **取得元**
　: プリインストール　: iモード

② **ファイルの種類**
　AFD／: AFD／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可

③ **ファイル制限**
　: ファイル制限あり

3 キャラ電を選択

- 表示中は次の操作ができます。
  ：拡大／等倍表示
  1～9：対応するアクションの実行
  0：アクションの中止
  ✉：アクション一覧の表示
  ✉（1秒以上）：全体アクションとパーツアクションの切り替え
  - 現在のアクション種別は、画面の左下に次のアイコンで表示されます。
    Action: 全体アクション　Parts: パーツアクション

テレビ電話をかける：キャラ電にカーソル▶[iα]▶電話番号を入力するか[📷]を押して電話帳から選択▶[iα]
- 電話番号を入力して[MENU]を押すと、条件を設定してテレビ電話をかけられます。→P64

テレビ電話代替画像に設定する：キャラ電にカーソル▶[✉]

◆ キャラ電の動作条件を設定する

1 [MENU]［データBOX］[9]▶[MENU][5]▶各項目を設定▶[📷]

表示サイズ：拡大表示するかを設定します。

照明点灯時間：再生中の照明の動作を設定します。「端末設定に従う」にすると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）に従います。

メロディを再生する

- SMF形式やMFi形式のメロディを再生できます。

1 [MENU]［データBOX］[5]

- フォルダの内容は次のとおりです。
  - **ｉモード**：サイトやメールから取得したメロディ
  - **プリインストール**：お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→P401
  - **メール添付メロディ**：お買い上げ時に登録されているメール添付用メロディ→P401
  - **データ交換**：バーコードリーダーで読み取ったメロディ、microSDカードや外部機器から取り込んだメロディ
  - **マイアルバム**：他のフォルダから移動したメロディ
    - アルバムを追加すると表示されます。→P308
  - **ｉモードで探す**：ｉモードサイトからメロディを探す→P178

2 フォルダを選択

① **取得元**
- ／：プリインストール、メール添付メロディ／3Dサウンド対応
- ／：ｉモード、メール／3Dサウンド対応
- ／：データ交換／3Dサウンド対応
- ：ｉモードサイトからメロディを探す→P178

② **ファイルの種類**
- MFi／：MFi／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
- SMF／：SMF／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可

③ **ファイル制限**
- ／：ファイル制限あり／なし

microSDカードの一覧に切り替える：[iα]

3 メロディを選択

- 再生中は次の操作ができます。
  - [◎左右]、[▲][▼]：音量調整
  - [◎上下]、[▲][▼]（1秒以上）：前後のメロディ再生
  - [●]、[CLR]：一覧画面に戻る

メールに添付する：メロディにカーソル▶[✉]

◆ メロディを着信音に設定する

- 「メール添付メロディ」フォルダのメロディは着信音に設定できません。

1 [MENU]［データBOX］[5]▶フォルダを選択▶メロディにカーソル▶[MENU][2]▶[1]～[9]

- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳を選択▶[📷]を押します。

◆ メロディの動作条件を設定する

1 [MENU]［データBOX］[5]▶[MENU][7]▶各項目を設定▶[📷]

- イルミネーションパターンを「イルミパターン1」「イルミパターン2」「メロディ連動」にすると、複数の色で点滅します。イルミネーションカラーは設定できません。また、「メロディ連動」にしても、メロディによっては連動しない場合があります。
- 再生位置を「ポイント再生」にすると、メロディの一部分が再生されます。ただし、メロディによっては対応していない場合があります。
- 再生画面背景を「選択」にすると、画像フォルダに保存されている画像を選択できます。
- ステレオ・3Dサウンドの設定は、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの利用時のみ有効です。また、ステレオ効果設定のメロディにも反映されます。

microSDカードについて

撮影した静止画や動画、メロディなどのデータをmicroSDカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータをバックアップしたりできます。また、外部機器で作成した動画をmicroSDカードに保存してFOMA端末で再生したり（→P418）、FOMA端末内のmicroSDカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作したりできます（→P307）。

- 別途microSDカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないmicroSDカードは、本FOMA端末で初期化してから使用してください（→P307）。なお、他のFOMA端末やパソコンなどで初期化したmicroSDカードや、初期化を中断したmicroSDカードの動作は保証できません。
- microSDカード内のデータは、コンテンツ移行対応のｉモーションを除き、待受画面や着信音、着信画像などに設定できません。
- F-01Aでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、8GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2008年10月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については、ｉモードから「@Fケータイ応援団」サイト（→P312）の「メモリーカード対応情報」をご覧いただくか、パソコンから次のホームページをご覧ください。
  FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→microSD対応状況
  掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

◆ microSDカード使用時の留意事項

- microSDカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。データが壊れる場合があります。
- microSDカードにラベルやシールを貼らないでください。
- データのコピー中、移動中、バックアップ／復元中、削除中、microSDカードの初期化中、情報更新中、カードチェック中は、データ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたmicroSDカードは、データの保存や削除、初期化などができません。
- パソコンなど他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- ファイルサイズが2Gバイトを超えるデータは利用できません。
- microSDカードによっては、保存した動画に乱れが発生する場合があります。
- microSDカードに保存したデータは、パソコンなどにバックアップするなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

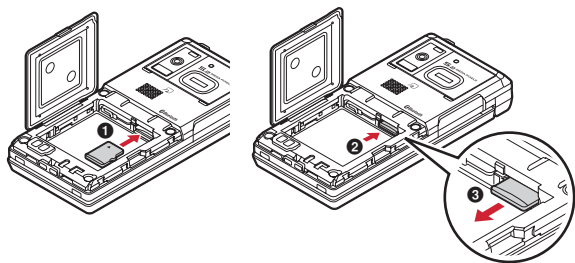
◆ microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

- 必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。→P49
- microSDカードスロットには、microSDカード以外は挿入しないでください。また、傷や変形、ゴミの付着などがあるmicroSDカードは取り付けないでください。故障の原因となります。
- microSDカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- microSDカードの金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- 取り付け／取り外しを行うときに、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

■ 取り付けかた

microSDカードの印字面を上にしてスロットにゆっくり差し込み（❶）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込みます。

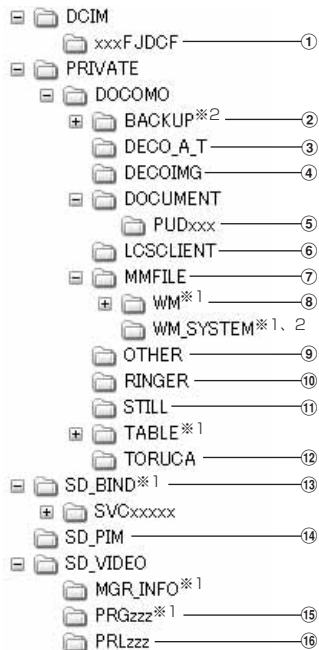
■ 取り外しかた

microSDカードの中央を❷の方向に軽く押し、飛び出したmicroSDカードを❸の方向にまっすぐ引き出します。

◆ microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDカードにデータを移動／コピーしたり、撮影した静止画などを直接microSDカードに保存したりすると、ファイルに対応したフォルダが自動的に作成されます。パソコンなどで表示した場合のフォルダ構成とファイル名は次のとおりです。
パソコンなどからデータを保存するときは、このフォルダ構成とファイル名に従ってください。また、保存後にFOMA端末で情報更新する必要があります。→P307

- パソコンなどでフォルダ名を変更したり、管理用データのファイル名を変更／削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示、再生できなくなります。
- 最大保存件数はmicroSDカードの容量などにより少なくなります。

- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字は「＊」を除き半角です。
「a」A～Z（大文字）、0～9、_（アンダーバー）
「xxx」001～999（「xxxFJDCF」のみ100～999）
「xxxx」0001～9999　「xxxxx」00001～65535
「zzz」001～FFF（16進数）　「＊」任意の文字列

```
⊟ DCIM
    xxxFJDCF ―――――― ①
⊟ PRIVATE
  ⊟ DOCOMO
    ⊞ BACKUP※2 ―――― ②
      DECO_A_T ―――― ③
      DECOIMG ――――― ④
    ⊟ DOCUMENT
        PUDxxx ――――― ⑤
      LCSCLIENT ――――― ⑥
    ⊟ MMFILE ――――――― ⑦
      ⊞ WM※1 ―――――― ⑧
        WM_SYSTEM※1、2
      OTHER ――――――― ⑨
      RINGER ―――――― ⑩
      STILL ――――――― ⑪
    ⊞ TABLE※1
      TORUCA ―――――― ⑫
⊟ SD_BIND※1 ――――――― ⑬
  ⊞ SVCxxxxx
  SD_PIM ――――――――― ⑭
⊟ SD_VIDEO
    MGR_INFO※1
    PRGzzz※1 ――――――― ⑮
    PRLzzz ―――――――― ⑯
```

※1　管理用データが含まれています。変更／削除しないでください。
※2　隠しフォルダです。パソコンの設定によっては表示されません。

① マルチメディアのマイピクチャ（撮影した静止画、DCF規格のJPEG、GIF）
ファイル名：aaaaxxxx.JPG/GIF　最大保存件数：9999件

② バックアップ

③ デコメアニメ®テンプレート
ファイル名：DEATxxxx.VGT　最大保存件数：9999件

④ マルチメディアのデコメ®絵文字
ファイル名：DIMGxxxx.JPG/GIF　最大保存件数：9999件

⑤ マイドキュメント（PDFデータ）
ファイル名：＊.PDF　最大保存件数：999件
- 拡張子を含めて半角64文字までのロングファイルネーム形式に対応しています。ファイル名の重複などがあると、「PDFDCxxx.PDF」の形式に変更されることがあります。
- 拡張子が「PDF」以外のファイルも保存されます。拡張子の意味は次のとおりです。
「$DF」：ダウンロードに失敗したPDFデータ
「DDF」：ｉモードしおり情報やマーク情報などを管理するファイル
「JPG」：サムネイル表示用のファイル

⑥ 現在地通知先
ファイル名：LSCDCxxx.LSC　最大保存件数：999件

⑦ マルチメディアのその他の動画（音声のみの動画／ｉモーション）
ファイル名：MMFxxxx.3GP/ASF/MP4　最大保存件数：9999件
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。
- AAC形式の音楽データを保存できます。

⑧ マルチメディアのミュージック（WMA）
ファイル名：＊.WMA　最大保存件数：1000件
- Windows Media Playerを使用して保存してください。保存後の情報更新は必要ありません。

⑨ その他（Word、Excel、PowerPointのファイルなど）
ファイル名：aaaaaaaa.aaa　最大保存件数：999件

⑩ マルチメディアのメロディ
ファイル名：RINGxxxx.MID/MLD/SMF　最大保存件数：9999件

⑪ マルチメディアのその他の画像（DCF規格外のJPEG、GIFアニメーション、Flash画像）
ファイル名：STILxxxx.JPG/GIF/SWF　最大保存件数：9999件

⑫ トルカ
ファイル名：TORUCxxx.TRC　最大保存件数：999件

⑬ **コンテンツ移行対応のデータ（マルチメディアの動画🔑、マルチメディアのミュージック（着うたフル®）、ｉアプリのデータ）**
最大保存件数：ｉモーション、着うたフル®は各1000件、ｉアプリのデータは1200件

⑭ **PIMの各フォルダ**
ファイル名：PIMxxxxx.VBM/VCF/VCS/VMG/VNT
最大保存件数：合計で9999件
- PIMデータ（電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク）の管理用に、拡張子が「PIM」のファイルも保存されます。

⑮ **マルチメディアのワンセグ（ワンセグのビデオ）**
ファイル名：MOVzzz.MAI/MOI/SB1、PRGzzz.PGI
最大保存件数：99件

⑯ **マルチメディアの動画（動画／ｉモーション）**
ファイル名：MOLzzz.3GP/ASF/MP4　最大保存件数：4095件
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータをやりとりする

- コンテンツ移行対応のｉモーションの移動→P297
- ミュージックの音楽データの移動→P237
- 次のデータは移動／コピーができます。
  - 画像（パラパラマンガを除く）、デコメ®絵文字、動画／ｉモーション、メロディ、PDFデータ（部分的にダウンロードしたものを除く）、トルカ（詳細含む）、デコメアニメ®テンプレート（microSDカードへの移動を除く）、Word、Excel、PowerPointファイル、ワンセグのビデオ（microSDカードへの移動／コピーのみ）
- 次のデータはコピー／バックアップができます。
  - 電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク、GPSの現在地通知先（コピーのみ）

◆ FOMA端末のデータをmicroSDカードに移動／コピーする

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータ（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータや「データ交換」フォルダ内のデータを除く）は移動やコピーできません。

〈例〉画像を移動／コピーする

1 MENU［データBOX］1 ▶ フォルダを選択 ▶ データにカーソル

2 MENU 5 ▶ 4 または 5
- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」▶「microSDへ移動」または「microSDへコピー」を選択してください。ワンセグのビデオ（本体）の一覧では「microSDへ移動」または「microSDへコピー」を、デコメアニメ®テンプレートの一覧では「microSDへコピー」を選択します。

3 1 〜 3 ▶「はい」
- 選択移動／コピーでは選択操作 ▶ 📷 が必要です。
- ワンセグのビデオ（本体）のコピーでは、1 〜 3 の選択は不要です。

✔お知らせ
- マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、ワンセグ、その他、デコメアニメ®テンプレートのデータを移動／コピーすると、ファイル名がパソコンでデータを保存するときの決まりに従って変更されます。また、PDFデータによってはファイル名が変更されることがあります。→P301
- 移動／コピーした静止画の実メモリサイズが、FOMA端末で表示されるサイズより大きくなることがあります。この場合、microSDカードで表示されるサイズが実際のサイズです。
- ダビング10に対応している番組のビデオは9回目までコピーできます。10回目は移動のみ可能です。

◆ microSDカードのデータをFOMA端末に移動／コピーする

- 最大保存件数／領域を超えたとき（データBOX内のデータ）→P312

〈例〉マイドキュメントのデータを移動／コピーする

1 MENU［LifeKit］3 3

2 フォルダを選択▶データにカーソル

- 「マルチメディア」を選択したときは、データの種類を選択してからフォルダを選択します。

3 MENU 3▶1または2

- 「トルカ」「デコメアニメテンプレート」を選択したときは、MENU 2を押します。

4 1～3▶「はい」

- 選択移動／コピーでは選択操作▶📷が必要です。
- データはFOMA端末の次のフォルダに保存されます。
  マイドキュメント、マルチメディアデータ：各データの「データ交換」
  デコメ®絵文字：マイピクチャの「デコメ絵文字」
  トルカ：「トルカフォルダ」
  デコメアニメ®テンプレート：テンプレートの「デコメアニメ」
  その他：その他の最も上のフォルダ

◆ PIMデータや現在地通知先をコピーする

- PIMデータ（電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク）やGPSの現在地通知先をコピーします。

1 MENU［LifeKit］3 2▶1～7▶データにカーソル▶MENU 1▶1～3

現在地通知先をコピーする：MENU［LifeKit］3 6▶フォルダを選択▶MENU 1▶1、2、5のいずれか

- microSDカードに1件も保存されていない場合は操作できません。FOMA端末の現在地通知先一覧から操作してください。

本体へ追加コピー：microSDカードのデータをFOMA端末にコピーします。

本体へ上書コピー：FOMA端末の現在のデータを消去して、microSDカードの全件コピーデータをFOMA端末にコピーします。

microSDへ全件コピー：選択した種類の全てのデータを、1つにまとめてmicroSDカードに保存します。

2 認証操作▶「はい」

- 1件データの「本体へ追加コピー」では、認証操作は不要です。
- 電話帳を本体へ追加コピーしたときは、プッシュトーク電話帳への登録確認画面が表示されます。
- 電話帳をmicroSDカードに全件コピーしたときは、プロフィール情報のコピー確認画面が表示されます。
- FOMA端末の各データの一覧画面で次のサブメニューを選択しても、microSDカードに全件コピーできます。一覧画面ではmicroSDカードへ1件コピーもできます。

  電話帳一覧、スケジュールのデイリービュー画面：「データコピー／お預かり」
  メモ一覧：「赤外線／iC／microSD」
  メール一覧：「移動／コピー」▶「microSDへコピー」
  ブックマーク一覧：「移動／microSD」▶「microSDへコピー」
  現在地通知先一覧：「microSDへコピー」

✔お知らせ

- 電話帳をコピーしても、登録されている動画はコピーされません。静止画はコピーされますがFOMA端末以外では表示できません。1件コピーの場合はシークレット属性は解除されます。全件コピーの場合はプッシュトーク電話帳もコピーされます。
- メールをコピーすると、iモードメールの保護は解除されます。また、メール本文を含め100Kバイトを超えた分の添付ファイルはコピーされません。
- スケジュールをコピーしても、連絡先やイメージ（画像）はコピーされません。また、全件コピーしてもワンセグの視聴／録画予約はコピーされません。
- 現在地通知先を本体へ追加コピーする場合、FOMA端末の現在地通知先と同じ電話番号のデータは保存できません。

microSDカードのデータを表示する

- ミュージックの音楽データの再生→P235
- バックアップデータの表示→P306
- ワンセグの表示→P319
- 他の機器でmicroSDカードのデータを変更、追加、削除したことによってFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときは、情報を更新してください。→P307

1 MENU［LifeKit］3▶1～9

2 フォルダを選択

- 「マルチメディア」「PIM」を選択したときは、データの種類を選択してからフォルダを選択します。
- 「動画」（コンテンツ移行対応のｉモーション）のフォルダについて→P297

FOMA端末のフォルダ一覧に切り替える：iα
- マルチメディアやマイドキュメント、トルカ、その他のフォルダのみ操作できます。

3 データを選択

PIM、現在地通知先の全件コピーデータを表示する：全件コピーデータを選択▶データを選択
- 全件コピーデータのマークは、マークが後ろに重なったデザインで表示されます。

サムネイル表示とリスト表示を切り替える：iα
- マルチメディア（メロディを除く）やマイドキュメントのデータのみ操作できます。

ページを指定してジャンプする：カメラ
- ページ番号を入力しないで●を押すと1ページにジャンプします（コンテンツ移行対応のｉモーション、ｉアプリのデータを除く）。

メールに添付する：メール
- マルチメディア（コンテンツ移行対応のｉモーションを除く）、電話帳、スケジュール、ブックマーク、マイドキュメント、トルカ、その他のフォルダのみ操作できます。

データを検索する：MENU 5▶**日付を入力**▶カメラ
- マルチメディア（コンテンツ移行対応のｉモーションを除く）、マイドキュメントのみ操作できます。
- PIMデータの一覧ではMENU 3、デコメアニメ®テンプレートの一覧ではMENU 4を押すと同様に操作できます。

コンテンツ移行対応のｉモーションを待受画面に設定する：データにカーソル▶MENU 1 1▶「はい」
- 画像サイズによっては「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

コンテンツ移行対応のｉモーションを着信音に設定する：データにカーソル▶MENU 1 2▶1～9▶「はい」
- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳を選択▶「はい」を選択します。

コンテンツ移行対応のｉモーションを着信画像に設定する：データにカーソル▶MENU 1 3▶1～3▶「はい」

動画／ｉモーションを連続再生する：MENU 6
- 連続再生中は次の操作ができます。
  - 上下キー、▲▼：音量調整
  - ●：一時停止／再生
  - iα／メール、▲▼（1秒以上）：前後の動画再生
  - カメラ：連続再生停止
- 連続再生中にFOMA端末を閉じると再生中の動画／ｉモーションのタイトルが背面ディスプレイに表示され、再生は継続されます。

✔お知らせ

- microSDカードに保存されているスケジュールは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。
- microSDカードに保存されているトルカから詳細情報はダウンロードできません。
- コンテンツ移行対応のｉモーションは、サイトから取得したり、microSDカードに移動したりしたときと同じFOMAカードを挿入している場合（ｉモーションによってはさらに同一機種である場合）のみ再生できます。ただし、待受画面にmicroSDカードを利用するｉアプリを設定している場合は、再生できないことがあります。
- 他の機種や異なるFOMAカードで利用していたｉアプリのデータを表示すると、利用できない理由が表示されます。ソフト動作制限のみが「あり」のときは、ｉアプリをダウンロードすると利用できる場合があります。
- 電話帳の詳細画面のサブメニューから、基本情報や画像／名前表示切替の確認ができます。

- メールの詳細画面のサブメニューから、文字サイズの変更、メールアドレスの電話帳新規登録や更新登録、添付ファイルの表示／非表示やタイトル確認ができます。また、受信メールの場合は、返信や転送もできます。
- ブックマークの詳細画面のサブメニューから、URLのコピー、電話帳新規登録や更新登録ができます。

FOMA端末のデータを一括してバックアップする

電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマークのデータを一括してmicroSDカードにバックアップし、必要なときにFOMA端末に復元できます。

- データ量によっては、バックアップ／復元に時間がかかる場合があります。電池残量が十分にあることを確認してから操作してください。
- バックアップ／復元をするデータがない場合は、バックアップ／復元はできません。

◆ microSDカードにバックアップする

- バックアップは、データの上書き保存を行います。前回保存したバックアップデータは消去され、最新のバックアップデータのみ保存されますのでご注意ください。

1 MENU［LifeKit］3 8 ▶ ●
- 項目を選択すると、前回バックアップした日時が確認できます。

2 MENU 2 ▶「はい」▶認証操作
- 電話帳データが登録されていない場合、手順3の操作は不要です。電話帳データに登録がないとプロフィール情報はバックアップされません。

3「はい」または「いいえ」
- ●またはCLRを押して中断すると、前回バックアップしたデータは消去され、バックアップ途中のデータが保存されます。正しいバックアップデータを保存するにはもう一度バックアップ操作を行ってください。
- メモリ容量が足りない旨のメッセージが表示された場合は、不要なデータを削除するか、別の空き容量が多いmicroSDカードに取り付け直してから操作してください。

✔お知らせ
- 電話帳に登録されている動画はバックアップされません。静止画はバックアップされますが表示できません。
- ｉモードメールの保護は解除されます。また、メール本文を含め100Kバイトを超えた分の添付ファイルはバックアップされません。
- スケジュールの連絡先やイメージ（画像）はバックアップされません。また、ワンセグの視聴／録画予約はバックアップされません。

◆ FOMA端末に復元する

FOMA端末の電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマークのデータを消去して、バックアップデータを復元します。
- 復元を行うとFOMA端末の最新データが消去されますのでご注意ください。
- バックアップの途中で電源が切れるなどしてバックアップが中断した場合、バックアップデータを使って復元しないでください。バックアップ途中のデータがFOMA端末に復元される可能性があります。

1 MENU［LifeKit］3 8 ▶ ● ▶ MENU 1 ▶「はい」▶認証操作
- ●またはCLRを押して中断すると、中断する前に処理されたデータがFOMA端末に復元されます。
- FOMA端末の空き容量が不足したり、バックアップデータに本FOMA端末では対応していないデータが含まれていたりすると、復元できないデータがあった旨のメッセージが表示されます。

◆ バックアップデータを表示する

1 MENU［LifeKit］3 8 ▶ ● ▶ 1〜7 ▶ ● ▶データを選択

◆ バックアップデータを削除する

1 MENU［LifeKit］3 8 ▶ ● ▶ MENU 3 ▶「はい」▶認証操作

microSDカードを管理する

◆ microSDカードの使用状況を確認する

1 MENU［LifeKit］3 ▶ MENU

✔お知らせ
- 実際に使用できるmicroSDカードの容量は、表示される空き容量より少なくなります。
- 使用領域にはFOMA端末で認識できないデータの容量も含まれます。

◆ microSDカードを初期化する

新しく購入したmicroSDカードをFOMA端末で使用するときや、すべてのデータを削除するときに初期化します。
- microSDカードの状態によっては、初期化できない場合があります。

1 MENU［LifeKit］3 ▶ 📷 ▶「簡易初期化」または「完全初期化」

簡易初期化：データ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。microSDカードが一度初期化済みで、microSDカードに問題がない場合のみ実行してください。
完全初期化：データ管理領域とデータ領域の両方を初期化します。保存されているデータはすべて消去されます。新しく購入したmicroSDカードを初期化するときなどに実行してください。

2 認証操作 ▶「はい」

◆ microSDカードの情報を更新する

他の機器でmicroSDカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに実行します。
- 情報更新を行うとデータの表示名が次のように変更されます。
  - 「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」「デコメアニメテンプレート」のデータは、ファイル名と同じ名称に変更されます。
  - 「メロディ」「動画」「その他の動画」「マイドキュメント」「トルカ」のデータは、タイトルと同じ名称に変更されます。タイトルが存在しないときはファイル名と同じ名称（トルカの場合は「無題」）に変更されます。
  - 「現在地通知先」の1件データは、通知先名と同じ名称に変更されます。通知先名が存在しないときは表示されません。
  - 「その他」のデータは、ファイル名に拡張子を追加した名称に変更されます。
- 「動画」フォルダ内に音声のみの動画／ｉモーションが保存されている場合に情報更新を行うと、音声のみの動画／ｉモーションは一覧に表示されなくなります。情報更新を行う前に「動画」内の音声のみの動画／ｉモーションをFOMA端末本体に移動するか、またはパソコンなどでmicroSDカードのPRIVATE￥DOCOMO￥MMFILEの直下、あるいはMMFILE内のMUDxxx（xxxは001～999）にファイル名を変更して保存しておくことをおすすめします。

1 MENU［LifeKit］3 ▶ iα ▶ データの種類を選択 ▶ 📷 ▶「はい」

✔お知らせ
- 「動画🔑」「ミュージック」「ワンセグ」「ｉアプリのデータ」「バックアップ／復元」のデータは情報更新できません。
- microSDカードにデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
- 他の機器でmicroSDカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、microSDカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

◆ microSDカードのデータを修復する〈カードチェック〉

- microSDカードの状態によっては、データを修復できない場合があります。

1 MENU［LifeKit］3 ▶ ✉ ▶「はい」

USBモード設定

パソコンからFOMA端末のmicroSDカードのデータを操作する

- FOMA端末とパソコンを接続するには、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
- Windows 2000、Windows XP、Windows Vistaに対応しています。
- MTPモードの場合→P233「WMAファイルを保存する」

1 MENU［LifeKit］2 6

2 2 または 3

microSDモード：FOMA端末内のmicroSDカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作するときに設定します。
MTPモード：Windows Media PlayerでmicroSDカードに音楽データを転送するときに設定します。
通信モードにする：1
- パソコンと接続したパケット通信や64Kデータ通信、データ転送をするときに設定します。

3「はい」

待受画面に次のアイコンが表示されます。microSDカードが挿入されていないときは、グレーで表示されます。
SD：microSDモード　MTP：MTPモード

◆パソコンとの接続方法

パソコンとの接続方法については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。なお、「microSDモード」「MTPモード」で利用する場合は、「パソコン接続マニュアル」にあるFOMA通信設定ファイルのインストールは不要です。

- パソコンとFOMA端末が接続されると、待受画面にが表示されます。●を押してを選択すると、USBモード設定の画面を表示できます。このとき、パソコンでFOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、「通信モード」以外に設定できないことがあります。
- microSDモード中またはMTPモード中は、ランプが緑色で点滅します。
- 通信モード中にドコモケータイdatalinkを使ってデータ転送を行っている場合は、データ転送モード（圏外と同じ状態）になります。

✔お知らせ

- USBケーブルを無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。また、データ転送中にUSBケーブルを外すと、誤動作やデータ消失の原因となります。
- microSDモード中にパソコンからUSBケーブルを取り外すときは、パソコンの画面右下のタスクトレイのをクリックして、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を安全に取り外します（または停止します）」をクリックし、「‘USB大容量記憶装置デバイス’は安全に取り外すことができます。」が表示されることを確認してください。
  ※ ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムにより異なります。

フォルダやアルバムを利用する

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダは削除できません。また、その他のフォルダを除きフォルダ名は変更できません。

◆フォルダやアルバムを追加する

- 次の一覧にフォルダが追加できます。
  - データBOXのMusic&Videoチャネル、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、その他
  - microSDカードのマルチメディア（ミュージック、ワンセグを除く）、マイドキュメント、トルカ、現在地通知先、デコメアニメ®テンプレート、その他
- データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディの一覧にアルバムが追加できます。
- データBOXのマイピクチャは最大100個、その他は最大9個、それ以外はデータの種類ごとに最大10個ずつ追加できます。microSDカードのマイピクチャは最大900個、動画は最大4095個、マイドキュメントは最大999個、それ以外はデータの種類ごとに最大1000個ずつ追加できます。

〈例〉マイピクチャのアルバムを追加する

1 MENU［データBOX］1

2 MENU 1（メロディのフォルダ一覧ではMENU 2）

アルバムを削除する：アルバムにカーソル▶MENU 2（メロディのフォルダ一覧ではMENU 3）▶「はい」

- データが保存されているときは認証操作を行います。

アルバム名やシークレット属性を変更する：アルバムにカーソル▶MENU 3（メロディのフォルダ一覧ではMENU 4）

3 各項目を設定▶📷

アルバム名：全角10（半角20）文字以内でアルバムの名称を設定します。

- microSDカードの「動画」以外のフォルダでは、全角31（半角63）文字まで入力できます。

シークレット属性：プライバシーモード中（マイピクチャが「指定アルバムを非表示」のとき）に、アルバムを表示させるかを設定します。

- FOMA端末のマイピクチャ、ｉモーション、マイドキュメント、その他（お買い上げ時に作成されているフォルダを除く）のみ設定できます。

✔お知らせ

- microSDカードの「動画[key]」でフォルダを削除すると、次のように動作します。
  - 初期フォルダを削除すると、初期フォルダのサブフォルダとデータだけが削除されます。
  - ホームフォルダに設定されているフォルダを削除すると、初期フォルダがホームフォルダに設定されます。
  - 削除しようとしたフォルダ内に、コンテンツ移行対応のｉモーション以外の無効なファイル（一覧画面に表示されないファイル）が存在すると、フォルダ内のコンテンツ移行対応のｉモーションは削除されますが、フォルダは削除されません。この場合、microSDカードをパソコンなどから操作して、無効なファイルが格納されていない状態にしてから、もう一度フォルダを削除してください。

◆ データをフォルダやアルバムに移動／コピーする

❖データを移動する

- 「プリインストール」「デコメ絵文字」「アイテム」「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは移動できません。

〈例〉マイピクチャのデータを移動する

1 MENU［データBOX］1▶フォルダを選択

2 データにカーソル▶MENU 5 1

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」（きせかえツールでは「移動」）▶「アルバムへ移動」または「フォルダへ移動」を選択してください。Music&Videoチャネルの番組一覧、マチキャラ一覧、キャラ電一覧では「移動」を選択します。microSDカードの一覧画面では「移動／コピー」または「移動」▶「他のフォルダへ移動」を選択します。

3 1～3

- 選択移動では選択操作▶[camera]が必要です。

4 移動先のアルバムを選択▶「はい」

- コンテンツ移行対応のデータをmicroSDカードの「動画[key]」に移動するときは、移動先のフォルダにカーソル▶[camera]を押します。
  サブフォルダに保存する場合は、フォルダを選択▶移動先のサブフォルダにカーソル▶[camera]を押します。サブフォルダのないフォルダを選択すると、フォルダ作成の確認画面が表示されます。

❖データを固定フォルダに戻す

- Music&Videoチャネル、マチキャラ、キャラ電、その他のデータ、microSDカードのデータは、固定フォルダに戻す操作はできません。

〈例〉マイピクチャのアルバムのデータを固定フォルダに戻す

1 MENU［データBOX］1▶アルバムを選択

2 データにカーソル▶MENU 5 2

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」（きせかえツールでは「移動」）▶「フォルダへ戻す」を選択してください。

3 1～3▶「はい」

- 選択して戻す場合は選択操作▶[camera]が必要です。

✔お知らせ

- 「デコメピクチャ」フォルダ内のバーコードリーダーで読み取った画像は「データ交換」フォルダに、それ以外は「ｉモード」フォルダに移動します。
- アルバムまたはフォルダ内でコピーしたデータは、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

❖データをコピーする

マイピクチャ、ｉモーション、マイドキュメントでは、データを同じアルバムまたはフォルダにコピーできます。microSDカードのデータの場合は他のフォルダにコピーできます。

- 次のデータはコピーできません。
  - 「プリインストール」フォルダのデータ
  - マイピクチャのパラパラマンガや「アイテム」フォルダの画像
  - 再生制限が設定されているｉモーションやコンテンツ移行対応のｉモーション
  - ファイル制限が「あり」に設定されているデータ（自端末で「あり」に設定したデータを除く）

〈例〉マイピクチャのデータをコピーする

1 MENU［データBOX］1▶フォルダを選択

2 データにカーソル▶MENU 5 3

コピー元のデータと同じアルバムまたはフォルダ内に保存されます。

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」▶「コピー」を選択してください。microSDカードの一覧画面では「移動／コピー」▶「他のフォルダへコピー」を選択します。

◆ アルバム再生する

アルバム内のメロディをまとめて再生できます。

1 MENU［データBOX］5▶アルバムにカーソル▶MENU 1

- アルバム再生時は次の操作ができます。
  - 、（1秒以上）：前後のデータ再生
  - 、：音量調整
  - 、CLR：停止

詳細情報参照／変更

データの詳細情報を表示／変更する

- Music&Videoチャネルのチャプターの詳細、番組情報→P230、231
- ミュージック（音楽データ）の詳細情報→P239

◆ 詳細情報を表示する〈詳細情報参照〉

〈例〉画像の詳細情報を表示する

1 MENU［データBOX］1▶フォルダを選択

2 画像にカーソル▶MENU 3 1

- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「詳細情報」▶「参照」を選択してください。

◆ 詳細情報を変更する〈詳細情報変更〉

〈例〉画像の詳細情報を変更する

1 MENU［データBOX］1▶フォルダを選択

2 画像にカーソル▶MENU 3 2▶各項目を設定▶

- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「詳細情報」▶「変更」を選択してください。

◆ 表示項目と変更可否一覧

詳細情報で表示される項目は次のとおりです。microSDカードのデータの場合は、FOMA端末で表示する詳細情報と内容が異なる場合があります。

表示名：FOMA端末で表示するタイトル
- デコメアニメ®テンプレートは全角10（半角20）文字以内、メロディは全角25（半角50）文字以内、ワンセグは50文字以内、それ以外は36文字以内で変更できます。
- microSDカードのデータでは、動画は36文字以内、ワンセグは50文字以内、それ以外は全角31（半角63）文字以内で変更できます。ただし、FOMA端末に移動／コピーすると、FOMA端末で表示名を変更するときの文字数の制限を超過した文字は削除されます。

タイトル※：データのオリジナルタイトル
- 設定されていない場合は「---」と表示されます。

ファイル名：メール添付時に表示されるファイル名
- 画像、動画／iモーション、メロディのみ、半角英数字と「.」「-」「_」で、36文字以内で変更できます。ただし、先頭に「.」は使用できません。

ファイル制限：メールに添付して送信した場合の、受信した相手の携帯電話から他の携帯電話への転送の制限
- 画像、動画／iモーション、メロディのみ変更できます。ただし、ダウンロードしたデータやファイルサイズが2Mバイトより大きい動画などは変更できません。

microSD／本体への移動※：FOMA端末とmicroSDカード間の移動の制限

ファイル種別※**／形式**：ファイルの種別
- Flash画像では「---」と表示されます。

表示サイズ※：データの表示サイズ

実メモリサイズ（バイト）、消費メモリサイズ（バイト）：データのファイルサイズ、保存に利用するメモリサイズ
- PDFデータの場合は、iモードしおりやマーク情報を管理するファイルを含みます。
- 同じデータでもFOMA端末とmicroSDカードでは、実メモリサイズが異なる場合があります。

保存日時／作成日時：データを保存／作成した日時

取得元：データの取得元

※ データの種類によっては表示されません。

■ きせかえツールで表示される項目

フォント情報：フォントの情報

取得状態：取得完了／ダウンロード未完了

■ 画像とキャラ電で表示される項目

コメント：データの説明など
- 100文字以内で変更できます。

■ 画像で表示される項目

種類：画像の種類
メール添付サイズ（バイト）：メール添付可能なデータの添付時のサイズ
フレーム候補、スタンプ候補：フレーム、スタンプとして貼り付け可能か
- JPEG画像またはGIF画像のみ変更できます。ただし、「アイテム」フォルダの画像と合成した画像は「する」に変更できません。また、フレーム候補は画像サイズが480×864より大きい画像を、スタンプ候補は画像サイズが480×864以上の画像を「する」に変更できません。
- 「する」にしても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。

位置情報：位置情報が設定されているか

■ 動画／ｉモーションで表示される項目

作成者※1：作成者情報
- 自端末で撮影した動画の場合、プロフィール情報の名前が表示されます。名前の登録がない場合は「---」と表示されます。

コピーライト※1：著作者名／公表年月日など
説明※1：データの説明
音：音声データの種別
映像：映像種別（コーデック）
着信音設定※2：着信音に設定可能か
- 自端末で、撮影種別を「音声のみ」で撮影した動画や、撮影種別を「画像+音声」で撮影した画像サイズが320×240以下の動画、これらの動画から切り出した動画は「可」になります。

着信画面設定※2：着信画像に設定可能か
- 自端末で撮影種別を「画像のみ」で撮影した動画や、その動画から切り出した動画は「可」になります。

再生制限：再生の制限

※1　256文字以内で変更できます。ただし、ASF形式の動画などデータによっては変更できません。
※2　コンテンツ移行対応のｉモーションの場合、microSDカードでは「不可」でも、本体へ移動すると「可」になることがあります。

■ マチキャラで表示される項目

取得状態：取得完了／ダウンロード未完了

■ メロディで表示される項目

再生時間：データの再生時間

■ その他で表示される項目

拡張子：ファイルの拡張子
- FOMA端末では表示されません。

■ ビデオで表示される項目

放送局名、番組名：放送局、番組の名前
録画時間：録画した時間
コピー制御情報：コピー可否情報
- ビデオ（microSD）では表示されません。

データを削除する

- ミュージック（音楽データ）の削除→P237
- マイピクチャ、メロディ、きせかえツールの「プリインストール」フォルダに保存されているデータは削除できません。

〈例〉マイピクチャのデータを削除する

1 MENU［データBOX］1 ▶ フォルダを選択

2 データにカーソル ▶ MENU 6 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたデータが削除されます。
- 選択削除では選択操作 ▶ 📷 が、全件削除では認証操作が必要です。
- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「削除」を選択して操作してください。microSDカードの一覧画面でも、サブメニューから「削除」を選択して操作できます。

✔お知らせ

- パラパラマンガを削除すると、構成している元の画像も削除されます。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、各設定はお買い上げ時または標準の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除すると、着信音や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- 既に設定されているマチキャラを削除すると「OFF」に設定されます。
- 既に設定されているきせかえツールを削除すると、そのきせかえツールが対応している項目の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

• お買い上げ時に登録されているデータを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
「@Fケータイ応援団」（2008年10月現在）
iMenu → メニューリスト → ケータイ電話メーカー → @Fケータイ応援団

サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

ソート

データを並べ替える

• ミュージック（音楽データ）のソート→P238

〈例〉マイピクチャのデータを並べ替える

1 MENU［データBOX］1 ▶ フォルダを選択

2 MENU 7 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

• 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「ソート」を選択してください。

対象：並べ替えの方法を選択します。項目はデータにより異なります。
•「表示名」にすると、Unicode順でソートされます。50音順にならない場合があります。
•「ファイル種別」にすると、順序が「昇順」の場合はWord→Excel→PowerPointの順でソートされます。
•「取得元」にすると、順序が「昇順」の場合はプリインストール→iモード→カメラ→データ交換の順でソートされます。

順序：並び順を選択します。

メモリ確認

FOMA端末の保存容量を確認する

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 3 ▶ データの種類にカーソル

iα：単位の切り替え
•「全体」は、データ全体で利用する共有領域の容量を示しています。

最大保存件数や保存領域を超えたとき

ダウンロードやデータを保存する際、最大保存件数（→P438）または共有の保存領域のサイズ（合計で最大111Mバイト）を超えたときは、画面の指示に従って保存されている不要なデータを削除してください。
microSDカードにデータを1件保存する際に、最大保存件数（→P301）を超えたときや空き容量が不足したときも同様に操作できます。

1 削除の確認画面で「はい」または「削除」

削除コンテンツ選択画面が表示され、削除が必要な容量と、各データの種類ごとの使用容量が表示されます。microSDカードの場合は、削除が必要な容量または件数が表示されます。
• 本体の最大保存件数を超えたときは削除コンテンツ選択画面は表示されません。操作3へ進みます。
• 本体のデータを削除するときに、ワンセグのビデオ録画中（録画先が「本体」）の場合は、データを削除できない旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択するとワンセグ録画を停止しデータの削除が行えます。

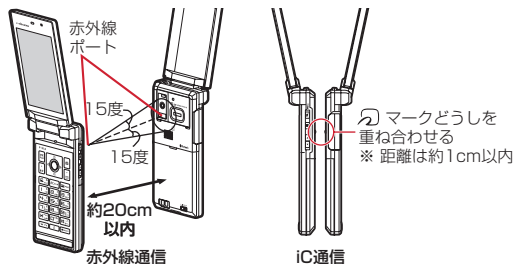
2 データの種類を選択

3 フォルダを選択 ▶ ファイルを選択 ▶「はい」

赤外線通信／iC通信を利用する

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信をしたり、iC通信機能が搭載された他のFOMA端末と ⌒ マークを重ね合わせてデータの送受信をしたりします。また、赤外線通信やiC通信に対応したiアプリを利用することもできます。
• パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送は同時に使用できません。
• 赤外線通信中やiC通信中、INBOXのデータの操作中は、データ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
• FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC™規格1.1に準拠しています。ただし、相手の端末がIrMC™規格1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

◆ 赤外線通信／iC通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- iC通信時は、送信側と受信側のマークを約1cm以内に重ね合わせてください。また、データの送受信が終わるまで重ねたまま動かさないでください。

✔**お知らせ**

- iC通信でマークを重ね合わせるとき、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- iC通信でマークどうしを重ね合わせても通信が開始されない場合は、重ねる位置を5～10mm程度ずらしてください。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信ができない場合があります。
- 相手側のFOMA端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

赤外線送信／iC送信

赤外線通信／iC通信を使ってデータを送信する

データを1件ずつ送信する方法と、データの種別ごとにまとめて送信する方法があります。

- 送信できるデータは次のとおりです。

データの種類	留意事項
電話帳／プロフィール	• 相手の端末によっては、画像が送信されない場合があります。また、データ送受信設定の電話帳の画像送信が「なし」の場合、全件送信時に画像は送信されません。 • 全件送信の場合は、プッシュトーク電話帳とプロフィール情報（自局電話番号を除く）も送信されます。また、電話帳グループのシークレット属性は解除され、各電話帳にシークレット属性が設定されて送信されます。
スケジュール	• 誕生日やワンセグの視聴／録画予約は送信できません。 • ｉスケジュールは送信できません。 • ｉスケジュール内の予定を1件送信する場合は、ｉスケジュールから独立した1件のスケジュールデータとして送信されます。
受信／送信／未送信メール	• メール本文中に貼付された、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除されます。 • 相手の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。
デコメアニメ®テンプレート	－
メモ	－
ブックマーク（ｉモード／フルブラウザ）	• 相手の端末によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
現在地通知先	－
トルカ	• IP（情報サービス提供者）の設定によっては、送信できない場合があります。 • 相手の端末によっては、トルカ（詳細）は送信されない場合があります。

データの種類	留意事項
画像	• 表示名は全角9（半角18）文字以内で送信され、超過した文字は削除されます。 • 1件送信ではファイルサイズが500Kバイトより大きいデータは送信できません。
動画／ iモーション	
メロディ	―
PDFデータ	• 部分保存したPDFデータやダウンロードに失敗したPDFデータ、iモードしおりやマーク情報を除いたファイルサイズが512Kバイトより大きいPDFデータは送信できません。

• FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送信できません（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータや「データ交換」フォルダのデータを除く）。
• F-01A以外のiモード端末や赤外線通信機器へデータを送信した場合、受信側で登録できない項目は破棄されます。
• 絵文字を入力したデータをiモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がiモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、絵文字2が正しく表示されないことがあります。

◆ データを1件送信する

• 赤外線通信の場合は、相手の機器を受信待機状態にする必要があります。

〈例〉電話帳を1件送信する

1 電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU][8]▶[1]または[3]▶「はい」

• 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「赤外線送信」または「iC送信」を選択して操作してください。画面によっては「赤外線／iC送信」「赤外線／iC／microSD」のいずれかを選択してから「赤外線送信」または「iC送信」を選択します。
• 現在地通知先一覧では「赤外線送信」または「iC送信」▶「送信」を選択します。

プロフィール情報を送信する：[MENU][0]▶[MENU]または[iα]▶「はい」

◆ データを全件送信する

選択した項目のすべてのデータを送信します。
• 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
• 赤外線通信の場合は、相手の機器を受信待機状態にする必要があります。
• 赤外線通信の場合は、デコメアニメ®テンプレート、画像、動画／iモーション、メロディ、PDFデータを全件送信できます。ただし、相手の端末によっては全件送信できないことがあります。

1 [MENU]［LifeKit］[2]▶[2]または[3]▶送信する項目を選択▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶「はい」

• 受信側でデータの並び順が変わることがあります。

赤外線受信／iC受信

赤外線通信／iC通信を使ってデータを受信する

データを1件ずつ受信する方法と、データの種類ごとにまとめて受信する方法があります。
• iC受信では、他の機能が起動しているとデータを受信できません。必ず待受画面で受信操作をしてください。
• 受信できるデータは次のとおりです。

データの種類	受信後の保存場所
電話帳／プロフィール	電話帳 • 1件受信の場合は、最も小さい空きメモリ番号に保存されます。 • 全件受信の場合は、プッシュトーク電話帳とプロフィール情報（自局電話番号を除く）も上書きされます。
スケジュール	スケジュール帳
受信／送信／未送信メール	受信／送信／未送信メール • F2102V、F2051のメールを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にはなりません。
デコメアニメ®テンプレート	テンプレートの「デコメアニメ」
メモ	テキストメモ
ブックマーク（iモード／フルブラウザ）	iモード／フルブラウザのBookmark

データの種類	受信後の保存場所
現在地通知先	現在地通知先一覧
トルカ	トルカの「トルカフォルダ」
画像	マイピクチャの「データ交換」フォルダ デコメ®絵文字はマイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダ
動画／ｉモーション	ｉモーションの「データ交換」フォルダ
メロディ	メロディの「データ交換」フォルダ
PDFデータ	マイドキュメントの「データ交換」フォルダ

- FOMA Fシリーズ以外の端末から画像、動画／ｉモーション、メロディを受信したとき、メモとして登録される場合があります。
- ブックマーク（ｉモード／フルブラウザ）、トルカ、画像、動画／ｉモーション、メロディ、PDFデータを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。データが保存されていないフォルダは受信しません。また、「カメラ」フォルダや「iモード」フォルダに保存されているデータは、各データの「カメラ」フォルダまたは「iモード」フォルダに追加保存されます。

◆データを1件受信する

- 512Kバイトより大きいデータは受信できません。

❖データを1件赤外線受信する

1 [MENU] [LifeKit] [2][1][1] ▶「はい」▶送信側でデータを1件送信

以降の操作→P315「受信したデータを保存する」操作2

❖データを1件iC受信する

1 送信側でデータを1件送信▶受信側を待受画面にして[FeliCa]マークを重ね合わせる

以降の操作→P315「受信したデータを保存する」操作2

◆受信したデータを保存する

INBOXに一時的に保存されている受信データをFOMA端末に保存します。
- INBOXには最大800Kバイト保存できます。

1 [MENU] [LifeKit] [2][4]

- マークの意味は次のとおりです。
  [icon]: 電話帳、プロフィール [icon]: スケジュール [icon]: メール
  [icon]: デコメアニメ®テンプレート [icon]: メモ
  [icon]／[icon]: ブックマーク（ｉモード）／（フルブラウザ）
  [icon]: トルカ [icon]: 現在地通知先 [icon]: 画像 [icon]: SWF（Flash画像）
  [icon]: 動画／ｉモーション [icon]: メロディ [icon]: PDFデータ

2 データを選択▶「はい」

削除する：データにカーソル▶[MENU]▶[2]または[3]▶「はい」
- 全件削除では認証操作が必要です。
- 電話帳を保存すると、プッシュトーク電話帳に登録するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択し、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択できます。

◆データを全件受信する

データの種類ごとにまとめて受信します。
- 受信側で保存していたデータは消去され、受信したデータのみ保存されます。
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
- iC通信の場合は、デコメアニメ®テンプレート、画像、動画／ｉモーション、メロディ、PDFデータを全件受信できません。

❖データを全件赤外線受信する

1 [MENU] [LifeKit] [2][1][2] ▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶「はい」▶送信側でデータを全件送信▶「はい」

❖データを全件iC受信する

1 送信側でデータを全件送信▶受信側を待受画面にして[FeliCa]マークを重ね合わせる▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶再度[FeliCa]マークを重ね合わせる▶「はい」

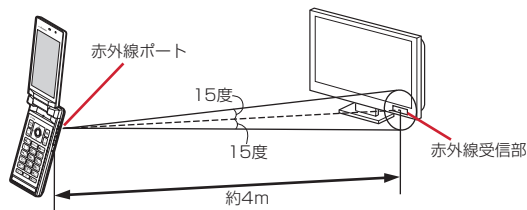
✔お知らせ

- FOMA端末ではToDo（用件を管理するリスト機能）データを保存できません。ToDoデータとスケジュールの両方を全件受信した場合、スケジュールのみが保存されます。
- 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。
- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存件数、登録件数より少なくなる場合があります。
- 最大保存件数／領域を超えたとき（データBOX内のデータ）→P312
- メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールの場合、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールを確認するには、保存されているメール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソル→MENU 1 を押してください。

赤外線リモコン機能を利用する

- 各機器に対応した赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードしてください。操作はｉアプリによって異なります。
- プリインストールｉアプリのGガイド番組表リモコン（→P249）を起動すると、FOMA端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。また、対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受ける場合があります。

❖リモコン操作をする

リモコン操作をするには、FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてください。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

データ送受信設定

データ送受信時の動作を設定する

赤外線通信やiC通信、パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送によるデータ送受信時の動作を設定します。

1 MENU ［LifeKit］ 2 5 ▶各項目を設定▶ 📷

通信終了音：通信終了時に終了音を鳴らすかを設定します。

自動認証：パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送時に、通信相手と認証コードを自動でやりとりするかを設定します。

- 「あり」のときは認証操作を行い、4〜8桁の携帯側認証コード（FOMA端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、📷を押してください。

電話帳の画像送信：電話帳の全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかを設定します。

マイドキュメント

PDFデータを表示する

- ビューアメニューからも操作できます。→P40

1 MENU ［データBOX］ 6

- フォルダの内容は次のとおりです。
  - **ｉモード**：サイトやメールから取得したPDFデータ
  - **プリインストール**：お買い上げ時に登録されているPDFデータ
  - **データ交換**：microSDカードや外部機器から取り込んだPDFデータ
  - **マイフォルダ**：他のフォルダから移動したPDFデータ
    - フォルダを追加すると表示されます。→P308
    - シークレット属性を設定した場合はと表示されます。

2 フォルダを選択

サムネイル表示　　リスト表示

① **取得元**

: プリインストール　: ｉモード、フルブラウザ、メール

: データ交換（データ交換で取得したメールに添付のデータ含む）

② ファイルの種類

／：PDFデータ／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可

：部分保存したPDFデータ

：ダウンロードに失敗したPDFデータ

③ ファイル制限

／：ファイル制限あり／なし

- サムネイル表示のときは、ディスプレイ上部にカーソル位置のファイルの表示名、ディスプレイ下部にファイルサイズが表示されます。また、サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。

  ：ダウンロード後に表示していないか、サムネイル画像を取得できないPDFデータ

  ：部分保存したサムネイルが表示できないPDFデータ

  ：ダウンロードに失敗したPDFデータ

  ：FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可

microSDカードの一覧に切り替える：

3 PDFデータを選択

- パスワードが設定されたPDFデータを選択したときは、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力し、を押します。
- ダウンロードに失敗したPDFデータを選択したときは、残りデータのダウンロード確認画面が表示されます。
- ディスプレイ下部にはページ番号／総ページ数と表示倍率が表示されます。

メールに添付する：PDFデータにカーソル▶

❖PDFデータ表示中の操作

スクロールする：（押し続けると連続スクロール）

キー操作一覧を表示する：

- 表示した状態でキー操作できます。を押すと元の画面に戻ります。
- を押して全画面表示にしたときは、再びを押すと元の表示に戻ります。
- 9を押して画像を切り出すと、マイピクチャの「カメラ」フォルダにJPEG形式の画像として保存されます。PDFデータのセキュリティ設定によっては、切り出せない場合があります。
  切り出した画像の画像サイズは、PDFデータが表示されている画面領域の大きさになります。また、メール添付やFOMA端末外への出力が可能かどうかは、PDFデータの設定に従います。

ツールバーで操作する：▶▶

- ツールバーにはダイヤルキーを押すと動作する機能がアイコン表示されます。機能説明には、カーソル位置のアイコンの機能とダイヤルキーの数字が表示されます。
- CLRを押すとツールバーの操作が無効になります。

文字列を検索する：5▶文字列を入力（全角8（半角16）文字以内）▶各項目を設定▶

- 一致した語が緑色で強調表示されます。／を押すと前後の候補に移動、MENUを押すと元の表示に戻ります。

リンク項目を利用する：8▶リンク項目にカーソル

- リンク項目は青枠（カーソル位置は赤枠）で囲まれます。MENUを押すと元の表示に戻ります。
- 以降の操作→P180「Phone To（AV Phone To）・Mail To・SMS To・Web To・Media To機能を使う」操作2

ページを移動する：MENU1▶1～5

- 「指定のページ」を選択したときは、移動するページを入力してを押します。

変更した情報を保存する：MENU2▶

しおりを使って移動する：MENU41▶しおりを選択

iモードしおりからページを表示する：MENU421▶iモードしおりを選択

iモードしおりの情報を変更する：MENU421▶iモードしおりにカーソル▶MENU1▶情報を入力（全角64（半角128）文字以内）▶

ｉモードしおりを登録する：登録するページで[MENU][4][2][2]▶情報を入力（全角64（半角128）文字以内）▶[カメラ]
- ページごとに表示倍率や回転方向、表示範囲を記録します。PDFデータごとに最大10件登録できます。

ｉモードしおりを削除する：[MENU][4][2][3]▶削除するｉモードしおりを選択▶[カメラ]▶「はい」
マークからページを表示する：[MENU][4][2][4]▶マークを選択
マークを登録する：[MENU][4][2][5]
- マークを登録すると画面中央付近にが登録されます。PDFデータごとに最大10件登録できます。

マークを削除する：[MENU][4][2][6]▶削除するマークを選択▶「はい」
拡大／縮小して表示する：[MENU][6][2]▶[1]～[3]
表示倍率を指定する：[MENU][6][3]▶倍率を入力
表示を回転する：[MENU][6][4]▶[1]～[3]
ページのレイアウトを変更する：[MENU][6][5]▶[1]～[3]
スクロールバーなどを表示するかを設定する：[MENU][7]▶各項目を設定▶[カメラ]
部分保存したPDFデータのすべてを取得する：[MENU][8]

✔お知らせ
- 画像が多い場合など、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。また、対応していない形式や複雑なデザインなどを含む場合、正しく表示されないことがあります。
- 部分保存したPDFデータの表示中に、ページ移動などで未取得のページを表示しようとすると、未取得のデータのダウンロード確認画面が表示されます。
- ｉモードしおりやマークを登録しても、パソコンなどでは表示できない場合があります。

◆PDFデータの動作条件を設定する

1 [MENU]［データBOX］[6]▶[MENU][6]▶[1]または[2]
- 「あり」にするとデータ一覧でサムネイル表示になります。

その他

Word、Excel、PowerPointのファイルを表示する

- パスワード入力が必要なファイルや、Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルは表示できません。
- ビューアメニューからも操作できます。→P40

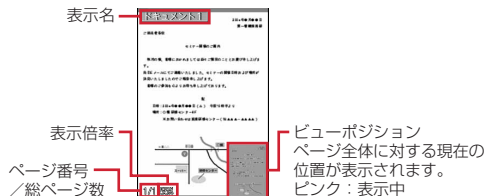
1 [MENU]［データBOX］[0]
- お買い上げ時はフォルダが1つ作成されています。フォルダは追加できます。→P308
- 追加したフォルダにシークレット属性を設定した場合はと表示されます。

2 フォルダを選択

サムネイル表示　リスト表示

① 取得元
　：ｉモード、フルブラウザ、メール
　：データ交換（データ交換で取得したメールに添付のデータ含む）
② ファイルの種類
　：Wordファイル　：Excelファイル　：PowerPointファイル
　※ FOMA カードのセキュリティ機能により使用不可の場合は、マークの右下にが表示されます。
③ ファイル制限
　：ファイル制限なし
- サムネイル表示のときは、ディスプレイ上部にカーソル位置のファイルの表示名、ディスプレイ下部にファイルサイズが表示されます。また、取得後に一度も表示していないか、FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可の場合など、サムネイル表示できない場合は、「②ファイルの種類」と同じデザインのアイコンが表示されます。

microSDカードの一覧に切り替える：[iα]

3 データを選択

メールに添付する：データにカーソル▶[✉]

❖Word、Excel、PowerPointファイル表示中の操作

スクロールする：[⊕]（押し続けると連続スクロール）

キー操作一覧を表示する：[📷]

- 表示した状態でキー操作できます。[●]を押すと元の画面に戻ります。
- [9]を押して「PCモード」にするとパソコン用の画面サイズで、「ケータイモード」にするとFOMA端末のディスプレイの横幅に合わせて表示します。Wordファイルのみ設定できます。
- [✱]を押して全画面表示にしたときは、再び[✱]を押すと元の表示に戻ります。
- [0]を押すと表示名などを表示するかを設定できます。押すたびに表示名を非表示→ページ番号／総ページ数と表示倍率を非表示→全て非表示→全て表示の順に切り替わります。終了しても設定は保持されます。
- [#]を押すと、ビューポジションが非表示になり、ページ番号／総ページ数と表示倍率が右側に移動します。再び[#]を押すと元の表示に戻ります。終了しても設定は保持されます。

文字列を検索する：[5]▶文字列を入力（全角16（半角32）文字以内）▶各項目を設定▶[📷]

- 一致した語が水色で強調表示されます。[iα]／[✉]を押すと前後の候補に移動、[MENU]を押すと元の表示に戻ります。

ページを移動する：[MENU][1]▶[1]～[5]

- 「指定のページ」を選択したときは、移動するページを入力して[●]を押します。

表示倍率を指定する：[MENU][3][3]▶倍率を入力

- 全体表示時の倍率より小さい倍率を指定しても動作しません。

表示を回転する：[MENU][4]▶[1]～[3]

✔お知らせ

- 画像が多い場合など、データによっては表示に時間がかかる場合があります。また、対応していない形式や複雑なデザインなどを含む場合、正しく表示されないことがあります。

◆Word、Excel、PowerPointの動作条件を設定する

1 [MENU]［データBOX］[0]▶[MENU][5]▶[1]または[2]

- 「あり」にするとデータ一覧でサムネイル表示になります。

録画したビデオや静止画を見る

- ビューアメニューからも操作できます。→P40

1 [MENU]［データBOX］[✱]

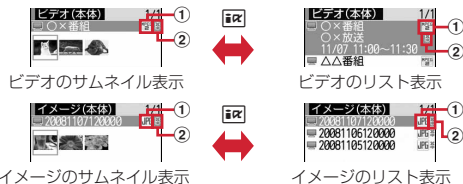
- フォルダの内容は次のとおりです。
  ビデオ（microSD）：microSDカードに録画したビデオ
  ビデオ（本体）：FOMA端末に録画したビデオ
  イメージ（本体）：FOMA端末に保存した静止画（JPEG形式の画像）

2 [1]～[3]

ビデオのサムネイル表示

ビデオのリスト表示

イメージのサムネイル表示

イメージのリスト表示

① **ファイル形式**
[MPEG2]（白）／[MPEG2]（黄）：MP2（ビデオ）／続き再生可能なMP2（ビデオ）
[JPG]：JPEG形式の画像（イメージ）

② **ファイル制限**
[✕]：ファイル制限あり

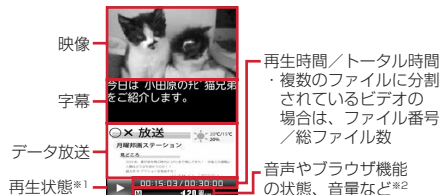
- ビデオ（microSD）はサムネイル表示できません。また、ファイル制限のマークも表示されません。

- サムネイル表示のときは、ディスプレイ上部にカーソル位置のファイルの表示名、ディスプレイ下部にビデオの録画日時やイメージの画像サイズ、ファイルサイズが表示されます。

3 **データを選択**

- 静止画を選択すると拡大されて表示され、ディスプレイ上部に表示名と画像番号／件数が表示されます。[右]を押すと等倍表示になり、[左]を押すと戻ります。また、[上下]または[▲][▼]を押すと前後の静止画に切り替えられます。
- 前回最後まで再生せずに終了したビデオを選択すると、続きからの再生確認画面が表示されます。ただし、トータル時間が約15秒以内のビデオや、前回の再生時間が約5秒以内の場合には表示されません。
- 他の携帯電話で録画した複数のファイルに分割されているビデオを選択すると、早送り／巻き戻し不可の確認画面が表示されます。

❖ビデオの画面の見かたと表示中の操作

- データ放送、動作設定の詳細についてはワンセグ視聴と同じです。

※1 再生状態により次のマークが表示されます。
▷: 再生中　▯▯: 一時停止中または再生完了
◁◁／◁◁◁／◁◁◁◁: 低速／中速／高速で巻き戻し再生中
▷: 1.3倍速で早送り再生中
▷▷／▷▷▷／▷▷▷▷: 低速／中速／高速で早送り再生中
※2 音声やブラウザ機能の状態、音量などのマークの見かた→P217

オートスキップの設定を切り替える：[MENU][2][4]

- 通常は、録画状態により映像が録画されなかった部分を早送りする「オートスキップオン」に設定されています。「オートスキップオフ」に切り替えると、録画されなかった部分を早送りしません。もう一度操作するか、ワンセグのデーター覧を終了すると「オートスキップオン」に戻ります。

前後のビデオに切り替える：[MENU]▶[3]または[4]
番組情報を確認する：[MENU][5]
データ放送を利用する：[MENU][6]
動作を設定する：[MENU][7]
キー操作一覧を表示する：[MENU][8]

- 表示した状態でキー操作できます。[●]を押すと元の画面に戻ります。
- 巻き戻しは[左]を押すたびに低速→中速→高速の順に、早送りは[右]を押すたびに1.3倍速（音声あり）→低速→中速→高速の順に切り替わります。

◆マイク付リモコン F01を使う〈マイク付リモコン〉

マイク付リモコン F01（別売）でビデオ再生中の操作ができます。

- ビューアスタイルでメニューやパネルが表示されているときは操作できません。

[▶/II]：一時停止※／再生
[▶/II]（1秒以上）：ビデオの再生を終了
[＋][－]：音量調整
[＋]（1秒以上）※／[－]（1秒以上）※：早送り／巻き戻し（停止中を除く）
[◀HOLD]（▼方向へスライド）：[▶/II]、[＋]、[－]のキー操作無効
[◀HOLD]（▼と逆側へスライド）：キー操作無効を解除
※ データ放送サイトの全画面表示中は無効です。

◆録画した静止画の動作条件を設定する

1 [MENU]［データBOX］[✂][3]▶[MENU][4]▶**各項目を設定**▶[📷]

一覧の画像表示：データ一覧でサムネイル表示にするかを設定します。
- ビデオ（本体）のデータ一覧の表示も本設定に従います。

タイトル表示：表示画面で表示名を表示するかを設定します。
番号表示：表示画面でフォルダ内での画像番号と件数を表示するかを設定します。

便利な機能

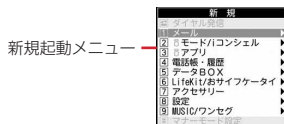
マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、ｉモード通信、データ通信など複数の通信を同時に使用できる機能です。

- マルチアクセスの組み合わせ→P414
- マルチアクセス中は各通信について通信料金がかかります。

〈例〉音声電話中にｉモードに接続する

1 音声電話中にMULTI 2 1

新規起動メニュー

- サイト画面を表示したまま通話できます。
- を押すと、表示中の機能が終了します。

マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- 同時に実行できる機能は2つまでです。ただし、ダイヤル発信、プロフィール情報、辞典、マナーモード設定／解除は、他の機能が2つ実行されていても起動できる場合があります。
- マルチタスクの組み合わせ→P416

◆ 機能を実行中に別の機能を実行する

〈例〉通話中にスケジュールを登録する

1 通話中にMULTI 7 1 ▶ スケジュールを登録

- スケジュール画面を表示したまま通話できます。
- を押すと、表示中の機能が終了します。
- MULTI ▶ を押し「はい」を選択すると、実行中のすべての機能が終了します。

✔お知らせ

- 動画再生中、カメラ操作中、Flash画像再生中、ワンセグ視聴／録画中、Music&Videoチャネルの番組やミュージックプレーヤーでの曲の再生中などに他の機能を起動したり操作したりするなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しない場合や、再生中の音声が途切れる場合があります。

◆ 操作する機能を切り替える

画面切替メニューを表示すると、画面を切り替えながら操作できます。

- 画面切替メニューは、メニュー項目の名称と異なる場合があります。

〈例〉音声電話中画面からサイト画面へ切り替える

1 音声電話中にMULTI ▶「ｉモード」

画面切替メニュー
・実行中の機能が一覧表示される

- 画面切替メニュー表示中にMENUを押すと、新規起動メニューと画面切替メニューを切り替えられます。

クイック検索

簡単な操作で検索する

待受画面や機能実行中に[🔍]を押して、検索機能を利用できます。

- 実行中の機能によっては、検索結果を表示する機能と同時に起動できず、検索できない場合があります。→P416
- 文字をコピー／切り取りする操作の途中でも検索できます。→P354
- 検索のしかたや接続先の状態によっては、検索できない場合や正しく表示できない場合があります。

〈例〉フルブラウザで検索する

1 [🔍]

- 前回検索を行った場合は、直前に実行した検索画面が表示されます。入力したキーワードを検索していない場合は、キーワードが入力された状態で表示されます。

2 **⊡でフルブラウザ検索に切り替え▶検索サービス選択欄を選択▶[1]～[0]▶入力欄にキーワードを入力（全角35（半角70）文字以内）▶「検索」▶「はい」または「はい（以降非表示）」**

フルブラウザが起動し、選択した検索サービスのサイトでの検索結果画面が表示されます。

検索サービス選択欄／辞典選択欄／メール検索選択欄

ｉモード検索／フルブラウザ検索／地図検索／辞典検索／電話帳検索／メール検索

Google検索

検索

入力欄

フルブラウザ検索画面

ｉモードで検索する：⊡でｉモード検索に切り替え▶入力欄にキーワードを入力（全角35（半角70）文字以内）▶「検索」

ｉモードが起動し、ｉモード検索での検索結果画面が表示されます。

- 「ｉMenuに接続」を選択するとｉMenuが表示されます。

地図で検索する：⊡で地図検索に切り替え▶入力欄にキーワードを入力（全角35（半角70）文字以内）▶「検索」

地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動し、検索結果画面が表示されます。

- GPS対応ｉアプリによっては、複数のキーワード（空白で区切って次を入力）で検索できます。
- 「地図を見る」を選択すると地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。

辞典で検索する：⊡で辞典検索に切り替え▶辞典選択欄を選択▶[1]～[3]▶入力欄にキーワードを入力（全角20（半角40）文字以内）▶「検索」

辞典が起動し、検索結果画面が表示されます。

電話帳を検索する：⊡で電話帳検索に切り替え▶入力欄にキーワードを入力（半角9文字以内）▶「検索」

フリガナ検索の結果画面が表示されます。

- 「他の方法で検索」を選択すると電話帳検索画面が表示されます。

メールを題名／本文で検索する：⊡でメール検索に切り替え▶メール検索選択欄を選択▶[1]または[2]▶入力欄にキーワードを入力（全角35（半角70）文字以内）▶「検索」

条件に該当するメールが一覧で表示されます。

- 複数のキーワード（空白で区切って次を入力）で検索できます。
- 「高度な検索」を選択すると、より詳しい条件で検索できます。→P152

メールを電話帳で検索する：⊡でメール検索に切り替え▶メール検索選択欄を選択▶[3]または[4]▶入力欄にキーワードを入力（半角9文字以内）▶「検索」

条件に該当するメールが一覧で表示されます。

検索機能を切り替える：キーワード入力後に⊡▶「検索」

- ｉモード検索、フルブラウザ検索、地図検索、辞典検索が共通のキーワードとして、電話帳検索、メール検索（半角文字の題名／本文と電話帳フリガナ）が共通のキーワードとして切り替えられます。

キーワード履歴を利用する：⊡で検索する機能に切り替え▶[✉]▶[1]～[5]▶「検索」

- ｉモード検索、フルブラウザ検索、地図検索、辞典検索が共通の履歴として最大5件、電話帳検索、メール検索（半角文字の題名／本文と電話帳フリガナ）が共通の履歴として最大5件（ただし、メール検索（題名／本文）は全角文字の履歴も含む）記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- キーワード履歴を削除する場合は[MENU][2]を押し「はい」を選択します。フルブラウザ検索から削除する場合は[MENU][4]を押します。

入力欄にコピーした文字を貼り付ける：[アイコン]で検索する機能に切り替え▶[i α]▶「検索」
- 電話帳検索、メール検索は貼り付けできません。

◆フルブラウザ検索の検索サービスを管理する

- 最大10件登録できます。

〈例〉検索サービスを追加する

1 [検索]▶[アイコン]でフルブラウザ検索に切り替え

2 [MENU][2]▶「はい」▶検索サービスを選択

タイトル名を変更する：
① [MENU][1]▶検索サービスにカーソル▶[i α]
② タイトル名を入力（36文字以内）▶[カメラ]
- 元のタイトル名に戻す場合は「オリジナルに戻す」を選択します。

削除する：[MENU][1]▶検索サービスにカーソル▶[MENU][2]▶「はい」

順番を入れ替える：[MENU][1]▶検索サービスにカーソル▶[MENU]▶[3]または[4]

3 「保存」▶タイトル名を入力（36文字以内）▶[カメラ]
- 最大登録件数を超える場合は上書きの確認画面が表示されます。

自動電源ON／OFF設定

自動的に電源を入れる／切る

1 [MENU][設定／NWサービス][7][1]▶[2]または[3]▶各項目を設定▶[カメラ]

✔お知らせ
- 自動電源OFF設定が「ON」でも、他の機能を利用中は電源が切れません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、自動電源ON設定を「OFF」にしてください。

お知らせタイマー

簡単な操作でタイマーを設定する

タイマーでお知らせするまでの時間（分）を待受画面で入力して設定します。

1 時間を入力（1～60分）▶[○]

カウントダウンが始まります。
- カウントダウン中にFOMA端末を閉じると、背面ディスプレイにタイマーが鳴るまでの残り時間が表示されます。
- カウントダウン中に[CLR]または[終話]を押すと、終了の確認画面が表示されます。

❖指定した時間が経過すると

ディスプレイに「お知らせタイマー 時間です」と表示され、音量設定の目覚まし音量でタイマーが鳴ります。また、バイブレータ設定の目覚まし鳴動時やイルミネーション設定の着信イルミネーションの電話着信に従って動作します。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「It'sTime 時間です」と表示されます。
- [終話]を押すと、タイマーが終了します。
- 約1分間何も操作しないか、[終話]や[サイドキー]以外のキーを押すか、FOMA端末を閉じた状態でダブルタップすると、タイマーが停止します。

✔お知らせ
- 通話中やプッシュトーク通信中に指定した時間になると、警告音が鳴りタイマーの画面が表示されます。
- イミテーションコール通話中に指定した時間になると、タイマーは鳴らず、バイブレータが「パターンA」で振動します。
- 電話やプッシュトークの発着信中、呼出中、切断中、64Kデータ通信の発着信中、データ転送モード中、赤外線リモコン使用中に指定した時間になると、操作や動作が終了した後、タイマーが動作します。

目覚まし

指定した時刻に目覚ましを鳴らす

- 目覚ましが鳴った後、ワンセグが起動するように設定できます。
- 最大9件登録できます。

1 （1秒以上）▶ 1 〜 7

設定／解除する：登録済みの目覚ましにカーソル▶

- 設定中は時刻の左にが表示されます。

2 各項目を設定

時刻：目覚ましを鳴らす時刻を入力します。

繰り返し：繰り返しを設定すると、目覚まし一覧のスヌーズの左にが表示されます。

- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択してを押します。

メッセージ：全角7（半角14）文字以内で入力します。

スヌーズ：スヌーズ動作（約1分間鳴った後に停止する動作）を選択した時間の間隔で約30分間繰り返すかを設定します。

3 で音設定画面に切り替え▶各項目を設定

目覚まし音：「端末設定に従う」にすると、音設定の目覚まし音に従います。

ミュージックの設定→P91

音量：「端末設定に従う」にすると、音量設定の目覚まし音量に従います。

4 でワンセグ設定画面に切り替え▶各項目を設定

ワンセグ利用：「する」にすると、目覚ましが終了したとき、または停止（スヌーズ動作の停止中を含む）しているとき、ワンセグが起動します（目覚ましワンセグ）。

ワンセグ音量：「端末設定に従う」にすると、音量設定の目覚ましワンセグ音量に従います。

チャンネル：起動するチャンネルを設定します。

オフタイマー：選択した時間が経過すると、ワンセグが終了します。

5 でその他設定画面に切り替え▶各項目を設定

バイブレータ：「端末設定に従う」にすると、バイブレータ設定の目覚まし鳴動時に従います。

イルミネーションパターン：「イルミパターン1」「イルミパターン2」「メロディ連動」にすると、複数の色で点滅します。イルミネーションカラーは設定できません。

イルミネーションカラー：ランプの点灯色を設定します。

6

- 目覚ましを設定すると、待受画面にまたは（スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

❖指定した時刻になると

ディスプレイにメッセージと時刻が表示され、設定に従って動作します。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイにと時刻が表示されます。

- を押すと目覚ましが終了します。ワンセグ利用が「する」の場合はワンセグが起動します。
- 約1分間何も操作しないか、やり以外のキーを押すか、FOMA端末を閉じた状態でダブルタップすると、目覚ましは停止またはスヌーズ動作になります。ワンセグ利用が「する」の場合はワンセグが起動します。
- スヌーズ動作で停止しているときは、ディスプレイに「スヌーズ中 Snooze」と表示され、ランプがゆっくり点滅します。
- 目覚まし停止中にCLRまたはを押すと、目覚ましは終了します。スヌーズ動作で停止しているときはを押すと終了します。

✔お知らせ

- 目覚まし音に動画／iモーションを設定すると、目覚ましが動作するとき画面に動画／iモーションが表示されます。
- ワンセグの起動時に、指定した番組とは異なる番組が表示される場合があります。
- 目覚ましとスケジュールアラームを同じ日時に設定していると、目覚ましが鳴った後に続けてスケジュールアラームが通知されます。
- オリジナルマナーモード中は、目覚ましワンセグもオリジナルマナーモードの目覚まし音の設定に従います。
- 通話中やプッシュトーク通信中、イミテーションコール通話中、電話やプッシュトークの発着信中、呼出中、切断中、64Kデータ通信の発着信中、データ転送モード中、赤外線リモコン使用中に指定した時刻になった場合の動作は、お知らせタイマーと同じです。

アラーム自動電源ON設定

アラームが鳴る時刻に電源が入るように設定する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][1][5]▶[1]または[2]

✔お知らせ

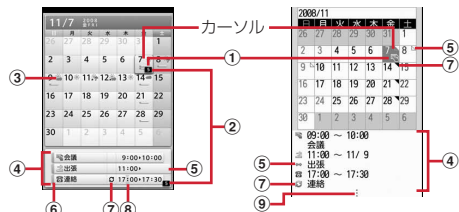
- 電池パックを外した場合など、電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、本機能は動作しません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、本機能を「OFF」にしてください。

スケジュール帳

スケジュールを管理する

- スケジュール帳は、スケジュール帳表示設定のスケジュール帳タイプにより表示が異なります。「ノーマル」にするとｉコンシェルからダウンロードしたｉスケジュールなどを表示できるスケジュール帳に、「クラシック」にすると従来のスケジュール帳になります。
- ｉスケジュールの表示・操作→P330

◆カレンダーを表示する

1 [カメラ]

カレンダー画面（ノーマル）　カレンダー画面（クラシック）

- カレンダー画面表示中は次の操作ができます。
  [方向キー]：カーソル移動
  [iα]／[メール]：前月／翌月の切り替え
- 「ノーマル」のとき[カメラ]を押すと、ｉスケジュール一覧が表示されます。→P330
- 「クラシック」のとき[MENU][7][2]を押すと、キー操作一覧を表示できます。
- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① **スケジュールあり**
  - 「ノーマル」では、通常スケジュール（誕生日、ワンセグの視聴／録画予約含む）を登録している場合は━（水色）、ｉスケジュール内の予定が登録されている場合は━（オレンジ）が表示されます。
  - 「クラシック」では、最も早い時刻に登録したスケジュールの用件アイコンが表示されます。ワンセグの視聴予約を登録している場合は[アイコン]、録画予約を登録している場合は[アイコン]が表示されます。

  ② **スケジュール件数**
  ③ **週間天気予報**
  - ｉコンシェルを契約すると、当日から最大8日分が自動的に配信されます。

  ④ **カーソル位置の日付に登録したスケジュール一覧**
  - 「ノーマル」のときは、登録したスケジュール以外にｉスケジュール内の予定や電話帳に登録した誕生日が表示されます。

  ⑤ **長期間スケジュール**
  ⑥ **通常スケジュール（誕生日、ワンセグの視聴／録画予約含む）（水色）／ｉスケジュール内の予定（オレンジ）**
  ⑦ **繰り返しスケジュール**
  ⑧ **スケジュールアラームあり**
  ⑨ **スケジュール4件以上あり**

特定の日を指定して表示する〈日付移動〉：[MENU][4][2]▶**年月日を入力**

- 当日に戻すときは[MENU][4][1]を押します。

✔お知らせ

- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- カレンダーの祝日は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2008年10月現在）。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。
- 誕生日やワンセグの視聴／録画予約は、用件別表示、コピー、メール操作、シークレット属性設定などの操作はできません。また、誕生日は登録件数確認で表示される件数にも含まれません。
- 電話帳お預かりサービスを利用できます。→P128

◆ スケジュール帳の表示を設定する

1 ◎▶MENU 6 1▶各項目を設定▶📷

スケジュール帳タイプ：「クラシック」にすると、スクロール動作と拡大モードを設定できます。

週の先頭：1週間の始まり（左側に表示）を設定します。

スクロール動作：✥を押したとき、画面を1か月ごとに切り替えるか1週間ごとにスクロールするかを設定します。

拡大モード：「ウイークリー拡大モード」にすると週を基準に4段階、「デイリー拡大モード」にすると日を基準に7段階で表示を拡大できます。

- 拡大するとスケジュールの登録内容（拡大モードや拡大率により異なる）が表示されます。

◆ 休日／週休／祝日を設定する〈休日／曜日休日／祝日設定〉

- 休日は最大30件設定できます。
- 祝日は最大5件新規登録できます。

1 ◎▶MENU 6▶目的の操作を行う

固定日を／毎年繰り返して休日にする：2▶休日設定画面で日付にカーソル▶●または✉

- 休日設定画面で休日にカーソルを合わせると、年月の右側に「休日」または「毎年繰り返し休日」と表示されます。
- ✉を押すたびに毎年／固定の休日を切り替えられます。

休日を解除する：休日設定画面で休日にカーソル▶●

- 全件解除する場合は休日設定画面でiαを押し「はい」を選択します。

週休を設定する：3▶各項目を設定▶📷

- 元の設定に戻す場合は3MENUを押します。

祝日を設定する：4▶📷▶各項目を設定▶📷

- 祝日名は全角11（半角22）文字以内で入力します。
- 表示を「ON」にすると、カレンダー画面やデイリービュー画面で祝日名が表示されます。

祝日を変更する：4▶祝日を選択▶各項目を設定▶📷

- お買い上げ時に設定されている祝日名は変更できません。
- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、日付欄で「カスタマイズ」を選択し、日付を入力します。

祝日を削除する：4▶祝日にカーソル▶MENU▶「はい」

- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

◆ スケジュールを登録する

1 ◎▶MENU 1

2 各項目を設定

▦：用件アイコンを選択します。選択した用件アイコンに対応した予定が入力欄に表示されます。全角300（半角600）文字以内で変更できます。

終日：時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは「ON」を選択します。

開始日時：開始日時を入力します。

終了日時：終了日時を入力します。開始日時よりも後の日付に設定すると、長期間スケジュールとして登録されます。

場所：全角25（半角50）文字以内で入力します。

詳細：全角300（半角600）文字以内で入力します。

3 ✥でスケジュール連絡先画面に切り替え▶「〈スケジュール連絡先選択〉」▶電話帳から連絡先を選択

- 最大5名登録できます。
- 削除するときは、連絡先にカーソルを合わせてMENUを押します。

4 ✥でアラーム設定画面に切り替え▶各項目を設定

アラーム：アラームを設定するときは「あり」を選択し、アラーム音を選択します（スケジュールアラーム）。

- 「端末設定に従う」にすると、音設定のスケジュール音に従います。
  ミュージックの設定→P91

アラーム時間（分前）：予定の何分前にアラームを鳴らすかを0～99分の範囲で設定します。

5 ✥でその他の設定画面に切り替え▶各項目を設定

繰り返し：「なし」以外にすると、繰り返しスケジュールとして登録されます。

- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して📷を押します。
- 開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返しを「毎月」または「毎年」にした場合など該当する日が存在しない月や年には、その月、年の月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となります。

アラーム画像：スケジュールアラーム画面を変更するときは、「あり」を選択して「画像選択」を選択し、画像を選択します。

6 [カメラ]

- アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面に[アイコン]または[アイコン]（目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

❖待受画面から登録する〈クイックスケジュール〉

カレンダー画面を表示せず、簡単なキー操作で登録できます。

1 日時を8桁の数字で入力▶[決定]

スケジュールの新規作成画面が表示されます。

- 11月7日10時0分の場合、[1][1][0][7][1][0][0][0]と入力します。
- 時間2桁、分2桁の4桁を入力すると、当日（現在よりも以前の時刻を入力した場合は、翌日）の新規作成画面が表示されます。

以降の操作→P327「スケジュールを登録する」操作2以降

❖指定した日時になると

ディスプレイにイメージ、日時、予定が表示され、音量設定のスケジュール音量でアラームが鳴ります。また、バイブレータ設定のスケジュール鳴動時やイルミネーション設定の着信イルミネーションの電話着信に従って動作します。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイにアラーム起動時刻と予定が表示されます。

- [キー]を押すとアラームが終了します。
- 約1分間何も操作しないか、[キー]や[キー]以外のキーを押すか、FOMA端末を閉じた状態でダブルタップすると、アラームが停止します。
- アラーム停止中に[●]を押すと、詳細画面が表示されます。

✔お知らせ

- 終日が「ON」のスケジュールは、指定した日の0時にスケジュールアラームが動作します。
- スケジュールアラームに動画／ｉモーションを設定すると、スケジュールアラームが動作するとき画面に動画／ｉモーションが表示されます。
- 同じ日時に複数のスケジュールアラームを設定している場合、アラームを停止した後[キー]を押して他のスケジュールの内容を確認できます。
- スケジュールアラームと目覚ましを同じ日時に設定していると、目覚ましが鳴った後に続けてスケジュールアラームが通知されます。
- 通話中やプッシュトーク通信中、イミテーションコール通話中、電話やプッシュトークの発着信中、呼出中、切断中、64Kデータ通信の発着信中、データ転送モード中、赤外線リモコン使用中に指定した日時になった場合の動作は、お知らせタイマーと同じです。

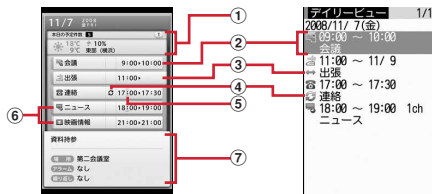
◆スケジュールアラームの初期値を設定する〈アラーム初期値設定〉

1 [決定]▶[MENU][6][5]▶各項目を設定▶[カメラ]

通常登録時：カレンダー画面から登録するときの初期値を設定します。
待受画面から登録時：クイックスケジュールで登録するときの初期値を設定します。

◆登録したスケジュールを確認する

- ｉスケジュール内の予定も同様に表示できますが、サブメニューなどの操作が異なったり制限されたりします。→P330

1 [決定]▶スケジュールの登録日を選択

デイリービュー画面（ノーマル）　デイリービュー画面（クラシック）

- [キー]を押すと、日付が切り替わります。
- 画面の見かたは次のとおりです。

① スケジュール件数、週間天気予報
- 用件別表示中は、「本日のフィルタリング後の予定件数」と表示されます。

② 用件アイコン、予定、開始時刻～終了時刻
- ワンセグの視聴／録画予約は、視聴／録画予約アイコン、番組名、開始時刻～終了時刻、チャンネル（「クラシック」のみ）が表示されます。

③ 長期間スケジュール
④ 繰り返しスケジュール
⑤ スケジュールアラームあり
⑥ 通常スケジュール（誕生日、ワンセグの視聴／録画予約含む）（水色）／ｉスケジュール内の予定（オレンジ）
⑦ スケジュール詳細

2 スケジュールを選択

詳細画面（ノーマル）

詳細画面（クラシック）

変更する：スケジュールにカーソル▶[MENU][2]
以降の操作→P327「スケジュールを登録する」操作2以降

削除する：スケジュールにカーソル▶[MENU][3]▶[1]～[5]▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたスケジュールが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶[📷]が、全件削除では認証操作が必要です。
- 選択した日付を含む長期間スケジュールを登録している場合は、「1日削除」または「選択日前日まで削除」を選択すると、長期間スケジュール削除の確認画面が表示されます。

用件を指定して表示する〈用件別表示〉：[MENU][4][2]▶用件アイコンを選択
カレンダー画面、デイリービュー画面の右上に選択した用件アイコンが表示され、用件アイコンのスケジュールのみ表示されます。
- 元の表示に戻す場合は[MENU][4][1]を押します。

コピーして貼り付ける：スケジュールにカーソル▶[MENU][6][1]▶[CLR]▶貼り付ける日付にカーソル▶[MENU][5]
- コピーしたスケジュールは最新の1件だけがスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日付に何度でも貼り付けられます。

メールを作成する：スケジュールにカーソル▶[MENU][7][1]▶[1]～[3]
- メール本文にDate To形式で入力されます。
- メールを作成するとき、入力されるスケジュールがメール本文の最大文字数を超えた場合は、超過分が削除されます。

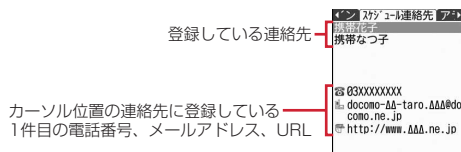
メールに添付する：スケジュールにカーソル▶[✉]

メールを検索する：[MENU][7][2]▶[1]または[2]

✔**お知らせ**
- 表示中のスケジュールの内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。
- 「ノーマル」の詳細画面でアラーム画像を確認するには[iα]を押します。
- 誕生日の詳細画面で相手に電話をかけたりメールを送信したりできます。
- 用件別表示中は、表示されている用件だけがメール作成や削除の対象となります。

◆ スケジュール連絡先を利用する

「ノーマル」のときは詳細画面の連絡先の項目から、利用したい電話番号やメールアドレスなどを選択します。「クラシック」のときは次の操作を行います。

1 [📷]▶スケジュールの登録日を選択▶スケジュールを選択▶[✉]でスケジュール連絡先画面を表示

2 連絡先にカーソル▶目的の操作を行う

電話をかける：[☎]または[iα]
- [MENU][4]を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P64

メールに添付する：[✉]
- 連絡先全員にメールを送信するときは[MENU][5][2]を押します。

メールを作成する：[MENU][7][1]
- メール本文にDate To形式で入力されます。

サイトを表示する：[MENU][6]▶「はい」
- [6]を押した後に[iα]を押すと、フルブラウザで表示されます。

✔**お知らせ**
- 電話帳に登録している2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、スケジュール連絡先画面から連絡先を選択して、電話帳の詳細画面から利用する電話番号またはメールアドレスを表示します。ただし、電話帳の詳細画面からメールを作成するとスケジュールは添付されたり入力されたりしません。

◆他人に見られたくないスケジュールを守る〈シークレット属性〉

スケジュールにシークレット属性を設定します。プライバシーモード中（スケジュールが「指定スケジュール非表示」のとき）は、シークレット属性を設定したスケジュールは表示されません。
- プライバシーモードの動作設定→P118

1 **Ⓞ▶スケジュールの登録日を選択▶スケジュールにカーソル▶MENU 0**

- シークレット属性を設定していると🔑が点滅します。
- 解除する場合も同様の操作です。

◆スケジュールの登録件数を確認する〈登録件数確認〉

1 **Ⓞ▶MENU 7 1**

◆ｉスケジュールを表示・操作する

1つのｉスケジュールには、複数の予定が含まれます（ｉスケジュール内の予定）。新しい予定をダウンロードしたり、電話帳お預かりサービスで保存したデータを更新・復元したりしたときに、ｉスケジュールが更新されます。
- ｉスケジュール内の予定は個別で削除できません。削除する場合はｉスケジュールを削除します。

1 **Ⓞ▶📷**

ｉスケジュール一覧が表示されます。
- ｉスケジュールが1件も登録されていない場合はｉスケジュールの説明が表示されます。
- 「ｉスケジュールリストへ」を選択すると、ｉスケジュールのサイトに接続できます。

2 **ｉスケジュールにカーソル▶📷**

ｉスケジュール内の予定一覧が表示されます。
ｉスケジュールの概要を見る：ｉスケジュールを選択
ｉスケジュールを削除する：ｉスケジュールにカーソル▶MENU▶1～3▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたｉスケジュールが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。

3 **ｉスケジュール内の予定を選択**

ｉスケジュール内の予定の詳細画面が表示されます。
コピーして編集する：ｉスケジュール内の予定にカーソル▶📷▶「OK」
以降の操作→P327「スケジュールを登録する」操作2以降
- 通常のスケジュールとして登録されます。

メールに添付する：ｉスケジュール内の予定にカーソル▶✉
- 通常のスケジュールとして添付されます。

メールを作成する：ｉスケジュール内の予定にカーソル▶MENU 2 1
- メール本文にDate To形式で入力されます。

✔お知らせ
- ｉスケジュールは、用件別表示、コピー、メール操作、シークレット属性設定などの操作はできません。また、ｉスケジュール内の予定は、シークレット属性設定などの操作はできません。
- ｉコンシェルからスケジュール帳を起動したときやｉスケジュールをダウンロードしたときに最大登録件数を超えた場合は、削除確認画面で「はい」を選択した後、次のいずれかの操作を行ってください。
  - デイリービュー画面で不要なスケジュールを選択（デイリービュー画面でiαを押すと、詳細画面を表示できます）
  - 📷を押してｉスケジュール一覧で不要なｉスケジュールを選択（ｉスケジュール一覧でiαを押すと、概要を表示できます）
  - 「クラシック」のときｉスケジュールを削除する場合は、MENU 3 3を押し「ノーマル」に切り替えて、📷を押してｉスケジュール一覧で不要なｉスケジュールを選択

待受ショートカット

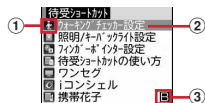
よく使う機能をすばやく起動する

よく使う機能やフォルダ、ファイルなどをアイコンとして待受画面に貼り付けます（ショートカット）。ショートカットを選択するとすぐに起動できます。
- ビューアスタイルでは、ショートカットは表示されません。

◆ショートカットを貼り付ける

機能のショートカットを貼り付けるときは、機能選択画面から操作します。フォルダやファイルなどのショートカットを貼り付けるときは、フォルダやファイルなどの一覧から操作します。
- 最大15件貼り付けできます。貼り付けると、待受ショートカット一覧に追加されます。

〈例〉機能のショートカットを貼り付ける

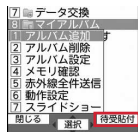
1 [●]▶ショートカットにカーソル▶[MENU]

待受ショートカット一覧

① 待受画面に表示されるアイコン
② タイトル（機能名、フォルダ名、ファイル名、データ名など）
- 待受画面でショートカットにカーソルを合わせたとき、吹き出しで表示されます。

③ 電話帳2in1設定で設定したマーク（2in1がデュアルモード時）
- 待受ショートカット一覧で[✉]を押すと、貼り付け方法を確認できます。

2 [📷]▶機能選択画面で機能にカーソル▶[📷]
- 下の階層にメニューがない場合は、機能を選択しても貼り付けられます。

〈例〉マイピクチャのフォルダのショートカットを貼り付ける

1 [MENU]［データBOX］[1]▶フォルダにカーソル▶[MENU]

カーソルを合わせているフォルダやファイル、データなどが貼り付け可能な場合は、[MENU]を押してサブメニューを表示したとき、ガイド表示領域に「待受貼付」が表示されます。

- 電話番号、メールアドレスを貼り付ける場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面で電話番号、メールアドレスを表示して[MENU]を押すと、「待受貼付」が表示されます。
- 目覚ましを貼り付ける場合は、目覚まし一覧を表示すると「待受貼付」が表示されます。

2 [📷]

✔お知らせ
- 貼り付ける機能やデータの名称が全角11（半角22）文字を超える場合は、超過分が削除されてタイトルに登録されます。
- ｉモードメール、SMS、画面メモを保存するときも、ショートカットを貼り付けることができます。→P142、164、176
- シークレット属性を設定した機能を含めて15件貼り付けているとき、プライバシーモード中に貼り付けを行うと、非表示になっているショートカットが削除され、新たにショートカットが貼り付けられます。

◆ショートカットから起動する

1 [●]▶ショートカットを選択

表示以外にショートカットがある場合（[◀▶]で表示）

待受ショートカット一覧に登録されているタイトル（カーソル位置のショートカットのタイトルを吹き出しで表示）、アイコン

◆ショートカットを編集する

1 [●]▶ショートカットにカーソル▶[MENU]

2 項目にカーソル▶目的の操作を行う

順番を並べ替える：[MENU][2]▶[◎]で並べ替え先に移動▶[●]

アイコンを変更する：[MENU][3][1]▶フォルダを選択▶アイコンを選択
- 20×20～40×40ドット以内の正方形のJPEG形式またはGIF形式の画像を選択できます（39×39ドット以下の画像は拡大表示されます）。マイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダの画像を選択できます。
- 元のアイコンに戻す場合は[MENU][3][2]を押します。

タイトルを変更する：[MENU][4]▶タイトルを入力（全角11（半角22）文字以内）▶[📷]

項目を削除する：[iα]▶「はい」

ショートカットの表示を設定する〈待受ショートカット設定〉：[MENU][6]▶[1]または[2]
- 「決定キーで表示」にすると、[●]を押してフォーカスモード中のみショートカットを表示します。

✔お知らせ

- フォルダやファイルなどを削除した場合は、ショートカットも削除されます。
- 電話帳の電話番号やメールアドレスを変更、削除しても、ショートカットを登録したときの情報が残ります。ただし、電話帳を削除したり他の電話帳で上書きしたりするとショートカットは削除されます。
- ショートカットを削除しても、機能やフォルダなどは削除されません。
- ファイルなどを移動してもショートカットから起動できますが、microSDカードやFOMAカードに移動すると起動できなくなり、ショートカットが削除されます。
- ショートカットのタイトルを変更しても、フォルダ、ファイルなどの名称は変更されません。また、ショートカットを貼り付けた後にフォルダやファイルなどの名称を変更しても、タイトルには反映されません。

セレクトメニュー

よく使う機能を登録する

よく使う機能を自由に登録して、自分だけのメニューを作れます。

- セレクトメニューの1階層目の機能は、待受画面で対応するダイヤルキー（1～9）を1秒以上押すことで起動できます。ただし、下の階層にメニューがある機能、人物、グループを登録した場合は起動できません。

◆ セレクトメニューを作成する

- 1つの階層に最大9個のメニュー項目を登録できます。

1 MENU▶📷

2 目的の操作を行う

機能を追加登録する：MENU 1 1▶機能にカーソル▶📷

- 下の階層にメニューがない場合は、機能を選択しても登録できます。

人物を追加登録する：MENU 1 2▶電話帳から人物を選択

- 電話帳に登録した画像（Flash画像、動画／ｉモーションを除く）または人物アイコンがメニュー画面に表示されます。

グループを追加登録する：MENU 1 3▶グループ名を入力（全角9（半角18）文字以内）▶📷

グループ内に追加登録する：

3階層目は、グループを登録できません。

① グループを選択

② MENU 1▶1～3▶登録の操作を行う

- グループ内にメニュー項目を登録していないときは「登録（人物）」～「登録（メニューグループ）」のいずれかを選択します。

上書き登録する：メニュー項目にカーソル▶MENU 2▶1～3▶登録の操作を行う

- グループに上書きするときは上書きの確認画面が表示されます。

◆ セレクトメニューを利用する

1 MENU▶📷▶メニュー項目を選択

- 機能を選択すると、機能が起動または下の階層のメニュー項目が表示されます。
- グループを選択すると、グループ内に登録したメニュー項目が表示されます。

❖ 人物を利用する

1 MENU▶📷

2 人物にカーソル▶目的の操作を行う

電話をかける※：📞または iα

- 人物を選択して1を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P64

メールを作成する※：✉

SMSを作成する※：✉（1秒以上）

サイトを表示する：人物を選択▶4▶「はい」

- 4を押した後に iα を押すと、フルブラウザで表示されます。

詳細情報を表示する：人物を選択▶5

※ 電話番号やメールアドレスを2件以上登録している場合は、操作の後に電話帳の詳細画面から利用する電話番号やメールアドレスを選択します。

◆ セレクトメニューを編集する

- お買い上げ時の状態に戻す→P105

1 [MENU]▶[カメラ]

2 メニュー項目にカーソル▶[MENU]▶目的の操作を行う

メニュー項目を入れ替える：[3]▶入れ替え先を選択▶「はい」
アイコンを変更する：[4]▶アイコンを選択
- 元のアイコンに戻す場合は[4][カメラ]を押します。

グループ名を変更する：[5]▶グループ名を変更▶[カメラ]
メニュー項目を削除する：[6]▶[1]または[2]▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたメニュー項目が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

サイドキー長押し設定

サイドキーを長押しして起動する機能を設定する

FOMA端末を閉じた状態で[▲][▼]を1秒以上押したとき起動するように、機能を設定できます。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][6]▶各項目を設定▶[カメラ]

簡易ライト

FOMA端末のライトを小型ライトとして使う

- FOMA端末を閉じた状態で操作してください。

1 背面ディスプレイの時計表示中に[♪]▶[▲][▼]で「簡易ライト」にカーソル▶[サイドキー]

ライトが約30秒間点灯します。
- FOMA端末を開いたり、[サイドキー]、[♪]、[▲][▼]のいずれかを押すと、ライトは消灯します。
- サイドキー長押し設定が「簡易ライト」の場合は、ライトの点灯中に「簡易ライト」を設定したキーを1秒以上押すと、点灯時間が約30秒間延長します。

プロフィール情報

自分の名前などを登録する

お客様の電話番号、名前、メールアドレスなどを登録します。

1 [MENU]［プロフィール］

- 自局電話番号にはご契約の電話番号が表示されます。
- 2in1がデュアルモード時は、[メール]を押してAナンバーとBナンバーのプロフィール情報を切り替えられます。

2 [カメラ]▶認証操作▶各項目を設定▶[カメラ]

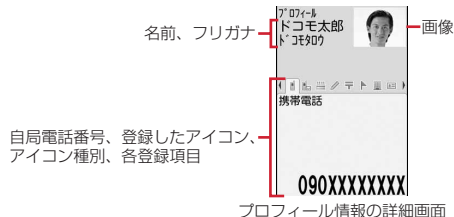
各設定項目→P82「電話帳に登録する」操作2以降（メモリ番号とグループは設定できません）
- 1件目の電話番号には自局電話番号が表示されます。変更できません。

✔お知らせ
- 自局電話番号はFOMAカードに、それ以外の項目はFOMA端末に登録されます。
- プロフィール情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール情報のメールアドレスは変更されません。

◆ プロフィール情報の詳細を確認する

1 [MENU]［プロフィール］▶[●]▶認証操作

- [アドレス帳]を押すたびに詳細画面が切り替わります。
- 登録した電話番号に発番号設定を設定している場合は、詳細画面上部に[アイコン]が表示されます。

プロフィール情報の詳細画面

基本情報を表示する：[MENU][8][1]
1件目の電話番号やメールアドレスなどが表示されます。

詳細画面の表示を切り替える：MENU 8 2 ▶ 1 ～ 3
登録内容を編集する：MENU 2 ▶ 編集して📷
登録内容をリセットする：MENU 3 ▶「はい」
- 2in1利用時は、表示中のプロフィール情報のみリセットされます。

◆プロフィール情報の詳細を利用する

1 MENU［プロフィール］▶●▶認証操作

2 目的の操作を行う

電話をかける：電話番号の詳細画面を表示▶📞またはiα
- 自局電話番号には発信できません。
- MENU 4 を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P64

発番号設定を設定する：電話番号の詳細画面を表示▶MENU 7 1 ▶ 1 ～ 3
メールを作成する：メールアドレスの詳細画面を表示▶✉
メールアドレスを入れ替える：MENU 7 2 ▶1件目にするメールアドレスを選択
SMSを作成する：電話番号の詳細画面を表示▶✉
サイトを表示する：URLの詳細画面を表示▶●▶「はい」
- ●を押した後にiαを押すと、フルブラウザで表示されます。

登録内容をコピーする：MENU 5 ▶ 1 ～ 8
- 2件目以降の電話番号とメールアドレスをコピーするときは、2件目以降の詳細画面を表示してMENU 5 を押し 2 または 3 を押します。

住所から地図を表示する：郵便番号／住所の詳細画面を表示▶📷
地図設定の地図選択で設定したGPS対応iアプリが起動します。
位置情報を利用する：位置情報の詳細画面を表示▶●
以降の操作→P275「■位置情報利用メニュー」

◆Bナンバーを取得する

2in1利用時Bナンバーを表示中に、Bナンバーを取得します。

〈例〉Bモードで操作する

1 MENU［プロフィール］▶●▶認証操作▶MENU 0 ▶「はい」▶●

- デュアルモード時は、●を押す前に✉を押してBナンバーを表示します。

イミテーションコール

電話着信と通話中を装う

イミテーションコールとは、電話の着信や通話中を装うことができる機能です。
- 音声回線を使用しないため、電波状態に関わらず利用できます。また、通話料金はかかりません。

◆イミテーションコールを設定する

1 MENU［アクセサリー］7 2 ▶各項目を設定▶📷

- 鳴動開始時間を「すぐに鳴らす」以外にすると、イミテーションコールを開始したときカウントダウン画面が表示されます。選択した時間が経過すると着信動作を行います。

◆イミテーションコールを開始する

1 MENU［アクセサリー］7 1

イミテーションコール設定に従い着信音が動作し、イミテーションコール着信中画面が表示されます。また、イルミネーション設定の着信イルミネーションの電話着信に従って（ただし、「OFF」の場合は点滅）動作します。
- イミテーションコール着信中にサイドキーを押すと、消音で動作します。
- 背面ディスプレイのメニューからも開始できます。→P35

2 📞

イミテーションコール通話中画面が表示され、イミテーションコールのガイダンスが受話口から流れます。また、イルミネーション設定の通話中イルミネーションが「OFF」の場合でも、通話中イルミネーションのイルミネーションカラーに従ってランプが点滅します。
- 終了するには終話キーを押します。

✔お知らせ

- イミテーションコール設定の鳴動開始時間を「すぐに鳴らす」以外にすると、背面ディスプレイのメニューやサイドキー長押し設定で設定したキーを1秒以上押してイミテーションコールを開始したとき、カウントダウンを始める前にバイブレータが振動します。
- マナーモード中は、着信音は鳴らずバイブレータが「パターンA」で振動します。▲を押すとバイブレータが停止します。
- 公共モード（ドライブモード）中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中でも着信音はスピーカーから鳴ります。
- 0～9、*、#を押してイミテーションコール着信を受けられます。
- FOMA端末を閉じてイミテーションコール通話を終了できます。
- イミテーションコール通話中に次の動作があると、着信音やアラーム音は鳴らず、バイブレータが「パターンA」で振動します。
  - 電話やプッシュトークの着信
  - メールやメッセージR/Fの受信
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した日時になったとき
  - ワンセグの視聴予約の時間になったとき（お知らせアラームが「なし」の場合を除く）

音声メモ／動画メモ

声や画像を録音／録画する

通話中や待受中に声や画像を録音／録画できます。

- 通話中音声メモと待受中音声メモは、1件につき最大30秒、合わせて最大4件録音できます。
- 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。
- ガイダンスによっては録音できないものがあります。
- 電波の状態により、通話中音声メモや動画メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れる場合があります。
- 音声メモの再生→P70
- 動画メモの再生（iモーションの「カメラ」フォルダに保存されます）→P292

◆ 通話中に相手の声や画像を録音／録画する

1 通話中に▲（1秒以上）

録音／録画が開始されます。残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。

- 録音／録画中は画面の下に時間の経過が表示されます。
- 動画メモ録画中は、テレビ電話画像選択の動画メモ画像の設定に従って画像が相手に送信されます。
- 動画メモ録画中に●を押すと、録画時間の経過表示と通話時間表示が切り替わります。
- 録音／録画を途中で停止するときは▲を1秒以上押します。

◆ 待受中に自分の声を録音する

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 ▲（1秒以上）▶ 3

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。

- 録音中は画面の下に録音時間の経過が表示されます。
- 録音を途中で停止するときは●、CLR、▭のいずれかを押します。

通話時間／通話料金

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの直前および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間、テレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0YEN」または「******YEN」と表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の時間や料金とは異なる場合があります。
- 表示される通話料金に消費税は含まれていません。

◆通話時間を確認する

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 1 1

直前通話時間：直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話時間または通信時間
積算通話時間（音声）：音声電話で通話した積算時間
積算通話時間（テレビ電話）：テレビ電話で通話した積算時間
積算通話時間（データ）：データ通信を行った積算時間
前回リセット日時（音声）：音声電話の積算時間を前回リセットした日時
前回リセット日時（テレビ電話）：テレビ電話の積算時間を前回リセットした日時
前回リセット日時（データ）：データ通信の積算時間を前回リセットした日時
積算通話時間をリセットする：通話時間確認画面で📷▶認証操作▶1～4▶「はい」

◆通話料金を確認する

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 1 2 1

- 直前通話料金の情報がない場合は、「******YEN」と表示されます。

直前通話料金（音声）：直前に通話した音声電話の料金
直前通話料金（テレビ電話）：直前に通話したテレビ電話の料金
直前通話料金（データ）：直前に行ったデータ通信の料金
積算通話料金：音声電話、テレビ電話、データ通信の通話料金と通信料金の積算料金
前回リセット日時：積算通話料金を前回リセットした日時
積算通話料金をリセットする：通話料金確認画面で📷▶PIN2コードを入力▶「はい」

❖積算通話料金を自動的にリセットする〈通話料金自動リセット設定〉

積算通話料金を毎月1日0時に自動的にリセットします。

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 1 2 4▶認証操作▶1または2▶PIN2コードを入力

✔お知らせ

- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- プッシュトーク通信、iモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- FOMA端末の電源を切ると直前通話料金は「******YEN」と表示されます。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金には、音声電話とテレビ電話の合計額が表示されます。なお、切り替え中には、料金は加算されません。
- 2in1をご契約いただいている場合は、積算通話時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

〈通話料金自動リセット設定が「ON」のとき〉

- 1日0時に電源が切れているときや通話中は、電源が入った後や通話終了後にリセットされます。
- 日付時刻設定で翌月以降の日時を設定すると、その時点でリセットされます。
- 電源を入れるときにはPIN2コードの入力、日付時刻設定を行うときには認証操作が必要です。

◆ 通話料金の上限を通知する〈通話料金上限通知〉

積算通話料金が設定した金額を超えたとき、アラームやアイコン表示などでお知らせします。

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 1 2 2 ▶認証操作▶各項目を設定▶📷

通話料金上限通知：「ON」にすると、上限金額を超えたとき通知します。
料金上限（円）：上限金額を10～100000円の範囲で、1円の位は省略して入力します。
通知方法：アラームとアイコンで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。
アラーム音：通知する音を選択します。
アラーム時間（秒）：アラームが鳴る時間を1～60秒の範囲で設定します。

❖ 通話料金が上限を超えると

- 通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイ上部に¥が表示されます。
- 通知方法が「アラーム+アイコン表示」の場合は、設定した料金の上限を超えた通話や通信を終了して待受画面に戻ると、アラームが鳴りディスプレイに「通話料金が上限を超えました」と表示されます。ただし、FOMA端末を閉じて通話や通信を行っている場合や、FOMA端末を閉じて通話を終了した場合は、アラームは鳴りません。
- アラームは、音量設定の電話着信音量に従います。

❖ 上限通知アイコンを消去する〈上限通知アイコン消去〉

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 1 2 3 ▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

- 通知方法が「アラーム+アイコン表示」でも、通話料金自動リセット設定が「ON」のときに通話料金の上限を超える通話を1日0時に行うと、アラームは鳴らずメッセージも表示されません。

電卓

電卓として使う

- 8桁以内で入力します。
- スケジュール帳やテキストメモの入力欄から電卓を利用できます。→P354

1 MENU［アクセサリー］4 ▶計算する

電卓画面にはキーに割り当てられている操作が表示されます。
入力した数字を1桁削除する：✉
数値をコピー／貼り付ける：MENU▶1 または 2
- コピーした数値は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

✔お知らせ

- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

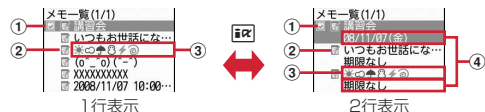
テキストメモ

メモを作成する

1 MENU［アクセサリー］2 ▶📷▶各項目を設定▶📷

種別アイコン：種別アイコンを選択します。
メモ内容：全角1000（半角2000）文字以内で入力します。
期限：期限を設定するときは「あり」を選択し、日付を入力します。

◆メモを確認する

1 MENU［アクセサリー］2

① **状態マーク**
メモの期限の状態（完了／未完了）を表示
☑(上部が緑)：未完了（期限の2日以上前）
☑(上部が黄)：未完了（期限の1日前または当日）
☑(上部が赤)：未完了（期限超過）
☑(チェックが赤)：完了　表示なし：期限なし

② **種別アイコン**

③ **メモ内容**

④ **期限**

2 **メモを選択**

テキストメモ参照画面が表示されます。

- メモ内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。

変更する：メモにカーソル▶MENU 2▶各項目を設定▶📷

削除する：メモにカーソル▶MENU 3▶1〜4▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたメモが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。
- アイコン別表示中や完了状態別表示中は、表示されているメモだけが削除の対象となります。

種別アイコンを指定して表示する〈アイコン別表示〉：MENU 4 2▶種別アイコンを選択

メモ一覧の右上に選択した種別アイコンが表示され、種別アイコンのメモのみ表示されます。

- 元の表示に戻す場合は、MENU 4 1を押します。

完了／未完了を変更する：期限を設定しているメモにカーソル▶✉

完了／未完了を指定して表示する〈完了状態別表示〉：MENU 5▶2または3

- 元の表示に戻す場合は、MENU 5 1を押します。

並べ替える：MENU 6▶各項目を設定▶📷

メールを作成する：メモにカーソル▶MENU 7

スケジュール帳に登録する：メモにカーソル▶MENU 8

スケジュール帳の詳細欄にメモ内容が入力された画面が表示されます。開始日時と終了日時の日付は、メモの期限の設定によって異なります。
以降の操作→P327「スケジュールを登録する」操作2以降

❖Date To形式からスケジュールを登録する

Date To形式とは、次の文字列で構成されます。

〈例〉2008/11/7□17:00□〜□2008/11/7□18:00□講習会 ↵

開始年月日　開始時刻　終了年月日　終了時刻　内容
改行までが内容とみなされます。

※「〜」と内容以外はすべて半角です。□は半角空白を示します。

- 年は西暦、時刻は24時間制です。月、日、時、分が1桁のときは前に0を付ける必要はありません。
- 定型文を利用すると簡単にDate To形式を入力できます。→P352

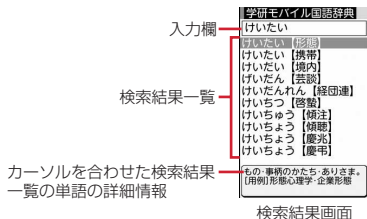
1 **MENU［アクセサリー］2▶メモを選択▶Date To形式の記述を選択**

スケジュールの新規作成画面が表示されます。
以降の操作→P327「スケジュールを登録する」操作2以降

辞典

辞典を利用する

1 MENU［アクセサリー］5▶1～3▶入力欄に単語を入力（全角20（半角40）文字以内）

●を押して文字入力画面から切り替わった時点で検索結果画面が表示されます。

検索結果画面

- 検索結果一覧にカーソルがあるとき単語を入力するには📷を押します。

「今日は何の日」「今日の歴史」を見る：MENU［アクセサリー］5▶4または5

- 別の日を見る場合は、指定日欄に日付を入力して「指定日表示」を選択します。
- MENU／📷を押すと前日／翌日を切り替えられます。

2 検索結果一覧から調べたい単語を選択

詳細画面（単語の意味）が表示されます。

- 詳細画面でMENU1を押すと、内容をコピーできます。
- 検索結果画面または詳細画面でMENU2を押し1～3を押すと、検索した単語を別の辞典で検索できます。
- 単語によっては正しく検索できない場合があります。

◆ 検索履歴を利用する

1 MENU［アクセサリー］5▶1～3▶MENU1

検索履歴が表示されます。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

2 単語を選択

検索結果画面が表示されます。

削除する：単語にカーソル▶MENU▶1～3▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた単語が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶📷が、全件削除では認証操作が必要です。

ウォーキングチェッカー

歩数をカウントする

カウントした歩数や歩いた距離、消費カロリーや脂肪燃焼量を確認できます。また、有酸素運動（呼吸によって取り入れられる酸素を効果的に使い、全身持久力を高めつつ体脂肪を効果的に燃やす運動）の目安となる「いきいき歩行」も計測されます。

- 次の場合は歩数のカウントを行いません。
  - 電源が切れているとき
  - 省電力モードが「ON」でフル省電力のとき
  - ウォーキングチェッカー設定が「利用しない」のとき
  - バイブレータの振動中
  - ソフトウェア更新中
- いきいき歩行は、毎分60歩以上のペースで連続して3分以上歩いたとき自動的に計測されます。また、4分以内の休息は継続したものとします。
- 歩数や消費カロリーなどの情報を表示中（→P340）に📷を押すと、いきいき歩行の説明を表示できます。
- 歩数や消費カロリーなどの情報をｉアプリのウォーキングチェッカーで利用できます。→P253

❖ウォーキングチェッカーご使用時の注意事項

歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して※毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。

※ キャリングケース（別売）に入れ、腰のベルトなどに装着してください。かばんに入れるときは、固定できるポケットや仕切りの中に入れてください。

- 次の場合は歩数を正確にカウントしないことがあります。
  - FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、FOMA端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
  - FOMA端末の開閉やキー操作などを行ったり、ポケットなどから取り出したりしたときに、FOMA端末へ振動や揺れが加わっているとき

◆ ウォーキングチェッカーを設定する

1 MENU［LifeKit］8 2 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

ウォーキングチェッカーを設定すると、待受画面に🚶が表示され、背面ディスプレイに当日カウント中の歩数と歩行距離が表示されます。→P34

✔お知らせ

- 日付時刻を設定していないときは、歩数と歩行距離が累積されます（表示できません）。
- 歩き始めは、誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、表示が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が一度に表示されます。
- カウントした歩数は約10分ごとに保存されます。FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数が消失してしまう場合があります。

◆ 歩数や消費カロリーなどの情報を表示する

FOMA端末の時刻で午前0時0分になると、1日分の歩数などの情報が履歴として自動的に保存されます。当日を含めて過去32日分、確認できます。

- 日付時刻を設定していないときは、履歴は保存されません。
- 表示される数値は、あくまでも目安としてご活用ください。

1 ● ▶ 🚶を選択

2 🔘で履歴を確認

歩数履歴：1日分の歩数（最大999999歩）
歩行距離：歩数と歩幅から算出した歩行距離（最大9999.9km）※1
消費カロリー：歩数、歩行時間、設定した体重から算出した消費カロリー（最大65535kcal）※2
脂肪燃焼量：歩行によって燃焼された脂肪量（最大9362g）
いきいき歩数：いきいき歩行の1日分の歩数（最大999999歩）
いきいき歩行時間：いきいき歩行の1日分の歩行時間（最大99時間59分）

※1 1分あたりの歩数により歩幅は補正されるため、設定した歩幅から算出した歩行距離とは異なる場合があります。

※2 1分間に歩いた距離が30m未満の場合は、カロリー計算は行われません。

履歴を削除する：MENU 1 ▶「はい」
カウント中の歩数と歩行距離も含め、履歴がすべて削除されます。

✔お知らせ

- 歩数、歩行距離、いきいき歩数、いきいき歩行時間は、最大値を超えると0に戻って表示されます。
- FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、歩数の履歴が消失してしまう場合があります。また、歩数の履歴は、電池パックを外した状態や空の状態でも約1か月は保持されますが、それ以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、歩数の履歴が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

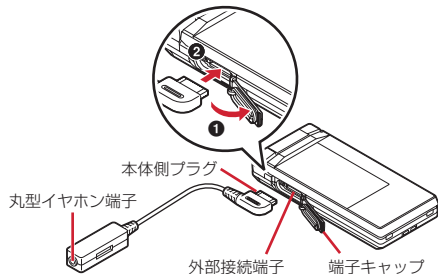
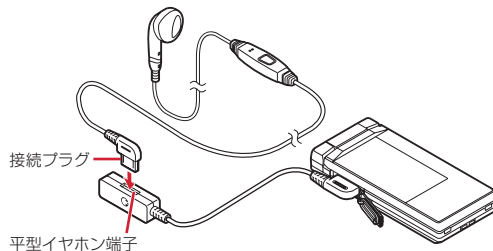
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

外部接続端子に別売りの外部接続端子用イヤホン変換アダプタ01を接続すると、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクを接続できます。スイッチを押して音声電話をかけたり、音声電話やテレビ電話を受けたりできます。

◆ スイッチ付イヤホンマイクを接続する

- マナーモード中に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、イヤホン切替設定に関わらずイヤホンから音が鳴ります。このとき、途中でイヤホンを抜くと、メロディは停止します。ｉアプリ、ワンセグ視聴、ミュージック、動画／ｉモーションなどは、消音で動作や再生を続けます。Music&Videoチャネルは再生の確認画面が表示されます。

■ 接続する

① FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、外部接続端子用イヤホン変換アダプタの本体側プラグを差し込む（❷）

② 平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを平型イヤホン端子に差し込む
- 丸型イヤホン端子には直径3.5mmのイヤホンプラグを接続できます。
- イヤホン端子にマイク機能のないイヤホンを接続すると、送話することができません。

■ 取り外す

① 外部接続端子用イヤホン変換アダプタから平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを引き抜く

② FOMA端末から外部接続端子用イヤホン変換アダプタの本体側プラグを引き抜く

◆ イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する〈イヤホンスイッチ発信設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチで、音声電話を発信できるように設定します。

1 MENU［設定／NWサービス］5 4 3 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

イヤホンスイッチ発信設定：「音声発信」にすると、音声電話を発信できます。

電話帳メモリ番号：イヤホンスイッチ発信で電話をかける相手をFOMA端末電話帳から検索して設定します。

◆ スイッチを押して電話をかける／受ける〈イヤホンスイッチ発信／応答〉

〈例〉音声電話をかける

1 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す ▶ 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

〈例〉電話を受ける

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す▶通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

✔お知らせ

- イヤホンスイッチ発信設定の電話帳メモリ番号に複数の電話番号を登録している場合は、1件目に登録している電話番号に音声電話がかかります。
- イヤホンスイッチ発信設定の電話帳メモリ番号の電話帳を削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳で上書きしたりすると、イヤホンスイッチ発信設定は解除されます。
- キャッチホンが開始の場合は、通話中の音声電話着信時に、スイッチを1秒以上押して出られます。キャッチホン中は、スイッチを1秒以上押すたびに通話相手を切り替えられます。

〈平型スイッチ付イヤホンマイクを接続して通話中にFOMA端末を閉じた場合〉

- 通話中クローズ設定に関わらず通話を継続
- テレビ電話で相手にカメラ映像を送信中の場合は、代替画像を表示

◆ イヤホンをつないで自動で電話を受ける〈オート着信設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに電話の着信があった場合、自動的に応答できます。

- 通話中の着信に対しては動作しません。
- 公共モード中は動作しません。

1 MENU［設定／NWサービス］5 4 2▶各項目を設定▶📷

自動着信機能：「オート着信あり」にすると、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときに自動的に応答します。

自動着信機能時間（秒）：自動的に応答するまでの時間を0～120秒の範囲で設定します。

✔お知らせ

- 自動着信機能時間を呼出動作開始時間設定の時間以内にすると、電話帳に登録していない相手からの電話着信時、本機能は動作しません。

◆ イヤホンからのみ着信音を鳴らす〈イヤホン切替設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンからのみ鳴らすかを設定します。

- GPS測位鳴動音、アラーム音などの通知音も本設定に従って動作します。

1 MENU［設定／NWサービス］5 4 1▶1～3

- 「イヤホン（20秒後通知有）」にすると、イヤホンからのみ着信音が鳴った後、約20秒経過するとスピーカーからも着信音が鳴ります。

Bluetooth

Bluetoothを利用する

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR※1

■ 対応プロファイル※2（対応サービス）

DUN：Dial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）

OPP：Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）

HSP：Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）

HFP：Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）

A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）

AVRCP：Audio/Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

❖Bluetooth機能でできること

■ ワイヤレスでダイヤルアップ接続する（DUN）

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信ができます。
[MENU]［LifeKit］[✂][5]を押して、Bluetooth機器からの接続を待ち、登録を行います。詳細は、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」の「Bluetooth接続を準備する」をご覧ください。

■ Bluetooth機器に電話帳を送信する（OPP）

Bluetooth機器とFOMA端末をBluetooth接続して、電話帳のサブメニューから電話帳を送信できます。

■ ヘッドセット／ハンズフリーで通話する（HSP／HFP）

Bluetoothヘッドセット F01（別売）などとFOMA端末をBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。また、カーナビなどのBluetooth機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリーで通話できます。

■ オーディオ機器で再生する（A2DP／AVRCP）

ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）やBluetooth対応オーディオ機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth接続すると、ワンセグの音声や音楽などをワイヤレスで再生できます。ただし、ワンセグやビデオの音声に関しては、対応する機器が限られます。

■ Bluetooth機器から出力される音

- 次の動作以外については非対応です。また、Bluetooth機器によっては動作しない場合があります。

	接続しているサービス	HSP	HFP	A2DP
出力される音	音声電話発信音	○	○	×
	電話の着信音、呼出音、相手の音声	○	○	×
	電話時の相手の伝言メモの音声	×	○	×
	ワンセグの音声、ビデオ再生音	×	×	○
	ミュージックプレーヤー再生音※	×	×	○
	ｉモーション・PC動画・Music&Videoチャネル再生音、プッシュトーク・メール着信音、目覚ましなどのアラーム通知音	×	×	×

※ ミュージックプレーヤーの動作設定のサラウンドとイコライザの設定は再生音に反映されません。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。FOMA端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルでは、テレビ画面が乱れることがあります）。
- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、FOMA端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。

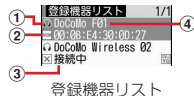
場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

◆ Bluetooth機器を登録する〈新規機器登録〉

- 登録するBluetooth機器をあらかじめ登録待受状態にしてください。

1 MENU ［LifeKit］ ✕ 3 ▶ ●

FOMA端末周辺にある登録待受状態のBluetooth機器を検索（サーチ）します。見つかった件数が表示され、登録機器リストが表示されます。

登録機器リスト

① **機器種別**
　：パソコン　：電話　：LANアクセスポイント
　：オーディオ　：周辺機器　：画像処理　：その他

② **サーチ結果**
　：登録済み機器あり　：登録済み機器なし
　：未登録機器あり

③ **サービスの接続状態／Bluetoothアドレス（未登録機器の場合）**
　ミュージックプレーヤーを起動したとき自動で接続される機器は右側に が表示されます。

④ **機器名称／Bluetoothアドレス（機器名称がない場合）**
　保護されている場合は が表示されます。

2 登録するBluetooth機器を選択▶4～16桁のBluetoothパスキーを入力

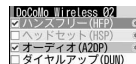
登録完了画面が表示され、約2秒後にサービス選択画面（→P344）が表示されます。続けてBluetooth接続する場合は、「FOMA端末とBluetooth機器を接続する」の操作3に進みます。

- 最大登録件数を超える場合は、上書きの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、保護されていない通信日時の古いBluetooth機器から上書きされます。
- Bluetoothパスキーについては、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください（ワイヤレスイヤホンセット 02の登録時は、Bluetoothパスキーの入力は不要です）。
- Bluetooth機器の名称が全角16（半角32）文字を超える場合は、超過分が削除されて機器名称が登録されます。

◆ FOMA端末とBluetooth機器を接続する

登録済みのBluetooth機器と接続します。

1 MENU ［LifeKit］ ✕ 2

2 接続するBluetooth機器を選択

サービス選択画面

：接続中　：接続待機中　：未接続（サービスあり）
表示なし：未接続（サービスなし）

- すべてのサービスが接続中以外または未接続以外の場合は、接続／停止画面が表示されます。1（停止するときは2）を押します。

Bluetooth機器をサーチする：📷▶●

- 未登録のBluetooth機器を見つけた場合は、Bluetooth機器を選択すると登録できます。
- サーチ実施後に登録済みのBluetooth機器が見つかり選択した場合は、上書きの確認画面が表示されます。

保護／解除する：Bluetooth機器にカーソル▶MENU 1 ▶ 1 または 2
登録機器情報を表示する：Bluetooth機器にカーソル▶MENU 2

- 登録機器情報画面で📷を押すと機器名称を変更できます。全角16（半角32）文字以内で入力し、📷を押します。

登録機器を削除する：Bluetooth機器にカーソル▶MENU 3 ▶「はい」
接続を切断する：Bluetooth機器にカーソル▶MENU 4 ▶「はい」

3 接続するサービスを選択▶📷

が表示され、Bluetooth機器との接続が成功するとディスプレイ上部の（青）が点滅します。一定時間Bluetooth機器との通信がないと、省電力状態となり、（グレー）に変わります。

接続を停止する：サービスを選択▶📷
サービスを再取得する：iα

✔お知らせ

- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がなかったりした場合には、処理に時間がかかることがあります。
- ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービスで接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源を切った場合も、次回電源を入れたときに接続待機中になります。
- 登録機器リストのサービスの接続状態に「再登録してください」と表示された場合は、Bluetooth機器を選択し、「はい」を選択して再登録を行ってください。
- Bluetooth機器を登録していないときに操作1を行うと、サーチ確認画面が表示されます。「はい」を選択し、Bluetooth機器を登録待受状態にして●を押すと、サーチが開始されます。
- ダイヤルアップ通信サービスを選択しても、相手の機器にサービスがなく接続できない場合があります。

◆ 接続待機を開始／解除する

登録済みのBluetooth機器からの接続を待っている状態にしたり、解除したりします。

1 MENU［LifeKit］✱4▶1または2▶サービスを選択▶📷

✔お知らせ

- Bluetooth機器が接続待機中の場合は接続が開始されません。FOMA端末から接続を行ってください。
- 複数のBluetooth機器を登録しているとき接続待機にすると、接続したいBluetooth機器以外にも接続することがあります。接続された機器を必ず確認してください。

◆ Bluetoothの電源を入れる／切る〈Bluetoothオン／オフ〉

「オン」にすると（青）が表示され、登録済みのBluetooth機器のサービスが接続待機の状態になります。「オフ」にするとBluetooth機能が終了します。

1 MENU［LifeKit］✱1▶「はい」

- 背面ディスプレイのメニューからも操作できます。→P35

◆ Bluetooth機器に電話帳を送信する

1 電話帳ボタン▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶MENU8▶5または6

2 接続するBluetooth機器を選択▶「はい」

- 「Bluetooth全件送信」を選択した場合は、Bluetooth機器を選択した後、認証操作を行います。また、Bluetooth設定の全件転送パスワード設定が「パスワード有り」の場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
- データ送信中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になります。

◆ Bluetooth機器を使って通話する

FOMA端末とBluetooth機器をヘッドセットサービス（HSP）やハンズフリーサービス（HFP）で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

- ヘッドセットサービスで発信する場合は、イヤホンスイッチ発信設定に従います。

1 Bluetooth機器をヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

Bluetooth機器の接続方法→P344

2 Bluetooth機器で電話をかける／受ける

- ヘッドセットサービスで通信中はが、ハンズフリーサービスで通信中はが表示されます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末での通話とBluetoothでの通話を切り替える：通話中に（1秒以上）

- 発着信中、通話／応答保留中、伝言メモ／音声メモ録音中、動画メモ録画中でも同様に操作できます。
- ヘッドセットサービスで接続してFOMA端末で通話している場合は、Bluetooth機器側からのみ切り替えられます。
- Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

✔お知らせ

- Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、FOMA端末でマナーモードや電話着信音量が「Silent」のときでも、Bluetooth機器から着信音が鳴ります。このとき、着信音はBluetooth設定の着信音送出設定に従います。
- Bluetooth機器で通話中は、Bluetooth機器で受話音量を調整してください。

〈Bluetooth機器で通話中の場合〉

- 通話中クローズ設定に関わらず通話を継続します。
- FOMA端末を閉じた状態で、Bluetooth機器からFOMA端末に通話を切り替えると、マイクミュートで継続します。
- Bluetooth機器の接続を停止すると、通話は切断されます。

◆ Bluetooth機器を使ってワンセグの音声や音楽などを再生する

FOMA端末とBluetooth機器をオーディオサービス（A2DP）で接続すると、ワンセグの音声やミュージックプレーヤーの音楽などをBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器をオーディオサービスで接続する

Bluetooth機器の接続方法→P344

2 ワンセグを視聴する、または音楽を再生する

- ワンセグの音声は、ワンセグのユーザ設定の音声設定に従って出力されます。
- Bluetooth機器への音声出力確認画面が表示されたときには、「はい」または「はい（以後非表示）」を選択します。「はい（以後非表示）」にすると、ワンセグのユーザ設定の音声設定のBluetooth音声出力確認が「表示しない」になります。「いいえ」にすると、FOMA端末のスピーカーから出力されます。
- Bluetooth設定のMUSIC Player自動起動を「ON」にすると、Bluetooth機器からオーディオサービス（A2DP）で接続したときミュージックプレーヤーが自動的に起動し、Bluetooth機器から再生が行われます。このとき、前回終了時に選択されていた曲から再生されます。前回の情報がないときは、「全曲」フォルダ内の最初の曲から再生されます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

✔お知らせ

- ワンセグの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器で再生中は、Bluetooth機器で音量を調整してください。
- ミュージックプレーヤーをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetoothのリモコン操作は有効です。
- Bluetooth機器が接続されていない場合は、ミュージックプレーヤーを起動すると前回ミュージックプレーヤー使用時に接続していたBluetooth機器との接続を行います。
- 平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中は、Bluetooth機器で再生できません。
- Bluetooth機器で再生中に、音声や音楽が停止したりミュージックプレーヤーが終了したりした場合は、次のことが考えられます。
  - Bluetooth機器との接続が切断されたとき
  - 発着信や電話帳転送が行われたとき
  - メールやメッセージR/F、GPSの位置提供要求を受信したとき
  - プッシュトークの着信があったとき
  - 目覚まし、スケジュール、ワンセグの視聴予約などのアラームが鳴ったとき

◆ 接続中のBluetooth機器を確認する〈接続機器表示〉

1 MENU [LifeKit] ✱ 7

◆ Bluetoothのマルチサービス

同時に接続できる組み合わせは次のとおりです。

- FOMA端末からダイヤルアップ通信サービス（DUN）で接続できません。
- 外部機器からオブジェクトプッシュサービス（OPP）で接続できません。

○：接続可・同時利用可　△：接続可・同時利用不可　×：接続不可・操作不可

接続するサービス		接続中のサービス				
		DUN	OPP	HSP	HFP	A2DP
DUN	外部機器	—	△※1	○	○	△※2
OPP	FOMA端末	△※1	—	△※1	△※1	△※1
HSP	FOMA端末	○	×	—	×	△※3、4
	外部機器	○	△※1	—	×	△※3、4
HFP	FOMA端末	○	×	×	—	△※4、5
	外部機器	○	△※1	×	—	△※4、5
A2DP	FOMA端末	△※2	×	△※3、4	△※4、5	—
	外部機器	△※2	△※1	△※3、4	△※4、5	—

※1 オブジェクトプッシュサービス（OPP）優先
※2 ダイヤルアップ通信サービス（DUN）優先
※3 ヘッドセットサービス（HSP）優先
※4 異なるBluetooth機器を接続する場合は接続不可
※5 ハンズフリーサービス（HFP）優先

◆ Bluetoothの設定をする〈Bluetooth設定〉

サーチ時間：Bluetooth機器を検索する時間を設定します。
自局情報：FOMA端末のBluetooth機能の情報を表示します。
セキュリティ設定：Bluetooth機能で電話帳を送信するときに認証操作を行うか、行う場合はデータを暗号化するかを設定します。

- オブジェクトプッシュ以外のサービスが起動中のときは、本設定に関わらず認証操作有り、暗号化有りで送信が行われます。

着信音送出設定：接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に、電話の着信音を送るかを設定します。

- 「送る」にすると、ヘッドセットサービスで接続中はイヤホン切替設定に従って動作します。ハンズフリーサービスで接続中はBluetooth機器からFOMA端末で設定した着信音が鳴ります。

全件転送パスワード設定：電話帳を全件送信するとき認証パスワードの入力を行うかを設定します。
MUSIC Player自動起動：オーディオ機器からの接続時に、ミュージックプレーヤーを自動起動するかを設定します。

- ミュージックプレーヤーの動作設定のBluetooth接続自動起動にも反映されます。

1 MENU［LifeKit］✂ 6

2 目的の操作を行う

サーチ時間を設定する：1 ▶ サーチ時間を入力（1～20秒）▶ 📷
自局情報を表示する：2

- 機器名称を変更するには 📷 ▶ 機器名称を入力（全角16（半角32）文字以内）▶ 📷 を押します。絵文字を入力すると、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

セキュリティ設定を行う：3 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷
着信音送出設定を行う：4 ▶ 1 または 2
全件転送パスワード設定を行う：5 ▶ 1 または 2
MUSIC Player自動起動を設定する：6 ▶ 1 または 2

設定状況確認

各種機能の設定状況を確認する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][5][4]▶[Ⓒ]で設定状況を確認

✔**お知らせ**

- パーソナルデータロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。
- プライバシーモード中（マイピクチャまたはｉモーションが「認証後に表示」のとき）は、認証操作が必要です。

文字入力

区点コード一覧の詳細については付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」（PDF版）をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

文字を入力する

文字を入力する方法を説明します。

- 文字の入力方式には、かな入力方式と2タッチ入力方式があります。→P351、357
- 入力できる文字の種類には、全角文字（ひらがな／漢字／カタカナ／英字／数字／記号／絵文字）、半角文字（カタカナ／英字／数字／記号）があります。全角の文字や空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点と半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。
- 本書では文字入力の最後に●を押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

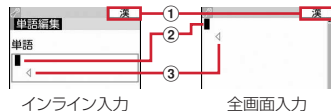
◆ 文字入力画面の見かた

文字の入力画面には、インライン入力と全画面入力の2種類があります。

インライン入力：画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて、文字を直接入力します。

全画面入力：入力欄を選択すると、入力エリアが全画面表示されます。

- 貼り付けや定型文入力などで入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。

インライン入力　　全画面入力

① 入力モード

② カーソル（点滅）

文字が入力または挿入される位置を示します。

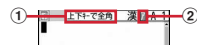
③ 入力可能な範囲

これ以上入力できないことを示すマークです。

- 日付・時刻の入力欄などでは、[※]を押しても数字が入力できる場合があります。

◆ 入力モードを切り替える

1 文字入力画面で[iα]

- 押すたびに入力モードがｱ（半角カタカナ）→A（半角英字）→1（半角数字）→漢（ひらがな／漢字）の順に切り替わります。

半角カタカナ

① [※]で全角／半角の切り替えができることを示します。

② カーソル位置の色が変わります。

- [✉]を押しても、入力モードを切り替えられます。

2 利用する切り替え項目にカーソル▶●

❖切り替え項目と入力モード

切り替え項目		入力モード	
かな入力方式	2タッチ入力方式		
漢	漢	ひらがな／漢字	漢
ｱ	ｱ	半角カタカナ	半ｱ
A	Aa	半角英字	半A
	A※		
1	1※	半角数字	半数
ア	ア	全角カタカナ	全ア
Ａ	Ａ	全角英字	全Ａ
	Ａ※		
１	１※	全角数字	全数

※ 2タッチ入力方式にしていても、かな入力方式での入力操作になります。

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードは異なります。
- 単語登録の読みを入力するときは全あが表示されます。

かな入力方式

かな入力方式で文字を入力する

かな入力方式では、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。

- 文字の割り当て一覧→P402
- 文字を入力して約1秒経過すると、カーソルは右に移動します。移動するまでの秒数は入力設定で変更できます。→P357

◆ひらがな／漢字で文字を入力する

〈例〉電話帳の登録で「六本木」と入力する

1 [MENU]［電話帳／履歴］[2]▶「ろっぽんぎ」と入力▶[カメラ]

「ろ」：[9]を5回
「っ」：[4]を3回▶[＊]
「ぽ」：[6]を5回▶[＊]を2回
「ん」：[0]を3回
「ぎ」：[2]を2回▶[＊]

- 入力中は次の操作ができます。
  [戻]：1つ前の文字に戻す
  （例：ぉ→ぇ→ぅ→ぃ→ぁ→お→え→…）
  [CLR]：文字の取り消し
  [＊]：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え、改行（入力確定後のみ）
  （例：ほ→ぼ→ぽ→ほ→…、つ→っ→づ→つ→…）
- 候補選択リストが表示されていないときは、[下]を押しても変換できます。
- [CLR]を押すと、変換前の状態に戻ります。
- 変換しないときは、[カメラ]を押さずに操作2に進みます。

変換候補一覧を表示する：
[カメラ]を押しても目的の文字が表示されないときは、[下]を押すか、もう一度[カメラ]を押すと変換候補一覧が表示されます。

カナ英数候補一覧を表示する：
ひらがなを入力中に[MENU]を押すと、カナ英数、日付、時刻などが一覧で表示されます。

- 複数ページあるときは、[iα]または[メール]を押すとページが切り替わります。各候補に割り当てられているキーを押すか、[上下]で各候補を選択します。

2 [●]▶「閉じる」

文字を挿入する：
[方向]を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

文字を削除する：

- カーソルが入力文字の途中にある場合
  （例：ドコモ太郎）
  - [CLR]を押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
  - [CLR]を1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合
  （例：ドコモ太郎■）
  - [CLR]を押すと、カーソルの左の1文字が削除されます。
  - [CLR]を1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

改行する：
改行する位置にカーソルを移動し、[＊]を押します。カーソルが入力文字の末尾にある場合は、[下]を押しても改行できます。

- 入力欄によっては改行できない場合があります。

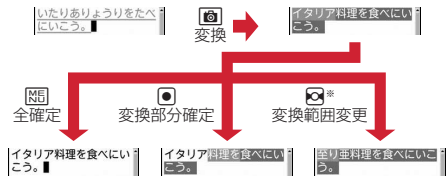
文字列を1つ前の状態に戻す：
[戻]を1秒以上押します。

✔お知らせ

- 濁点や半濁点を入力してから[戻]を押しても、1つ前の文字には戻せません。
- 入力中に[右]を押してカーソルを右に移動した場合は、次の操作はできません。
  [＊]：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え
  [戻]：1つ前の文字に戻す
- ひらがなで読みを入力して、英字、ギリシャ文字などに変換できます。→P408

❖複数の文節を一括変換する

- 全角24文字以内で変換します。

〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力する

※ 画面は[◎]の場合の例です。

◆ 入力予測機能を使って文字を入力する

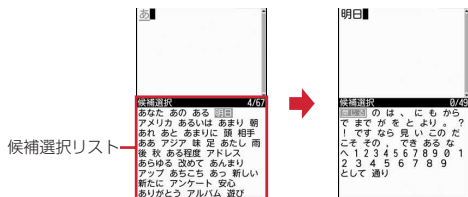
入力予測機能は、ひらがな／漢字モードで文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する単語の候補選択リストが表示される機能です。候補選択リストには、一度入力した単語が自動的に変換学習データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 変換学習データの他に、次の単語が表示されます。
  - 標準搭載の単語、単語登録した単語
  - ダウンロード辞書から選択した単語
- 入力予測機能は、全画面入力のひらがな／漢字モードでのみ利用できます。

〈例〉「明日」を選択して入力する

1 文字入力画面で「あ」を入力

- 候補選択リストが表示されます。入力文字が増えるたびに候補が変わります。

2 [Q]▶候補を選択▶[●]▶「閉じる」

- 複数ページあるときは、[iα]または[✉]を押すとページが切り替わります。

❖変換学習リセットをする

候補選択リストに変換学習データとして登録されたデータを、リセットしてお買い上げ時の状態に戻します。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][2][3]▶認証操作▶「はい」

便利な入力機能を使って文字を入力する

文字入力画面のサブメニューから絵文字や記号、定型文などを入力したり、データを引用したりできます。

- 文字を確定する前やデコメール®の装飾アイコン表示中では、サブメニューは表示されません。インライン入力画面の場合は、入力を確定するとサブメニューが選択できます。

◆ 定型文を入力する

1 文字入力画面で[MENU][4][1]▶[1]～[8]

- 定型文を登録すると、[9]が選択できます。
- メール本文の入力画面では[MENU][5][1]を押します。

2 定型文を選択

◆ 絵文字・記号を入力する

- 絵文字一覧→P403

〈例〉絵文字Dを入力する

1 メール本文または署名編集の入力画面で[カメラ]

① **入力履歴欄**
絵文字一覧の絵文字D、絵文字1と絵文字2、記号一覧の全角記号と半角記号の最初のページに表示されます。

② **絵文字・記号一覧**
記号は入力可能なもののみ表示されます。

- [カメラ]を押すたびに絵文字一覧が絵文字D→絵文字1→絵文字2に切り替わります。絵文字Dの絵文字一覧には「デコメ絵文字」フォルダに保存されている画像が表示されます。選択するとデコメ®絵文字が入力されます。ただし、メール本文または署名編集の入力画面以外では[カメラ]を押すたびに絵文字1と絵文字2にのみ切り替えられます。
デコメ®絵文字のダウンロード方法→P177
- [MENU]を押すと、記号が入力できます。押すたびに、全角記号と半角記号が切り替わります。
- 複数ページあるときは、[iα]または[メール]を押すとページが切り替わります。

2 絵文字を選択

[CLR]を押して、絵文字一覧を閉じます。

- 入力履歴欄には、最近入力したものから順に、絵文字または記号が最大10文字表示され、文字を選択できます。

✔お知らせ

- 絵文字や記号の読みを入力しても変換できます。→P403、408
- 絵文字や記号は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 文字入力画面のサブメニューから「絵文字・記号・顔文字」→「絵文字」または「記号」を選択しても入力できます。このとき、[カメラ]を押すと入力履歴欄の上に連続入力欄が表示され、絵文字は10文字、記号は全角10（半角20）文字連続して選択できます。ただし、絵文字Dは連続入力欄の表示はされません。
- 「デコメ絵文字」フォルダに画像が保存されていない場合、メール本文または署名編集の入力画面で絵文字Dを表示したときは、絵文字一覧が空白で表示されます。
- メール本文または署名編集の入力画面で[MENU]を押し、「デコレーション」→「画像挿入」→「本体」または「microSD」を選択しても、デコメ®絵文字が挿入できます。
- 文字入力画面のサブメニューから「絵文字・記号・顔文字」→「記号」を選択したときは、左側のカッコ（例：｛）を選択すると、右側のカッコ（例：｝）も自動的に入力されます。

◆ 顔文字を入力する

- 顔文字一覧→P411

1 文字入力画面で[MENU][5][3]▶[2]～[9]

- メール本文の入力画面では[MENU][6][3]を押します。
- 顔文字種別一覧から入力した顔文字は、[1]を押すと最近入力したものから順に最大18件まで入力履歴一覧で表示されます。

2 顔文字を選択

◆ データを引用して文字を入力する

パスワードマネージャーに登録済みのパスワード、電話帳、プロフィール情報の登録内容、電卓の計算結果、バーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力できます。

- 文字入力画面と引用データが同じ機能のとき（電話帳の文字入力画面における電話帳など）には引用できません。

❖パスワードの内容を引用する

1 文字入力画面で[MENU][4][3]▶認証操作

- メール本文の入力画面では[MENU][5][3]を押します。

2 引用するパスワードデータを選択

❖電話帳の内容を引用する

1 文字入力画面で[MENU][4][4]▶引用する電話帳を選択

- メール本文の入力画面では[MENU][5][4]を押します。

2 引用する内容を選択

❖プロフィール情報の内容を引用する

1 文字入力画面で[MENU][4][5]▶認証操作

- メール本文の入力画面では[MENU][5][5]を押します。

2 引用するプロフィール情報を選択

❖電卓の計算結果を引用する

1 テキストメモまたはスケジュール帳の文字入力画面で[MENU][4][6]▶計算する▶[●]

❖バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

1 URL入力画面で[MENU][4][6]▶コードを読み取る▶[●]

- ｉモードまたはフルブラウザ中の文字入力画面でも引用できます。

定型文登録

定型文を登録する

- 最大50件登録できます。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][2][4][9]▶「〈新しい定型文〉」

登録した定型文を削除する：定型文にカーソル▶[MENU]▶「はい」

- 登録済みの定型文を確認するときは、確認する定型文にカーソルを合わせて[カメラ]を押します。[●]を押すと編集できます。

2 定型文を入力（全角64（半角128）文字以内）▶[カメラ]

定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

- 登録済みの定型文を編集したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、登録を中止するときは「いいえ」を選択します。

❖文字入力中に登録する

1 文字入力画面で[MENU][6][2]

- メール本文の入力画面では[MENU][7][2]を押します。

2 開始位置を選択

全文を選択する：[MENU]▶[●]▶操作4に進む

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[メール]を押します。操作4に進みます。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

開始位置から文頭までを選択する：[MENU]▶[●]
開始位置から文末までを選択する：[カメラ]▶[●]

4 [カメラ]

✔お知らせ

- 選択した範囲の文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
  空白のみ：定型文として登録不可
  文字列の前後に空白：文字列のみ有効
  文字と文字の間に空白：空白も有効
- 定型文が既に50件登録されているときに新たに登録するときは、一覧から登録データを削除するか登録済みの定型文を編集してください。

文字をコピー／切り取りして貼り付ける

- コピーまたは切り取った文字は、最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

◆文字をコピー／切り取りする

1 文字入力画面で[MENU]▶[1]または[2]

- メール本文の入力画面では[MENU][3][1]を押すとコピーし、[MENU][3][2]を押すと切り取ります。

2 開始位置を選択

全文を選択する：[MENU]▶[●]

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[メール]を押します。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字がコピーまたは切り取られます。

開始位置から文頭までを選択する：[MENU]▶[●]

開始位置から文末までを選択する：[📷]▶[●]

指定した文字を検索する：終了位置にカーソル▶[i]

クイック検索が起動します。

- メール本文の入力画面では操作できません。

◆ 文字を貼り付ける

- 入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、入力可能な文字数以降が消去された文章が貼り付けられます。

1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソル▶[MENU][3]

文字がカーソル位置に挿入されます。

- メール本文の入力画面では[MENU][4]を押します。

✔お知らせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレスの入力欄にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合、改行は空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コードで入力する

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

- 「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力する

1 文字入力画面で[MENU][4][2]▶4桁の区点コード（[2][3][4][0]）を入力▶[●]

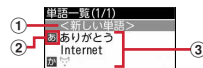
- メール本文の入力画面では[MENU][5][2]を押します。

単語登録

よく使う単語をあらかじめ登録する

よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、文字の変換のときに簡単に呼び出せます。

- 最大200件登録できます。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][2][1]▶「〈新しい単語〉」

① 単語を登録するときに選択

② 行の先頭を示すマーク

③ 登録済みの単語

読みの50音順に並びます。

- 登録済みの単語を確認するときは、単語にカーソルを合わせて[📷]を押します。[●]を押すと編集できます。
- 単語を削除するときは、単語にカーソルを合わせて[MENU]を押し、「削除」を選択します。登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」を選択します。

2 単語欄に登録する単語を入力（全角12（半角24）文字以内）

3 読み欄に読みを入力（ひらがな8文字以内）

- 次の文字を先頭に入力すると、登録できません。
  - を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、゛（濁点）、゜（半濁点）、ー（長音）
- 空白を入力すると、登録後に削除されます。

4 [📷]

- 登録済みの単語を編集したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を、元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

❖文字入力中に登録する

1 文字入力画面で [MENU] [6] [1]

- メール本文の入力画面では [MENU] [7] [1] を押します。

2 開始位置を選択

全文を選択する：[MENU] ▶ [●] ▶ 操作4に進む

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[✉] を押します。操作4に進みます。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字が単語入力欄に表示されます。

開始位置から文頭までを選択する：[MENU] ▶ [●]

開始位置から文末までを選択する：[📷] ▶ [●]

4 読みを入力 ▶ [📷]

✔お知らせ

- 単語が既に200件登録されているときに新たに登録するときは、一覧から単語を削除するか登録済みの単語を編集してください。
- 改行を含んだ文字列を選択した場合は、空白に置き換えられます。

パスワードマネージャー

パスワードをあらかじめ登録する

ユーザ名やパスワードなどの認証情報を登録しておくと、これらの入力が必要なサイトやホームページで、登録した内容を引用して入力できます。

- パスワードマネージャーを使用するには、指紋認証を有効にする必要があります。→P112
- 登録したパスワードの引用方法→P353
- 最大50件登録できます。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[4] [8] ▶ 認証操作

2 [📷]

削除する：パスワードにカーソル ▶ [MENU] ▶ [2]～[4] ▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたパスワードが削除されます。
- 選択削除では選択操作 ▶ [📷] が必要です。

順番を変更する：パスワードにカーソル ▶ [MENU] ▶ [5] または [6]

3 タイトル欄にタイトルを入力（全角12（半角24）文字以内）

4 パスワード欄にパスワードを入力（全角64（半角128）文字以内）

5 [📷]

❖文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択してパスワード登録できます。

1 文字入力画面で [MENU] [6] [3]

- メール本文の入力画面では [MENU] [7] [3] を押します。

2 開始位置を選択

全文を選択する：[MENU] ▶ [●] ▶ 操作4に進む

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[✉] を押して認証操作を行い、操作4に進みます。

3 終了位置を選択 ▶ 認証操作

選択した範囲の文字がパスワードの入力欄に表示されます。

開始位置から文頭までを選択する：[MENU] ▶ [●]

開始位置から文末までを選択する：[📷] ▶ [●]

4 タイトルを入力 ▶ [📷]

- パスワードは登録した順に表示されます。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロードした日本語変換用の辞書に登録されている単語を、変換候補として表示されるように設定します。

- 最大5件の辞書を同時に使用できます。
- 辞書のダウンロード方法→P178

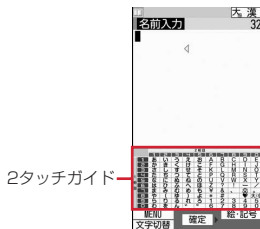
1 [MENU]［設定／NWサービス］[7] [2] [2] ▶ 使用する辞書を選択 ▶ [📷]

2タッチ入力方式

2タッチ入力方式で文字を入力する

- 入力方式を2タッチ入力に設定してください。→P357
- 2タッチガイドが「ON」の場合でも、インライン入力中やワンセグ表示中はガイドを表示しません。また、機能によっては、ガイドが表示されないことがあります。

〈例〉電話帳の登録で「六本木」と入力する

1 MENU［電話帳／履歴］2▶「ろっぽんぎ」と入力▶📷

2タッチガイド

「ろ」：9 5
「っ」：8 0 4 3
「ぽ」：8 0 6 5 0 5
「ん」：0 3
「ぎ」：2 2 0 4

- 入力中は次の操作ができます。
  8 0：大文字／小文字の切り替え
  ✱：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え、改行（入力確定後のみ）
- 入力欄によっては改行できない場合があります。
- 2タッチガイドの□部分は空白が入力されます。

2 ●▶「閉じる」

入力設定

入力方式を設定する

1 MENU［設定／NWサービス］7 2 5▶各項目を設定▶📷

入力方式：「かな入力」または「2タッチ入力」にするかを設定します。
入力予測：候補選択リストを表示するかを設定します。
自動カーソル：カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。
- 「OFF」に設定すると、カーソルは自動移動しません。
- 「遅い」に設定すると、約1.5秒経過するとカーソルが移動します。
- 「普通」に設定すると、約1秒経過するとカーソルが移動します。
- 「速い」に設定すると、約0.5秒経過するとカーソルが移動します。

2タッチガイド：2タッチガイドを表示するかを設定します。

❖文字入力中に設定を変更する

- 文字が確定される前やデコメール®の装飾アイコン表示中では変更できません。
- インライン入力中は、入力モードや入力方式の切り替え、自動カーソルの変更ができます。

1 文字入力画面でMENU 7▶1～3

- 2タッチ入力中は4が選択できます。
- メール本文の入力画面ではMENU 8を押します。
- 「かな入力」と「2タッチ入力」を切り替えるときは1を押します。
- 入力予測のON／OFFを切り替えるときは2を押します。
- 自動カーソルの移動時間を選択するときは3を押し、1～4を押して設定します。
- 2タッチガイド表示のON／OFFを切り替えるときは4を押します。

✔お知らせ

- 自動カーソルが「OFF」の場合、同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力した後◎を押してカーソルを右に移動させてから次の文字を入力します。たとえば、「あい」と入力するときは、1 ◎ 1 1の順に押します。

タッチ文字入力

ビューアスタイルで文字を入力する

ビューアスタイルでは、タッチ操作で文字を入力します。

- タッチ操作と基本操作について→P40、41
- インライン入力には対応していません。また、選択候補リストを表示するように設定していても表示しません。
- 次の文字入力画面でのみ有効です。
  - フルブラウザ画面、ユーザ名やパスワードなどの認証画面
  - 端末暗証番号入力画面

◆ フルブラウザ画面での入力

〈例〉文字入力欄に「六本木」と入力する

1 フルブラウザ画面の文字入力欄をタッチ

文字入力画面が表示されます。

タッチ文字入力ガイド
・入力する文字によって、画面が切り替わります。

入力モードを切り替える：
［文字切替］をタッチすると入力モード一覧が表示され、［かな英数］［英数］［数字］［カタカナ］［半角記号］［全角記号］のいずれかをタッチすると入力モードを切り替えられます。

2 文字ボタンをタッチ

- 文字ボタンはボタン内の上段文字のみ記載しています。

「ろ」：［ら9］▶［ろ］
「っ」：［た4］▶［っ］
「ぽ」：［は6］▶［゛゜］を2回▶［ぽ］
「ん」：［わ0］▶［ん］
「ぎ」：［か2］▶［゛゜］▶［ぎ］

- 入力中は次の操作ができます。
  ［全角半角］：全角／半角の切り替え
  ［大/小］：大文字／小文字の切り替え
  ［戻る⮌］：各入力モードの1階層目の文字入力画面に戻す
  ［前ページ⬅］／［次ページ➡］：前後の記号一覧を表示

3 ［変換］をタッチ

- ［▲］または［▼］をタッチしても変換できます。
- ［クリア］をタッチ、またはを押すと、変換前の状態に戻ります。
- 変換しないときは、［変換］をタッチせずに操作4に進みます。

変換候補一覧を表示する：
［変換］をタッチしても目的の文字が表示されないときは、［▲］または［▼］をタッチするか、もう一度［変換］をタッチすると変換候補一覧が表示されます。

- 複数ページあるときは、画面上で左または右にすばやくスライドするとページが切り替わります。

4 ［確定］をタッチ

文字を挿入する：
［▲］［▼］［◀］［▶］のいずれかをタッチして挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

文字を削除する：
［クリア］をタッチ、またはを押すとカーソル位置の1文字が削除されます。カーソルが入力文字の末尾にある場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。

入力した文字をすべて削除する：
［MENU］、［全削除］の順にタッチします。

文字を貼り付ける：
［MENU］、［貼り付け］の順にタッチします。

- コピーの記録がある場合にのみ文字を貼り付けられます。

改行する：
改行する位置にカーソルを移動し、［改行↵］をタッチします。

- かな英数の場合は［わ0］、［改行↵］の順にタッチします。
- 英数の場合は各文字ボタンの2階層目の［改行↵］をタッチします。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 ［確定］をタッチ

✔お知らせ

- 全角記号の場合は、一部のみ入力できます。また、絵文字の場合は、変換候補一覧に表示される絵文字のみ入力できます。

◆ 端末暗証番号の入力

端末暗証番号入力画面が表示された場合は、該当する数字ボタンをタッチして端末暗証番号を入力してください。

- 指紋認証画面が表示された場合は、指紋による認証操作ができます。→P114

1 入力する端末暗証番号をタッチ

2 ［確定］をタッチ

- ［クリア］をタッチ、または⎚を押すとカーソルの左の1文字が削除されます。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
2in1	必要	有料
OFFICEED	必要	有料
公共モード（ドライブモード）→P69	不要	無料
公共モード（電源OFF）→P69	不要	無料
メロディコール→P93	必要	有料

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「OFFICEED」はお申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。
- **本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話またはテレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモを同時に設定時、留守番電話サービスを優先させるには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスが開始のときに音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に 2(数字は件数)が表示されます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。
- キャラ電で留守番電話サービスセンターに接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューよりDTMF送出に切り替えて操作してください。→P63
- 2in1利用時は、留守番電話サービスの開始、停止、設定確認、メッセージ再生、留守番サービス設定はAナンバーとBナンバーそれぞれに設定できます。このとき、AモードではAナンバー、BモードではBナンバーについて、デュアルモードではどちらかのナンバーを選択して設定します。それ以外は共通です。
- 留守番メッセージ再生と留守番サービス設定は、音声電話とテレビ電話のどちらかを選択して操作します。それ以外は共通です。

❖留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 **MENU［設定／NWサービス］8 1▶メニュー項目を選択して操作**

〈留守番電話サービス〉

［留守番電話サービス開始］：1 1▶「はい」▶「はい」▶呼出時間を入力

- 呼出時間を「0秒」にすると着信履歴には記録されません。
- Bナンバーでは開始のみ設定できます。

［留守番呼出時間設定］：1 2▶「はい」▶呼出時間を入力

- 「0秒」にすると着信履歴には記録されません。

［留守番サービス停止］：1 3▶「はい」

［留守番設定確認］：1 4▶「はい」

- サブメニューから設定を変更できます。
- Bナンバーでは開始／停止の確認ができます。

［留守番メッセージ再生］：1 5▶1または2▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

- 1には新しい伝言メッセージの再生時にガイダンスで案内する件数が表示されます。保存件数は含まれません。

［留守番サービス設定］：1 6▶1または2▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

［留守番テレビ電話設定］：1 7▶「ON」または「OFF」

［メッセージ問合せ］：1 8▶「はい」

〈件数増加鳴動設定〉

［件数増加鳴動設定］：2▶各項目を設定▶📷

新しい伝言メッセージが増えたときなどに通知音が鳴ります。バイブレータ設定の電話着信時の設定に従って振動します。

- 件数通知音を「ON」にして通知メロディを設定します。

〈着信通知〉

［着信通知開始］：3 1▶「はい」▶「はい」または「いいえ」

電源が切れていたり圏外のときの着信が、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知されます。

- 「はい」にすると発信者番号通知の着信のみが、「いいえ」にするとすべての着信が通知されます。

［着信通知停止］：3 2▶「はい」

［着信通知開始設定確認］：3 3▶「はい」

- サブメニューから設定を変更できます。

〈表示消去〉

［表示消去］：4▶「はい」

待受画面から伝言メッセージのマークが消去されます。

キャッチホン

音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の音声電話を保留にして新しい音声電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- 通話中にテレビ電話が着信してもキャッチホンは動作しませんが、不在着信として記録されます。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中の着信動作選択を「通常着信」にしてください。他の設定では、キャッチホンを開始にしても音声電話中に着信した音声電話に応答できません。
- 音声電話中に着信した別の音声電話に出るときは次の操作を行います。
  [開始]：現在の通話を保留にし、かかってきた電話に応答する
  [終了]：現在の通話が切断され、かかってきた電話の着信画面が表示される。[開始]を押し電話に応答する
- キャッチホン中は、[iα]を押すたびに通話相手を切り替えられます。
- 音声電話中に別の相手に音声電話をかける場合は、[MENU]を押し「ダイヤル入力」を選択します。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[8][2][1]▶メニュー項目を選択して操作

［キャッチホンサービス開始］：[1]▶「はい」
［キャッチホンサービス停止］：[2]▶「はい」
［キャッチホンサービス設定確認］：[3]▶「はい」

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話またはテレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモを同時に設定時、転送でんわサービスを優先させるには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスが開始のときに音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に[不在着信 2]（数字は件数）が表示されます。
- 2in1利用時は、転送サービスの開始、停止、設定確認はAナンバーとBナンバーそれぞれに設定できます。このとき、AモードではAナンバー、BモードではBナンバーについて、デュアルモードではどちらかのナンバーを選択して設定します。それ以外は共通です。

❖転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

1 [MENU]［設定／NWサービス］[8][2][2]▶メニュー項目を選択して操作

［転送サービス開始］：[1]▶「はい」▶「はい」▶転送先番号を入力▶[カメラ]▶「はい」▶呼出時間を入力
- 呼出時間を「0秒」にすると着信履歴には記録されません。
- Bナンバーでは開始のみ設定できます。
- [MENU]で電話帳から、[iα]で着信履歴から、[メール]でリダイヤルから電話番号を選択できます。

［転送サービス停止］：[2]▶「はい」
［転送先変更］：[3]▶転送先番号を入力▶[カメラ]▶[1]または[2]▶「はい」
- サービス開始中は転送先変更を、サービス停止中は転送先変更と転送サービス開始を設定できます。
- Bナンバーでは転送先変更のみ設定できます。
- 電話番号の選択方法は転送サービス開始と同様です。

［転送先通話中時設定］：[4]▶「はい」
転送先が通話中で転送できないときに留守番電話サービスで応答します。
［転送サービス設定確認］：[5]▶「はい」
- サブメニューから設定を変更できます。
- Bナンバーでは開始／停止の確認ができます。

◆転送ガイダンスの有／無を設定する

1 [1][4][2][9]▶[開始]▶音声ガイダンスに従って操作

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号からの着信時は、着信音は鳴らず着信履歴にも記録されません。

1 MENU［設定／NWサービス］8 9 3 ▶メニュー項目を選択して操作

［迷惑電話着信拒否登録］：1 ▶「はい」
最後に着信応答した電話番号が着信拒否に登録されます。
- 通話していない不在着信などは登録対象になりません。

［電話番号指定拒否登録］：2 ▶「はい」▶電話番号を入力▶📷▶「はい」
指定した電話番号が着信拒否に登録されます。
- MENUで電話帳から、iαで着信履歴から、✉でリダイヤルから電話番号を選択できます。

［迷惑電話全登録削除］：3 ▶「はい」
［迷惑電話1登録削除］：4 ▶「はい」
最後に登録した電話番号が1件削除されます。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除できます。
［拒否登録件数確認］：5 ▶「はい」

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話またはテレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった場合、着信履歴に記録されず、待受画面に 2（数字は件数）は表示されません。

1 MENU［設定／NWサービス］8 4 2 ▶メニュー項目を選択して操作

［番号通知開始］：1 ▶「はい」
［番号通知停止］：2 ▶「はい」
［番号通知設定確認］：3 ▶「はい」

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時には利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 MENU［設定／NWサービス］8 9 5 ▶メニュー項目を選択して操作

［デュアルネットワーク切替］：1 ▶「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力
FOMA端末で利用できるように切り替えられます。
［デュアルネットワーク状態確認］：2 ▶「はい」

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 MENU［設定／NWサービス］8 9 4 ▶メニュー項目を選択して操作

［ガイダンス設定］：1 ▶「はい」▶ 1 または 2 ▶「はい」▶ 1 ～ 3
- 発信側に流れるガイダンスの言語を選択後、着信側の言語を選択します。

［ガイダンス設定確認］：2 ▶「はい」

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。→P48
- 2in1がデュアルモード時は発信番号選択画面が表示されます。

1 MENU［設定／NWサービス］8 9 6 ▶メニュー項目を選択して操作

［ドコモ故障問合せ］：1 ▶「はい」▶故障お問い合わせに発信
［ドコモ総合案内・受付］：2 ▶「はい」▶総合お問い合わせに発信

通話中着信設定

通話中の着信動作選択の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 MENU［設定／NWサービス］8 9 8 ▶メニュー項目を選択して操作

［通話中着信設定開始］：1 ▶「はい」
［通話中着信設定停止］：2 ▶「はい」
［通話中着信設定確認］：3 ▶「はい」

通話中の着信動作選択

通話中に着信したときの対応方法を選択する

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンが未契約の場合は、通話中の着信に応答できません。
- 通話中の着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始にしてください。

1 MENU［設定／NWサービス］8 9 9 ▶メニュー項目を選択して操作

［通常着信］：1
- キャッチホン開始中はキャッチホンが動作し、停止中は音声電話または64Kデータ通信を終了して着信した音声電話に応答できます。また、音声電話着信中はサブメニューから対応を選択できます。→P67

［留守番電話］：2
- 音声電話／テレビ電話着信時は留守番電話サービスに接続されます。

［転送でんわ］：3
- 音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信着信時は登録済みの転送先に転送されます。ただし、64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。

［着信拒否］：4
- すべての着信は拒否されます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を開始にする必要があります。

1 MENU［設定／NWサービス］8 9 2 ▶メニュー項目を選択して操作

［遠隔操作開始］：1 ▶「はい」
［遠隔操作停止］：2 ▶「はい」
［遠隔操作設定確認］：3 ▶「はい」

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- FOMAカードを取り外したり、差し替えたりした場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。この場合は再度登録を行ってください。
- 発着信画面やリダイヤル／着信履歴などに基本契約番号または付加番号の名称が表示されます。
- リダイヤル／着信履歴から発信する場合は、以前発着信したマルチナンバーの名称が表示され、この番号で発信します。

1 MENU［設定／NWサービス］8 9 7▶メニュー項目を選択して操作

［通常発信番号設定］：1▶1～3▶「はい」
［通常発信番号設定確認］：2▶「はい」
［電話番号設定］：3▶各項目を設定▶📷
- 付加番号1または付加番号2の名称と電話番号を入力します。
- 基本契約番号の名称と電話番号はプロフィール情報が表示されます。
- マルチナンバー発信を「有効」にすると、電話発信時のサブメニューからマルチナンバー発信番号を選択できます。

［着信設定］：4▶1または2▶各項目を設定▶📷
- 個別設定を「ON」にすると付加番号ごとの着信動作を設定できます。設定操作は、電話着信設定と同様です。

◆電話番号を選択して電話をかける

- 電話番号設定のマルチナンバー発信が「無効」のときはマルチナンバーを選択できません。

1 電話番号を入力▶MENU 4▶1～3▶MENUまたはiα

- 発信オプションから操作する場合、番号通知を「指定なし」にすると通常発信番号設定に従います。

2in1

1つの携帯電話で2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
- 2in1がONのときにFOMAカードを差し替えた（2in1契約者→2in1契約者）場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにするか、プロフィール情報からBナンバーを取得してください。→P334
  また、FOMAカードを差し替えた（2in1契約者→2in1未契約者）場合も、正しいプロフィール情報に更新するために2in1をOFFにしてください。

■ 2in1のモード

- 2in1のモードごとの動作→P367

Aモード：お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード：2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード：A／Bの両方の機能を備えたモードです。

✔お知らせ

- Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。→P144
- ｉモード契約中は、Bモードでもｉモードサービスを利用できます。
- Bモード時はMail To、SMS To機能を利用できません。
- 次の場合は、2in1のモードに関わらずすべてのデータが削除されます。
  - 伝言メモ、音声メモ、リダイヤル、着信履歴、電話帳、メール送受信履歴の全件削除
  - 受信メールの「1件削除」または「選択削除」以外の削除操作
  - メールフォルダや電話帳のグループの削除
  - データ一括削除
- デュアルモード時に外部機器接続で発信する場合は、Aナンバー発信になります。
- テロップ表示設定は、モードごとに設定できます。

◆2in1設定をする

2in1をONにして各設定を行います。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[8][7]▶認証操作▶「はい」▶メニュー項目を選択して操作

- 既に2in1がONの場合は、認証操作を行うと2in1設定画面が表示されます。

〈2in1モード切替〉

［2in1モード切替］：[1]▶[1]～[3]

〈電話帳2in1設定〉

［電話帳2in1設定］：[2]▶モードを選択▶電話帳検索▶電話帳を選択▶[📷]▶「はい」

モードごとに電話帳の表示が切り替わります。

- 「共通」にすると、A／B両方のモードで表示されます。
  A：Aモードの電話帳　B：Bモードの電話帳
  AB：A／B両モードの電話帳

〈モード別待受画面設定〉

［デュアルモード待受画面］：[3][1]▶フォルダを選択▶画像を選択▶「はい」

［Bモード待受画面］：[3][2]▶フォルダを選択▶画像を選択▶「はい」

〈発着信番号設定〉

［Bナンバー着信設定］：[4][1]▶[1]～[3]

- 設定操作は、音設定と同様です。
- 発信者番号の通知／非通知に関わらず本設定に従って着信音が鳴ります。

［発着信識別表示］：[4][2]▶各項目を設定▶[📷]

識別表示を「ON」にして設定した識別記号で、発着信中／通話中画面の「発信中」などの文字列が装飾されます。

- Aナンバーの設定は発着信識別表示にも反映されます。

〈2in1機能OFF〉

［2in1機能OFF］：[5]▶「はい」

〈着信回避設定〉

［着信回避設定変更］：[6][1]▶各項目を設定▶[📷]

ナンバーごとの着信回避を設定すると、モードに関わらずそのナンバーの着信が規制されます。

- モード切替連動設定を停止にする必要があります。

［着信回避設定確認］：[6][2]▶「はい」

- サブメニューから設定を変更できます。

［モード切替連動設定］：[6][3]▶「はい」

開始にすると、AモードではAナンバーのみ、BモードではBナンバーのみが着信します。

- 開始にしている場合、圏外では2in1モード切替はできません。

［着信回避設定（海外）］：[6][4]▶「はい」

- モード切替連動設定を停止にする必要があります。
- 海外から操作した場合は、ご利用の国の国際通話料がかかります。

✔お知らせ

〈2in1モード切替〉

- 2in1がOFFでも、待受画面で[2]を1秒以上押し認証操作を行うと、2in1をONにして2in1モード切替が起動します。2in1がONのときも同様の操作で2in1モード切替が起動します。

〈電話帳2in1設定〉

- 初めて2in1を契約したときは、その時点で登録済みの電話帳はすべて「A」に設定されます。再契約時には以前の電話帳2in1設定を引き継ぎます。

❖2in1のモードごとの機能

モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています（Aモードと同じ動作をするものは除いています）。

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
電話／テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択※1
	着信※2	着信回避設定に従う		
電話帳	表示※3	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	名前変換※4	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	新規登録時	「A」	「B」	「A」
	赤外線／iC通信からの全件受信	送信側の電話帳2in1設定に従う※5		
	赤外線／iC通信からの1件受信	「A」	「B」	「A」
	microSDカードからの全件コピー	コピー時の電話帳2in1設定に従う※5		
	microSDカードからの1件コピー	「A」	「B」	「A」
	FOMAカード電話帳へコピー	「共通」（電話帳2in1設定は設定されない）		

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
	FOMAカード電話帳からコピー	「A」	「B」	「A」
リダイヤル／着信履歴表示		Aナンバー発着信	Bナンバー発着信	すべての発着信
メール／SMS	表示	Aアドレス／Aナンバーで送受信したメール／SMS	Bアドレス※6／Bナンバーに受信したメール／SMS	すべて
	送信	Aアドレス／Aナンバー	送信不可	Aアドレス／Aナンバー※7
	受信※8	すべて		
	WEBメールサイト	利用不可	利用可能	利用可能
	赤外線通信／iC通信からの全件受信	送信側の状態を引き継ぐ		
	赤外線通信／iC通信からの1件受信	Aアドレス／Aナンバー		
	microSDカードからの全件コピー	コピー時の状態を引き継ぐ		
	microSDカードからの1件コピー	Aアドレス／Aナンバー	利用不可	Aアドレス／Aナンバー
	FOMAカードへ移動／コピー（SMSのみ）	自分のナンバーの情報を削除して移動／コピー		
	FOMAカードから移動／コピー（SMSのみ）	すべてAナンバーとして移動／コピー	利用不可	すべてAナンバーとして移動／コピー
プッシュトーク	発信	Aナンバー	利用不可	Aナンバー※9
	着信	Aナンバー		
	プッシュトーク電話帳表示	「A」「共通」	利用不可	「A」「共通」
iアプリ		利用可能	利用可能※10	利用可能※11
プロフィール情報表示		Aナンバー／Aアドレス	Bナンバー／Bアドレス	すべて

※1 スケジュールの連絡先またはセレクトメニューの人物から発信する場合も、発信時に選択できます。電話帳から発信する場合は、電話帳2in1設定で「A」または「共通」にした相手にはAナンバーで、「B」に設定した相手にはBナンバーで発信されます。クイックダイヤル発信とイヤホンスイッチ発信も同様です。
伝言メモ、通話中音声メモ、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴から発信する場合は、発着信時のナンバーに従って発信されます。
ただし、発信オプションから発信する場合は、「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択できます。

※2 メモリ別着信拒否／許可、呼出動作開始時間設定、メモリ登録外着信拒否は、電話帳2in1設定に影響されません。

※3 シークレット属性設定時は、プライバシーモードの動作が優先されます。

※4 電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している場合、発着信中、呼出中、通話中、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、GPSの位置提供、位置履歴詳細画面の要求者名などに電話帳の名前が表示されます。

※5 送信側や全件コピー時の端末が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。

※6 WEBメールサイト上で端末に保存操作をしたメール、新着通知メール、アラーム通知メール

※7 電話帳2in1設定で「B」にした相手にもAアドレスでメールを、AナンバーでSMSを送信しますのでご注意ください。
メール受信履歴のBアドレス／Bナンバーの履歴からは送信できません。

※8 Aモード時にBアドレス／Bナンバーへ、Bモード時にAアドレス／Aナンバーへ受信した場合は、メール着信音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。

※9 電話帳2in1設定で「B」にした相手にはプッシュトーク発信できません。

※10 メール機能を利用するｉアプリ、ｉアプリ待受画面は利用できません。

※11 ｉアプリ待受画面は利用できません。

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

1 MENU［設定／NWサービス］8 6 ▶メニュー項目を選択して操作

［エリア表示設定］：1 ▶ 1 または 2
- 「ON」にするとOFFICEEDエリア内では待受画面に OFFICEED が表示されます。

［圏外転送開始］：2 ▶「はい」
［圏外転送停止］：3 ▶「はい」
［圏外転送設定確認］：4 ▶「はい」

追加サービス（USSD登録）

新しいネットワークサービスを登録する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 MENU［設定／NWサービス］8 9 1 ▶メニュー項目を選択して操作

［USSD登録］：1 ▶番号にカーソル▶ 📷 ▶USSDコードを入力▶名称を入力（全角10（半角20）文字以内）▶ 📷
- USSDコードはドコモから通知されるサービスコードで、ネットワークサービスの設定などを行うために使用されます。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。
- 追加したサービスを利用するときは、サービスを選択します。
- 追加したサービスを削除するときは、サービスにカーソルを合わせて MENU を押し、1 または 2 を選択して「はい」を押します。

［応答メッセージ登録］：2 ▶番号を選択▶USSDコードを入力▶応答メッセージを入力（全角10（半角20）文字以内）▶ 📷
- 追加したサービスを実行時、サービスセンターから登録したコードが応答として返ってくるとこのメッセージが表示されます。
- 登録したメッセージを削除するときは、メッセージにカーソルを合わせて MENU を押し、1 または 2 を選択して「はい」を押します。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、FOMAネットワークのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話やｉモードなどが利用できるサービスです。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様はWORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- WORLD WINGに対応しているFOMAカード（青色以外）をFOMA端末に取り付けておく必要があります。
- ご利用可能なエリアやご利用料金についての詳細は、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

■ 海外のネットワーク

海外のネットワークには、W-CDMA（3G）、GPRS、GSMの通信方式があります。

ネットワーク	説　明
W-CDMA（3G）	世界標準規格である3GPP※1に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
GPRS※2	GSM通信方式を利用して高速パケット通信が可能な第2.5世代移動通信ネットワークです。
GSM※3	世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動通信ネットワークです。

※1 3rd Generation Partnership Projectの略。3GPPは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2 General Packet Radio Serviceの略。GSMを高速化し、パケット通信などのデータ通信を容易にしています。

※3 Global System for Mobile Communicationsの略。世界で最も普及している携帯電話のネットワークシステムです。

■ 主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、次の番号を使用してください。

地　域	番　号	地　域	番　号
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
イギリス	44	トルコ	90
イタリア	39	日本	81
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7
中国	86		

- 国番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外で利用できるサービス

滞在国の通信事業者とネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。

- サービスに対応している国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 滞在国のネットワークの状況などにより、通話時間、待受時間が通常の半分程度になることがあります。

◆ ネットワークと利用できる通信サービス

- 通信事業者や地域によっては利用できないサービスもあります。
- 海外でのパケット通信料は、日本国内でのパケット通信料と異なります。

通信サービス	ネットワーク		
	3G	GPRS	GSM
	3G※1	GPRS	GSM
音声電話※2	○	○	○
テレビ電話※2、3	○	×	×
iモード接続※4	○	○	×
iモードメール	○	○	×
SMS	○	○	○
iチャネル※5	○	○	×
iウィジェット	○	○	×
iコンシェル	○	○	×
GPSの現在地確認※6	○	○	○
データ通信（パケット通信）※7	○	○	×

※1 3G(赤）のときは、音声電話とSMSの発着信、GPSの現在地確認が利用できます。
※2 2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。
マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。
※3 海外の特定3G通信事業者をご利用のお客様、またはFOMA端末をご利用のお客様と国際テレビ電話ができます。
※4 フルブラウザとテレビリンク一覧からのデータ放送サイトへの接続を含みます。ただし、海外でワンセグ視聴はできません。
プリインストールiアプリの「日英版しゃべって翻訳 for F」「日中版しゃべって翻訳 for F」は海外でも利用できます。
※5 iチャネルの受信ごとにパケット通信料がかかります（日本国内の無料通話適用外）。ベーシックチャネルの自動更新も同様です。
※6 サービス利用設定サイト接続時、接続はされますがエラー画面が表示され、利用できません。その場合でもパケット通信料がかかります。
※7 海外ではパソコンなどと接続して行う64Kデータ通信は利用できません。

■ SMS

ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、相手の電話番号の前に「+」と「国番号」を入力します。または、「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します）。
- 海外の通信事業者を利用している相手に送信したSMSの本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

◆ ネットワークサービス

ネットワークサービスをご契約の場合、設定／解除などの操作を海外からも行えます。

- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスでも、海外の通信事業者によっては利用できない場合があります。
詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

海外利用の準備と確認

- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先の通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同じ月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆ 出発前の準備

❖充電について

- ACアダプタの取り扱い上の注意について→P18
- ACアダプタの充電方法について→P51

❖ｉモードの利用

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

■ 日本での設定

ｉMenu→お客様サポート→各種設定（確認・変更・利用）→その他サービス設定・確認→海外利用設定→ｉモード利用設定

■ 海外での設定

ｉMenu→海外利用設定→ｉモード利用設定

❖ネットワークサービスの利用

海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用になるには、各ネットワークサービスをご契約いただき、あらかじめ遠隔操作設定を開始にする必要があります。

◆ 滞在国での利用

■ ネットワークに接続する

海外で電源を入れると、自動的に利用可能なネットワークに接続されます。→P377

■ ディスプレイの見かた

- 利用中のネットワークを示すマークと接続中のオペレータ名が表示されます。→P378
- マークの意味は次のとおりです。FOMAネットワークを利用しているときマークは表示されません。
  3G／3G: 3Gネットワークに接続中　GPRS: GPRSネットワークに接続中
  GSM: GSMネットワークに接続中

■ 日付・時刻

自動時刻・時差補正が「ON」の場合は、電源を入れたときや、接続している通信事業者のネットワークから時刻・時差補正情報を受信すると時刻や時差が補正されます。時差補正が行われた場合にはその旨のメッセージが表示されます。→P55

■ 発信者番号通知

発信者番号通知を設定して発着信しても、利用している通信事業者によっては、発信者番号が通知されなかったり正しく番号表示されなかったりすることがあります。この場合、着信履歴から発信できません。

❖お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお紛失、盗難された後に発生した通話料や通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

■ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）

主要国の国際電話アクセス番号は次のとおりです。

地　域	番　号	地　域	番　号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021／0014
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

■ ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は次のとおりです。

地　域	番　号	地　域	番　号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

- 一部ご利用できない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは、上記に記載のある国のみご利用可能です。
- 携帯電話でかけた場合、滞在国内通話料がかかります。
- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側に確認してからご利用ください。
- 携帯電話、公衆電話、ホテルなどからは、ユニバーサルナンバーをご利用いただけない場合が多いためご注意ください。

◆帰国後の設定

帰国後に電源を入れると、自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に、3G/GSM切替を「自動」に設定し直します。

滞在国で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけられます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- テレビ電話の場合、接続先の端末によりFOMA端末に表示される相手側の映像が乱れたり、接続できない場合があります。
- よくかける相手の国名と国番号を国際ダイヤルアシスト設定（→P65）で登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

◆ 滞在国外（日本を含む）に電話をかける

1 0（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶ または

- 0を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにかける場合は「0」が必要です。

❖ 国番号を選択して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

国際ダイヤルアシスト設定（→P65）の国番号設定に登録している国番号を選択します。

1 地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶MENU 2▶発信方法欄を選択▶1または2▶国際電話発信欄を選択▶2▶国番号欄を選択▶国番号を選択▶MENUまたは▶「はい」

地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と選択した国番号に変換されます。

- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合には、を押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。

❖ 電話帳を利用して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

- 電話帳の電話番号が「0」で始まる場合にのみ有効です。
- あらかじめ国際ダイヤルアシスト設定（→P65）の自動変換機能設定の国番号変換を「ON」に、国番号設定を電話をかける国に設定しておく必要があります。

1 ▶電話帳検索▶相手にカーソル▶ または ▶「はい」

地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と設定した国番号に変換されます。

◆ 滞在国内に電話をかける

- メッセージが表示されずに発信される場合もあります。

1 電話番号を入力▶ または ▶「元の番号で発信」

電話帳を利用する：▶電話帳検索▶相手にカーソル▶ または ▶「元の番号で発信」

◆ 海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

同じ国に滞在している場合でも、「+」と日本の国番号「81」を入力して電話をかけてください。

1 0（1秒以上）▶81▶90-XXXX-XXXXまたは80-XXXX-XXXX▶ または

滞在国で電話を受ける

日本国内で電話を受けるのと同様の操作で、電話を受けられます。

■ 日本から電話をかけてもらうときは

お客様が日本国内にいるときと同様に、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

090-XXXX-XXXXまたは080-XXXX-XXXX

■ 日本以外から電話をかけてもらうときは

滞在国に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話をかけるのと同様の操作で電話をかけてもらいます。

発信国の国際アクセス番号▶81（日本の国番号）▶90-XXXX-XXXXまたは80-XXXX-XXXX

✔お知らせ

- 滞在国に関わらず、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には着信料がかかります。

ネットワークサーチ設定

ネットワークの検索方法を設定する

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったとき、利用可能なネットワークに接続し直します。

- 電波の状態やネットワークの状況によって設定できない場合があります。
- 日本国内ではNTT ドコモ以外の通信事業者は選択できません。

1 MENU［設定／NWサービス］9 2 1 ▶ 1 ～ 3

- 「オート」にすると利用可能なネットワークに自動的に接続し直します。「マニュアル」にすると、ネットワークを検索し直して接続ネットワーク一覧が表示されるので、接続するネットワークを選択します。
- 「ネットワーク再検索」選択時は各設定の動作が実行されます。

✔お知らせ

- 接続ネットワーク一覧では利用できないネットワークに✖が、3Gネットワークのときは3Gが、GSM/GPRSネットワークのときはGSMが表示されます。
- 次の場合は、オペレータ名表示欄に「select net」と表示され、利用可能なネットワークが選択されて圏内状態となるまでは、通話やメールなどが利用できない場合があります。再度ネットワークを検索し直して選択するか、「オート」にしてください。
  - 「マニュアル」で接続したネットワークの圏外に移動したとき
  - 「マニュアル」にして前回と違うネットワークに移動して電源を入れたとき
  - ネットワークの接続に失敗したとき

優先ネットワーク設定

優先的に接続するネットワークを設定する

- ネットワークサーチ設定が「オート」の場合に有効です。

1 MENU［設定／NWサービス］9 2 1 4

優先順位の高い順に表示されます。詳細情報を表示するときはネットワークを選択します。

2 ネットワークにカーソル ▶ MENU 2

追加登録する：

- 最大20件登録できます。

① MENU 1 ▶ 1 ～ 3

- 「マニュアル登録」のときは、国番号（MCC）を3桁で、ネットワーク番号（MNC）を2～3桁で入力し、📷を押します。「リストから登録」のときは、国名を選択後にネットワークを選択します。
- 「在圏ネットワーク登録」のときは、ネットワークにカーソルを合わせて📷を押します。操作3に進みます。

② 1 ～ 3 ▶ 📷

削除する：ネットワークにカーソル ▶ MENU 3 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」▶ 📷

- 1件削除ではカーソルを合わせたネットワークが削除されます。
- 選択削除では選択操作 ▶ 📷が、全件削除では認証操作が必要です。

3 優先順位を選択 ▶ 📷

選択した優先順位の上に順位が変更されます。

- 優先順位を最後にする場合は、「〈最後に指定〉」を選択します。

3G/GSM切替

ネットワークを切り替える

- 「自動」にすると、異なるネットワークのサービスエリアに移動した場合でも、自動的に利用可能なネットワークに接続されます。

1 MENU［設定／NWサービス］9 2 2 ▶ 1 ～ 3

✔お知らせ

- 「自動」の場合、3GおよびGSM/GPRSネットワークの両方を検出したときは3Gネットワークが優先されます。

在圏状態表示

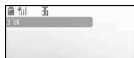
現在の在圏状態を表示する

1 MENU［設定／NWサービス］7 5 6

- CSでは音声電話やテレビ電話などが、PSではｉモードやｉモードメールなどが利用できます。

国際ローミング中の待受画面を設定する

◆オペレータ名表示設定

ディスプレイ上部にオペレータ名を表示します。
- FOMAネットワーク利用時や圏外のときは表示されません。

1 MENU［設定／NWサービス］9 2 3 ▶ 1 または 2

◆デュアル時計設定

滞在国と日本の時刻を表示します。

1 MENU［設定／NWサービス］9 4 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 時刻や時差の補正後に24時間表示で表示されます。
- 右側に日本の時刻が表示されます。右側に他の国の時刻を表示させる場合は、本設定を「OFF」に、時計表示設定のデザインを「世界時計」にしてタイムゾーンを設定します。
- 待受画面に動画／ｉモーションまたはｉアプリ設定時、デュアル時計は表示されません。
- 背面ディスプレイには滞在国の時刻が表示されます。

ローミングガイダンス設定

ローミングガイダンスを設定する

発信者に国際ローミング中である旨のガイダンスを流すように設定します。
- 日本国内で設定してください。

1 MENU［設定／NWサービス］8 5

2 1 または 2 ▶「はい」

- 設定内容を確認するときは 3 を押し、「はい」を選択します。

✔お知らせ

- 停止にしても通信事業者で設定している呼出音が流れます。
- 開始にしても通信事業者によっては外国語ガイダンスが流れる場合があります。

国際ローミング中の着信を設定する

◆ローミング時着信規制を設定する

- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。
- 海外ではパソコンなどと接続して行う64Kデータ通信は利用できません。

1 MENU［設定／NWサービス］9 2 4

2 1 ▶ 1 または 2

ローミング時着信規制を停止する：2
設定内容を確認する：3 ▶「はい」

3「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力

◆ローミング着信通知を設定する

国際ローミング中に、電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報（着信日時や発信者番号）をSMSにてお知らせします。

1 MENU［設定／NWサービス］9 2 5

2 1 または 2 ▶「はい」

設定内容を確認する：3 ▶「はい」
海外でローミング着信通知を設定する：4 ▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

ネットワークサービス

国際ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの設定を操作します。

- ネットワークサービスの詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。
- 海外から操作した場合、ご利用の国の国際通話料がかかります。

1 MENU［設定／NWサービス］9 1 ▶メニュー項目を選択して操作

〈留守番電話（海外）〉
［留守番サービス開始］：1 1
［留守番サービス停止］：1 2
［留守番メッセージ再生］：1 3
［留守番サービス設定］：1 4
［留守番呼出時間設定］：1 5
〈転送でんわ（海外）〉
［転送サービス開始］：2 1
［転送サービス停止］：2 2
［転送サービス設定］：2 3
［遠隔操作設定（海外）］：3
［番号通知お願い（海外）］：4
［ローミングガイダンス（海外）］：5

2「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

パソコン接続

データ通信の詳細については付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX™通信）に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。また、海外では64Kデータ通信はできません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaをご利用の場合はアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

◆ パケット通信

FOMA端末とパソコンなどをUSBケーブルやBluetooth機能で接続し、各種設定を行うことで利用できます。
送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅲなど HIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

※ Bluetooth機能で接続してデータ通信を行う場合は、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機器間の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。

※ 最大7.2Mbps、最大384kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

◆ 64Kデータ通信

FOMA端末とパソコンなどをUSBケーブルやBluetooth機能で接続し、各種設定を行うことで利用できます。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用して、データを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

◆ 動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 USBケーブル接続の場合：USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠） Bluetooth接続の場合：Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0＋EDRに準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）※	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
必要メモリ	Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※ ドコモ コネクションマネージャが動作する推奨環境は次のとおりです。
　OS：Windows 2000 SP4以上、Windows XP SP2以上（詳細については、ドコモのホームページをご覧ください）
　ハードディスク容量：15MB以上の空き容量

- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆ 必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「F-01A用CD-ROM」

※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※ Bluetooth接続の場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02またはFOMA USB接続ケーブルは必要ありません。

◆ ご利用時の留意事項

❖インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。

❖接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

❖パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること
- Bluetooth接続の場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0＋EDRに準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

パソコンとUSBケーブル接続またはBluetooth接続をして、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

USBケーブル接続の場合

①FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

②パソコンとFOMA端末を接続する

③FOMA通信設定ファイルを確認する

Bluetooth接続の場合

①Bluetooth接続を準備する

②モデムの確認をする

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

ドコモ コネクションマネージャでデータ通信の設定をする

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

通信を実行する

CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「パソコン接続マニュアル」、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

- CD-ROMをパソコンにセットすると、Internet Explorerのセキュリティの設定による警告画面が表示される場合がありますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル（別売）が必要となります。

付録／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

- 表示メニュー設定を「ベーシックメニュー」にした場合のメニュー一覧を記載しています。
- 赤文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。

■メール

メニュー	お買い上げ時	参照
[1][1]受信メール	―	148
[1][2]新規メール	―	134
[1][3]新規デコメアニメ	―	137
[1][4]未送信メール	―	148
[1][5]送信メール	―	148
[1][6] i モード問合せ	―	144
[1][7]WEBメール	―	144
[1][8]SMS／エリアメール設定		
[1][8][1]SMS		
[1][8][1][1]SMS作成	―	164
[1][8][1][2]FOMAカード（UIM）受信SMS	―	166
[1][8][1][3]FOMAカード（UIM）送信SMS	―	166
[1][8][1][4]SMS設定	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMS Center：ドコモ アドレス：81903101652 Type of Number：International	166
[1][8][1][5]SMS問合せ	―	165
[1][8][2]エリアメール設定		
[1][8][2][1]受信設定	利用する	163
[1][8][2][2]受信登録	―	163
[1][8][2][3]ブザー鳴動時間	ブザー鳴動時間（1～30秒）：10	163
[1][9]メール選択受信	―	144
[1][*]テンプレート		
[1][*][1]デコメール	―	139
[1][*][2]デコメアニメ	―	139
[1][0]メール設定		
[1][0][1]着信設定		
[1][0][1][1]メール着信設定	着信音選択：メロディ／着信音2 着信イルミネーション設定：往復点灯／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	90
[1][0][1][2]メッセージR着信設定	着信音選択：メロディ／着信音2 着信イルミネーション設定：往復点灯／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	90
[1][0][1][3]メッセージF着信設定	着信音選択：メロディ／着信音2 着信イルミネーション設定：往復点灯／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	90
[1][0][2]メール振り分け設定	［自動振り分け設定］ 受信、送信時振り分け設定：ON ［受信振り分け条件、送信振り分け条件］――	155
[1][0][3]署名設定	［自動挿入］する ［署名編集］―	157
[1][0][4]メール返信設定		
[1][0][4][1]メール返信引用設定	引用：しない 引用文字：>	158
[1][0][4][2]クイック返信設定	ON	158
[1][0][4][3]クイック返信本文登録	了解です 後で連絡します ごめんなさいm(_ _)m ありがとう(^-^) OK	158
[1][0][5]メールグループ	―	157
[1][0][6]受信・表示設定		

メニュー	お買い上げ時	参照
1061受信・自動送信表示	通知優先	159
1062メール選択受信設定	OFF	157
1063メール受信添付ファイル設定	すべて選択	158
1064添付ファイル自動再生設定	自動再生する	159
1065メール一覧表示設定	表示スタイル：2行表示 本文お試し表示：する 自動既読設定：ON	158
1066メッセージ自動表示設定	メッセージR優先	161
1067ビューアスタイルメール表示設定	スタイル1	158
107ｉモード問合せ設定	すべて選択	157

■ｉモード

メニュー	お買い上げ時	参照
21ｉMenu	―	170
22Bookmark	―	175
23画面メモ	―	177
24ラストURL	―	171
25Internet		
251URL入力	http://	174
252URL入力履歴	―	174
26メッセージR/F		
261メッセージR	―	161
262メッセージF	―	161
263ｉモード問合せ	―	144
264ｉモード問合せ設定	すべて選択	157
27ｉチャネル		
271ｉチャネル一覧	―	187
272テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通 テロップ文字サイズ：中 テロップパターン：パターン1	188
273ｉチャネル初期化	―	188
28ｉモード設定		
281ツータッチサイト	―	176
282接続待ち時間設定	60秒間	181
283照明点灯時間設定	常時点灯	182
284ｉモード中プッシュトーク着信	プッシュトーク着信優先	79
285証明書設定		
2851証明書管理※1	CA証明書1～16、ドコモ証明書1：有効	183
2852ユーザ証明書操作	―	184
2853証明書発行接続先設定	接続先：ドコモ	185
2854暗証番号入力省略設定	省略する	185
286表示・効果設定	画像表示設定、アニメーション：表示する 端末情報データ利用設定：利用する 効果音設定：ON	182
287ｉモーション設定	自動再生設定：自動再生する	187
288接続先設定	ｉモード（FOMAカード）	181
29フルブラウザ		
291ホーム	―	192
292Bookmark	―	192
293Internet		
2931URL入力	http://	192
2932URL入力履歴	―	192
294ラストURL	―	192
295フルブラウザ設定		
2951ホーム設定	http://www.google.co.jp	196
2952Cookie設定／削除	Cookie：有効	196
2953Script設定	Script設定：有効 ウィンドウオープンガード設定：無効	196
2954表示モード設定	PCモード	196
2955表示・効果設定	画像表示設定、アニメーション：表示する 端末情報データ利用設定：利用する 効果音設定：ON	196
2956アクセス設定	利用しない	196
2957Referer設定	送信する	196
2958画面表示設定	標準画面表示	196
2959自動通信設定	毎回確認	196
296検索サービス	Google検索、Googleニュース検索、Google画像検索	324

■ｉアプリ

メニュー	お買い上げ時	参照
31ソフト一覧	―	243
32ｉアプリコール履歴	―	258
33ｉアプリ設定		
331ソフトの並べ替え	使用日時順	260
332自動起動設定	自動起動する	256
333ソフト情報表示設定	表示しない	243
334照明点灯時間設定	端末設定に従う	246
335バイブレータ設定	使用する	246
336ツータッチｉアプリ表示	―	256
337ｉアプリ音量	Level 4	246
338ｉウィジェット設定		
3381ｉウィジェット効果音設定	ON	262
3382ｉウィジェットローミング設定	いいえ	262
339ｉアプリコールダウンロード設定	拒否しない	258
34履歴表示	［自動起動失敗履歴、異常終了履歴、セキュリティエラー履歴］―	244 257 260
35ｉアプリについて	―	242

■電話帳／履歴

メニュー	お買い上げ時	参照
41電話帳検索	全件表示（50音）	84
42電話帳登録	―	82
43電話帳グループ追加	―	84
44FOMAカード（UIM）登録	―	82
45プッシュトーク電話帳	―	77
46着信履歴	―	60
47リダイヤル	―	60
48伝言メモ／音声メモ		
481伝言メモ設定	OFF	70
482伝言メモ一覧	―	70
483音声メモ録音	―	335
484音声メモ一覧	―	70
49メール送受信履歴		
491メール送信履歴	―	153
492メール受信履歴	―	153
4*プロフィール情報	あなたの名前、メールアドレス：― 自局電話番号：ご契約電話番号	56 333

■データBOX

メニュー	お買い上げ時	参照
51マイピクチャ	―	288
52ミュージック	―	235
53Music&Videoチャネル	―	231
54ｉモーション	―	292
55メロディ	―	299
56マイドキュメント	―	316
57きせかえツール	―	102
58マチキャラ	―	298
59キャラ電	―	298
5*ワンセグ	―	319
50その他	―	318

■LifeKit

メニュー	お買い上げ時	参照
61バーコードリーダー	―	210
62赤外線・iC・PC連携		
621赤外線受信	―	315
622赤外線全件送信	―	314
623iC全件送信	―	314
624受信済みデータ保存	―	315
625データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	316
626USBモード設定※2	通信モード	307
63microSD	―	305
64カメラ		
641静止画撮影	―	200
642動画撮影	―	203
65サウンドレコーダー	―	204

メニュー	お買い上げ時	参照
[6][6]電話帳お預かりサービス		
[6][6][1]お預かりセンターに接続	―	128
[6][6][2]電話帳通信履歴表示	―	129
[6][6][3]送信設定	電話帳内画像送信：なし	129
[6][7]地図・GPS		
[6][7][1]地図	―	274
[6][7][2]現在地確認	―	274
[6][7][3]地図・GPSアプリ	―	276
[6][7][4]位置履歴	―	285
[6][7][5]現在地通知	―	284
[6][7][6]現在地確認設定		
[6][7][6][1]現在地確認後動作設定	地図を見る	276
[6][7][6][2]測位モード設定	標準モード	286
[6][7][6][3]測位動作設定	鳴動音選択、バイブレータ設定、イルミネーション設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	286
[6][7][7]通知／提供設定		
[6][7][7][1]現在地通知設定		
[6][7][7][1][1]現在地通知先一覧	―	284
[6][7][7][1][2]測位モード設定	標準モード	286
[6][7][7][1][3]測位動作設定	鳴動音選択：メロディ／着信音5 バイブレータ設定：パターンB 鳴動時間（秒）：10 イルミネーション設定：点灯／アメジスト	286
[6][7][7][2]位置提供設定		
[6][7][7][2][1]位置提供可否設定	位置提供OFF	282
[6][7][7][2][2]測位モード設定	標準モード	286
[6][7][7][2][3]サービス利用設定	―	283
[6][7][7][2][4]サービス利用／接続設定	接続先：ドコモ	284
[6][7][7][2][5]測位動作設定		
[6][7][7][2][5][1]位置提供／許可	鳴動音選択：メロディ／着信音6 バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間（秒）：20 イルミネーション設定：点灯／グレープ	286

メニュー	お買い上げ時	参照
[6][7][7][2][5][2]位置提供／毎回確認	鳴動音選択：メロディ／着信音6 バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間（秒）：20 イルミネーション設定：点灯／グレープ	286
[6][7][8]地図設定		
[6][7][8][1]地図選択	地図アプリ	285
[6][7][8][2]地図起動時動作設定	測位する	286
[6][8]ウォーキングチェッカー		
[6][8][1]歩数／カロリー情報	―	340
[6][8][2]ウォーキングチェッカー設定	利用する 歩幅（30～120cm）：60cm 体重（30～120kg）：50kg	340
[6][9]ワンセグ		
[6][9][1]ワンセグ視聴	―	216
[6][9][2]番組表	―	219
[6][9][3]録画した番組	―	319
[6][9][4]予約／予約リスト	―	223
[6][9][5]録画予約履歴	―	225
[6][9][6]テレビリンク	―	220
[6][9][7]チャンネルリスト	―	215
[6][9][8]ユーザ設定		
[6][9][8][1]画面設定	照明設定：自動調整 字幕表示：マナーモード時表示 字幕サイズ：中（標準） 字幕言語切替：第一言語 アイコン常時表示：ON テロップ表示 メール、インフォメーション受信時：表示しない	226
[6][9][8][2]音声設定	音声切替：第一音声 主・副音声切替：主音声 Bluetooth音声出力確認：表示する	226
[6][9][8][3]データ放送設定		
[6][9][8][3][1]接続待ち時間設定	60秒間	226
[6][9][8][3][2]表示・効果設定	画像表示設定、アニメーション：表示する 効果音設定：ON	182
[6][9][8][3][3]ワンセグからトルカ取得	ON	226

メニュー	お買い上げ時	参照
69834放送用保存領域削除	―	226
69835確認表示設定リセット	―	226
6984クローズ動作設定	継続	226
6985録画設定	録画先：本体 録画終了時間：指定なし	226
6*Bluetooth		
6*1Bluetoothオン／オフ	―	345
6*2登録機器リスト	―	344
6*3新規機器登録	―	344
6*4接続待機	―	345
6*5ダイヤルアップ登録待受	―	343
6*6Bluetooth設定		
6*61サーチ時間	サーチ時間（秒）：5	347
6*62自局情報	機器名称：F01A 機器種別：携帯電話 Bluetoothアドレス：端末により異なる 対応プロファイル：HFP,HSP,A2DP,AVRCP,DUN,OPP	347
6*63セキュリティ設定	セキュリティ：無し	347
6*64着信音送出設定	送る	347
6*65全件転送パスワード設定	パスワード無し	347
6*66MUSIC Player自動起動	ON	347
6*7接続機器表示	―	346

■アクセサリー

メニュー	お買い上げ時	参照
71スケジュール帳	―	326
72テキストメモ	―	337
73目覚まし	―	325
74電卓	―	337
75辞典		
751国語辞典（学研モバイル国語辞典）	―	339
752和英辞典（学研モバイル和英辞典）	―	339
753英和辞典（学研モバイル英和辞典）	―	339
754今日は何の日	―	339
755今日の歴史	―	339
76お知らせタイマー	03分	324
77イミテーションコール		
771イミテーションコール開始	―	334
772イミテーションコール設定	鳴動開始時間：すぐに鳴らす 着信音：メロディ／着信音1 着信音量：レベル4	334

■設定／NWサービス※3

メニュー	お買い上げ時	参照
81音／バイブ		
811音設定		
8111電話着信音		
81111電話着信音	電話：メロディ／着信音1	91
81112テレビ電話着信音	テレビ電話：メロディ／ハープ	91
81113プッシュトーク着信音	プッシュトーク：メロディ／着信音3	91
81114発番号なし動作設定	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	126
8112メール・メッセージ着信音		
81121メール着信音	メール：メロディ／着信音2 鳴動時間（秒）：10	91
81122メッセージR着信音	メッセージR：メロディ／着信音2 鳴動時間（秒）：10	91
81123メッセージF着信音	メッセージF：メロディ／着信音2 鳴動時間（秒）：10	91
8113ｉコンシェル着信音	ｉコンシェル：メロディ／SHORT SOUND10 鳴動時間（秒）：10	91
8114GPS測位鳴動音		
81141現在地確認	鳴動音選択：OFF	91
81142現在地通知	鳴動音選択：メロディ／着信音5	91
81143位置提供／許可	鳴動音選択：メロディ／着信音6	91
81144位置提供／毎回確認	鳴動音選択：メロディ／着信音6	91
8115アラーム音		
81151目覚まし音	目覚まし音：メロディ／目覚まし時計	91
81152スケジュール音	アラーム：メロディ／時間になりました	91

メニュー	お買い上げ時	参照
8116操作確認音		
81161キー確認音	キー音1	94
81162開閉操作音	開閉音1	94
81163静止画撮影シャッター音	標準	94
81164動画撮影シャッター音	標準	94
8117充電確認音	ON	94
8118通話保留・警告音		
81181応答保留ガイダンス設定	保留音：内蔵音	68
81182通話保留音	ENTERTAINER	94
81183通話品質アラーム音	アラームOFF	94
81184再接続アラーム音	アラームOFF	94
81185電池アラーム音	ON	94
8119メロディコール設定	－	93
812音量設定		
8121電話着信･受話音量		
81211電話着信音量	Level 4	92
81212受話音量	Level 4	92
8122メール・メッセージ着信音量	Level 4	92
8123GPS測位鳴動音量	Level 4	92
8124ｉコンシェル着信音量	Level 4	92
8125アラーム音量		
81251目覚まし音量	Level 4	92
81252目覚ましワンセグ音量	Level 15	92
81253スケジュール音量	Level 4	92
8126ｉアプリ音量	Level 4	92
8127トルカ取得音量	Level 4	92
8128キー／開閉操作音量	Level 4	92
8129メロディ音量	Level 4	92
813バイブレータ設定		
8131電話着信時		
81311電話着信時	OFF	93
81312テレビ電話着信時	OFF	93
81313プッシュトーク着信時	OFF	93
8132メール・メッセージ着信時		
81321メール着信時	OFF	93
81322メッセージR着信時	OFF	93
81323メッセージF着信時	OFF	93
8133GPS測位時		
81331現在地確認時	OFF	93
81332現在地通知時	パターンB	93
81333位置提供／許可時	パターンC	93
81334位置提供／毎回確認時	パターンC	93
8134ｉコンシェル着信時	OFF	93
8135アラーム鳴動時		
81351目覚まし鳴動時	OFF	93
81352スケジュール鳴動時	OFF	93
8136ｉアプリ利用時	ON	93
814マナーモード選択	通常マナーモード	95
815呼出動作開始時間設定	着信呼出動作：OFF	127
816ステレオ効果設定		
8161動画（ｉモーション）	OFF	93
8162メロディ	ON	93
8163ミュージックプレーヤー	OFF	93
817音楽再生音優先設定	ON	240
82ディスプレイ		
821待受画面設定		
8211待受画面選択	きせかえツールに従う	96
8212時計表示設定	デザイン：ON／デジタル2（端末色：Champagne)、デジタル3（端末色：Black)、デジタル+アナログ1（端末色：Cyan)、デジタル+アナログ2（端末色：Rose） 形式：24時間表示 表示位置：上 曜日：英語	108
8213電池アイコン設定	きせかえツールに従う	106
8214アンテナアイコン設定	きせかえツールに従う	106
8215カレンダー／待受カスタマイズ	－	97
8216テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通 テロップ文字サイズ：中 テロップパターン：パターン1	188

メニュー	お買い上げ時	参照
8217待受ショートカット	ウォーキングチェッカー設定、照明／キーバックライト設定、フィンガーポインター設定、待受ショートカットの使い方、ワンセグ、ｉコンシェル	330
8218インフォメーション表示設定	表示する	189
822メニュー設定		
8221表示メニュー設定	きせかえメニュー	102
8222セレクトメニュー登録	ミュージックプレーヤー、2in1モード切替、指紋のみ認証設定、開閉ロック、プライバシーモード起動設定、省電力モードON／OFF、ホーム、現在地確認	332
8223リセット		
82231メニュー操作履歴リセット	―	105
82232メニュー設定オールリセット	―	105
823各種画面設定		
8231スクリーン設定	シャンパン（端末色：Champagne）、ブラック（端末色：Black）、シアン（端末色：Cyan）、ローズ（端末色：Rose）	102
8232電話発着信画像設定		
82321電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	98
82322電話着信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	99
82323テレビ電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	98
82324テレビ電話着信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	99
82325人物画像表示設定	ON	100
82326発番号なし動作設定	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	126
8233メール送受信画像設定		
82331メール送信画像設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	100
82332メール受信画像設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	100
82333メール着信結果画像設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	100
82334問合せ画像設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	100
8234テレビ電話画像選択	［代替画像］ イメージ表示：標準キャラ電 ［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］ イメージ表示：標準画像	73

メニュー	お買い上げ時	参照
8235着信表示設定		
82351電話／メール着信時設定	メインディスプレイ着信表示 電話着信時表示：名前＋電話番号 メール着信時テロップ表示：名前＋題名 背面ディスプレイ着信表示 電話、メール着信時表示：名前表示	123
82352不在着信お知らせ	ON	106
824照明／キーバックライト設定		
8241照明点灯時間設定	通常時：10秒 ACアダプタ接続時、ｉアプリ：端末設定に従う ｉモード中、静止画撮影中、動画撮影中、ｉモーション：常時点灯	100
8242画面オフ時間設定	1分	101
8243明るさ調整	自動調整	101
8244キーバックライト設定	キーバックライト、着信イルミネーションパターン：ON キーバックライト色：キー連動（レインボー）	101
825イルミネーション設定		
8251着信イルミネーション	すべてのイルミネーションパターン：往復点灯 電話、テレビ電話、プッシュトーク着信イルミネーションカラー：ライム メール、メッセージR/F、ｉコンシェル着信、トルカ取得イルミネーションカラー：アクア トルカ取得イルミネーション：ON	106
8252通話中イルミネーション	通話中イルミネーション：ON イルミネーションカラー：レインボー	106
8253GPS測位イルミネーション	現在地確認イルミネーションパターン：OFF 現在地通知、位置提供／許可、位置提供／毎回確認イルミネーションパターン：点灯 現在地通知イルミネーションカラー：アメジスト 位置提供／許可、位置提供／毎回確認イルミネーションカラー：グレープ	106
8254ICカードアクセスイルミネーション	ICカードイルミネーション：ON イルミネーションカラー：レモン	106

メニュー	お買い上げ時	参照
8255開閉イルミネーション	開閉イルミネーション：ON イルミネーションカラー：ソーダ	106
826文字表示設定		
8261文字サイズ設定	中（標準）	107
8262フォント選択	漢字／英数字：丸ゴシック ひらがな／カタカナ：漢字／英数字と同じ	107
8263Select language	日本語	108
827背面ディスプレイ設定		
8271背面画像設定	時計パターン：デジタル1（端末色：Champagne、Rose）、デジタル2（端末色：Black、Cyan） 着信、メール受信画像：パターン1（端末色：Champagne、Rose）、パターン2（端末色：Black、Cyan）	100
8272自動点灯設定	ON	100
828マチキャラ設定	表示設定：ON／ひつじのしつじくん	102
829省電力設定		
8291省電力モードON／OFF	OFF	101
8292省電力動作設定	標準省電力	101
83きせかえ／ライフスタイル		
831きせかえツール	―	103
832トータルカスタマイズ	―	105
833ライフスタイル設定	―	96
84セキュリティ／ロック		
841ロック		
8411開閉ロック	開閉ロック：OFF	125
8412オートキーロック	オートキーロック：OFF	125
8413オールロック	―	114
8414パーソナルデータロック	OFF	117
8415ICカードロック		
84151ICカードロック	OFF	266
84152ICカードロック時動作設定	ICカード機能停止	266
84153ICカードオートロック設定	オートロック：OFF	266
84154ICカードロック解除予約	―	267
84155電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	266

メニュー	お買い上げ時	参照
8416ダイヤル発信制限	OFF	118
842プライバシーモード		
8421電話とメールの設定	電話・履歴：指定電話帳非表示 メール・履歴：指定フォルダを非表示 シークレット属性電話着信動作：未登録番号として扱う シークレット属性メール着信動作：表示・通知しない プライバシー新着通知：OFF	119
8422その他の表示設定	マイピクチャ、ｉモーション：指定アルバムを非表示 マイドキュメント、その他、Bookmark：指定フォルダを非表示 スケジュール：指定スケジュール非表示 テキストメモ、ｉアプリ、位置履歴（GPS）、画面メモ：表示する	119
8423プライバシーモード起動設定	起動／解除操作：なし 自動起動：OFF	120
8424シークレット反映	―	122
843セキュリティランプ設定	ON	125
844電話／メール着信時設定	メインディスプレイ着信表示 電話着信時表示：名前＋電話番号 メール着信時テロップ表示：名前＋題名 背面ディスプレイ着信表示 電話、メール着信時表示：名前表示	123
845FOMAカード（UIM）	[PIN1コード変更、PIN2コード変更] 0000 [PIN1コードON/OFF] OFF	111
846暗証番号／指紋設定		
8461暗証番号変更	0000	111
8462指紋登録	―	113
8463登録済み指紋一覧	―	114
8464指紋のみ認証設定	OFF	114
847スキャン機能		
8471パターンデータ更新	―	433
8472自動更新設定	―	433
8473スキャン機能設定	スキャン機能、メッセージスキャン：有効	433

メニュー	お買い上げ時	参照
8474バージョン表示	—	434
848パスワードマネージャー	—	356
85発着信・通話機能		
851電話発着信設定		
8511電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	98
8512電話着信設定	着信音：メロディ／着信音1 イメージ表示：きせかえツールに従う バイブレータ：OFF イルミネーション：往復点灯／ライム	90
8513発着信識別表示	識別表示：OFF	100
852発番号なし動作設定	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	126
853エニーキーアンサー設定	ON	67
854イヤホン機能設定		
8541イヤホン切替設定	イヤホン+スピーカー	342
8542オート着信設定	自動着信機能：オート着信なし	342
8543イヤホンスイッチ発信設定	イヤホンスイッチ発信設定：OFF	341
855メモリ着信拒否／許可		
8551メモリ別着信拒否／許可	拒否設定	126
8552メモリ登録外着信拒否	OFF	128
856発着信詳細設定		
8561マルチアクセス中表示	設定なし	68
8562プレフィックス設定	プレフィックス1：009130010	66
8563サブアドレス設定	ON	66
857通話詳細設定		
8571ノイズキャンセラ設定	ON	66
8572通話中クローズ設定	切断	68
858セルフモード設定	OFF	116
86テレビ電話／プッシュトーク		
861テレビ電話		
8611テレビ電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	98
8612テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／ハープ イメージ表示：きせかえツールに従う バイブレータ：OFF イルミネーション：往復点灯／ライム	90

メニュー	お買い上げ時	参照
8613テレビ電話動作設定	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 受信画質設定：標準 明るさ調整：自動調整 スピーカーホン設定：ON ビューアスタイル応答画像：代替画像応答	73
8614パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	74
8615テレビ電話画像選択	［代替画像］ イメージ表示：標準キャラ電 ［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］ イメージ表示：標準画像	73
8616テレビ電話使用機器設定	本体	74
8617テレビ電話切替機能通知		
86171切替機能通知開始	—	74
86172切替機能通知停止	—	74
86173切替機能通知設定確認	—	74
862プッシュトーク		
8621プッシュトーク着信設定	着信音：メロディ／着信音3 バイブレータ：OFF 着信イルミネーション：往復点灯／ライム	90
8622プッシュトーク呼出時間設定	呼出時間（秒）：30	78
8623プッシュトーク自動応答設定	自動応答なし	78
8624プッシュトーク中着信設定	通常着信	78
8625プッシュトーク中クローズ設定	スピーカー通話	79
8626ｉモード中プッシュトーク着信	プッシュトーク着信優先	79
8627プッシュトークスピーカーホン設定	ON	79
87時計／入力／他		
871時計		
8711日付時刻設定※4	自動時刻・時差補正：ON オフセット時間：＋／00時間00分	55
8712自動電源ON設定	自動電源ON：OFF	324
8713自動電源OFF設定	自動電源OFF：OFF	324

メニュー	お買い上げ時	参照
8714時計表示設定	デザイン：ON／デジタル2（端末色：Champagne）、デジタル3（端末色：Black）、デジタル+アナログ1（端末色：Cyan）、デジタル+アナログ2（端末色：Rose） 形式：24時間表示 表示位置：上 曜日：英語	108
8715アラーム自動電源ON設定	OFF	326
8716ライフスタイル設定	―	96
872文字入力設定		
8721単語登録	―	355
8722ダウンロード辞書	―	356
8723変換学習リセット	―	352
8724定型文	―	354
8725入力設定	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	357
873文字サイズ設定	中（標準）	107
874ソフトウェア更新※5	［更新実行］― ［自動更新設定］ 自動更新設定：自動で更新 曜日：指定なし 時刻：03時00分	429
875情報表示／リセット		
8751通話料金・時間機能		
87511通話時間	―	336
87512通話料金		
875121通話料金表示	―	336
875122通話料金上限通知	通話料金上限通知：OFF	337
875123上限通知アイコン消去	―	337
875124通話料金自動リセット設定	OFF	336
8752リモート機能設定確認	―	132
8753メモリ確認	―	312
8754設定状況確認	―	348
8755電池レベル表示	―	53
8756在圏状態表示	―	378
8757各種設定リセット	―	130

メニュー	お買い上げ時	参照
8758データ一括削除	―	130
8759初期設定	［日付時刻設定］自動時刻・時差補正：ON ［暗証番号設定］0000 ［指紋設定］OFF ［キー確認音設定］キー音1 ［文字サイズ設定］中（標準） ［位置提供可否設定］位置提供OFF ［フィンガーポインター設定］ フィンガーポインターの有効範囲：フルブラウザ／iアプリ有効 ポインターの移動速度：標準 ダブルタップの速度：標準	54
876サイドキー長押し設定	サイド上キー長押し：マナーモード設定／解除 サイド下キー長押し：iモード問合せ	333
877フィンガーポインター設定	フィンガーポインターの有効範囲：フルブラウザ／iアプリ有効 ポインターの移動速度：標準 ダブルタップの速度：標準	45
878モーションセンサー設定	ON	46
88NWサービス		
881留守番電話		
8811留守番電話サービス		
88111留守番電話サービス開始	―	362
88112留守番呼出時間設定	―	362
88113留守番サービス停止	―	362
88114留守番設定確認	―	362
88115留守番メッセージ再生	―	362
88116留守番サービス設定	―	362
88117留守番テレビ電話設定	―	362
88118メッセージ問合せ	―	362
8812件数増加鳴動設定	件数通知音：ON 通知メロディ：着信音1	362
8813着信通知		
88131着信通知開始	―	362
88132着信通知停止	―	362
88133着信通知開始設定確認	―	362
8814表示消去	―	362

メニュー	お買い上げ時	参照
882キャッチホン／転送でんわ		
8821キャッチホン		
88211キャッチホンサービス開始	―	363
88212キャッチホンサービス停止	―	363
88213キャッチホンサービス設定確認	―	363
8822転送でんわ		
88221転送サービス開始	―	363
88222転送サービス停止	―	363
88223転送先変更	―	363
88224転送先通話中時設定	―	363
88225転送サービス設定確認	―	363
883着もじ		
8831メッセージ作成	―	62
8832メッセージ表示設定	番号通知ありのみ	62
884番号通知		
8841発信者番号通知		
88411発信者番号通知設定	―	56
88412発信者番号通知確認	―	56
8842番号通知お願いサービス		
88421番号通知開始	―	364
88422番号通知停止	―	364
88423番号通知設定確認	―	364
885ローミングガイダンス設定		
8851ローミングガイダンス開始	―	378
8852ローミングガイダンス停止	―	378
8853ローミングガイダンス設定確認	―	378
886OFFICEED		
8861エリア表示設定	OFF	369
8862圏外転送開始	―	369
8863圏外転送停止	―	369
8864圏外転送設定確認	―	369
8872in1設定		
88712in1モード切替	デュアルモード	367
8872電話帳2in1設定	―	367

メニュー	お買い上げ時	参照
8873モード別待受画面設定		
88731デュアルモード待受画面	シティ	367
88732Bモード待受画面	グリーン	367
8874発着信番号設定		
88741Bナンバー着信設定	［電話着信音設定］電話：メロディ／着信音4 ［テレビ電話着信音設定］テレビ電話：メロディ／Jam Ring ［メール着信音設定］メール：メロディ／You've got mail 鳴動時間（秒）：10	367
88742発着信識別表示	Aナンバー識別表示：OFF Bナンバー識別表示：ON 識別記号：《》	367
88752in1機能OFF	―	367
8876着信回避設定		
88761着信回避設定変更	―	367
88762着信回避設定確認	―	367
88763モード切替連動設定	―	367
88764着信回避設定（海外）	―	367
888メロディコール設定	―	93
889その他のNWサービス		
8891追加サービス		
88911USSD登録	―	369
88912応答メッセージ登録	―	369
8892遠隔操作設定		
88921遠隔操作開始	―	365
88922遠隔操作停止	―	365
88923遠隔操作設定確認	―	365
8893迷惑電話ストップ		
88931迷惑電話着信拒否登録	―	364
88932電話番号指定拒否登録	―	364
88933迷惑電話全登録削除	―	364
88934迷惑電話1登録削除	―	364
88935拒否登録件数確認	―	364
8894英語ガイダンス		
88941ガイダンス設定	―	364

メニュー	お買い上げ時	参照
88942ガイダンス設定確認	—	364
8895デュアルネットワーク		
88951デュアルネットワーク切替	—	364
88952デュアルネットワーク状態確認	—	364
8896サービスダイヤル		
88961ドコモ故障問合せ	—	365
88962ドコモ総合案内・受付	—	365
8897マルチナンバー		
88971通常発信番号設定	—	366
88972通常発信番号設定確認	—	366
88973電話番号設定	基本契約番号　名称：基本契約番号 電話番号：ご契約電話番号 付加番号1　名称：付加番号1 付加番号2　名称：付加番号2 付加番号1、2　電話番号：未登録 マルチナンバー発信：無効	366
88974着信設定	［付加番号1、付加番号2］ 個別設定：OFF	366
8898通話中着信設定		
88981通話中着信設定開始	—	365
88982通話中着信設定停止	—	365
88983通話中着信設定確認	—	365
8899通話中の着信動作選択	通常着信	365
89国際ローミング／ダイヤルアシスト		
891NWサービス（海外）		
8911留守番電話（海外）		
89111留守番サービス開始	—	379
89112留守番サービス停止	—	379
89113留守番メッセージ再生	—	379
89114留守番サービス設定	—	379
89115留守番呼出時間設定	—	379
8912転送でんわ（海外）		
89121転送サービス開始	—	379
89122転送サービス停止	—	379
89123転送サービス設定	—	379

メニュー	お買い上げ時	参照
8913遠隔操作設定（海外）	—	379
8914番号通知お願い（海外）	—	379
8915ローミングガイダンス（海外）	—	379
892国際ローミング設定		
8921ネットワークサーチ設定	オート	377
89223G/GSM切替	自動	377
8923オペレータ名表示設定	表示あり	378
8924ローミング時着信規制		
89241ローミング時着信規制開始	—	378
89242ローミング時着信規制停止	—	378
89243ローミング時着信規制確認	—	378
8925ローミング着信通知設定		
89251ローミング着信通知開始	—	378
89252ローミング着信通知停止	—	378
89253ローミング着信通知設定確認	—	378
89254ローミング着信通知設定（海外）	—	378
893国際ダイヤルアシスト設定		
8931自動変換機能設定	国番号変換：ON（国番号：81、国名称：日本） 国際プレフィックス変換：ON（名称：World Call、国際アクセス番号：009130010）	65
8932国番号設定	—	65
8933国際プレフィックス設定	—	65
894デュアル時計設定	ON	378

■MUSIC

メニュー	お買い上げ時	参照
91ミュージックプレーヤー	—	235
92Music&Videoチャネル	—	228 229

■おサイフケータイ

メニュー	お買い上げ時	参照
*1ICカード一覧	—	265

メニュー	お買い上げ時	参照
＊2DCMX	－	265
＊3トルカ	－	269
＊4ICカードロック設定		
＊41ICカードロック	OFF	266
＊42ICカードロック時動作設定	ICカード機能停止	266
＊43ICカードオートロック設定	オートロック：OFF	266
＊44ICカードロック解除予約	－	267
＊45電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	266
＊5トルカ設定		
＊51トルカ取得確認設定	イルミネーション設定：ON イルミネーションカラー：アクア トルカ取得音量：レベル4	271
＊52ICカードからトルカ取得	トルカ取得設定、重複チェック設定、自動表示設定：ON 自動振り分け設定：OFF	270
＊53自動読取機能設定	ON	271
＊54トルカ振り分け設定	－	271
＊55ワンセグからトルカ取得	ON	226
＊6ICオーナー確認	－	265
＊7ICオーナー変更	－	265
＊8ｉモードで探す	－	264

■プロフィール

メニュー	お買い上げ時	参照
0プロフィール情報	あなたの名前、メールアドレス：－ 自局電話番号：ご契約電話番号	56 333

■ｉコンシェル

メニュー	お買い上げ時	参照
#ｉコンシェル	－	189

※1 各種設定リセットを行うと、FOMAカードに保存されている証明書もすべて有効になります。
※2 USBケーブル接続中は、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。
※3 ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
※4 各種設定リセットを行うと、自動時刻・時差補正（タイムゾーン、サマータイム含む）とオフセット時間がお買い上げ時の設定に戻ります。
※5 各種設定リセットを行うと、自動更新設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

きせかえツールの「Simple Menu」を設定した場合

1電話	1電話帳検索	5ｉアプリ	1ソフト一覧
	2電話帳登録		2待受画面選択
	3リダイヤル		3ｉアプリ設定
	4着信履歴	6データBOX	1マイピクチャ
	5伝言メモ設定		2ミュージック
	6伝言メモ一覧		3ｉモーション
	7プロフィール情報		4メロディ
2メール	1受信メール		5マイドキュメント
	2送信メール		6キャラ電
	3未送信メール		7ワンセグ
	4新規メール	7設定／アクセサリー	1音／バイブ
	5ｉモード問合せ		2ディスプレイ
3ワンセグ／カメラ	1ワンセグ視聴		3目覚まし
	2カメラ		4電卓
	3マイピクチャ		5赤外線受信
	4待受画面選択		6情報表示／リセット
4ｉモード	1ｉMenu		7留守番電話
	2Bookmark	0プロフィール情報	
	3ラストURL		
	4画面メモ		
	5ｉチャネル一覧		
	6テロップ表示設定		

メロディ一覧

◆着信音用メロディ

- 赤文字のメロディは3Dサウンドに対応しています。

メロディ一覧（［　］内は作曲者名）	
着信音1～6	でか着信音
シャボン玉［中山　晋平（作詞：野口雨情）］	我は海の子［文部省唱歌］
悲愴よりアダージョ［Ludwig Van Beethoven］	水族館［Charles Camille Saint Saens］
ラデツキー行進曲［Johan Strauss］	ツィゴイネルワイゼン［Pablo de Sarasate］
Turning off	Satellite
SWEET RASPBERRY	Manhattan Blue
Joy Rhythm	Jam Ring
Just Ride	Forest
Sea	SHORT SOUND1～10
着信中！	インフォメーションを受信しました
メールがきたぁ	メッセージお届け
You've got mail	It's time to get up
Pool Bar	黒電話
ハープ	目覚まし時計
もうすぐ予定の時間です	時間になりました
無音	

◆メール添付用メロディ

メロディ一覧（［　］内は作曲者名）	
誕生日	ウィリアムテル序曲［GIOACCHINO ANTONIO ROSSINI］
結婚行進曲［J L FELIX MENDELSSOHN BARTHOLDY］	祝婚歌［WILHELM RICHARD WAGNER］
運命［LUDWIG VAN BEETHOVEN］	ジングルベル［JAMES PIERPONT］
タフワフワイ［ハワイ民謡］	さくら［日本民謡］
紅葉［岡野　貞一］	雪［文部省唱歌］
おもちゃの兵隊のマーチ［LEON JESSEL］	登場
3･3･7拍子	Are you sleeping?［フランス民謡］
トッカータとフーガ［JOHANN SEBASTIAN BACH］	子守唄［FRANZ SCHUBERT］
蛍の光［スコットランド民謡］	ハッピー　お出掛け　スキップ　メリーゴーランド　安らぎ　頑張れ　ヤッター　ファイト　焦燥　16ビート　忙しい　エレクトロ　ハーモニカ　迷宮　タンゴ　エキゾチック　アジアン　中華　南国　琴　草津節　お祭り　悲哀　不安　がっくり　発見　チャイム　お知らせ

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

キー	ひらがな／漢字モード（全角）	カナモード（全角または半角）	英字モード（全角または半角）	数字モード（全角または半角）※1
1	あ い う え お	ア イ ウ エ オ 1	. ／ @ ー ： ～※2 _ 1	1
2	か き く け こ	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー	ワ※3 ヲ ン ー 0	0	0 +※4
*	大文字と小文字の切り替え 濁点、半濁点の付加 改行	大文字と小文字の切り替え 濁点、半濁点の付加 改行	大文字と小文字の切り替え 改行	＊ P※4
#	、 。 ？ ！ ・ ■	、 。 ？ ！ ・ ■	, . ? ! ' - & ( ) ￥ ■	# T※4
✉			※半角の場合のみ入力できます。 @docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	

■：半角空白　（網掛け）：ダイヤルキーを押し続けても大文字と小文字が切り替わります。

※1 「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。

※2 半角の場合は「~」が入力されます。

※3 全角の場合のみ大文字と小文字が切り替わります。

※4 該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

絵文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

絵文字	読　み
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ
	はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと
	はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち
	かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ
	かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ
	かお、かなしい、こまった、ごめん、がく
	かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ
	かお、だめ、ふら
	どうぶつ、いぬ
	どうぶつ、ねこ
	てんき、はれ、たいよう
	てんき、くもり、くも
	てんき、あめ、かさ
	てんき、ゆき、ゆきだるま
	てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき
	てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい
	てんき、きり、あめ
	てんき、こさめ、あめ、かさ
♪	おんぷ、おんがく、うた、るん
	おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど
	おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん
	はな、かわいい

絵文字	読　み
	きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく
	きらきら、ぴかぴか
	でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき
	いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか
	がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう
	ばくだん、ばくはつ
zzz	おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう
!	びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
!?	びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
!!	びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
	しょっく、ぐらぐら、どん
	あせ、あせる、ひやあせ
	あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー
	いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる
	のばす、ちょうおん、ちょーおん
	のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん
OK	おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい
↗	やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ
↘	やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした
↖	やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ

絵文字	読　み
	やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした
	やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと
	やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと
	かお、め、からだ
	かお、みみ、からだ
	ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ
	ちょき、じゃんけん、て、ぴーす
	ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい
	あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける
	とらんぷ、はーと、あい、こころ
	とらんぷ、すぺーど
	とらんぷ、だいや
	とらんぷ、くらぶ
	のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき
	のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ
	のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい
	のりもの、こうつう、ばす
	のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい
	のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう
	のりもの、よっと、ふね、りぞーと
	つりー、くりすます、き
	いえ、うち、おうち、じたく

絵文字	読　み
	びる、かいしゃ、しょくば、がっこう
	ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと
	びょういん、びょうき、けが
	ぎんこう、ばんく
	えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう
	ほてる
	こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ
	がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど
	ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ
	しんごう、しんごうき
	といれ、かっぷる、でーと、けっこん
	しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす
	こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ
	かくてる、おさけ、さけ、ばー
	びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい
	はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど
	はいひーる、ひーる、くつ、あし
	はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや
	まいく、からおけ、うた、うたう
	えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお
	うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち
	おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん
	え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと
	えんげき、ひと、しんし、ぼうし
	いべんと、はた
	ちけっと、きっぷ
	すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ

絵文字	読　み
	すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごるふ
	すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと
	すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる
	すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる
	すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ
	ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー
	たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく
	たばこ、しがー、しがれっと、きんえん
	かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ
	かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう
	ほん、のーと、しょしんしゃ
	りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ
	ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの
	ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー
	でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ
	けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん
	めーる、てがみ
	めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん
	てれび、がめん、ばんぐみ
	げーむ、こんとろーら
	しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく
	くつ、しゅーず、すにーかー、あし
	めがね

絵文字	読　み
	くるまいす
	せいざ、おひつじざ、おひつじ
	せいざ、おうしざ、おうし
	せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい
	せいざ、かにざ、かに
	せいざ、ししざ、しし
	せいざ、おとめざ、おとめ
	せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち
	せいざ、さそりざ、さそり
	せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ
	せいざ、やぎざ、やぎ
	せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ
	せいざ、うおざ、うお、さかな
	つき、しんげつ、まる
	つき
	つき、はんげつ
	つき、みかづき
	つき、まんげつ、まる
	でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん
	めーる、てがみ、じゅしん
	ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん
	あいもーど、あい、どこも
	あいもーど、あい、どこも
	どこもていきょう、でい、でー、でぃー
	どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー
	えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん
	ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー

絵文字	読　み
ID	あいでぃ、あいでぃー、あいでー
	かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく
	かいぎょう、まがる、つづく、つづき
CL	さくじょ、しーえる、くりあ、くーる
	さがす、しらべる、むしめがね、さーち
NEW	にゅー、にゅう、あたらしい、しん
	はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち
	だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある
#	しゃーぷ
	もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー
1	いち、すうじ、ばんごう
2	に、すうじ、ばんごう
3	さん、すうじ、ばんごう
4	よん、し、すうじ、ばんごう
5	ご、すうじ、ばんごう
6	ろく、すうじ、ばんごう
7	しち、なな、すうじ、ばんごう
8	はち、すうじ、ばんごう
9	きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう
0	ぜろ、れい、すうじ、ばんごう
	かちんこ、さつえい、すたーと、はこ
	ふくろ、つぼ
	ぺんさき、ぺん
	はんこ、ひと、ひとかげ
	いす、ざせき、すわる
	よる、よなか、しんや、れいと
soon	すぐ、もうすぐ、すーん

絵文字	読　み
ON!	おん
end	おわり、えんど
	じかん、じこく、たいむ、とけい
	じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの
	れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ
	ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー
	えんぴつ、ぶんぼうぐ
	くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ
	やじるし、さゆう
	やじるし、じょうげ
	やじるし、りさいくる、かいてん、まわる
NG	えぬじー、だめ
秘	ひみつ、まるひ
禁	きんし、げんきん、だめ
空	くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から
合	ごうかく
満	まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる
	けいこく、きけん、びっくり
©	こぴーらいと、しー、まるしー
TM	とれーどまーく、てぃーえむ
®	れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	どるぶくろ、どる、かね、おかね
	うでどけい、とけい、うぉっち
	すなどけい、とけい
	おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう

絵文字	読　み
	けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし
	ぱん、ぶれっど
	どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば
	ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ
	とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ
	わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ
	ばなな、くだもの
	りんご、あっぷる、くだもの
	さくらんぼ、ちぇりー、くだもの
	くろーばー、よつば、はっぱ
	ちゅーりっぷ、はな
	わかば、ふたば、はっぱ
	もみじ、こうよう、はっぱ
	さくら、はな
	かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし
	ひよこ、とり、どうぶつ
	ぺんぎん、とり、どうぶつ
	さかな、おさかな、どうぶつ
	うま、どうぶつ
	ぶた、どうぶつ、ぶー
	しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ
	ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく
	けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ
	ゆびわ、あくせさりー、りんぐ
	おうかん、かんむり、おうさま
	べる、ちゃぺる、かね
	どあ、とびら、と

絵文字	読　み
	がっこう、だいがく
	なみ、うみ、つなみ、おおなみ
	ふじさん、やま
	すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる
	すぽーつ、うんどう、はしる、にげる
	かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる
	かお、ほっ
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	かお、おこる、ぷー、ぶー
	かお、ぼけー、しらー、しらけ
	かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい
	かお、あっかんべー、べー、いたずら
	かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち
	かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ
	かお、がまん
	かお、どうぶつ、ねこ
	かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお
	かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお
	かお、おいしい、うまい、まんぞく
	かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし
	かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく
	て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと
	てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ
	がまぐち、さいふ、おかね、かね

特殊記号一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

読　み	入力文字
あーる	Ｒ ｒ ㌃
あい	Ｉ ｉ
あすたりすく	＊
あすてりすく	＊
あっとまーく	＠
あるふぁ	Α α
あるふぁー	Α α
あんだーばー	＿
あんど	＆
あんぱさんど	＆
いー	Ε ｅ
いーた	Η η
いおた	Ι ι
いこーる	＝
いち	① Ⅰ
いぷしろん	Ε ε
うぷしろん	Υ υ
えい	Ａ ａ
えいち	Ｈ ｈ
えー	Ａ ａ
えす	Ｓ ｓ
えっくす	Ｘ ｘ

読　み	入力文字
えっち	Ｈ ｈ
えぬ	Ｎ ｎ
えふ	Ｆ ｆ
えむ	Ｍ ｍ
える	Ｌ ｌ
えん	￥
おう	Ｏ ｏ
おー	Ｏ ｏ
おーむ	Ω ω
おす	♂
おなじ	々 〃
おみくろん	Ο ο
おめが	Ω ω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かい	Χ χ
かける	×
かっこ	「」 『』 【】 ‘’ “” （） 〔〕 ［］ ｛｝ ＜＞ 《》
かっぱ	Κ κ
かぶ	㈱

読　み	入力文字
かぶしきがいしゃ	㈱ ㏍
から	～
かろりー	㌍
がんま	Γ γ
がんまー	Γ γ
きー	Χ χ
きごう	＜＞＠／〃 ±々×≠÷ ≦≧∴§＼ ∞∧∈∨¬ ∋∀⊆⊇∃ ∠⊂⊥⊃⌒ ∪∩∂⊿∇ Σ≡≒∮≪ 〟〝≫∟√ ∽∝∵∫∬ Å‰†‡¶
きゅー	Ｑ ｑ
きゅう	⑨ Ⅸ
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨ Ⅸ

読　み	入力文字
くさい	Ξ ξ
ぐざい	Ξ ξ
くしー	Ξ ξ
ぐらむ	㌘
くろぼし	★
くろまる	●
けい	Κ ｋ
けー	Κ ｋ
ご	⑤ Ⅴ
ごうどう	≡
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
さん	③ Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④ Ⅳ
しー	Ｃ ｃ
じー	Ｇ ｇ
しーしー	㏄
しーた	Θ θ
じーた	Ζ ζ
じぇい	Ｊ ｊ

読　み	入力文字
じぇー	Ｊｊ
しかく	□■◇◆
しぐま	Σσ
しち	⑦Ⅶ
しめ	〆
しゃーぷ	＃
しゃせん	／＼
じゅう	⑩Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうきゅう	⑲
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうなな	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
しょうなり	＜
しょうわ	㍼
しろぼし	☆
しろまる	○
ずけい	☆★○●◎ ◇◆□■△ ▲▽▼

読　み	入力文字
すらっしゅ	／＼
ぜーた	Ζζ
せくしょん	§
せっし	℃
ぜっと	Ｚｚ
せみころん	；
せんち	㎝㌢
せんちめーとる	㎝
せんと	￠㌣
だい	㈹
たいしょう	㍽
だいなり	＞
だいひょう	㈹
たう	Ττ
だがー	†
だくてん	゛
たす	＋
だぶりゅ	Ｗｗ
だぶりゅー	Ｗｗ
だぶるだがー	‡
たんい	°′″℃￥ ＄￠￡％
てぃー	Ｔｔ
でぃー	Ｄｄ
てー	Ｔｔ
でー	Ｄｄ
でるた	Δδ

読　み	入力文字
てん	、，…．’” ‘“｀´¨ ヽヾゝゞ 、｀'"
てんてん	‥…
でんわ	℡
ど	℃°
どう	々〃仝
どしー	℃
どる	＄㌦
とん	㌧
ないし	〜
なぜならば	∵
なな	⑦Ⅶ
なみ	〜
なんばー	№
に	②Ⅱ
にじゅう	⑳
にじゅうまる	◎
にゅー	Νν
のま	々
ぱーせんと	％㌫
ぱーみる	‰
ぱい	Ππ
はいふん	‐
はち	⑧Ⅷ
ばつ	×

読　み	入力文字
はてな	？
はんだくてん	゜
びー	Ｂｂ
ぴー	ＰｐΠπ
ひく	−
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びょう	″
ふぁい	Φφ
ぶい	Ｖｖ
ふぃー	Φφ
ぷさい	Ψψ
ぷしー	Ψψ
ふとうごう	＜＞≦≧≠ ≪≫
ぷらす	＋
ぷらすまいなす	±
ふらっと	♭
ふん	′
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡
ぺーじ	㌻
べーた	Ββ
べーたー	Ββ
へくたーる	㌶
ほし	☆★※
ぽんど	￡

読　み	入力文字
まいなす	−
まる	○ ● ◎ ｡ ． ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨
みゅー	Μ μ

読　み	入力文字
みり	㎜ ﾐﾘ
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
むげん	∞
むげんだい	∞
めいじ	㍾
めーとる	㍍
めす	♀

読　み	入力文字
やじるし	→←↑↓ ⇒⇔
ゆう	㈲
ゆー	Ｕ ｕ
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆえに	∴
ゆぷしろん	Υ υ

読　み	入力文字
よん	④ Ⅳ
らむだ	Λ λ
りっとる	㍑
ろー	Ρ ρ
ろく	⑥ Ⅵ
わい	Ｙ ｙ
わっと	㍗
わる	÷

※ 実際の表示と異なるものがあります。
※ 入力文字には全角のみ、半角のみ、全角と半角の両方が存在するものがあります。

顔文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。　　は、「かお」または「かおもじ」と入力しても変換できます。

・挨拶・返事（19件）

顔文字	読　み
(^-^)/~~	あいさつ、ばい
(ˆ ˆ)ﾉｼ	あいさつ、ばいばい
(^_^)/~	あいさつ、ばいばい
ヾ(^_^) byebye!!	あいさつ、ばいばい
(^^)/	あいさつ、おーい、じゃあ、どーも、よろしく
(^-^)/	あいさつ、おーい、じゃあ、どーも、よろしく
(^^)/~~~	あいさつ、ばいばい
(^_^)/	あいさつ、おーい
(〃⌒ー⌒〃)ゞ	あいさつ、にこっ
～('-'*)	あいさつ、やぁ
(*^-^)ﾉ	あいさつ、ちわっ
ヾ(´ω`＝´ω`)ノ	あいさつ、おはよう
(o^-')b	へんじ、ぐっ、ぐー
(≧ω≦)b	へんじ、ぐっ、ぐー
(・∀・∩)	へんじ、はい
('-^*)ok	へんじ、おっけー
(`_´)ゞ了解！	へんじ、りょうかい
(。･_･。)ﾉ	あいさつ、やあ
(=ﾟωﾟ)ﾉ	あいさつ、やあ

・笑う・うれしい（34件）

顔文字	読　み
(^-^)	わらう、にこっ
(^-^)v	うれしい、にこっ
(^o^)	うれしい、うほほ、にこっ、わーい
o(^o^)o	うれしい、うきうき
(o^_^o)	うれしい、にこっ
(*^_^*)	うれしい、にこっ
(･∀･)	わらう、きたー、にこっ
ヾ(^▽^)ﾉ	うれしい、わーい
ヽ(´ー`)ノ	うれしい、わーい
(*⌒▽⌒*)	うれしい、にこっ
(☆▽☆)	うれしい、きらーん
(^^)v	うれしい、やったね、ぴーす、にこっ、ぶい
(=⌒ー⌒=)	うれしい、にこっ
(´∀`)	うれしい、にこっ
(≧∀≦)	うれしい
:)	わらう、にこっ、すまいる
V(^0^)	うれしい、ぴーす
(^з^)/ﾁｭｯ	わらう、ちゅっ、にこっ
((o(^-^)o))	うれしい、わくわく
(^^)	わらう、にこっ
v(^o^)	うれしい、いえい、ぶい、ぴーす
(^_^)v	うれしい、やったね、ぴーす、にこっ、ぶい
(^･^)	わらう、にこっ
(^O^)	わらう、わーい
(^O^)/	わらう、おーい、はーい
(^O^)v	わらう、やったね、ぴーす、にこっ、ぶい
)^o^(	わらう、ほっぺがおちる
＼(^o^)／	わらう、わーい
:-)	わらう、にこっ、すまいる
ヽ(≧▽≦)/	うれしい、きゃー
d=(^o^)=b	うれしい、ぐー
ε＝ヾ(*~▽~)ノ	うれしい、きゃー
(@^O^@)	うれしい
(´艸`)	うれしい、むふふ

・照れる・怒る（18件）

顔文字	読　み
(^^ゞ	てれる、ぽりぽり
f(^_^)	てれる、てへ
(#^.^#)	てれる、にこっ、ぽっ
(*^.^*)	てれる、えへっ
(〃▽〃)	てれる、てれ
(*'-')	てれる、てへっ
(=ﾟωﾟ=)	てれる、てへっ
(*´д`*)	てれる、こまる、てれ
:p	てれる、てへっ
('∇')	てれる、うふふ
ヽ(*`Д´)ノ	おこる、こら、ごるあ、ごるぁ
o-_-)=○☆	おこる、ぱんち
(ノ-"-)ノ~┻━┻	おこる、ちゃぶだい
(-_-#)	おこる、こらっ
:-(	おこる、ふまん
Ψ(`◇´)Ψ	おこる、こら
(ノ`△´)ノ	おこる、こらっ
(●`ε´●)	おこる、ぷんぷん、むかっ

・泣く・悲しい（19 件）

顔文字	読　み
(>_<)	なく、あいた、いたい、いてー、ひぇー
(T^T)	なく、うるうる
(T_T)	なく、しくしく
(/_;)	なく、しくしく
(+_+)	かなしい、びくっ
(x_x;)	かなしい、がっくり
(/_・、)	なく、くすん
(つд｀)	なく、ぐすん
○｜￣｜＿	かなしい、がっくし
(´・ω・｀)	かなしい、しょぼん
(;O;)	なく、しくしく
(>_<。)	なく
(;_;)	なく、しくしく
(T-T)	なく、なき、うるうる
(TOT)	なく、なき、うるうる
(ノ_・。)	なく、いたい
:<	なく、かなしい
(；´дⅽ)	なく、なき、ぐすん
゜・(ノД`)・゜・	なく、えーん

・驚き（28 件）

顔文字	読　み
(*_*)	おどろき、びくっ
(・・?	おどろき、めがてん
(・・;)	おどろき、めがてん
(゜-゜)	おどろき、うーん
(@_@)	おどろき、びくっ
(--;)	おどろき、ぎくっ
(-_☆)	おどろき、きらーん
(￣□￣;)!!	おどろき、がーん
(゜o゜；)	おどろき、ぽかーん
Σ(￣□￣)！	おどろき、びっくり、がーん、ぎく
(￣◇￣;)	おどろき、えっ
ヽ(゜ロ゜；)ノ	おどろき、えっ
(;゜ロ゜)	おどろき、えっ
((((゜д゜;))))	おどろき、がくがく
(=_=;)	おどろき、ぎくっ、てつや
(・.・;)	おどろき、めがてん
(゜o゜)	おどろき、ぎくっ、ぎょ
(゜o゜;	おどろき、ぎくっ、ぎょ
(@_@。	おどろき、びくっ、ぎょっ
(゜Д゜)	おどろき、ぽかーん
(゜_゜)	おどろき、うーん
(・。・;	おどろき、めがてん
(・_・)	おどろき、めがてん
(・_・;	おどろき、めがてん
(・o・)	おどろき、めがてん
(゜o゜)/	おどろき、おおー、びっくり
(゜o゜;;	おどろき、ぎくっ
Σ(゜□゜;)	おどろき、がーん

・疑問・焦り（21 件）

顔文字	読　み
(^^;)	あせり、ぎくっ、あせ
(?_?)	ぎもん、なぜ
(-_-;)	あせり、ぎくっ、あせ
w=(゜o゜)=w	ぎもん、ばたばた
σ(^_^；)？	ぎもん、えっ
(;¬_¬)ｼﾞｰ	ぎもん、じー
O(><;)(;><)O	あせり、あたふた
(゜Д゜；≡；゜Д゜)	あせり、あたふた
^^;	あせり、ぎくっ
(^^;;	あせり、ぎくっ、あせ
(^_^;)	あせり、ぎくっ、あせ
(^-^;	あせり、ぎくっ、あせ
(~_~;)	あせり、ぎくっ、あせ
(¥_¥;	ぎもん、ぎくっ、あせ
(*_*;	あせり、びくっ
^_^;	あせり、ぎくっ、あせ
(?_?;	ぎもん、ぎくっ、なぜ
ε＝┌(・_・)┘	あせり、にげる
(゜∇゜;)	あせり、ぎくっ、あせ、えっ
((○(>_<)○))	あせり、じたばた
(;゜O゜)	あせり、ぎくっ、あせ

・その他（61 件）

顔文字	読　み
(~▽~@)♪♪♪	うたう
('◇')ゞ	りょうかい、おっけー、らじゃ
m(_ _)m	ぺこり
_(._.)_	ぺこり
<(_ _)>	ありがと、おねがい、ごめん、ぺこり
≡≡≡ヘ(*--)ノ	いそぐ、にげる
(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
p(^-^)q	がんばれ、ふぁいと
;)	ういんく
(^_-)	ういんく
(・∀・)イイ	いい
(^人^)	かんしゃ、ありがとう
!(^^)!	ぴんぽーん
ヽ(^^)	よしよし、おい
(*≧m≦*)	ぷっ
(σ・∀・)σ	げっつ
(￣ー￣)	にやり
(・∀・)つ	どうぞ
(^-^)_旦～	どうぞ、おちゃ
(ﾟ□ﾟ)ﾟ	きて、かもん、おいで
♪～(￣ε￣)	くちぶえ
(￣。￣)y-～～	たばこ
(｀・ω・´)	しゃきーん
⊂(・∀・)⊃	せーふ
(-.-;)y-~~~	いっぷく
(-。-)y-゜゜゜	いっぷく

顔文字	読 み
(￣～￣)	うまい、たべる
(￣人￣)	おねがい
(^-^)人(^-^)	かんぱい、なかま、たっち
(i_i)＼(^_^)	よしよし
(^▽^)σ)˜O˜)	つんつん
～～(m´Д`)m	たすけて
～～(m`∀´)m	いひひ
φ(. _.)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも、かきかき

顔文字	読 み
(゜∇^)] ﾓｼﾓｼ	もしもし
(´□`)	あーん
┐(￣∇￣;)┌	やれやれ
(´へ`;)	はぁ、ためいき
(; -_-)=3	ためいき
(-"-;)	うーん
(´ー`)	ふふん、じまん
(´¬`)	よだれ
(￣ー＋￣)ﾌｯ	ふっ

顔文字	読 み
(˜_˜)	ほへー
(˜o˜)	ほへー
(p_-)	むしめがね
(-_-)	じとっ
(-.-)	じとっ
(-.-")凸	ちちち
(..)	どれどれ
[壁]_-)	ちらっ
(+。+)	いたい

顔文字	読 み
(-_-)zzz	ねてる、ねる
(_ _).oO	ねむい
(´_ゝ`)	ふーん
(UoU)	ねむい
(^(I)^)	くま
U^I^U	いぬ
ﾎﾟｲｯ(-__-)ノ⌒	ぽい
ヽ(゜▽、゜)ノ	よだれ
＞゜))))彡	さかな

※ 実際の表示と異なるものがあります。

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

- ｉモード中（ｉモード接続）は、ｉチャネルおよびｉコンシェル（情報の受信を除く）、フルブラウザ、データ放送サイトでの通信を含みます。
- ｉモードメール受信は、メッセージR/F、ｉチャネルおよびｉコンシェルの情報の受信を含みます。

○：新たに実行できる　△：条件により新たに実行できる　×：新たに実行できない

現在の状態			音声電話中	テレビ電話中	プッシュトーク通信中	ｉモード中	データ通信中（パケット）	データ通信中（64K）
発生・実行する処理	音声電話	発信	△※1	×	×	○	○	×
		着信	△※1、2、3	△※2、3、4	△※8	○	○	△※2、3、14
	テレビ電話	発信	×	×	×	○※10	×	×
		着信	△※2、3、4	△※2、3、4	△※2	△※11	△※2、5	△※2、3、4
	プッシュトーク	発信	×	×	△※9	○※10	×	×
		着信	×※5	×	×※5	△※12	×	×
	ｉモード	接続	○	×	×	△※13	×	×
	ｉモードメール	送信	○	×	×	○	×	×
		受信	○※6	×	×	○	×	×
	SMS	送信	○	×	×	○	○	×
		受信	○※6	○※6	○※6	○	○	○※6
	データ通信（パケット）	発信	○	×	×	×	×	×
		着信	○	×	×	×	×	×
	データ通信（64K）	発信	×	×	×	×	×	×
		着信	△※3、5、7	△※3、5、7	△※5、7	△※5、7	△※5、7	△※5、7

※1　キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2　留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※3　通話中着信設定が開始の場合、通話中の着信動作選択に従います。
※4　キャッチホンが開始の場合、不在着信として記録されます。
※5　不在着信として記録されます。
※6　着信音は鳴りません。
※7　転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※8　プッシュトーク中着信設定に従います。

※9　自分が発信者の場合のみメンバーを追加するための発信ができます。
※10　ｉモードが切断されます。
※11　パケット通信中着信設定に従います。
※12　ｉモード中プッシュトーク着信に従います。
※13　ｉコンシェル、データ放送サイトの接続のみ可能です。
※14　キャッチホンが開始の場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかなどを選択できます。

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中の機能・グループごとに、新規起動メニュー項目の起動可否を次に示します。

- 起動可能な機能でも、FOMA端末の状態によって実施できない操作もあります。

○：起動可能　△：一部起動可能　×：起動不可

実行中の機能・グループ ＼ メニュー項目	音声電話	テレビ電話	プッシュトーク通信	データ通信	ダイヤル発信	メール	iモード／iコンシェル	iアプリ	電話帳・履歴	データBOX	LifeKit／おサイフケータイ	アクセサリー	設定	MUSIC／ワンセグ	マナーモード設定／解除
音声電話中	マルチアクセスの組み合わせ→P414				×	○	○	○	△	△	△	○	△	△	×
テレビ電話中					×	△	△	△	△	×	△	△	△	△	×
プッシュトーク通信中					×	×	×	△	△	×	△	○	△	△	×
データ通信中（パケット）					○	△	×	○	○	△	○	○	○	△	○
データ通信中（64K）					×	△	△	○	△	△	△	○	△	△	×
ダイヤル発信	○	○	○	○	×	○	○	○	○	△	○	○	○	△	○
メール	○	○	○	△	○	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○
iモード	○	○	○	△	○	△	△	△	○	△	△	○	○	△	○
iアプリ	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	△	○	△	△	○
電話帳／履歴	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	△	○
データBOX	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	△	○
LifeKit（赤外線通信／iC通信を除く）	○	○	○	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
アクセサリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	△	○
設定／NWサービス	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
MUSIC	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	△	○
おサイフケータイ	○	○	○	△	○	△	△	△	○	△	△	○	○	△	○
プロフィール	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○
iコンシェル	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

✔お知らせ

- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2008年10月現在）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2008年10月現在）。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなどの窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ 01／02※1
- FOMA DCアダプタ 01／02
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※2
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 電池パック F10
- 車内ホルダ 01
- 卓上ホルダ F27
- リアカバー F33
- キャリングケースL 01
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01※3／02※3
- FOMA 補助充電アダプタ 01
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- ワイヤレスイヤホンセット P01
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※4／P02※4
- 平型ステレオイヤホンセット P01※4
- イヤホン変換アダプタ 01

- イヤホンジャック変換アダプタ P001※4
- スイッチ付イヤホンマイク P001※5／P002※5
- ステレオイヤホンセット P001※5
- イヤホンマイク 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- マイク付リモコン F01※4
- イヤホンターミナル P001※5
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1
- FOMA室内用補助アンテナ※6
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※6
- 骨伝導レシーバマイク 01※4／02

※1 ACアダプタの充電方法について→P51
※2 F-01AをUSB接続で利用／充電するには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※3 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4 F-01Aと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※5 F-01Aと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01とイヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※6 日本国内で使用してください。

動画をFOMA端末／パソコンなどで再生する

パソコンなどで作成した動画（MP4形式）をmicroSDカードに保存してFOMA端末で再生できます。また、FOMA端末で撮影した動画（MP4形式）をmicroSDカードやメール添付などでデータ転送し、パソコンで再生できます。

- FOMA端末で撮影した動画ファイル→P198
- FOMA端末で再生可能なMP4形式→P292
- microSDカード内のデータの再生→P305

※ 対応外部機器については、次のホームページをご覧ください。
パソコンから
FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→動画再生機能の対応状況

- microSDカード内の動画を再生するには、FOMA Fシリーズ SDユーティリティなどを使って決められたフォルダに保存します。
microSDカードのフォルダ構成→P301
microSDカードの情報更新→P307

※ FOMA FシリーズSDユーティリティについては、次のホームページをご覧ください。
パソコンから
FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→データリンクソフト

❖動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは次のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P429

■ 電源・充電関連

●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P49
- 電池切れになっていませんか。→P50、53
- デュアルネットワークサービスでmova端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

●FOMA端末の電源が切れない

[電源キー]を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

●充電できない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P49
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか。卓上ホルダにFOMA端末が正しく取り付けられていますか。→P52

●充電中にランプが点滅する

- 通話中、通信中、プッシュトーク通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末からACアダプタ（卓上ホルダ）、DCアダプタを外し、正しい方法でもう一度充電してください。→P50
- 以上の操作をしても正常に充電できない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。

●ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、アラームが鳴っている

電池が少なくなっています。充電してください。→P50、53

■ 電話関連

●ダイヤルキーを押しても発信できない

オールロック、おまかせロック、セルフモード、ダイヤル発信制限、開閉ロック、オートキーロックを起動していませんか。→P114、115、116、118、124

●電話をかけたが話中音（プープー音）が出てつながらない

- 市外局番を忘れていませんか。
- 発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
- 圏外と表示されていませんか。→P54

●着信音が鳴らない

- 音量設定の電話着信音量を「Silent」にしていませんか。→P92
- 公共モード、マナーモード、セルフモード、プライバシーモードを起動していませんか。→P69、95、116、118
- メモリ別着信拒否／許可、発番号なし動作設定、呼出動作開始時間設定、メモリ登録外着信拒否を設定していませんか？→P126、127、128
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。→P362、363
- 伝言メモ応答時間設定を「0秒」にしていませんか。→P70
- オート着信設定の自動着信機能時間を「0秒」にしていませんか。→P342

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 音量設定の受話音量を変更していませんか。→P59、92
- はっきりボイス、ゆっくりボイスをONにすると、相手の声が聞き取りやすくなります。→P60

●電話着信時、設定していない着信音、イメージ、イルミネーションで動作する

- 複数の機能で電話着信音、着信画像、着信イルミネーションを設定している場合は、優先順位に従って動作します。→P92、99、106
- オールロック、おまかせロック、パーソナルデータロック、プライバシーモードを起動していませんか。→P114、115、117、118

●電話着信時、電話帳に登録している名前や着信音などが動作しない

- 相手の電話番号が電話帳に登録している内容と一致していますか（名前の表示→P82）。
- オールロック、おまかせロック、パーソナルデータロック、プライバシーモードを起動していませんか。→P114、115、117、118

■ 設定・操作関連

●メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない

FOMAカード未挿入、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中などで機能が実行できない場合は、アイコンが[鍵アイコン]で表示されます。→P46、117、118

●FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」と表示される

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。→P46

●FOMA端末を開くたびに認証画面が表示される
開閉ロック中またはオートキーロック中です。→P124

●待受画面に🔒が表示され、操作できない
開閉ロック中またはオートキーロック中です。→P124

●電話帳やメールなどを表示しようとすると認証画面が表示される
プライバシーモードを起動していませんか。→P118

●FOMA端末を閉じているときに、、を押しても操作できない
HOLD中です。→P123

●待受画面にが表示されている
HOLD中です。→P123

●日付・時刻が消去された
日付時刻設定の自動時刻・時差補正が「OFF」のときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→P55

●ディスプレイが暗い
- 画面オフ時間設定を設定していませんか。→P101
- 照明／キーバックライト設定の明るさ調整を変更していませんか。→P101
- 省電力モードを設定していませんか。→P101
- ワンセグECOモードをオンにしていませんか。→P218

●ディスプレイ、キーバックライトが点灯しない
- 照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定で通常時を「0秒」にしていませんか。→P100
- キーバックライト設定を「OFF」にしていませんか。→P101
- 省電力モードを設定していませんか。→P101

●操作していないのに、カーソルやポインターが動いたり、キー確認音が鳴ったりする
フィンガーポインター設定が有効のとき、指紋センサーに軽く触れていると、カーソルやポインターが動いたり、キー確認音が鳴ったりすることがあります。フィンガーポインターで操作したくない場合は指紋センサーに触れないようにするか、フィンガーポインター設定を「無効」にしてください。→P45

●フィンガーポインターのダブルタップ操作が認識されにくいことがある
指の腹が指紋センサーの中心に当たるように操作してください。→P44

■ メール・ｉアプリ・データ関連

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
- フルオートフォーカスが「OFF」のときは、手動でオートフォーカスを起動してください。→P201
- ビューアスタイルで撮影するときは、タッチオートフォーカスを利用してください。→P202
- 近くの被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。→P206
- 人物を撮影するときは、顔検出機能を設定してください。→P206
- 手ぶれ補正オートで撮影してください。→P208

●メール受信時に、設定していない着信音、イメージ、イルミネーションで動作する
- 複数の機能でメール着信音、着信イルミネーションを設定している場合は、優先順位に従って動作します。→P92、106
- メール着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定している場合は、イメージは設定したｉモーションになります。
- 複数のメールを同時に受信すると、最後に受信したメールに設定されている条件に従って動作します。
- オールロック、パーソナルデータロック、プライバシーモードを起動していませんか。→P114、117、118

●メール受信時に、電話帳に登録している名前や着信音などが動作しない
- 相手の電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録している内容と一致していますか（名前の表示→P82）。
- オールロック、パーソナルデータロック、プライバシーモードを起動していませんか。→P114、117、118
- 電話／メール着信時設定を設定していませんか。→P123

●静止画や動画がやで表示される
データが壊れている場合は正しく表示されません。

●キーを押したときの画面の反応が遅い
FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときは、画面の反応が遅くなる場合があります。

●ｉアプリ／ｉアプリ待受画面が起動できない
- FOMAカードのセキュリティ機能により、起動できません。→P47
- ｉアプリがIP（情報サービス提供者）により停止状態になっていませんか。
- ｉアプリDXでは、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。有効性の確認が完了するまでｉアプリを起動できない場合があります。
- ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要な場合があります。→P55
- オールロック、おまかせロック、パーソナルデータロック、プライバシーモードを起動していませんか。→P114、115、117、118

●ｉアプリ動作中にディスプレイの照明が点灯しない
- 照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定で通常時を「0秒」、ｉアプリを「端末設定に従う」にしている場合、点灯しません。→P100、246
- ｉアプリの照明点灯時間設定を「ソフトに従う」にしても、公共モード中は照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）で設定した時間が経過すると照明は消灯します。
- 省電力モードを設定していませんか。→P101

●データ転送が行われない
USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ その他

●おサイフケータイが使えない
・電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。→P49、115
・ICカードロックを起動していませんか。→P266

●指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに「操作が速すぎます」「操作が遅すぎます」と表示される
センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

●ワンセグが視聴できない
・地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い所にいませんか。
・チャンネルを設定していますか。→P215

●パソコンなどとFOMA端末を接続したときに指紋認証できない
デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にFOMA端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、FOMA端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

●操作中や充電中にFOMA端末や電池パックなどが温かくなる
操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがあります。異常ではありませんので、そのままご使用ください。

●ディスプレイに残像が残る
・FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すとしばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
・FOMA端末を開いたまましばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある
FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●ランプの点灯色や明るさに差異がある
・次の現象はランプに用いているLEDやFOMA端末の特性によるものであり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - FOMA端末ごとに、あるいはランプによって点灯色や明るさに差異があります。
  - FOMA端末の塗装色により、ランプの色が点灯色名とは異なる色に見えることがあります。
  - ランプの点灯色名はLEDの主たる光源色を記載していますが、各機能によって光源の設定が微妙に異なるため、同じ点灯色名でも異なる色に見えることがあります。
・キーバックライト設定でキーバックライトが「ブルーベリー」「キーウィフルーツ」「ストロベリー」で点灯、イルミネーション設定でランプが「アクア」「ライム」「ガーネット」で点灯することを確認してください。いずれかの色が点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。→P101、106

■ 海外利用時

●圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない
・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
・利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。
・ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。→P377
・日本国内から海外へ移動した後に3G/GSM切替を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「自動」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。→P377

●音声電話やテレビ電話がかかってこない
ローミング時着信規制を開始にしていませんか。→P378

●テレビ電話、ｉモード、SMSが利用できない
・利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。
・3G/GSM切替の設定を確認してください。→P377

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

こんな表示が出たら

- エラーメッセージ内の「(数字)」または「(xxx)」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

●アドレスをご確認ください
メールグループのメールアドレスに不正がある、または入力されていません。

●以下の宛先にはメール送信できませんでした (561) Mails could not be sent to following address.(561)○○@△△△.ne.jp
以下の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。●を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。メッセージ内に表示されるメールアドレスは送信先により異なります。

●遠隔操作可能なサービスは未契約です
遠隔操作を行おうとした留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。利用するには別途ご契約が必要です。

●応答がありませんでした（408）
サイトやホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

●オールロック中
オールロック中です。→P114

●同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロード／バージョンアップできません　該当するサービスを削除しますか？
既に登録しているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、同様のおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードまたはバージョンアップできません。「はい」を選択して、登録済みのおサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

●おまかせロック中です
おまかせロック中です。→P115

●画像に誤りがあり正しく動作しません
画像に誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

●起動中の機能が多いため実行できません。他の機能終了後再度実行してください
メモリが不足したため機能が起動できません。他の機能を終了した後に再度実行してください。

●起動できませんでした
起動や選局の処理でエラーが発生したため、ワンセグ視聴を起動できませんでした。

●圏外です
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないため起動／ダウンロード／バージョンアップできません。詳細はおサイフケータイメニューのICオーナーをご確認ください
ICオーナーの登録後に、異なるFOMAカードに差し替えておサイフケータイ対応ｉアプリを起動、ダウンロード、バージョンアップしようとした場合に表示されます。→P265

●更新できませんでした
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了し、電波状態のよい所で更新し直してください。

●このカードは認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→P46

●この画像は保存できません
画像にエラーがあるため、保存できません。

●この機能は利用できません
2in1がBモード時は、メール作成できません。

●この形式のデータは実行できません
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータはmicroSDカードからFOMA端末に移動／コピーしたり、検索したりできません。

●このサイトとのSSL通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトとのSSL／TLS通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？
サイトの証明書がFOMA端末で対応していません。

●このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書が有効期限前か期限切れです（→P183）。日付・時刻を設定していない場合や、誤っている場合にも表示されることがあります。→P55

●この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？
CA証明書が有効期限切れです（→P183）。日付・時刻を設定していない場合や、誤っている場合にも表示されることがあります。→P55

●この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。→P183

●このソフトは現在利用できません
IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

●このソフトは最新です
既に最新のｉアプリにバージョンアップされています。

●このチャンネルは受信できません
- 放送圏外のため受信できません。電波状態のよい所で操作し直してください。
- 有料放送または何らかの原因で受信できません。

●このチャンネルは放送休止中です
選局したチャンネルが放送休止中です。

●このデータは再生できない可能性があります
動画／iモーションがFOMA端末で対応していない形式です。
●このデータは保存できません。取得しますか？
データを保存できませんが、取得するときは「はい」を選択します。
●サービス未契約です
- iモードが未契約です。利用するには申し込みが必要です。
- iモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

●サービス未提供です
SMSが未提供です。
●再生可能日前です。再生できません
Music&Videoチャネル、音楽データ、iモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。番組情報または詳細情報を確認してください。→P231、239、310
●再生期限の更新が必要なデータがあります。携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？
ミュージックプレーヤーで音楽を再生しようとした際に再生期限切れのうた・ホーダイが存在すると表示されます。「はい」を選択すると、音楽データを更新します（データを更新する際のパケット通信料は有料です）。「いいえ」を選択すると、再生期限切れのうた・ホーダイは利用することができません。→P235
●再生制限に達したため、取得できません
Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生制限が超過している場合は、取得を再開できません。→P231
●再生できません。更新が可能なデータは本体をPCに接続し転送元ソフトを起動して更新してください
音楽データの再生期限が切れているか、再生期限の確認ができない、またはFOMA端末の故障や修理、電話機の変更などによってFOMA端末固有の情報が変更されたため、再生できません。パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると、再生できます。→P233
●最大サイズを超えたので中断しました
- サイトやホームページが最大サイズを超えました。●を押すと正常に取得した部分まで表示します。
- ダウンロードしようとしたデータが最大サイズを超えました。

●サイトが移動しました（301）
サイトやホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。
●サイトに接続できませんでした（403）
接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。
●作業領域が不足しています。他のアプリケーションを終了してください
作業に必要なメモリが不足しているため、他の機能を終了してください。
●削除しますか？ ICカード内データも削除されます
iアプリを削除するとICカード内データも削除されるおサイフケータイ対応iアプリが含まれます。iアプリおよびICカード内データを削除するときは「はい」を選択します。
●時刻がリセットされたため、このデータを取得／再生できません。日付時刻設定にて自動時刻・時差補正をONに設定し電源を入れ直してください
日付時刻設定の自動時刻・時差補正が「OFF」のときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→P55
●指定サイトがみつかりません（404）
URLが正しいかどうか確認してください。
●指定サイトに表示データがありません（204）
指定のサイトにデータがありませんでした。
●指定されたソフトが起動できませんでした
iアプリにエラーが発生したため、起動できません。iアプリToで起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題があると起動できません。
●指定したサイトへは接続できませんでした（504）
何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。
●しばらくお待ちください
- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●しばらくお待ちください（パケット）
パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
●指紋センサーが起動できません
指紋センサーが故障しています。取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。
●受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります
受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所でSMS問合せを行ってください。→P165
●既にメッセージをお預かりしています
既にSMSは送信済みです。
●正常に接続できませんでした（400）
サイトやホームページのエラーにより接続できません。URLを確認してください。
●赤外線／Bluetooth／iC通信　接続相手が見つかりません。続けますか？
赤外線通信／Bluetooth通信／iC通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま一定時間が経過しました。FOMA端末を正しく配置してください。→P313、343
●赤外線／Bluetooth／iC通信　中断されました
赤外線通信／Bluetooth通信／iC通信中にエラーが発生しました。データの送受信が終了するまでFOMA端末を正しい位置から動かさないでください。→P313、343
●赤外線／Bluetooth／iC通信　認証接続できませんでした
認証パスワードが正しくないため、データの全件送信ができませんでした。→P314、345

●**赤外線／iC通信　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**
赤外線通信／iC通信で受信したデータにｉアプリToが設定されていても、FOMAカードのセキュリティ機能により起動できません。→P47

●**積算料金が既定の上限に達したため通話が切断されました／積算料金が既定の上限に達したため保留中の通話が切断されました／積算料金が既定の上限に達しているため発信できません**
積算通話料金をリセットしてください。→P336

●**セキュリティエラーのため、ｉアプリ待受画面を解除しました**
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

●**セキュリティエラーのため、終了しました**
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリが終了しました。

●**接続が中断されました**
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●**接続できませんでした（503）**
サーバのメンテナンスや回線の混雑などのため接続に失敗しました。しばらくたってから操作し直してください。

●**接続できませんでした（562）**
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所で操作し直してください。

●**設定時間内に接続できませんでした**
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**送信できませんでした（552）**
ｉモードセンターのエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●**ソフトに誤りがあります**
ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●**ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください**
ICカード内データを削除してから、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

●**ダイヤル発信制限中です**
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→P118

●**ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用ください**
ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

●**注意！電話番号やURLの記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。**
スキャン機能設定のメッセージスキャンが「有効」のとき、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとしました（moperaメールや留守番電話の着信通知などをSMSで受信した場合は、表示されません）。

●**通信エラーが発生しました**
●を押してGPS機能を終了し、しばらくたってから操作し直してください。

●**次の宛先にはメール送信できませんでした（561）**
次の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。●を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。

●**データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？**
「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

●**データが不正です**
データに不正があるためダウンロードできません。

●**データ転送モードへ移行できません**
FOMA端末が通信中のため、データ転送モードへ移行できません。通信が終了してから操作し直してください。

●**データまたはmicroSDが壊れています**
microSDカードに保存しているデータまたはmicroSDカードに問題があるため、アクセスできません。新しいmicroSDカードを取り付けるか、初期化するか、修復してください。→P301、307

●**データまたはmicroSDが壊れています。保存先を本体に変更します**
静止画や動画の保存先を「microSD」にしているときにmicroSDカードにアクセスできない場合、自動的に「本体」に切り替わります。

●**電話帳のシークレット属性をメールに反映しますか？電話帳、メールの件数によっては、時間がかかる場合があります**
シークレット属性が設定されている電話帳を外部から取り込んだり、電話帳にシークレット属性を設定したりした場合に表示されます。→P122

●**問合せできませんでした**
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●**同時に通話できる人数4人を超えています**
5人以上のメンバーを選んで発信した場合に表示されます。メンバーを4人以内に選択し直してから発信してください。

●**登録された指紋と一致しません**
もう一度、指紋認証をやり直すか、端末暗証番号で認証操作を行ってください。ただし、指紋のみ認証設定が「ON」の場合は、端末暗証番号での認証操作ができません。→P110、114

●**登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）**
ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

●**登録できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？**
登録できるうた・ホーダイのサービスが上限値を超えています。「はい」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードした音楽データは再生できなくなります。

●**長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません**
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。●を押すと超過分は削除された状態で電話帳の登録画面が表示されます。

●**入力データまたはURLが長すぎます**
サイトやホームページの入力欄に入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

●**入力データをご確認ください（205）**
サイトやホームページの入力データに誤りがあります。

●**認証タイプに未対応です（401）**
認証タイプに対応していないため、指定のサイトやホームページに接続できません。

●**パスワードをご確認ください（401）**
サイトやホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

●**不正なmicroSDです。著作権保護機能は利用できません**
何らかの原因でmicroSDカード内の認証領域にアクセスできません。エラーの発生したmicroSDカードには、コンテンツ移行対応のデータを保存できません。

●**不正なデータが含まれています**
バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動する場合、データに不正があるときは起動できません。

●**他の機能が起動中のため起動できません**
パターンデータの更新を行う場合は、他の機能をすべて終了してください。

●**保存できないデータです**
赤外線通信／iC通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

●**保存領域に誤りがあるため、パスワードマネージャーを使用できません。終了します**
パスワードマネージャーの保存領域に誤りがあるため、パスワードの登録や引用ができません。

●**未保存のデータを本体に保存するか削除してください**
赤外線通信／iC通信のINBOXの保存件数がいっぱいです。INBOXのデータをFOMA端末に保存するか、削除してください。→P315

●**無効なデータを受信しました（xxx）**
・指定のサイトやホームページに対応していません。
・URLを確認してください。
・受信データにエラーがあるため表示できません。
・圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

●**メモリ不足が発生したためアプリケーションを終了します**
メモリ不足が発生したため処理を中断して、アプリケーションを終了します。

●**メモリ不足です**
メモリが不足したため処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

●**ユーザ証明書がありません。継続しますか？**
ユーザ証明書がダウンロードされていません。

●**読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？**
「はい」を選択し、自動読取機能設定を「ON」にしてください。

●**料金情報の読込／リセットができませんでした**
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→P46

●**連続撮影はできません**
保存領域が不足しているため連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

●**FOMAカード（UIM）がいっぱいです**
FOMAカードの保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。FOMA端末に移動するか、FOMAカード内のSMSを削除してください。
→P167

●**FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません**
FOMAカードのセキュリティ機能により操作できません。→P47

●**FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした**
FOMAカードのセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。→P47

●**ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？**
ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリの通信を終了して継続するには「いいえ」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

●**ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？**
「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」と表示された後で、再びｉアプリが通信しようとしました。

●**ｉモーション最大サイズを超えています**
最大サイズを超えたため、取得を中断しました。
→P186

●**ｉモードセンターが混みあっています。しばらくお待ち下さい（555）**
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**ICカード内データがいっぱいのため起動／ダウンロード／バージョンアップできません　いずれかのサービスを削除しますか？**
おサイフケータイ対応ｉアプリを起動、ダウンロード、バージョンアップする際、ICカード内データの保存領域が不足している場合に表示されます。画面の指示に従ってICカード内データを削除後、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。→P259、265

●**ICカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか？**
削除するｉアプリの中に、ICカード内データを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「はい」を選択します。

●**ICカード内データにエラーがあるため削除できません**
ICカード内データに不正があるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

● **PINロック解除コードがロックされています**
ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。

● **SMSセンター設定を確認してください**
SMS設定のSMS Centerの設定が誤っています。
→P166

● **SSL通信が切断されました**
SSL通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL通信が中断されました。

● **SSL通信が無効です**
SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

● **SSL通信が無効に設定されています**
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。→P183

● **SSL／TLS通信が切断されました**
SSL／TLS通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL／TLS通信が中断されました。

● **SSL／TLS通信が無効です**
SSL／TLS通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

● **SSL／TLS通信が無効に設定されています**
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。→P183

● **“○○○.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）Unable to send. “○○○.ne.jp” is not available temporarily. (555)**
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。メッセージ内に表示されるドメイン名は送信先により異なります。

保証とアフターサービス

❖保証

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード、ｉアプリでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  - ※ 本FOMA端末は、電話帳やｉモーション、ｉアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
  - ※ 本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  - ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（→P385）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

❖アフターサービス

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください（→P419）。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障、損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

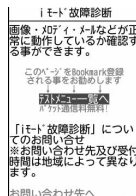
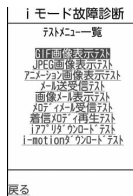
- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合はもう一度設定してくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

**▲メモリダイヤル（電話帳機能）および
ダウンロード情報などについて▼**

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合、もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　　テストメニュー一覧画面

- 「ｉモード故障診断サイト」へのアクセス方法
  ｉMenu→お知らせ→サービス・機能→ｉモード→ｉモード故障診断

サイトアクセス用
QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
- ｉモード故障診断を行う場合のパケット通信料は無料です。ただし、海外からアクセスする場合のパケット通信料は有料です。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」でご案内させていただきます。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

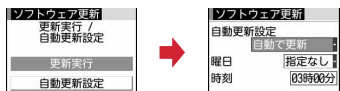
- ソフトウェア更新には、次の3種類の方法があります。
  自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- 接続先設定が「ｉモード（FOMAカード）」以外の場合でもソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（→P53）で実行してください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - FOMAカードが挿入されていないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 電源が切れているとき
  - 圏外が表示されているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - 他の機能を実行しているとき
  - PIN1コード入力中
  - PIN1コードロック中
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- PIN1コードON／OFFが「ON」のときソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時には、PIN1コード入力画面が表示されません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書管理でSSL証明書を有効にしてください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→P183
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態（→P54）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信設定が「ON」の場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されない場合があります。→P144
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

◆ソフトウェア更新を自動で行う〈自動更新設定〉

ソフトウェア更新が必要なとき、自動で更新を行うか更新が必要なことを通知するかを選択できます。

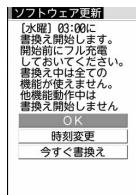
1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][4]▶認証操作▶「自動更新設定」▶各項目を設定▶[📷]

- 自動更新設定を「自動で更新」にした場合は、自動で更新する曜日と時刻を設定します。「設定しない」にした場合は、自動更新不可の確認画面で「はい」を選択します。

❖更新が必要になると

- 自動更新設定を「自動で更新」にした場合は、自動的に更新ファイルがダウンロードされ、待受画面に[書き換え予告アイコン](書き換え予告アイコン)が表示されます。書き換え予告アイコンを選択すると、書き換えの開始時刻を確認したり変更したりできます。
- 自動更新設定を「更新の通知のみ」にした場合は、更新お知らせアイコンが表示されます。→P430「ソフトウェア更新を起動する」

〈例〉書き換えの時刻を確認する

1 [●]▶書き換え予告アイコンを選択

書き換えする曜日と時刻が表示されます。「OK」を選択すると待受画面に戻り、書き換え予告アイコンが消えます。

時刻を変更する：「時刻変更」▶認証操作▶各項目を設定▶[📷]

すぐに書き換える：「今すぐ書換え」▶認証操作

以降の操作→P431「すぐにソフトウェアを更新する」操作2以降

✔お知らせ

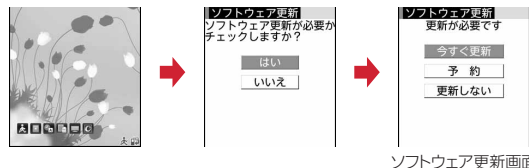
- 書き換え予告アイコンは次の場合に表示されます。
  - 更新ファイルのダウンロードが完了した場合
  - 他の機能が起動していて書き換えできなかった場合
  - 書き換えを中止した場合や書き換えの開始時刻を変更した場合
- 更新お知らせアイコンは次の場合に表示されます。
  - ドコモから通知があった場合
  - ソフトウェア更新画面を表示した場合
  - 予約更新に失敗した場合や予約更新を取り消した場合

◆ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには待受画面で[更新お知らせアイコン](更新お知らせアイコン)を選択する方法とメニューの項目番号を押す方法があります。

〈例〉更新お知らせアイコンを選択して起動する

1 [●]▶更新お知らせアイコンを選択▶「はい」▶認証操作

ソフトウェア更新画面

- 「いいえ」を選択すると更新お知らせアイコン消去の確認画面が表示されます。

メニューから起動する：[MENU]［設定／NWサービス］[7][4]▶認証操作▶「更新実行」

- 更新が必要な場合は「更新が必要です」と表示されます。「今すぐ更新（→P431）」または「予約（→P431）」を選択します。
- 更新が必要ない場合は「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。[●]を押してそのままご利用ください。

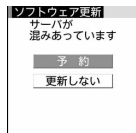
◆ すぐにソフトウェアを更新する〈即時更新〉

- サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

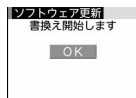
1 **ソフトウェア更新画面で「今すぐ更新」▶約5秒後に自動的にダウンロード開始**

[●]を押すと、すぐにダウンロードを開始します。

- ダウンロードを中止するときは[●]を押します。

サーバが混み合っているとき：

- 「予約」を選択して更新日時を予約してください。→P431

2 **ダウンロード終了後、約5秒後に自動的に書き換え開始**

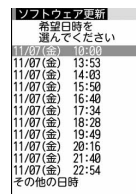
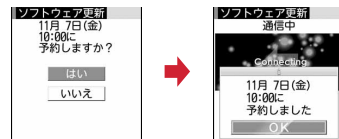
[●]を押すと、すぐに書き換えを開始します。書き換え中は[電源]を10秒以上押して電源を切る操作のみ可能です。

3 **書き換え終了後、自動的に再起動▶[●]**

◆ 日時を予約してソフトウェアを更新する〈予約更新〉

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

〈例〉表示されている候補から予約する

1 **ソフトウェア更新画面で「予約」**

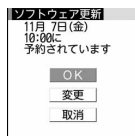
予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

2 **希望日時を選択▶「はい」**

表示されている候補以外から予約する：
①「その他の日時」
② 希望日を選択
各時間帯の予約の空き状況が表示されます。[カメラ]を押すと、説明を表示できます。
③ 希望時間帯を選択
サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。
④ 希望日時を選択▶「はい」

3 [●]

予約の設定が完了すると、待受画面に[予約アイコン]（予約アイコン）が表示されます。

❖予約を確認・変更・取り消しする

〈例〉ソフトウェア更新の予約日時を確認する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][4]▶認証操作▶「更新実行」▶内容を確認

- 確認を終了するときは「OK」を選択します。

予約を変更する：「変更」
希望日の選択画面が表示されます。
以降の操作→P432「表示されている候補以外から予約する」操作②以降
予約を取り消す：「取消」▶「はい」▶[●]

❖予約の日時になると

予約日時になると次の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します（[●]を押すと、すぐにソフトウェア更新を開始します）。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。

- ソフトウェア更新を中止する場合は、[CLR]を押し「はい」を選択します。

✔お知らせ

- 次の場合は、ソフトウェア更新の予約が解除されることがあります。
  - 電池パックを取り外した場合や電池が切れたまま充電しなかった場合
  - データ一括削除を行った場合
  - おまかせロック中に予約日時になったとき
- ソフトウェア更新の設定中、または他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがあるのでご注意ください。パケット通信中に予約日時になったときは、パケット通信終了後にソフトウェア更新を開始します。

スキャン機能

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされます。自動更新設定が「有効」の場合、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
  各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能によって障害などの発生を防げませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末で正しい日付・時刻を設定していない場合は、パターンデータの更新はできません。
- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新が中断されます。

◆ スキャン機能を設定する〈スキャン機能設定〉

本設定を「有効」にすると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。障害を引き起こすデータを検出すると5段階の警告レベルで表示されます。→P434

1 MENU［設定／NWサービス］4 7 3 ▶各項目を設定 ▶ 📷 ▶「はい」

スキャン機能：スキャン機能を有効にするかを設定します。
メッセージスキャン：SMSを表示する際にスキャン機能を有効にするかを設定します。

◆ 自動でパターンデータを更新する〈自動更新設定〉

- パターンデータの自動更新に成功すると、待受画面に[アイコン]が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認した後、●を押してください。

1 MENU［設定／NWサービス］4 7 2

2「有効」▶「はい」▶「はい」▶ ●

- 自動更新を利用しないときは「無効」を選択します。

◆ パターンデータを更新する

自動更新設定が「無効」のときや、待受画面に[アイコン]（最新パターンデータの自動更新失敗）が表示された場合には、パターンデータを手動で更新してください。

1 MENU［設定／NWサービス］4 7 1 ▶「はい」▶「はい」

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。

2 ●

- パターンデータの更新が必要ない場合は「パターンデータは最新です」と表示されます。●を押してそのままご利用ください。

◆ スキャン結果の表示

■ スキャンされた問題要素の表示

① 警告レベル画面表示中に「詳細」

問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

問題要素一覧
PadHtml001.H
PadHtml002.H
PadHtml003.H
PadHtml004.H
PadHtml005.H
以下省略、総数30
OK

■ スキャン結果の表示

警告レベル	対応方法
警告レベル0 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細	「OK」：起動中のアプリケーションの処理を続行する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル1 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「いいえ」：起動中のアプリケーションの処理を続行する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル2 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル3 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ はい いいえ 詳細	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する 「いいえ」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル4 問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する

✔お知らせ

- Music&Videoチャネルの番組取得中に問題要素が検出され、警告メッセージを確認しないままFOMA端末の電源が切れた場合、次回Music&Videoチャネル画面を表示した際に、警告レベル画面が表示されます。
- 待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 問題要素によっては、「詳細」ボタンが表示されない場合があります。

◆ パターンデータのバージョンを表示する

1 MENU［設定／NWサービス］4 7 4

主な仕様

■本体

項目		仕様
品名		F-01A
サイズ		高さ約111mm×幅約50mm× 厚さ約17.5mm（最厚部：約19.4mm）
質量		約142g（電池パック装着時）
連続待受時間※1、2、3	FOMA／3G	静止時（自動）：約620時間 移動時（自動）：約340時間 移動時（3G固定）：約360時間
	GSM	静止時（自動）：約310時間
連続通話時間※2、3、4	FOMA／3G	音声電話時：約230分 テレビ電話時：約100分 （代替画像使用時：約130分）
	GSM	約220分
ワンセグ視聴時間※2、5		約310分 （ワンセグECOモード時：約360分）
充電時間※6		ACアダプタ：約150分 DCアダプタ：約150分
液晶部	方式	ディスプレイ：カラー TFT16,777,216色 背面ディスプレイ：有機EL単色（白）
	サイズ	ディスプレイ：約3.2inch 背面ディスプレイ：約1.4inch
	画素数	ディスプレイ：414,720画素（480×864） 背面ディスプレイ：11,136画素（174×64）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/3.2inch
	有効画素数	約520万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	約500万画素
	ズーム（デジタル）	最大約16.0倍
記録部	静止画記録枚数※7	最大約780枚（お買い上げ時） 最大約2000枚（削除可能なプリインストールデータ削除時）
	静止画連続撮影	2～9枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※8	最大約61分（本体保存時・お買い上げ時） 最大約106分（本体保存時・削除可能なプリインストールデータ削除時） 最大約57分（microSDカード64MB保存時）
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	最大約37分（本体保存時・削除可能なプリインストールデータ削除時） 最大約640分（microSDカード2GB保存時）
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション：約1,629分※9 着うたフル®：約4,675分※9、10 WMAファイル：約4,712分※10 Music&Videoチャネル（音声）： 約4,675分※10 Music&Videoチャネル（動画）：約413分
保存容量	着うた®／着うたフル®	約111MB

※1 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。

※3 ｉモード通信、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、Music&Videoチャネルの番組の取得や再生、ミュージックプレーヤーでの曲の再生、ワンセグの視聴や録画などを行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。

※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※5 ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、平型ステレオイヤホンセット P01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。

※6 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。
※7 静止画記録枚数とは、画像サイズが「QCIF（176×144）」、画質が「スタンダード」、ファイルサイズが10Kバイトの場合です。
※8 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。画像サイズが「QCIF（176×144）」、品質が「STD（標準）」の場合です。撮影する映像によって異なります。
※9 AAC形式のファイルです。
※10 バックグラウンド再生に対応しています。

■電池パック

品　名	電池パック F10
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	870mAh

❖静止画の保存枚数

保存できる静止画の枚数は、画像サイズやサイズ制限、画質、保存先の設定（→P205）、撮影状況によって変わります。

- 次の表は、静止画撮影画面のカウンタに表示される枚数を記載しています。

■ F-01A本体、microSDカードに保存できる静止画の枚数（画質別の目安）

- 保存先の「本体」は、削除可能なプリインストールデータを削除した場合です。また、「microSD」は容量が64Mバイトの場合です。

画像サイズ	保存先	エコノミー	スタンダード	ファイン
QCIF（176×144）	本体	約2000	約2000	約2000
	microSD	約3870	約3870	約1935
QVGA※（240×320）	本体	約2000	約2000	約2000
	microSD	約1935	約1935	約1290
VGA※（480×640）	本体	約1996	約1538	約855
	microSD	約967	約774	約430
待受用（WVGA）※（480×864）	本体	約1778	約1339	約790
	microSD	約967	約645	約430
WXGA※（768×1280）	本体	約790	約595	約323
	microSD	約430	約322	約175
フルHD※（1080×1920）	本体	約517	約395	約200
	microSD	約276	約215	約107
3.7M※（1440×2592）	本体	約259	約182	約88
	microSD	約138	約99	約47
5M※（1944×2592）	本体	約200	約159	約75
	microSD	約107	約86	約40

※ 横長と縦長の切り替えができます。→P206

❖動画の撮影時間

動画の撮影時間はサイズ制限や品質、画像サイズ、撮影種別、保存先の設定（→P205）、撮影状況によって変わります。
- 次の表は、動画撮影画面のカウンタに表示される時間を記載しています。

■ 1回あたりの撮影時間（品質別の目安）

- メール添付用（大／小）の制限サイズ→P208
- 保存先に関わらず1回あたりの撮影時間は同じです。
- サイズ制限が「制限なし」のとき、1回あたりの撮影時間は制限時間（→P203）と同じになります。ただし、合計撮影時間が制限時間に満たないときは合計撮影時間と同じになります。

サイズ制限	画像サイズ	※	LP	STD	HQ	XQ
メール添付用（小）	QCIF（176×144）	画像＋音声	約50秒	約28秒	約18秒	約10秒
		画像のみ	約63秒	約32秒	約21秒	約11秒
	QVGA（320×240）	画像＋音声	約28秒	約15秒	約10秒	約4秒
		画像のみ	約32秒	約16秒	約11秒	約4秒
	VGA（640×480）	画像＋音声	約10秒	約5秒	約3秒	約1秒
		画像のみ	約11秒	約5秒	約4秒	約1秒
	（音声のみ）	音声のみ	―	約242秒	約121秒	―
メール添付用（大）	QCIF（176×144）	画像＋音声	約205秒	約114秒	約74秒	約40秒
		画像のみ	約258秒	約129秒	約86秒	約43秒
	QVGA（320×240）	画像＋音声	約115秒	約61秒	約40秒	約16秒
		画像のみ	約129秒	約65秒	約43秒	約17秒
	VGA（640×480）	画像＋音声	約42秒	約21秒	約14秒	約5秒
		画像のみ	約43秒	約22秒	約14秒	約6秒
	（音声のみ）	音声のみ	―	約16分	約495秒	―

※ 画像種別（：画像＋音声　：画像のみ　：音声のみ）

■ F-01A本体、microSDカードに保存できる動画の合計撮影時間（品質別の目安）

- サイズ制限を「制限なし」に設定した数値です。サイズ制限を設定した場合、保存可能な合計撮影時間が変わることがあります。
- 保存先の「本体」は、削除可能なプリインストールデータを削除した場合です。また、「microSD」は容量が64Mバイトの場合です。

保存先	画像サイズ	※	LP	STD	HQ	XQ
本体	QCIF（176×144）	画像＋音声	約190分	約106分	約68分	約36分
		画像のみ	約239分	約119分	約79分	約39分
	QVGA（320×240）	画像＋音声	約106分	約56分	約36分	約14分
		画像のみ	約119分	約60分	約40分	約15分
	VGA（640×480）	画像＋音声	約38分	約19分	約13分	約306秒
		画像のみ	約40分	約20分	約13分	約309秒
	（音声のみ）	音声のみ	―	約920分	約458分	―
microSD	QCIF（176×144）	画像＋音声	約103分	約57分	約37分	約20分
		画像のみ	約130分	約65分	約43分	約21分
	QVGA（320×240）	画像＋音声	約57分	約30分	約20分	約487秒
		画像のみ	約65分	約32分	約21分	約502秒
	VGA（640×480）	画像＋音声	約20分	約10分	約425秒	約166秒
		画像のみ	約21分	約10分	約438秒	約168秒
	（音声のみ）	音声のみ	―	約500分	約249分	―

※ 画像種別（：画像＋音声　：画像のみ　：音声のみ）

F-01Aの保存・登録・保護件数

- FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じる場合があります。

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1000件	―
FOMAカード電話帳		最大50件	―
きせかえツール※1		最大50件	―
ブックマーク（i モード）		最大100件	―
ブックマーク（フルブラウザ）		最大100件	―
画面メモ※1		最大100件	最大50件
ダウンロード辞書		最大10件	―
ダウンロードしたフォント※2		最大5件	―
メッセージR※1		最大100件	最大50件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
メール	受信メール※1、3、4	最大1000件	最大500件
	送信メール※1、3	最大500件	最大250件
	未送信メール※1、3	最大200件	最大100件
	デコメアニメ®テンプレート※1	最大300件	―
	デコメール®テンプレート※1	最大300件	―
エリアメール		最大30件	最大15件
FOMAカードのSMS※5		最大20件	―
i アプリ※1、6		最大100件	―
トルカ※1		最大200件	―
チャンネルリスト		最大10件	―
テレビリンク		最大50件	―
画像※1		最大2000件	―
動画／i モーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大200件	―
動画／i モーションのプレイリスト		最大100件	―
キャラ電※1		最大50件	―
マチキャラ※1		最大50件	―
メロディ※1		最大500件	―
PDFデータ※1		最大100件	―
Word、Excel、PowerPoint※1		最大100件	―
録画した番組※1	ビデオ	最大10件	―
	イメージ	最大100件	―
Music&Videoチャネルの番組※1		最大10件	―
ミュージック※1		最大100件	―
スケジュール帳※7		最大2600件	―
テキストメモ		最大50件	―
Bluetooth機器		最大10件	最大10件

※1 実際に保存・登録できる件数は、データサイズや共有している保存領域の使用状況により少なくなる場合があります。
※2 お買い上げ時に登録されているフォント（プリティー桃）の件数を含みます。
※3 i モードメールとSMSの合計件数です。
※4「オススメBEST6」「緊急速報「エリアメール」のご案内」「Welcomeデコメアニメ」の件数を含みます。
※5 受信SMSと送信SMSの合計件数です。送達通知は保存件数に含まれません。
※6 i アプリ、メール連動型 i アプリの合計件数です。メール連動型 i アプリは最大5件保存できます。
※7 スケジュール、i スケジュール内の予定、視聴／録画予約の合計件数です。視聴／録画予約は合わせて最大100件登録できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

◆ 携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-01Aの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機F-01AのSARの値は0.498W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

◆ Declaration of Conformity

The product "F-01A" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.415W/Kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① This device may not cause harmful interference, and
  ② This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

◆ Industry Canada (IC) Notice

- Operation is subject to the following two conditions :
  ① This device may not cause interference, and
  ② This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

◆ FCC and IC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's and Canadian Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government and IC of the Canadian Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC and IC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC and IC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC and IC that it does not exceed the limit established by the U.S. and Canadian government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC and IC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC and IC, when tested for use at the ear, is 0.362W/kg, and when worn on the body, is 0.339W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC and IC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. and Canadian government requirements.
The FCC and IC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC and IC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http:// www.fcc.gov/oet/ (please search on FCC ID VQK-F-01A).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC and IC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.5 cm from the body.

※ In the United States and Canada, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.
DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆ 商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーションメール」「ｉショット」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「着モーション」「デコメ®」「デコメール®」「デコメアニメ®」「Vライブ」「ビジュアルネット」「ｉエリア」「おサイフケータイ」「キャラ電」「ｉアプリDX」「ｉチャネル」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「公共モード」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「トルカ」「メッセージF」「iD」「マルチナンバー」「2in1」「パケ・ホーダイ」「おまかせロック」「電話帳お預かりサービス」「着もじ」「DCMX」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「iCお引っこしサービス」「きせかえツール」「ファミリーワイドリミット」「OFFICEED」「IMCS」「うた・ホーダイ」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「直感ゲーム」「マチキャラ」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴ「DCMX」ロゴ「iD」ロゴ「HIGH-SPEED」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2008 Aplix Corporation.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™ およびAdobe Reader® LEテクノロジーを搭載しています。

  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash Liteは Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- FlashFX® Pro™ はDATALIGHT, Inc.の登録商標です。
  FlashFX® Copyright 1998-2008 DATALIGHT, Inc.
  U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Word、Excel、PowerPointのファイル表示技術は、Picsel Technologiesにより実現しています。
  Picsel、Picsel File ViewerおよびPicselキューブロゴは、Picsel Technologiesの商標または登録商標です。

- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International,Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。

- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
  「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Ltd © 1998-2008よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。symbianおよびSymbian OS はSymbian Ltd.の商標です。

- 「丸ゴシック」、「リュウミン」、「丸フォーク」は株式会社モリサワより提供を受けており、この名称は同社の商標または登録商標であり、フォントデータの著作権も同社に帰属します。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- Google、モバイルGoogleマップは、Google, inc.の登録商標です。
- 「日英版しゃべって翻訳 for F」「日中版しゃべって翻訳 for F」は株式会社ATR-Trekの商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

◆ その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
  Copyright© 2006-2008, GestureTek, Inc. All Rights Reserved.
- 「学研モバイル国語辞典」「学研モバイル和英辞典」「学研モバイル英和辞典」「今日は何の日」「今日の歴史」は、学研編集の著作物です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
  4,901,307　5,504,773　5,109,390　5,535,239　5,267,262
  5,600,754　5,416,797　5,490,165　5,101,501　5,511,073
  5,267,261　5,568,483　5,414,796　5,659,569　5,056,109
  5,506,865　5,228,054　5,544,196　5,337,338　5,657,420
  5,710,784　5,778,338
- コンテンツ所有者はWindows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）を使用して、著作権を含む自身の知的財産権を保護します。このデバイスはWMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護されたコンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に支障を来たした場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをソフトウェアがWMDRMを使用して再生、コピーするための許可を失効させるように要求することができます。失効しても、WMDRMで保護されていないコンテンツは影響を受けません。WMDRMで保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがライセンスに“Revocation List”を含めることに同意したものと見なします。コンテンツ所有者は、コンテンツがアクセスされる時にWMDRMをアップグレードするよう要求することがあります。アップグレードを拒否すると、そのアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスできなくなります。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の使いかた

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

〈例〉キャラ電をダウンロードしたいとき

キャラ電……71, 298
移動……309
削除……311
詳細情報参照／変更……310
ソート……312
ダウンロード……178

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

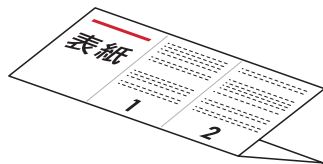
クイックマニュアル

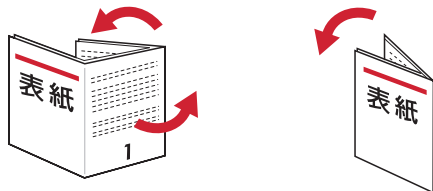
◆ クイックマニュアルの使いかた

本書に綴じ込みされている「クイックマニュアル」は、FOMA端末の基本的な画面表示や操作方法について簡潔に説明しています。キリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。
「クイックマニュアル（海外利用編）」は、海外で国際ローミングサービス（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

1 **キリトリ線から切り離す**

切り離しの際にはけがなどにご注意ください。

2 **それぞれを横半分に折る**

3 **表紙が外に向くように左右を折り畳む**

docomo　F-01A

クイックマニュアル

❖総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

❖故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

文字の入力

❖入力モードの切り替え

文字入力画面で[i]（複数回）▶[●]
・切り替え項目の表示中は[○]で全角／半角を切り替え

入力モード

漢：ひらがな／漢字
半ｱ：半角カタカナ
半A：半角英字
半数：半角数字
全ア：全角カタカナ
全A：全角英字
全数：全角数字

❖文字の入力・変換（かな方式）

変換前にできる操作

文字はカーソル位置に挿入される。
[1]～[0]：入力モードとキーを連続して押した回数によって、入力文字が変わる
[MENU]：カナ英数に変換
[↩]：1つ前の文字に戻す
（例：お→え→う→い→ぁ→お→え→…）
[CLR]：文字の取り消し
[✂]：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え、改行（入力確定後のみ）
（例：ほ→ぼ→ぽ→ほ→…、つ→っ→づ→つ→…）

〈例〉「六本木」と入力する

1 ひらがな／漢字モードで文字を入力
「ろ」：[9]を5回
「っ」：[4]を3回▶[✂]
「ぽ」：[6]を5回▶[✂]を2回
「ん」：[0]を3回
「ぎ」：[2]を2回▶[✂]

2 [📷]
・変換候補一覧の表示：[○]または[📷]
・変換前の状態に戻す：[CLR]

3 [●]▶「閉じる」

❖文字の削除

カーソルが文中にあるとき

[CLR]：カーソル位置の文字の削除
・1秒以上押すと、カーソル位置の文字と、その右側にあるすべての文字を削除

カーソルが文末にあるとき

[CLR]：カーソル位置の左側にある文字の削除
・1秒以上押すと、すべての入力文字を削除

❖絵文字・記号・定型文の入力

絵文字を入力する

文字入力画面で[📷]▶絵文字を選択

記号を入力する

文字入力画面で[📷]▶[MENU]▶記号を選択

定型文を入力する

文字入力画面で[MENU][4][1]（メール本文の入力画面では[MENU][5][1]）▶定型文種別を選択▶定型文を選択

❖文字のコピーと貼り付け

文字をコピーする

文字入力画面で[MENU][1]（メール本文の入力画面では[MENU][3][1]）▶開始位置を選択▶終了位置を選択

文字を貼り付ける

文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソル▶[MENU][3]（メール本文の入力画面では[MENU][4]）

電話帳

❖FOMA端末電話帳の登録

1 [○]（1秒以上）▶名前を入力▶各項目を設定▶[📷]
・メモリ番号
・フリガナ
・画像選択・撮影
・グループ
・電話番号
・メールアドレス
・誕生日
・テキストメモ
・郵便番号／住所
・位置情報
・会社名
・役職名
・URL

FOMAカード電話帳の登録

1 [MENU]［電話帳／履歴］[4]▶名前を入力▶各項目を設定▶[カメラ]

リダイヤルや着信履歴からの登録

1 [左右]▶相手にカーソル▶[MENU][5][1]
・更新登録：[MENU][5][2]

2 [1]（FOMA端末電話帳）または[2]（FOMAカード電話帳）
・更新登録するときは登録する相手を選択

3 各項目を設定▶[カメラ]

❖電話帳の修正

1 [上下]
・電話帳の切り替え：[カメラ]

2 相手にカーソル▶[MENU][3][1]
・FOMAカード電話帳は[MENU][3]

3 修正▶[カメラ]
・上書き確認画面が表示される

❖電話帳の検索

1 [MENU]［電話帳／履歴］[1]
・電話帳の切り替え：[カメラ]

2 [1]～[6]
・FOMAカード電話帳は[1]～[3]

カメラ機能

静止画を撮影する

[カメラ]▶被写体にカメラを向けて[●]▶[●]

動画を撮影する

[カメラ]（1秒以上）▶被写体にカメラを向けて[●]▶[●]▶[●]

画像を表示する

[MENU]［データBOX］[1][1]▶画像を選択

動画を再生する

[MENU]［データBOX］[4][2]▶動画を選択

動画再生中にできる操作

[上下]、[▲][▼]：音量調整
[左右]：巻き戻し／早送り再生
[●]：一時停止／再生／先頭から再生（停止中）
[カメラ]：停止

テレビ電話

❖テレビ電話のかけかた

1 電話番号を入力▶[カメラ]

2 通話する
・通話中保留：[●]
・受話口／スピーカーの切り替え：[受話口]
・送信する画像の切り替え：[iα]

3 通話が終了したら[終話]

❖テレビ電話の受けかた

1 電話がかかってくる▶[iα]または[受話口]
・応答保留：着信中に[終話]
・通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作2と同様

2 通話が終了したら[終話]

iモードメール

❖iモードメールの作成・送信

1 [メール]（1秒以上）

2 [To]を選択▶入力方法を選択▶宛先を入力または選択

3 [題名]を選択▶題名を入力

4 [本文]を選択▶本文を入力
・デコメール®の作成：[メール]▶装飾アイコンを選択▶装飾操作

5 [カメラ]
・メールの保存：[MENU][3]
・圏内自動送信：[MENU][2]

❖ファイルの添付

1 メール作成画面で[添付]を選択
・添付ファイルの解除：[メール]▶「はい」

2 添付するファイルの種類を選択▶添付元を選択▶フォルダを選択▶ファイルを選択

❖受信／送信メールの表示

1 [メール]▶[1]または[5]

2 フォルダを選択

3 メールを選択

キリトリ線

キリトリ線

❖ｉモードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集する

1 [✉][4]
・送信メールの編集：[✉][5]

2 フォルダを選択

3 メールを選択
・送信メールの編集：メールを選択▶[📷]

4 編集▶[📷]

❖ｉモード問合せ

1 [✉][✉]

ワンセグの起動と操作

1 [TV]（1秒以上）

ワンセグ視聴中にできる操作

[▲][▼]、[◎]（データ放送表示領域なし）：音量調整
[◀▶]：チャンネル番号一覧の前後のチャンネルを選択
[◀▶]（1秒以上）：受信可能な前後の周波数をサーチ
[◎]（データ放送表示領域あり）：カーソル移動
[◎]（データ放送表示領域なしのとき1秒以上）、[▼]（1秒以上）：消音
[1]～[9]、[＊]、[0]、[#]：ワンタッチ選局（13ch以降はチャンネル番号一覧から選択）
[MENU][8][7]：ワンセグECOモードオン／オフ
[iα]：標準画面／データ放送全画面の切り替え
[✉]：字幕の表示／非表示の切り替え
[♪]（1秒以上）：ビデオ録画開始、停止
[♪]：静止画保存
[📷]：番組表ｉアプリ起動
[終話]▶「はい」：終了

Music&Videoチャネル／ミュージックプレーヤーの起動と操作

Music&Videoチャネル起動

1 [MENU]［MUSIC］[2]

ミュージックプレーヤー起動

1 [♪]（1秒以上）

起動後にできる操作

[●]、[♪]：再生／一時停止
[◎]、[▲][▼]：音量調整
[◀]（1秒以上）／[▶]（1秒以上）：巻き戻し／早送り
[◀]、[▲]（1秒以上）：チャプター／曲の先頭に移動※2
[▶]、[▼]（1秒以上）：次のチャプター／曲に移動
[♪]（すばやく2回）※1：クイックプレイリスト登録
[♪]（1秒以上）※1：終了

※1 ミュージックプレーヤーのみ有効
※2 再生時間が3秒以内／3秒未満の場合、前のチャプター／曲に移動

ネットワークサービス

❖留守番電話サービス

申し込み：必要　月額使用料：有料

サービスを開始する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[8][1][1][1]▶「はい」▶「はい」▶呼出時間を入力

サービスを停止する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[8][1][1][3]▶「はい」

伝言メッセージを再生する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[8][1][1][5]▶[1]または[2]▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

❖キャッチホン

申し込み：必要　月額使用料：有料

サービスを開始／停止する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[8][2][1]▶[1]［開始］または[2]［停止］▶「はい」

通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に[発信]
・通話相手の切り替え：[iα]

通話中に電話をかける

通話中に[MENU][0]▶電話番号を入力▶[発信]
・通話相手の切り替え：[iα]

通話を終了する

一方の相手との通話が終了したら[終話]
・保留中相手との通話再開：[発信]または[●]

❖転送でんわサービス

申し込み：必要　月額使用料：無料

サービスを開始する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[8][2][2][1]▶「はい」▶「はい」

2 転送先電話番号を入力
・電話帳から転送先を入力：[MENU]

3 [📷]▶「はい」▶呼出時間を入力

サービスを停止する

1 [MENU]［設定／NWサービス］[8][2][2][2]▶「はい」

❖番号通知お願いサービス

申し込み：不要　月額使用料：無料

サービスの開始／停止

1 [MENU]［設定／NWサービス］[8][4][2]▶[1]［開始］または[2]［停止］▶「はい」

ディスプレイの見かた

❖ディスプレイ上部

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬

① : 電池アイコン
② : アンテナアイコン
圏外 : 圏外表示
SELF : セルフモード中
: データ転送モード中
③ ／ : ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）

④ : 赤外線通信中など
(青) ／ (グレー) : Bluetooth電源ON中／省電力中
: 積算通話料金が上限を超過
⑤ : Bluetooth接続処理中
: ハンズフリー対応機器で通信中
: Bluetoothハンズフリー通信中
: Bluetoothヘッドセット通信中
: スピーカーホン機能利用中
: 省電力モード設定中
⑥ : GPSで測位中
(青) ／ (グレー) : GPSで位置提供設定中／許可期間外
⑦ : 電話帳、スケジュールがシークレット属性

⑧ : 未読エリアメール
: 未読ｉモードメール、SMS満杯かつFOMAカードにSMS満杯
: ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
⑨ : プッシュトーク通信中
: ｉモードセンター蓄積状態表示
⑩ : SSLページ表示中など
: 圏内自動送信失敗メールあり
: 圏内自動送信メールあり
⑪ ／ : ｉアプリ／ｉアプリDX動作中
: ｉアプリ待受画面表示中など
: ｉアプリコール受信中
⑫ : 目覚まし設定中
: スケジュールアラーム設定中
: 目覚ましとスケジュールアラーム同時設定中
⑬ OFFICEED : OFFICEEDエリア内

❖ディスプレイ下部

①②③④⑤⑥
⑦
⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲

① : 不在着信
② : 伝言メモ
③ : 留守番電話サービスの伝言メッセージ
④ : 未読メール
⑤ : 未読トルカ
⑥ : ｉアプリコール
⑦ : 待受ショートカット
⑧ : マナーモード中
: オリジナルマナーモード中

⑨ : 電話着信音量消音設定中
: 音声電話着信のバイブレータ設定中
: 電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータ同時設定中
⑩ : 公共モード（ドライブモード）中
⑪ ／ : 伝言メモ設定中／満杯
⑫ : ダイヤル発信制限中
: HOLD中
⑬ ／ ／ : GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了
: パーソナルデータロック中
⑭ : FOMAカード読み込み中
: ICカードロック中など
⑮ ／ : 有効マルチカーソルキー
: 開閉ロック中

⑯ : ワンセグ予約録画中／ワンセグ録画中（視聴のみ終了）
: ｉアプリ自動起動失敗
⑰ : USBモード設定とmicroSDカードの状態表示
⑱ : USBケーブルで外部機器と接続中
: ウォーキングチェッカー設定中
⑲ ／ : ソフトウェア更新予約中／更新お知らせアイコン
／ : 最新パターンデータの自動更新失敗／成功

キリトリ線

キリトリ線

メニュー一覧

・表示メニュー設定を「ベーシックメニュー」にした場合のメニュー一覧を記載しています。

メール

1 1	受信メール
1 2	新規メール
1 3	新規デコメアニメ
1 4	未送信メール
1 5	送信メール
1 6	i モード問合せ
1 7	WEBメール
1 8	SMS／エリアメール設定
1 9	メール選択受信
1 *	テンプレート
1 0	メール設定

i モード

2 1	i Menu
2 2	Bookmark
2 3	画面メモ
2 4	ラストURL
2 5	Internet
2 6	メッセージR/F
2 7	i チャネル
2 8	i モード設定
2 9	フルブラウザ

i アプリ

3 1	ソフト一覧
3 2	i アプリコール履歴
3 3	i アプリ設定

3 4	履歴表示
3 5	i アプリについて

電話帳／履歴

4 1	電話帳検索
4 2	電話帳登録
4 3	電話帳グループ追加
4 4	FOMAカード（UIM）登録
4 5	プッシュトーク電話帳
4 6	着信履歴
4 7	リダイヤル
4 8	伝言メモ／音声メモ
4 9	メール送受信履歴
4 *	プロフィール情報

データBOX

5 1	マイピクチャ
5 2	ミュージック
5 3	Music&Videoチャネル
5 4	i モーション
5 5	メロディ
5 6	マイドキュメント
5 7	きせかえツール
5 8	マチキャラ
5 9	キャラ電
5 *	ワンセグ
5 0	その他

LifeKit

6 1	バーコードリーダー

6 2	赤外線・iC・PC連携
6 3	microSD
6 4	カメラ
6 5	サウンドレコーダー
6 6	電話帳お預かりサービス
6 7	地図・GPS
6 8	ウォーキングチェッカー
6 9	ワンセグ
6 *	Bluetooth

アクセサリー

7 1	スケジュール帳
7 2	テキストメモ
7 3	目覚まし
7 4	電卓
7 5	辞典

7 6	お知らせタイマー
7 7	イミテーションコール

設定／NWサービス

8 1	音／バイブ	
8 2	ディスプレイ	
8 3	きせかえ／ライフスタイル	
8 4	セキュリティ／ロック	ロック プライバシーモード セキュリティランプ設定 電話／メール着信時設定 FOMAカード（UIM） 暗証番号／指紋設定 スキャン機能 パスワードマネージャー

8 5 発着信・通話機能	電話発着信設定 発番号なし動作設定 エニーキーアンサー設定 イヤホン機能設定 メモリ着信拒否／許可 発着信詳細設定 通話詳細設定 セルフモード設定
8 6 テレビ電話／プッシュトーク	
8 7 時計／入力／他	時計 文字入力設定 文字サイズ設定 ソフトウェア更新 情報表示／リセット サイドキー長押し設定 フィンガーポインター設定

	モーションセンサー設定
8 8 NWサービス	留守番電話 キャッチホン／転送でんわ 着もじ 番号通知 ローミングガイダンス設定 OFFICEED 2in1設定 メロディコール設定 その他のNWサービス
8 9 国際ローミング／ダイヤルアシスト	

MUSIC

9 1 ミュージックプレーヤー
9 2 Music&Videoチャネル

おサイフケータイ

* 1 ICカード一覧
* 2 DCMX
* 3 トルカ
* 4 ICカードロック設定
* 5 トルカ設定
* 6 ICオーナー確認
* 7 ICオーナー変更
* 8 ｉモードで探す

プロフィール

ｉコンシェル

キリトリ線

その他の主な操作

機　能	操作方法
HOLDの起動／解除	MENU（1秒以上）
セルフモードの起動／解除	CLR（1秒以上）
公共モードの起動／解除	（1秒以上）
ｉモードメニューの表示	iα
ｉアプリフォルダ一覧の表示	iα（1秒以上）
着信履歴／リダイヤルの表示	／
ICカードロックの起動／解除	（1秒以上）※
スケジュール帳の表示	
目覚まし一覧の表示	（1秒以上）
マナーモードの起動／解除	#（1秒以上）
ｉウィジェットの起動	TV
クイック検索の起動	
新規起動メニュー	MULTI

※ 解除時は認証操作が必要です。

利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

紛失時などの緊急連絡先

❖おまかせロック

※おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合や、ドコモプレミアクラブ会員のお客様は無料になります。また、ケータイあんしんパックをご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。

おまかせロックの設定／解除（24時間受付）

0120-524-360

❖その他緊急連絡先

連絡先：

連絡先：

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

docomo F-01A

クイックマニュアル（海外利用編）

❖海外での紛失、盗難、精算などについて

〈ドコモ インフォメーションセンター〉

（24時間受付）

● ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-5366-3114*（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-01Aからご利用の場合は、+81-3-5366-3114でつながります（「+」は[0]を1秒以上押します）。

● 一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-0120-0151*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

❖海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉

（24時間受付）

● ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-6718-1414*（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-01Aからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は[0]を1秒以上押します）。

● 一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-5931-8600*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外で利用するための準備

❖ｉモードの設定

日本での設定： ｉMenu→お客様サポート→各種設定（確認・変更・利用）→その他サービス設定・確認→海外利用設定→ｉモード利用設定

海外での設定： ｉMenu→海外利用設定→ｉモード利用設定

❖遠隔操作設定の開始

日本での設定： [MENU]［設定／NWサービス］[8][9][2][1]▶「はい」

海外での設定： [MENU]［設定／NWサービス］[9][1][3]▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

❖デュアル時計設定

[MENU]［設定／NWサービス］[9][4]▶[1]［ON］または[2]［OFF］

キリトリ線

ネットワークと利用できる通信サービス

・海外でのパケット通信料は、日本国内でのパケット通信料と異なります。

通信サービス	ネットワーク		
	3G	GPRS	GSM
	3G ※1	GPRS	GSM
音声電話	○	○	○
テレビ電話	○	×	×
ｉモード接続	○	○	×
ｉモードメール	○	○	×
SMS	○	○	○
ｉチャネル	○	○	×
GPSの現在地確認	○	○	○
データ通信（パケット通信）※2	○	○	×

※1 3G（赤）のときは、音声電話とSMSの発着信、GPSの現在地確認が利用できます。

※2 海外ではパソコンなどと接続して行う64Kデータ通信は利用できません。

ネットワークサーチ設定

[MENU]［設定／NWサービス］[9][2][1]▶[1]～[3]

優先ネットワーク設定

[MENU]［設定／NWサービス］[9][2][1][4]▶ネットワークにカーソル▶[MENU][2]▶優先順位を選択▶[カメラ]

オペレータ名表示設定

ディスプレイ上部にオペレータ名を表示します。

[MENU]［設定／NWサービス］[9][2][3]▶[1]［表示あり］または[2]［表示なし］

帰国後の設定

帰国後に電源を入れると、自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に、3G/GSM切替を「自動」に設定し直します。

電話／テレビ電話のかけかた

・海外にいるWORLD WING利用者へ電話をかけるときは、同じ国に滞在している場合でも、「+」と日本の国番号「81」を入力してください。

❖滞在国外（日本を含む）への電話のかけかた

[0]（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[発信]または[カメラ]

❖滞在国内への電話のかけかた

電話番号を入力▶[発信]または[カメラ]▶「元の番号で発信」

電話／テレビ電話の受けかた

電話がかかってくる▶[着信]または[テレビ電話]

ローミングガイダンス設定

・日本国内で設定してください。
[MENU]［設定／NWサービス］[8][5]▶[1]［開始］または[2]［停止］▶「はい」

国際ローミング中の着信を規制する

・海外の通信事業者によっては、設定できない場合があります。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[9][2][4]
2 [1]▶[1]または[2]
・ローミング時着信規制の停止：[2]
3 「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力

ネットワークサービス

・海外から利用する場合はあらかじめ遠隔操作設定が必要です。

❖留守番電話サービス

[MENU]［設定／NWサービス］[9][1][1]▶[1]［開始］または[2]［停止］▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

❖転送でんわサービス

[MENU]［設定／NWサービス］[9][1][2]▶[1]［開始］または[2]［停止］▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

❖ローミングガイダンス設定

[MENU]［設定／NWサービス］[9][1][5]▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、次の番号を使用してください。

地　域	番　号	地　域	番　号
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
イギリス	44	トルコ	90
イタリア	39	日本	81
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853

地　域	番　号	地　域	番　号
台湾	886	マレーシア	60
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7
中国	86		

・この他の国番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

地　域	番　号	地　域	番　号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021／0014
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00

地　域	番　号	地　域	番　号
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

地　域	番　号	地　域	番　号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00

地　域	番　号	地　域	番　号
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

お問い合わせについて

海外での紛失や、盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP1の「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

・各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「国際電話アクセス番号（表1）」「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）」が必要になります。

キリトリ線

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから	**i Menu ⇒ お客様サポート ⇒ お申込・お手続き ⇒ 各種お申込・お手続き** パケット通信料無料
パソコンから	**My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き**

※iモードからご利用になる場合､｢ネットワーク暗証番号｣が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です｡海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合､｢docomo ID／パスワード｣が必要となります。
※｢ネットワーク暗証番号｣および｢docomo ID／パスワード｣をお持ちでない方･お忘れの方は、取扱説明書裏面の｢総合お問い合わせ先｣にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用になる場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● 公共モード（ドライブモード／電源OFF）
電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が切断されます。→P69

● 伝言メモ
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音／録画します。→P70

● 着信バイブレータ
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P93

● マナーモード／オリジナルマナーモード
キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。→P95
マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。→P95

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、i モードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/　　i モードサイト　i Menu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114***（無料）
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※F-01Aからご利用の場合は、+81-3-5366-3114でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P375をご覧ください。

海外での故障に関して〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414***（無料）
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※F-01Aからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P375をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00
環境保全のため、不要になった電池は
NTTドコモまたは代理店、リサイクル
協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

2009.1（2.3 版）
CA92002-5470

F-01A
パソコン接続マニュアル

■ パソコン接続マニュアルについて
本マニュアルでは、F-01Aでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

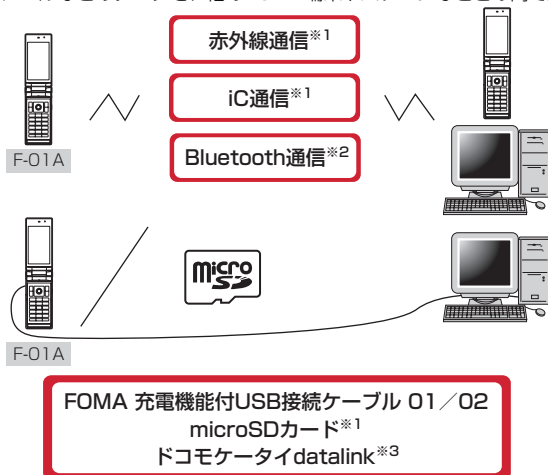
2008.11（1版）
CA92002-5474

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX™通信）に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。また、海外では64Kデータ通信は利用できません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaをご利用の場合は、アップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

※1 詳しくは、『F-01A取扱説明書』の「データ管理」章をご覧ください。
※2 詳しくは、『F-01A取扱説明書』の「便利な機能」章をご覧ください。
※3 詳しくは、『F-01A取扱説明書』の「パソコン接続」章をご覧ください。

パケット通信

FOMA端末とパソコンなどをUSBケーブルやBluetooth機能で接続し、各種設定を行うことで利用できます。送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA、museaやsigmarion ⅢなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。
※ Bluetooth機能で接続してデータ通信を行う場合は、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機器間の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。
※ 受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

64Kデータ通信

FOMA端末とパソコンなどをUSBケーブルやBluetooth機能で接続し、各種設定を行うことで利用できます。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用して、データを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 USBケーブル接続の場合：USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠） Bluetooth接続の場合：Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0＋EDRに準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）※	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
必要メモリ	Windows 2000：64MB以上　Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※ ドコモ コネクションマネージャが動作する推奨環境は次のとおりです。
OS：Windows 2000 SP4以上、Windows XP SP2以上（詳細については、ドコモのホームページをご覧ください）
ハードディスク容量：15MB以上の空き容量

- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer7.0以降（Windows XPの場合は、Microsoft Internet Explorer6.0以降）です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ① (スタート)→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  Windows XP、Windows 2000のとき：「スタート」→「ファイルを指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に次のように入力して「OK」をクリック
  ＜CD-ROMドライブ名＞：index.html
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。
- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。
  ※ お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「F-01A用CD-ROM」

※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※ Bluetooth接続の場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02またはFOMA USB接続ケーブルは必要ありません。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

● ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。
mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。

接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

● DoPaのアクセスポイントには接続できません。
● moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
http://www.mopera.net/mopera/index.html

ユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の『簡易操作マニュアル』をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること
- Bluetooth接続の場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0＋EDRに準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

USBケーブル接続の場合

① FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする→P6
- 付属のCD-ROMからインストール
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

② パソコンとFOMA端末を接続する→P5

③ FOMA通信設定ファイルを確認する→P8

Bluetooth接続の場合

① Bluetooth接続を準備する→P10

② モデムの確認をする→P11

ドコモ コネクションマネージャをインストールする→P14

ドコモ コネクションマネージャでデータ通信の設定をする※

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する→P18

通信を実行する

※ ドコモ コネクションマネージャの設定については、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

FOMA通信設定ファイル

USBケーブルでパソコンと接続してパケット通信または64Kデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

Bluetooth接続を利用する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続して、データ通信を行います。

● 詳しくは、「Bluetooth接続を準備する」をご覧ください。→P10

ドコモ コネクションマネージャ

付属のCD-ROMからドコモ コネクションマネージャをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

インストール／アンインストール前の注意点

● 操作を始める前に他のプログラムが動作中でないことを確認し、動作中のプログラムがある場合は終了してください。

※ ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
　例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。

● FOMA通信設定ファイルやドコモ コネクションマネージャのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。

● パソコンの操作方法、管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

● パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

● 初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしてください。→P6

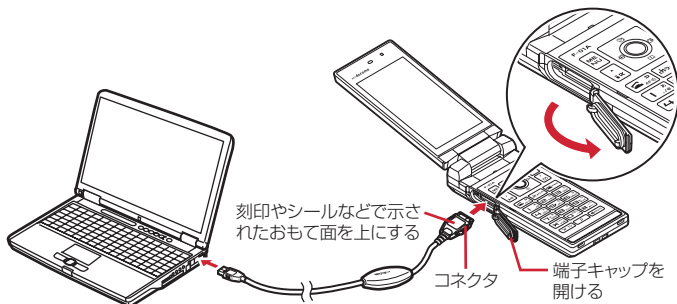
USBケーブルで接続する

● FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02は別売りです。

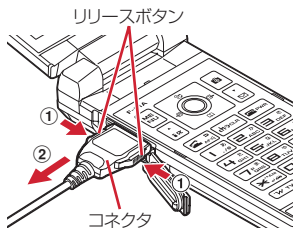
● 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01での場合を例に説明しています。

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求されます。この場合はFOMA端末を取り外して、表示された画面で「キャンセル」をクリックして終了してください。

- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面に が表示されます。

取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

2 パソコンからUSBケーブルを取り外す

お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中に USB ケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

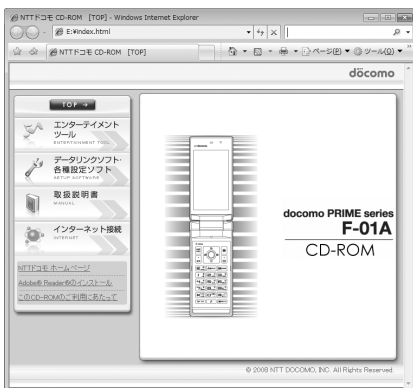
FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、あらかじめインストールしておきます。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- Bluetooth接続の場合は、FOMA通信設定ファイルのインストールは必要ありません。
- 操作4までFOMA端末を接続しないでください。

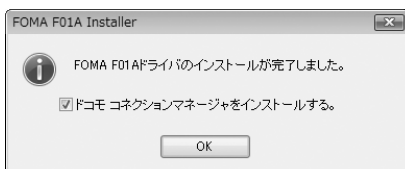
〈例〉Windows Vistaにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」→「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の「インストール」を順にクリックし、表示されるウィンドウから「F01Ast.exe」アイコンをダブルクリック

3 「インストール開始」をクリック

4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

5 インストール完了画面で「OK」をクリック

続いてドコモ コネクションマネージャをインストールし、データ通信の設定を行います。「ドコモ コネクションマネージャをインストールする」の操作3からインストールを続けてください。→P15

- ドコモ コネクションマネージャについては、「ドコモ コネクションマネージャを利用する」をご覧ください。→P12

FOMA通信設定ファイルを確認する

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows Vistaで確認するとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

■ Windows XPのとき

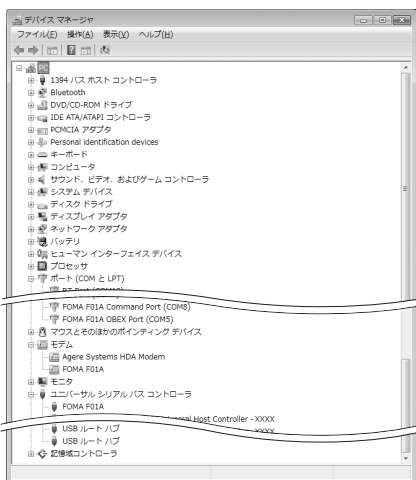
①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック

②「システムのプロパティ」画面で「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

■ Windows 2000のとき

①「スタート」をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→「システム」アイコンをダブルクリック

②「システムのプロパティ」画面で「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。表示される順番はOSにより異なります。
  - ポート（COMとLPT）：
    FOMA F01A Command Port（COMx）※
    FOMA F01A OBEX Port（COMx）※
  - モデム：FOMA F01A
  - ユニバーサルシリアルバスコントローラまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ：
    FOMA F01A

※ xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

FOMA通信設定ファイルをアンインストールする

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作する前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows Vistaでアンインストールするとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

■ Windows XPのとき

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を順にクリック

■ Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリック

2 「FOMA F01A USB」を選択して「アンインストールと変更」（Windows XP、Windows 2000の場合は「変更と削除」）をクリック

3 「FOMA F01A Uninstaller」と表示されていることを確認して「はい」をクリック

アンインストールを開始します。

4 アンインストール中画面の表示後に「OK」をクリック

お知らせ

- 削除画面で「FOMA F01A USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P6

Bluetooth®接続を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続して、データ通信を行います。

- 詳しくは、『F-01A取扱説明書』の「便利な機能」章をご覧ください。
- パソコンの操作方法については、ご使用になるパソコンの取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末にパソコンを登録する

初めてBluetooth接続する場合は、FOMA端末にパソコンを登録する必要があります。

- パソコンを登録するには、Bluetoothパスキーの入力が必要です。あらかじめ、半角英数字4〜16桁でBluetoothパスキーを決めておいてください。

1 FOMA端末で[MENU]［LifeKit］[✂][5]

登録待受中になり、FOMA端末の画面に（青）が表示されます。

- 5分経過しても接続がない場合は、自動的に中止されます。

2 パソコンでFOMA端末の検索と機器登録をする

- FOMA端末が登録待受中に行います。
- パソコンの取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、また「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されている場合があります。

3 FOMA端末に接続確認画面が表示されたら「はい」を選択

4 FOMA端末でBluetoothパスキーを入力して[●]

- FOMA端末とパソコンで同じBluetoothパスキーを入力します。

FOMA端末にパソコンが機器登録され、登録が完了するとダイヤルアップ登録待受中に戻り、接続待機状態になります。

5 パソコンで接続の操作をする

- ドコモ コネクションマネージャを利用して、データ通信の操作を行います。
- パソコンとFOMA端末が接続すると、FOMA端末の画面に（青）が点滅します。
- ドコモ コネクションマネージャについては、「ドコモ コネクションマネージャを利用する」をご覧ください。→P12

お知らせ

- ダイヤルアップ登録待受中は、ヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスの接続待機はできません。
- パソコンにFOMA端末を登録する場合、パソコンが複数の機器を検索したときは、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索したときは、機器アドレスで判別してください。

モデムの確認をする

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。パソコンでご使用になるモデムのモデム名や、ダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認します。

〈例〉Windows Vistaで確認するとき

1 **(スタート)→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック**

■ Windows XPのとき

①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック

②「システムのプロパティ」画面で「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

■ Windows 2000のとき

①「スタート」をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→「システム」アイコンをダブルクリック

②「システムのプロパティ」画面で「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 **各デバイスの種類をダブルクリック→モデム名またはCOMポート番号を確認**

- 「モデム」、「ポート（COMとLPT）」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されます。

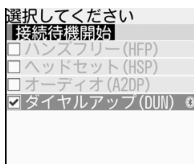
登録済みのパソコンと接続する

FOMA端末に登録済みのパソコンとBluetooth接続する場合は、FOMA端末を接続待機状態にしておきます。

1 **FOMA端末で MENU [LifeKit] * 4 ▶ 1**

2 **「ダイヤルアップ」を選択 ▶ 📷**

接続待機状態になり、待受画面に戻ります。

選択してください
接続待機開始
□ハンズフリー(HFP)
□ヘッドセット(HSP)
□オーディオ(A2DP)
☑ダイヤルアップ(DUN)

3 **パソコンで接続の操作をする**

- ドコモ コネクションマネージャを利用して、データ通信の操作を行います。
- パソコンとFOMA端末が接続すると、FOMA端末の画面に（青）が点滅します。
- ドコモ コネクションマネージャについては、「ドコモ コネクションマネージャを利用する」をご覧ください。→P12

ダイヤルアップ通信サービスを停止する

1 **FOMA端末で MENU [LifeKit] * 2**

2 **登録機器リストから接続待機中のパソコンを選択 ▶ 2**

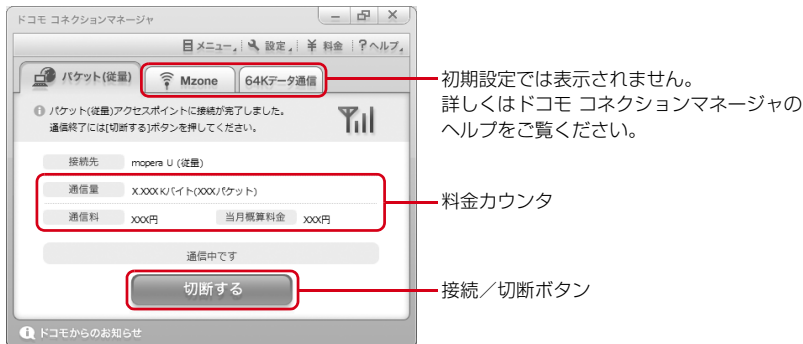
3 **「ダイヤルアップ」を選択 ▶ 📷**

ダイヤルアップ通信サービスが停止します。

ドコモ コネクションマネージャを利用する

ここでは、従量接続用ドコモ コネクションマネージャのインストール方法について説明します。

ドコモ コネクションマネージャ

ドコモ コネクションマネージャは、従量制プランでデータ通信を行うためのソフトウェアです。
ドコモ コネクションマネージャを利用すると、mopera Uへの申し込みや、FOMA端末とパソコンを接続してデータ通信を行うための設定が簡単に行えます。
料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

● FOMA端末を使ってインターネットに接続するには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

お知らせ

- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
  パケット定額サービスのパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフル、パケ・ホーダイ ダブル、Biz・ホーダイ、Biz・ホーダイ ダブルでは、パソコンに接続した場合のデータ通信などは定額対象外となりますのでご注意ください。
- 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プランのインターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 定額データプランを利用する場合は、「定額データプラン接続ソフト」を必ずご利用ください。「定額データプラン接続ソフト」は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- moperaの接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に次の事項を確認し、必要に応じてソフトの設定変更やアンインストールを行ってください。

● FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）を用意してください（Bluetooth接続の場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）は必要ありません）。
● サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認してください。
● ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更してください。→P13「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」

Internet Explorerの設定を変更する

● ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、あらかじめInternet Explorerの「インターネットオプション」で、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

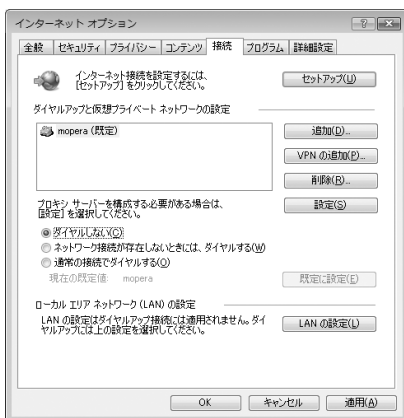
〈例〉Windows Vistaで変更するとき

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」を順にクリック

■ Windows XP、Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows2000の場合は「プログラム」）を選択→「Internet Explorer」をクリック

2 「ツール」→「インターネットオプション」を順にクリック

3 「接続」タブをクリック→「ダイヤルしない」を選択

4 「OK」をクリック

ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

ドコモ コネクションマネージャには次のソフトと同じ機能が搭載されておりますので、同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを行ってください。

- mopera Uかんたんスタート
- Uかんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

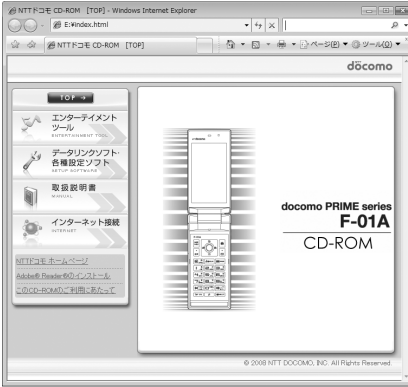
また、ドコモ コネクションマネージャでMzone（公衆無線LAN接続）を利用する場合は、次の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。なお、同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのMzone接続はご利用いただけません。

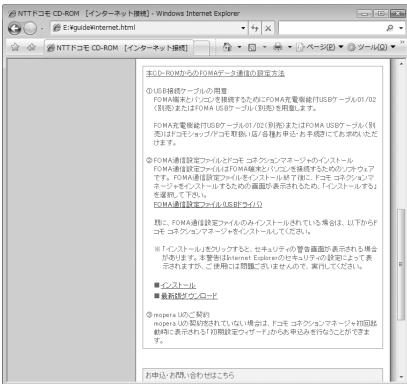
- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

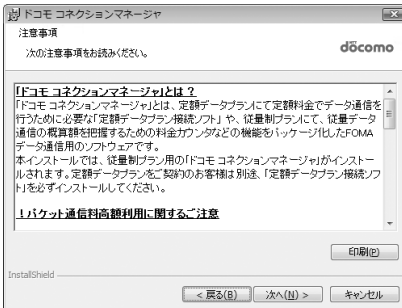
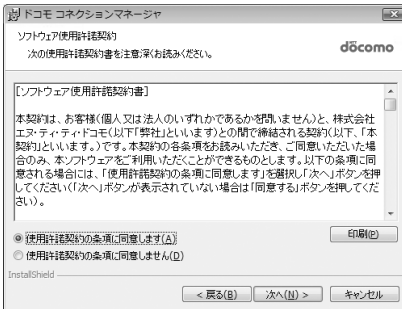
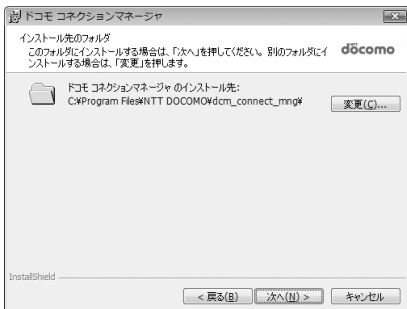
- FOMA通信設定ファイルのインストール完了時に、ドコモ コネクションマネージャをインストールするための画面が表示された場合は、「インストール」をクリックして操作3から始めます。
- すでにFOMA通信設定ファイルがインストールされている場合、またはBluetooth接続のみでデータ通信を行う場合は、操作1から始めます。

〈例〉Windows Vistaにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 「インターネット接続」→「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の操作②にある「インストール」を順にクリック

- セキュリティの警告画面が表示された場合は、「実行」をクリックします。

- Windows XPでMSXML6･Wireless LAN APIのインストールの確認画面が表示された場合は「Install」をクリックし、MSXML6 · Wireless LAN APIをインストールします。MSXML6 · Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールが始まります。

3 「次へ」をクリック

4 注意事項を確認して「次へ」をクリック

5 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリック

6 インストール先のフォルダを確認して「次へ」をクリック

7 「インストール」をクリック

インストールが始まります。

8 「InstallShieldウィザードを完了しました」画面が表示されたら「完了」をクリック

ドコモ コネクションマネージャのインストールが完了します。

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、動画の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。

ドコモ コネクションマネージャで通信を設定する

● 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

〈例〉Windows Vistaで設定するとき

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリック

■ Windows XP、Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順に選択して→「ドコモ コネクションマネージャ」をクリック

ドコモ コネクションマネージャが起動します。
初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。

2 設定ウィザードに従って通信の設定をする

インターネットに接続してデータ通信を行うための設定を行います。
設定後にドコモ コネクションマネージャを利用して、通信を実行することができます。
詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。
- OS アップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

ドコモ コネクションマネージャを利用しないで、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

- パケット通信でmopera UなどHIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用する場合は、ドコモ コネクションマネージャを利用して設定してください。

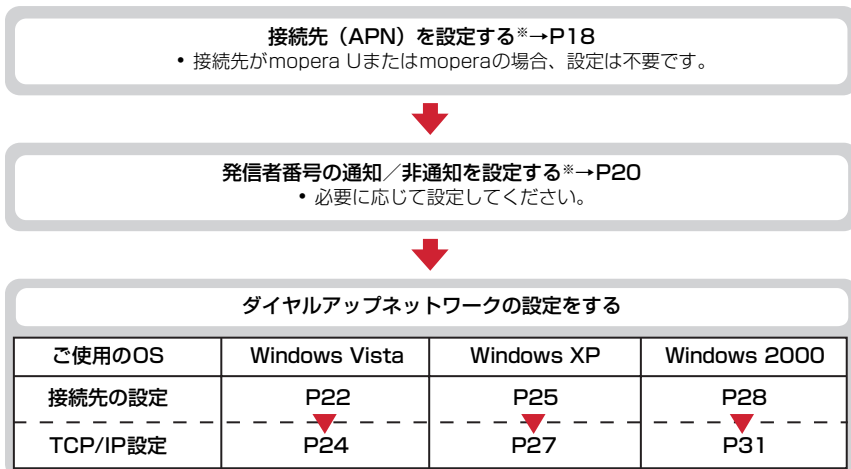
ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P4

接続先（APN）を設定する※→P18
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する※→P20
- 必要に応じて設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	Windows Vista	Windows XP	Windows 2000
接続先の設定	P22	P25	P28
TCP/IP設定	P24	P27	P31

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows 2000、Windows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先（APN）を設定する

接続先（APN）と登録番号（cid）

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- USBケーブル接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先（APN）を設定する必要があります。
- パケット通信時にUSBケーブル接続とBluetooth接続を切り替える場合は、再度接続先（APN）を設定する必要があります。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

接続先（APN）を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

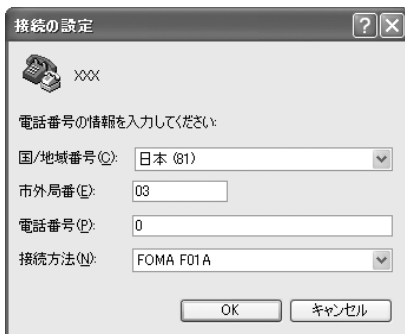
1 パソコンとFOMA端末を接続

USBケーブル接続の場合→P5
Bluetooth接続の場合→P11

2 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

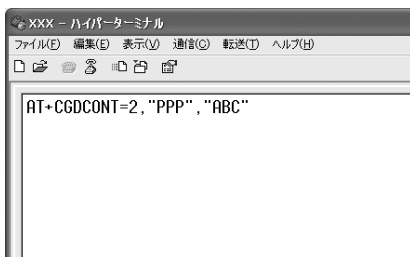
3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

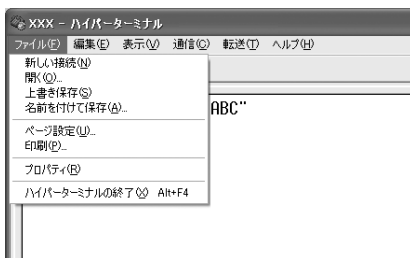
- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>|"

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」を選択→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。
- 「接続方法」は次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「FOMA F01A」を選択
  Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」を選択

5 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

6 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=<cid>,"<PDP_TYPE>","<APN>"」の形式で入力→ ⏎

<cid> ：2または4～10の範囲で任意の番号
<PDP_TYPE>：IPまたはPPP
<APN> ：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P42「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

● mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

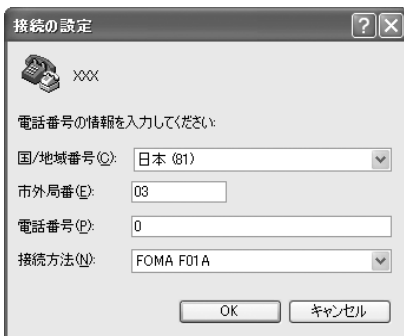
1 パソコンとFOMA端末を接続

USBケーブル接続の場合→P5
Bluetooth接続の場合→P11

2 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

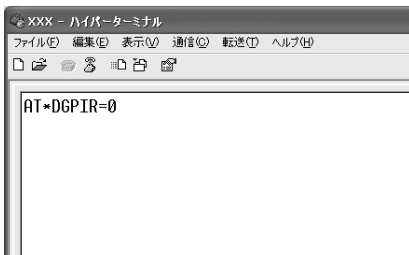
3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

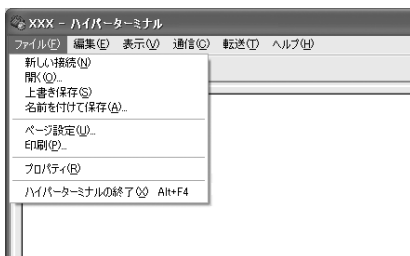
- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|”

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」を選択→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。
- 「接続方法」は次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「FOMA F01A」を選択
  Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」を選択

5 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

6 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→⏎

<n>：0～2
0　：そのまま接続（お買い上げ時）
1　：184を付けて接続（非通知）
2　：186を付けて接続（通知）

- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

● ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

Windows Vistaでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

USBケーブル接続の場合→P5
Bluetooth接続の場合→P11

2 （スタート）→「接続先」を順にクリック

3 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

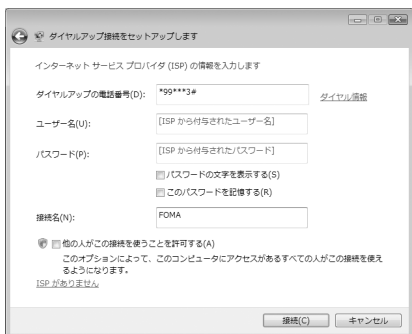
4 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して「次へ」をクリック

■「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき

USBケーブル接続の場合：「FOMA F01A」をクリック

Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」をクリック

5 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して「接続」をクリック

<cid>：P19「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に．（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|

6 接続中の画面で「スキップ」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

7 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

8 「閉じる」をクリック

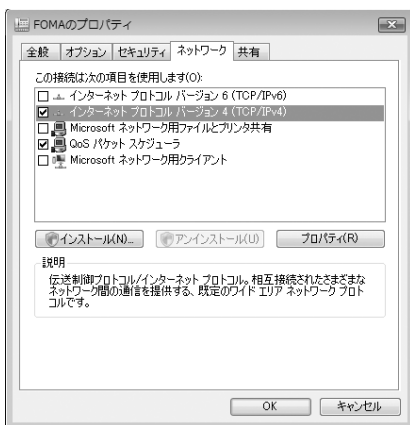
TCP/IPプロトコルを設定する

1 (スタート)→「接続先」を順にクリック

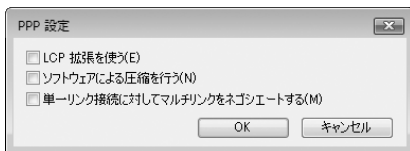
2 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

3 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「接続の方法」で「モデム-FOMA F01A」のみを選択します。
  Bluetooth接続の場合：「接続の方法」で「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム)」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム)」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

4 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6)」を非選択（□）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- プロバイダなどから「QoSパケットスケジューラ」および、その他の項目についての指示がある場合は、必要に応じて選択／非選択を設定してください。

5 「オプション」タブをクリック→「PPP設定」をクリック

6 すべての項目を非選択（□）に設定→「OK」をクリック

7 「OK」をクリック

通信を実行する→P33

Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

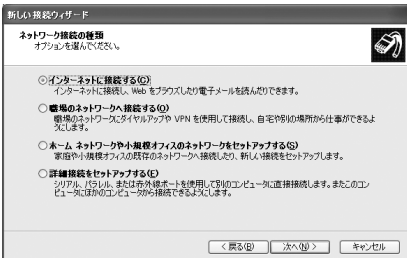
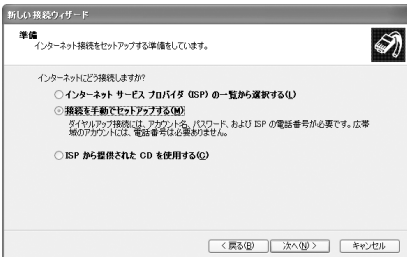
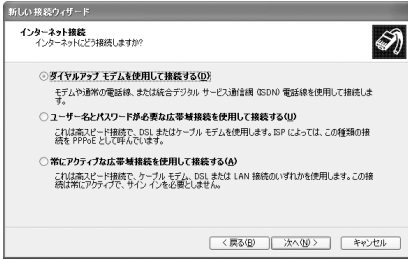
1 **パソコンとFOMA端末を接続**

USBケーブル接続の場合→P5
Bluetooth接続の場合→P11

2 **「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック**

3 **「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック**

4 **「新しい接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック**

5 **「インターネットに接続する」を選択して「次へ」をクリック**

6 **「接続を手動でセットアップする」を選択して「次へ」をクリック**

7 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して「次へ」をクリック

■「デバイスの選択」画面が表示されたとき

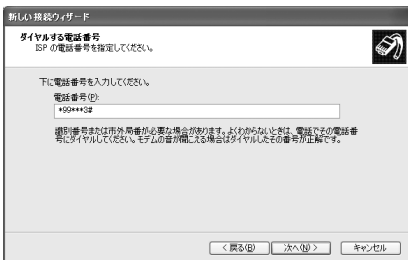
USBケーブル接続の場合：「モデム-FOMA F01A」を選択して「次へ」をクリック

Bluetooth接続の場合：「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択して「次へ」をクリック

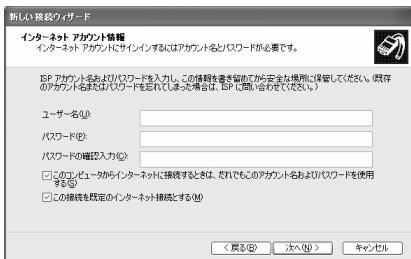
8 「ISP名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「ISP名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|”

9 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「次へ」をクリック

<cid>：P19「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

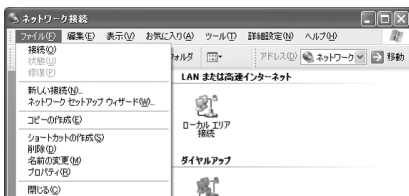
10 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して「次へ」をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

11 「新しい接続ウィザードの完了」画面で「完了」をクリック

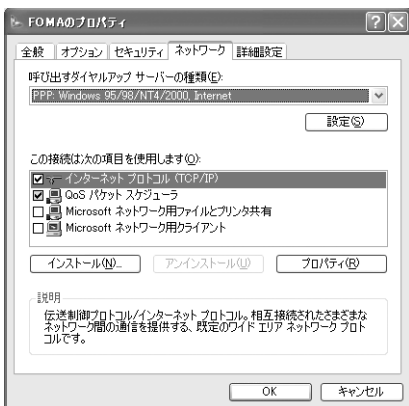
12 「(操作8で入力したISP名) へ接続」画面で設定内容を確認して「キャンセル」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

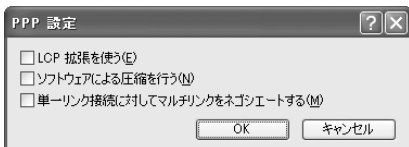
TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合:「接続方法」で「モデム-FOMA F01A」のみを選択します。
  Bluetooth接続の場合:「接続方法」で「モデム-(ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム)」または「モデム-(Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム)」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択(□)にしてください。
- 「接続方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択(□)にします。

3 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。

4 「設定」をクリック

5 すべての項目を非選択（□）に設定→「OK」をクリック

6 「OK」をクリック

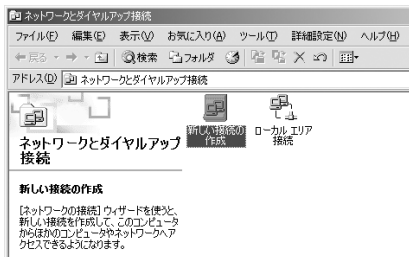
通信を実行する→P33

Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

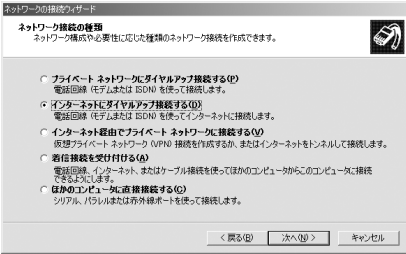
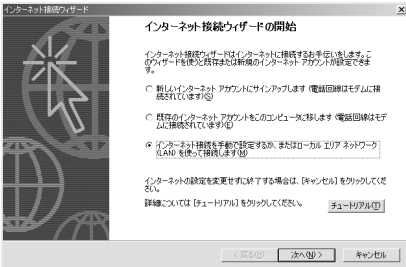
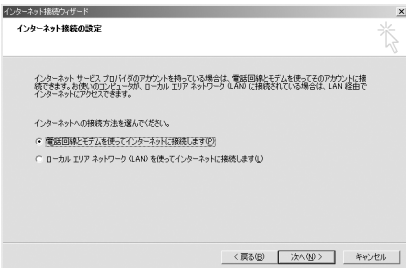
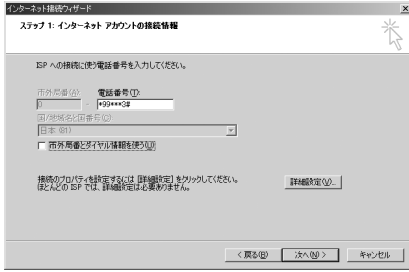
USBケーブル接続の場合→P5
Bluetooth接続の場合→P11

2 「スタート」をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリック

■「所在地情報」画面が表示されたとき

①「市外局番／エリアコード」に市外局番を入力→「OK」をクリック

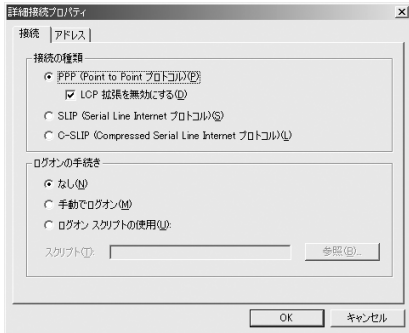
②「電話とモデムのオプション」画面で「OK」をクリック

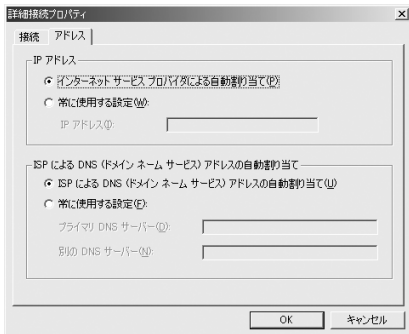
3 「ネットワークの接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

4 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して「次へ」をクリック

5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して「次へ」をクリック

6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して「次へ」をクリック

■「モデムの選択」画面が表示されたとき

USBケーブル接続の場合：「FOMA F01A」を選択して「次へ」をクリック

Bluetooth接続の場合：「（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択して「次へ」をクリック

7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→「詳細設定」をクリック

＜cid＞：P19「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

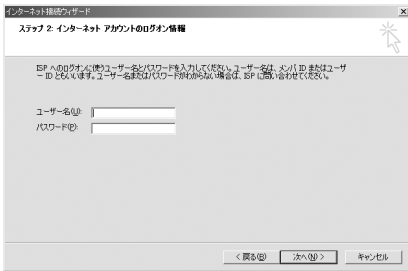
8 「接続」タブの各項目を画面例のように設定

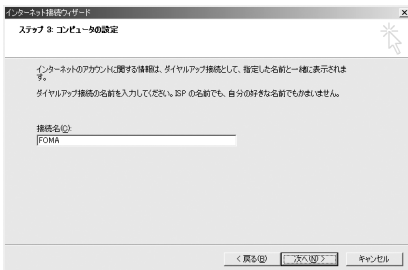
9 「アドレス」タブをクリック→各項目を設定

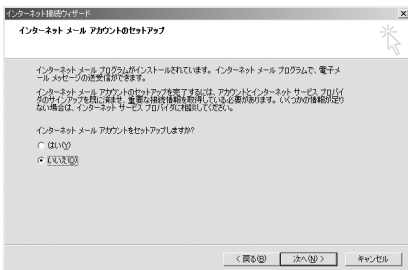
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、各種情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

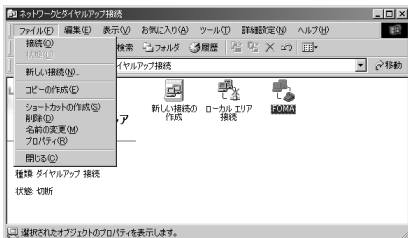
10 「OK」をクリック

11 「次へ」をクリック

12 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「次へ」をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。「次へ」をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

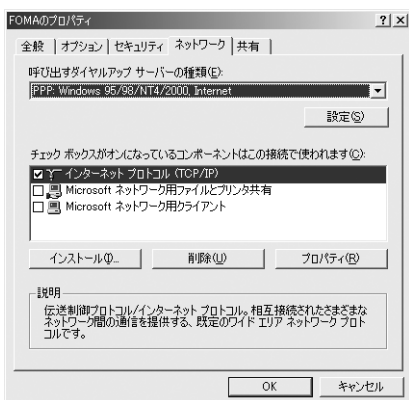
13 「接続名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。

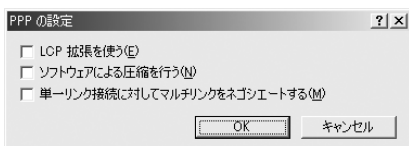
14 「いいえ」を選択して「次へ」をクリック

15 「完了」をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「接続の方法」で「モデム-FOMA F01A」のみを選択します。
  Bluetooth接続の場合：「接続の方法」で「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム)」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム)」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

4 「設定」をクリック

5 すべての項目を非選択（□）に設定→「OK」をクリック

6 「OK」をクリック

通信を実行する→P33

通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPで実行するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

USBケーブル接続の場合→P5
Bluetooth接続の場合→P11

2 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

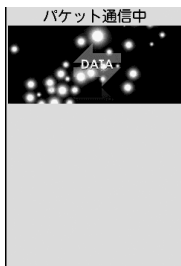
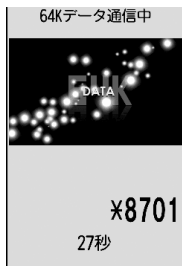
■ Windows Vistaのとき

(スタート)→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して「接続」をクリック

3 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「ダイヤル」をクリック

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は「OK」をクリックしてください。

お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき

64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信を実行する場合、接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。

通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

● Bluetooth接続の場合は、FOMA端末のダイヤルアップ通信サービスも停止します。

〈例〉Windows XPで通信を切断するとき

1 タスクトレイの をクリック→「切断」をクリック

■ Windows Vistaのとき

タスクトレイの を右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から ⏎ を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大256文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBやBluetoothインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO ⏎」と入力します。

お知らせ

- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、2in1がデュアルモードまたはAモード時はAナンバー、Bモード時はBナンバーで発信します。

ATコマンド一覧

- FOMA F01A（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/ A/ OK	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
AT AT ↵ OK	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
ATA RING ATA ↵ CONNECT	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
ATD ATD＊99＊＊＊1# ↵ CONNECT 460800	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATE<n> ※1 ATE1 ↵ OK	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATH ATH ↵ NO CARRIER	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P35
ATI<n> ATI0 ↵ NTT DoCoMo OK	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATO ATO ↵ CONNECT 460800	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATQ<n> ※1 ATQ0 ↵ OK	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。
ATS0=<n> ※1 ATS0=0 ↵ OK	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS2=<n> ATS2=43 ↵ OK	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS3=<n> ATS3=13 ↵ OK	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS4=<n> ATS4=10 ↵ OK	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8 ↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5 ↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3 ↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（お買い上げ時n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n> ※1 ATS10=1 ↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0 ↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：￥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n> ※1 ATV1 ↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同じ行に「0」を返します。
ATX<n> ※1 ATX4 ↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかどうかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかどうかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかどうかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATZ ※3 ATZ ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してからリセットします。
AT%V AT%V ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n> ※1 AT&C1 ↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定する場合は、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n> ※1 AT&D2 ↵ OK	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n> ※1 AT&E1 ↵ OK	接続時の速度表示仕様を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n> ※1 AT&S0 ↵ OK	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&W AT&W ↵ OK	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT＊DANTE AT＊DANTE ↵ ＊DANTE：3 OK	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=<n> ※2 AT＊DGANSM=0 ↵ OK	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGAPL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGARL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=<n> ※2 AT＊DGPIR=0 ↵ OK	パケット通信確立時に、発信者番号を通知するかどうかを設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P22 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DRPW AT＊DRPW ↵ ＊DRPW：0 OK	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CAOC AT+CAOC ↵ +CAOC："000024" OK	直前通話料金を表示します。
AT+CBC AT+CBC ↵ +CBC：0,100 OK	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBST=<n>,1,0 ※1 AT+CBST=116,1,0 ↵ OK	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64Kデータ通信（お買い上げ時）　n=134：64Kテレビ電話 AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CDIP=<n> ※1 AT+CDIP=0 ↵ OK	着サブアドレスの通知の有無を設定します。また、マルチナンバーの契約状況を確認できます。 n=0：サブアドレスを表示しません。（お買い上げ時）　n=1：サブアドレスを表示します。 AT+CDIP?：現在の設定を「+CDIP:<n>,<m>」で表示します。 m=0：マルチナンバー未契約　m=1：マルチナンバー契約中 AT+CDIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CEER AT+CEER ↵ +CEER：36 OK	直前の通信の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P41
AT+CGDCONT ※2 →P42	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P42

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGEQMIN ※2 →P42	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。→P42
AT+CGEQREQ ※2 →P43	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P43
AT+CGMR AT+CGMR ↵ 1234567890123456 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGREG=<n> ※1 AT+CGREG=0 ↵ OK	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は圏内／圏外です。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明 stat=5：圏内（国際ローミング中） AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGSN AT+CGSN ↵ 123456789012345 OK	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CLIP=<n> ※1 AT+CLIP=0 ↵ OK	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示するかどうかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　n=1：リザルトを表示する AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定　m=2：不明 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=<n> ※2 AT+CLIR=2 ↵ OK	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0：サービスご契約の設定に従う　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：CLIRは未起動（常時通知）　m=1：CLIRは起動（常時非通知） m=2：不明　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=<n> ※1 AT+CMEE=0 ↵ OK	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P41「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CNUM AT+CNUM ↵ +CNUM：,"090XXXXXXXX",129 OK	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号（2in1がデュアルモードまたはAモード時はAナンバー、Bモード時はBナンバーを表示） type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+COPS=<n>,2,<oper> ※2 AT+COPS=0 ↵ OK	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　n=1：マニュアル　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CPAS AT+CPAS ↵ +CPAS：0 OK	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できる状態かどうかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　n=1：不可能　n=2：状態不明　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CPIN="<pin>", "<newpin>" AT+CPIN="0000" ↵ OK	PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に、これらを入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示 n=READY：コード入力の要求なし　　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち
AT+CR=<n> ※1 AT+CR=0 ↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかどうかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信 serv=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n> ※1 AT+CRC=0 ↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかどうかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信 type=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n> ※1 AT+CREG=0 ↵ OK	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明 stat=5：圏内（国際ローミング中） AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>" ※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）の問い合わせや設定を行います。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n> ※1 AT+FCLASS=0 ↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（固定値） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP ↵ +GCAP：+CGSM,+FCLASS,+W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI ↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM ↵ FOMA F01A OK	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMR AT+GMR ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m> ※1 AT+IFC=2,2 ↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n：DCE by DTE　m：DTE by DCE 0：フロー制御を行わない　1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：現在の設定を表示　AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+WS46=<n> ※1	発信時に使用する無線ネットワークをnの値で表示します。 変更はできないので、AT+WS46=<n>と入力すると、ERRORを返します。 n=12：GSMネットワーク　n=22：3Gネットワーク（FOMA） n=25：GSMおよび3Gネットワーク(FOMA)（お買い上げ時） AT+WS46?：現在の設定を表示　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示
AT¥S AT¥S ↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・(中略)・・・S104=001 OK	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥V<n> ※1 AT¥V0 ↵ OK	接続時の応答コード仕様を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する
+++ +++(非表示) OK	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。

※1 &Wコマンドで FOMA端末に記録されます。
※2 &FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3 &Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

● ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」（PPP接続）が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」（IP接続）が登録されています。
＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"＜PDP_TYPE＞"［,"＜APN＞"]]]
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
  ＜APN＞：任意
- **実行例**
  PPP接続の「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
  AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞]]]
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または384
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または7232
  ※＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「384」および「7232」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**
  (1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  　AT+CGEQMIN=2 ↵
  　OK
  (2) 上り384kbps、下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）
  　AT+CGEQMIN=4,,384,7232 ↵
  　OK
  (3) 上り384kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  　AT+CGEQMIN=5,,384 ↵
  　OK
  (4) 上りすべての速度、下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）
  　AT+CGEQMIN=6,,,7232 ↵
  　OK

- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ=［＜cid＞］
- **パラメータ説明**
  上り64～384kbps、下り64～7232kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各＜cid＞にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  ＜cid＞：1～10
- **実行例**
  （＜cid＞=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3 ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

リザルトコード

● ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P37

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

- **AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合**

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

• AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末ーパソコン間はUSBケーブルやBluetooth機能で接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	64Kテレビ電話で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT￥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみ表示されます。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT

数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1

ATX1が設定されているとき

• ATX1、AT￥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
接続完了時に、「CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞」の書式で表示します。
文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT 460800
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1 21

• ATX1、AT￥V1が設定されている場合※1
接続完了時に、次の書式で表示します。
「CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞」※2
文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT 460800 PACKET mopera.net/384/7232
（mopera.netに、上り最大384kbps、下り最大7232kbpsで接続したことを表します。）
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1 21 5

※1 ATX1、AT￥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT￥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2 AT￥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

区点コード一覧

区点コードの入力方法については、取扱説明書をご覧ください。
区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

2008.9（1版）
CA92002-5476

区点 1〜3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					さ					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
					し					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
					す					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
					せ					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然

区点 1〜3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
332	全	禅	繕	膳	糎					
					そ					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
					た					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
					ち					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
					つ					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
					て					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
					と					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
					な					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
					に					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
					ぬ					
390									濡	
					ね					
390										禰

区点 1〜3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
					の					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
					は					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
					ひ					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
					ふ					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
					へ					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
					ほ					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶

区点 1～3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
447	紋	門	匁							
						や				
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
						ゆ				
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
						よ				
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
						ら				
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
						り				
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
						る				
466	瑠	塁	涙	累	類					
						れ				
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
						ろ				
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
						わ				
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					

区点 1～3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨

区点 1～3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	熙	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			